Canon

Satera

MF755Cdw II / MF753Cdw II / MF751Cdw II

ユーザーズガイド

USRMA-9600-01 2026-05 ja

Copyright CANON INC. 2026

もくじ

本機について 2

対応機能／オプション一覧 3

ペーパーフィーダー PF-K 5

環境ヒーター EH-H1 7

管理者 ID と管理者暗証番号 10

不正アクセス防止対策 11

各部の名称とはたらき 13

前面 14

背面 16

内部 18

操作パネル 19

フィーダー 21

手差しトレイ 22

給紙カセット 23

使用可能な用紙 24

用紙を取り扱うときの注意事項 28

仕様 29

基本仕様 30

フィーダーの仕様 33

プリントの仕様 34

スキャンの仕様 36

ファクスの仕様 37

ネットワークの仕様 38

セキュリティー／管理機能の仕様 40

サポート環境 46

おすすめ機能 48

文書の電子化 49

コスト削減 50

操作の効率化 51

セットアップ 54

初期設定をする - 設定ナビ 55

リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定 58

ネットワークの設定 64

有線 LAN／無線 LAN を選択する 66

有線 LAN に接続する 67

無線 LAN に接続する 68

ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式 70

PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式 71

ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式 73

詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式 75

IPv4 アドレスを設定する ... 77
IPv6 アドレスを設定する ... 79
使用するネットワーク環境に合わせる ... 81
Ethernet を手動で設定する ... 82
DNS を設定する ... 83
SMB を設定する ... 86
WINS を設定する ... 88
LDAP サーバーを登録する ... 89
SNMP を設定する ... 93
SNTP を設定する ... 96
SLP 通信を設定する ... 98
ネットワークの接続状況や設定を確認する ... 100
ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ ... 103
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール ... 107

基本操作 ... 110

電源を入れる／切る ... 111
電源を入れる ... 112
電源を切る ... 113
再起動する ... 116
消費電力を抑える - スリープモード ... 118
操作パネルの使用方法 ... 120
操作パネルに表示される画面 ... 121
［ホーム］画面 ... 124
［状況確認］画面 ... 128
操作パネルの操作方法 ... 130
文字を入力する ... 133
［ホーム］画面をカスタマイズする ... 135
ボタンの配置／タブの名称を変更する - リモート UI ... 137
ログイン方法 ... 140
原稿のセット方法 ... 142
用紙のセット方法 ... 145
給紙カセットに用紙をセットする ... 146
手差しトレイに用紙をセットする ... 151
封筒をセットする準備と向き ... 154
はがきをセットする向き ... 157
ロゴ入り用紙をセットする向き ... 159
用紙サイズと用紙種類の設定 ... 161
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する ... 162
手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する ... 164
手差しトレイでよく使用する用紙サイズと用紙種類を登録する ... 166
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 ... 168
使用しない用紙サイズを非表示にする ... 169
機能ごとに適切な給紙部を使用する ... 170
宛先の登録 - アドレス帳 ... 171
アドレス帳の機能 ... 172

アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル 174
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル 177
アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル 179
アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI 180
アドレス帳にグループを登録する - リモート UI 184
宛先の指定 186
宛先を指定する - アドレス帳 187
宛先を指定する - 直接入力 189
宛先を指定する - LDAP サーバー 190
宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳 192
宛先を指定する - 送信履歴 193
USB メモリーを差し込む／取り外す 194
よく使用する設定の登録 196
よく使用する設定を登録する／呼び出す 197
初期設定を変更する 200
音量の調整 202
音量を調整する（ファクス機能がある場合） 203
音量を調整する（ファクス機能がない場合） 206
［音量設定］画面 207

プリントする 209

プリントの準備 211
パソコンからプリントするための準備 212
プリンターポートを設定する（Windows のみ） 215
プリントサーバーを利用するための準備 219
USB メモリー内のファイルをプリントするための準備 222
パソコンからプリントする 223
パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 226
暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント 228
暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する 232
ドライバーのセキュアプリント機能を有効にする（macOS のみ） 233
USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント 234
USB メモリー内のファイル選択画面 236
メモリーメディアプリントの設定 237
プリントを中止する 243
プリント状況や履歴を確認する 246

スキャンする 248

スキャンの準備 250
パソコンにスキャンデータを保存するための準備 251
USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備 253
メールでスキャンデータを送信するための準備 254
メール送信の基本設定をする - SEND 設定ツール 255
ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する 257
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI 258

クラウドメールサーバーを設定する - リモート UI 261
共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備 264
共有フォルダーをアドレス帳に登録する - SEND 設定ツール 265
FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備 267
FTP の PASV モードを設定する 268
スキャンする - パソコンに保存 269
スキャンする - USB メモリーに保存 271
スキャンする - メールで送信 273
スキャンする - 共有フォルダー／FTP サーバーに保存 276
パソコンからスキャンする - パソコンに保存 279
Scan Utility を起動する 282
スキャンの設定 283
スキャンを中止する 288
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する 289

ファクスする 292

ファクスの準備 294
パソコンからファクスを送信するための準備 295
ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する 297
ファクス番号／ユーザー略称を変更する 299
ファクスの転送／バックアップの設定 300
送信したファクスを自動転送／バックアップする 301
受信したファクスを自動転送／バックアップする 303
ファクスを送信する 305
通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 308
パソコンからファクスを送信する - PC ファクス 310
PC ファクスを安全に送信するために 313
ファクス原稿のスキャン設定 314
ファクスを受信する 316
電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信 317
受信したファクスのプリント設定を変更する 318
ファクスの送信を中止する 320
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する 321
インターネットファクスを使う - I ファクス 323
受信した I ファクスのプリント設定を変更する 327

コピーする 330

コピーする 331
いろいろなコピー 334
ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする 341
複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーする 344
コピーを中止する 347
コピー状況や履歴を確認する 348

モバイル／クラウド連携 350

モバイル／クラウド連携の準備 352

ダイレクト接続するための準備 353

Universal Print を使用するための準備 355

Microsoft Entra ID に本機を登録する 356

パソコンに本機を登録する 359

AirPrint を使用するための準備 360

モバイル機器を本機に接続する 363

モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続 364

モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 365

専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT 368

クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする 369

Universal Print を使用してプリントする 370

AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する 371

Android からプリントする 375

Chrome OS からプリントする 377

セキュリティー 380

管理者用の ID／暗証番号を設定する 381

ユーザー認証／グループ管理 383

部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理 384

部門 ID／暗証番号を登録する 386

部門別 ID 管理を有効にする 388

パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する 390

部門 ID ごとの使用状況を確認する 393

送信／保存時に LDAP サーバーによるユーザー認証を行う 394

ネットワークの保護 397

ファイアウォールを設定する 398

ポート番号を変更する 401

プロキシーを使用する 402

TLS を使用する 403

IPSec を使用する 405

IEEE 802.1X を使用する 410

鍵と証明書を管理／検証する 412

鍵と証明書を生成する 413

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する 415

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する 418

証明書の発行要求状況にエラーが表示された 423

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する 425

受信した証明書を OCSP で検証する 427

誤送信／漏えいの防止 428

指定できる宛先を制限する 429

送信前に宛先を確認する 431

ファクス送信を制限する 433

メモリーメディアの使用を制限する ... 435
モバイル機器からの使用を制限する ... 437
プリントを制限する ... 438
パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する ... 439
受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信 ... 440
不正使用の防止 ... 443
アドレス帳の登録／編集を制限する ... 444
リモート UI の使用を制限する ... 446
パソコンと USB 接続できないようにする ... 448
LPD/RAW/WSD を設定する ... 449
HTTP 通信を使用できないようにする ... 452
セキュリティーポリシーの導入 ... 453
セキュリティーポリシーの項目 ... 456

管理／設定 ... 462

日付／時刻を設定する ... 463
パソコンによる本機の管理 - リモート UI ... 464
リモート UI を起動する ... 465
リモート UI のポータル画面 ... 468
リモート UI で使用状況／履歴を確認する ... 470
使用状況の確認 ... 472
プリントページ数を確認する - カウンター確認 ... 473
レポート／リストをプリントして確認する ... 475
レポート／リストのプリント設定を変更する ... 477
ログを送信する ... 479
メールボックスをクリアする ... 481
アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする ... 482
アドレス帳の各項目について ... 486
ファームウェアをアップデートする ... 490
設定／データを初期化する ... 493

設定メニュー一覧 ... 498

[環境設定] ... 499
[表示設定] ... 501
[タイマー/電力設定] ... 505
[ネットワーク] ... 508
[Wi-Fi 設定] ... 514
[TCP/IP 設定] ... 516
[外部インターフェイス] ... 524
[アクセシビリティー] ... 525
[調整/メンテナンス] ... 527
[画質調整] ... 528
[自動補正設定] ... 531
[特殊処理] ... 533

［動作調整］ 539
［メンテナンス］ 540
［ファンクション設定］ 542
［共通］ 544
［給紙動作］ 545
［印刷動作］ 548
［スキャン動作］ 549
［ファイル生成］ 550
［コピー］ 552
［プリンター］ 554
［プリンター仕様設定］ 555
［ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)］ 575
［送信］ 576
［共通設定］ 577
［スキャンして送信設定］ 579
［ファクス設定］ 586
［受信/転送］／［受信］ 592
［共通設定］ 593
［I ファクス設定］ 595
［ファクス設定］ 596
［ファイル保存/利用］ 600
［共通設定］ 602
［宛先設定］ 610
［管理設定］ 611
［ユーザー管理］ 613
［デバイス管理］ 615
［ライセンス/その他］／［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ 618
［リモート UI 設定］ 620
［データ管理］ 621
［セキュリティー設定］ 623
［認証/パスワード設定］ 625
インポート／エクスポートできる設定項目 626
［環境設定］ 627
［調整/メンテナンス］ 632
［ファンクション設定］ 634
［宛先設定］ 639
［管理設定］ 640

メンテナンス 644
本機の清掃 646
本機の表面を清掃する 647
原稿台ガラスを清掃する 648
フィーダーを清掃する 649
定着器を清掃する 652
転写ベルトを清掃する 653

消耗品の交換 654
トナーカートリッジの交換方法 655
消耗品の残量を確認する 660
消耗品一覧 661
画質／プリント位置の調整 663
階調を補正する 664
色ずれを補正する 668
黒に近い文字の再現性を調整する 669
プリント位置を調整する 671
本機を移動する 673
無償保証の利用 675
NETEYE 676

困ったときは 680

紙がつまった 681
排紙トレイ／背面に用紙がつまった 683
給紙部に用紙がつまった 685
フィーダーに原稿がつまった 688
紙づまりが繰り返し起こる 689
プリント結果のトラブル 691
トナーが飛び散ったような汚れが付く 693
すじ（線）が入る 695
印字ムラが出る 697
プリントしても白紙になる 699
用紙の端が汚れる 700
文字や画像がにじむ 701
プリント結果に残像が現れる 702
プリント結果がかすれる 703
ページの端がプリントされない 705
下地に薄い色や汚れが付く 706
部分的に白く抜ける 707
用紙のウラが汚れる 709
斜めにプリントされる 710
用紙／給紙のトラブル 711
用紙がしわになる 712
用紙がカールする 713
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる 714
給紙カセットが本機に入らない 715
セットアップ 716
ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない 717
無線 LAN に接続できない 718
ネットワーク 719
無線 LAN への切り替えができない 720
接続するプリントサーバーが見つからない 721

共有プリンターに接続できない ... 722
本機の IP アドレスがわからない ... 723
AirPrint できない ... 724
TLS 暗号化通信を使った接続ができない ... 725
プリント／コピー ... 726
プリント／コピーできない ... 727
プリントできない - 無線 LAN ... 728
プリントできない - 有線 LAN ... 730
プリントできない - USB 接続 ... 732
プリントできない - プリントサーバー経由 ... 733
プリント速度が遅い ... 734
スキャン ... 735
スキャンデータをパソコンに保存できない ... 736
スキャンデータを共有フォルダーに保存できない ... 738
ファクス／電話 ... 740
ファクスが送信できない ... 741
ファクスが届かない ... 743
電話とファクスが自動的に切り替わらない ... 745
光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない ... 746
海外へファクスを送信できない ... 747
相手の電話／ファクス番号がディスプレーに表示されない ... 748
管理／環境設定 ... 749
リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない ... 750
確認音や警告音の音量を変更したい ... 751
スリープモードになるまでの時間を変更したい ... 752
管理者用の ID／暗証番号がわからない ... 753
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい ... 754
メッセージが表示された ... 755
エラーコードが表示された ... 776
トラブルが解決しないときは ... 788

付録 ... 790

本機のマニュアル ... 791
ユーザーズガイドの使いかた ... 792
パソコンの操作例 ... 795
環境情報／法規制／規格 ... 805
おことわり ... 807
商標／著作権 ... 808

本機について

本機について 2
対応機能／オプション一覧 3
ペーパーフィーダー PF-K 5
環境ヒーター EH-H1 7
管理者 ID と管理者暗証番号 10
不正アクセス防止対策 11
各部の名称とはたらき 13
前面 14
背面 16
内部 18
操作パネル 19
フィーダー 21
手差しトレイ 22
給紙カセット 23
使用可能な用紙 24
用紙を取り扱うときの注意事項 28
仕様 29
基本仕様 30
フィーダーの仕様 33
プリントの仕様 34
スキャンの仕様 36
ファクスの仕様 37
ネットワークの仕様 38
セキュリティー／管理機能の仕様 40
サポート環境 46
おすすめ機能 48
文書の電子化 49
コスト削減 50
操作の効率化 51

本機について

AU03-000

本機を使用する前に、対応している機能やオプション、各部の名称や各機能の仕様など、基本情報を確認します。本機の管理体制やセキュリティーリスクへの対策についても検討します。

基本情報

機種によって、対応している機能やオプションが異なります。これらを一覧で確認できます。
オプションの仕様についても、ここで確認できます。
対応機能／オプション一覧(P. 3)

必要に応じて、本機の各部の名称、使用できる用紙、各機能の仕様を確認します。
各部の名称とはたらき(P. 13)
使用可能な用紙(P. 24)
仕様(P. 29)

管理／設定に必要な情報

本機の管理／設定を行う際には、管理者 ID と管理者暗証番号を使用してログインします。
あらかじめ設定されている管理者 ID と管理者暗証番号は、機種によって異なります。
管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)

本機をネットワーク環境で使用する場合は、不正アクセス防止対策の一例を確認し、検討／実施します。
不正アクセス防止対策(P. 11)

活用のヒント

文書の電子化やコストの削減、操作の効率化に役立つおすすめ機能を紹介しています。
おすすめ機能(P. 48)

対応機能／オプション一覧

AU03-001

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機を含む機種シリーズすべての機能を説明しています。そのため、機種によっては、ユーザーズガイドに記載されている機能を使用できない場合があります。各機種がどの機能／オプションに対応しているか、以下の一覧で確認できます。
オプションの取り付けかたは、各オプションのページを参照してください。

対応機能(P. 3)
対応オプション(P. 4)

対応機能

○：機能あり　×：機能なし

機能	MF755Cdw II	MF753Cdw II	MF751Cdw II
プリント	○	○	○
スキャン	○	○	○
ファクス	○	○	×
コピー	○	○	○
両面プリント	○	○	○
暗号化セキュアプリント	○	○	○
ファクス受信転送	○	○	×
スキャンデータの送信（メール／共有フォルダー／FTP サーバー）	○	○	○
有線 LAN 接続	○	○	○
無線 LAN 接続	○	○	○
USB 接続	○	○	○
リモート UI	○	○	○
鍵と証明書	○	○	○
モバイル機器と連携	○	○	○

機能	MF755Cdw II	MF753Cdw II	MF751Cdw II
ディスプレー	タッチパネル	タッチパネル	タッチパネル
フィーダー	○ （両面同時読み取り）	○ （両面同時読み取り）	○ （両面同時読み取り）
管理者 ID の初期設定	7654321	未設定	未設定
管理者暗証番号の初期設定	7654321	未設定	未設定
部門別 ID 管理	○	○	○
アプリケーションライブラリ	○	○	○

MEMO

- 使用できるドライバーの種類については、キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで確認してください。
https://canon.jp/download/

対応オプション

目的に合わせてオプションを利用できます。

- 給紙カセットの追加 **ペーパーフィーダー PF-K(P. 5)**
- 用紙の吸湿防止 **環境ヒーター EH-H1(P. 7)**

○：対応　×：非対応

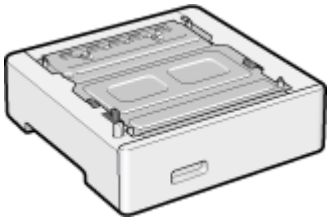
オプション	MF755Cdw II	MF753Cdw II	MF751Cdw II
ペーパーフィーダー PF-K	○	○	○
環境ヒーター EH-H1	○	○	○

ペーパーフィーダー PF-K

AU03-002

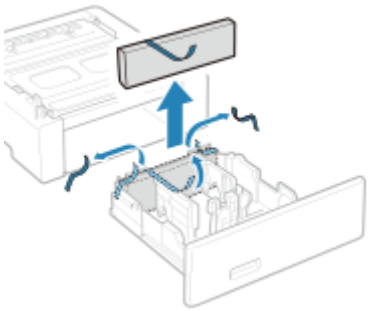
サイズや種類が異なる用紙をよく使用する場合や、用紙を多めにセットしておきたい場合は、オプションのペーパーフィーダー PF-K を取り付けます。用紙をセットする手間を軽減できます。
ペーパーフィーダー PF-K の取り付かたや仕様については、以下を参照してください。

取り付けかた(P. 5)
仕様(P. 6)

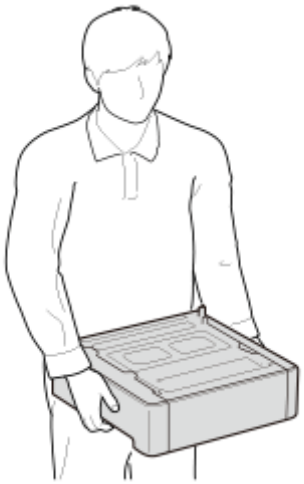


取り付けかた

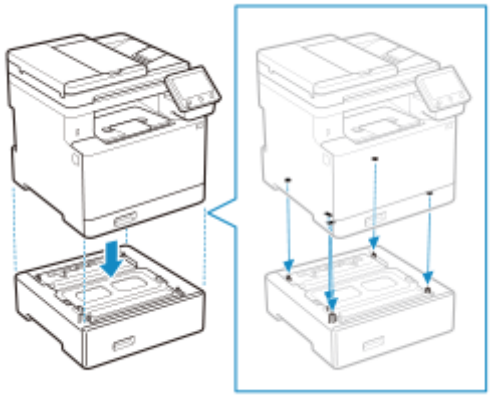
1 すべての梱包材を取り外す



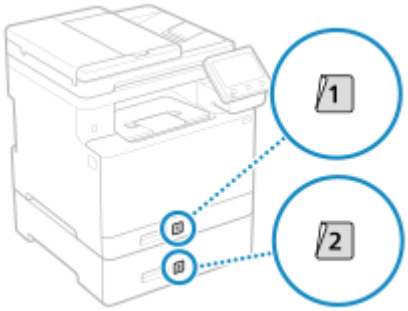
2 ペーパーフィーダー PF-K を使用場所に設置する



3 本体をペーパーフィーダー PF-K の上にゆっくり乗せる



4 同梱のシールをカセットに貼り付ける



仕様

用紙サイズ	最大：216.0 mm × 356.0 mm 最小：100.0 mm × 148.0 mm
用紙坪量	60 g/m² ～ 200 g/m²
給紙段数／給紙容量 *1	給紙カセット × 1 550 枚（80 g/m²）、640 枚（64 g/m²）
大きさ （幅×奥行×高さ）	420 mm × 427 mm × 156 mm（本体装着時）
質量	約 4.7 kg

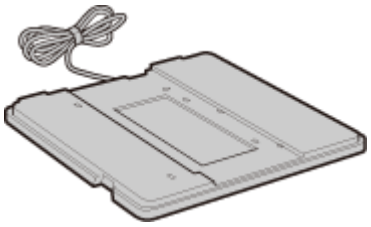
*1 設置環境や使用する用紙によって異なる場合があります。

環境ヒーター EH-H1

AU03-003

用紙の湿気が気になる場合は、オプションの環境ヒーター EH-H1 を取り付けます。本機とは別に電源を使用します。
環境ヒーター EH-H1 の取り付けかたや仕様については、以下を参照してください。

取り付けかた(P. 7)
仕様(P. 9)



重要

- お使いの環境によっては、電源を入れてから用紙の吸湿を低減させるまで時間がかかる場合があります。
- 効果が表れない場合は、未開封の新しい用紙に交換してください。
- 環境ヒーター EH-H1 の電源コードは、本体と同じコンセントには接続しないでください。

取り付けかた

MEMO

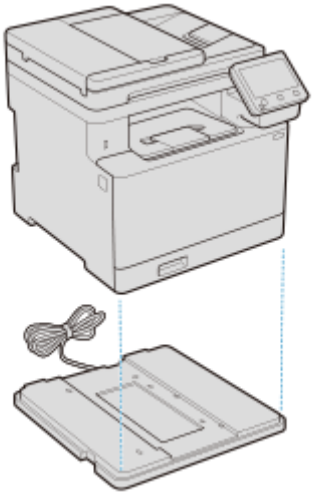
必要な準備

- オプション機器を後から設置するときは、作業前に次のことを行ってください。
  - 本機とパソコンの電源を切る
  - 本機の電源プラグをコンセントから抜き、アース線も取り外す
  - 全てのコードやケーブルを本機から取り外す

1 環境ヒーター EH-H1 を使用場所に設置する



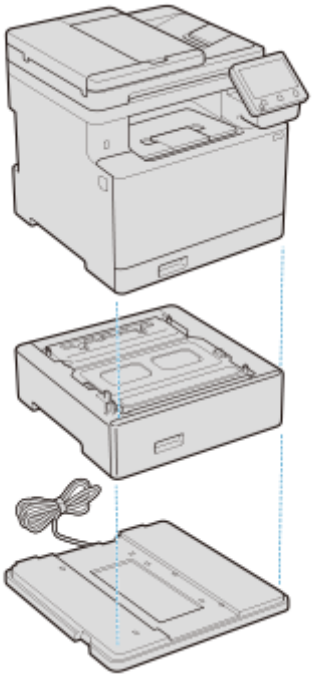
2 本体を環境ヒーター EH-H1 の上にゆっくり乗せる



3 環境ヒーター EH-H1 のアース線をアース端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

■ペーパーフィーダー PF-K と併用する場合

ペーパーフィーダー PF-K の下に環境ヒーターを置きます。



仕様

使用環境	温度：10 °C ～ 30 °C 湿度：20 % ～ 80 %（相対湿度・結露しないこと）
電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz 共通
消費電力 *1	約 16 W

*1 使用環境や使用条件によって異なる場合があります。

管理者 ID と管理者暗証番号

AU03-004

本機には、重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」が用意されています。
「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定すると、これらを知っているユーザーだけが、管理者モードにログインできるようになります。

MF755Cdw II の場合

以下の管理者 ID と管理暗証番号があらかじめ設定されています。

管理者 ID	7654321
管理者暗証番号	7654321

- 管理者モードへのログイン画面が表示された場合、初期設定から変更していないときは、上記を入力してログインします。リモート UI の管理者モードにログインする場合は、管理者暗証番号を初期設定から変更する必要があります。
- 情報保護のため、初期設定から変更して、特定の管理者だけがこれらを知っているようにします。

MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合

管理者 ID と管理者暗証番号は設定されていません。
管理者モードが無効なため、誰でも重要な設定を閲覧／変更できてしまいます。情報保護のため、管理者 ID と管理者暗証番号を新しく設定して、特定の管理者だけがこれらを知っているようにします。

管理者 ID と管理者暗証番号を変更／設定する方法については、以下を参照してください。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)

不正アクセス防止対策

AU03-005

本機をネットワーク環境で使用する場合は、ご利用の前に必ずお読みください。

プリンターや複合機は、ネットワークに接続することでさまざまな機能が利用可能となります。その反面、外部からの不正アクセスや盗聴などネットワーク上の脅威にさらされるため、セキュリティーリスクへの対策が不可欠です。
ここでは、ネットワーク環境で本機を使用する場合に、セットアップ時に必ず検討／実施いただきたい不正アクセス防止対策の一例を説明します。

プライベート IP アドレスでの運用(P. 11)
パスワードや暗証番号による情報保護(P. 12)
リモート UI 使用時の注意(P. 12)

重要

- 本製品は電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどを経由して接続してください。

MEMO

- 上記以外にも、ファイアウォールによる通信の制限や、TLS 暗号化通信による盗聴／改ざんの防止など、本機でできるセキュリティーリスク対策があります。使用環境に合わせて必要な対策を行ってください。 **セキュリティー(P. 380)**

プライベート IP アドレスでの運用

IP アドレスには、インターネット接続に使用される「グローバル IP アドレス」と、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使用される「プライベート IP アドレス」があります。

本機にグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーが本機へアクセス可能な状態になります。そのため、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクが高まります。
一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、本機へのアクセスがローカルエリアネットワーク上のユーザーのみに限定されます。そのため、グローバル IP アドレス設定時よりも不正アクセスのリスクが軽減します。

基本的には、本機にプライベート IP アドレスを設定して運用してください。
プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスを使用します。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ～ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ～ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ～ 192.168.255.255

IP アドレスを設定／確認する方法については、以下を参照してください。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

本機にグローバル IP アドレスを設定して運用したい場合は、ファイアウォールなどで外部からのアクセスを防御する環境を構築すると、不正アクセスのリスクは軽減されます。ネットワークセキュリティーの構築は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードや暗証番号による情報保護

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、本機が持つ情報をパスワードや暗証番号で保護しておけば、情報漏えいや不正使用のリスクを軽減できます。
本機では、以下の機能でパスワードや暗証番号を設定できます。パスワードや暗証番号を知っているユーザーのみが、これらの機能を使用して情報にアクセスできるようにします。

リモート UI
リモート UI を使用する際に、リモート UI のパスワードの入力が必要になるようにします。
リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)

管理者 ID
重要な設定を変更する際に、管理者 ID と管理者暗証番号の入力が必要になるようにします。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)

アドレス帳
アドレス帳を登録／編集する際に、アドレス帳の暗証番号の入力が必要になるようにします。
アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する(P. 444)

リモート UI 使用時の注意

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。
- リモート UI を使用したあとは、ログアウトし、Web ブラウザーを必ず閉じてください。

各部の名称とはたらき

AU03-006

外部前面

本機を使用するときは、おもに前面の各部を確認しながら操作します。

前面(P. 14)

- 本機の操作／設定は、操作パネルで行います。
  操作パネル(P. 19)
- スキャン／ファクス送信／コピーする原稿は、原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。
  フィーダー(P. 21)
- プリント／コピーする用紙は、以下の給紙部にセットします。
  手差しトレイ(P. 22)
  給紙カセット(P. 23)

外部背面

本機を設置／接続するときや、用紙がつまったときは、背面の各部を確認しながら作業します。

背面(P. 16)

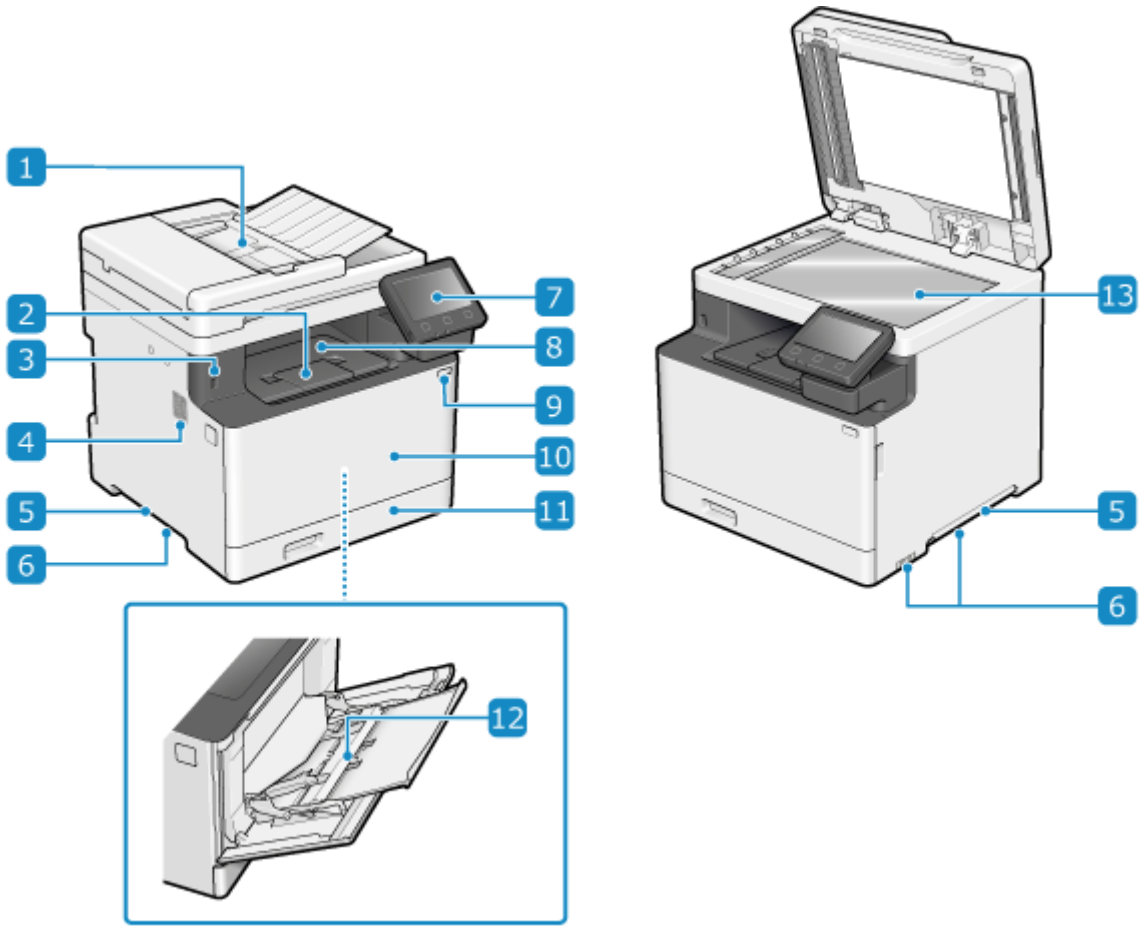
内部

トナーカートリッジを交換するときは、内部を引き出して作業します。

内部(P. 18)

前面

AU03-007



1 フィーダー

複数枚の原稿をまとめてセットできます。セットした原稿は、1 枚ずつ自動的に送られて読み取られます。 **フィーダー(P. 21)**

2 排紙ストッパー

排紙トレイから用紙が落ちないようにするために、この部分を開けます。

3 USB ポート（USB 機器用）

市販の USB メモリーや USB キーボードを接続できます。

4 スピーカー

ファクスの通信状態を知らせる音や、本機の操作や状態を知らせる音を出します。

音量を調整する（ファクス機能がある場合）(P. 203)
音量を調整する（ファクス機能がない場合）(P. 206)

5 運搬用取っ手

本機を移動するときは、この部分をつかんで運びます。

6 通気口

本機内部を換気して冷却します。
換気の妨げになるため、通気口のそばには物を置かないようにご注意ください。

7 操作パネル

ディスプレーやキーを使用して、本機の操作や状況確認を行います。 **操作パネル(P. 19)**

8 排紙トレイ

プリント／コピーされた用紙が排出されます。

9 電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりします。 **電源を入れる／切る(P. 111)**

10 前カバー

トナーカートリッジを交換するときに開けます。

11 給紙カセット

普段よく使用する用紙をセットします。 **給紙カセット(P. 23)**

12 手差しトレイ

給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用するときは、ここにセットします。 **手差しトレイ(P. 22)**

13 原稿台ガラス

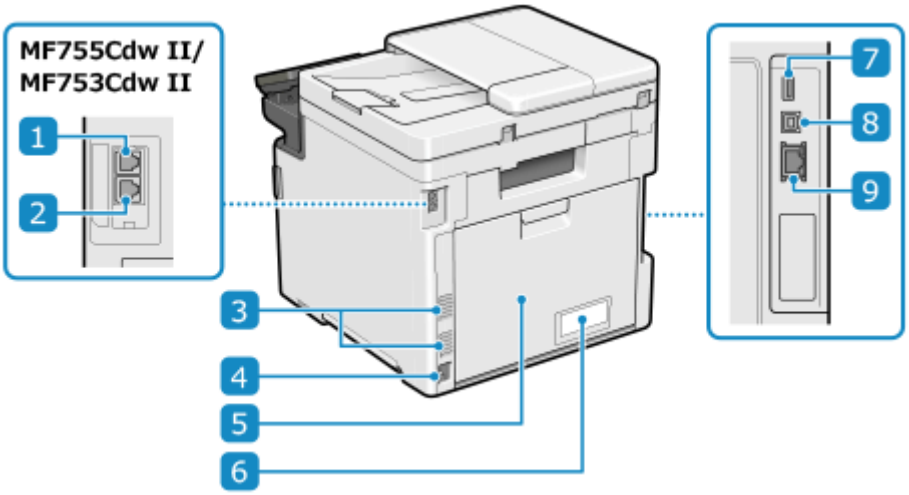
書籍／厚紙／薄紙など、フィーダーにセットできない原稿をセットします。セットした原稿は、静止した状態で読み取られます。 **原稿のセット方法(P. 142)**



- 本機を快適に使用するために、本機の表面と原稿台ガラスは定期的に清掃します。
  本機の表面を清掃する(P. 647)
  原稿台ガラスを清掃する(P. 648)
- フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを清掃します。 **フィーダーを清掃する(P. 649)**
  - 原稿が汚れる
  - 原稿がひんぱんにつまる
  - スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む

背面

AU03-008



1 電話回線端子（LINE）

付属の電話コードを使用して電話回線に接続します。

2 外付け電話機用端子（HAND SET / EXT.）

電話機を接続します。

3 通気口

本機内部を換気して冷却します。
換気の妨げになるため、通気口のそばには物を置かないようにご注意ください。

4 電源ソケット

電源コードを接続します。

5 後ろカバー

本機内部に用紙がつまったときに開けます。

6 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要となるシリアルナンバーが記載されています。

7 USB ポート（USB 機器用）

市販の USB キーボードを接続できます。

8 USB ポート（パソコン接続用）

市販の USB ケーブルを使用してパソコンを接続できます。

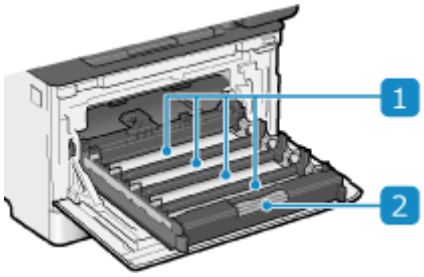
9 LAN ポート

市販の LAN ケーブルを使用して有線 LAN に接続します。

内部

AU03-009

本機内部には、トナーカートリッジをセットします。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 655)**



1 スロット

奥から手前に向かって、Y（イエロー）／M（マゼンタ）／C（シアン）／K（ブラック）のトナーカートリッジをセットします。セットするトナーカートリッジの色を示すラベルが貼られています。

2 トナーカートリッジトレイ

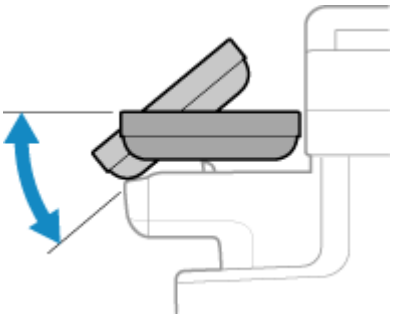
トナーカートリッジを交換するときに引き出します。

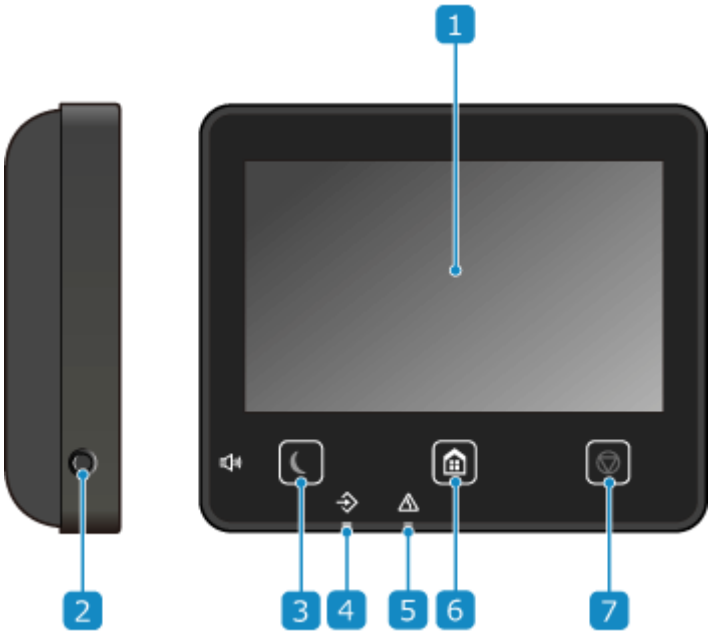
操作パネル

AU03-00A

本機の操作／設定を行う部分です。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

ディスプレーが見づらいときは、右の図のように操作パネルの角度を調節します。





1 ディスプレー

各機能を操作する画面や使用状況、メッセージなどが表示されます。タッチパネルになっているため、画面に指で直接触れて操作します。 **操作パネルの使用方法(P. 120)**

2 音量キー（ ）

音量を調整します。
音量を調整する（ファクス機能がある場合）(P. 203)
音量を調整する（ファクス機能がない場合）(P. 206)

3 節電キー（ ）

消費電力を抑える「スリープモード」にします。スリープモード中は が黄緑色に点灯します。 **消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)**

4 データランプ

通信中／プリント中など、何らかの動作を行っているときに点滅します。
処理待ちのデータがあるときは点灯します。

5 エラーランプ

紙づまりなどのエラーが発生したときに、点滅または点灯します。

6 ホームキー（ ）

［ホーム］画面を表示します。 **［ホーム］画面(P. 124)**

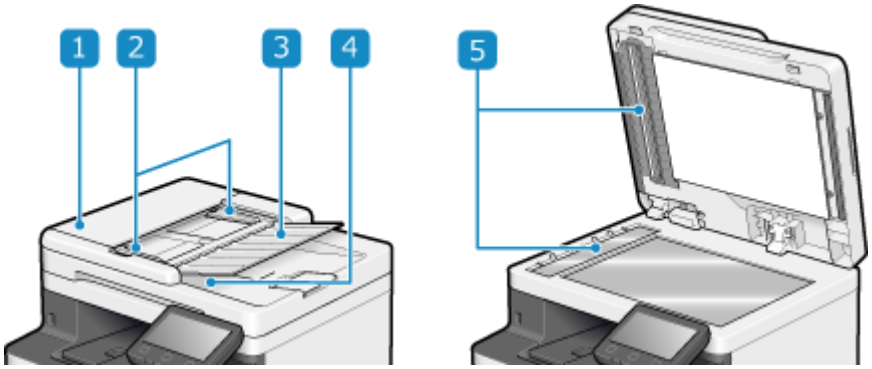
7 ストップキー（ ）

実行中の動作を中止します。

フィーダー

AU03-00C

対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**



1 フィーダーカバー

フィーダー内部を清掃するときや、フィーダーに用紙がつまったときに開けます。

2 原稿ガイド

原稿を正しくセットするために、このガイドを原稿の幅に合わせます。

3 原稿給紙トレイ

複数枚の原稿をまとめてセットできます。 **原稿のセット方法(P. 142)**

4 原稿排紙トレイ

スキャンされた原稿が排紙されます。

5 フィーダー原稿読み取りエリア

フィーダーにセットした原稿をスキャンします。

重要

- 原稿排紙トレイに物を置かないでください。原稿損傷の原因になります。

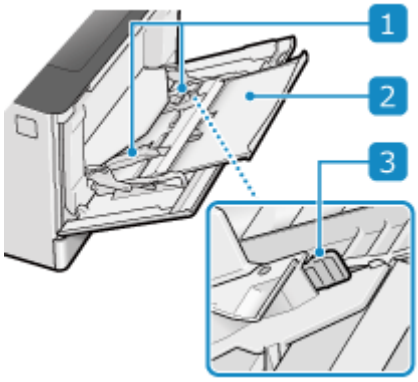
MEMO

- フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを清掃します。 **フィーダーを清掃する(P. 649)**
  - 原稿が汚れる
  - 原稿がひんぱんにつまる
  - スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む

手差しトレイ

AU03-00E

手差しトレイには、一時的に使用する用紙をセットします。 **手差しトレイに用紙をセットする(P. 151)**



1 用紙ガイド

用紙を正しくセットするために、このガイドを用紙の幅に合わせます。

2 用紙トレイ

用紙をセットするときは、このトレイを引き出します。

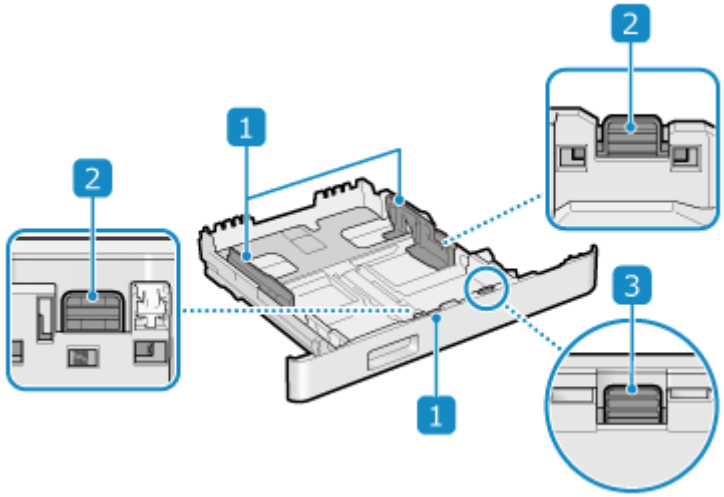
3 ロック解除レバー

このレバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

給紙カセット

AU03-00F

給紙カセットには、普段よく使用する用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**



1 用紙ガイド

用紙を正しくセットするために、このガイドを用紙の幅に合わせます。

2 ロック解除レバー

このレバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

3 ロック解除レバー（給紙カセット延長用）

A4 より長いサイズの用紙をセットするときは、このレバーをつまみながら、給紙カセットを手前に引き延ばします。

※給紙カセットを引き延ばした状態で本機にセットした場合、給紙カセットは完全には収納されません。

使用可能な用紙

AU03-00H

本機で使用できる用紙は以下のとおりです。

使用可能な用紙サイズ(P. 24)
使用可能な用紙種類(P. 25)
使用できない用紙(P. 27)

MEMO

- 用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。 **用紙を取り扱うときの注意事項(P. 28)**

使用可能な用紙サイズ

○：使用可　×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット 1	給紙カセット 2 *1	手差しトレイ	自動両面プリント *2
A4 *3*4*5	○	○	○	○
B5 *3	○	○	○	○
A5 *3*6	○	○	○	○
A6	○	○	○	×
リーガル（LGL） *3*4	○	○	○	○
レター（LTR） *3*4*5	○	○	○	○
ステートメント（STMT） *3	○	○	○	×
エグゼクティブ（EXEC）	○	○	○	○
Oficio *3*4	○	○	○	○
Oficio (Brazil) *3*4	○	○	○	○
Oficio (Mexico) *3*4	○	○	○	○
Letter (Government) *3*4	○	○	○	○

用紙サイズ	給紙カセット 1	給紙カセット 2 *1	手差しトレイ	自動両面プリント *2
Legal (Government) *3*4	○	○	○	○
Foolscap/Folio *3*4	○	○	○	○
Foolscap (Australia) *3*4	○	○	○	○
Legal (India) *4	○	○	○	○
はがき	○	○	○	×
往復はがき	○	○	○	×
封筒 長形 3 号	○	×	○	×
封筒 長形 4 号	×	×	○	×
封筒 長形 40 号	×	×	○	×
封筒 洋形長 3 号	○	×	○	×
ユーザー設定サイズ	○ *7	○ *8	○ *9	○ *10

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-K

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面にプリントすることができます。

*3 受信したファクスのプリントが可能です。

*4 受信した I ファクスのプリントが可能です。

*5 レポートやリストのプリントが可能です。

*6 タテ置き／ヨコ置きでセット可能です。

*7 98.0 × 148.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*8 100.0 × 148.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*9 76.0 × 127.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

*10 148.0 × 148.0 mm ～ 216.0 × 356.0 mm までのユーザー設定サイズを使用できます。

使用可能な用紙種類

非塩素用紙を使用できます。

○：使用可　×：使用不可

用紙種類	坪量	給紙カセット 1	給紙カセット 2 *1	手差しトレイ	自動両面プリント *2
薄紙 *3	60 g/m²	○	○	○	○
普通紙 1 *3*4	61 g/m² ～ 74 g/m²	○	○	○	○
普通紙 2 *3*4	75 g/m² ～ 82 g/m²	○	○	○	○
普通紙 3 *3*4	83 g/m² ～ 90 g/m²	○	○	○	○
普通紙 4	91 g/m² ～ 119 g/m²	○	○	○	○
厚紙 1	120 g/m² ～ 128 g/m²	○	○	○	○
厚紙 2	129 g/m² ～ 163 g/m²	○	○	○	○
厚紙 3	164 g/m² ～ 176 g/m²	×	×	○	×
再生紙 1 *3*4	61 g/m² ～ 74 g/m²	○	○	○	○
再生紙 2 *3*4	75 g/m² ～ 82 g/m²	○	○	○	○
再生紙 3 *3	83 g/m² ～ 90 g/m²	○	○	○	○
再生紙 4	91 g/m² ～ 119 g/m²	○	○	○	○
パンチ済み紙 1	61 g/m² ～ 74 g/m²	○	○	○	○
パンチ済み紙 2	75 g/m² ～ 82 g/m²	○	○	○	○
ラベル用紙	—	○	×	○	×
色紙 *3*4	61 g/m² ～ 74 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 1	61 g/m² ～ 74 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 2	75 g/m² ～ 82 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 3	83 g/m² ～ 90 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 4	91 g/m² ～ 119 g/m²	○	○	○	○

用紙種類	坪量	給紙カセット 1	給紙カセット 2 *1	手差しトレイ	自動両面プリント *2
レターヘッド 5	120 g/m² ～ 128 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 6	129 g/m² ～ 163 g/m²	○	○	○	○
レターヘッド 7	164 g/m² ～ 176 g/m²	×	×	○	×
コート紙 1	118 g/m² ～ 120 g/m²	○	○	○	○
コート紙 2	121 g/m² ～ 150 g/m²	○	○	○	○
コート紙 3	151 g/m² ～ 200 g/m²	○	○	○	○
はがき *5	—	○	○	○	×
封筒 *6	—	○	×	○	×

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-K

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面にプリントすることができます。

*3 受信したファクス／I ファクスのプリントが可能です。

*4 レポートやリストのプリントが可能です。

*5 インクジェット用の郵便はがき／郵便往復はがきを使用することはできません。

*6 ユーザー設定サイズを指定したときは、用紙種類を設定するときに［封筒 1］と［封筒 2］が表示されます。［封筒 1］に設定して、トナーがはがれたりするなど正しくプリントできない場合は、［封筒 2］に設定しなおします。

使用できない用紙

プリントする前に、使用する用紙が適切かどうかを確認します。紙づまりやプリント不良の原因になるため、以下の用紙は使用しないようにします。

- しわ／折り目がある紙、カールしている紙、破れている紙、湿っている紙*1
- 薄いわら半紙、非常に薄い紙、目の粗い紙、つるつるした紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙、プリントされた紙のウラ面
- のりなどの粘着剤がはみ出している用紙、裏紙が簡単にはがれるラベル用紙
- インクジェット専用の郵便はがき

*1 湿った用紙にプリントすると、排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがありますが、異常ではありません。これは、トナーを定着するときの熱によって、用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。室温が低い場合に発生しやすくなります。

用紙を取り扱うときの注意事項

AU03-00J

紙づまりなどのエラーを防止し、きれいにプリントするために、使用する用紙の取り扱い／保管には注意が必要です。
プリントした用紙の品質を保つためには、保管方法やのり付け方法に留意します。

■使用する用紙の取り扱い／保管

使用する環境に用紙を慣らす

本機が設置されている環境に十分慣らしてから、用紙を使用します。異なる温度／湿度で保管されていた用紙をすぐに使用すると、紙づまりやプリント不良の原因になることがあります。

使用前の用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐに使用することをおすすめします。残った用紙は入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管します。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したまま保管します。
- 用紙が丸まったり折り目が付いたりするような置きかたで保管しないようにします。
- 用紙を立てたり多く積み重ねたりして保管しないようにします。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥した場所、使用環境との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないようにします。

■プリントした用紙の保管／のり付け

用紙の保管方法

- 平らな場所に保管します。
- クリアホルダーなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないようにします。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管します。トナーがはがれることがあります。
- 高温の場所には保管しないようにします。
- 長期間（2 年以上）保管するときは、バインダーなどに入れて保管します。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントした画像が変色したように見えることがあります。

プリントした用紙にのり付けする場合の注意

- 必ず不溶性の接着剤を使用します。
- 不要になったプリント済み用紙で試してからのり付けします。
- のり付けした用紙は、完全に乾いてから重ねます。

仕様

AU03-00K

製品の改良により仕様が変更されたり、今後発売される製品によって内容が更新されたりすることがあります。製品に関する情報は、キヤノンホームページを参照してください。
https://global.canon/

本体の仕様
基本仕様(P. 30)
フィーダーの仕様(P. 33)

機能の仕様
プリントの仕様(P. 34)
スキャンの仕様(P. 36)
ファクスの仕様(P. 37)
ネットワークの仕様(P. 38)
セキュリティー／管理機能の仕様(P. 40)

動作環境や対応ソフトウェア／サーバー
サポート環境(P. 46)

■関連項目

オプションの仕様
オプションの対応機種と仕様を確認できます。
対応オプション(P. 4)

基本仕様

AU03-00L

形式	デスクトップ
カラー対応	フルカラー
読み取り解像度	600 dpi × 600 dpi
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
階調	256 階調
複写原稿	最大：215.9 mm × 297.0 mm シート、ブック：高さ 20 mm 以下
複写用紙サイズ	最大：216.0 mm × 356.0 mm カセット最小：98.0 mm × 148.0 mm 手差し最小：76.0 mm × 127.0 mm **画像欠け幅（コピー時）** **原稿台ガラス** 先端：5 mm ± 4.5 mm 左端：5 mm ± 3.0 mm **フィーダー** 先端：5 mm ± 4.5 mm 左端：5 mm ± 4.5 mm
用紙種類／坪量	**使用可能な用紙(P. 24)**
ウォームアップタイム *1	**主電源立ち上げ時** 14.0 秒以下 **スリープモードからの立ち上げ時** 5.3 秒以下
ファーストコピータイム （A4）	フルカラー：約 9.4 秒 白黒：約 8.3 秒
連続複写速度 *2	フルカラー：33 枚/分

(A4)	白黒：33 枚/分
原稿読み取り速度 (A4)	フルカラー：1.9 秒/枚 白黒：1.8 秒/枚
複写倍率	25 % ～ 400 %（1 %刻み）
給紙方式／給紙容量 *3	**給紙カセット × 1** 250 枚（64 g/m²、80 g/m²） はがき：50 枚 封筒：10 枚 **手差しトレイ** 50 枚（64 g/m²、80 g/m²） はがき：10 枚 封筒：5 枚
排紙方式／排紙容量 *3	**排紙トレイ** 150 枚（75 g/m²）
連続複写枚数	999 枚
電源	AC 100 V、7.3 A、50 Hz/60 Hz
消費電力 *1	**最大消費電力** 1,440 W **スリープモード時** 約 1.0 W（USB／有線 LAN／無線 LAN 接続） **電源スイッチ切断時** 0.3 W 以下
エネルギー消費効率 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値	61 kWh/年（区分名：複合機 a）
大きさ (幅×奥行×高さ)	425 mm × 461 mm × 430 mm
質量 (トナーカートリッジ除く)	**MF755Cdw II / MF753Cdw II** 約 22.0 kg **MF751Cdw II** 約 21.8 kg

機械占有寸法	425 mm × 917 mm × 910 mm（最大構成時） ※周囲は 100 mm 以上のスペースをあけてください。
メモリー容量	RAM：1 GB
使用環境	温度：10 ℃ ～ 30 ℃ 湿度：20 % ～ 80 %（相対湿度・結露しないこと）

*1 使用環境や使用条件によって異なる場合があります。

*2 A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です（コピーは原稿台使用時）。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、複合機本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

*3 設置環境や使用する用紙によって異なる場合があります。

フィーダーの仕様

AU03-00R

原稿送り装置の種類	自動両面原稿送り装置
原稿サイズ／種類	**原稿サイズ** 最大：215.9 mm × 355.6 mm 最小：48.0 mm × 85.0 mm **原稿坪量** 50 g/m² ～ 105 g/m²
原稿の収容可能枚数 （A4）	50 枚（80 g/m²）
原稿読み取り速度 （A4）	**コピー時（300 dpi × 600 dpi）** **片面読み取り** フルカラー：20 ページ/分 白黒：40 ページ/分 **両面同時読み取り** フルカラー：40 ページ/分 白黒：80 ページ/分 **スキャン時（300 dpi × 300 dpi）** *1 **片面読み取り** フルカラー：40 ページ/分 白黒：50 ページ/分 **両面同時読み取り** フルカラー：80 ページ/分 白黒：100 ページ/分

*1 使用環境や使用条件によって異なる場合があります。

プリントの仕様

AU03-00S

LIPS LX プリンター機能(P. 34)
CARPS2 プリンター機能(P. 34)
メモリーメディアプリント機能(P. 35)

LIPS LX プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	**使用可能な用紙(P. 24)**
連続プリント速度	本体の「連続複写速度」と同じ **基本仕様(P. 30)**
解像度	**データ処理** 1,200 dpi × 1,200 dpi、600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS LX
対応プロトコル	TCP/IP：LPD、Port9100、IPP、IPPS、WSD
内蔵フォント	なし
インターフェイス	**USB** USB 2.0 Hi-Speed **有線 LAN** 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T（IEEE 802.3 準拠） **無線 LAN** IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

CARPS2 プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	**使用可能な用紙(P. 24)**
連続プリント速度	本体の「連続複写速度」と同じ **基本仕様(P. 30)**

解像度	**データ処理** 600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	CARPS2
対応プロトコル	TCP/IP：LPD、Port9100、IPP、IPPS、WSD
内蔵フォント	なし
インターフェイス	**USB** USB 2.0 Hi-Speed **有線 LAN** 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T（IEEE 802.3 準拠） **無線 LAN** IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n

メモリーメディアプリント機能

プリント可能形式	PDF、TIFF/JPEG

スキャンの仕様

AU03-00U

形式	カラースキャナー
原稿読み取りサイズ	**原稿台ガラス** 本体の「複写原稿」と同じ **基本仕様(P. 30)** **フィーダー** フィーダーの「原稿サイズ／種類」と同じ **フィーダーの仕様(P. 33)**
解像度（最大）	600 dpi × 600 dpi
原稿読み取り速度	**原稿台ガラス** 本体の「原稿読み取り速度」と同じ **基本仕様(P. 30)** **フィーダー** フィーダーの「原稿読み取り速度」と同じ **フィーダーの仕様(P. 33)**
インターフェイス	**USB** USB 2.0 Hi-Speed **有線 LAN** 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T 共用（RJ-45） **無線 LAN** IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
対応プロトコル *1	FTP（TCP/IP）、SMB（TCP/IP）、SMTP、POP3、TCP/IP、USB
出力フォーマット *1	TIFF、JPEG（Single Page）、PDF（Compact、Searchable）、PDF（Encrypted、Digital Signature）

*1 機能によって使用できない形式があります。

ファクスの仕様

AU03-00W

適用回線 *1	一般加入電話回線、ファクシミリ通信網
走査線密度	**標準モード** G3：8 dot/mm × 3.85 ライン/mm **ファインモード** G3：8 dot/mm × 7.7 ライン/mm **スーパーファインモード** G3：8 dot/mm × 15.4 ライン/mm **ウルトラファインモード** G3：16 dot/mm × 15.4 ライン/mm
通信速度 *2	SuperG3：33.6 kbps G3：14.4 kbps
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
通信モード	SuperG3、G3
最大送信原稿サイズ	A4
記録紙サイズ	**使用可能な用紙(P. 24)**
電送時間	約 2.6 秒*3

*1 電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が 1,700 Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

*2 自動フォールバック機能付き。

*3 A4：自社原稿、標準モード、ECM（JBIG）送信時

ネットワークの仕様

AU03-00X

■共通

対応プロトコル	TCP/IP フレームタイプ：Ethernet II プリントアプリケーション：LPD、Raw、IPP、IPPS、WSD、Mopria、AirPrint、Windows10 Mobile Print、Windows11 Mobile Print

■有線 LAN

インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T 共用（RJ-45）

■無線 LAN

準拠規格	IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n
伝送方式	IEEE 802.11b（変調方式：DS-SS） IEEE 802.11g（変調方式：OFDM 方式） IEEE 802.11n（変調方式：OFDM 方式）
通信モード	インフラストラクチャーモード アクセスポイントモード
セキュリティー （暗号方式）	**インフラストラクチャーモード時** WPA-PSK（AES-CCMP） WPA2-PSK（AES-CCMP） WPA3-SAE（AES-CCMP） WPA-EAP（AES-CCMP） WPA2-EAP（AES-CCMP） WPA3-EAP（AES-CCMP） **アクセスポイントモード時** WPA2-PSK（AES-CCMP）

	WPA3-SAE（AES-CCMP）
設定方法	WPS（Wi-Fi Protected Setup）、手動設定

セキュリティー／管理機能の仕様

AU03-00Y

ファイアウォール(P. 40)
IPSec(P. 40)
鍵と証明書(P. 41)
「弱い暗号」の定義(P. 43)
TLS(P. 43)
ログの種類(P. 44)

ファイアウォール

- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 16 です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 32 です。

IPSec

本機の IPSec は RFC2401、RFC2402、RFC2406、RFC4305 に準拠しています。

対向機器の OS	Windows 8.1 Windows 10 Windows 11 *2024 年 10 月時点
接続モード	トランスポートモード
鍵交換プロトコル	IKEv1（メインモード）
	認証方式 事前共有鍵方式 電子署名方式
	ハッシュアルゴリズム（および鍵長） HMAC-SHA1-96 HMAC-SHA2（256 ビットまたは 384 ビット）
	暗号化アルゴリズム（および鍵長） 3DES-CBC AES-CBC（128 ビット、192 ビット、256 ビット）
	鍵交換アルゴリズム／グループ（および鍵長）

	Diffie-Hellman (DH) Group 14（2048 ビット） ECDH-P256（256 ビット） ECDH-P384（384 ビット）
ESP	**ハッシュアルゴリズム** HMAC-SHA1-96
	暗号 3DES-CBC AES-CBC（128 ビット、192 ビット、256 ビット）
	ハッシュ／暗号化アルゴリズム（および鍵長） AES-GCM（128 ビット、192 ビット、256 ビット）
AH	**ハッシュアルゴリズム** HMAC-SHA1-96

MEMO

- ユニキャストアドレス（単一の相手）に対する通信のみ対応しています。

鍵と証明書

本機が対応している鍵と証明書は以下のとおりです。

■自己生成鍵と自己署名証明書／CSR

公開鍵のアルゴリズム（および鍵長）	RSA（512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット） DSA（1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット） ECDSA（P256、P384、P521）
証明書の署名アルゴリズム	RSA：SHA-1[*1]、SHA-256、SHA-384[*2]、SHA-512[*2] DSA：SHA-1[*1] ECDSA：SHA-1[*1]、SHA-256、SHA-384、SHA-512
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

*1 リモート UI からのインストール時のみ使用できます。

*2 SHA384-RSA および SHA512-RSA は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にのみ使用できます。

■インストールする場合の鍵と証明書／CA 証明書

形式	**鍵** PKCS#12*1*2*3 **CA 証明書** X.509 DER 形式／PEM 形式*4
ファイルの拡張子	**鍵** 「.p12」、「.pfx」 **CA 証明書** 「.cer」、「.pem」
公開鍵のアルゴリズム（および鍵長）	RSA（512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット） DSA（1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット） ECDSA（P256、P384、P521）
証明書の署名アルゴリズム	RSA：SHA-1*3、SHA-256、SHA-384*5、SHA-512*5 DSA：SHA-1*3 ECDSA：SHA-1*3、SHA-256、SHA-384、SHA-512
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

*1 鍵に含まれている証明書は、CA 証明書の動作条件に準じます。

*2 証明書はファイルサイズが 16KB を越える場合は登録できません。

*3 リモート UI からのインストール時のみ使用できます。

*4 証明書はファイルサイズが 4KB を越える場合は登録できません。

*5 SHA384-RSA および SHA512-RSA は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にのみ使用できます。

MEMO

- 証明書失効リスト（CRL）には対応していません。

「弱い暗号」の定義

［暗号設定］の［弱い暗号の使用を禁止］を［ON］に設定した場合は、以下のアルゴリズムが使用禁止となります。**［暗号設定］(P. 623)**

ハッシュ	MD4、MD5、SHA-1
HMAC	HMAC-MD5
共通鍵暗号	RC2、RC4、DES
公開鍵暗号	RSA 暗号（512 ビット／1024 ビット） RSA 署名（512 ビット／1024 ビット） DSA（512 ビット／1024 ビット） DH（512 ビット／1024 ビット）



- ［暗号設定］の［弱い暗号の鍵/証明書禁止］を［ON］に設定しても、ルート証明書の署名に用いられるハッシュアルゴリズム SHA-1 は使用できます。

TLS

本機で使用できる TLS のバージョンとアルゴリズムの組み合わせは、以下のとおりです。

○：使用可　×：使用不可

アルゴリズム	**TLS のバージョン**			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
暗号化アルゴリズム				
AES-CBC (256bit)	×	○	○	○
AES-CBC (128bit)	×	○	○	○
AES-GCM (256bit)	○	○	×	×
AES-GCM (128bit)	○	○	×	×

アルゴリズム	TLS のバージョン			
	TLS 1.3	TLS 1.2	TLS 1.1	TLS 1.0
3DES-CBC	×	○	○	○
CHACHA20-POLY1305	○	×	×	×
鍵交換アルゴリズム				
RSA	×	○	○	○
ECDHE	○	○	○	○
X25519	○	×	×	×
署名アルゴリズム				
RSA	○	○	○	○
ECDSA	○	○	○	○
HMAC アルゴリズム				
SHA1	×	○	○	○
SHA256	○	○	×	×
SHA384	○	○	×	×

ログの種類

本機では以下のログを管理できます。収集したログは SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムに Syslog 送信できます。

ログの種類	「ログの種類」として記載される番号	概要
ユーザー認証ログ	4098	ユーザー認証の認証状況（ログイン／ログアウト、認証成功／失敗）、User Authentication で管理されているユーザー情報の登録／変更／削除に関するログです。
ジョブログ	1001	コピー／ファクス／スキャン／送信／プリントジョブの完了に関するログです。
送受信ログ	8193	送受信に関するログです。

ログの種類	「ログの種類」として記載される番号	概要
本体管理ログ	8198	本機の起動／終了、［メニュー］による設定変更などに関するログです。販売店または担当サービスが点検や修理中に、ユーザー情報やセキュリティーに関わる設定が変更された場合も、本体管理ログに記録されます。
ネットワーク認証ログ	8200	IPSec 通信に失敗した場合に記録されるログです。
一括エクスポート／インポートログ	8202	設定を一括エクスポート／一括インポートしたときのログです。
セキュリティーポリシーログ	8204	セキュリティーポリシーの設定状況に関するログです。
システムメンテナンスログ	8206	ファームウェアのアップデートなどに関するログです。

サポート環境

AU03-010

動作環境(P. 46)
対応ソフトウェア／サーバー(P. 46)

動作環境

WSD スキャン時のシステム環境	Windows 10 Windows 11 *2024 年 10 月時点
SEND 設定ツールの動作条件	Microsoft Edge Google Chrome
AirPrint の動作環境	**AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)**
リモート UI の動作環境 *1	**Windows** Microsoft Edge Google Chrome **macOS** Safari 11 Google Chrome **Android** Google Chrome UC Browser **iOS** Safari 11 UC Browser

*1 Web ブラウザーで Cookie と JavaScript を利用できるように設定する必要があります。

対応ソフトウェア／サーバー

メール／I ファクス転送用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Sendmail 8.15.2

	Office365 Google Workspace
メール／I ファクス受信用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 qpopper 4.1.0 Office365 Google Workspace
ファイル送信可能なファイルサーバー	**SMB** Windows 10 Windows 11 Windows Server 2016 Windows Server 2019 Windows Server 2022 Windows Server 2025 macOS Ventura macOS Sonoma macOS Sequoia CentStream8 **FTP** Windows 10 / Windows 11 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022 / Windows Server 2025：Internet Information Services 10 Cent OS Stream 8
使用可能な LDAP サーバー	Windows Server 2016 with Active Directory Windows Server 2019 with Active Directory Windows Server 2022 with Active Directory Windows Server 2025 with Active Directory

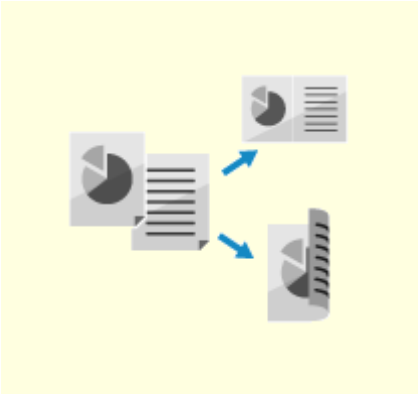
おすすめ機能

AU03-011

文書の管理／共有の簡易化や、用紙／電力の節約、操作性の向上など、目的や課題の解決に役立つおすすめの機能を紹介します。



文書の電子化(P. 49)



コスト削減(P. 50)



操作の効率化(P. 51)

文書の電子化

AU03-012

紙の文書を電子化することで、劣化や保管スペース確保の心配がなくなり、パソコンやモバイル機器で確認／操作できるようになります。

スキャンによる紙の文書の電子化

スキャン機能を使用すると、書類や写真などをスキャンし、データに変換して保存／送信できます。

スキャンする(P. 248)



スキャン時の設定により、用途に合わせたデータ化ができます。文字をテキストとして検索できる PDF 形式に変換したり、データをページごとに分割して保存したりできます。

スキャンの設定(P. 283)

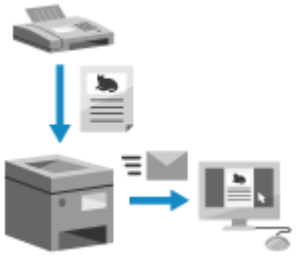
ファクス文書の電子化

受信したファクスを電子化したり、パソコンから直接ファクスを送信したりできます。本機と離れた場所にいても、タイムリーにファクスを確認したり、ファクスを送信したりできます。

受信したファクスをデータ化して転送／保存

指定したパソコンやモバイル機器などに、受信したファクスを自動的に転送／保存することができます。

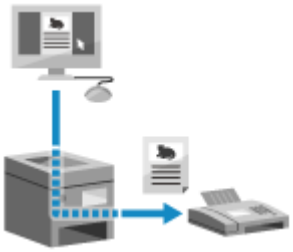
受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)



ファクスをパソコンから送信

文書や写真をプリントする要領で、パソコンから直接ファクスを送信できます。

パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)
AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)



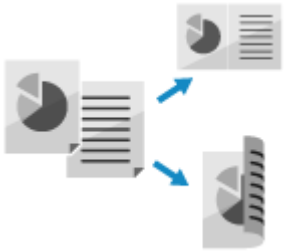
コスト削減

AU03-013

本機で使用する用紙や電力、ファクスの通信費を節約します。

用紙の節約

プリントで節約



用紙の両面にプリントしたり、複数のページを 1 枚の用紙にプリントしたりできます。

パソコンからプリントする(P. 223)
USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント(P. 234)

ファクスで節約

受信したファクスをすぐにプリントしないで、一時的に本機のメモリーに保存したり、自動的に転送したりします。ファクスの内容を確認してから、必要なファクスのみプリントできます。

受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)
受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

受信したファクスを用紙の両面にプリントできます。

受信したファクスのプリント設定を変更する(P. 318)

コピーで節約

用紙の両面にコピーしたり、複数の原稿やカード類の表裏を 1 枚の用紙にコピーしたりできます。

いろいろなコピー(P. 334)
ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(P. 341)

用紙枚数の制限／管理

本機を使用するユーザーまたはグループに「部門 ID」を割り当てることで、部門 ID ごとにプリント／コピーするページ数を管理できます。

部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理(P. 384)

節電

本機を使用しないときは、「スリープモード」にすることで、消費電力を抑えることができます。電源は切れていないため、すぐに操作を再開したりファクスを受信したりできます。

消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)

ファクス通信費の削減



送信先／送信元の機器が I ファクスに対応している場合は、インターネット回線を使用することで、通常よりもコストを抑えてファクスを送受信できます。

インターネットファクスを使う - I ファクス(P. 323)

操作の効率化

AU03-014

パソコンが使用できない環境でも、プリントやデータ共有ができます。また、履歴の利用や画面のカスタマイズによって操作を効率化し、本機の占有時間を短縮できます。

パソコンを介さずにプリント／データ共有

スマートフォン／タブレットのデータをプリント



本機と接続したモバイル機器から、アプリを使ってデータをプリントできます。ダイレクト接続にも対応しているため、無線 LAN ルーターを介することなく簡単な設定で接続できます。

モバイル／クラウド連携(P. 350)

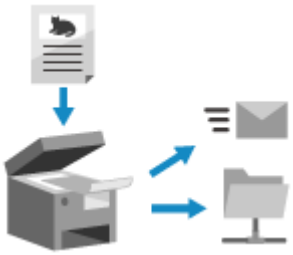
USB メモリーの活用



本機に USB メモリーを差し込み、操作パネルの画面に USB メモリー内のデータを表示してプリントできます。
スキャンしたデータを USB メモリーに保存すれば、ネットワーク環境にないパソコンでもデータを利用できます。

USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント (P. 234)
スキャンする - USB メモリーに保存(P. 271)

紙の文書をデータで保存／共有



文書をスキャンして、データをメールで送信したり、共有フォルダーに保存したりできます。本機の操作だけで、データを保存／共有できます。

スキャンする - メールで送信(P. 273)
スキャンする - 共有フォルダー／FTP サーバーに保存(P. 276)

タッチパネルですばやく操作

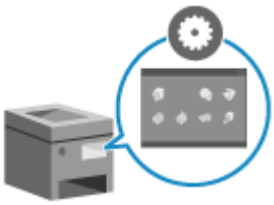
履歴を利用して再送信



スキャンやファクスの送信履歴を呼び出して、過去に指定した宛先に再送信できます。宛先と一緒にそのときの設定内容も呼び出されるため、再設定の手間も省けます。

宛先を指定する - 送信履歴(P. 193)

操作パネルを使いやすくカスタマイズ



［ホーム］画面のボタンを、使いやすい配置に並べ替えることができます。

［ホーム］画面をカスタマイズする(P. 135)

スキャン／ファクス／コピー機能では、よく使う設定を登録してすばやく実行したり、機能を呼び出したときの標準となる初期設定を変更したりできます。

▶よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)
▶初期設定を変更する(P. 200)

便利な機能をワンタッチで実行



アプリケーションライブラリを使用すると、「いつもの文書をプリントする」「消耗品情報を確認する」などの操作をボタン 1 つで実行できます。
この機能を使用するには、リモート UI のポータル画面で［アプリケーションライブラリ］をクリックして、アプリケーションを設定する必要があります。▶リモート UI のポータル画面(P. 468)
詳細については、アプリケーションライブラリのユーザーズガイドを参照してください。
アプリケーションライブラリ

セットアップ

セットアップ 54
初期設定をする - 設定ナビ 55
リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定 58
ネットワークの設定 64
有線 LAN／無線 LAN を選択する 66
有線 LAN に接続する 67
無線 LAN に接続する 68
ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式 70
PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式 71
ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式 73
詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式 75
IPv4 アドレスを設定する 77
IPv6 アドレスを設定する 79
使用するネットワーク環境に合わせる 81
Ethernet を手動で設定する 82
DNS を設定する 83
SMB を設定する 86
WINS を設定する 88
LDAP サーバーを登録する 89
SNMP を設定する 93
SNTP を設定する 96
SLP 通信を設定する 98
ネットワークの接続状況や設定を確認する 100
ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ 103
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール 107

セットアップ

AU03-015

本機を設置したあと、各機能を使用できる状態にするために必要な設定を行います。

本機の初期設定
初めて本機の電源を入れると、本機を使用するために必要な項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って設定します。
初期設定をする - 設定ナビ(P. 55)

ネットワークの設定
パソコンから本機を操作したり、サーバーと連携したりするために、本機をネットワークに接続します。初期設定時にネットワークに接続しなかった場合は、ここで接続します。
ネットワークの設定(P. 64)

ファクスの設定
ファクスを使用するための項目を設定する画面（ファクス設定ナビ）で、ファクスの設定をします。初期設定時に設定しなかった場合は、ここで設定します。
ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ(P. 103)

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール
本機を使用するための各種ソフトウェアや、プリンター／ファクスなどのドライバーをパソコンにインストールします。初期設定時にインストールしなかった場合や、追加でインストールしたい場合に参照してください。
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)

■関連項目

不正アクセス防止対策の実施を検討する
本機をネットワーク環境で使用する場合、セキュリティーリスクへの対策が不可欠です。本機でできる対策の一例を確認します。
不正アクセス防止対策(P. 11)

利用できる機能を確認する
機種によって搭載されている機能が異なります。使用する機種で利用できる機能を確認しておきます。
対応機能／オプション一覧(P. 3)

本機の各機能を使用するために必要な設定をする
使用する機能によっては、上記以外にも設定が必要です。各機能で必要な設定については、以下を参照してください。
プリントの準備(P. 211)
スキャンの準備(P. 250)
モバイル／クラウド連携の準備(P. 352)

他機の設定データをインポートする
他機と設定内容を共有したり、登録や設定の手間を省いたりすることができます。同一機種のデータをパソコンに保存（エクスポート）して、そのデータを本機に読み込む（インポート）ことで設定を反映できます。
アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)

初期設定をする - 設定ナビ

AU03-016

初めて本機の電源を入れると、本機を使用するための項目を設定する画面（設定ナビ）が操作パネルに表示されます。画面の案内に従って、以下の手順で設定します。

Step 1：日付時刻を設定する(P. 55)
Step 2：リモート UI の設定をする(P. 55)
Step 3：色補正を行う(P. 56)
Step 4：本機をネットワークやパソコンに接続する(P. 57)
Step 5：ドライバーのインストールやリモート UI による初期設定をする(P. 57)



- 設定ナビを使用して設定できるのは、初回起動時の 1 回のみです。設定ナビで設定した内容を、あとから変更したい場合などは、Step 1 ～ Step 4 の各項目を個別に設定します。各項目の設定の詳細については、以下を参照してください。
  日付／時刻を設定する(P. 463)
  管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)
  リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)
  階調を補正する(P. 664)
  ネットワークの設定(P. 64)

Step 1：日付時刻を設定する

日付／時刻情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

1 ［現在日時の設定］画面で、日付／時刻を入力し、［確定］を押す

➠ 日付時刻が設定され、リモート UI の確認画面が表示されます。
機種によっては、リモート UI の確認画面が表示されません。リモート UI の確認画面が表示されない場合は、Step 3 へ進みます。 **Step 3：色補正を行う(P. 56)**

Step 2：リモート UI の設定をする

リモート UI とは、パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更などを行ったりする機能です。
リモート UI への不正アクセスを防止するために、管理者 ID やリモート UI のパスワードを設定します。

1 リモート UI の確認画面で、［はい］を押す

重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」を使用する場合は、管理者 ID を設定します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**
管理者 ID をあとで設定する場合は、［いいえ］を押して手順 2 へ進みます。

■管理者 ID を設定する場合

［管理者モードの設定］画面で［はい］を押し、画面の案内に従って管理者 ID と管理者暗証番号を設定します。

- 管理者 ID／管理者暗証番号には、任意の数字を設定します。「00」や「0000000」など、0 だけの ID／管理者暗証番号は設定できません。
- 管理者暗証番号には、「7654321」以外の任意の数字を設定します。「00」や「0000000」など、0 だけの暗証番号は設定できません。

2 ［一般ユーザーモードの設定］画面で、［はい］を押す

リモート UI のパスワードを知っているユーザーだけがリモート UI を使用できる状態にします。

3 リモート UI のパスワードを入力し、［確定］を押す

任意の半角英数字を設定します。「0000」など、0 だけの暗証番号は設定できません。

4 同じパスワードを入力し、［確定］を押す

➡［設定しました。］と表示されたあと、色補正の確認画面が表示されます。

Step 3：色補正を行う

色補正を実行することで、コピー時の色の再現性を高めます。
よりよいコピー結果を得るために、色補正することをおすすめします。

必要な準備

- 以下の用紙を給紙カセットにセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**
  - 用紙サイズ：A4 またはレター
  - 用紙種類：普通紙 1～普通紙 3／再生紙 1～再生紙 2／薄紙のいずれか

1 色補正の確認画面で、［はい］を押す

［いいえ］を押した場合は、Step 4 に進みます。 **Step 4：本機をネットワークやパソコンに接続する(P. 57)**

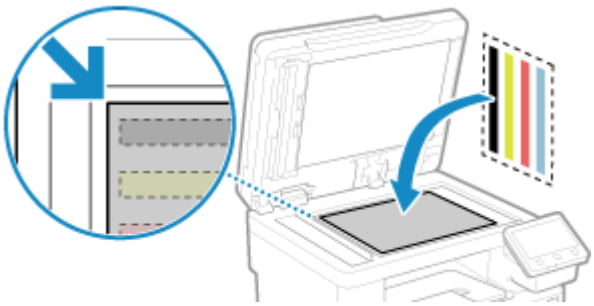
2 給紙カセットに用紙がセットされていることを確認し、［OK］を押す

3 操作手順を確認し、［開始］を押す

➡補正画像（補正に使用する画像）がプリントされます。

4 原稿台ガラスに、補正画像がプリントされた用紙をセットする

1. フィーダーを開ける
2. 用紙の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせ、ヨコ置きにセットする



補正画像のプリント面を下にして、黒の帯を奥側にしてセットします。

3 フィーダーをゆっくり閉める

5 ［読込開始］を押す

➡色補正が実行されます。
色補正が完了すると、［終了しました。］と表示されたあと、［接続方法選択］画面が表示されます。

6 原稿台ガラスから、補正画像がプリントされた用紙を取り除く

Step 4：本機をネットワークやパソコンに接続する

1 ［接続方法選択］画面で、接続方法を選択する

- あとで設定する場合は［今は接続しない］を押します。
設定ナビが終了して［ホーム］画面が表示されます。 **［ホーム］画面(P. 124)**
- 必要に応じて、ネットワークの設定やドライバーのインストール、リモート UI から初期設定を行ってください。
ネットワークの設定(P. 64)
パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)
リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定(P. 58)

2 画面の指示に従って、設定を行う

➡設定が完了すると、ドライバーインストールと初期設定の画面が表示されます。

Step 5：ドライバーのインストールやリモート UI による初期設定をする

1 本機の画面の指示に従って、パソコンでドライバーのインストールを行う

ドライバーのインストールをしない場合は、［終了］を押して、手順 3 に進みます。

2 ドライバーのインストールが完了したら、［終了］を押す

➡［ホーム］画面が表示されます。 **［ホーム］画面(P. 124)**

3 リモート UI から初期設定を行う **リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定(P. 58)**

リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定

AU03-017

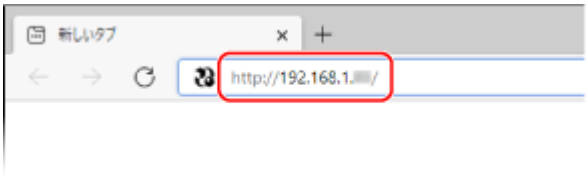
パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、リモート UI や、ファクス、スキャン、Web サービス利用の初期設定を行います。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

必要な準備

- リモート UI の動作環境を確認します。 **サポート環境(P. 46)**
- リモート UI を起動するパソコンと本機をネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
- 本機の IP アドレスを確認します。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/



➠［パスワードの設定］画面が表示されます。

- 本機のネットワーク接続後、15 分以内にアクセスした場合のみ表示されます。
- リモート UI のログイン画面が表示された場合は、管理者モードでログインします。
  リモート UI のパスワードを設定していない場合は、本機でパスワードの設定をします。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)**

IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

入力例：
http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/

■リモート UI のログイン画面が表示されない場合

［リモート UI にアクセスできません。］などのメッセージが表示されて、ログイン画面が表示されない場合は、以下を参照してください。
リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない(P. 750)

2 画面の指示に従ってログインに必要なパスワードを設定し、［OK］をクリックする

➠［初期設定］画面が表示されます。

※表示されない場合は、ポータル画面で［初期設定］をクリックします。

3 ［ファクス設定］をクリックして、ファクスの設定をする

ファクス設定をしない場合は手順 4 に進みます。

■［ファクス設定ナビ］

ファクスを使用するための項目を設定します。

1 ［ファクス設定ナビ］をクリックする

➡［登録情報の入力］画面が表示されます。

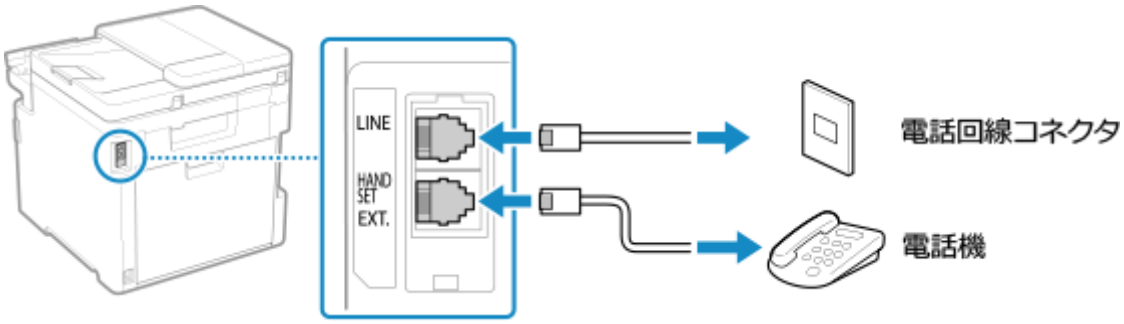
2 本機のファクス番号と、ユーザー略称（名前や会社名）を入力し、［次へ］をクリックする

3 ［受信モードの設定］画面で、画面に表示される質問に対して［はい］／［いいえ］を選択する

4 設定される受信モードを確認し、［次へ］をクリックする

➡［電話線の接続］画面が表示されます。

5 付属の電話コードを、本機の電話回線端子（LINE）と壁側の電話回線コネクタに接続する



電話機を外付け電話機用端子（HAND SET / EXT.）に接続します。

- ファクス機能付きの電話機を接続する場合は、電話機側のファクス自動受信設定を無効にします。
- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。

6 ［完了］をクリックする

7 ［終了］をクリックする

➡［ファクス設定］画面が表示されます。
［ファクス設定］を終了し、次の手順へ進む場合は、続けて［［初期設定］画面へ］をクリックします。

■ ［メール転送設定］

受信したファクスを、メールアドレスに転送するための設定をします。

1 ［メール転送設定］をクリックする

2 表示されるメッセージを確認し、［OK］をクリックする

➡［メール転送設定］画面が表示されます。

3 使用するサーバーの情報を入力し、［次へ］をクリックする

［SMTP サーバー］

メール送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

［メールアドレス］

本機のメールアドレスを半角英数字で入力します。

［POP サーバー］

送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、POP3 サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合
pop.example.com

［ユーザー名］

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワード]

POP3 サーバーの認証で使用するパスワードを設定する場合は、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

- [SMTP 接続確認] または [POP 接続確認] をクリックすると、各サーバーに接続できるかどうかを確認できます。

4 転送の設定を入力し、[次へ] をクリックする

[メールアドレス]

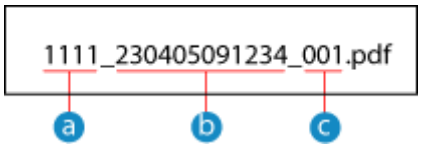
転送先のメールアドレスを半角英数字で入力します。

[名称 (任意)]

必要に応じて、任意の文字列を入力します。

[ファイル名 (任意)]

必要に応じて、任意の文字列を入力します。
PDF ファイルは以下のファイル名で送信／保存されます。



a 通信管理番号

b 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

[ファイル名 (任意)] に文字列を入力すると、上記ファイル名の先頭に指定した文字列が付きます。

5 [設定完了] 画面で、[終了] をクリックする

➠ [ファクス設定] 画面が表示されます。
[ファクス設定] を終了し、次の手順へ進む場合は、続けて [[初期設定] 画面へ] をクリックします。

■ [フォルダー保存設定]

受信したファクスを、共有フォルダーに保存するための設定をします。

1 [フォルダー保存設定] をクリックする

2 表示されるメッセージを確認し、[OK] をクリックする

➠ [フォルダー保存設定] 画面が表示されます。

3 フォルダーの情報を入力し、[次へ] をクリックする

[名称 (任意)]

必要に応じて、任意の文字列を入力します。

[フォルダーへのパス]

共有フォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

入力例：共有フォルダーが C ドライブの [ユーザー] ▶ [パブリック] ▶ [share] フォルダー (C:\users\public\share) の場合
users\public\share

入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、ファイルの初回保存時に、入力した名前のフォルダーが作成されます。

※ただし、親フォルダーも存在しない場合や、親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず、送信エラーになります。

[ユーザー名]

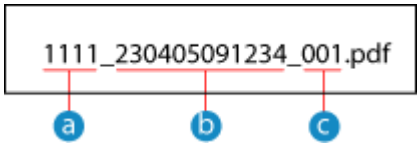
共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、アクセスに使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワード]

共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、アクセスに使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[ファイル名 (任意)]

必要に応じて、任意の文字列を入力します
PDF ファイルは以下のファイル名で送信／保存されます。



a 通信管理番号

b 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

［ファイル名 (任意)］に文字列を入力すると、上記ファイル名の先頭に指定した文字列が付きます。

4 ［設定完了］画面で、［終了］を押す

➠［ファクス設定］画面が表示されます。
［ファクス設定］を終了し、次の手順へ進む場合は、続けて［［初期設定］画面へ］をクリックします。

4 ［スキャン設定］をクリックして、スキャンの設定をする

スキャン設定をしない場合は、手順 5 に進みます。

■ ［メール送信設定］

スキャンした原稿をメールで送信するための設定をします。

1 ［メール送信設定］をクリックする

➠［メール送信設定］画面が表示されます。

2 使用するサーバーの情報を入力し、［次へ］をクリックする

[SMTP サーバー]

メール送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

[メールアドレス]

本機のメールアドレスを半角英数字で入力します。

[POP サーバー]

送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、POP3 サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合
pop.example.com

[ユーザー名]

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワード]

POP3 サーバーの認証で使用するパスワードを設定する場合は、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

- ［SMTP 接続確認］または［POP 接続確認］をクリックすると、各サーバーに接続できるかどうかを確認できます。

3 ［設定完了］画面で、［終了］を押す

➠［スキャン設定］画面が表示されます。
［スキャン設定］を終了し、次の手順へ進む場合は、続けて［［初期設定］画面へ］をクリックします。

■［フォルダー保存設定］

スキャンした原稿を、共有フォルダーに保存するための設定をします。

1 ［フォルダー保存設定］をクリックする

➠［フォルダー保存設定］画面が表示されます。

2 フォルダーの情報を入力し、［次へ］をクリックする

[名称 (任意)]

必要に応じて、任意の文字列を入力します。

[フォルダーへのパス]

共有フォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

入力例：共有フォルダーが C ドライブの［ユーザー］▶［パブリック］▶［share］フォルダー（C:\users\public\share）の場合
users\public\share

入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、ファイルの初回保存時に、入力した名前のフォルダーが作成されます。

※ただし、親フォルダーも存在しない場合や、親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず、送信エラーになります。

[ユーザー名]

共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、アクセスに使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワード]

共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、アクセスに使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[登録先]

短縮ダイヤルを指定し、3 桁の番号も入力します。

※短縮ダイヤルとは、アドレス帳から直接呼び出せる 3 桁の番号が付けられた宛先です。

3 ［設定完了］画面で、［終了］を押す

➡［スキャン設定］画面が表示されます。
［スキャン設定］を終了し、次の手順へ進む場合は、続けて［［初期設定］画面へ］をクリックします。

5 ［Web サービス利用設定］をクリックして、Web サービスの利用設定をする

キヤノンのクラウド連携サービスを利用するかどうかを設定します。Web サービスの利用設定をしない場合は、手順 6 に進みます。

1 メッセージを確認して、［同意します］をクリックする

2 ［次へ］をクリックする

3 ［設定完了］画面で、メッセージを確認して［終了］をクリックする

➡接続に失敗した場合は、本機とネットワークの設定を確認します。**ネットワークの設定(P. 64)**

4 ［［初期設定］画面へ］をクリックする

➡［初期設定］画面が表示されます。

6 ［閉じる］をクリックする

➡リモート UI のポータル画面が表示されます。

※メッセージが表示された場合は、［OK］をクリックしたあと、本機を再起動します。**再起動する(P. 116)**

ネットワークの設定

AU03-018

パソコンから本機を操作したり、サーバーと連携したりするために、本機をネットワークに接続します。
以下の流れで、本機をネットワークに接続し、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。

ネットワークの設定を行うには、管理者権限が必要です。
機種によっては、初期設定で「管理者 ID」と「管理者暗証番号」が設定されています。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

重要

- 適切なセキュリティー対策が行われていないネットワークに接続すると、本機で扱う情報が第三者に漏えいするおそれがあります。 **ネットワークの保護(P. 397)**

■ネットワーク設定前の準備

- 本機の使用環境に応じて、LAN ケーブルやルーターを用意します。
- 本機を使用するネットワーク環境の情報や、必要なネットワークの設定を確認します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワーク内で使用するパソコンとルーターが正しく接続されていることを確認し、ネットワーク設定を完了させます。接続方法については、それぞれの機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

■ネットワーク設定の流れ

Step 1

有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用するか選択してから、ネットワークに接続します。

有線 LAN に接続する場合

有線 LAN／無線 LAN を選択する(P. 66)
有線 LAN に接続する(P. 67)

無線 LAN に接続する場合

有線 LAN／無線 LAN を選択する(P. 66)
無線 LAN に接続する(P. 68)

▼

Step 2

IP アドレスを設定します。

- 初期設定では、有線 LAN／無線 LAN 接続時に自動的に設定されます。
- 特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

※手動で設定する際、IPv6 アドレスの一部の項目は、操作パネルでは設定できません。操作パネルで IPv4 アドレスを設定してから、リモート UI で IPv6 アドレスを設定することをおすすめします。

▼

Step 3	必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて本機の設定をします。 **使用するネットワーク環境に合わせる(P. 81)** ※一部の項目は、操作パネルでは設定できません。Step 3 はリモート UI から設定することをおすすめします。

■ネットワーク設定後の確認

ネットワークに適切に接続されているかどうかを確認します。
必要に応じて、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報なども確認します。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)

有線 LAN／無線 LAN を選択する

AU03-019

有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用して本機をネットワークに接続するかを設定します。
有線 LAN を無線 LAN に切り替える場合は、無線 LAN に接続する手順内で設定することもできます。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**
※有線 LAN と無線 LAN は同時に使用できません。

この設定は、操作パネルを使用して行います。操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］からも設定できます。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ ］または［ ］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠［ネットワーク］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

2 ［有線 LAN / Wi-Fi 選択］を押す

3 ［有線 LAN］または［Wi-Fi］を選択する

➠［設定しました。］とメッセージが表示されます。
続いて、有線 LAN または無線 LAN に接続します。
有線 LAN に接続する(P. 67)
無線 LAN に接続する(P. 68)

重要

有線 LAN と無線 LAN を切り替えた場合

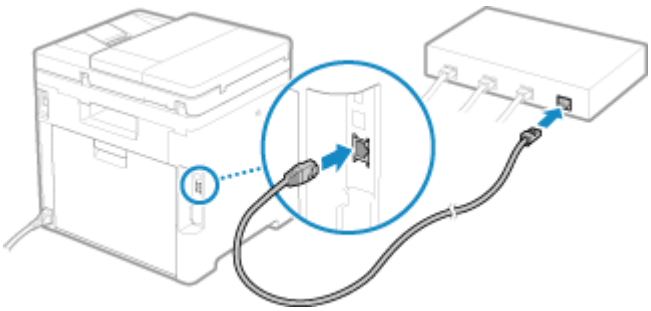
- すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおす必要があります。
  ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

有線 LAN に接続する

AU03-01A

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。本機とルーターとの接続には LAN ケーブルを使用します。

1 LAN ケーブルを本機とルーターに接続する



➠ 有線 LAN 接続中は、［ホーム］画面や各機能の画面に［ ］が表示されます。

コネクタがポートにしっかりと収まるよう、カチッと音がするまで差し込みます。

2 そのまま数分間待つ

➠ 初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

無線 LAN に接続する

AU03-01C

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介して、本機とパソコンを接続します。
使用する無線 LAN ルーターによって接続方式／セキュリティー規格が異なります。無線 LAN ルーターと本機の両方が対応している接続方式／セキュリティー規格を確認し、接続方式に応じた手順で接続します。
接続方式によっては、無線 LAN ルーターのセキュリティー情報などの入力が必要となります。

本機が対応している接続方式／セキュリティー規格の確認(P. 68)
接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報(P. 69)

重要

セキュリティーで保護されたネットワーク環境で接続する

- 無線通信に使用する電波は、一定の範囲内であれば壁などの障害物を越えてしまいます。そのため、適切なセキュリティーで保護されていないネットワークに接続した場合は、個人情報などが第三者に漏えいするおそれがあります。本機を無線 LAN に接続する場合は、お客様ご自身の判断と責任において使用してください。 **ネットワークの保護(P. 397)**

MEMO

消費電力を抑える

- パワーセーブモードを設定すると、無線 LAN ルーターが送信する信号に合わせて定期的に本機を節電状態にします。 **［パワーセーブモード］(P. 515)**

本機が対応している接続方式／セキュリティー規格の確認

■接続方式

使用する無線 LAN ルーターが対応している方式で接続します。認証や暗号化などセキュリティー方式を詳細に指定する場合は、手動入力方式で接続します。
本機が対応している接続方式は以下のとおりです。

プッシュボタン方式 - WPS



無線 LAN ルーターの外装箱、または機器本体のボタンに上記のマークが表記されている場合は、ボタン操作で簡単に接続できます。
ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式(P. 70)

WPS PIN コード方式

プッシュボタン方式に対応していない WPS 対応ルーターを使用する場合は、PIN コードを入力して接続します。
PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式(P. 71)

アクセスポイント選択方式

無線 LAN ルーターを本機から探索し、ネットワークキーを手動で入力して接続します。
ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式(P. 73)

アクセスポイント選択方式で接続すると、WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式は AES-CCMP に設定されます。
異なる暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。

手動入力方式

SSID やネットワークキーの情報のほか、暗号化方式など、無線 LAN の設定をすべて手動で入力して接続します。
詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式(P. 75)

■セキュリティー規格

本機の無線 LAN は、以下のセキュリティー規格に対応しています。使用する無線 LAN ルーターが対応しているかどうかについては、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA3-SAE
- WPA-EAP
- WPA2-EAP
- WPA3-EAP

接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報

アクセスポイント選択方式または手動入力方式で接続する場合は、以下の情報を設定する必要があります。
これらの情報は無線 LAN ルーター本体などに表記されています。詳しくは、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

SSID
無線 LAN ルーターを識別するための名前です。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」などと表記されることもあります。

ネットワークキー
データの暗号化に使用されるキーワード、またはネットワークの認証時に使用されるパスワードです。「暗号化キー」、「WPA/WPA2/WPA3 パスフレーズ」、「PSK」、「事前共有キー」などと表記されることもあります。

セキュリティー規格
手動入力方式で接続する場合に必要です。以下の情報を確認しておきます。

セキュリティー規格

- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPA3-SAE
- WPA-EAP
- WPA2-EAP
- WPA3-EAP

WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式

- AES-CCMP
- IEEE 802.1X 認証

ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式

AU03-01E

無線 LAN ルーターが WPS のプッシュボタン方式に対応している場合は、本機の操作パネルでの操作と、無線 LAN ルーターのボタン操作だけで簡単に接続できます。

無線 LAN の接続には、管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［Wi-Fi 設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりませんでした。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］を押します。

2 ［その他の接続］を押す

3 ［WPS プッシュボタン方式］を選択する

➡ アクセスポイントの探索が開始されます。

4 探索開始後 2 分以内に、無線 LAN ルーターのボタンを押す

無線 LAN ルーターによってはボタンを長押しします。

※ボタンの操作方法については、使用している無線 LAN ルーターのマニュアルを参照してください。

5 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を押す

➡ 無線 LAN 接続中は、［ホーム］画面や各機能の画面に［ ］が表示されます。

6 そのまま数分間待つ

➡ 初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

MEMO

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- ［閉じる］を押し、手順 2 から操作しなおします。

PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式

AU03-01F

無線 LAN ルーターが WPS PIN コード方式に対応している場合は、本機で生成した PIN コードを無線 LAN ルーターに登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。

無線 LAN の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- パソコンなどから無線 LAN ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを登録できる状態にします。
  ※WPS PIN コードの登録方法については、使用している無線 LAN ルーターのマニュアルを参照してください。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［Wi-Fi 設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

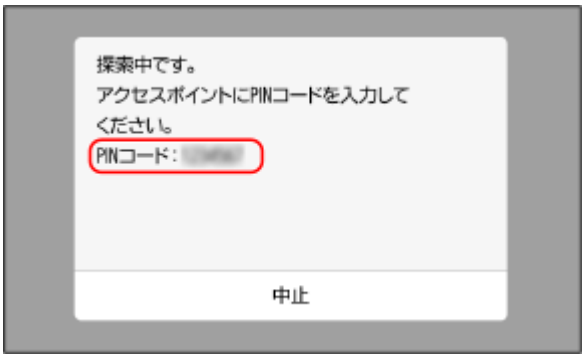
➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりませんでした。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］を押します。

2 ［その他の接続］を押す

3 ［WPS PIN コード方式］を押す

➡PIN コードが生成されます。



この画面が表示されてから 10 分以内に、WPS PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する必要があります。

4 パソコンなどから無線 LAN ルーターにアクセスし、WPS PIN コードを無線 LAN ルーターに登録する

5 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を押す

➡無線 LAN 接続中は、［ホーム］画面や各機能の画面に［ ］が表示されます。

6 そのまま数分間待つ

➡初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)



操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- ［閉じる］を押し、手順 2 から操作しなおします。

ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式

AU03-01H

接続する無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を本機から探索し、ネットワークキーを入力して接続します。
アクセスポイント選択方式で接続すると、WPA/WPA2/WPA3 の暗号化方式は AES-CCMP に設定されます。
異なる暗号化方式を指定する場合は、手動入力方式で接続します。 **詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式(P. 75)**

無線 LAN の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- 接続する無線 LAN ルーターの情報（SSID やネットワークキー）を手元に用意します。 **接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報(P. 69)**
- セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の無線 LAN ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 410)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［Wi-Fi 設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりませんでした。］というメッセージが表示された場合は、無線 LAN ルーターが探索できる状態かどうか確認します。 **無線 LAN に接続できない(P. 718)**

2 接続する無線 LAN ルーターの SSID を選択する

➡ネットワークキーの入力画面が表示されます。
セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の無線 LAN ルーターの場合は、［接続には「IEEE 802.1X 設定」の設定値が適用されます。］というメッセージが表示されます。［OK］を押し、手順 4 に進みます。

接続する無線 LAN ルーターが見つからない場合は、無線 LAN ルーターが探索できる状態かどうか確認します。 **無線 LAN に接続できない(P. 718)**

3 ネットワークキーを入力し、［確定］を押す

4 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を押す

➡無線 LAN 接続中は、［ホーム］画面や各機能の画面に［ ］が表示されます。

5 そのまま数分間待つ

➡初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。

IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

MEMO

操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- ［閉じる］を押し、接続する無線 LAN ルーターの情報（SSID やネットワークキー）を確認して、手順 2 から操作しなおします。

詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式

AU03-01J

SSID／ネットワークキー／セキュリティー設定など、無線 LAN ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。

無線 LAN の接続には、管理者権限が必要です。

必要な準備

- 接続する無線 LAN ルーターの情報を手元に用意します。 **接続時に必要な無線 LAN ルーターの情報(P. 69)**
- セキュリティー規格が WPA-EAP または WPA2-EAP の無線 LAN ルーターに接続する場合は、IEEE 802.1X を設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 410)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［Wi-Fi 設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

- ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**
- ［Wi-Fi を有効にしますか?］というメッセージが表示された場合は、［はい］を押します。
- ［アクセスポイントが見つかりませんでした。］というメッセージが表示された場合は、［閉じる］を押します。

2 ［その他の接続］を押す

3 ［ネットワーク名 (SSID) 手動入力］を押す

➡SSID の入力画面が表示されます。

4 SSID を入力し、［確定］を押す

➡［セキュリティー設定］画面が表示されます。

5 セキュリティー規格を選択し、認証や暗号化の設定をする

■WPA-PSK、WPA2-PSK または WPA3-SAE を使用する場合

1. 無線 LAN ルーターのセキュリティー設定に合わせて、［WPA / WPA2 - PSK］、［WPA2 - PSK / WPA3 - SAE］または［WPA3 - SAE］を選択する
2. ネットワークキーを入力し、［確定］を押す

■WPA-EAP または WPA2-EAP を使用する場合

［WPA / WPA2 - EAP］▶［OK］を押します。

■セキュリティーを設定しない場合

［なし］を押します。

6 操作パネルの画面に、［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を押す

➠ 無線 LAN 接続中は、［ホーム］画面や各機能の画面に［ ］が表示されます。

7 そのまま数分間待つ

➠ 初期設定では、IP アドレスが自動的に設定されます。
特定の IP アドレスを使用する場合は、手動で設定します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)



操作中にエラーメッセージが表示され、接続できなかった場合

- ［閉じる］を押し、接続する無線 LAN ルーターの情報を確認して、手順 2 から操作しなおします。

IPv4 アドレスを設定する

AU03-01K

IPv4 アドレスの設定は、DHCP を使用して自動的に割り当てる方法と、手動で入力する方法があります。
初期設定では、有線 LAN／無線 LAN に接続したときに、自動的に IPv4 アドレスが設定されますが、使用環境や用途によっては手動で設定／変更します。

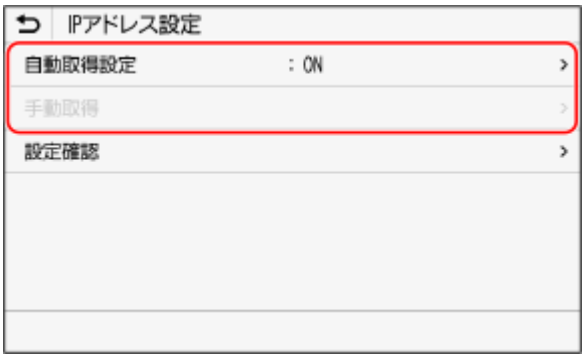
ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
IPv4 アドレスを設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv4 設定］▶［IP アドレス設定］を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 IP アドレスを設定する



■IP アドレスを手動で設定する場合

1 ［自動取得設定］を押す

➡［自動取得設定］画面が表示されます。

2 ［自動取得］を［OFF］に設定し、［確定］▶［OK］を押す

➡［IP アドレス設定］画面が表示されます。

3 ［手動取得］を押す

➡IP アドレスの入力画面が表示されます。

4 IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレスを入力し、［確定］を押す

■IP アドレスを自動的に割り当てる場合

1 ［自動取得設定］を押す

➡［自動取得設定］画面が表示されます。

2 ［自動取得］を［ON］に設定する

3 必要に応じて、自動取得の設定をする

［プロトコル選択］

通常は［DHCP］に設定します。ただし、DHCP が使用できない環境で［DHCP］を設定すると、ネットワーク内で自動取得の確認を続けるため、不要な通信が発生します。DHCP を使用しない場合は、［OFF］に設定します。

［Auto IP］

通常は［ON］に設定します。DHCP で取得された IP アドレスが優先されますが、DHCP から応答がない場合などに Auto IP が使用されます。

4 ［確定］を押す

4 ［OK］を押す

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡ 設定が反映されます。
IPv4 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**

MEMO

現在設定されている IP アドレスを確認する

- 手順 3 の画面で［設定確認］を押すと、現在の IP アドレスの設定を確認できます。IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切に設定されていません。

プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- Windows の場合は、使用しているポートによって必要な対応が異なります。
  - MFNP ポートを使用している場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続が維持されるため、パソコン側での対応は不要です。
  - 標準 TCP/IP ポートを使用している場合は、新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 215)**

  使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
  プリンターポートを確認する(P. 802)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

IPv6 アドレスを設定する

AU03-01L

IPv6 環境では、以下の複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。

- **リンクローカルアドレス**
  同一リンク内のみ使用できるアドレスです。ルーターを越える範囲の通信には使用できません。
  IPv6 アドレスの使用を有効にすると、自動的に設定されます。
- **ステートレスアドレス**
  ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。
  本機の再起動または電源 ON 時に破棄されます。
- **手動アドレス**
  IP アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを、手動で入力するアドレスです。
- **ステートフルアドレス**
  DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得するアドレスです。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。**［IPv6 設定］(P. 517)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 本機に IPv4 アドレスを設定します。**IPv4 アドレスを設定する(P. 77)**

重要

- IPv6 環境では、スキャンしてパソコンに保存する機能は使用できません。

1 リモート UI に管理者モードでログインする**リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする**リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［ネットワーク設定］▶［IPv6 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IPv6 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［IP アドレス設定］で、［IPv6 を使用する］にチェックマークを付ける

5 使用する IPv6 アドレスを設定する

■ステートレスアドレスを使用する場合
［ステートレスアドレスを使用する］にチェックマークを付けます。

■手動アドレスを使用する場合

［手動アドレスを使用する］にチェックマークを付け、IP アドレス／プレフィックス長／デフォルトルーターアドレスを入力します。

※マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）は入力できません。

■ステートフルアドレスを使用する場合

［DHCPv6 を使用する］にチェックマークを付けます。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

IPv6 アドレスが適切に設定されているか確認するために、接続テストをします。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**



プリンタードライバーのインストール後に IP アドレスを変更した場合

- 新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 215)**

使用するネットワーク環境に合わせる

AU03-01R

ネットワークの規模や形態は、目的／用途によってさまざまです。本機は多くの環境に適合するよう、多様な技術を採り入れています。
必要に応じて、使用するネットワーク環境に合わせて設定します。

Ethernet を手動で設定する(P. 82)
DNS を設定する(P. 83)
SMB を設定する(P. 86)
WINS を設定する(P. 88)
LDAP サーバーを登録する(P. 89)
SNMP を設定する(P. 93)
SNTP を設定する(P. 96)
SLP 通信を設定する(P. 98)

■関連項目

不正アクセスや盗聴などの脅威を低減するため、ネットワーク環境に合わせてセキュリティーに関する設定を行うことをおすすめします。
ネットワークの保護(P. 397)



IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用

- IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 410)**

Ethernet を手動で設定する

AU03-01S

有線 LAN に接続した場合、初期設定では、Ethernet の通信方式や種類が自動検出されるため、そのまま使用できます。使用環境によっては、周辺機器の設定などに合わせて、Ethernet の設定を変更する必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［Ethernet ドライバー設定］(P. 511)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［Ethernet ドライバー設定］▶［編集］をクリックする

➠［Ethernet ドライバー設定の編集］画面が表示されます。

4 ［自動検出する］のチェックマークを外す

5 通信方式を選択する

通常は［全二重］を選択します。接続するルーターが半二重通信に設定されている場合は、［半二重］を選択します。

6 Ethernet の種類を選択し、［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠設定が反映されます。

DNS を設定する

AU03-01U

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS サーバーの情報や DHCP オプションを設定します。
DNS を導入していない場合でも、mDNS（multicast DNS）を設定することで、DNS の機能を使用できます。mDNS は Bonjour などで使用されています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。**［TCP/IP 設定］(P. 516)**
管理者権限が必要です。設定する項目によっては、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- IPv6 の DNS を設定する場合は、IPv6 アドレスを使用するように設定します。**IPv6 アドレスを設定する(P. 79)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［IPv4 設定］または［IPv6 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IPv4 設定の編集］画面または［IPv6 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［DHCP オプション設定］で、DHCP オプションの設定をする

DHCP オプションを設定しない場合は、手順 5 に進みます。

有効にする項目にチェックマークを付けます。

［ホスト名を取得する］（IPv4 のみ）
DHCP サーバーからホスト名（オプション 12）を取得します。

［DNS の動的更新をする］（IPv4 のみ）
本機に代わって DHCP サーバーがホスト名の対応付けの情報（オプション 81）を自動更新します。

［DNS サーバーアドレスを取得する］
DHCP サーバーから DNS サーバーアドレス（IPv4 はオプション 6／IPv6 はオプション 23）を取得します。

［ドメイン名を取得する］
DHCP サーバーからドメイン名（IPv4 はオプション 15／IPv6 はオプション 24）を取得します。

［WINS サーバーアドレスを取得する］（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから WINS サーバーアドレス（オプション 44）を取得します。

［SMTP サーバーアドレスを取得する］（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから SMTP サーバーアドレス（オプション 69）を取得します。

[POP サーバーアドレスを取得する]（IPv4 のみ）
DHCP サーバーから POP3 サーバーアドレス（オプション 70）を取得します。

5 [DNS 設定]で、DNS サーバーの情報を設定する

- 設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。パソコンの設定を参考にすることもできます。 **パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)**
- DNS サーバーの情報を設定しない場合は、手順 6 に進みます。

[プライマリー DNS サーバーアドレス]
DNS サーバーの IP アドレスを入力します。
※IPv6 の場合は、マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）は入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]
セカンダリー DNS サーバーを使用している場合は、その IP アドレスを入力します。
※IPv6 の場合は、マルチキャストアドレス（「ff」で始まるアドレス）は入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]（IPv6 のみ）
IPv4 で設定したホスト名とドメイン名を IPv6 でも使用する場合は、チェックマークを付けます。
IPv6 のホスト名とドメイン名を個別に設定する場合は、チェックマークを外し、[ホスト名]と[ドメイン名]を入力します。

[ホスト名]
DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]
本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します。
入力例：
example.com

[DNS の動的更新をする]
DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新する場合は、チェックマークを付けます。

DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定する場合（IPv6 のみ）

登録したいアドレスの種類に応じて、[手動アドレスを登録する]／[ステートフルアドレスを登録する]／[ステートレスアドレスを登録する]にチェックマークを付けます。

更新間隔を指定する場合

[DNS の動的更新間隔]に、自動更新する間隔を入力します。

6 [mDNS 設定]で、mDNS の設定をする

mDNS を設定しない場合は、手順 7 に進みます。

IPv4 の場合
mDNS を使用する場合は、[mDNS を使用する]にチェックマークを付け、mDNS 名を入力します。

IPv6 の場合

mDNS を使用する場合は、［mDNS を使用する］にチェックマークを付け、IPv4 と同じ mDNS 名を使用するかどうかを設定します。

- IPv4 で設定した mDNS 名を IPv6 でも使用する場合は、［IPv4 と同じ mDNS 名を使用する］にチェックマークを付けます。
- IPv6 の mDNS 名を個別に設定する場合は、［IPv4 と同じ mDNS 名を使用する］のチェックマークを外し、mDNS 名を入力します。

7 ［OK］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠ 設定が反映されます。

SMB を設定する

AU03-01W

本機では、スキャンデータを共有フォルダーに保存する場合などに、通信プロトコルの SMB を使用します。ネットワーク環境によっては、本機のコンピューター名とワークグループ名を設定したり、本機を SMB クライアントとして接続するときの設定をしたりする必要があります。

コンピューター名とワークグループ名を設定する(P. 86)
SMB クライアントの設定をする(P. 86)

コンピューター名とワークグループ名を設定する

ネットワーク上で本機を識別するための名前であるコンピューター名と、本機が所属するワークグループ名を設定します。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] ▶ [コンピューター名/ワークグループ名設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [コンピューター名/ワークグループ名設定の編集] 画面が表示されます。

4 本機のコンピューター名とワークグループ名を入力し、[OK] をクリックする

半角英数字で入力します。

■WINS を導入している環境の場合

- [NetBIOS を使用する] にチェックマークを付けます。
- アスタリスク（*）で始まる名前は WINS サーバーに登録できません。

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡ 設定が反映されます。

SMB クライアントの設定をする

SMB サーバー（共有フォルダーがあるパソコンなど）に接続するときの設定や、使用する SMB バージョンを設定します。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] ▶ [SMB クライアント設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [SMB クライアント設定の編集] 画面が表示されます。

4 SMB サーバーに接続するときの設定をし、[OK] をクリックする

[認証タイプ]

SMB サーバーの認証プロトコルに合わせて、チェックマークを付けます。

[接続には SMB 署名を必要とする]

SMB サーバー接続時に、SMB パケット署名を要求する場合は、チェックマークを付けます。

[接続には暗号化を必要とする]

SMB v3.0/v3.1 暗号化通信に対応した SMB サーバーにのみ接続する場合は、チェックマークを付けます。

[タイムアウト]

SMB サーバーが応答するまでの待ち時間を入力します。

※スキャンデータの保存などが完了する前にタイムアウトになる場合は、待ち時間を長く設定します。

5 [ネットワーク設定] ▶ [SMB クライアントのバージョン指定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [SMB クライアントのバージョン指定の編集] 画面が表示されます。

6 接続する SMB サーバーと同じバージョンにチェックマークを付ける

SMB サーバーに接続するときの設定で、[接続には暗号化を必要とする] にチェックマークを付けた場合は、[3.0] と [3.1] にチェックマークを付けます。

7 [OK] をクリックする

➡ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

WINS を設定する

AU03-01X

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。
WINS を使用するには、WINS サーバーを指定します。IPv6 環境では使用できません。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［WINS 設定］(P. 520)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- コンピューター名とワークグループ名を設定します。 **コンピューター名とワークグループ名を設定する(P. 86)**
- WINS サーバーの IPv4 アドレスを手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［ネットワーク設定］▶［WINS 設定］▶［編集］をクリックする

➠［WINS 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［WINS による名前解決する］にチェックマークを付ける

5 WINS サーバーの IPv4 アドレスを入力し、［OK］をクリックする

DHCP サーバーから WINS サーバーの IPv4 アドレスを取得した場合は、取得したアドレスが優先されます。 **DNS を設定する(P. 83)**

6 本機を再起動する **再起動する(P. 116)**

➠設定が反映されます。

LDAP サーバーを登録する

AU03-01Y

宛先の検索や送信時の認証に LDAP サーバーを使用する場合は、LDAP サーバーの情報を本機に登録します。検索用と認証用にそれぞれ最大 5 つの LDAP サーバーを登録できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- LDAP サーバーをホスト名で指定する場合は、DNS サーバーが利用できることを確認します。
- LDAP サーバーを IP アドレスで指定する場合は、利用する DNS サーバーの正引き／逆引きの対応状況を確認します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする ▶リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［LDAP サーバー設定］をクリックする

➡［LDAP サーバー設定］画面が表示されます。

4 ［LDAP サーバー(検索用)］または［LDAP サーバー(認証用)］の［新規登録］をクリックする

➡［新規 LDAP サーバー(検索用)の登録］画面、または［新規 LDAP サーバー(認証用)の登録］画面が表示されます。

5 サーバー名とサーバーアドレスを設定する

- ［サーバー名］に、LDAP サーバーを識別するための名前を入力します。
- ［サーバーアドレス］に、LDAP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を半角英数字で入力します。
  入力例：ホスト名の場合
  ldap.example.com
- ［接続確認］をクリックすると、LDAP サーバーに接続できるかどうかを確認できます。

6 必要に応じて、検索開始位置／TLS の使用／ポート番号を設定する

［検索開始位置］

ディレクトリー情報ツリー（DIT）の検索開始位置を指定します。

- Active Directory のドメイン名のドット区切りされた各文字列に「DC=」を付加し、カンマで区切って入力します。
  入力例：ドメイン名が「john.example.com」の場合
  DC=john,DC=example,DC=com
- 省略した場合は、自動で任意の位置から検索を開始します。

[TLS を使用する]

LDAP サーバーとの通信を TLS で暗号化する場合は、チェックマークを付けます。

- 検索用の LDAP サーバーの場合は、手順 8 の［ログイン情報］で、［使用する］または［使用する(セキュリティー認証)］を選択したときのみ有効です。
- 認証用の LDAP サーバーの場合は、手順 8 の［ログイン情報］で、［使用する］を選択したときのみ有効です。

[ポート番号]

LDAP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

7 必要に応じて、タイムアウトするまでの時間や属性を設定する

■検索用の LDAP サーバーの場合

[検索のタイムアウト]

検索開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

■認証用の LDAP サーバーの場合

[認証/属性取得のタイムアウト]

認証／属性の取得開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

[ユーザー名の属性]

認証時に入力されたユーザー名との比較に使用する属性名を半角英数字で入力します。

入力例：
sAMAccountName

※手順 8 の［ログイン情報］で、［使用する(セキュリティー認証)］を選択する場合は、入力不要です。

[メールアドレスの属性]

認証サーバーからメールアドレス取得時に使用する属性名を半角英数字で入力します。

入力例：
mail

8 LDAP サーバーへのログイン情報を設定する

■検索用の LDAP サーバーの場合

[ログイン情報]
LDAP サーバーの認証に、ログイン情報を使用するかどうかを設定します。

- ［使用する］または［使用する(セキュリティー認証)］を選択した場合は、ユーザー名やパスワードを設定します。
- 認証パスワードに kerberos プロトコルで取得したデータを使用する場合は、［使用する(セキュリティー認証)］を選択します。本機と LDAP サーバーの時刻を同期する必要があります。
- 手順 5 の［サーバーアドレス］で、IP アドレスを設定した場合は、利用する DNS サーバーの対応状況に合わせて以下のとおり選択します。
- DNS サーバーが正引きだけに対応している場合は、［使用しない］または［使用する］を選択します。
- ［使用する(セキュリティー認証)］を選択する場合は、DNS サーバーが逆引きに対応していることを確認します。

[検索時に認証画面を表示する]

検索時にユーザー名とパスワードを入力する認証画面を表示するかを設定します。

- 認証画面を表示する場合は、チェックマークを付けます。
- ここで設定したユーザー名とパスワードを使用して認証する場合は、チェックマークを外します。

[送信操作開始時の認証情報を引き継ぐ]

ファクス／スキャン機能を使用するときに認証済みの場合、その認証情報を検索時に使用するかどうかを設定します。
[検索時に認証画面を表示する] にチェックマークを付けると、連動してチェックマークが付きます。

[ユーザー名]

LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名を半角英数字や記号で入力します。

- [ログイン情報] で、[使用する] を選択した場合は、「(Windows のドメイン名) \ (Windows のユーザー名)」の形式で入力します。
  入力例：
  example\user1
- [ログイン情報] で、[使用する(セキュリティー認証)] を選択した場合は、Windows のユーザー名を入力します。
  入力例：
  user1

[パスワードを設定/変更する]

パスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

[ドメイン名]

[ログイン情報] で、[使用する(セキュリティー認証)] を選択した場合は、Active Directory のディレクトリーツリー名を半角英数字で入力します。

入力例：
example.com

■認証用の LDAP サーバーの場合

[ログイン情報]
LDAP サーバーの認証に、管理者 ID と kerberos プロトコルで取得したデータのどちらを使用するかを設定します。

- 管理者 ID を使用する場合は、[使用する] を選択します。
- 認証パスワードに kerberos プロトコルで取得したデータを使用する場合は、[使用する(セキュリティー認証)] を選択します。本機と LDAP サーバーの時刻を同期する必要があります。
- 手順 5 の [サーバーアドレス] で、IP アドレスを設定した場合は、利用する DNS サーバーの対応状況に合わせて以下のとおり選択します。
- DNS サーバーが正引きだけに対応している場合は、[使用する] を選択します。
- [使用する(セキュリティー認証)] を選択する場合は、DNS サーバーが逆引きに対応していることを確認します。

[管理者 ID を使用する]

[ログイン情報] で、[使用する] を選択した場合は、管理者 ID を使用して認証するかどうかを設定します。
管理者 ID を使用する場合は、チェックマークを付け、ユーザー名やパスワードを設定します。チェックマークを外すと、anonymous（ユーザー名なし）でログインします。

[ユーザー名]

LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名を、半角英数字や記号で「(Windows のドメイン名) \ (Windows のユーザー名)」の形式で入力します。

入力例：

example\user1

［パスワードを設定/変更する］

パスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

［ドメイン名］

［ログイン情報］で、［使用する(セキュリティー認証)］を選択した場合は、Active Directory のディレクトリーツリー名を半角英数字で入力します。

入力例：
example.com

9 LDAP サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する

- 証明書を検証する場合は、［LDAP サーバーアクセス時の証明書確認］の［LDAP サーバーへのアクセス時に証明書を確認する］にチェックマークを付けます。
- 検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、［CN を検証項目に追加する］にもチェックマークを付けます。

10 ［OK］をクリックする

➠ LDAP サーバーが登録されます。

11 リモート UI からログアウトする



登録済みのサーバー情報を編集する

- ［LDAP サーバー設定］画面の［登録されている LDAP サーバー］で、編集したいサーバー名をクリックすると、登録内容を編集できます。

SNMP を設定する

AU03-020

SNMP（Simple Network Management Protocol）は、MIB と呼ばれる管理情報データベースにアクセスして、ネットワーク上の通信機器を監視／制御するためのプロトコルです。本機の使用目的や環境に合わせて設定します。
本機は SNMPv1 と SNMPv3 に対応しています。両方を併用することもできます。Trap 通知には対応していません。
SNMP 管理ソフトウェアを導入している環境の場合は、そのソフトウェアを使用してパソコンから本機の設定／監視／制御ができます。詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

SNMPv1
コミュニティー名と呼ばれる情報で通信範囲を決定します。コミュニティー名は平文でネットワークに送信されるため、セキュリティー面では脆弱です。セキュリティーを優先する場合は、SNMPv1 を無効にして SNMPv3 を使用します。SNMPv1 を無効にすると、プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

SNMPv3
SNMPv3 用のユーザー情報を使用して通信します。ユーザー情報には、認証や暗号化の設定ができるため、強固なセキュリティー体制でネットワーク上の通信機器を監視／制御できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、SNMPv1/SNMPv3 の使用を有効にするかどうかのみです。 **［SNMP 設定］(P. 509)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- SNMPv3 の設定をする場合は、TLS を有効にします。 **TLS を使用する(P. 403)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［SNMP 設定］▶［編集］をクリックする

➠［SNMP 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［SNMPv1 設定］で、SNMPv1 の設定をする

■SNMPv1 を使用する場合

1 ［SNMPv1 を使用する］にチェックマークを付ける

2 コミュニティーの設定をする

- コミュニティーごとに、MIB アクセス権限（MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限）を設定できます。

- SNMPv1 と SNMPv3 を併用する場合は、MIB アクセス権限を［読込のみ］に設定することをおすすめします。SNMPv1 で［読込/書込］（フルアクセス権限）を設定するとほぼすべての操作が可能となるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティー機能を有効利用できなくなります。

コミュニティー名の設定をする場合

［コミュニティー名 1 を使用する］または［コミュニティー名 2 を使用する］にチェックマークを付け、コミュニティー名と MIB アクセス権限を設定します。
コミュニティー名は半角英数字で入力します。

専用コミュニティーの設定をする場合

専用コミュニティーとは、キヤノンのデバイス管理ソフトウェア用に用意されたコミュニティーです。
専用コミュニティーを使用する場合は、［専用コミュニティーを使用する］にチェックマークを付け、MIB アクセス権限を設定します。
※詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

■SNMPv1 を使用しない場合

［SNMPv1 を使用する］のチェックマークを外します。

5 ［SNMPv3 設定］で、SNMPv3 を設定する

■SNMPv3 を使用する場合

1. ［SNMPv3 を使用する］にチェックマークを付ける
2. ［ユーザー設定 1］／［ユーザー設定 2］／［ユーザー設定 3］で、［このユーザーを有効にする］にチェックマークを付ける
3. ユーザーの設定をする

［ユーザー名］

ユーザー名を半角英数字で入力します。

［MIB アクセス権限］

指定したユーザーごとに、MIB のオブジェクトへの読み込み／書き込みの権限を設定します。
読み込み／書き込みの両方を許可する場合は、［読込/書込］を選択します。

［セキュリティー設定］

認証と暗号化の有無の組み合わせを選択します。

［認証アルゴリズム］

［セキュリティー設定］で、［認証あり/暗号化あり］／［認証あり/暗号化なし］を選択した場合は、使用環境に合わせて認証アルゴリズムを選択します。
パスワードを設定する場合は［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［認証パスワード］と［確認入力］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

［暗号化アルゴリズム］

［セキュリティー設定］で、［認証あり/暗号化あり］を選択した場合は、使用環境に合わせて暗号化アルゴリズムを選択します。
パスワードを設定する場合は［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［暗号化パスワード］と［確認入力］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

■SNMPv3 を使用しない場合

［SNMPv3 を使用する］のチェックマークを外します。

6 ［プリンター管理情報取得設定］で、情報を取得するか設定する

プロトコルやポートなど、本機のプリンター管理情報を定期的に取得する場合は、［ホストからプリンター管理情報を取得する］にチェックマークを付けます。

7 ［OK］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

MEMO

ポート番号を変更する

- SNMP のポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。
  ポート番号を変更する(P. 401)

SNTP を設定する

AU03-021

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻情報を取得する場合は、SNTP（Simple Network Time Protocol）を設定します。SNTP を設定すると、一定間隔でタイムサーバーを確認して時刻を調整するため、本機の時刻を正確に保つことができます。本機は、NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 協定世界時（UTC）を基準に時刻を調整するため、タイムゾーンを設定します。 **日付／時刻を設定する(P. 463)**
- NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］ ［SNTP 設定］ ［編集］をクリックする

➡［SNTP 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［SNTP を使用する］にチェックマークを付ける

5 ［NTP サーバー名］に、NTP/SNTP サーバーの IP アドレスを入力する

DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN を入力することもできます。

入力例：
ntp.example.com

6 ［ポーリング間隔］に、サーバーを確認して時刻を調整する間隔を入力する

7 ［OK］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

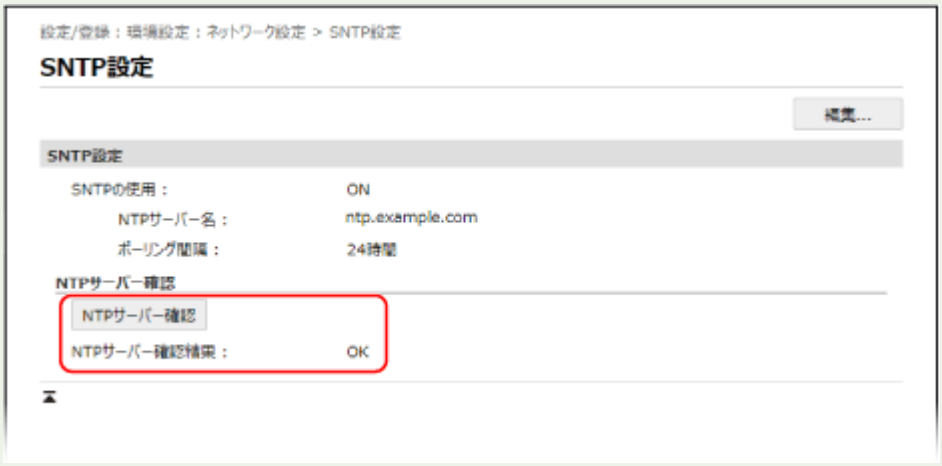
➡設定が反映されます。

MEMO

NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認する

- 以下の手順で確認します。正しく通信できている場合は、［NTP サーバー確認結果］に［OK］と表示されます。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ネットワーク設定］ ▶ ［SNTP 設定］ ▶ ［NTP サーバー確認］をクリック



※通信状況を確認するのみで、時刻は調整されません。

SLP 通信を設定する

AU03-022

SLP（Service Location Protocol）を使用して通信を行うソフトウェアを導入している環境で本機を使用する場合は、必要に応じて SLP 通信の設定をします。
※設定が必要かどうかは、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を手元に用意します。
- SLP 通信パケットを通過させるルーターの数を確認しておきます。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] [マルチキャスト探索設定] [編集] をクリックする

[マルチキャスト探索設定の編集] 画面が表示されます。

4 [探索応答する] にチェックマークを付け、スコープ名を入力し、[OK] をクリックする

スコープ名には、本機を所属させるスコープの名前を半角英数字で入力します。

5 [ネットワーク設定] [スリープ通知設定] [編集] をクリックする

[スリープ通知設定の編集] 画面が表示されます。

6 [通知する] にチェックマークを付ける

本機の電源状態がソフトウェアに通知されます。スリープモード中の不要な通信の削減や、総消費電力の抑制などにつながります。

7 スリープ通知の設定をする

[ポート番号]

ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を入力します。

[通過させるルーター数]

SLP 通信パケットが最大で何台のルーターを通過できるかを入力します。

[通知間隔]

本機の電源状態を通知する間隔を入力します。

8 [OK] をクリックする

9 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠ 設定が反映されます。

ネットワークの接続状況や設定を確認する

AU03-023

ネットワークに適切に接続されているか確認するために、ネットワーク内の機器と通信できるか接続テストをします。
リモート UI を使用する場合や、ファイアウォールを設定する場合などは、本機の IP アドレスや MAC アドレスの情報が必要です。これらの現在の設定内容を確認します。

ネットワーク内の機器に接続できるか確認する(P. 100)
本機の IP アドレスを確認する(P. 101)
有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 101)
無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 102)

MEMO

- IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合は、適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 79)
- IP アドレスが適切に設定されていても、本機をスイッチングハブなどに接続していると、ネットワークに接続できないことがあります。その場合は、通信開始までの待機時間を設定して接続しなおします。**［起動時の接続待機時間］(P. 511)**
- 管理者データリストをプリントして、ネットワークの設定内容を確認することもできます。**レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)**

ネットワーク内の機器に接続できるか確認する

ネットワークに接続されているパソコンの Web ブラウザーに、本機の IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを入力します。リモート UI のログイン画面が表示された場合は、正しく接続されています。**リモート UI を起動する(P. 465)**

IPv4 アドレスの場合は、以下の手順で操作パネルから PING コマンドを実行して、ネットワーク内の機器に接続できるか確認することもできます。

必要な準備

- 接続するネットワーク内の機器の IPv4 アドレスを手元に用意します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す**［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［IPv4 設定］▶［PING コマンド］を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。**管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 ネットワーク内の機器の IPv4 アドレスを入力し、［確定］を押す

➡正しく接続できた場合は、［ホストから応答がありました。］と表示されます。

本機の IP アドレスを確認する

本機の IPv4/IPv6 アドレスなどの設定内容を確認します。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［ネットワーク情報］▶［IPv4］または［IPv6］を押す

3 設定を確認する



IPv6 の場合は、確認したい項目を選択すると、各項目の設定内容が表示されます。

有線 LAN の MAC アドレスを確認する

有線 LAN 接続時の本機の MAC アドレスを確認します。

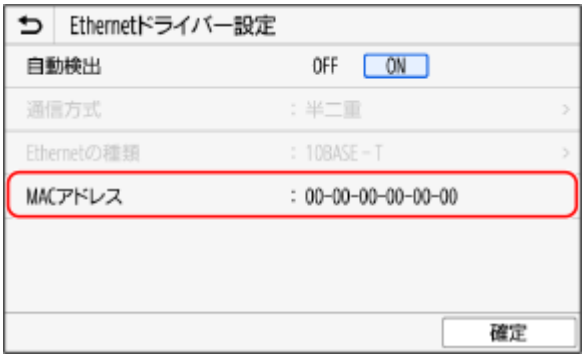
ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［Ethernet ドライバー設定］を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 MAC アドレスを確認する



無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する

無線 LAN 接続時の本機の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティーに関する設定なども確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［Wi-Fi 設定］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➡［ネットワーク選択］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

2 ［接続設定］▶［接続情報］を押す

3 MAC アドレスや設定内容を確認する

- ［最新のエラー情報］を押すと、無線 LAN 接続に関するエラー情報が表示されます。
- ［セキュリティー設定］を押すと、暗号化方式や暗号化キーが表示されます。

MEMO

［状況確認］画面から確認する

- 無線 LAN の状態とエラー情報は、以下の手順で確認することもできます。

操作パネルの［ホーム］画面など ▶ ［状況確認］ ▶ ［ネットワーク情報］ ▶ ［ネットワーク接続方式］

ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ

AU03-024

操作パネルの［ホーム］画面で初めて［ファクス］を押すと、ファクスを使用するための項目を設定する画面（ファクス設定ナビ）が表示されます。画面の案内に従って、以下の手順でファクスの設定をします。

ファクス設定ナビで行った設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

Step 1：ファクス設定ナビを開始する(P. 103)
Step 2：ファクス番号とユーザー略称を登録する(P. 103)
Step 3：受信モードを設定する(P. 104)
Step 4：電話回線に接続する(P. 105)

Step 1：ファクス設定ナビを開始する

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ファクス］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［ファクス設定ナビ］画面が表示されます。

■［ファクス設定ナビ］画面が表示されない場合

［ホーム］画面の［ファクス］を押しても［ファクス設定ナビ］画面が表示されない場合や、ファクス設定ナビでファクスの再設定をしたい場合は、以下の手順で［ファクス設定ナビ］画面を表示します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［共通］▶［ファクス設定ナビ］

2 ［設定する］▶［次へ］を押す

➡［ユーザー電話番号の登録］画面が表示されます。

Step 2：ファクス番号とユーザー略称を登録する

本機のファクス番号とユーザー略称（名前や会社名）を登録します。これらの情報は、送信先でファクスの内容と併せてプリントされます。
ユーザー略称は、あとで変更することもできます。**ファクス番号／ユーザー略称を変更する(P. 299)**

1 ［ユーザー電話番号の登録］画面で、本機のファクス番号を入力し、［確定］を押す

➡［設定しました。］と表示されたあと、ユーザー略称の登録を案内する画面が表示されます。

2 ［次へ］を押す

➡［ユーザー略称の登録 (ファクス)］画面が表示されます。

3 名前や会社名を入力し、［確定］を押す

➡［設定しました。］と表示されたあと、［受信モードの設定］画面が表示されます。

Step 3：受信モードを設定する

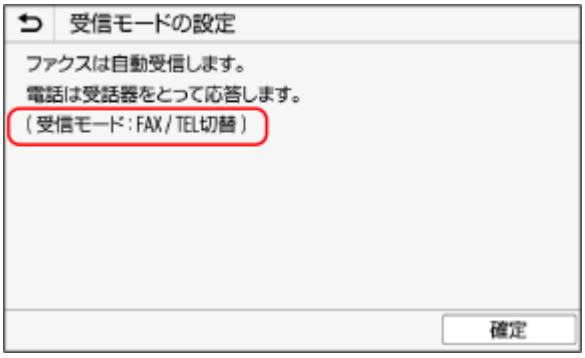
画面に表示される質問に回答することで、適切な受信モードに設定されます。

1 ［受信モードの設定］画面で、［次へ］を押す

2 画面に表示される質問に対して、［はい］／［いいえ］を押して回答する

➠質問に対する回答がすべて終了すると、設定される受信モードが画面に表示されます。

3 設定される受信モードを確認する



各受信モードは、以下のとおり動作します。

［FAX/TEL 切替］

ファクスも電話も使用できます。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話します。

［自動受信］

ファクス専用で使用します。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきても通話はできません。

［留守 TEL 接続］

ファクスも電話も使用できます。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、留守番電話機の機能を利用して録音されます。録音前に受話器を取れば通話できます。

  ※呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ったあとで録音機能が起動するように、留守番電話機を設定しておきます。

  ※留守番メッセージを録音する際は、最初の 4 秒間程度を無音状態にするか、もしくは全体の長さを 20 秒以内にすることをおすすめします。

［手動受信］

ファクスも電話も使用できます。

- 相手がファクスと電話のどちらの場合でも、呼び出し音が鳴ります。
- 受話器を取り、「ピー」という音が聞こえたときは、ファクスを手動で受信します。 **ファクスを受信する (P. 316)**

- 呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するように設定しておくこともできます。**[自動受信切替](P. 597)**

4 [確定]を押す

➡[電話線の接続]画面が表示されます。

Step 4：電話回線に接続する

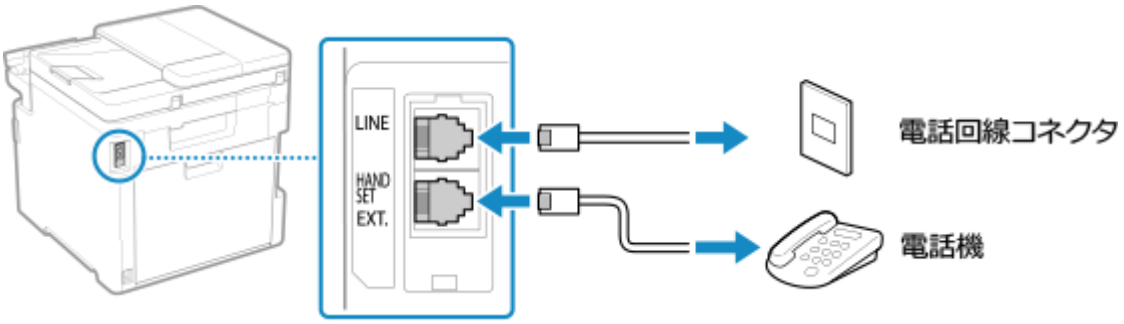
付属の電話コードを使用して、本機を電話回線に接続します。
電話機を使用する場合は、本機に接続します。

重要

- 本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみに接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると、故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。また、光回線（ひかり電話）やADSLに接続する場合は、光回線やIP電話の事業者にお問い合わせください。

  ※電話回線の種類がわからない場合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

1 付属の電話コードを、本機の電話回線端子（LINE）と壁側の電話回線コネクタに接続する



電話機を、外付け電話機用端子（HAND SET / EXT.）に接続します。

- ファクス機能付きの電話機を接続する場合は、電話機側のファクス自動受信設定を無効にします。
- 接続する電話機の種類によっては、発信や着信が正常にできないことがあります。

2 [電話線の接続]画面で、[終了]を押す

➡ファクス設定ナビの終了確認画面が表示されます。

3 [はい]▶[OK]を押す

4 本機を再起動する **再起動する(P. 116)**

➡ファクス設定ナビで行った設定が反映され、電話回線の種類が自動的に設定されます。

MEMO

電話回線の種類が自動的に設定されない場合

- 本機を構内交換機（PBX）に接続したり、ホームテレホンやビジネスホンが接続されている回線に接続したりすると、電話回線の種類が自動的に設定されず、ファクスを送信できないことがあります。その場合は、回線の種類を手動で設定します。**［回線種類の選択］(P. 588)**

受話器が外れたままになっているときに警告音を鳴らす

- 電話機を接続している場合に、受話器が外れたままになっているとき、警告音を鳴らすように設定できます。

  リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［オフフックアラームする］にチェックマークを付け、音量を選択 ▶ ［OK］

  操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。**［オフフックアラーム］(P. 587)**

パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール

AU03-025

プリント／リモートスキャン／PC ファクスなど、本機の機能を使用するパソコンに、関連ソフトウェアや各種ドライバーをインストールします。
インストールは、本機にオプション機器を取り付けてから実行します。

インストール方法

キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトで動作環境などを確認の上、最新版のソフトウェア／ドライバーをダウンロードしてインストールします。
https://canon.jp/download/

※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

インストール方法の詳細については、オンラインマニュアルサイトでソフトウェア／ドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

注意／制限事項

動作環境について

- OS によっては、一部対応していないソフトウェア／ドライバーがあります。最新の OS の対応状況については、キヤノンホームページで確認できます。
  https://canon.jp/download/
- 機種や使用環境によっては、ソフトウェア／ドライバーの一部の機能が使用できないことがあります。

本機のファイアウォールが設定されている場合

本機を使用するパソコンは、本機との通信が許可されている必要があります。通信が許可されていないパソコンの場合は、ソフトウェア／ドライバーをインストールすることや、本機の機能を使用することができません。 **ファイアウォールを設定する(P. 398)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- Windows の場合は、使用しているポートによって必要な対応が異なります。
  - MFNP ポートを使用している場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続が維持されるため、パソコン側での対応は不要です。
  - 標準 TCP/IP ポートを使用している場合は、新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 215)**

  使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
  プリンターポートを確認する(P. 802)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

MEMO

ソフトウェア／ドライバーをインストールせずに本機の機能を使用する（macOS のみ）

- macOS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、ソフトウェアやドライバーをインストールせずに、プリント／スキャン／ファクス送信することもできます。 **AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)**

基本操作

基本操作 110
電源を入れる／切る 111
電源を入れる 112
電源を切る 113
再起動する 116
消費電力を抑える - スリープモード 118
操作パネルの使用方法 120
操作パネルに表示される画面 121
［ホーム］画面 124
［状況確認］画面 128
操作パネルの操作方法 130
文字を入力する 133
［ホーム］画面をカスタマイズする 135
ボタンの配置／タブの名称を変更する - リモート UI 137
ログイン方法 140
原稿のセット方法 142
用紙のセット方法 145
給紙カセットに用紙をセットする 146
手差しトレイに用紙をセットする 151
封筒をセットする準備と向き 154
はがきをセットする向き 157
ロゴ入り用紙をセットする向き 159
用紙サイズと用紙種類の設定 161
給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する 162
手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する 164
手差しトレイでよく使用する用紙サイズと用紙種類を登録する 166
定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 168
使用しない用紙サイズを非表示にする 169
機能ごとに適切な給紙部を使用する 170
宛先の登録 - アドレス帳 171
アドレス帳の機能 172
アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル 174
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル 177
アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル 179
アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI 180

アドレス帳にグループを登録する - リモート UI 184
宛先の指定 186
宛先を指定する - アドレス帳 187
宛先を指定する - 直接入力 189
宛先を指定する - LDAP サーバー 190
宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳 192
宛先を指定する - 送信履歴 193
USB メモリーを差し込む／取り外す 194
よく使用する設定の登録 196
よく使用する設定を登録する／呼び出す 197
初期設定を変更する 200
音量の調整 202
音量を調整する（ファクス機能がある場合） 203
音量を調整する（ファクス機能がない場合） 206
［音量設定］画面 207

基本操作

AU03-026

本機を使用するときの基本となる、各機能に共通する操作や画面の見かたについて説明します。

電源の管理／節電

節電や清掃のために電源を切ったり、設定の反映のために再起動したりします。
消費電力を抑えるスリープモードも利用できます。

電源を入れる／切る(P. 111)
消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)

操作パネルの操作

スキャンやコピーなどの機能を利用する場合や、本機の設定を変更する場合は、操作パネルを使用して実行／設定します。

操作パネルの使用方法(P. 120)

ログイン画面が表示された場合は、操作を続けるために、必要な情報を入力してログインします。

ログイン方法(P. 140)

原稿／用紙のセット

スキャン／ファクス送信／コピーする原稿は、原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。
プリント／コピーで使用する用紙は、用途に応じて給紙カセットまたは手差しトレイにセットします。

原稿のセット方法(P. 142)
用紙のセット方法(P. 145)

宛先の登録／指定

スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を、本機のアドレス帳に登録します。
宛先はアドレス帳から指定するだけでなく、直接入力や送信履歴の利用など、いろいろな方法で指定できます。

宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)
宛先の指定(P. 186)

USB メモリーの使用

USB メモリーと本機でデータをやりとりする場合は、機器の破損やエラーを防止するために、正しい方法で取り扱います。

USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)

機能や設定のカスタマイズ

本機をより便利で快適に使用するために、各機能でよく使用する設定を登録したり、設定を変更したりできます。

よく使用する設定の登録(P. 196)
音量を調整する（ファクス機能がある場合）(P. 203)
音量を調整する（ファクス機能がない場合）(P. 206)

電源を入れる／切る

AU03-027

本機の電源を入れる場合は、電源スイッチを使用して必ず手動で操作します。
電源を切る場合や、再起動する場合は、電源スイッチのほか、パソコンからリモート UI を使用して操作できます。
本機を使用しない曜日／時刻に合わせて、自動的に電源を切ることもできます。

電源を入れる(P. 112)
電源を切る(P. 113)
再起動する(P. 116)

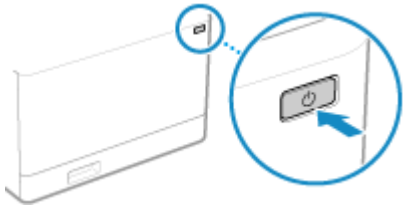
電源を入れる

AU03-028

本機の電源を入れる場合は、本機前面にある電源スイッチを押します。

1 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認する

2 電源スイッチを押す



➡操作パネルに起動画面が表示されます。

MEMO

起動後に表示される画面を変更する

- 電源を入れて起動画面が表示されたあとは、初期設定では［ホーム］画面が表示されます。他の機能の画面を表示するように設定できます。**［起動/復帰後に表示する画面］(P. 501)**

電源を切る

AU03-029

本機前面にある電源スイッチを使用するほか、離れた場所からリモート UI を使用しても、電源を切ることができます。本機を使用しない曜日と時刻に合わせて、自動的に電源を切ることもます。
電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

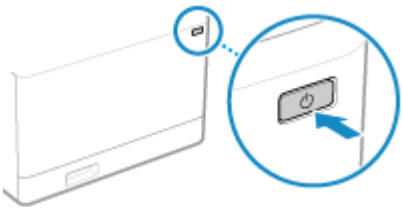
電源スイッチを使用して電源を切る(P. 113)
リモート UI を使用して電源を切る(P. 113)
自動的に電源を切る曜日と時刻を設定する(P. 114)

MEMO

- 電源を切っても、以下のデータは消去されずに保持されます。
  - メモリーに受信したデータ
  - 待機中の送信データ
  - 送受信後に自動的にプリントされるレポート

電源スイッチを使用して電源を切る

1 電源スイッチを押す



操作パネルが消灯し、電源が切れます。
電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。電源が切れるまで、電源プラグを抜かないようにします。

MEMO

再度電源を入れる

- 電源が切れたあと、10 秒以上経過してから電源を入れなおします。

リモート UI を使用して電源を切る

リモート UI を使用して電源を切るには、管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］ ［リモートシャットダウン］をクリックする

➡［リモートシャットダウン］画面が表示されます。

4 ［デバイス状況］で処理中の機能がないことを確認し、［実行］をクリックする

➡シャットダウンの確認メッセージが表示されます。

5 ［OK］をクリックする

➡シャットダウン処理実行を通知する画面が表示され、電源が切れます。
電源が切れると、リモート UI の通信は切断されます。

自動的に電源を切る曜日と時刻を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［タイマー設定］ ［編集］をクリックする

➡［タイマー設定の編集］画面が表示されます。

4 ［オートシャットダウン時刻を設定する］にチェックマークを付ける

5 電源を切る曜日の入力欄に、時刻を入力する



時刻の表示を 12 時間形式に設定している場合は、時刻を入力したあと［AM］／［PM］を選択します。

6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

MEMO

指定した時刻に電源が切れない場合

- 本機が以下の状態の場合は、指定した時刻になっても電源が切れません。
  - 操作パネルのデータランプが点灯または点滅している **操作パネル(P. 19)**
  - 操作パネルに［メニュー］画面やカウンター確認画面が表示されている
  - インポート／エクスポート中
  - ファームウェアのアップデート中
- 指定した時刻の 1 分後に、電源が切れるか再試行されます。1 分間隔で最大 10 回まで再試行されます。それでも電源が切れない場合は、その日は電源が入ったままになります。

再起動する

AU03-02A

本機の設定を変更した場合は、設定項目によっては変更を反映するために、本機を再起動する必要があります。
操作パネル／リモート UI のどちらで設定を変更した場合も、電源スイッチ／リモート UI を使用して、その場で再起動できます。
再起動すると、待機中のプリントデータは消去されます。

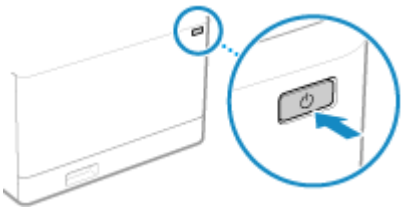
電源スイッチを使用して再起動する(P. 116)
リモート UI を使用して再起動する(P. 116)

MEMO

- 再起動しても、以下のデータは消去されずに保持されます。
  - メモリーに受信したデータ
  - 待機中の送信データ
  - 送受信後に自動的にプリントされるレポート

電源スイッチを使用して再起動する

1 電源スイッチを押す



➡操作パネルが消灯し、電源が切れます。
電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

2 電源が切れたあと、10 秒以上経過してから電源スイッチを押す

➡本機が起動します。

リモート UI を使用して再起動する

リモート UI を使用して再起動するには、管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイスの再起動］をクリックする



➠［デバイスの再起動］画面が表示されます。

4 ［デバイス状況］で処理中の機能がないことを確認し、［実行］をクリックする

➠再起動の確認メッセージが表示されます。

5 ［OK］をクリックする

➠再起動処理実行を通知する画面が表示され、本機が再起動します。
再起動すると、リモート UI の通信は切断されます。

消費電力を抑える - スリープモード

AU03-02C

スリープモードとは、本機内部の動作を一部休止して消費電力を抑える機能です。
操作パネルの を押すと、スリープモードになります。 **操作パネル(P. 19)**
スリープモードのときは、 が黄緑色に点灯します。

■スリープモードを解除する

以下のいずれかの操作を行います。

- 操作パネルのいずれかのキーを押す
- ディスプレーをタップする
- 電話機を接続している場合は、受話器を外す

■オートスリープの設定をする

操作がない状態で一定時間が経過したときや、指定した時刻になったときに、自動的にスリープモードにする機能を「オートスリープ」といいます。オートスリープのタイミングを設定できるほか、指定した時刻にスリープモードが解除されるように設定することもできます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［タイマー/電力設定］(P. 505)**

1 リモート UI にログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［タイマー設定］▶［編集］をクリックする

➡［タイマー設定の編集］画面が表示されます。

4 オートスリープやスリープモード解除の設定をする

■スリープモードになるまでの時間を設定する場合

［オートスリープ移行時間］に時間を入力します。

※効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。 **［オートスリープ］(P. 507)**

■指定した時刻にスリープモードにする場合

［オートスリープ時刻を指定する］にチェックマークを付け、時刻を入力します。
時刻の表示を 12 時間形式に設定している場合は、時刻を入力したあと［AM］／［PM］を選択します。

■指定した時刻にスリープモードを解除する場合

［スリープ復帰時刻を指定する］にチェックマークを付け、時刻を入力します。
時刻の表示を 12 時間形式に設定している場合は、時刻を入力したあと［AM］／［PM］を選択します。

5 [OK] をクリックする

➠ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

重要

夜間など本機を長時間使用しない場合は、操作パネルの を押す

- 安全のため本機を休止状態にしてください。

MEMO

- 本機が以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
  - 操作パネルのデータランプが点灯または点滅している **操作パネル(P. 19)**
  - 操作パネルに［メニュー］画面、紙づまりなどのエラーメッセージ[*1]、ダイレクト接続の SSID やネットワークキー表示画面が表示されている
  - 本機が調整やクリーニングなどで動作している
  - インポート／エクスポートやデータの処理など、本機が外部機器（USB メモリー／パソコン／LDAP サーバーなど）と通信している
  - 電話機を接続している場合に、受話器が外れている
  - ファクス着信の呼び出し音を鳴らさない設定にしている

  [*1] メッセージによっては、スリープモードに移行します。
- スリープモードにならない状態が続くと、画像の品質保持のために、自動補正（キャリブレーション）が実行されます。補正実行時にはトナーカートリッジが使用されるため、寿命に影響することがあります。

操作パネルの使用方法

AU03-02E

本機の設定を変更する場合や、スキャンやコピーなどの機能を利用する場合は、操作パネルを使用して操作します。

おもな操作方法

操作パネルに表示されるボタンや項目、文字の入力方法など、表示内容や操作方法を確認します。

操作パネルに表示される画面(P. 121)
操作パネルの操作方法(P. 130)
文字を入力する(P. 133)

［ホーム］画面の操作性向上

よく使用する機能のショートカットボタンを追加したり、ボタンの並び順を変更したりできます。

［ホーム］画面をカスタマイズする(P. 135)

重要

操作パネルの取り扱いに関するご注意

- タッチパネルディスプレーを強く押さないでください。破損するおそれがあります。
- シャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。表面に傷がついたり、破損したりするおそれがあります。
- ディスプレーの上にものを置いたり拭いたりすると、タッチパネルが反応し誤作動の原因となります。

操作パネルに表示される画面

AU03-02F

操作パネルを使用するときは、おもに以下の画面が表示されます。

［ホーム］画面

操作パネルの を押したときに表示される画面です。初期設定では、電源を入れて起動画面が終了した直後や、ログインした直後にも［ホーム］画面が表示されます。 **［ホーム］画面(P. 124)**



［状況確認］画面

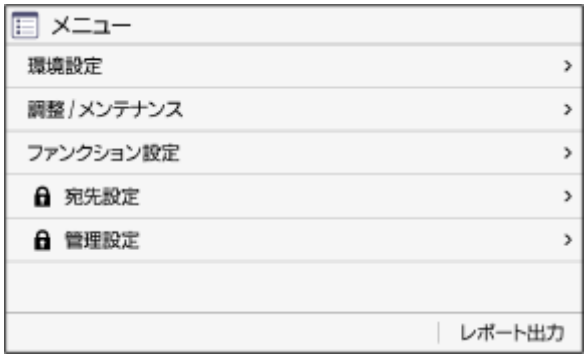
［ホーム］画面などで、［状況確認］を押したときに表示される画面です。本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。 **［状況確認］画面(P. 128)**



［メニュー］画面

［ホーム］画面で、［メニュー］を押したときに表示される画面です。本機の各種設定を行うことができます。 **設定メニュー一覧(P. 498)**

管理者 ID が設定されている場合は、一部の項目を選択するとログイン画面が表示されます。管理者 ID と管理者暗証番号を知っているユーザーだけが、ログインしてこれらの設定を変更できます。



メッセージ表示

エラーが発生した場合や、トナーカートリッジ残量や用紙がなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。
対処方法が表示された場合は、メッセージの指示に従って対処します。
対処方法が表示されない場合は、メッセージや番号から原因や対処方法を確認します。

メッセージが表示された(P. 755)
エラーコードが表示された(P. 776)

表示例：

- **エラーが発生した場合**



- **メッセージが画面下部に表示された場合**

  メッセージが長い場合は、表示が一定間隔で交互に切り替わります。



ヘルプ表示

[ホーム]や[ファクス]、[スキャン]の画面で[?]をタップすると、QR コードが表示されます。

この QR コードをスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器で読み取ることで、本機のユーザーズガイドにアクセスすることができます。



一部のエラーコードやエラー画面でも、対応するユーザーズガイドのページへアクセスするための QR コードが表示されることもあります。

MEMO

画面の表示を変更する

- 言語や単位、メッセージの表示／非表示など、操作パネルの表示を変更できます。 **［表示設定］(P. 501)**
- 画面の色を反転させたり輝度を調整したりすることで、画面を見やすくすることができます。 **［アクセシビリティー］(P. 525)**

設定を自動的にクリアする

- 初期設定では、操作がない状態で一定時間が経過すると、各画面で設定していた内容がクリアされ、［ホーム］画面が表示されます。クリアされるまでの時間や、クリア後に表示される画面を変更できます。
  ［オートクリア］(P. 506)
  ［オートクリア後の機能］(P. 506)

［ホーム］画面

AU03-02H

操作パネルの を押したときに表示される画面です。
画面の上下には、本機の状況やログインに関する項目が常に表示され、必要なときにすぐに確認／操作できます。
画面の中央には、機能や設定のボタンがタブに分かれて表示されます。タブを選択するか、画面を左右にフリックすると、表示されている機能や設定のボタンが切り替わります。これらのボタンを押すと、機能を実行したり設定を変更したりできます。
ボタンの配置やタブの名称は変更できます。**ボタンの配置／タブの名称を変更する - リモート UI(P. 137)**
※初期設定では［メイン］～［設定 6］のタブが表示されます。



■本機の状況やログインに関する項目

[?]
本機のマニュアルにアクセスする QR コードを表示します。**ヘルプ表示(P. 122)**

[Y M C K]
トナーカートリッジの残量が表示されます。

［ｶｳﾝﾀｰ確認］（MF755Cdw II のみ）
これまでにプリントした総ページ数を、カラー／白黒別に確認できます。**プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 473)**
※MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合は、［状況確認］から同じ情報を確認できます。

[ログアウト]
ログイン中に表示されます。本機の操作が終わってログアウトするときに押します。**ログイン方法(P. 140)**

[ ]
ログイン中のユーザー名または部門 ID が表示されます。

[ ] ／ [ ]
有線 LAN に接続しているときは［ ］、無線 LAN に接続しているときは［ ］が表示されます。
このアイコンを押すと、有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用して本機をネットワークに接続するかを切り替えることができます。**有線 LAN／無線 LAN を選択する(P. 66)**

[状況確認]
本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。**［状況確認］画面(P. 128)**

■機能や設定のボタン



[コピー]
コピーします。 **コピーする(P. 330)**



[ファクス]
ファクスします。 **ファクスする(P. 292)**



[スキャン]
スキャンします。 **スキャンする(P. 248)**



[ﾒﾓﾘｰﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾘﾝﾄ]
USB メモリーに保存されているファイルをプリントします。 **USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント(P. 234)**



[セキュアプリント]
本機のメモリーに一時保存されたデータをプリントします。 **暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント(P. 228)**



[ID カードコピー]
カード類の表裏をコピーします。 **ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(P. 341)**



[パスポートコピー]
複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーします。 **複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーする(P. 344)**



[メニュー]
本機の各種設定を行います。 **設定メニュー一覧(P. 498)**



[アドレス帳]
スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を登録します。アドレス帳から宛先を指定して、送信機能を呼び出すことができます。
宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)
宛先を指定する - アドレス帳(P. 187)



[用紙設定]
使用する用紙サイズと用紙種類を設定したり、よく使用する用紙を登録したりします。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)**



[モバイルポータル]
モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**



[ホーム画面設定]
[ホーム]画面にショートカットボタンを追加したり、ボタンの配置を変更したりします。 **[ホーム]画面をカスタマイズする(P. 135)**



[ファームウェア更新]
インターネット経由でファームウェアをアップデートします。 **ファームウェアをアップデートする(P. 490)**



[操作ガイド]
本機の基本的な操作方法や、トラブルの解決方法を確認できます。



[Wi-Fi 設定]
無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を介して、本機とパソコンを接続します。 **ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式(P. 73)**



[uniFLOW Online セットアップ]（MF755Cdw II のみ）
uniFLOW Online 用のアプリケーションをインストールします。
uniFLOW Online の詳細については、キヤノンホームページを参照してください。
https://global.canon/



[遠隔監視サービス]
本機と監視サーバーが正常に通信できることを確認します。 **NETEYE(P. 676)**



ショートカットボタン（スキャン）
「よく使う設定」として登録したスキャンの設定を呼び出します。
ボタンの名称は設定により異なります。 **ショートカットボタンを追加する(P. 135)**



ショートカットボタン（ファクス）
「よく使う設定」として登録したファクスの設定を呼び出します。

ボタンの名称は設定により異なります。 **ショートカットボタンを追加する(P. 135)**



ショートカットボタン（コピー）
「よく使う設定」として登録したコピーの設定を呼び出します。
ボタンの名称は設定により異なります。 **ショートカットボタンを追加する(P. 135)**

■アプリケーションライブラリのボタン

アプリケーションライブラリとは、ワンタッチで目的の操作を実行できる機能です。
この機能を使用するには、リモート UI のポータル画面で［アプリケーションライブラリ］をクリックして、アプリケーションを設定する必要があります。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**
詳細については、アプリケーションライブラリのユーザーズガイドを参照してください。
アプリケーションライブラリ

[状況確認] 画面

AU03-02J

[ホーム] 画面などで、[状況確認] を押したときに表示される画面です。
本機の情報や使用状況／履歴、ネットワーク設定やエラーの情報などを確認できます。USB メモリーの取り外しも、この画面から行います。



[エラー情報/お知らせ]
本機で発生しているエラーの情報を確認できます。エラーの内容に応じて対処します。
メッセージが表示された(P. 755)
エラーコードが表示された(P. 776)

[カートリッジ情報]
トナーカートリッジの残量を確認できます。
トナーがなくなる前に、他の内部の部品が寿命に達する場合があります。

[給紙情報]
給紙部ごとの用紙の残量を確認できます。

[デバイス情報]

[カウンター確認]
プリント／ファクス／コピーを実行した総ページ数を確認できます。 **プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 473)**

[ｾｷｭｱﾌﾟﾘﾝﾄﾒﾓﾘｰ使用量]
本機のメモリーに一時保存されているセキュアプリントのデータが、どのくらいメモリーを使用しているのかを確認できます。

[バージョン情報]
本機のファームウェアのバージョン情報を確認できます。

[シリアル No.]
本機のシリアルナンバーが表示されます。

[コピー/プリントジョブ]
コピーやプリントの処理状況と履歴を確認できます。
コピー状況や履歴を確認する(P. 348)
プリント状況や履歴を確認する(P. 246)

[送信ジョブ]
スキャンやファクスの送信／保存状況と履歴を確認できます。

スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)
送信／受信したファクスを確認する(P. 321)

[受信ジョブ]
ファクス／I ファクスの受信状況と履歴を確認できます。 **送信／受信したファクスを確認する(P. 321)**

[ファクス転送エラージョブ]
転送できなかったファクスがメモリーに保存されている場合は、プリントしたり転送しなおしたりして、内容を確認できます。 **転送できなかったファクスを確認する(P. 322)**

[ネットワーク情報]

[IPv4]
IPv4 アドレスなどの設定内容を確認できます。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 77)**

[IPv6]
IPv6 アドレスなどの設定内容を確認できます。 **IPv6 アドレスを設定する(P. 79)**

[ネットワーク接続方式]
有線／無線どちらで接続されているかを確認できます。
無線 LAN で接続されている場合は、通信状況やエラー情報も確認できます。

[ダイレクト接続情報]
ダイレクト接続しているときに接続状態などを確認できます。

[IEEE 802.1X エラー情報]
IEEE 802.1X 認証でエラーが発生しているときにエラーの内容を確認できます。

[ﾒﾃﾞｨｱ取り外し]
USB メモリーが接続されているときに表示されます。USB メモリーを取り外すときに押します。 **USB メモリーを取り外す(P. 195)**

[IP アドレス]
初期設定では、本機の IPv4 アドレスが表示されます。非表示にすることもできます。 **［IP アドレスの表示設定］(P. 504)**

操作パネルの操作方法

AU03-02K

操作パネルのディスプレーは、タッチパネルになっています。画面に表示されるボタンや項目に、指で直接触れて操作します。

基本のタッチパネル操作 - タップ／フリック／ドラッグ(P. 130)
タブや項目を選択する(P. 131)
画面をスクロールする(P. 131)
［+］／［−］やスライダーで値を設定する(P. 132)

重要

操作パネルの誤動作や破損を防ぐため、以下の操作は行わない

- 指で強く押す
- 先のとがったもの（爪／ボールペン／鉛筆など）で押す
- 濡れた手や汚れた手で操作する
- ディスプレーの上にものをのせたまま操作する

基本のタッチパネル操作 - タップ／フリック／ドラッグ

タップ

画面に指先で軽く触れてから、すぐに離します。項目を選択したり実行したりするときに使います。
ユーザーズガイドでは、タップ操作のことを「押す」または「選択する」と表記しています。



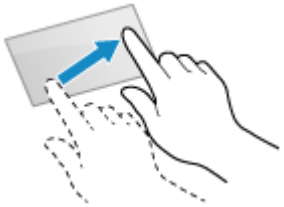
フリック

画面に触れてから指先を払います。指先を払った方向に画面が移動します。たとえば、［ホーム］画面ではフリックした方向のタブの画面に移動します。



ドラッグ

画面に触れたまま指先を動かして、目的の位置で離します。リストがスクロールしたり、触れている部分が移動したりします。



タブや項目を選択する

タブをタップすると、選択したタブの画面に切り替わります。



項目名やボタンをタップすると、項目を選択できます。選択した結果、画面が切り替わったり、機能が実行されたりします。



選択をキャンセルする場合

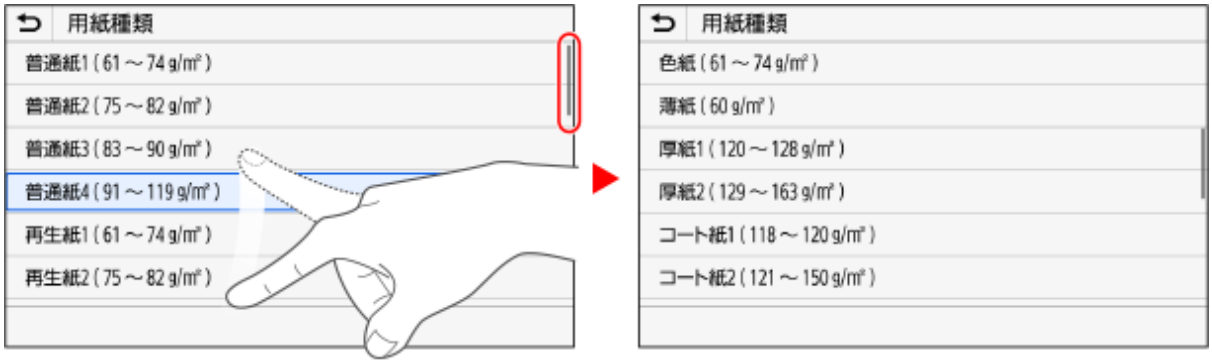
画面に触れた指先を離さずドラッグし、選択しようとした項目やボタンから離れた位置で離します。

前の画面に戻る場合

[⮌] をタップします。

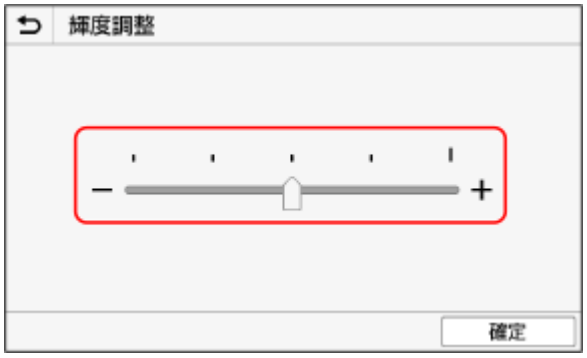
画面をスクロールする

画面にスクロールバーが表示された場合は、画面に表示しきれない項目や情報があることを示しています。フリックまたはドラッグすると、指先を動かした方向に画面がスクロールします。
画面から指を離して数秒たつと、スクロールバーが非表示になります。画面に触れるとスクロールバーが再度表示されます。



［+］／［−］やスライダーで値を設定する

［+］／［−］をタップして値を調整します。以下のようにスライダーが表示されている場合は、左右にドラッグしても調整可能です。



文字を入力する

AU03-02L

操作パネルに表示されたキーボードまたはテンキーを使用して、文字や数字を入力します。
市販の USB キーボードを本機に接続して、文字を入力することもできます。

操作パネルで文字を入力する(P. 133)
USB キーボードを接続して文字を入力する(P. 134)

操作パネルで文字を入力する

操作パネルで入力できる文字の種類は、カタカナ／英字／数字／記号です。
項目によっては、入力できる文字の種類が限定されている場合があります。
数値の入力範囲が限定されている場合は、入力欄の横の（　）内に入力可能な数値が表示されています。



文字の種類を切り替える

[カナ]、[a]（英字）、[1/#]（数字／記号）から、入力する文字の種類を選択します。
入力できる文字が限定されている項目では、文字の種類を切り替えられません。

文字／空白を入力する

入力する文字や記号をタップします。
画面に表示されていない文字は、[∧] ／ [∨] をタップすると表示されます。
英字の大文字を入力する場合は、[⇧] をタップします。
空白を入力する場合は、[スペース] をタップします。文字の最後にカーソルを合わせて [▶] をタップしても、空白が入力されます。

文字を削除する

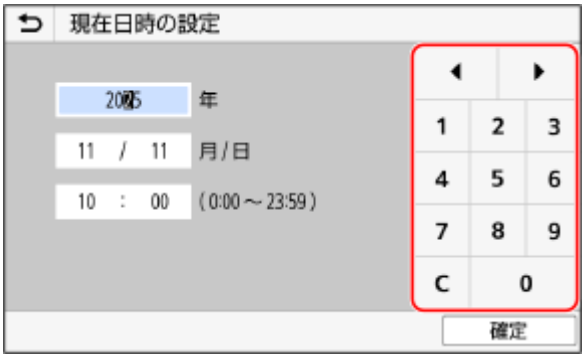
[⌫] をタップすると、1 文字削除されます。
[⌫] に指先を触れたままの状態にする（長押しする）と、連続して文字が削除されます。

カーソルを移動する

[◀] または [▶] をタップします。

テンキーで数字を入力する

数字のみを入力する項目では、テンキーが表示されます。



テンキーの数字をタップして入力します。
数字を削除する場合は、[C]をタップします。

[◀]／[▶]が表示された場合は、タップするとカーソルが移動します。

MEMO

- アドレス帳の宛先など、漢字やひらがなを入力する必要がある場合は、リモート UI で操作します。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
- キーボードやテンキーではなく、[+]／[−]やスライダーが表示された場合は、これらをタップ／ドラッグして値を設定します。 **[+]／[−]やスライダーで値を設定する(P. 132)**

USB キーボードを接続して文字を入力する

市販の USB キーボードを、本機の前面／背面にある USB ポートに接続すると、パソコンと同じ操作で文字を入力できます。
前面(P. 14) ／ **背面(P. 16)**
※USB キーボードを接続しているときも、操作パネルで文字を入力できます。

接続した USB キーボードは、いつでも本機から取り外すことができます。接続を解除する操作などは必要ありません。

重要

- [Backspace]／[Home]／[End]キーなど、使用できないキーがあります。使用できないキーを押した場合は、何も入力されません。
- 表示言語によっては、正しく入力できない文字があります。
- USB キーボードの種類によっては、正しく動作しない場合があります。

MEMO

- USB キーボードの配列（USA 配列または UK 配列）を指定できます。 **[英語キーボードの配列](P. 499)**

［ホーム］画面をカスタマイズする

AU03-02R

よく使用する機能を、操作パネルの［ホーム］画面からすばやく実行できるようにします。

ショートカットボタンを追加する(P. 135)
ボタンの配置を変更する(P. 136)

ショートカットボタンを追加する

スキャン／ファクス／コピーでよく使用する設定を登録し、ショートカットボタンとして追加します。
［ホーム］画面のボタンがいっぱいになるまで追加できます。

ショートカットボタンは、操作パネルを使用して追加します。パソコンからリモート UI を使用して追加することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- ショートカットボタンとして追加する設定を「よく使う設定」として登録します。 **よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ホーム画面設定］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

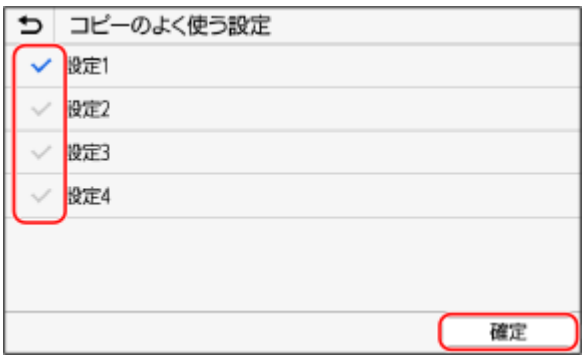
ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

2 ［表示ボタンの選択］を押す

➡［表示ボタンの選択］画面が表示されます。

3 ショートカットボタンに登録したい機能の設定を選択する

4 ショートカットボタンにする設定にチェックマークを付け、［確定］を押す



➡ショートカットボタンについての説明画面が表示されます。

5 [OK] を押す

➡ショートカットボタンが［ホーム］画面に追加されます。

MEMO

追加したショートカットボタンを削除する

- 手順 4 の画面で、削除したい設定のチェックマークを外し、［確定］を押します。

［ホーム］画面がいっぱいでショートカットボタンを追加できない場合

- 不要なショートカットボタンを削除します。

ボタンの配置を変更する

［ホーム］画面のボタンは、並べ替えたり、別のタブの画面に移動したりできます。

ここでは、操作パネルを使用して変更する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して変更することもできます。また、リモート UI では、タブの名称も変更できます。**ボタンの配置／タブの名称を変更する - リモート UI(P. 137)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、ボタンを長押しする ［ホーム］画面(P. 124)

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。**管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

2 メッセージを確認し、［はい］を押す

➡［ボタンの並び替えと表示設定］画面が表示されます。

3 並べ替えるボタンをドラッグし、配置したい位置で離す

他のタブへボタンをドラッグすると、そのタブの画面に移動します。ただし、その画面のボタン数が上限に達している場合は、移動できません。



4 ［確定］を押す

➡［ホーム］画面のボタンの配置が変更されます。

ボタンの配置／タブの名称を変更する - リモート UI

AU03-02S

パソコンからリモート UI を使用して、［ホーム］画面のボタンを並べ替えたり、タブの名称を変更したりします。

ボタンの表示順を変更する(P. 137)
タブの名称を変更する(P. 138)

ボタンの表示順を変更する

管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［表示設定］をクリックする

➡［表示設定］画面が表示されます。

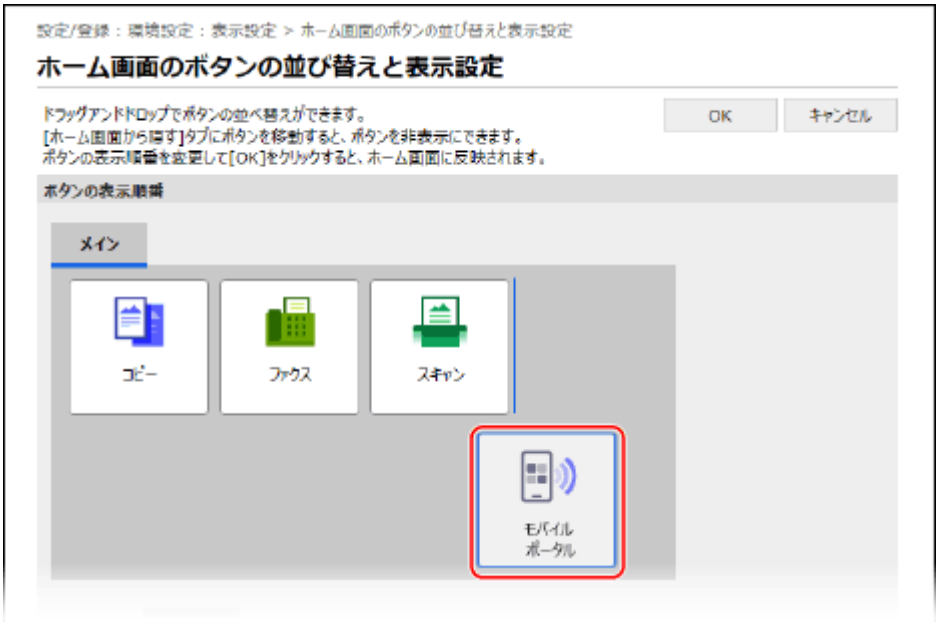
4 ［ホーム画面のボタンの並び替えと表示設定］で、［ボタン表示で編集］または［リスト表示で編集］をクリックする

- ボタンをドラッグして表示順を変更する場合は、［ボタン表示で編集］をクリックします。
- ボタン名の一覧で表示順を変更する場合は、［リスト表示で編集］をクリックします。

5 ボタンの配置を変更する

■ボタンをドラッグして配置を変更する場合

並べ替えるボタンをドラッグし、配置したい位置で離します。



■ボタン名の一覧で配置を変更する場合

並べ替えるボタン名の［ ▲ ］／［ ▼ ］をクリックすると、ボタンが上／下へ移動します。［ ］をクリックすると、ボタンを他のタブへ移動できます。



6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

タブの名称を変更する

この変更は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して変更することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [表示設定] ▶ [ホーム画面のタブ名設定] の [編集] をクリックする

➠ [ホーム画面のタブ名設定の編集] 画面が表示されます。

4 名称を変更したいタブにチェックマークを付け、名称を入力する



5 [OK] をクリックする

➠ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

ログイン方法

AU03-02U

操作パネルにログイン画面が表示された場合は、ログインするために必要な情報を入力し、認証を行います。認証が成功すると画面が切り替わり、操作を続けることができます。
設定されている認証機能によって、ログイン画面が異なります。

ログインする - 部門別 ID 管理／管理者 ID(P. 140)
ログインする - 認証送信(P. 140)

ログインする - 部門別 ID 管理／管理者 ID

部門別 ID 管理中は、以下のログイン画面が表示されます。部門 ID を入力してログインします。暗証番号を設定している場合は、暗証番号も入力します。
管理者 ID を設定している場合は、管理者権限が必要な操作をするときに、ログイン画面が表示されます。管理者 ID と管理者暗証番号を入力してログインします。



1 部門 ID または管理者 ID を入力する

2 暗証番号を入力する

暗証番号が設定されていない場合、この手順は不要です。手順 3 に進みます。

3 [ログイン] を押す

➠ 認証が成功すると、[ホーム] 画面などに切り替わります。

4 目的の操作が終わったら、[ログアウト] を押す

ログインする - 認証送信

認証送信（LDAP サーバー認証）を設定中は、スキャンやファクスを使用するときに認証送信のログイン画面が表示されます。LDAP サーバーで管理されているユーザー名とパスワードを入力してログインします。



1 **ユーザー名とパスワードを入力する**

2 **［サーバー名］で、認証を行う LDAP サーバーを選択する**

3 **［ログイン］を押す**

➠ 認証が成功すると、スキャンまたはファクスの画面に切り替わります。

4 **目的の操作が終わったら、［ログアウト］を押す**

MEMO

認証送信と部門別 ID 管理の両方でログインしている場合

- LDAP サーバー認証の設定によっては、操作パネルの画面で［ログアウト］を押すと、ログアウトする認証を選択する画面が表示されます。スキャンやファクスの使用のみ終了して操作を続ける場合は、認証送信のみログアウトします。すべての操作を終了するときは、すべての認証からログアウトします。

原稿のセット方法

AU03-02W

スキャン／ファクス／コピーで使用する文書や写真などの印刷物（原稿）を、原稿台ガラスまたはフィーダーにセットします。
原稿台ガラスとフィーダーのどちらにセットするかは、原稿の種類や用途に応じて判断します。

原稿台ガラス
原稿が静止した状態で読み取られます。原稿を 1 枚ずつセットして操作する必要がありますが、精度の高い読み取りが可能です。
また、以下のような原稿をセットすることもできます。

- 書籍／厚紙／薄紙など、フィーダーにセットできない原稿
- トレーシングペーパー／OHP フィルムなどの透過原稿

原稿台ガラスに原稿をセットする(P. 142)

フィーダー
複数枚の原稿をまとめてセットできます。セットした原稿は、1 枚ずつ自動的に送られて読み取られます。
原稿の両面を同時に読み取ることもできます。
フィーダーに原稿をセットする(P. 143)

重要

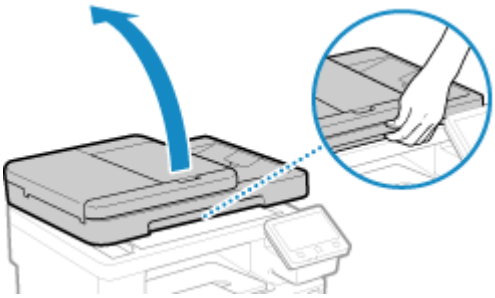
乾いた原稿をセットする

- 原稿にインク／修正液／のりなどが付いている場合は、完全に乾かしてからセットします。

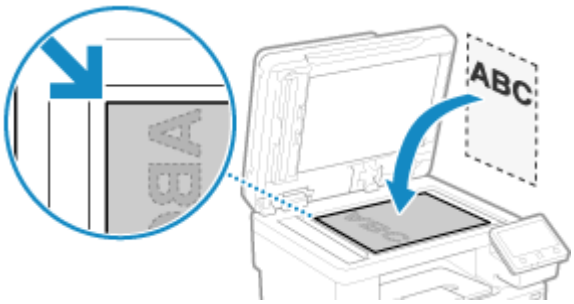
原稿台ガラスに原稿をセットする

セットできる原稿のサイズについては、本機の基本仕様を参照してください。**基本仕様(P. 30)**

1 フィーダーを開ける



2 スキャンする面を下にして、原稿の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせてヨコ置きにセットする



トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をスキャンする場合は、原稿の上に白紙を重ねて置きます。

3 フィーダーをゆっくり閉める

4 原稿のスキャンが終わったら、原稿台ガラスから原稿を取り除く

フィーダーに原稿をセットする

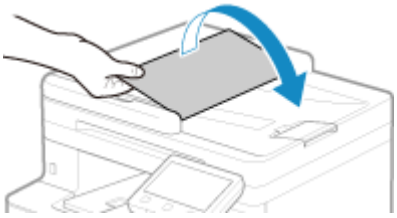
複数枚の原稿をまとめてスキャンする場合は、同じサイズの原稿のみセットできます。
セットできる原稿のサイズについては、フィーダーの仕様を参照してください。 **フィーダーの仕様(P. 33)**

重要

フィーダー内の紙づまりを防ぐため、以下の原稿はセットしない

- しわ／折り目がある紙、カールしている紙、破れている紙
- カーボン紙、コート紙、薄質半透明紙、薄紙、OHP フィルム
- ホチキスの針やクリップが付いた紙
- 熱転写プリンターでプリントされた紙

1 原稿給紙トレイを開ける



2 原稿の幅より少し広めに原稿ガイドを広げる



3 原稿をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

4 スキャンする面を上にして、原稿をヨコ置きにセットする



原稿が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の原稿をセットすると、原稿の搬送不良や紙づまりの原因になります。

5 原稿ガイドを原稿の幅にぴったり合わせる



原稿ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、原稿の搬送不良や紙づまりの原因になります。

6 原稿のスキャンが終わったら、フィーダーの下に排出された原稿を取り除く

- スキャン中は、原稿を追加したり、途中で原稿を抜き取ったりしないようにします。
- フィーダーの下に排出された原稿をそのままにしておくと、紙づまりの原因になります。

用紙のセット方法

AU03-02X

プリント品質を保つために、使用できる用紙や、用紙の取り扱い／保管方法について確認し、適切な用紙を準備します。 **使用可能な用紙(P. 24)** ／ **用紙を取り扱うときの注意事項(P. 28)**

準備した用紙を本機にセットしたら、用紙サイズと用紙種類を設定します。

用紙のセット

普段よく使用する用紙は、まとまった枚数をセットできる給紙カセットにセットします。
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイにセットします。
給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)
手差しトレイに用紙をセットする(P. 151)

封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。
封筒をセットする準備と向き(P. 154)
はがきをセットする向き(P. 157)
ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 159)

用紙の設定

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)

給紙カセットに用紙をセットする

AU03-02Y

普段よく使用する用紙は、まとまった枚数をセットできる給紙カセットにセットします。
セットする用紙のサイズによって、セット方法が異なります。

A4／B5／リーガル／レターサイズの用紙をセットする場合
定形サイズの方法でセットします。
定形サイズの用紙をセットする(P. 146)

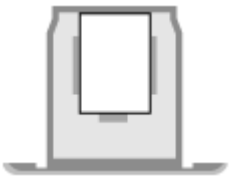
A5 サイズの用紙をセットする場合
用紙をセットする向きによって、セット方法が異なります。

ヨコ置き（A5）



定形外サイズの用紙をセットする(P. 148)

タテ置き（A5R）



定形サイズの用紙をセットする(P. 146)

上記以外のサイズの用紙をセットする場合
定形外サイズの方法でセットします。
定形外サイズの用紙をセットする(P. 148)

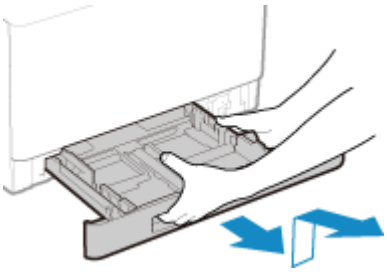
MEMO

- オプションのペーパーフィーダー PF-K を使用する場合も、同じ手順で用紙をセットします。

定形サイズの用紙をセットする

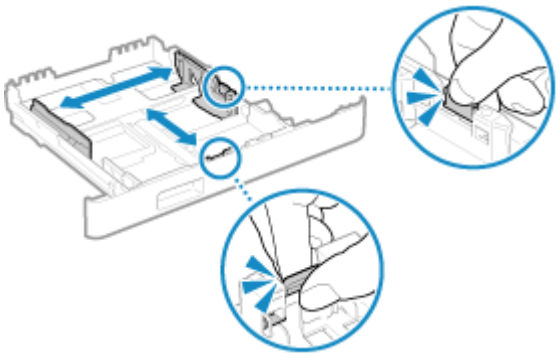
給紙カセットの用紙ガイドを指標に合わせることで、正しくセットできます。
ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。 **ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 159)**

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す

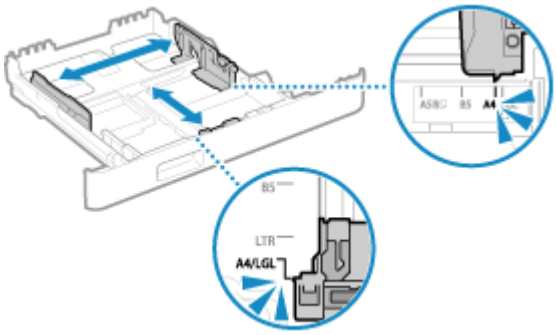


2 用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせる

1 ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを動かす



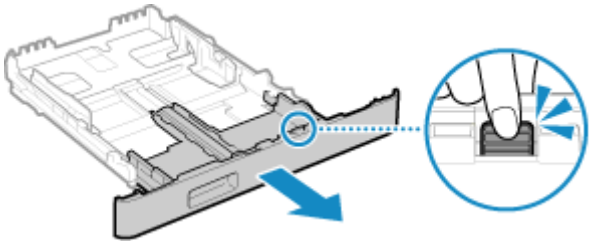
2 用紙ガイドの突起部を、セットする用紙のサイズの指標に合わせる



用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

■リーガルサイズの用紙をセットする場合

ロック解除レバーをつまみながら、給紙カセットを手前に引き延ばします。

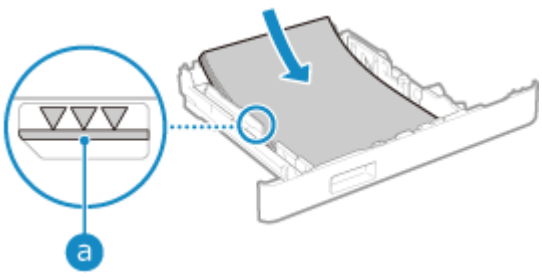


3 用紙をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

4 プリント面を上にして、用紙をセットする



- 給紙カセット手前の用紙ガイドに合わせてセットします。
- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

■プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）

用紙の端を伸ばしてカールを取り、ウラ面（プリントされていない面）を上にしてセットします。

- 本機でプリントした用紙のみ使用できます。
- プリントされている面の上に重ねてプリントすることはできません。
- 薄くプリントされる場合は、画質を調整します。 **［両面 2 面目］(P. 533)**

5 給紙カセットを本機にセットする

➠初期設定では、用紙設定の確認画面が表示されます。 **［用紙設定の確認表示］(P. 616)**

リーガルサイズの用紙を使用する場合は、給紙カセットを引き延ばした状態で本機にセットするため、給紙カセットが完全には収納されません。

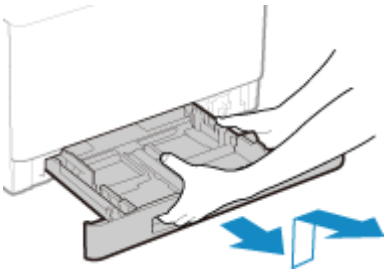
6 必要に応じて、用紙サイズと用紙種類を設定する **給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 162)**

初期設定では、給紙カセットの用紙サイズと用紙種類は、A4 サイズの普通紙 1 に設定されています。サイズや種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙設定を変更します。

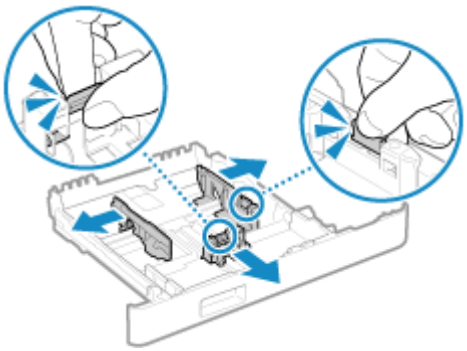
定形外サイズの用紙をセットする

給紙カセットの用紙ガイドを用紙に合わせることで、正しくセットできます。
封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。
封筒をセットする準備と向き(P. 154)
はがきをセットする向き(P. 157)
ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 159)

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



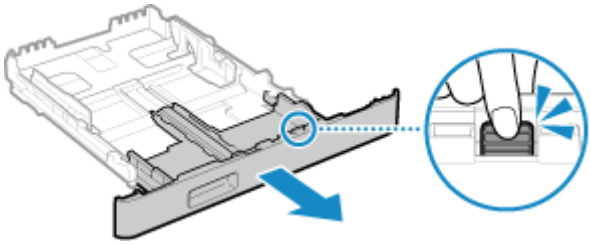
2 用紙ガイドを外側に広げる



ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

■A4 より長いサイズの用紙をセットする場合

ロック解除レバーをつまみながら、給紙カセットを手前に引き延ばします。

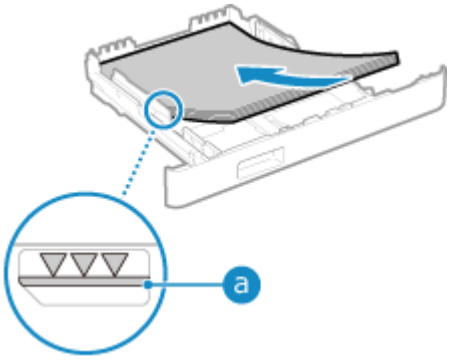


3 用紙をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

4 プリント面を上にして、用紙をセットする



- 給紙カセットの後端に用紙を突き当ててセットします。
- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

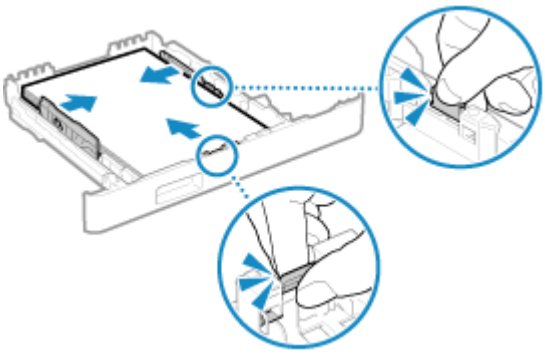
■プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）

用紙の端を伸ばしてカールを取り、ウラ面（プリントされていない面）を上にしてセットします。

- 本機でプリントした用紙のみ使用できます。

- プリントされている面の上に重ねてプリントすることはできません。
- 薄くプリントされる場合は、画質を調整します。 ［両面 2 面目］(P. 533)

5 用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる



- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。
- 用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

6 給紙カセットを本機にセットする

➠ 初期設定では、用紙設定の確認画面が表示されます。 ［用紙設定の確認表示］(P. 616)

A4 より長いサイズの用紙を使用する場合は、給紙カセットを引き延ばした状態で本機にセットするため、給紙カセットが完全には収納されません。

7 用紙サイズと用紙種類を設定する 給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 162)

初期設定では、給紙カセットの用紙サイズと用紙種類は、A4 サイズの普通紙 1 に設定されています。サイズや種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙設定を変更します。

手差しトレイに用紙をセットする

AU03-030

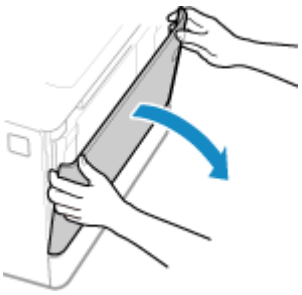
給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使用する場合は、手差しトレイにセットします。
手差しトレイの用紙ガイドを用紙に合わせることで、正しくセットできます。
封筒／はがき／ロゴ入り用紙をセットする場合は、用紙の向きと面に注意が必要です。
封筒をセットする準備と向き(P. 154)
はがきをセットする向き(P. 157)
ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 159)

重要

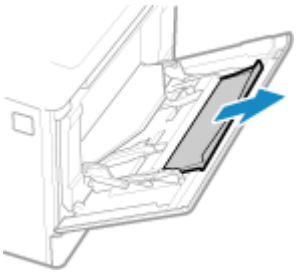
給紙カセットを取り外さない

- 給紙カセットが取り外されていると、手差しトレイに用紙をセットしてもプリントできません。給紙カセットが取り外されている状態でプリントしようとすると、エラーメッセージが表示されます。

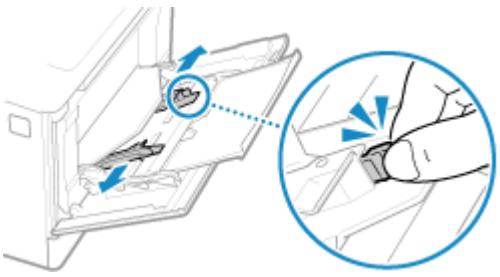
1 カバーの両側を持って開ける



2 用紙トレイを引き出す



3 用紙ガイドを外側に広げる



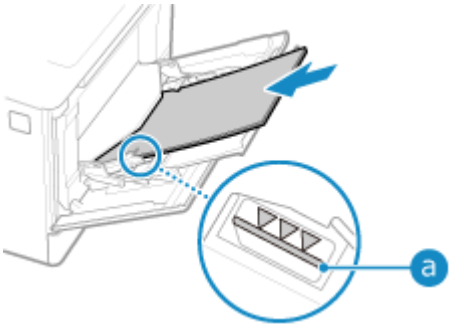
ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを動かします。

4 用紙をさばいて、端をそろえる



少量ずつよくさばき、平らな場所で数回たたいて端をそろえます。

5 プリント面を上にして、用紙をセットする



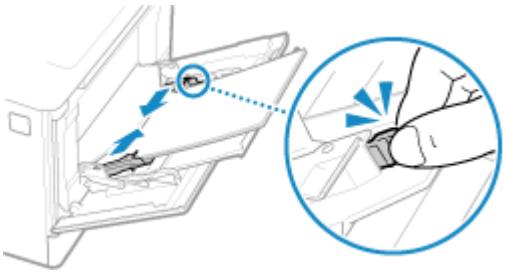
- 用紙の端が突き当たるまで差し込みます。
- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。積載制限マーク以上の用紙をセットすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

■プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合（手動両面プリント）

用紙の端を伸ばしてカールを取り、ウラ面（プリントされていない面）を上にしてセットします。

- 本機でプリントした用紙のみ使用できます。
- プリントされている面の上に重ねてプリントすることはできません。
- 数枚まとめてセットできません。プリントするたびに 1 枚ずつセットします。
- 薄くプリントされる場合は、画質を調整します。［両面 2 面目］(P. 533)

6 用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる



- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。
- 用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、用紙の搬送不良や紙づまりの原因になります。

7 用紙サイズと用紙種類を設定する 手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 164)

初期設定では、手差しトレイに用紙をセットしたことが認識されると、操作パネルに用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されます。用紙をセットするたびに、用紙サイズと用紙種類を設定する必要があります。

MEMO

A5 サイズの用紙をセットした場合

- 用紙をセットした向きに応じて、用紙サイズを設定します。

ヨコ置き（A5）



タテ置き（A5R）



封筒をセットする準備と向き

AU03-031

封筒は形状や厚みが普通紙とは異なるため、セットする前に必ず準備作業をします。
封筒はオモテ面（ふたの貼り合わせがない面）のみプリントできます。封筒をセットするときは、封筒の向きと面に注意します。

封筒をセットする前の準備(P. 154)
封筒の向き - 給紙カセット(P. 155)
封筒の向き - 手差しトレイ(P. 155)

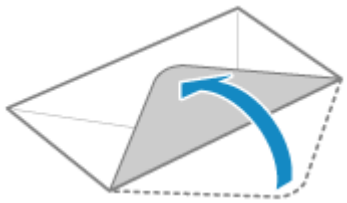
MEMO

- 封筒をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
  給紙カセットにセットする場合 **定形外サイズの用紙をセットする(P. 148)**
  手差しトレイにセットする場合 **手差しトレイに用紙をセットする(P. 151)**

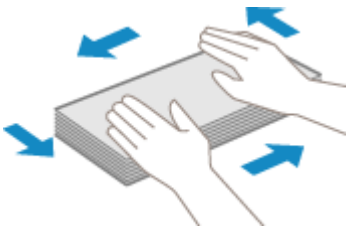
封筒をセットする前の準備

セットする封筒の枚数にかかわらず、形状を整える作業を行います。

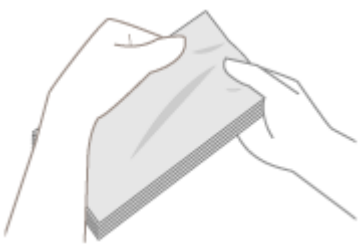
1 封筒のふたを閉じる



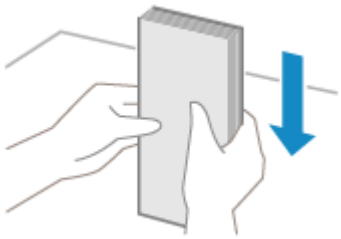
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと付け、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにして、カールを取る



4 平らな場所で封筒の端をそろえる



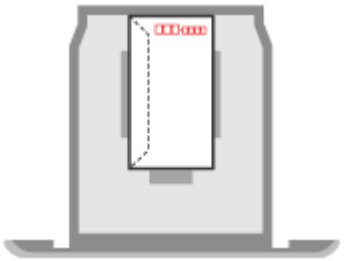
➠封筒をセットする前の準備ができました。

封筒の向き - 給紙カセット

オモテ面（ふたの貼り合わせがない面）を上にして、封筒の長辺とカセットの長辺が平行になるように、タテ向きにセットします。
ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。

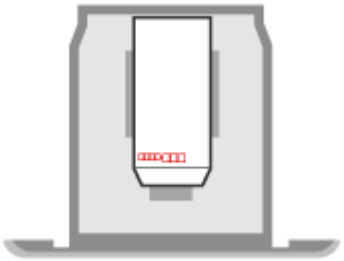
洋形長 3 号

封筒のふたを左側にして、閉じた状態でセットします。



長形 3 号

封筒のふたを手前にして、開いた状態でセットします。

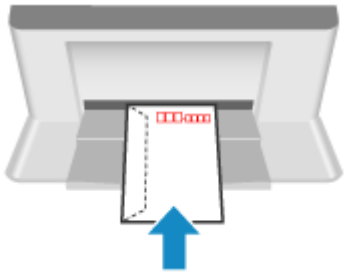


封筒の向き - 手差しトレイ

オモテ面（ふたの貼り合わせがない面）を上にして、封筒の短辺から差し込みます。
ふたの向きと開閉の状態は、封筒のサイズによって異なります。

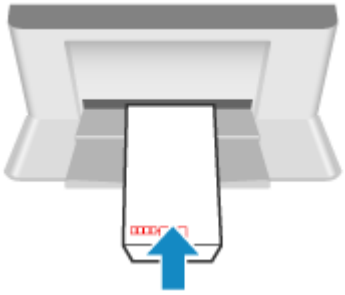
洋形長 3 号

封筒のふたを左側にして、閉じた状態で差し込みます。



長形 3 号／長形 4 号／長形 40 号

封筒のふたを手前にして、開いた状態で差し込みます。



はがきをセットする向き

AU03-032

はがきをセットするときは、はがきの向きと面に注意します。
はがきの両面にプリントしたい場合は、片面をプリントしてからセットしなおし、反対面をプリントします（手動両面プリント）。

はがきの向き - 給紙カセット(P. 157)
はがきの向き - 手差しトレイ(P. 158)

重要

カールを取ってからセットする

- カールしたはがきを使用すると、斜めにプリントされたり、画像がゆがんでプリントされたりすることがあります。

MEMO

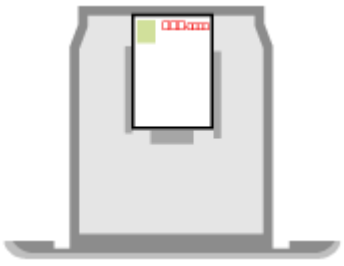
- はがきをセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
  給紙カセットにセットする場合 **定形外サイズの用紙をセットする(P. 148)**
  手差しトレイにセットする場合 **手差しトレイに用紙をセットする(P. 151)**

はがきの向き - 給紙カセット

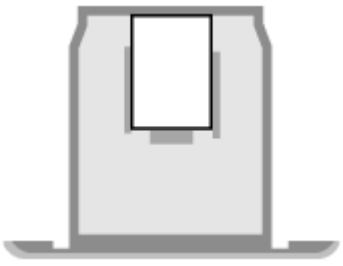
プリントする面を上にして、はがきの長辺とカセットの長辺が平行になるようにセットします。
セットするときのはがきの向きは、はがきの種類によって異なります。

通常はがき
プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端を奥にした状態でセットします。

宛名面にプリントする場合



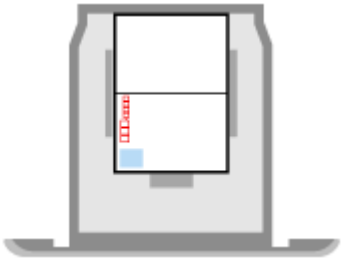
通信面にプリントする場合



往復はがき
プリントする面（往信面または返信面）を上にして、はがきを広げて上端を左側にした状態でセットします。

往信面にプリントする場合

返信面にプリントする場合





はがきの向き - 手差しトレイ

プリントする面を上にして、はがきの短辺から差し込みます。
差し込むときのはがきの向きは、はがきの種類によって異なります。

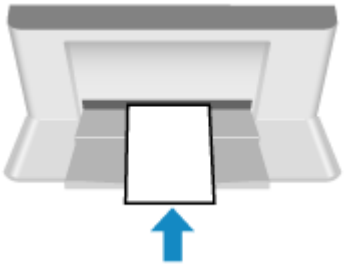
通常はがき

プリントする面（宛名面または通信面）を上にして、はがきの上端から差し込みます。

宛名面にプリントする場合



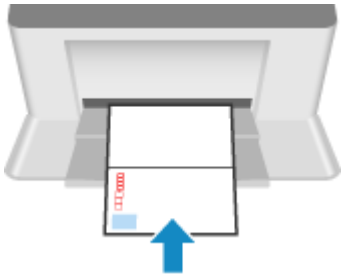
通信面にプリントする場合



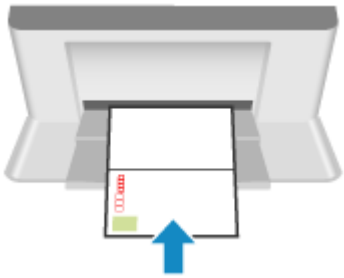
往復はがき

プリントする面（往信面または返信面）を上にして、はがきを広げて上端を左側にした状態で差し込みます。

往信面にプリントする場合



返信面にプリントする場合



ロゴ入り用紙をセットする向き

AU03-033

ロゴなどが入った用紙をセットするときは、用紙の向きと面に注意します。
初期設定では、片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面が異なります。

ロゴ入り用紙に片面プリントする場合(P. 159)
ロゴ入り用紙に両面プリントする場合(P. 159)

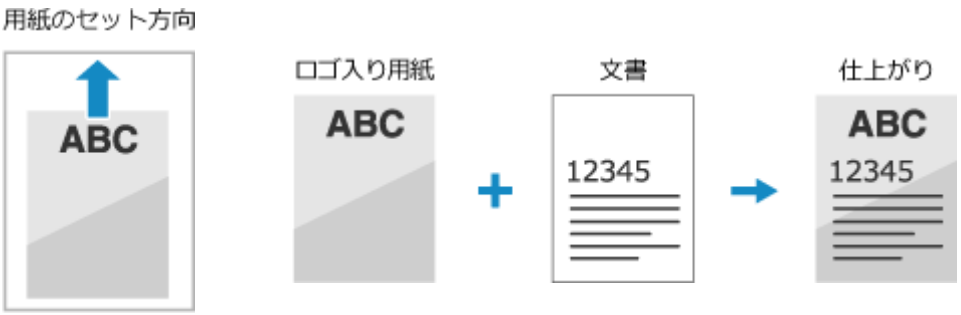
MEMO

- 用紙をセットするときの全体的な手順は、以下を参照してください。
  給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)
  手差しトレイに用紙をセットする(P. 151)
- 片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面を変更しなくてもよいように設定できます。この設定にしている場合は、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。 **［給紙方法切替］(P. 546)**

ロゴ入り用紙に片面プリントする場合

ロゴ入りの面（プリントする面）を上にしてセットします。

タテ向きのロゴ入り用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



ロゴ入り用紙に両面プリントする場合

ロゴ入りの面（1 ページ目をプリントする面）を下にしてセットします。

タテ向きのロゴ入り用紙



ヨコ向きのロゴ入り用紙



用紙サイズと用紙種類の設定

AU03-034

きれいにプリントしたり、紙づまりを防いだりするために、セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定する必要があります。
よく使用する用紙を登録したり、不要な用紙を非表示にしたりして、用紙の設定を簡略化することもできます。

用紙をセットしたあとに必要な設定

セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。

給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 162)
手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 164)

手差しトレイにいつも同じ用紙をセットしている場合は、使用する用紙を登録しておくと、毎回の設定が不要になります。

手差しトレイでよく使用する用紙サイズと用紙種類を登録する(P. 166)

用紙の設定の簡略化

用紙サイズを登録／設定しておくと、設定がスムーズになります。

定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙(P. 168)
使用しない用紙サイズを非表示にする(P. 169)

適切な用紙の使用

プリント時に、適切な用紙がセットされている給紙部が自動選択されるように設定できます。

機能ごとに適切な給紙部を使用する(P. 170)

給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する

AU03-035

初期設定では、給紙カセットの用紙サイズと用紙種類は、A4 サイズの普通紙 1 に設定されています。サイズや種類が異なる用紙をセットした場合は、用紙設定を変更します。

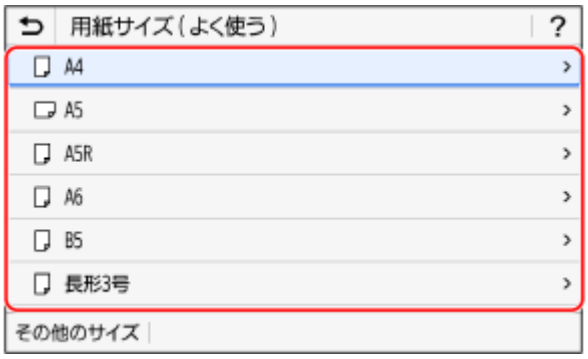
ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［用紙設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 設定を変更する給紙カセットを選択する



3 給紙カセットにセットした用紙のサイズを選択する



画面をスクロールすると、画面に表示しきれない用紙サイズ（封筒やはがきなど）を確認できます。

■A5 サイズの用紙をセットした場合

ヨコ置きでセットした場合は［A5］を、タテ置きでセットした場合は［A5R］を選択します。

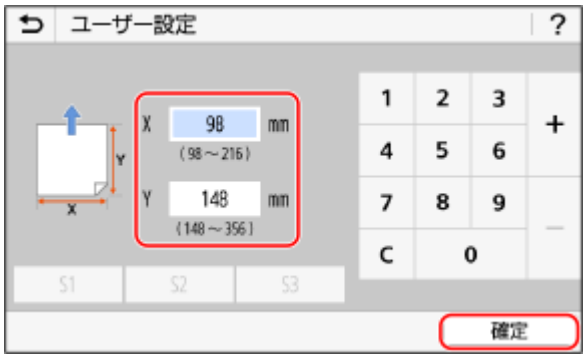
ヨコ置き（A5）　　タテ置き（A5R）



■定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットした場合

1 ［ユーザー設定］を押す

2 ［X］辺と［Y］辺の長さを入力し、［確定］を押す

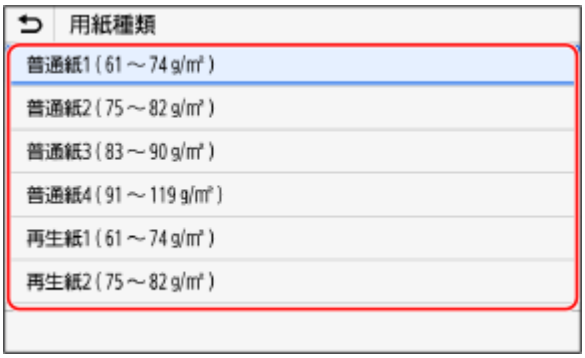


よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、［S1］～［S3］を押して呼び出すことができます。

■セットした用紙のサイズが表示されない場合

［その他のサイズ］を押し、表示された一覧から用紙サイズを選択します。

4 給紙カセットにセットした用紙の種類を選択する



➠用紙サイズと用紙種類が設定されます。

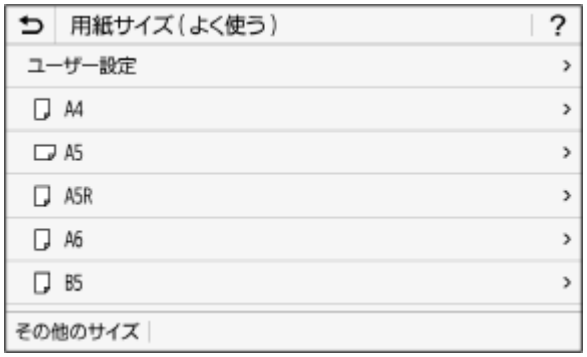
MEMO

- 手順 3 の画面に表示される用紙サイズは変更することができます。**使用しない用紙サイズを非表示にする (P. 169)**

手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する

AU03-036

手差しトレイに用紙をセットすると、操作パネルに以下の画面が表示されます。セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。



※手差しトレイの用紙サイズと用紙種類があらかじめ登録されている場合は、上記の画面が表示されません。**手差しトレイでよく使用する用紙サイズと用紙種類を登録する(P. 166)**

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。**パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 手差しトレイにセットした用紙のサイズを選択する



画面をスクロールすると、画面に表示しきれない用紙サイズ（封筒やはがきなど）を確認できます。

■A5 サイズの用紙をセットした場合

ヨコ置きでセットした場合は［A5］を、タテ置きでセットした場合は［A5R］を選択します。

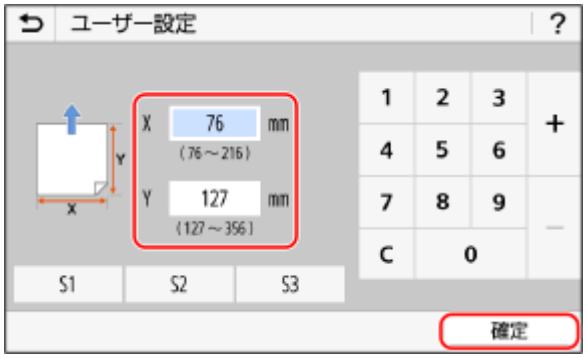
ヨコ置き（A5）　　タテ置き（A5R）



■定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）をセットした場合

1 ［ユーザー設定］を押す

2 ［X］辺と［Y］辺の長さを入力し、［確定］を押す

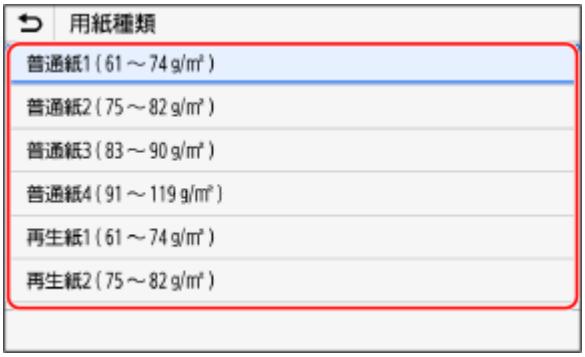


よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、［S1］～［S3］を押して呼び出すことができます。

■セットした用紙のサイズが表示されない場合

［その他のサイズ］を押し、表示された一覧から用紙サイズを選択します。

2 手差しトレイにセットした用紙の種類を選択する



➠用紙サイズと用紙種類が設定されます。

MEMO

- 手順 1 の画面に表示される用紙サイズは変更することができます。**使用しない用紙サイズを非表示にする (P. 169)**

手差しトレイでよく使用する用紙サイズと用紙種類を登録する

AU03-037

手差しトレイに用紙をセットすると、初期設定では、操作パネルに用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されます。いつも同じ用紙を手差しトレイにセットしている場合は、その用紙サイズと用紙種類を登録しておきます。用紙設定の画面が表示されなくなり、設定の手間を省けます。

登録した用紙と異なるサイズや種類の用紙を使用する場合

手順 3 で登録を解除したあと、手差しトレイに用紙をセットします。操作パネルに用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されたら、使用する用紙に合わせて設定します。**手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 164)**

ここでは、操作パネルを使用して登録する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。**パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［用紙設定］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 手差しトレイを選択する



3 登録する用紙サイズを選択する



画面をスクロールすると、画面に表示しきれない用紙サイズ（封筒やはがきなど）を確認できます。

■A5 サイズの用紙を登録する場合

ヨコ置きでセットする場合は［A5］を、タテ置きでセットする場合は［A5R］を選択します。

ヨコ置き（A5）　　タテ置き（A5R）

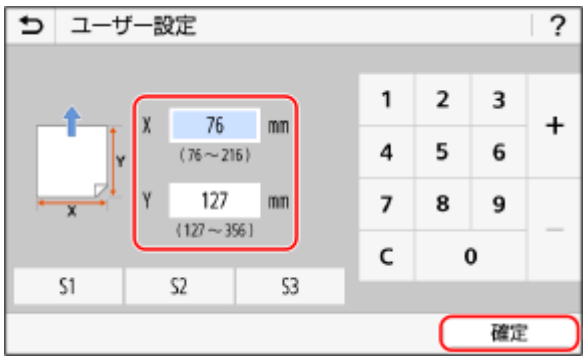




■定形外サイズの用紙（ユーザー設定用紙）を登録する場合

1 ［ユーザー設定］を押す

2 ［X］辺と［Y］辺の長さを入力し、［確定］を押す



よく使用する定形外サイズの用紙を登録している場合は、［S1］～［S3］を押して呼び出すことができます。

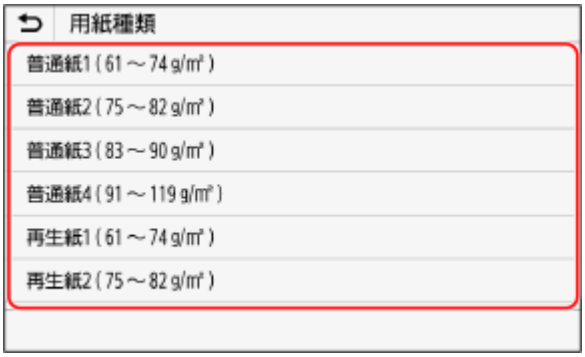
■登録する用紙サイズが表示されない場合

［その他のサイズ］を押し、表示された一覧から用紙サイズを選択します。

■登録した用紙を解除する場合

［用紙セット時に指定］を押します。手順 4 は不要です。
手差しトレイに用紙をセットすると、操作パネルに用紙サイズと用紙種類を設定する画面が表示されるようになります。

4 登録する用紙種類を選択する



➠用紙サイズと用紙種類が登録されます。

MEMO

- 手順 3 の画面に表示される用紙サイズは変更することができます。**使用しない用紙サイズを非表示にする (P. 169)**

定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙

AU03-038

ユーザー設定用紙とは、本機が対応している範囲内で、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの用紙のことです。
特定の定形外サイズの用紙をよく使用する場合は、サイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。
ユーザー設定用紙は 3 つまで登録できます。

ここでは、操作パネルを使用して登録する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して登録することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［用紙設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

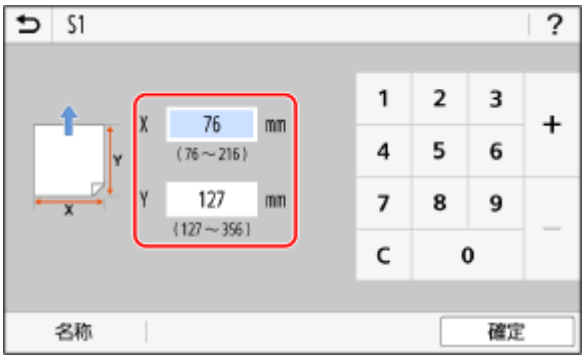
2 ［ユーザー設定用紙登録］を押す

➠［ユーザー設定用紙登録］画面が表示されます。

3 ［S1］～［S3］のいずれかを選択する

選択した番号にサイズが登録されます。

4 ［X］辺と［Y］辺の長さを入力する



［名称］を押すと、［S1］～［S3］の表示名を変更できます。

5 ［確定］を押す

➠ユーザー設定用紙が登録されます。

使用しない用紙サイズを非表示にする

AU03-039

用紙設定時の画面には、「よく使う用紙サイズ」として設定されている用紙サイズが表示されます。使用しない用紙サイズが表示されている場合は、給紙部ごとにそれらを非表示にすることで、用紙サイズを選択しやすくします。
非表示にした用紙サイズは、用紙設定時の画面で［その他のサイズ］を押すと、選択できます。

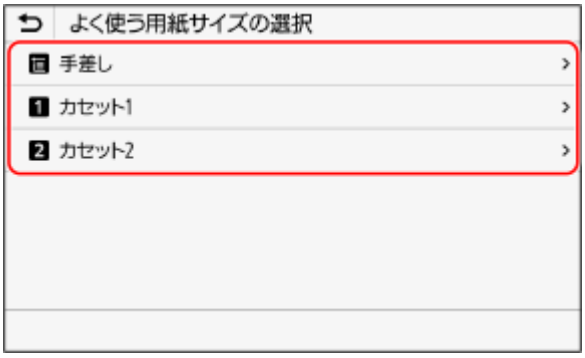
この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［用紙設定］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

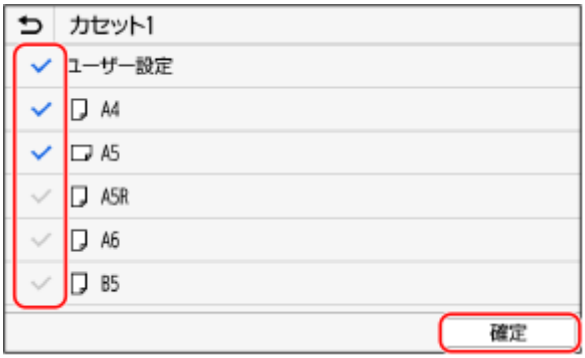
2 ［よく使う用紙サイズの選択］を押す

➠［よく使う用紙サイズの選択］画面が表示されます。

3 対象の給紙部を選択する



4 非表示にする用紙サイズのチェックマークを外し、［確定］を押す



➠チェックマークを外した用紙サイズは、用紙設定時の画面に表示されなくなります。

機能ごとに適切な給紙部を使用する

AU03-03A

給紙部を指定せずにプリントした場合は、プリントする用紙サイズに応じて、給紙部を本機が自動選択します。また、プリント中に用紙がなくなった場合も、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙部を自動選択して、プリントを継続します。自動選択の対象とする給紙部を、コピー／プリンター／ファクス受信などの機能ごとに設定することで、適切な給紙部を使用できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［給紙箇所の自動選択］(P. 545)**

1 リモート UI にログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［共通設定］▶［編集］をクリックする

➡［共通設定の編集］画面が表示されます。

4 ［給紙箇所の自動選択］で、自動選択の対象とする給紙部を［ON］に設定する

- 機能ごとに設定します。レポート／リストのプリントや、メモリーメディアプリントは、［その他］の給紙部を設定すると適用されます。
- どの機能も、いずれかの給紙カセットを自動選択の対象にしておく必要があります。手差しトレイのみが対象になっていると、設定を完了できません。

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

宛先の登録 - アドレス帳

AU03-03C

スキャンデータやファクスを送信／保存するときの宛先を、本機のアドレス帳に登録します。

アドレス帳の機能

アドレス帳に宛先を登録しておくと、送信／保存するたびに宛先の情報を入力する手間が省けます。アドレス帳には、宛先を指定しやすくするための機能があります。アドレス帳の画面や宛先指定時に、その機能を利用します。

アドレス帳の機能(P. 172)

登録できる宛先

- メールアドレス（メール／I ファクス）
- ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）
- ファクス番号

登録方法

名称やメールアドレス、ファクス番号などの情報を入力して登録したり、送信履歴や LDAP サーバーのユーザー情報を利用して登録したりできます。

宛先は操作パネル／リモート UI どちらでも登録できますが、登録できる宛先や登録方法が異なります。

操作パネルで登録する

送信履歴や LDAP サーバーを利用して登録する場合は、操作パネルを使用します。

ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）の宛先は、操作パネルでは登録できません。

宛先の情報を直接入力して登録する場合は、名称に漢字やひらがなを使用できません。

アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル(P. 174)

リモート UI で登録する

ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）の宛先を登録する場合や、宛先の名称を漢字やひらがなで登録する場合は、リモート UI を使用します。

リモート UI では、送信履歴や LDAP サーバーを利用して登録できません。

アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

■関連項目

アドレス帳をインポート／エクスポートする

アドレス帳のデータを他機と共有したりバックアップしたりできます。

アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)

アドレス帳の不正使用を防ぐ

アドレス帳の無断登録や編集を防ぐために、暗証番号を設定したり、登録方法を制限したりします。

アドレス帳の登録／編集を制限する(P. 444)

アドレス帳の機能

AU03-03E

アドレス帳に登録した宛先は、操作パネルの［ホーム］画面またはスキャン／ファクスの画面からアドレス帳を呼び出して指定します。
宛先の登録時に、宛先をすばやく指定するための機能を選択して登録します。
宛先をグループにしたり、種類別に宛先を表示したりして、アドレス帳の画面から効率的に宛先を指定することもできます。

宛先をすばやく指定するための機能

宛先を登録するときは、以下のいずれかを選択して登録します。

- **ベストメンバー**
  特によく使用する宛先は、ベストメンバーに登録します。宛先の種類にかかわらず登録でき、ベストメンバーとして登録した宛先のみをアドレス帳の画面で表示することができるため、宛先を探し出しやすくなります。
  ベストメンバーは、最大 19 件まで登録することができます。
- **短縮ダイヤル**
  宛先に 3 桁の番号を登録します。直接その番号を入力して宛先を指定できます。
  短縮ダイヤルは、最大 281 件まで登録することができます。

複数の宛先のグループ登録

登録済みのメールアドレスまたはファクス番号の宛先を、複数まとめてグループとして、ベストメンバーまたは短縮ダイヤルに登録できます。グループとして登録することで、送信時に複数の宛先を指定する手間が省けます。グループは、最大 299 件まで登録できます。
1 つのグループには、同じ種類の宛先のみ登録できます。
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル(P. 177)
アドレス帳にグループを登録する - リモート UI(P. 184)

インデックスによる分類

登録時に設定した名称の頭文字や宛先の種類（メール／ファクスなど）を、インデックスで分類して表示できます。

■アドレス帳の画面

［ホーム］画面やスキャン／ファクスの画面からアドレス帳を呼び出すと、以下の画面が表示されます。



登録した宛先の一覧

宛先の種類が以下のマークで示され、名称やメールアドレス、ファクス番号などの宛先情報が表示されます。

［ ］：メール

［ ］：I ファクス

［ ］：ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）

［ ］：ファクス

- グループの宛先には［ ］が表示されます。

- ベストメンバーに登録した宛先は、宛先の種類のマークの横に［⭐］が表示されます。

インデックス

画面の下部に表示されます。宛先の種類や名称の頭文字を選択することで、一覧に表示される宛先を絞り込んで表示できます。

- ［❮］／［❯］をタップするか、左右にフリックして、インデックスの表示を切り替えます。
- アドレス帳に登録されているすべての宛先を表示する場合は、［全て］を選択します。
- 表示する宛先を名称の頭文字で指定する場合は、［あ］～［YZ］のいずれかを選択します。

宛先を操作する項目

画面の右側に表示されます。宛先を登録／編集／削除したり、送信／保存の宛先に指定したりするときに押します。

- ［新規登録］以外の項目は、宛先にチェックマークを付けてから操作します。
- ［ホーム］画面からアドレス帳を呼び出した場合は、宛先にチェックマークを付けて［確定］を押すと、指定した宛先が入力された状態でスキャン／ファクスの画面が表示されます。

アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル

AU03-03F

操作パネルを使用して、アドレス帳に宛先を登録します。
メールアドレス（メール／I ファクス）やファクス番号を、以下の方法で登録できます。

- 宛先の情報を直接入力して登録する
- 送信履歴を呼び出して登録する
- LDAP サーバーで管理されているユーザー情報を検索して登録する

必要な準備

- LDAP サーバーを使用する場合は、検索用の LDAP サーバーを本機に登録します。 **LDAP サーバーを登録する (P. 89)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［アドレス帳］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 ［新規登録］を押す

➠［宛先の種類］画面が表示されます。

［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を押します。

3 宛先の種類を選択する



グループの宛先を登録する場合は、以下を参照してください。
アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル(P. 177)

4 宛先の情報を入力する



名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくと宛先指定時に名称の頭文字で検索できます。

■直接入力する場合

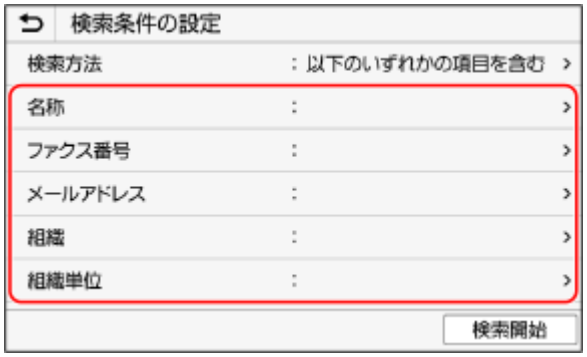
- 名称は、[名称]を押して入力し、[確定]を押します。
- 宛先は、[メールアドレス]／[I ファクスアドレス]／[ファクス番号]を押して入力し、[確定]を押します。
- [ファクス番号]に海外の宛先を入力する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。うまくつながらない場合は、番号と番号の間で[ポーズ]を押して、待ち時間（ポーズ）を入れます。ポーズの時間は変更できます。**[ポーズ時間セット](P. 587)**

■送信履歴を呼び出して入力する場合

- 名称は、[名称]を押して入力し、[確定]を押します。
- 送信履歴は、[送信の履歴]を押し、宛先を選択します。宛先がアドレス帳の登録画面に入力されます。

■LDAP サーバーを検索して入力する場合

1. [LDAP サーバー]を押す
2. LDAP サーバーを選択する
3. 検索する項目を選択し、検索文字列を指定する



   - 検索する文字列を入力し、[確定]を押します。
   - 検索する項目は複数指定できます。
4. [検索方法]を押し、検索条件を選択する
   - 手順 3 で指定したすべての項目に該当するユーザーを検索する場合は、[以下のすべての項目を含む]を選択します。
   - 手順 3 で指定したいずれかの項目に該当するユーザーを検索する場合は、[以下のいずれかの項目を含む]を選択します。
5. [検索開始]を押す

   ➠検索条件に該当するユーザーが表示されます。

   認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力し、[確定]を押します。
6. アドレス帳に登録するユーザーを選択する

   ➠名称と宛先がアドレス帳の登録画面に入力されます。

5 必要に応じて、ファクス送信の詳細を設定する

手順 4 でファクス番号を登録した場合、その番号への送信時に、エラーが発生したときや時間がかかるときに設定します。

ファクス番号以外を登録した場合、この手順は不要です。手順 6 に進みます。

1 ［ファクス番号］▶［詳細設定］を押す

2 各項目を設定し、［確定］を押す

［ECM 送信］ *1

画像の送信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま送信しないようチェックと修正を行います。

［送信スピード］ *1

電話回線の状態が悪いなど、送信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を下げて調整します。

［国際送信］

海外送信時に通信エラーが発生する場合に、［国際送信 (1)］を選択します。それでもエラーが改善されない場合は、［国際送信 (2)］、［国際送信 (3)］の順に試します。

*1 ここで設定しない場合は、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］からの設定が適用されます。
［ECM 送信］(P. 587)
［送信スタートスピード］(P. 589)

6 ［登録先］を押し、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］を選択する

［短縮ダイヤル］を選択した場合は、未登録の番号を選択するか、［テンキー入力］を押して 3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力します。

7 ［確定］を押す

➡ アドレス帳に宛先が登録されます。



スキャンやファクスの送信履歴から宛先を登録する

- アドレス帳から送信履歴を呼び出すだけでなく、スキャンやファクスの送信履歴からもアドレス帳に宛先を登録できます。
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)

アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル

AU03-03H

操作パネルを使用して、複数の宛先をまとめたグループをアドレス帳に登録します。
1 つのグループには、同じ種類の宛先のみ登録できます。ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）は、グループに登録できません。

必要な準備

- グループに追加する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。 **アドレス帳に宛先を登録する - 操作パネル (P. 174)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［アドレス帳］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 ［新規登録］を押す

➠［宛先の種類］画面が表示されます。

［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を押します。

3 ［グループ］を押す

➠［グループ］画面が表示されます。

4 ［名称］を押して名称を入力し、［確定］を押す

名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくと宛先指定時に名称の頭文字で検索できます。

5 ［宛先］▶［追加］を押す

6 グループに追加する宛先にチェックマークを付け、［確定］を押す



- アドレス帳の画面下部のインデックスを選択すると、宛先を絞り込んで表示できます。
- 複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

7 グループに追加する宛先が正しいことを確認し、［確定］を押す



宛先の情報を確認したい場合は、宛先にチェックマークを付け、［詳細情報］を押します。

※複数の宛先にチェックマークを付けて情報を確認することはできません。

8 ［登録先］を押し、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］を選択する

［短縮ダイヤル］を選択した場合は、未登録の番号を選択するか、［テンキー入力］を押し、3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力します。

9 ［確定］を押す

➠ アドレス帳にグループが登録されます。

アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル

AU03-03J

アドレス帳に登録されている宛先の情報を変更したり、使用しない宛先を削除したりします。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［アドレス帳］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 編集／削除する宛先にチェックマークを付ける



- アドレス帳の画面下部のインデックスを選択すると、宛先を絞り込んで表示できます。
- 宛先を削除する場合は、複数の宛先にチェックマークを付けてまとめて削除できます。
- 宛先の情報を確認したい場合は、宛先にチェックマークを付け、［詳細情報］を押します。
  ※複数の宛先にチェックマークを付けてまとめて確認することはできません。

3 宛先を編集／削除する

■宛先を編集する場合

1 ［編集］を押す
［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を押します。

2 項目を編集し、［確定］を押す

➡ 編集した情報が反映されます。

■宛先を削除する場合

1 ［削除］を押す
［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［確定］を押します。

2 ［はい］を押す

➡ 宛先が削除されます。

MEMO

- アドレス帳の宛先が「よく使う設定」で指定されている場合、アドレス帳での編集／削除が「よく使う設定」にも反映されます。 **よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)**

アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI

AU03-03K

パソコンからリモート UI を使用して、アドレス帳に宛先を登録します。
ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）の宛先を登録する場合や、宛先の名称を漢字やひらがなで登録する場合は、リモート UI を使用します。

リモート UI を使用して宛先を登録するには、管理者権限が必要です。

必要な準備

- 共有フォルダーの宛先を登録する場合は、以下の情報を手元に用意します。
  - 共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレス
    パソコンのシステム情報を確認する(P. 798)
    パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)
  - 共有フォルダーへのパス
  - 共有フォルダーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワード（アクセス制限が設定されている場合）
- FTP サーバーの宛先を登録する場合は、以下の情報を手元に用意します。
  - FTP サーバーの IP アドレス
  - データを保存するフォルダーのパス
  - FTP サーバーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワード（アクセス制限が設定されている場合）

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［アドレス帳］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］をクリックする

4 ［未登録］と表示されている項目をクリックする



➠［新規宛先の登録］画面が表示されます。

［暗証番号の入力］画面が表示された場合は、アドレス帳の暗証番号を入力し、［OK］をクリックします。

5 宛先の種類を選択し、[OK] をクリックする



- ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）の宛先を登録する場合は、[ファイル] を選択します。
- グループの宛先を登録する場合は、以下を参照してください。
  アドレス帳にグループを登録する - リモート UI(P. 184)

6 宛先の情報を設定する

名称は入力しなくても登録できますが、入力しておくと宛先指定時に名称の頭文字で検索できます。

■メールアドレス（メール／I ファクス）を登録する場合



名称とメールアドレスを入力します。

■ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）を登録する場合



1 名称を入力する

2 ［プロトコル］を選択する
共有フォルダーを登録する場合は、［Windows(SMB)］を選択します。

3 ［ホスト名］にコンピューター名または IP アドレスを入力する

共有フォルダーの場合

共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。

FTP サーバーの場合

FTP サーバーの IP アドレスを入力します。

※DNS サーバーを使用している場合は、コンピューター名や IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN を入力することもできます。

4 フォルダーへのパスを入力する

共有フォルダーの場合

共有フォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

入力例：共有フォルダーが C ドライブの［ユーザー］▶［パブリック］▶［share］フォルダー（C:\users\public\share）の場合
users\public\share

FTP サーバーの場合

ファイルを保存するフォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「/」を使用します。先頭に「/」を指定すると絶対パス、省略すると FTP サーバーにログインしたユーザーのカレントディレクトリーからの相対パスになります。

入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、ファイルの初回保存時に、入力した名前のフォルダーが作成されます。

※ただし、親フォルダーも存在しない場合や、親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず、送信エラーになります。

5 必要に応じて、ユーザー名とパスワードを入力する

- 共有フォルダーまたは FTP サーバーにアクセス制限が設定されている場合は、アクセスに使用するユーザー名とパスワードを入力します。
- パスワードを入力する場合は、［パスワードを設定する］にチェックマークを付けてから入力します。

■ファクス番号を登録する場合



1 名称とファクス番号を入力する
［ファクス番号］に海外の宛先を入力する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。うまくつながらない場合は、番号と番号の間に「p」を入力して、待ち時間（ポーズ）を入れます。ポーズの時間は変更できます。［ポーズ時間セット］(P. 587)

2 必要に応じて、ファクス送信の詳細を設定する
登録したファクス番号への送信時に、エラーが発生したときや時間がかかるときに設定します。

［ECM 送信する］ *1

チェックマークを付けると、画像の送信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま送信しないようチェックと修正を行います。

［送信スピード］ *1

電話回線の状態が悪いなど、送信が始まるまでに時間がかかる場合に、通信開始速度を下げて調整します。

［国際送信］

海外送信時に通信エラーが発生する場合に、［国際送信(1)］を選択します。それでもエラーが改善されない場合は、［国際送信(2)］、［国際送信(3)］の順に試します。

*1 ここで設定しない場合は、［設定/登録］▶［送信設定］▶［ファクス送信設定］の設定が適用されます。
［ECM 送信］(P. 587)
［送信スタートスピード］(P. 589)

7 ［OK］をクリックする

➡ アドレス帳に宛先が登録されます。

8 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録済みの宛先を編集／削除する

- 手順 4 の画面で、編集したい宛先をクリックすると、登録内容を編集できます。
- 手順 4 の画面で、削除したい宛先の右側にある［削除］をクリックすると、宛先が削除されます。
- アドレス帳の宛先が「よく使う設定」で指定されている場合、アドレス帳での編集／削除が「よく使う設定」にも反映されます。よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)

アドレス帳にグループを登録する - リモート UI

AU03-03L

パソコンからリモート UI を使用して、複数の宛先をまとめたグループをアドレス帳に登録します。
1 つのグループには、同じ種類の宛先のみ登録できます。ファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）は、グループに登録できません。

リモート UI を使用してグループを登録するには、管理者権限が必要です。

必要な準備

- グループに追加する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。 **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[アドレス帳] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ベストメンバー] または [短縮ダイヤル] をクリックする

4 [未登録] と表示されている項目をクリックする



➠ [新規宛先の登録] 画面が表示されます。

[暗証番号の入力] 画面が表示された場合は、アドレス帳の暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

5 [グループ] を選択し、[OK] をクリックする

➠ [新規宛先の登録 : グループ] 画面が表示されます。

6 [グループ] で、グループ名を入力する

グループ名は入力しなくても登録できますが、入力しておくと宛先指定時にグループ名の頭文字で検索できます。

7 ［メンバーの設定］で、［アドレス帳から選択］をクリックする

8 必要に応じて、アドレス帳の表示を切り替える



［種類］で、［ベストメンバー］または［短縮ダイヤル］を選択し、［表示切替］をクリックすると、アドレス帳の表示が切り替わります。

9 グループに追加する宛先にチェックマークを付け、［OK］をクリックする

➠［新規宛先の登録：グループ］画面の［メンバーリスト］に、宛先が追加されます。

複数の宛先に同時にチェックマークを付けることができます。

10 ［OK］をクリックする

➠アドレス帳にグループが登録されます。

11 リモート UI からログアウトする

宛先の指定

AU03-03R

スキャンデータやファクスを送信／保存するときは、以下の方法で宛先を指定します。
機能や宛先によって、指定方法や指定できる宛先の数が異なります。

宛先の指定方法

スキャンデータをメール／I ファクスで送信する場合、Cc/Bcc の宛先はアドレス帳からのみ指定できます。

アドレス帳を使用する

本機のアドレス帳に登録されている宛先を指定します。

宛先を指定する - アドレス帳(P. 187)

宛先を直接入力する

操作パネルのキーボードまたはテンキーを使用して、宛先を入力します。

宛先を指定する - 直接入力(P. 189)

LDAP サーバーを使用する

LDAP サーバーで管理されているユーザー情報から、宛先を検索して指定します。

宛先を指定する - LDAP サーバー(P. 190)

モバイル機器のアドレス帳を使用する

スキャンデータをメールで送信する場合に、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を指定します。

宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳(P. 192)

送信履歴を使用する

スキャンやファクスの送信履歴から、過去に指定した宛先を呼び出して指定します。

宛先を指定する - 送信履歴(P. 193)

複数の宛先の指定

宛先を指定する操作を繰り返すことで、複数の宛先を指定できます。
ただし、宛先にファイルの保存先（共有フォルダー／FTP サーバー）を指定する場合は、複数の宛先を指定できません。

複数の宛先を指定したあとに、特定の宛先のみ解除する場合

以下の手順で解除します。

スキャン／ファクスの画面の［宛先確認］▶ 解除する宛先やグループにチェックマークを付ける ▶［宛先から解除］▶［はい］

グループにチェックマークを付けた場合は、［詳細情報］▶［宛先］を押すと、グループに登録されている宛先を確認できます。グループに登録されている宛先は、個別に解除できません。

宛先の確認

本機の設定によって、指定した宛先が正しいかどうか確認する画面が表示されることがあります。
また、宛先の指定方法が制限されていたり、特定の宛先のみに送信が限定されていたりすることもあります。

誤送信／漏えいの防止(P. 428)

宛先を指定する - アドレス帳

AU03-03S

アドレス帳を利用して宛先を指定する場合は、操作パネルの［ホーム］画面またはスキャン／ファクスの画面で操作します。
［ホーム］画面からアドレス帳を呼び出して宛先を指定する場合は、宛先の一覧から指定します。
スキャン／ファクスの画面で宛先を指定する場合は、宛先の一覧から指定するほか、短縮ダイヤルの番号を入力して指定することもできます。

一覧から指定する(P. 187)
短縮ダイヤルの番号で指定する(P. 187)

一覧から指定する

1 ［ホーム］画面またはスキャン／ファクスの画面で、［アドレス帳］を押す

➠ アドレス帳が呼び出されます。

スキャンの画面の場合は、［宛先指定］タブで［アドレス帳］を押します。

■ ［To/Cc/Bcc］画面が表示された場合

指定する宛先の種別（To/Cc/Bcc）を選択します。

2 指定する宛先にチェックマークを付け、［確定］を押す



➠ 宛先が指定されます。
［ホーム］画面からアドレス帳を呼び出して宛先を指定した場合は、指定した宛先が入力された状態でスキャン／ファクスの画面が表示されます。

アドレス帳の画面下部のインデックスを選択すると、宛先を絞り込んで表示できます。

短縮ダイヤルの番号で指定する

3 桁の短縮ダイヤルの番号を入力して、宛先を指定します。

1 スキャン／ファクスの画面の［宛先指定］タブで、［短縮ダイヤル］を押す

➠ ［短縮番号を入力］画面が表示されます。

■［To/Cc/Bcc］画面が表示された場合

指定する宛先の種別（To/Cc/Bcc）を選択します。

2 3桁の短縮ダイヤルの番号を入力する

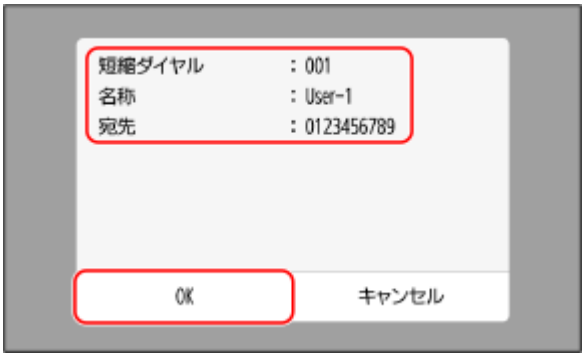


➠宛先が指定されます。

番号を間違って入力した場合は、［C］を押して消去します。

■宛先確認画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認してから［OK］を押します。



宛先を指定する - 直接入力

AU03-03U

アドレス帳や LDAP サーバーに登録されていない宛先を指定する場合は、操作パネルのスキャン／ファクスの画面で宛先を直接入力します。

■スキャンの場合

1 スキャンの画面の［宛先指定］タブで、［キーボード入力］を押す

2 メールアドレスを入力し、［確定］を押す

➠宛先が指定されます。

■ファクスの場合

ファクスの画面の［テンキー］タブで、ファクス番号を入力します。

- ファクス番号を間違って入力した場合は、［⌫］を押して消去します。
- 2 件目以降の宛先を入力する場合は、［次の宛先］を押します。［確認入力］画面が表示された場合は、直前に入力したファクス番号を再度入力し、［確定］を押します。
- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に入力します。うまくつながらない場合は、番号と番号の間で［ポーズ］を押して、待ち時間（ポーズ）を入れます。ポーズの時間は変更できます。
［ポーズ時間セット］(P. 587)

宛先を指定する - LDAP サーバー

AU03-03W

LDAP サーバーでユーザー情報が管理されている場合は、操作パネルのスキャン／ファクスの画面からその情報を検索して、宛先に指定できます。
認証送信（LDAP サーバー認証）のログインをした場合は、ログイン中のユーザー自身のメールアドレスを指定することもできます。

必要な準備

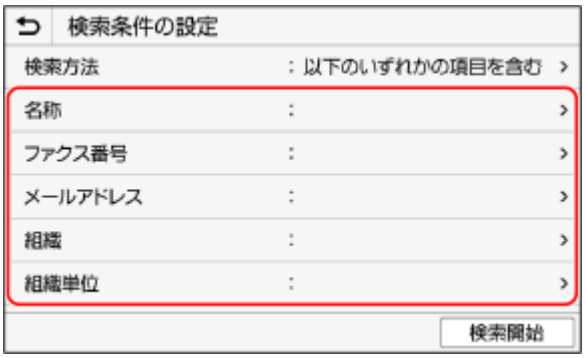
- 検索用の LDAP サーバーを本機に登録します。 **LDAP サーバーを登録する(P. 89)**

1 スキャン／ファクスの画面の［宛先指定］タブで、［LDAP サーバー］を押す

認証送信のログインをした場合に、ログイン中のユーザー自身のメールアドレスを指定するときは、［自分の宛先］を押します。以降の操作は不要です。

2 LDAP サーバーを選択する

3 検索する項目を選択し、検索文字列を指定する



- 検索する文字列を入力し、［確定］を押します。
- 検索する項目は複数指定できます。

4 ［検索方法］を押し、検索条件を選択する

- 手順 3 で指定したすべての項目に該当するユーザーを検索する場合は、［以下のすべての項目を含む］を選択します。
- 手順 3 で指定したいずれかの項目に該当するユーザーを検索する場合は、［以下のいずれかの項目を含む］を選択します。

5 ［検索開始］を押す

➠ 検索条件に該当するユーザーが表示されます。

認証画面が表示された場合は、LDAP サーバーに登録されている本機のユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を押します。

6 宛先に指定するユーザーにチェックマークを付け、［確定］を押す

➠宛先が指定されます。

宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳

AU03-03X

スキャンデータをメールで送信する場合は、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を、操作パネルのスキャンの画面から指定できます。

必要な準備

- モバイル機器にキヤノンの専用アプリ「Canon PRINT」をインストールします。 **専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT(P. 368)**
- 本機とモバイル機器のアドレス帳が連携できるように設定します。 **［ﾓﾊﾞｲﾙ端末のｱﾄﾞﾚｽ帳連携］(P. 581)**

1 スキャンの画面の［宛先指定］タブで、［モバイルポータル］を押す

2 モバイル機器に接続する **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**

3 モバイル機器から本機に宛先の情報を送信する

- 送信方法については、オンラインマニュアルサイトで Canon PRINT のマニュアルを参照してください。
- モバイル機器側で入力した件名／本文／ファイル名も本機に送信できます。

4 本機の画面に表示された宛先の情報を確認し、［OK］を押す

➠ 宛先が指定されます。

宛先を指定する - 送信履歴

AU03-03Y

過去に送信した宛先を、操作パネルのスキャン／ファクスの画面から送信履歴を呼び出して指定できます。送信したときのスキャン設定も、宛先と併せて反映されます。
送信履歴を呼び出すと、指定済みの宛先とスキャン設定は上書きされます。

重要

- 履歴からの送信が制限されている場合は、送信履歴は使用できません。**送信履歴からの宛先指定を禁止する(P. 429)**

1 スキャン／ファクスの画面の［宛先指定］タブで、［送信の履歴］を押す

2 呼び出したい履歴を選択する



➠選択した履歴の宛先とスキャン設定が反映されます。

履歴の宛先が複数の場合、1 件目の宛先だけが表示されますが、すべての宛先が反映されます。

3 必要に応じて、宛先やスキャン設定を変更する

呼び出した宛先とスキャン設定は、変更して送信できます。

MEMO

- 送信履歴は以下のときに消去されます。
  - 電源を切ったとき
  - 新規宛先の入力が制限されたとき**登録済みの宛先のみに送信できるようにする(P. 430)**

USB メモリーを差し込む／取り外す

AU03-040

USB メモリーと本機でデータをやりとりする場合は、本機に USB メモリーを差し込みます。
USB メモリーを取り外すときは、操作パネルを使用して安全な状態にして取り外します。
ファイルシステム（対応フォーマット）が FAT16（2 GB まで）／FAT32（32 GB まで）の USB メモリーを使用できます。

USB メモリーを差し込む(P. 194)
USB メモリーを取り外す(P. 195)

重要

USB メモリーへのデータの保存

- USB メモリーによっては、データを正しく保存できない場合があります。

サポートしていない機器／使用方法

- セキュリティー機能付きの USB メモリー
- USB 規格に準拠していない USB メモリー
- USB 接続のメモリーカードリーダー
- 延長ケーブルに接続した USB メモリーの使用
- USB ハブ経由での USB メモリーの使用

USB メモリーの取り扱い

- データの読み込み／書き込み中は、USB メモリーを取り外したり、衝撃や振動を与えたりしないようにします。また、本機の電源を切らないようにします。

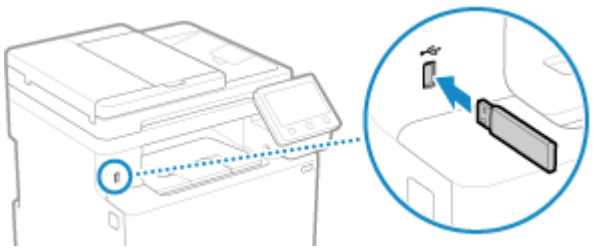
USB メモリーを差し込む

USB メモリーの向きを確認し、本機前面の USB ポートに差し込みます。

重要

USB メモリーを差し込む前に確認する

- 本機の USB ポートに対して USB メモリーが正しい向きになっていることを確認します。間違った向きで差し込もうとすると、USB メモリーと本機が故障する原因になります。



USB メモリーを取り外す

USB メモリーは、操作パネルを使用して取り外します。パソコンからリモート UI を使用して取り外すことはできません。

重要

USB メモリーは手順に従って取り外す

- 手順に従って USB メモリーを取り外さないと、USB メモリーと本機が故障する原因になります。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［ﾒﾃﾞｨｱ取り外し］を押す

3 ［メモリーメディアを取り外すことができます。］と表示されたことを確認し、USB メモリーを取り外す

よく使用する設定の登録

AU03-041

各機能で同じ設定や値をよく使用する場合は、以下の方法で登録しておくことができます。

よく使用する設定を登録してすばやく機能を実行する

スキャン／ファクス／コピー機能で、目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を登録できます。登録した設定は、操作パネルの［ホーム］画面に追加したショートカットボタンや、各機能の画面から呼び出すことができます。
各ユーザーが繰り返し設定する手間が省け、設定ミスを防ぐことができます。

よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)

初期設定を変更する

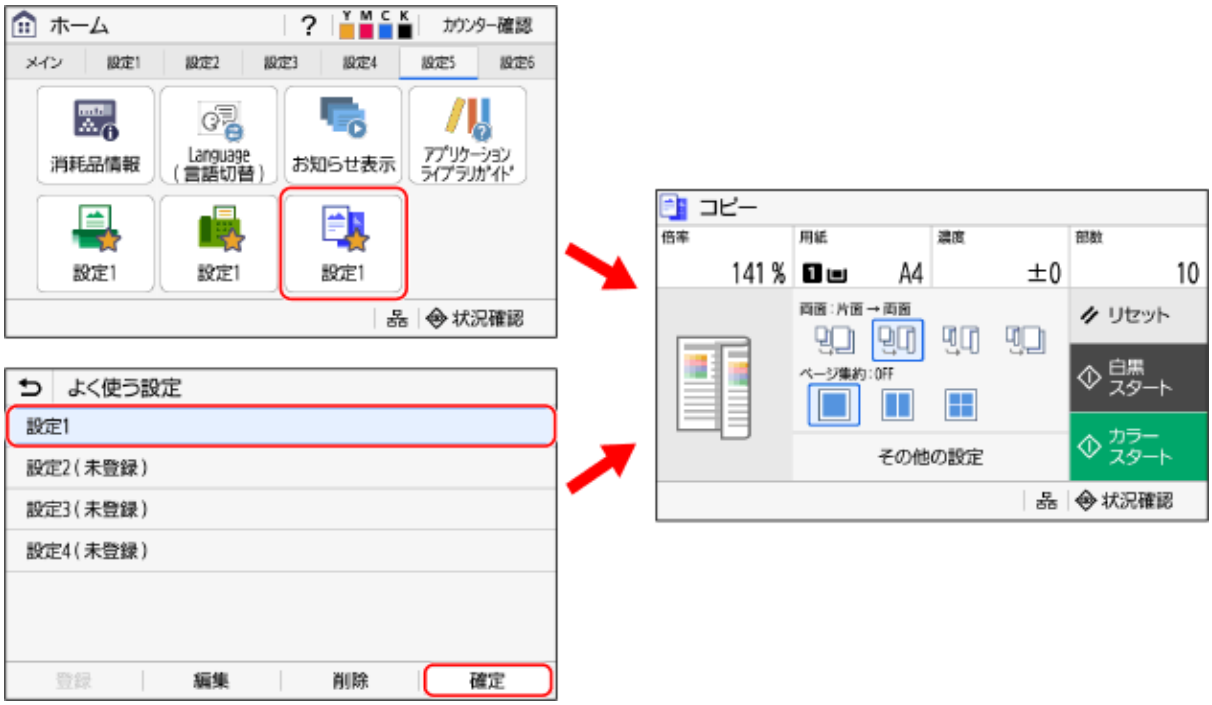
各機能を利用するときの初期設定を変更できます。ユーザーが設定を変更しなければ、この初期設定がそのまま使用されます。
標準としたい設定や、用紙などを節約する設定にすることで、業務効率化やコスト削減に役立てることができます。

初期設定を変更する(P. 200)

よく使用する設定を登録する／呼び出す

AU03-042

スキャン／ファクス／コピー機能で、目的に応じた設定や、覚えておきたい設定を「よく使う設定」として登録します。
どのような設定か、誰が使用するかなどが分かるように、名前を付けて登録できます。
登録した設定は、操作パネルの［ホーム］画面に追加したショートカットボタンや、各機能の画面から呼び出し、すばやく機能を実行できます。設定は、呼び出したあと、必要に応じて変更することもできます。



「よく使う設定」を登録する(P. 197)
登録した「よく使う設定」を呼び出す(P. 198)

「よく使う設定」を登録する

スキャン／ファクスの設定を登録する場合は、登録する内容を設定するときに宛先が指定されていると、宛先も「よく使う設定」に登録されます。不要な宛先が指定されていないことを確認してから登録します。
登録後に宛先を変更することはできません。登録されている宛先を変更する場合は、「よく使う設定」をいったん削除してから登録しなおす必要があります。

「よく使う設定」は、操作パネルを使用して登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録することはできません。
ここでは、コピーを例に手順を説明します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［コピー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡ コピーの画面が表示されます。

2 登録する内容を設定する コピーする(P. 331)

3 ［その他の設定］▶［よく使う設定］を押す

4 未登録の項目を選択し、［登録］を押す



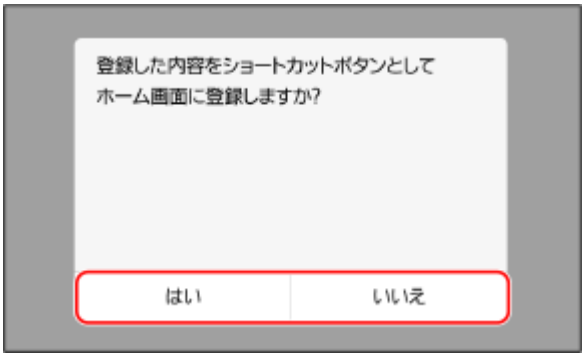
➠手順 2 で設定した内容が表示されます。

5 設定内容を確認し、［登録］を押す



- 設定内容を変更する場合は、変更する項目を選択し、設定しなおします。
- ［名称］を押すと、「よく使う設定」の登録名を変更できます。

6 ショートカットボタンを［ホーム］画面に登録するかどうかを選択する



- ［はい］を選択すると、ショートカットボタンについてのメッセージが表示されます。［OK］を押すと、ショートカットボタンが［ホーム］画面に登録されます。
- ［いいえ］を選択すると、「よく使う設定」のみが登録されます。あとから［ホーム］画面にショートカットボタンを登録することもできます。**ショートカットボタンを追加する(P. 135)**

登録した「よく使う設定」を呼び出す

スキャン／ファクス／コピー機能を利用するときに、登録した「よく使う設定」の中から目的に応じた設定を呼び出します。

■ショートカットボタンとして［ホーム］画面に登録した場合

操作パネルの［ホーム］画面で、ショートカットボタンを押すと設定を呼び出せます。

■各機能の画面から呼び出す場合

以下の手順で呼び出します。ここでは、コピーを例に手順を説明します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［コピー］を押す［ホーム］画面(P. 124)

➡コピーの画面が表示されます。

2 ［その他の設定］▶［よく使う設定］を押す

➡［よく使う設定］画面が表示されます。

3 使用する設定を選択し、［確定］を押す

➡設定が呼び出されます。
コピーの設定が完了した状態になるため、［スタート］を押すだけで実行できます。

初期設定を変更する

AU03-043

操作パネルでスキャンやコピーなどの機能を呼び出したときの、初期設定を変更します。
各機能の画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［ファンクション設定］を押す

3 初期設定の変更メニューを選択する

変更する機能に応じて、以下の項目を選択します。

メモリーメディアプリント

［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［保存ファイルの利用設定］▶［デフォルト設定の変更 (メモリーメディアプリント)］

スキャン（USB メモリー保存）

［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［スキャンして保存設定］▶［USB メモリー設定］▶［デフォルト設定の変更 (USB メモリー)］

スキャン（メール送信）

［送信］▶［スキャンして送信設定］▶［メール設定］▶［デフォルト設定の変更 (メール)］

スキャン（共有フォルダー／FTP サーバー保存）

［送信］▶［スキャンして送信設定］▶［ファイル設定］▶［デフォルト設定の変更 (ファイル)］

ファクス

［送信］▶［ファクス設定］▶［デフォルト設定の変更 (ファクス)］

I ファクス

［送信］▶［スキャンして送信設定］▶［I ファクス設定］▶［デフォルト設定の変更 (I ファクス)］

コピー

［コピー］▶［デフォルト設定の変更 (コピー)］

4 変更する設定項目を選択し、初期設定を変更する



各機能の設定項目については、以下を参照してください。

- **［デフォルト設定の変更 (メモリーメディアプリント)］(P. 603)**
- **［USB メモリー設定］(P. 602)**
- **［デフォルト設定の変更 (メール)］(P. 579)**
- **［デフォルト設定の変更 (ファイル)］(P. 583)**
- **［デフォルト設定の変更 (ファクス)］(P. 586)**
- **［デフォルト設定の変更 (I ファクス)］(P. 581)**
- **［デフォルト設定の変更 (コピー)］(P. 552)**

5 ［確定］を押す

➠ 初期設定が変更されます。

MEMO

初期設定を工場出荷時の設定に戻す

- 手順 4 の画面で、［初期化］▶［はい］を押します。

音量の調整

AU03-044

本機から鳴る音の音量を調整したり、本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうかを設定したりします。
ファクス機能がある機種とない機種で、調整できる音と操作手順が異なります。

音量を調整する（ファクス機能がある場合）(P. 203)
音量を調整する（ファクス機能がない場合）(P. 206)

音量を調整する（ファクス機能がある場合）

AU03-045

本機から鳴る音の音量を調整します。
本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうかも設定できます。

ファクスの通信音を調整する(P. 203)
ファクスの終了音を調整する(P. 203)
本機の操作や状態の通知音を設定する(P. 204)

ファクスの通信音を調整する

ファクスの通信中に鳴る音の音量を調整します。

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して調整することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの音量キー（）を押す **操作パネル(P. 19)**

2 スライダーを左右に動かして音量を調整し、［確定］を押す



➡ 音量の調整が反映されます。

- スライダーを右側に移動するほど、音量が大きくなります。
- スライダーを左端に合わせると、音が鳴らなくなります。

ファクスの終了音を調整する

ファクスの送信／受信／原稿スキャンが終了したことを知らせる音の音量を調整します。
エラー時のみ鳴らすように設定することもできます。

ここでは、操作パネルを使用して調整する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して調整することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの音量キー（）を押す **操作パネル(P. 19)**

➡ ［通信音量］画面が表示されます。

2 ［他の音量設定］を押す

➡［音量設定］画面が表示されます。

3 音量を調整する項目を選択する

［送信終了音］

ファクスの送信が終了したことを知らせる音の音量を調整します。

［受信終了音］

ファクスの受信が終了したことを知らせる音の音量を調整します。

［読取終了音］

ファクスの原稿スキャンが終了したことを知らせる音の音量を調整します。

4 スライダーを左右に動かして音量を調整し、［確定］を押す



- スライダーを右側に移動するほど、音量が大きくなります。
- スライダーを左端に合わせると、音が鳴らなくなります。
- エラー時のみ終了音を鳴らす場合は、［エラー時のみ鳴らす］を［ON］に設定します。

5 ［確定］▶［確定］を押す

➡音量の調整が反映されます。

本機の操作や状態の通知音を設定する

操作パネル使用時やエラー検知時など、本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうか設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの音量キー（）を押す **操作パネル(P. 19)**

➡［通信音量］画面が表示されます。

2 ［他の音量設定］を押す

➠［音量設定］画面が表示されます。

3 通知音を慣らすかどうか設定する ［音量設定］画面(P. 207)

通知音を鳴らす場合は、［ON］を選択します。

4 ［確定］ ［確定］を押す

➠通知音の設定が反映されます。

音量を調整する（ファクス機能がない場合）

AU03-046

操作パネル使用時やエラー検知時など、本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうか設定します。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの音量キー（）を押す **操作パネル(P. 19)**

➠［音量設定］画面が表示されます。

2 通知音を鳴らすかどうか設定する **［音量設定］画面(P. 207)**

通知音を鳴らす場合は、［ON］を選択します。

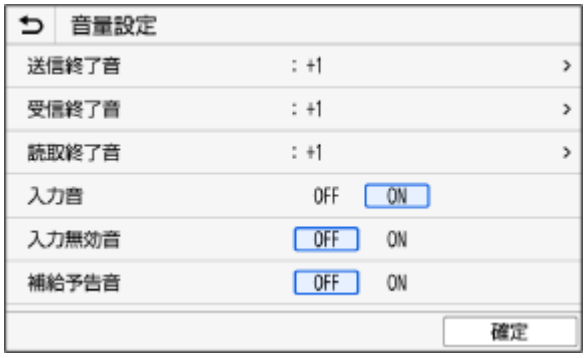
3 ［確定］を押す

➠通知音の設定が反映されます。

［音量設定］画面

AU03-047

操作パネルの音量キー（）、または音量キー（）▶［他の音量設定］を押すと、［音量設定］画面が表示されます。
ファクスの送受信終了などを知らせる音の音量を調整したり、本機の操作や状態を知らせる音を鳴らすかどうかを設定したりします。



［送信終了音］／［受信終了音］／［読取終了音］（ファクス機能がある機種のみ）
ファクスの送信／受信／原稿スキャンが終了したことを知らせる音の音量を調整します。

［入力音］
操作パネルのキーやボタンが押されたときに、音を鳴らすかを設定します。

［入力無効音］
設定範囲外の数値が入力された場合など、無効なキー操作が行われたときに、音を鳴らすかを設定します。

［補給予告音］
トナーカートリッジが寿命に近づいたときに、音を鳴らすかを設定します。

［警告音］
紙づまりや誤操作など、本機にトラブルが起きたときに、音を鳴らすかを設定します。

［ジョブ終了音］
コピーやスキャンなど、本機で行われる処理が終了したときに、音を鳴らすかを設定します。

［節電移行音］
スリープモードになったときや、スリープモードが解除されたときに、音を鳴らすかを設定します。

［フィーダー原稿検知音］
フィーダーに原稿がセットされたことを検知したときに、音を鳴らすかを設定します。

プリントする

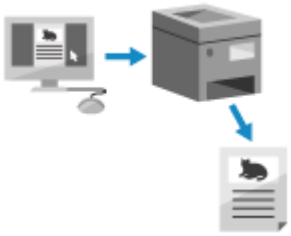
プリントする 209
プリントの準備 211
パソコンからプリントするための準備 212
プリンターポートを設定する（Windows のみ） 215
プリントサーバーを利用するための準備 219
USB メモリー内のファイルをプリントするための準備 222
パソコンからプリントする 223
パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙 226
暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント 228
暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する 232
ドライバーのセキュアプリント機能を有効にする（macOS のみ） 233
USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント 234
USB メモリー内のファイル選択画面 236
メモリーメディアプリントの設定 237
プリントを中止する 243
プリント状況や履歴を確認する 246

プリントする

AU03-048

パソコンから文書や写真をプリントしたり、本機に差し込んだ USB メモリー内のファイルを直接プリントしたりできます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

パソコンからプリントする



パソコンにインストールされたプリンタードライバーを介して、文書や写真を本機でプリントします。
パソコンからプリントするための準備(P. 212)
パソコンからプリントする(P. 223)

プリントサーバーを用意する

ネットワーク上にプリントサーバーを用意しておくと、プリント時にかかる各パソコンへの負荷を軽減できます。また、Windows の場合は、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールできるようになるため、各パソコンでプリンタードライバーをダウンロードしたり CD/DVD-ROM を用意したりする手間も省けます。
プリントサーバーを利用するための準備(P. 219)

暗証番号を付けてプリントする

パソコンからのプリント時に、暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信することができます。
暗証番号を本機で入力しないとプリントが実行されないため、プリントされた用紙の放置や持ち去りを防ぎます。
暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント(P. 228)

OS の標準機能やクラウドサービスでプリント

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、プリントできます。

Windows

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を利用してプリントできます。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。
Universal Print を使用するための準備(P. 355)
Universal Print を使用してプリントする(P. 370)

macOS

AirPrint を使用してプリントできます。 **AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)**

Chrome OS

OS 標準のプリント機能を使用します。 **Chrome OS からプリントする(P. 377)**

USB メモリー内のファイルを直接プリント



本機に差し込んだ USB メモリー内の PDF/JPEG/TIFF ファイルを、パソコンを介さずに直接プリントします。
ネットワーク接続していないパソコンのファイルや、外部から持ち込んだファイルをプリントするときなどに便利です。
USB メモリー内のファイルをプリントするための準備(P. 222)
USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント(P. 234)

■関連項目

モバイル機器からプリントする

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からも使用できます。本機が対応しているアプリやサービスを介して、モバイル機器から写真や文書を手軽にプリントできます。
モバイル／クラウド連携(P. 350)

期待どおりの結果にならない場合

色が再現されなかったり、画像の位置がずれたりする場合は、症状に応じて画質やプリント位置を調整します。
画質／プリント位置の調整(P. 663)

クラウドサービスに保存したデータをプリントする

本機と連携するクラウドサービスに保存したスキャンデータをプリントできます。
この機能を使用するには、リモート UI のポータル画面で［アプリケーションライブラリ］をクリックして、アプリケーションを設定する必要があります。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**
詳細については、アプリケーションライブラリのユーザーズガイドを参照してください。
アプリケーションライブラリ

プリントの準備

AU03-049

プリントするときは、プリント方法や使用環境に応じた準備が必要です。

パソコンからプリントするための準備(P. 212)
プリントサーバーを利用するための準備(P. 219)
Universal Print を使用するための準備(P. 355)
USB メモリー内のファイルをプリントするための準備(P. 222)

パソコンからプリントするための準備

AU03-04A

プリントするパソコンごとに、以下の準備をします。

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする(P. 212)
Step 2：ドライバーで部門 ID／暗証番号を設定する(P. 212)
Step 3：ドライバーで本機のオプション情報を設定する(P. 213)

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする

プリントするパソコンに、プリンタードライバーをインストールします。 **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)**

Windows でプリントサーバーを利用する場合
プリントサーバーを介してインストールします。
プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 797)**

MEMO

ポートの種類や番号を変更する（Windows のみ）

- 本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合や、ポート番号が変更されている場合は、パソコン側の設定も同様に変更する必要があります。 **ポートの種類や番号を変更する(P. 217)**

プリンタードライバーのインストール後に本機の IP アドレスが変更された場合

- Windows の場合は、使用しているポートによって必要な対応が異なります。
  - MFNP ポートを使用している場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続が維持されるため、パソコン側での対応は不要です。
  - 標準 TCP/IP ポートを使用している場合は、新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 215)**

  使用しているポートがわからない場合は、以下を参照してください。
  プリンターポートを確認する(P. 802)
- macOS の場合は、パソコンに本機を登録しなおす必要があります。本機を登録する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

※DHCP を使用して本機の IP アドレスを自動取得している場合は、IP アドレスが自動的に変更されることがあります。

Step 2：ドライバーで部門 ID／暗証番号を設定する

本機が部門別 ID 管理中の場合は、プリンタードライバーで部門 ID や暗証番号を設定します。 **パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する(P. 390)**
※部門別 ID 管理を使用していない場合、この Step は不要です。Step 3 に進みます。

Step 3：ドライバーで本機のオプション情報を設定する

本機にオプション機器が取り付けられている場合は、あらかじめプリンタードライバーにオプション情報を設定しておく必要があります。
Windows の場合、通常はプリンタードライバーのインストール時に、自動的にオプション情報が設定されます。
インストール時にオプション情報が設定されなかった場合や、インストール後にオプション機器を取り付けた場合、macOS の場合は、以下の手順でオプション情報を設定します。

Windows の場合(P. 213)
macOS の場合(P. 214)

■Windows の場合

各パソコンの管理者権限が必要です。

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [デバイスの設定] タブで、[デバイス情報] の [ ] をクリックする

➠ [確認] 画面が表示されます。

5 [はい] をクリックする

➠ オプション情報が取得されます。

6 [OK] ▶ [OK] をクリックする

➠ 設定が反映されます。

MEMO

[デバイス情報を取得できませんでした。] と表示された場合

- オプション情報を手動で設定します。手動で設定する方法については、[デバイスの設定] タブの [ヘルプ] をクリックしてヘルプを参照してください。

■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➠ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブで、[プリンタユーティリティを開く] をクリックする

➠ [Office Printer Utility] 画面が表示されます。

4 [プリンタ情報] をクリックする

➠ オプション情報が取得され、[プリンタ情報] 画面が表示されます。

5 [OK] をクリックする

➠ 設定が反映されます。

MEMO

オプション情報を取得できない場合

- オプション情報を手動で設定します。手動で設定する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

プリンターポートを設定する（Windows のみ）

AU03-04C

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows でプリンターを追加したりすると、パソコンからプリントできないことがあります。そのような場合は、プリンタードライバーで新しいポートを追加します。
また、プリンタードライバーのポートの種類やポート番号が本機の設定と異なっている場合も、パソコンからプリントできません。その場合は、プリンタードライバーの設定を、本機の設定に合わせて変更します。

ポートを追加する(P. 215)
ポートの種類や番号を変更する(P. 217)

ポートを追加する

本機が対応しているポートには、「MFNP ポート」と「標準 TCP/IP ポート」の 2 つがあります。使用環境などに合わせて、使用するポートを選択して追加します。

MFNP ポート（IPv4 環境のみ）
インストーラーを使用してプリンタードライバーをインストールした場合にのみ追加できるポートです。本機の IP アドレスが変更されても、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続が維持されます。

標準 TCP/IP ポート
Windows に標準搭載されているポートです。本機の IP アドレスが変更された場合は、その都度新しいポートを追加する必要があります。MFNP ポートを追加できない場合に選択します。

各パソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- 以下の情報を手元に用意します。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**
  - MFNP ポートを追加する場合は、本機の IP アドレスまたは MAC アドレス
  - 標準 TCP/IP ポートを追加する場合は、本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➡ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➡ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [ポート] タブで、[ポートの追加] をクリックする

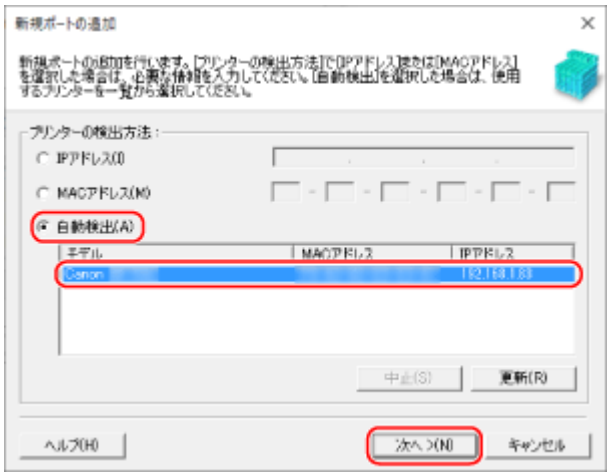
➡ [プリンターポート] 画面が表示されます。

5 新しいポートを追加する

■MFNP ポートを追加する場合

1 ［Canon MFNP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする

2 ［自動検出］を選択し、本機を選択して、［次へ］をクリックする



本機が表示されない場合は、［更新］をクリックします。それでも表示されない場合は、［IP アドレス］または［MAC アドレス］を選択し、本機の IP アドレスまたは MAC アドレスを入力してから［次へ］をクリックします。

3 ［追加］をクリックする

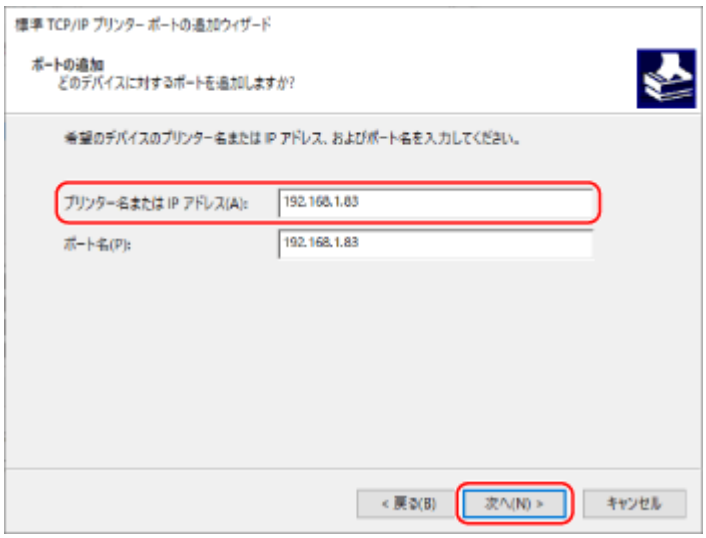
■標準 TCP/IP ポートを追加する場合

1 ［Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする

➠［標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード］画面が表示されます。

2 ［次へ］をクリックする

3 本機の IP アドレスまたは DNS 名（ホスト名）を入力し、［次へ］をクリックする



ポート名は自動的に入力されるため、必要に応じて変更します。

［追加のポート情報が必要です］が表示された場合

画面の指示に従って対処します。［デバイスの種類］を設定する場合は、［標準］の［Canon Network Printing Device with P9100］を選択します。

6 ［完了］をクリックする

➡新しいポートが追加されて、［プリンターポート］画面に戻ります。

7 ［閉じる］▶［閉じる］をクリックする

ポートの種類や番号を変更する

本機側で、LPD または RAW が使用できないように設定されている場合は、パソコン側のポートの種類を、本機で使用できるプロトコルに変更する必要があります。
また、LPD または RAW のポート番号が変更されている場合も、パソコン側の設定を本機の設定に合わせて変更する必要があります。
※WSD ポートの場合は、パソコン側でポートの種類や番号を変更する必要はありません。

各パソコンの管理者権限が必要です。

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 ［  ］（スタート）▶［  ］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする

➡［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー▶［プリンターのプロパティ］をクリックする

➡プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 ［ポート］タブで、［ポートの構成］をクリックする

➡［ポートの構成］画面または［標準 TCP/IP ポートモニターの構成］画面が表示されます。

5 ポートの種類や番号を設定する

■MFNP ポートの場合

［プロトコル］で［RAW］または［LPR］を選択し、ポート番号を変更します。

■標準 TCP/IP ポートの場合

［プロトコル］で［Raw］または［LPR］を選択します。

- ［Raw］を選択した場合は、ポート番号を変更します。
- ［LPR］を選択した場合は、［キュー名］に「lp」と入力します。

6 ［OK］▶［閉じる］をクリックする

➠ 設定が反映されます。

プリントサーバーを利用するための準備

AU03-04E

ネットワーク上にプリントサーバーを用意しておくと、プリント時に各パソコンで行う処理が早く終わるようになるため、各パソコンの負荷を軽減できます。
また、Windows の場合は、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールできるようになるため、各パソコンでプリンタードライバーをダウンロードしたり CD/DVD-ROM を用意したりする手間も省けます。

プリントサーバーを用意するには、プリントサーバーが本機でプリントできるようにしたあと、プリンターの共有設定を行います。
ドメイン環境でプリントサーバーを利用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

プリントサーバーが本機でプリントできるようにする(P. 219)
プリンターの共有設定をする(P. 219)

プリントサーバーが本機でプリントできるようにする

プリントサーバーにするパソコンにプリンタードライバーをインストールし、使用環境に応じた設定をします。**パソコンからプリントするための準備(P. 212)**

部門別 ID 管理中にプリントサーバーを利用する場合
プリンタードライバーをインストールする際に、「Canon Driver Information Assist Service」を併せてインストールする必要があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

プリンターの共有設定をする

プリントサーバーにするパソコンで、プリンターの共有設定をして、ネットワーク上の他のパソコンがプリントサーバーを利用できるようにします。

Windows の場合(P. 219)
macOS の場合(P. 221)

■Windows の場合

プリントサーバーにするパソコンの管理者権限が必要です。

必要な準備

- プリントサーバーにするパソコンの OS と、プリントサーバーを利用するパソコンの OS のプロセッサバージョン（32 ビット／64 ビット）を確認します。**パソコンのシステム情報を確認する(P. 798)**

1 プリントサーバーにするパソコンに、管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のプリンタードライバー ▶ ［プリンターのプロパティ］をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 ［共有］タブで、［このプリンターを共有する］にチェックマークを付け、共有名を入力する



5 必要に応じて、追加ドライバーをインストールする

プリントサーバーの OS と異なるプロセッサバージョンのパソコンがプリントサーバーを利用する場合は、追加ドライバーをインストールします。

1 ［追加ドライバー］をクリックする

➠ ［追加ドライバー］画面が表示されます。

2 追加するドライバーにチェックマークを付け、［OK］をクリックする

- プリントサーバーの OS が 32 ビット版の場合は、［x64］（64 ビット版用ドライバー）にチェックマークを付けます。
- プリントサーバーの OS が 64 ビット版の場合は、［x86］（32 ビット版用ドライバー）にチェックマークを付けます。

3 ［参照］をクリックし、ドライバーが収録されているフォルダーを指定して、［OK］をクリックする

ダウンロードしたドライバーのフォルダーを指定する場合

- プリントサーバーの OS が 32 ビット版の場合は、解凍したドライバーのフォルダーの［x64］▶［Driver］フォルダーを指定します。
- プリントサーバーの OS が 64 ビット版の場合は、解凍したドライバーのフォルダーの［32BIT］▶［Driver］フォルダーを指定します。

4 画面の指示に従って追加ドライバーをインストールする

6 ［OK］をクリックする

➠ 設定が反映されます。

■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [共有] をクリックする

➠ [共有] 画面が表示されます。

2 [プリンタ共有] にチェックマークを付ける

3 [プリンタ] で、本機にチェックマークを付ける

4 必要に応じて、プリントサーバーを利用できるユーザーを制限する

初期設定では、すべてのユーザーがプリントサーバーを利用できるようになっています。
特定のユーザーのみがプリントサーバーを利用できるようにする場合は、[ユーザ] の下にある [+] をクリックし、利用できるユーザーを選択します。

5 [共有] 画面を閉じる

➠ 設定が反映されます。

USB メモリー内のファイルをプリントするための準備

AU03-04F

USB メモリー内のファイルをプリントできるようにします。
MF755Cdw II は、初期設定ではプリントできないようになっています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［メモリーメディア設定］(P. 600)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ファイル利用設定］▶［メモリーメディア設定］▶［編集］をクリックする

➡［メモリーメディア設定の編集］画面が表示されます。

4 ［メモリーメディアプリントする］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

MEMO

USB メモリー接続時に操作を選択する

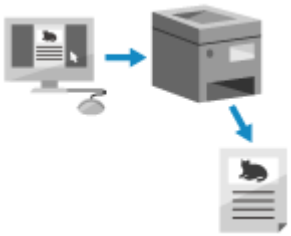
- 本機に USB メモリーを差し込んだときに、操作（USB スキャン／メモリーメディアプリント）を選択する画面を表示するように設定すると、これらの操作をすぐに実行できます。

  リモート UI に管理者モードでログイン▶［設定/登録］▶［ファイル利用設定］▶［メモリーメディア接続時の操作画面表示］の［編集］▶［メモリーメディア接続時に操作画面を表示する］にチェックマークを付ける▶［OK］

  操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［メディア接続時の操作画面］(P. 601)**

パソコンからプリントする

AU03-04H



パソコンからプリンタードライバーを使用して、文書をプリントします。
プリント時にプリンタードライバーの設定を変更することで、両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じたプリントができます。

MEMO

- キヤノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントとスキャンができます。 **専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT(P. 368)**

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにプリンタードライバーをインストールし、使用環境に応じた設定をします。 **パソコンからプリントするための準備(P. 212)**
- プリントする文書や用紙が定形外サイズの場合は、プリンタードライバーにそのサイズを登録します。 **パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙(P. 226)**

Windows の場合(P. 223)
macOS の場合(P. 224)

■Windows の場合

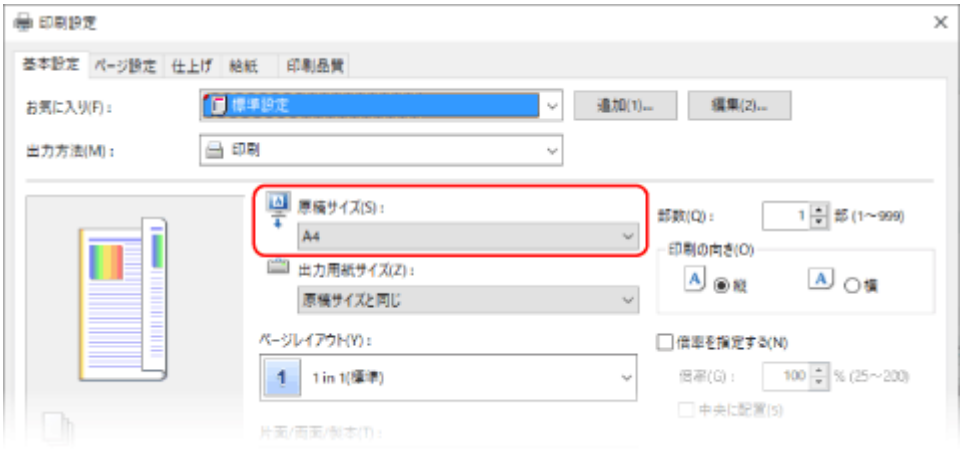
1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する

3 本機のプリンタードライバーを選択し、［その他の設定］または［プロパティ］をクリックする

➠ プリンタードライバーの［印刷設定］画面が表示されます。

4 ［基本設定］タブの［原稿サイズ］で、文書の用紙サイズを選択する



■［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙にプリントする場合

［出力用紙サイズ］で、プリントする用紙サイズを選択します。［出力用紙サイズ］に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、［印刷設定］画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。

6 ［OK］をクリックし、［印刷］または［OK］をクリックする

➠ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合、プリント中の画面やタスクトレイのプリンターアイコンから中止できます。 **パソコンからプリントを中止する(P. 243)**
- 操作パネルの［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

■macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 プリントオプションの［用紙サイズ］で、文書の用紙サイズを選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

■［用紙サイズ］と異なるサイズの用紙にプリントする場合

1 プリントオプションのポップアップメニューから［用紙処理］を選択する



2 ［用紙サイズに合わせる］にチェックマークを付け、［出力用紙サイズ］でプリントする用紙サイズを選択する
［出力用紙サイズ］に合わせて文書が拡大／縮小されます。

5 必要に応じて、その他のプリント設定をする

両面プリントや画質調整など、文書や目的に応じた設定ができます。詳しくは、プリントダイアログの［ ? ］をクリックしてヘルプを参照してください。

6 ［プリント］をクリックする

➠ プリントが開始されます。

- プリントを中止したい場合は、Dock のプリンターアイコンから中止できます。 **パソコンからプリントを中止する(P. 243)**
- 操作パネルの［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

パソコンに定形外サイズの用紙を登録する - ユーザー設定用紙

AU03-04J

ユーザー設定用紙とは、自由に辺の長さを定義できる定形外サイズの用紙のことです。
プリントする文書や用紙が定形外サイズの場合は、あらかじめプリンタードライバーにそのサイズを登録しておく必要があります。

Windows の場合(P. 226)
macOS の場合(P. 227)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

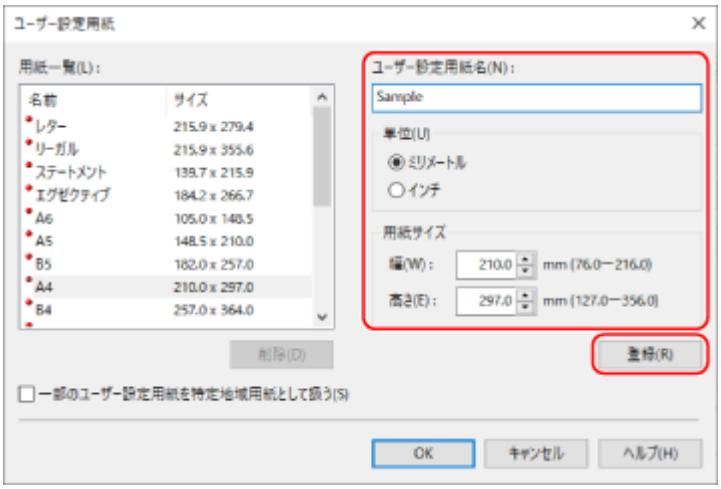
➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [印刷設定] をクリックする

➠ プリンタードライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

3 [ページ設定] タブで、[ユーザー設定用紙] をクリックする

4 ユーザー設定用紙名と用紙サイズを入力し、[登録] をクリックする



5 [OK] ▶ [OK] をクリックする

➠ ユーザー設定用紙が登録されます。

■macOS の場合

1 パソコンで、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で、本機のプリンタードライバーを選択する

4 プリントオプションの［用紙サイズ］で、［カスタムサイズを管理］を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

5 左下にある［+］をクリックし、［名称未設定］をダブルクリックしてユーザー設定用紙名を入力する



6 用紙サイズを入力し、［OK］をクリックする

➠ ユーザー設定用紙が登録されます。

暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント

AU03-04K

セキュアプリントとは、パソコンからのプリント時に暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信し、設定されている暗証番号を本機で入力することによってプリントが実行される機能です。
セキュアプリント機能を利用することで、プリントされた用紙の放置や持ち去りを防ぎます。また、プリント実行前にプリントデータを確認することにより、ミスプリントの防止にも役立ちます。

暗証番号を設定して送信したプリントデータ（セキュアデータ）は、本機のメモリーに一時保存されます。プリントが実行されずに一定時間経過すると、セキュアデータはメモリーから自動的に消去されてプリントできなくなります。

Step 1：パソコンからセキュアデータを送信する(P. 228)
Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする(P. 230)

MEMO

- セキュアデータの保存時間は変更できます。**暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する(P. 232)**

Step 1：パソコンからセキュアデータを送信する

パソコンからプリンタードライバーを使用して、セキュアデータを本機に送信します。

Windows の場合は、セキュアデータを暗号化（暗号化セキュアプリント）して送信すると、通信途中の盗聴を防ぐことができます。セキュアデータには、暗証番号ではなく、英数字のパスワードを設定します。
暗号化セキュアプリント機能を利用してセキュアデータを送信する方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

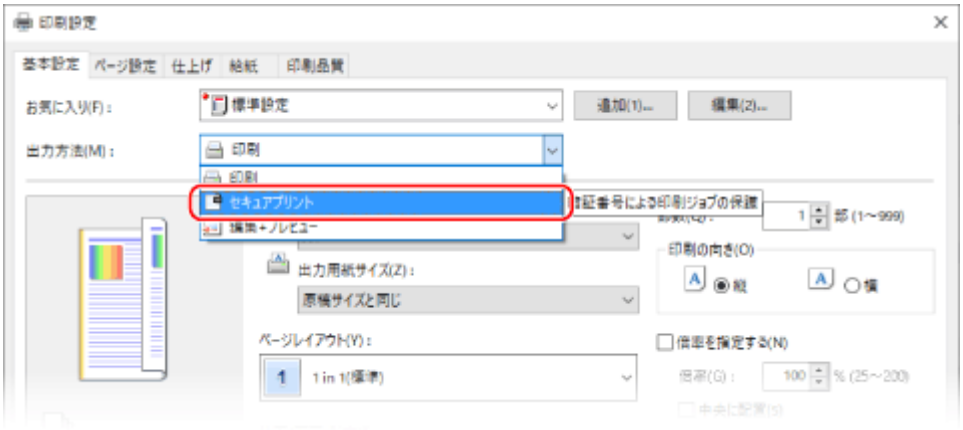
Windows の場合(P. 228)
macOS の場合(P. 229)

■Windows の場合

ここでは、通常のセキュアデータを送信する方法を説明します。

1 プリンタードライバーの［印刷設定］画面を表示する **パソコンからプリントする(P. 223)**

2 ［出力方法］で［セキュアプリント］を選択する



➠[情報]画面が表示されます。

3 [はい]をクリックする

➠[セキュアプリント詳細]画面が表示されます。

4 ユーザー名と暗証番号を入力し、[OK]をクリックする

➠[印刷設定]画面に戻ります。

5 [OK]をクリックし、[印刷]または[OK]をクリックする

➠セキュアデータが本機に送信されます。

■macOSの場合

必要な準備

- パソコンに登録したプリンターの設定で、セキュアプリント機能を有効にします。**ドライバーのセキュアプリント機能を有効にする（macOSのみ）(P. 233)**

1 プリントダイアログを表示し、本機のプリンタードライバーを選択するパソコンからプリントする(P. 223)

2 プリントオプションのポップアップメニューから[特別処理]を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

3 ［ジョブの処理方法］で、［セキュアプリント］を選択する

4 ［プリント］をクリックする

➡［セキュアプリント］画面が表示されます。

5 ドキュメント名／ユーザー名／暗証番号を入力し、［OK］をクリックする

➡セキュアデータが本機に送信されます。

Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする

本機に送信されたセキュアデータをプリントします。セキュアデータをプリントせずに放置すると、本機のメモリーが占有されたままとなり、通常のプリントができなくなることがあります。セキュアデータを本機に送信したら、早めにプリントします。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［セキュアプリント］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡セキュアプリントの画面が表示されます。

ユーザー選択画面が表示された場合は、自分のユーザー名を選択します。

2 プリントするセキュアデータにチェックマークを付け、［スタート］を押す



3 暗証番号／パスワードを入力し、［確定］を押す

➡プリントが開始されます。

- 手順 2 で複数のセキュアデータにチェックマークを付けた場合は、入力した暗証番号／パスワードと一致するセキュアデータのみがプリントされます。
- プリントを中止したい場合は、操作パネルからプリントを中止します。 **操作パネルから中止する場合(P. 244)**
- ［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

MEMO

- セキュアデータのメモリー使用量は、以下の手順で確認できます。

  操作パネルの［ホーム］画面など ▶ ［状況確認］ ▶ ［デバイス情報］ ▶ ［ｾｷｭｱﾌﾟﾘﾝﾄﾒﾓﾘｰ使用量］

暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する

AU03-04L

暗証番号／パスワードを設定して送信したプリントデータ（セキュアデータ）が、本機のメモリーに一時保存されてから消去されるまでの時間を変更します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［セキュアプリント］(P. 543)**

管理者権限が必要です。

1 **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 **［セキュアプリント設定］▶［編集］をクリックする**

➡［セキュアプリント設定の編集］画面が表示されます。

4 **［セキュアプリント消去時間］に保存時間（消去されるまでの時間）を入力し、［OK］をクリックする**

➡設定が反映されます。

5 **リモート UI からログアウトする**

ドライバーのセキュアプリント機能を有効にする（macOS のみ）

AU03-04R

macOS のパソコンから本機にセキュアデータを送信するには、パソコンに登録したプリンターの設定で、セキュアプリント機能を有効にしておく必要があります。

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➡ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[オプションとサプライ] をクリックする

3 [オプション] タブで、[セキュアプリント] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

➡ 設定が反映されます。

USB メモリー内のファイルをプリントする - メモリーメディアプリント

AU03-04S



メモリーメディアプリントとは、本機に差し込んだ USB メモリー内の PDF/JPEG/TIFF ファイルを、パソコンやプリンタードライバーを介さずに直接プリントする機能です。JPEG/TIFF の画像ファイルは、操作パネルの画面でプレビュー画像を確認してからプリントすることもできます。
ネットワーク接続していないパソコンのファイルや、外部から持ち込んだファイルをプリントするときなどに便利です。

必要な準備

- USB メモリー内のファイルをプリントできるように設定します。 **USB メモリー内のファイルをプリントするための準備(P. 222)**
  ※MF755Cdw II は、初期設定ではプリントできないようになっています。

1 本機の USB ポートに、USB メモリーを差し込む USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)

メモリーメディアの操作画面が表示された場合は、［メモリーメディアプリント］を押し、手順 3 に進みます。

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［ﾒﾓﾘｰﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾘﾝﾄ］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ USB メモリー内のファイルやフォルダーが表示されます。

3 プリントするファイルにチェックマークを付ける USB メモリー内のファイル選択画面(P. 236)



複数のファイルを選択できます。

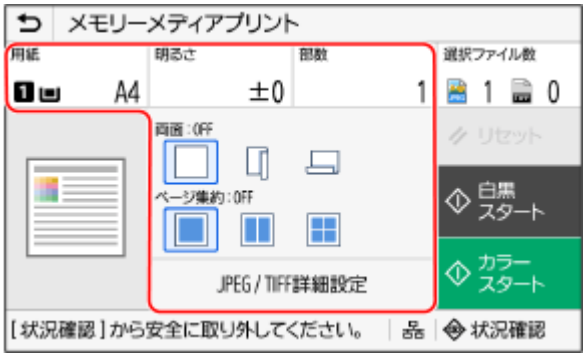
※同時に選択できるのは同一フォルダー内のファイルのみです。フォルダーを移動すると、ファイルの選択は解除されます

※PDF ファイルと画像ファイル（JPEG/TIFF ファイル）を同時に選択することはできません。

4 ［確定］を押す

➠ メモリーメディアプリントの設定画面が表示されます。

5 プリントの設定をする ▶メモリーメディアプリントの設定(P. 237)



6 [白黒 スタート]または[カラー スタート]を押す

➠ プリントが開始されます。

- 白黒でプリントする場合は[白黒 スタート]を、カラーでプリントする場合は[カラー スタート]を押します。
- プリントを中止したい場合は、操作パネルからプリントを中止します。 ▶**操作パネルから中止する場合(P. 244)**
- [状況確認]からプリント状況や履歴を確認できます。 ▶**プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

7 プリントが完了したら、USB メモリーを取り外す ▶USB メモリーを取り外す(P. 195)

USB メモリー内のファイル選択画面

AU03-04U

本機に USB メモリーを差し込み、［ホーム］画面で［ﾒﾓﾘｰﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾘﾝﾄ］を押すと、USB メモリー内のファイルやフォルダーが表示されます。



プリントするファイルを選択してチェックマークを付けます。
表示されているファイルすべてにチェックマークを付ける場合は、画面下部の［全選択］を押します。PDF ファイルと画像ファイル（JPEG/TIFF ファイル）が混在している場合は、チェックマークを付けるファイルの種類を選択します。
ファイル選択画面の表示は、以下の方法で変更することもできます。

フォルダーに移動する

フォルダーを選択します。1 つ上の階層に戻る場合は、［ ］を押します。

※第 5 階層より深い階層のフォルダーやファイルは表示されません。

ファイルの表示方法を変更する

画面右上の［ ］／［ ］／［ ］を押すと、ファイルの表示方法が切り替わります。

（プレビュー表示）



（サムネイル表示）



（詳細表示）



ファイルの表示順を変更する

ファイル名順または更新日時順にファイルの表示を並べ替えることができます。
画面下部の［ソート］を押し、ファイルの表示順を選択します。

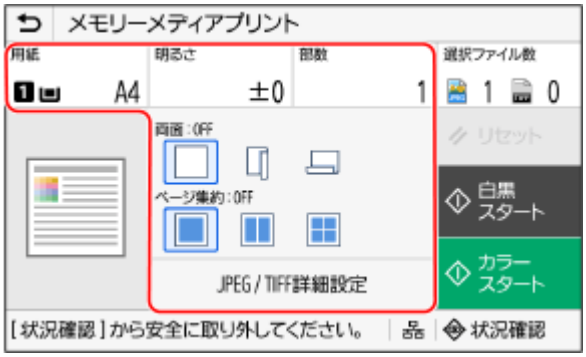
MEMO

- ファイルの表示方法／表示順の初期設定を変更することもできます。
  - **［表示方法のデフォルト設定］(P. 608)**
  - **［ﾌｧｲﾙｿｰﾄのﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定］(P. 608)**

メモリーメディアプリントの設定

AU03-04W

メモリーメディアプリントする場合は、メモリーメディアプリントの設定画面で、使用する用紙を選択したり両面プリントに設定したりできます。詳細設定画面を表示して、画質の調整など、より詳細なプリントの設定もできます。



※プリントするときの色（白黒／カラー）は、プリントを開始するときに［白黒 スタート］を押すか［カラー スタート］を押すかで決まります。

[用紙]
プリントに使用する用紙を選択します。
使用する用紙がセットされている給紙部を選択し、［閉じる］を押します。
※給紙部にセットされている用紙と、用紙サイズ／用紙種類の設定が異なる場合は、［用紙の設定変更］で用紙設定を変更できます。

[明るさ]
プリント画像の明るさを調節します。
スライダーを左右に動かして明るさを調節し、［閉じる］を押します。
明るくする場合は［+］に、暗くする場合は［-］に設定します。

[部数]
プリントする部数を指定します。
テンキーで部数を入力し、［閉じる］を押します。

[両面]
両面プリントするかどうかをボタンで選択します。


片面プリントします。


オモテ面とウラ面の上下が同じ向きになるように両面プリントします。
用紙をとじたときに、左右開きとなります。




オモテ面とウラ面の上下が反対向きになるように両面プリントします。
用紙をとじたときに、上下開きとなります。



[ページ集約]（PDF ファイル／JPEG ファイルのみ）
複数ページの文書を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。
ページ集約すると、文書のページ数よりも少ない用紙枚数でプリントできるので、用紙を節約したいときに便利です。
集約するページ数をボタンで選択します。


ページ集約しません。


用紙の片面に 2 ページ分の文書を集約します。


用紙の片面に 4 ページ分の文書を集約します。


用紙の片面に 8 ページ分の文書を集約します。（PDF ファイルのみ）

※PDF ファイルの場合は、詳細設定画面の［ページ集約］で、9 ページ分または 16 ページ分の文書を集約するように設定することもできます。 **［PDF 詳細設定］画面(P. 238)**

［PDF 詳細設定］／［JPEG/TIFF 詳細設定］
画質の調整など、より詳細なプリントの設定を行います。
［PDF 詳細設定］画面(P. 238)
［JPEG/TIFF 詳細設定］画面(P. 242)

MEMO

いつも同じ設定でプリントする

- メモリーメディアプリントの初期設定を変更しておくことができます。 **初期設定を変更する(P. 200)**

［PDF 詳細設定］画面

プリントするページの指定や、画質の調整など、PDF ファイルの詳細なプリント設定をする画面です。
メモリーメディアプリントの設定画面で、［PDF 詳細設定］を押して表示します。



[両面]
両面プリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、用紙をとじたときの開きかたを選択します。
※メモリーメディアプリントの設定画面の［両面］と同じ設定です。

[ページ集約]
複数ページの文書を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。

ページ集約する場合は、集約するページ数を選択します。

例：用紙の片面に 4 ページ分の文書を集約する場合
［4 in 1］を選択します。

※メモリーメディアプリントの設定画面の［ページ集約］と同じ設定です。ただし、［9 in 1］と［16 in 1］は、［PDF 詳細設定］画面の［ページ集約］でのみ設定できます。

［印刷範囲］
全ページをプリントするか、ページ範囲を指定してプリントするかを設定します。ページ範囲を指定する場合は、［ページ指定］を押し、開始ページと終了ページを入力します。

［用紙サイズに拡大/縮小］
プリントに使用する用紙に合わせて、文書を拡大／縮小するかどうかを設定します。
※文書のタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。

［印字領域拡大］
用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントするかどうかを設定します。
※［する］に設定すると、文書によっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

［注釈印刷］
PDF の注釈をプリントするかどうかを設定します。
［自動］に設定すると、文書と注釈[*1] がプリントされます。

[*1] PDF ファイル内でプリント指定された注釈のみです。

［細線調整］
細い線の太さを均一化してプリントするかどうかを設定します。
［均一 (細く)］に設定すると、［均一］より線が細くなります。その場合、線が細くなりすぎたり、かすれたりすることがあります。

［文書を開くパスワード］
パスワードで保護された PDF ファイルをプリントするときは、文書を開くためのパスワードを入力します。

［その他の設定］
画質に関する設定／調整など、その他の詳細なプリント設定をします。

［中間調選択］
中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［中間調選択］(P. 564)

［テキストに純ブラックを使用］
黒い文字を、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントするかどうかを設定します。
［しない］に設定すると、［出力プロファイル］の設定に従ってプリントされます。

※色情報が以下の黒い文字が対象です。

- R ＝ G ＝ B ＝ 0 %
- C ＝ M ＝ Y ＝ 100 %
- C ＝ M ＝ Y ＝ 0 %／K ＝ 100 %

［ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用］

黒いグラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）を、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントするかどうかを設定します。
［しない］に設定すると、［出力プロファイル］の設定に従ってプリントされます。

※色情報が以下の黒いグラフィックスが対象です。

- R ＝ G ＝ B ＝ 0 %
- C ＝ M ＝ Y ＝ 100 %
- C ＝ M ＝ Y ＝ 0 %／K ＝ 100 %

［ブラックオーバープリント］
黒い文字がカラーの背景や図形に重なっている場合に、オーバープリント（色の上に色を重ねてプリントする）を適用するかどうかを設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［ブラックオーバープリント］(P. 568)

［RGB 入力プロファイル］
RGB データに対して、使用中のモニターに合わせて適切なプロファイルを設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［RGB 入力プロファイル］(P. 569)

［CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］
CMYK データをプリントする際のシミュレーションターゲットを設定します。このシミュレーションに従って、CMYK データをデバイス依存の CMYK カラーモデルに変換します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］(P. 569)

［ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用］
グレーのデータを、本機のグレースケールプロファイルを使用して CMYK データに変換するかどうかを設定します。
※［する］に設定しても、［出力プロファイル］や［テキストに純ブラックを使用］、［ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用］の設定によっては、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントされます。

［出力プロファイル］
プリントデータに対して適切なプロファイルを設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［出力プロファイル］(P. 570)

［マッチング方法］
［RGB 入力プロファイル］で色の調整を行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［マッチング方法］(P. 570)

［コンポジットオーバープリント］
オーバープリントが設定されている CMYK のデータを、コンポジット出力のままオーバープリントするかどうかを設定します。
［しない］に設定すると、オーバープリントが設定されていない画像と同様のプリント結果になります。
※［する］に設定しても、特色のオーバープリントには適用されません。

［グレースケール変換方式］
カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［グレースケール変換方式］(P. 572)

［印字調整］
プリントする文書や目的に応じて、濃度や解像度など、プリント品質を調整します。

［トナー濃度］

プリント時の各色のトナー濃度を調整します。
より精密に調整する場合は、［微調整］で、各色を 3 段階に分けた濃度域別に濃度を調整できます。

※［トナー節約］が［する］に設定されている場合は、トナー濃度を調整できません。

［トナー節約］

トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。
大量にプリントする前など、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してからプリントしたい場合に、［する］に設定します。

［階調］

階調（グラデーション）を再現するときの処理方法を設定します。
［高階調 2］に設定すると、［高階調 1］より細かい階調でプリントします。

※この設定は、［解像度］が［ファイン］に設定されている場合にのみ有効です。

［精細濃度補正］

細い線や小さい文字の濃度を補正します。細い線や小さい文字がかすれる場合に、濃度を補正することで、かすれを軽減します。

※濃度を補正すると、線や文字以外のオブジェクトやカラーバランスにも影響します。

※この設定は、［解像度］が［スーパーファイン］に設定されている場合にのみ有効です。

［解像度］

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。
より高解像度でプリントする場合は、［スーパーファイン］に設定します。

［特殊スムージングモード］

なめらかにプリントするモードを設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［特殊スムージングモード］(P. 558)

［トナー印字量補正］

テキストや線などのデータに対するトナーの量が本機内の制限値を超えた場合に、制限値に収まるようにトナーの量を補正します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［トナー印字量補正］(P. 559)

［ライン処理］

線を再現するときの処理方法を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［ライン処理］(P. 559)

［太さ調整］

文字や細い線を太くプリントするように調整するかどうかを設定します。
［する］に設定した場合は、調整対象を選択します。

※［する］に設定すると、プリント速度が遅くなったり、画質が変化したりすることがあります。

［アドバンスドスムージング］

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）や文字の輪郭を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［アドバンスドスムージング］(P. 559)

［グラデーションスムージング］

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）やイメージ（ビットマップ）などの画像の階調（グラデーション）を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。設定内容の詳細については、以下を参照してください。
［グラデーションスムージング］(P. 560)

［白黒モード時のテキスト強調］

カラーの文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に、文字の濃度を調整して読みやすくするかどうかを設定します。

※明るい色の文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に［しない］に設定すると、［する］に設定したときよりも文字が薄くプリントされるため、見えにくくなることがあります。

※［しない］に設定しても文字が強調される場合は、スムージング処理が行われないように［アドバンスドスムージング］を設定します。

［JPEG/TIFF 詳細設定］画面

画質の調整など、JPEG/TIFF ファイルの詳細なプリント設定をする画面です。
メモリーメディアプリントの設定画面で、［JPEG/TIFF 詳細設定］を押して表示します。



［両面］
両面プリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、用紙をとじたときの開きかたを選択します。
※メモリーメディアプリントの設定画面の［両面］と同じ設定です。

［ページ集約］（JPEG ファイルのみ）
複数ページの画像を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。
ページ集約する場合は、集約するページ数を選択します。

例：用紙の片面に 4 ページ分の画像を集約する場合
［4 in 1］を選択します。

※メモリーメディアプリントの設定画面の［ページ集約］と同じ設定です。

［原稿の種類］
写真のなめらかさを優先してプリントするか、文字の鮮明さを優先してプリントするかを選択します。

［中間調］
中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、画像の内容に合わせて設定します。

デジタルカメラの写真など、細かな階調（グラデーション）がある画像をプリントする場合
［階調］に設定します。階調がなめらかに再現されます。

CAD 画像など、細い線や小さい文字がある画像をプリントする場合
［誤差拡散］に設定します。細い線や小さい文字が高精細にプリントされます。

※［誤差拡散］に設定すると、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

［マッチング方法］
プリント時の色味の補正方法を選択します。
［VIVID フォト］に設定すると、［一般］より濃く鮮やかな色味に補正してプリントします。

プリントを中止する

AU03-04X

パソコンからプリントした場合は、そのままパソコンから中止できます。プリントデータが本機に送信されたあとは、操作パネルやリモート UI からプリントを中止できます。
メモリーメディアプリントの場合は、操作パネルやリモート UI からプリントを中止できます。

パソコンからプリントを中止する(P. 243)
操作パネル／リモート UI からプリントを中止する(P. 244)

パソコンからプリントを中止する

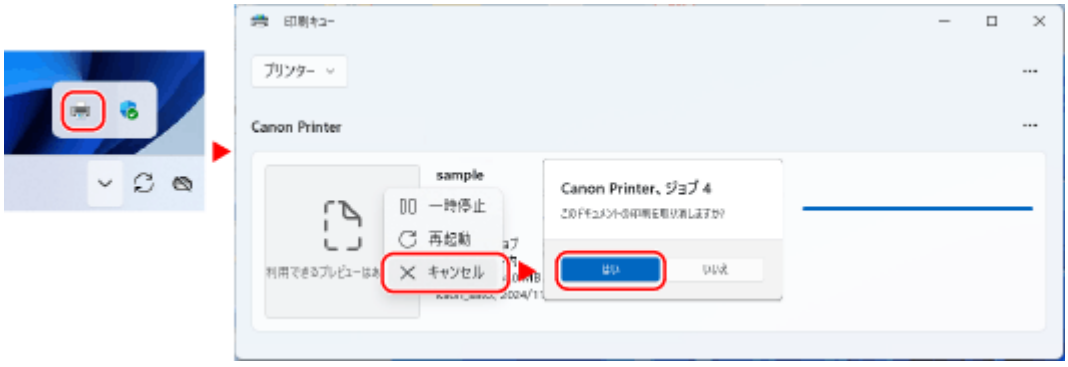
Windows の場合(P. 243)
macOS の場合(P. 243)

■Windows の場合

プリント中の画面が表示されている場合は、［キャンセル］をクリックします。



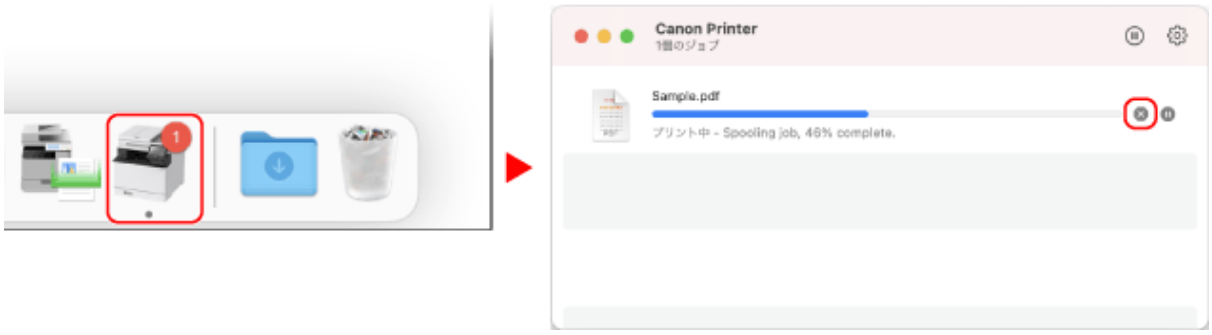
上記の画面が表示されていない場合は、タスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックし、中止する文書を右クリックして［キャンセル］▶［はい］をクリックします。



タスクトレイにプリンターアイコンが表示されていない場合や、中止する文書が表示されていない場合は、パソコンでの処理が終わってプリントデータが本機に送信されています。
その場合は、本機の操作パネルまたはリモート UI からプリントを中止します。 **操作パネル／リモート UI からプリントを中止する(P. 244)**

■macOS の場合

Dock のプリンターアイコンをクリックし、中止する文書を選択して、［ ⊗ ］をクリックします。



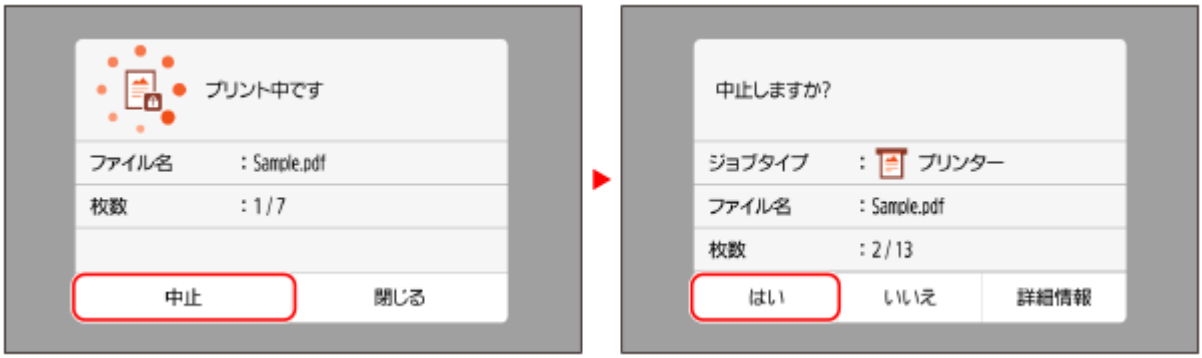
操作パネル／リモート UI からプリントを中止する

操作パネルから中止する場合(P. 244)
リモート UI から中止する場合(P. 245)

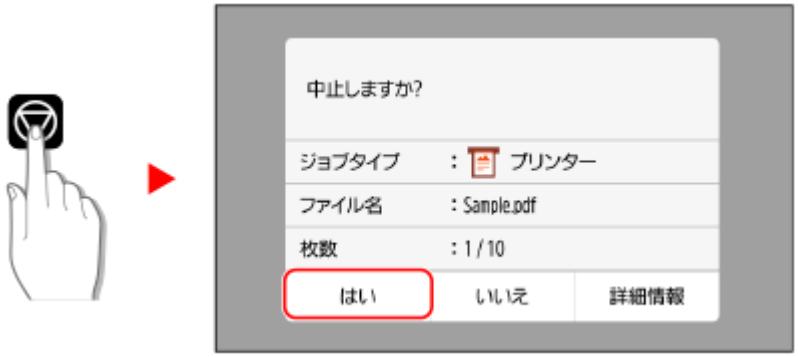
■操作パネルから中止する場合

画面の表示に従ってプリントを中止できます。

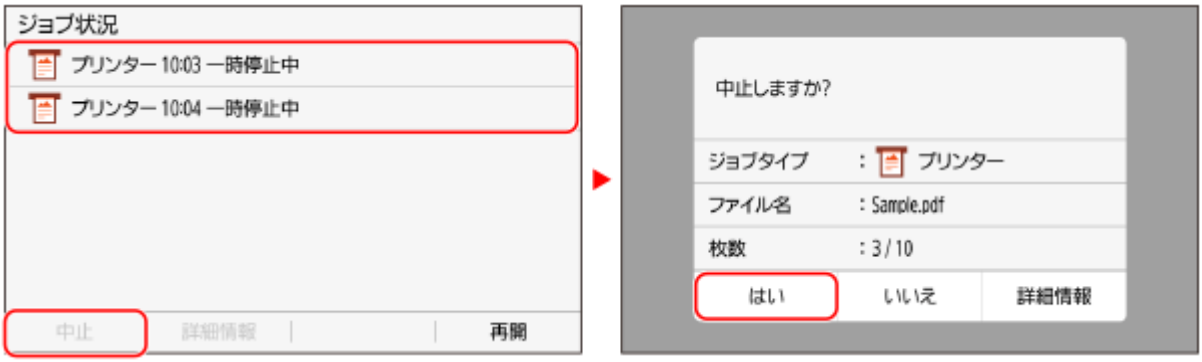
［中止］▶［はい］を押す



上記の画面が表示されていない場合は、操作パネルの を押す▶［はい］を押す



ジョブの一覧画面が表示された場合は、中止するジョブを選択し、［中止］▶［はい］を押します。



■リモート UI から中止する場合

リモート UI の［状況確認/中止］▶［プリント］の［ジョブ状況］画面で、プリントを中止できます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

プリント状況や履歴を確認する

AU03-04Y

プリントをはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくプリントできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。
※履歴を表示しないように設定されている場合は、プリント状況のみ確認できます。 ［ジョブ履歴の表示］(P. 615)

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［コピー/プリントジョブ］を押す

3 ［コピー/プリント状況］または［プリント履歴］タブで、状況や履歴を確認する

■プリント状況を確認する場合

1 ［コピー/プリント状況］タブで、実行中や待機中のジョブを確認する

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ファイル名やユーザー名などを確認する
ファイル名やユーザー名は、使用されている文字によっては正しく表示されないことがあります。

■プリント履歴を確認する場合

1 ［プリント履歴］タブで、プリントが完了したジョブを確認する
※プリント履歴は最大 128 件まで表示されます。

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ファイル名やユーザー名などを確認する
ファイル名やユーザー名は、使用されている文字によっては正しく表示されないことがあります。

プリント履歴に［NG］が表示されている場合

プリントが中止されたか、エラーが発生しました。
「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。 エラーコードが表示された(P. 776)

スキャンする

スキャンする 248
スキャンの準備 250
パソコンにスキャンデータを保存するための準備 251
USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備 253
メールでスキャンデータを送信するための準備 254
メール送信の基本設定をする - SEND 設定ツール 255
ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する 257
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI 258
クラウドメールサーバーを設定する - リモート UI 261
共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備 264
共有フォルダーをアドレス帳に登録する - SEND 設定ツール 265
FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備 267
FTP の PASV モードを設定する 268
スキャンする - パソコンに保存 269
スキャンする - USB メモリーに保存 271
スキャンする - メールで送信 273
スキャンする - 共有フォルダー／FTP サーバーに保存 276
パソコンからスキャンする - パソコンに保存 279
Scan Utility を起動する 282
スキャンの設定 283
スキャンを中止する 288
スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する 289

スキャンする

AU03-050

スキャンとは、文書や写真などの印刷物（原稿）を読み取り、データに変換することです。変換したデータ（スキャンデータ）は、画像や PDF ファイルとして、以下の方法で保存／送信できます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

パソコンに保存

本機に接続されたパソコンへスキャンデータを保存します。
パソコンにインストールされたスキャナードライバーやアプリケーションを介して、スキャンの設定をしたりパソコンにデータを保存したりします。

以下の 2 つの方法があります。

本機からスキャンする



あらかじめアプリケーションで設定した形式や保存先に従って、スキャンします。
本機の操作だけでスキャンデータをパソコンに保存できるため、原稿を何度もセットしてスキャンする場合などに便利です。
パソコンにスキャンデータを保存するための準備(P. 251)
スキャンする - パソコンに保存(P. 269)

パソコンからスキャンする



スキャン操作をするときに、形式や保存先を設定できます。
スキャンデータをパソコンの画面ですぐに確認できるため、画質などを調整しながらスキャンできます。
パソコンにスキャンデータを保存するための準備(P. 251)
パソコンからスキャンする - パソコンに保存(P. 279)

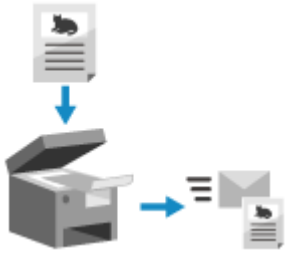
※macOS の場合は、OS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、スキャナードライバーやアプリケーションをインストールせずに、パソコンからスキャンすることもできます。 **AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)**

USB メモリーに保存



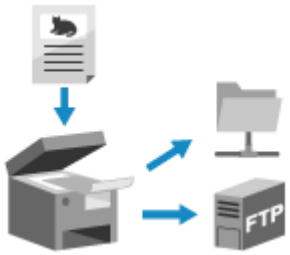
本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存します。
ネットワーク接続していないパソコンや外出先でスキャンデータを利用する場合などに便利です。
USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備(P. 253)
スキャンする - USB メモリーに保存(P. 271)

メールで送信



スキャンデータをメールに添付して送信します。
通常のメール送信と同様に、複数の宛先を指定できるほか、件名や本文も設定できます。
メールでスキャンデータを送信するための準備(P. 254)
スキャンする - メールで送信(P. 273)

共有フォルダーや FTP サーバーに保存



パソコンの共有フォルダーや FTP サーバーにスキャンデータを保存します。
紙の文書をデータ化してネットワーク上で共有する場合に便利です。
共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)
FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)
スキャンする - 共有フォルダー／FTP サーバーに保存(P. 276)

■関連項目

スキャンデータをインターネットファクスで送信する - I ファクス
インターネットファクス（I ファクス）の仕組みを使用して、スキャンデータを送信します。
スキャンデータは、TIFF 形式の添付ファイルとしてメールで送信されます。電話回線を使わないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。送信先が I ファクスに対応している必要があります。
インターネットファクスを使う - I ファクス(P. 323)

スキャンデータをクラウドサービスに送信／保存する
本機と連携するクラウドサービスにスキャンデータを送信／保存できます。また、クラウドサービスに保存されているファイルをプリントすることもできます。
この機能を使用するには、リモート UI のポータル画面で［アプリケーションライブラリ］をクリックして、アプリケーションを設定する必要があります。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**
詳細については、アプリケーションライブラリのユーザーズガイドを参照してください。
アプリケーションライブラリ

スキャンの準備

AU03-051

スキャンするときは、スキャンデータの保存先や送信方法に応じた準備が必要です。

パソコンにスキャンデータを保存するための準備(P. 251)
USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備(P. 253)
メールでスキャンデータを送信するための準備(P. 254)
共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)
FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)

パソコンにスキャンデータを保存するための準備

AU03-052

スキャンデータを保存するパソコンごとに、以下の準備をします。

Step 1：パソコンにドライバー／アプリケーションをインストールする(P. 251)
Step 2：パソコンで本機を登録する(P. 251)

Step 1：パソコンにドライバー／アプリケーションをインストールする

スキャンデータを保存するパソコンに、以下のドライバーとアプリケーションをインストールします。 **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)**

ScanGear MF
スキャンデータをパソコンに保存するために必要なスキャナードライバーです。
パソコンでスキャン操作をする場合に使用すると、結果を見ながらスキャンの設定を調整できます。

Scan Utility
スキャン専用アプリケーションです。
写真や文書などをパソコンから手軽にスキャンできます。本機でスキャン操作をする場合のスキャン設定を変更することもできます。

Step 2：パソコンで本機を登録する

以下の両方に該当する場合は、保存先のパソコンで本機を登録する必要があります。

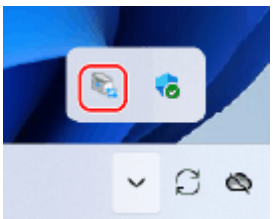
- 本機側の操作でスキャンする
- ネットワーク接続されているパソコンを保存先にする

パソコン側の操作でスキャンする場合や、USB 接続されているパソコンに保存する場合は、登録不要です。

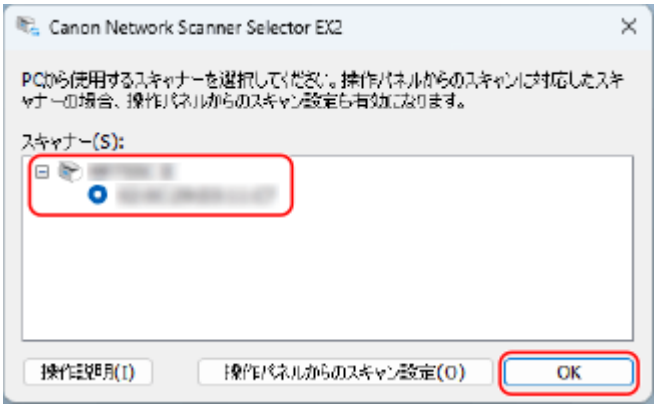
Windows の場合(P. 251)
macOS の場合(P. 252)

■Windows の場合

1 Windows のタスクトレイに表示されている［ ］（Network Scanner Selector EX2）をクリックする



2 本機を選び、［OK］をクリックする



■macOS の場合

Scan Utility を使用して本機を登録します。

1 OS のアプリケーションフォルダーから［Canon MF Utilities］▶［Canon MF Scan Utility］をダブルクリックする

➠ Scan Utility が起動します。

2 ［Canon MF Scan Utility］▶［ネットワークスキャナの設定］をクリックする

3 左下にある［+］をクリックする

4 接続方法に応じて、各タブで本機を追加する

■Bonjour 接続の場合

［Bonjour］タブで、Bonjour 名を選択し、［追加］をクリックします。

■TCP/IP 接続の場合

［IP］タブで、本機の IP アドレスを入力し、［追加］をクリックします。

5 Scan Utility を再起動する

➠［Canon MF Scan Utility］メインダイアログの［製品名 :］に、追加した本機が表示されます。

USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備

AU03-053

スキャンデータを USB メモリーに保存できるようにします。
MF755Cdw II は、初期設定では保存できないようになっています。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［メモリーメディア設定］(P. 600)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ファイル保存/利用設定］▶［メモリーメディア設定］▶［編集］をクリックする

➡［メモリーメディア設定の編集］画面が表示されます。

4 ［メモリーメディアに保存する］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。



USB メモリー接続時に操作を選択する

- 本機に USB メモリーを差し込んだときに、操作（USB スキャン／メモリーメディアプリント）を選択する画面を表示するように設定すると、これらの操作をすぐに実行できます。

  リモート UI に管理者モードでログイン▶［設定/登録］▶［ファイル保存/利用設定］▶［メモリーメディア接続時の操作画面表示］の［編集］▶［メモリーメディア接続時に操作画面を表示する］にチェックマークを付ける▶［OK］

  操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［メディア接続時の操作画面］(P. 601)**

メールでスキャンデータを送信するための準備

AU03-054

メール送信に使用するメールサーバーの情報を設定します。設定内容に応じて、パソコンから以下のいずれかの方法で設定します。操作パネルを使用して設定することはできません。

メール送信の基本設定をする（Windows のみ）

メールサーバーの基本情報を設定します。あわせて、送信先のメールアドレスをアドレス帳のベストメンバーに登録します。SEND 設定ツールを使用して設定します。

メール送信の基本設定をする - SEND 設定ツール(P. 255)

※ベストメンバーとは、アドレス帳の［⭐］から呼び出せる宛先です。**アドレス帳の機能(P. 172)**

メールサーバーの詳細情報を設定する

メールサーバーの基本情報のほか、送信前の POP 認証や暗号化通信も設定できます。リモート UI を使用して設定します。

メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

※必要に応じて、送信先のメールアドレスをアドレス帳に登録します。**宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)**

クラウドメールサーバーの設定をする

クラウドメールサーバーの認証を利用してメール送信する設定ができます。リモート UI を使用して設定します。

クラウドメールサーバーを設定する - リモート UI(P. 261)

メール送信の基本設定をする - SEND 設定ツール

AU03-055

パソコンから SEND 設定ツールを使用して、メールサーバーの基本情報を設定します。あわせて、送信先のメールアドレスをアドレス帳のベストメンバーに登録します。
※ベストメンバーとは、アドレス帳の［⭐］から呼び出せる宛先です。 **アドレス帳の機能(P. 172)**

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

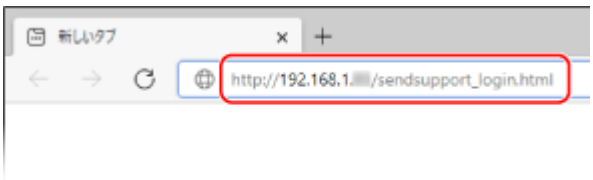
メールサーバーのポート番号が、SMTP「25」以外の場合は、ポート番号の設定を変更する必要があります。 **ポート番号を変更する(P. 401)**

必要な準備

- 設定作業を行うパソコンと本機をネットワーク接続します。
- 以下の情報を手元に用意します。
  - 本機の IP アドレス **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**
  - 送信先として登録するメールアドレス
  - メールサーバーの設定情報（SMTP サーバー名、認証の有無、認証に使用するユーザー名やパスワードなど）
    ※設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。使用環境によっては、パソコンのメールソフトに設定されている情報を参考にすることもできます。

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/sendsupport_login.html



➠ SEND 設定ツールの［設定の開始］画面が表示されます。

SEND 設定ツールは、ダウンロードしたファイルを使用して起動することもできます。 **ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する(P. 257)**

■SEND 設定ツールの［設定の開始］画面が表示されない場合

［デバイスに対する設定を行う機能が制限されているため、設定を続行できません。］などのメッセージが表示されて、［設定の開始］画面が表示されない場合は、以下を参照してください。
リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない(P. 750)

2 ［開始］をクリックする

ログオン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログオン］をクリックします。

3 ［メールの送信設定を行う］をクリックする

➠ ［メールの送信設定］画面が表示されます。

［アドレス帳の暗証番号の入力］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［OK］をクリックします。

4 ［登録先］で、ベストメンバーの番号を選択し、アドレス帳に表示する名前を入力する

すでに登録されているベストメンバーの番号は表示されません。

5 ［送信先の設定］で、登録するメールアドレスを入力する

6 ［SMTP サーバーの設定］で、メールサーバーの情報を設定する

［SMTP サーバー］

メール送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合
smtp.example.com

［SMTP 認証の設定］

SMTP 認証を使用する場合は［あり］を選択し、認証に使用するユーザー名とパスワードを半角英数字や記号で入力します。

7 ［次へ］▶［登録］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠ 設定が反映されます。

ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する

AU03-056

ダウンロードした SEND 設定ツールを使用すると、本機を自動で探索して設定を開始できます。

必要な準備

- SEND 設定ツールを、キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトからダウンロードします。
  https://canon.jp/download/
- ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。

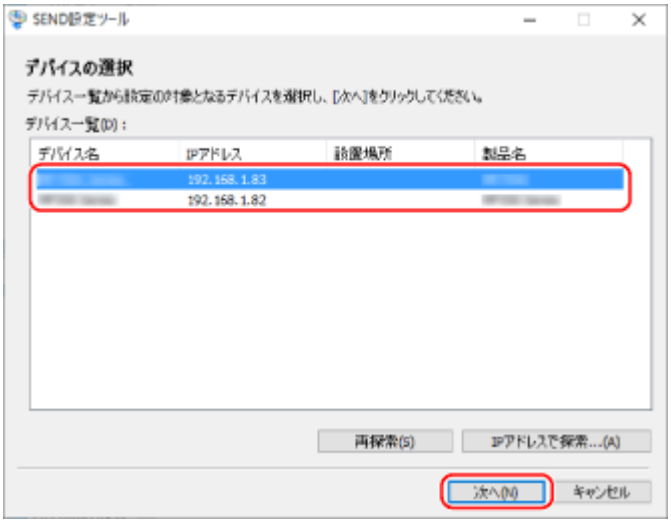
1 解凍した SEND 設定ツールのフォルダーの［SendSetting］▶［japanese］フォルダーを開き、［SendSetting.exe］をダブルクリックする

➠ SEND 設定ツールの説明画面が表示されます。

2 ［次へ］をクリックする

Windows ファイアウォールを解除する画面が表示された場合は、［はい］をクリックします。

3 ［デバイス一覧］から本機を選択し、［次へ］をクリックする



［デバイス一覧］に本機が表示されない場合は、［再探索］をクリックします。それでも表示されない場合は、［IP アドレスで探索］をクリックし、本機の IP アドレスを入力してから［OK］をクリックします。

4 ［OK］をクリックする

➠ SEND 設定ツールの［設定の開始］画面が表示されます。

メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI

AU03-057

パソコンからリモート UI を使用して、スキャンデータのメール送信や I ファクスの送受信に使用するメールサーバーの情報を設定します。送信前の POP 認証や SMTP 認証、暗号化通信も設定できます。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

メールサーバーのポート番号が、SMTP「25」、POP3「110」以外の場合は、ポート番号の設定を変更する必要があります。
ポート番号を変更する(P. 401)

必要な準備

- 設定作業を行うパソコンと本機をネットワーク接続します。
- 以下の情報を手元に用意します。
  - 本機の IP アドレス **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**
  - 本機のメールアドレス
  - メールサーバーの設定情報（SMTP/POP3 サーバー名、認証の有無、認証に使用するユーザー名やパスワード、暗号化通信の情報など）
    ※設定情報については、プロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。使用環境によっては、パソコンのメールソフトに設定されている情報を参考にすることもできます。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［メール/I ファクス設定］▶［編集］をクリックする

➡［メール/I ファクス設定の編集］画面が表示されます。

4 メールサーバーの基本情報を入力する

［SMTP サーバー］

メールや I ファクスの送信に使用する SMTP サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合
smtp.example.com

［メールアドレス］

本機のメールアドレスを半角英数字で入力します。

［POP サーバー］

I ファクスを受信する場合や、送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合は、POP3 サーバー名（ホスト名または IP アドレス）を半角英数字で入力します。

入力例：ホスト名の場合
pop.example.com

[ユーザー名]

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

POP3 サーバーの認証で使用するパスワードを設定する場合は、チェックマークを付け、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

[POP 受信する]

I ファクスを受信する場合はチェックマークを付けます。

[POP 発行間隔]

POP3 サーバーへ自動的に接続して I ファクスを受信する間隔を入力します。
自動で受信しない場合は［0］を入力します。その場合は、手動で I ファクスを受信する必要があります。 **I ファクスを受信する(P. 326)**

5 使用環境に合わせて、メール／I ファクス送信時の認証や暗号化の設定をする

■送信前の POP 認証（POP before SMTP）を使用する場合

［送信前の POP 認証する］にチェックマークを付けます。
認証時にパスワードを暗号化する APOP 認証を使用する場合は、［APOP 認証する］にもチェックマークを付けます。

■SMTP 認証を使用する場合

［SMTP 認証(SMTP AUTH)する］にチェックマークを付け、SMTP 認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。
SMTP 認証で使用するパスワードを設定する場合は、［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、パスワードを半角英数字や記号で入力します。

■メールサーバーとの通信を暗号化する場合

［SMTP 送信で TLS を使用する］や［POP で TLS を使用する］にチェックマークを付けます。
必要に応じて、TLS 暗号化通信時に証明書を検証するかどうかや、検証項目に CN（Common Name）を追加するかどうかを設定します。

6 必要に応じて、宛先にドメインを追加する

[メール宛先]

メールの宛先に自動でドメイン名を付ける場合はチェックマークを付けます。

[I ファクス宛先]

I ファクスの宛先に自動でドメイン名を付ける場合はチェックマークを付けます。

[ドメイン名]

メールや I ファクスの宛先に自動で追加するドメイン名を入力します。

- メールや I ファクスの宛先指定時に@マーク以降のアドレスが入力された場合は、ここで指定したドメイン名は追加されません。

7 ［OK］をクリックする

［SMTP 接続確認］や［POP 接続確認］をクリックすると、設定した内容で SMTP/POP3 サーバーと通信できるか確認できます。

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠ 設定が反映されます。

クラウドメールサーバーを設定する - リモート UI

AU03-058

メール送信の認証に OAuth2.0 を利用して、クラウドメールサーバーを使用できます。Microsoft のクラウドサービスである「Microsoft Exchange Online」や Google のクラウドサービスである「Google Workspace」の設定ができます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

OAuth2.0 認証（Microsoft）の設定をする(P. 261)
OAuth2.0 認証（Google）の設定をする(P. 262)

OAuth2.0 認証（Microsoft）の設定をする

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［OAuth 2.0(Microsoft)設定］をクリックする

➡ ［OAuth 2.0(Microsoft)設定］画面が表示されます。

4 ［基本設定］の［編集］をクリックする

➡ ［基本設定の編集］画面が表示されます。

5 ［OAuth 2.0(Microsoft)を使用する］にチェックマークを付ける

6 サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する

- 証明書を検証する場合は、［サーバー証明書を検証する］にチェックマークを付けます。
- 検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、［CN を検証項目に追加する］にもチェックマークを付けます。

7 ［Microsoft Entra ID 認可サーバーのエンドポイント］に以下の URL を入力する

https://login.microsoftonline.com/<tenant>/oauth2/v2.0

- 本機の使用環境に応じて、<tenant>には common／consumers／organizations のいずれかを入力します。

8 ［OK］をクリックする

➡ ［OAuth 2.0(Microsoft)設定］画面に戻ります。

9 **数秒待ってから、[ ]をクリックする**

10 **[サーバーの接続状況]に[成功]と表示されていることを確認する**

11 **[Microsoft Entra ID 認可サーバーのエンドポイント]に表示されているリンクをクリックし、画面の指示に従って認可処理をする**

- [メッセージ]の指示に従い、表示された[ユーザーコード]を入力します。
- [ユーザーコードの有効期限]に表示されている期限内に認可処理を行います。

12 **数分待ってから、[ ]をクリックする**

13 **[トークンの稼働状況]に[稼働中]と表示されていることを確認する**

14 **リモート UI からログアウトする**

OAuth2.0 認証（Google）の設定をする

1 **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、[設定/登録]をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 **[送信設定] ▶ [OAuth 2.0(Google)設定]をクリックする**

➡ [OAuth 2.0(Google)設定]画面が表示されます。

4 **[基本設定]の[編集]をクリックする**

➡ [基本設定の編集]画面が表示されます。

5 **[OAuth 2.0(Google)を使用する]にチェックマークを付ける**

6 **サーバーとの TLS 暗号化通信時に、証明書を検証するかどうかを設定する**

- 証明書を検証する場合は、[サーバー証明書を検証する]にチェックマークを付けます。
- 検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、[CN を検証項目に追加する]にもチェックマークを付けます。

7 ［クライアント ID］と［クライアントシークレット］を入力し、［OK］をクリックする

➠［OAuth 2.0(Google)設定］画面に戻ります。

- Google Workspace で取得したクライアント ID とクライアントシークレットを入力します。詳細については、Google Workspace のホームページを参照してください。

8 数秒待ってから、［ ］をクリックする

9 ［認可用情報］の［登録］をクリックする

➠［認可用情報の登録］画面が表示されます。

10 ［Google 認可サーバー用 URL］に表示されているリンクをクリックし、画面の指示に従って認可処理をする

- ［認可コード］には、認可処理時のエラー画面に表示される URL の＜認可コード＞部分を入力します。

```
https://xxxxxxxxxx&code=<認可コード>&scope=xxxxxxxxxx
```

11 ［OK］をクリックする

➠［OAuth 2.0(Google)設定］画面に戻ります。

12 数分待ってから、［ ］をクリックする

13 ［トークンの稼働状況］に［稼働中］と表示されていることを確認する

14 リモート UI からログアウトする

共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備

AU03-059

- **必要に応じて、スキャンデータの保存先となる共有フォルダーを作成する** **共有フォルダーを作成する(P. 795)**

- **共有フォルダーの情報をアドレス帳に登録する**

  共有フォルダーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録します。パソコンから以下のいずれかの方法で登録します。保存先となる共有フォルダーごとに登録が必要です。操作パネルを使用して登録することはできません。

  SEND 設定ツールを使用する（Windows のみ）

  共有フォルダーの情報を、アドレス帳のベストメンバーに登録します。

  共有フォルダーをアドレス帳に登録する - SEND 設定ツール(P. 265)

  リモート UI を使用する

  共有フォルダーの情報を、アドレス帳のベストメンバーまたは短縮ダイヤルに登録します。

  アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

  ※ベストメンバーとは、アドレス帳の［  ］から呼び出せる宛先です。 **アドレス帳の機能(P. 172)**

  ※短縮ダイヤルとは、アドレス帳から直接呼び出せる 3 桁の番号が付けられた宛先です。

共有フォルダーをアドレス帳に登録する - SEND 設定ツール

AU03-05A

パソコンから SEND 設定ツールを使用して、共有フォルダーの情報をアドレス帳のベストメンバーに登録します。
※ベストメンバーとは、アドレス帳の［⭐］から呼び出せる宛先です。 **アドレス帳の機能(P. 172)**

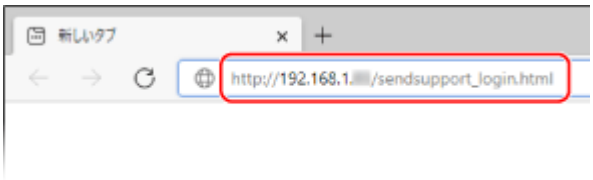
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 設定作業を行うパソコンと本機をネットワーク接続します。
- 以下の情報を手元に用意します。
  - 本機の IP アドレス **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**
  - 共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレス
    パソコンのシステム情報を確認する(P. 798)
    パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)
  - 共有フォルダーへのパス
  - 共有フォルダーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワード（アクセス制限が設定されている場合）

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/sendsupport_login.html



➠ SEND 設定ツールの［設定の開始］画面が表示されます。

SEND 設定ツールは、ダウンロードしたファイルを使用して起動することもできます。 **ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する(P. 257)**

2 ［開始］をクリックする

ログオン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログオン］をクリックします。

3 ［共有フォルダーへの保存設定を行う］をクリックする

➠［共有フォルダーへの保存設定］画面が表示されます。

［アドレス帳の暗証番号の入力］画面が表示された場合は、暗証番号を入力し、［OK］をクリックします。

4 ［登録先］で、ベストメンバーの番号を選択し、アドレス帳に表示する名前を入力する

すでに登録されているベストメンバーの番号は表示されません。

5 ［保存先の設定］で、共有フォルダーの情報を入力する

［保存先のコンピューター名］

共有フォルダーがあるパソコンの、コンピューター名または IP アドレスを入力します。

※DNS サーバーを使用している場合は、コンピューター名や IP アドレスの代わりにホスト名または FQDN を入力することもできます。

［保存先コンピューターの共有フォルダー名］

共有フォルダーへのパスを入力します。区切り文字は「\」を使用します。

入力例：共有フォルダーが C ドライブの［ユーザー］▶［パブリック］▶［share］フォルダー（C:\users\public\share）の場合
users\public\share

入力したパスのフォルダーが存在しない場合は、スキャンデータの初回保存時に、入力した名前のフォルダーが作成されます。

※ただし、親フォルダーも存在しない場合や、親フォルダーへの書き込み権限がない場合は、フォルダーは作成されず、送信エラーになります。

6 ［共有フォルダーの設定状態］で、共有フォルダーのアクセス制限の有無を設定する

共有フォルダーにアクセス制限が設定されている場合は、［あり］を選択し、アクセスに使用するユーザー名とパスワードを半角英数字で入力します。

7 ［次へ］▶［登録］をクリックする

8 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠ 設定が反映されます。

FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備

AU03-05C

- **必要に応じて、PASV モードを設定する**

  スキャンデータの保存先となる FTP サーバーと本機の間にファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定します。

  FTP の PASV モードを設定する(P. 268)

- **FTP サーバーの情報をアドレス帳に登録する**

  FTP サーバーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録します。パソコンからリモート UI を使用して登録します。保存先となる FTP サーバーごとに登録が必要です。操作パネルを使用して登録することはできません。

  アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

FTP の PASV モードを設定する

AU03-05E

PASV モードは FTP の通信モードのひとつです。FTP サーバーと本機の間にファイアウォールが設けられている場合は、PASV モードを設定する必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［FTP の PASV モードを使用］(P. 521)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- FTP サーバー側で PASV モードが設定されていることを確認します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［FTP の PASV モード設定］▶［編集］をクリックする

➠［FTP の PASV モード設定の編集］画面が表示されます。

4 ［FTP の PASV モードを使用する］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠設定が反映されます。

スキャンする - パソコンに保存

AU03-05F



原稿をスキャンして、本機に接続されたパソコンへスキャンデータを保存します。本機側の操作だけで、スキャンデータの保存まで完了します。
パソコンにインストールした Scan Utility の設定に従って、原稿がスキャンされ、データが保存されます。

必要な準備

- 保存先のパソコンに、スキャナードライバー（ScanGear MF）とアプリケーション（Scan Utility）をインストールするなどの準備をします。 **パソコンにスキャンデータを保存するための準備(P. 251)**
- 保存先のパソコンで ScanGear MF の画面が表示されている場合は、画面を閉じます。

1 原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

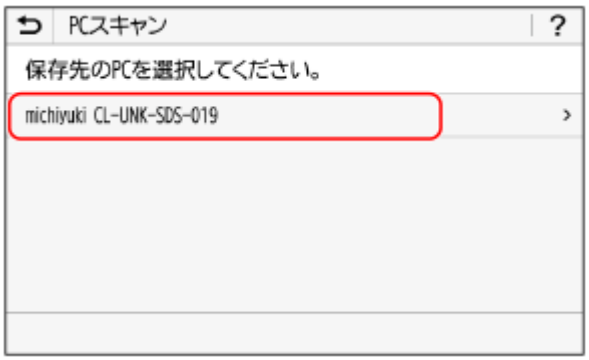
2 操作パネルの［ホーム］画面で、［スキャン］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ スキャンの種類を選択する画面が表示されます。

3 ［PC］を押す

➠ 保存先のパソコンを選択する画面が表示されます。
本機を USB 接続のパソコンだけで使用している場合は、スキャンの画面が表示されます。

4 スキャンの設定を選択し、［スタート］を押す



➠ 原稿のスキャンが開始されます。

- スキャンの設定ごとに、スキャンデータの形式や、パソコンでの保存先などが設定されています。選択したスキャンの設定に従ってスキャンされます。
- スキャンを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **スキャンを中止する(P. 288)**
- スキャンが完了すると、選択したパソコンの画面に保存先のフォルダーが表示されます。
※初期設定では、［ドキュメント］フォルダー（Windows）／［ピクチャ］フォルダー（macOS）に、スキャンした日付のサブフォルダーが作成され、そこにスキャンデータが保存されます。

■［次の読込］が表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンすると、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、［次の読込］を押します。
［終了］を押すと、スキャンデータが保存されます。



※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

MEMO

スキャンの設定や保存先を確認／変更する

- 手順 4 で選択したスキャンの設定は、保存先のパソコンで Scan Utility を使用して確認／変更できます。 **Scan Utility を起動する(P. 282)**

スキャンする - USB メモリーに保存

AU03-05H



原稿をスキャンして、本機に差し込んだ USB メモリーにスキャンデータを保存します。ネットワーク接続していないパソコンや外出先でスキャンデータを利用する場合などに便利です。

必要な準備

- スキャンデータを USB メモリーに保存できるように設定します。 **USB メモリーにスキャンデータを保存するための準備(P. 253)**

  ※MF755Cdw II は、初期設定では保存できないようになっています。

1 原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

2 本機の USB ポートに、USB メモリーを差し込む USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)

メモリーメディアの操作画面が表示された場合は、［USB スキャン］を押し、手順 5 に進みます。

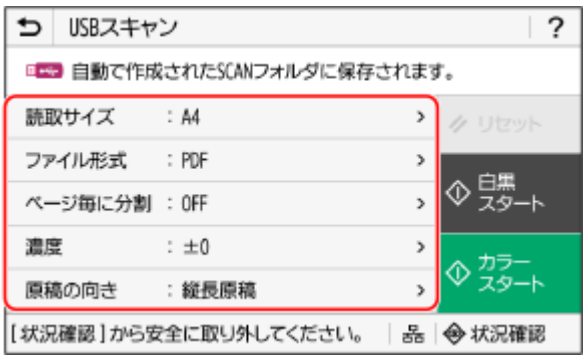
3 操作パネルの［ホーム］画面で、［スキャン］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ スキャンの種類を選択する画面が表示されます。

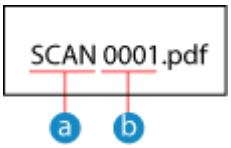
4 ［USB メモリー］を押す

➠ スキャンの画面が表示されます。

5 スキャンの設定をする スキャンの設定(P. 283)



スキャンデータは以下のファイル名で保存されます。



a 初期設定の文字列（任意の文字列に変更できます。 **ファイル／分割の設定(P. 286)** ）

b 4 桁の番号

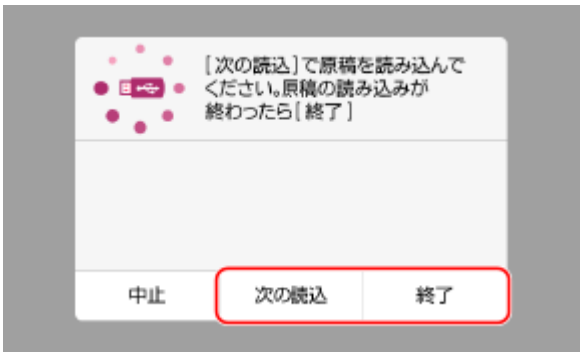
6 ［白黒 スタート］または［カラー スタート］を押す

➠ 原稿のスキャンが開始されます。

- 原稿を白黒でスキャンする場合は［白黒 スタート］を、カラーでスキャンする場合は［カラー スタート］を押します。
- スキャンを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **スキャンを中止する(P. 288)**
- スキャンが完了すると、USB メモリー内に「SCAN_nn」（nn は数字）という名前のフォルダーが作成され、そこにスキャンデータが保存されます。

■ ［次の読込］が表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合に、スキャンデータの形式が PDF/TIFF のときは、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、［次の読込］を押します。
［終了］を押すと、スキャンデータが保存されます。

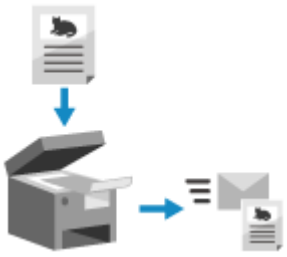


※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

7 スキャンが完了したら、USB メモリーを取り外す **USB メモリーを取り外す(P. 195)**

スキャンする - メールで送信

AU03-05J



原稿をスキャンして、スキャンデータをメールに添付して送信します。
通常のメール送信と同様に、複数の宛先を指定できるほか、件名や本文も設定できます。

必要な準備

- メール送信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 **メールでスキャンデータを送信するための準備(P. 254)**

1 原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［スキャン］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ スキャンの種類を選択する画面が表示されます。

3 ［メール］を押す

➠ スキャンの画面が表示されます。

4 ［宛先指定］タブで、宛先を指定する 宛先の指定(P. 186)



Cc/Bcc の宛先は、［アドレス帳］または［短縮ダイヤル］から指定します。

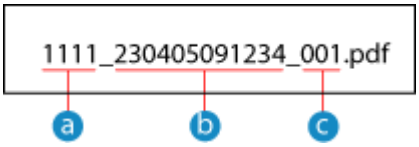
■ ［自分の宛先］しか指定できない場合

送信機能の認証設定で送信時の宛先が限定されているため、他の宛先は指定できません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

5 ［送信設定］タブで、スキャンの設定をする スキャンの設定(P. 283)



- メールの件名や本文なども［送信設定］タブで設定します。 **メール／I ファクスの設定(P. 286)**
- スキャンデータは以下のファイル名で送信されます。［送信設定］タブで任意の文字列を指定して、先頭に付けることもできます。 **ファイル／分割の設定(P. 286)**



a 通信管理番号

b 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

6 ［白黒 スタート］または［カラー スタート］を押す

➠ 原稿のスキャンが開始されます。

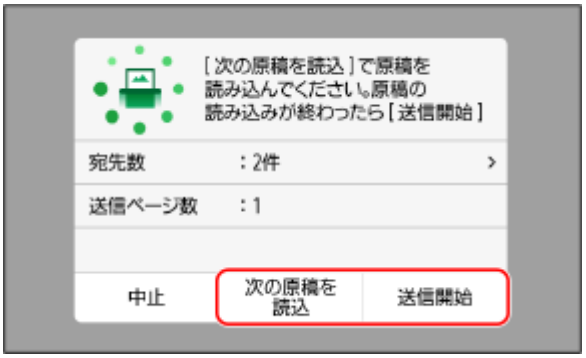
- 原稿を白黒でスキャンする場合は［白黒 スタート］を、カラーでスキャンする場合は［カラー スタート］を押します。
- スキャンを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **スキャンを中止する(P. 288)**
- スキャンが完了すると、スキャンデータが送信されます。［状況確認］を押すと、送信状況や履歴を確認できます。

■ ［送信宛先の確認］画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認してから［スキャン開始］を押します。

■ ［次の原稿を読込］が表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合に、スキャンデータの形式が PDF/TIFF のときは、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、［次の原稿を読込］を押します。
すべての原稿のスキャンが完了したら、［送信開始］または［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ開始］を押します。



※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

■プレビュー画面が表示された場合

スキャンデータのプレビュー画像を確認してから、［送信開始］を押します。
送信したくないページがある場合は、そのページを表示して［ページ削除］を押します。



■［SMTP 認証］画面が表示された場合

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を押します。

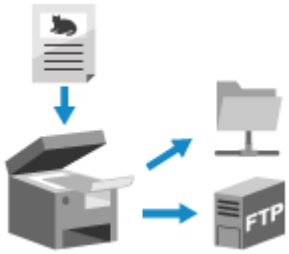
MEMO

送信エラーが発生した場合

- メールサーバーの設定によっては、送信エラー発生時に、本機で設定したメールアドレスに通知メールが届くことがあります。通知メールを放置すると、メールボックスの容量が不足するおそれがあるため、定期的にメールボックスをクリアすることをおすすめします。 **メールボックスをクリアする(P. 481)**

スキャンする - 共有フォルダー／FTP サーバーに保存

AU03-05K



原稿をスキャンして、パソコンの共有フォルダーや FTP サーバーにスキャンデータを保存します。
紙の文書をデータ化してネットワーク上で共有するときに便利です。

必要な準備

- 共有フォルダーや FTP サーバーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録します。
  共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)
  FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)

1 原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［スキャン］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ スキャンの種類を選択する画面が表示されます。

3 ［ファイル］を押す

➠ スキャンの画面が表示されます。

4 ［宛先指定］タブで、宛先を指定する 宛先の指定(P. 186)



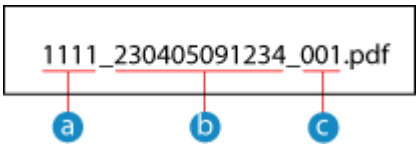
■ ［自分の宛先］しか指定できない場合

送信機能の認証設定で送信時の宛先が限定されているため、他の宛先は指定できません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

5 ［送信設定］タブで、スキャンの設定をする スキャンの設定(P. 283)



スキャンデータは以下のファイル名で保存されます。[送信設定]タブで指定した任意の文字列を先頭に付けることもできます。 **ファイル／分割の設定(P. 286)**



a 通信管理番号

b 保存日時（上記例の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイル順（1 ファイルの場合は「001」）

6 [白黒 スタート]または[カラー スタート]を押す

➠ 原稿のスキャンが開始されます。

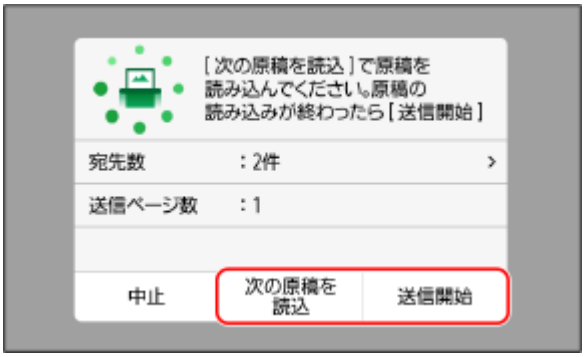
- 原稿を白黒でスキャンする場合は[白黒 スタート]を、カラーでスキャンする場合は[カラー スタート]を押します。
- スキャンを中止したい場合は、[中止] ▶ [はい]を押します。 **スキャンを中止する(P. 288)**
- スキャンが完了すると、スキャンデータが保存されます。[状況確認]から保存状況や履歴を確認できます。 **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)**

■[送信宛先の確認]画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認してから[スキャン開始]を押します。

■[次の原稿を読込]が表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンした場合に、スキャンデータの形式が PDF/TIFF のときは、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、[次の原稿を読込]を押します。
すべての原稿のスキャンが完了したら、[送信開始]または[ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ開始]を押します。



※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

■プレビュー画面が表示された場合

スキャンデータのプレビュー画像を確認してから、[送信開始]を押します。

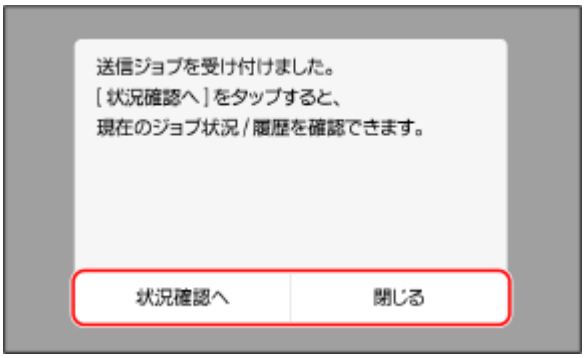
送信したくないページがある場合は、そのページを表示して［ページ削除］を押します。



■［状況確認へ］が表示された場合

保存状況や履歴を確認する場合は、［状況確認へ］を押します。 **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)**

［閉じる］を押すと、スキャンの画面に戻ります。



■［ファイル認証］画面が表示された場合

共有フォルダー／FTP サーバーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を押します。

パソコンからスキャンする - パソコンに保存

AU03-05L



原稿をスキャンして、本機に接続されたパソコンへスキャンデータを保存します。パソコンでスキャン操作をするときに、形式や保存先を設定できます。スキャンデータをパソコンの画面ですぐに確認できるため、画質などを調整しながらスキャンできます。

以下のいずれかのアプリケーションを使用してスキャンします。

専用のアプリケーション（Canon PRINT）

キヤノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントとスキャンができます。

専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT(P. 368)

専用のアプリケーション（Scan Utility）

目的に合った設定で簡単にスキャンできます。指定したアプリケーションにスキャンデータを送って、表示させたり、メールに添付したりできます。ScanGear MF の画面を表示して、詳細に設定することもできます。

専用のアプリケーションを使用してスキャンする - Scan Utility(P. 279)

任意のアプリケーション

画像処理ソフトや文書作成ソフトなど、TWAIN*1 または WIA*2 に対応しているアプリケーションを使用できます。スキャンデータが直接アプリケーションに取り込まれるため、すぐに編集／加工できます。

使用するアプリケーションが TWAIN／WIA に対応しているかについては、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

任意のアプリケーションを使用してスキャンする(P. 280)

*1 TWAIN はスキャナーなどの画像入力機器とパソコンを接続するための規格です。

*2 WIA は Windows に標準搭載されている機能です。

専用のアプリケーションを使用してスキャンする - Scan Utility

本機に原稿をセットしたあと、パソコンで Scan Utility を使用してスキャンします。

必要な準備

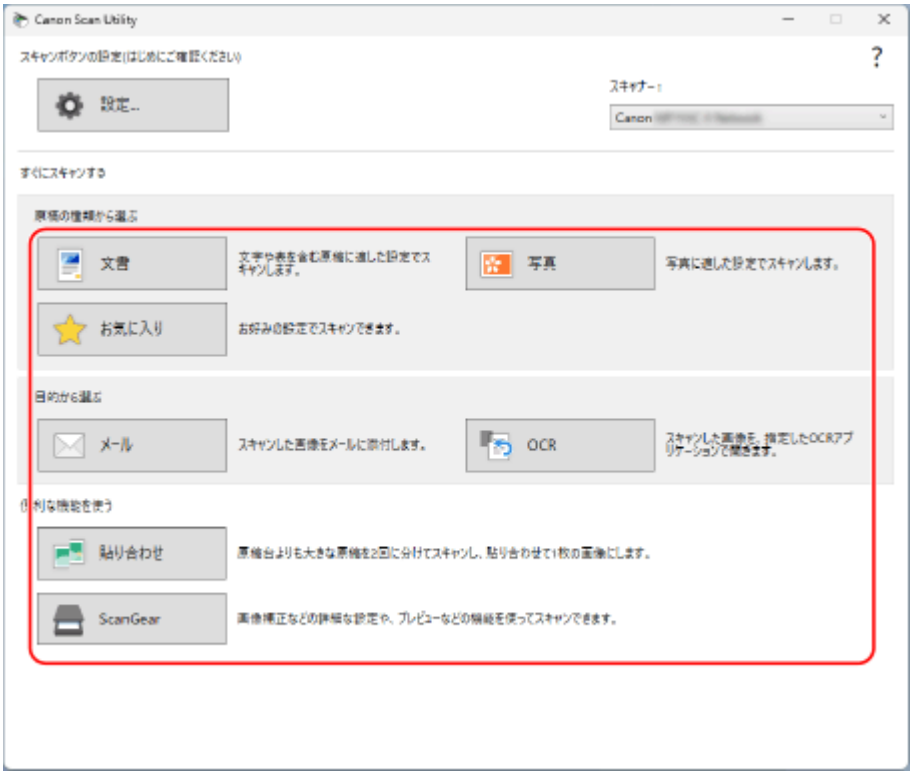
- パソコンにスキャナードライバー（ScanGear MF）とアプリケーション（Scan Utility）をインストールします。 **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)**

1 本機に原稿をセットする **原稿のセット方法(P. 142)**

2 パソコンで、Scan Utility を起動する **Scan Utility を起動する(P. 282)**

3 ［スキャナー］から本機を選択する

4 原稿の種類や用途に応じたボタンをクリックしてスキャンを開始する



［ScanGear］をクリックすると、ScanGear MF の画面を表示して、より詳細なスキャンの設定ができます。詳しくは、ScanGear MF の画面の［ ］をクリックしてヘルプを参照してください。

MEMO

スキャンできない場合

- 本機がオンライン（スキャン待機状態）でない可能性があります。操作パネルの［ホーム］画面から［スキャン］▶［リモートスキャナー］を押して、オンラインにしてから操作しなおします。

任意のアプリケーションを使用してスキャンする

本機に原稿をセットしたあと、パソコンで任意のアプリケーションを使用してスキャンします。
ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにスキャナードライバー（ScanGear MF）をインストールします。**パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)**

1 本機に原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

2 パソコンで、スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動する

3 アプリケーションのメニューから、スキャンを開始するメニューを選択する

4 本機のスキャナードライバー（ScanGear MF または WIA）を選択し、スキャンの設定をする

ScanGear MF を選択すると、より詳細なスキャンの設定ができます。詳しくは、ScanGear MF の画面の［ ］をクリックしてヘルプを参照してください。

5 スキャンを開始する

➠スキャンが完了すると、スキャンデータがアプリケーションに取り込まれます。

2 枚目以降の原稿がスキャンされない場合や、スキャンが完了したあとにエラーメッセージが表示される場合は、原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンします。



スキャンできない場合

- 本機がオンライン（スキャン待機状態）でない可能性があります。操作パネルの［ホーム］画面から［スキャン］
  ▶［リモートスキャナー］を押して、オンラインにしてから操作しなおします。

Scan Utility を起動する

AU03-05R

パソコンにインストールした Scan Utility を起動します。

■Windows の場合

[ ]（スタート）▶［すべて］▶［Canon Utilities］▶［Scan Utility］をクリックします。

■macOS の場合

OS のアプリケーションフォルダーから［Canon MF Utilities］▶［Canon MF Scan Utility］をダブルクリックします。

MEMO

- Scan Utility の操作や設定項目については、Scan Utility の画面の［ ? ］をクリックしてヘルプを参照してください。

スキャンの設定

AU03-05S

本機でスキャンする場合は、スキャンの画面（[送信設定]タブ）で、原稿のサイズを設定したり画質を調整したりできます。



スキャンデータが期待どおりでない場合は、設定を変更してスキャンしなおします。
※スキャンするときの色（白黒／カラー）は、スキャンを開始するときに［白黒 スタート］を押すか［カラー スタート］を押すかで決まります。
※スキャンデータをパソコンに保存する場合は、パソコンにインストールした Scan Utility や ScanGear MF で設定します。操作パネルでは設定できません。

原稿のサイズや向きの設定(P. 283)
画質の調整(P. 284)
両面スキャンの設定(P. 285)
プレビューの設定(P. 285)
白紙スキップの設定(P. 285)
ファイル／分割の設定(P. 286)
メール／I ファクスの設定(P. 286)

MEMO

よく使う設定を登録する

- スキャンの設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときに呼び出してスキャンできます。 **よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)**
- スキャンの初期設定を変更することもできます。 **初期設定を変更する(P. 200)**

過去の設定を呼び出す - 送信履歴

- 送信履歴を利用して、過去にスキャンデータを送信／保存したときのスキャン設定を呼び出すことができます。 **宛先を指定する - 送信履歴(P. 193)**
  ※スキャンデータを USB メモリーに保存する場合は、送信履歴を利用できません。

原稿のサイズや向きの設定

原稿に合わせてサイズや向きを設定します。

[読取サイズ]
セットした原稿のサイズを選択します。

定形外のサイズに設定する

［任意に指定］を選択し、［X］辺と［Y］辺の長さを入力して、［確定］を押します。
よく使用する定形外のサイズを登録している場合は、サイズ入力時の画面で、［S1］～［S3］を押して呼び出すことができます。

定形外のサイズを登録する

特定の定形外サイズの原稿をよく使用する場合は、以下の手順でサイズを登録しておきます。サイズ入力時の画面で呼び出せるようになり、サイズを入力する手間が省けます。
定形外のサイズは３つまで登録できます。

［任意に指定］▶［サイズ登録］▶［S1］～［S3］のいずれかを選択▶［X］辺と［Y］辺の長さを入力▶［確定］

サイズ入力時の画面で［名称］を押すと、［S1］～［S3］の表示名を変更できます。

［原稿の向き］

セットした原稿に合わせて［縦長原稿］または［横長原稿］を選択します。

［縦長原稿］



［横長原稿］



画質の調整

スキャンデータの画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。

［濃度］

原稿に合わせて濃度を調整します。
濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。

［原稿の種類］

原稿の種類を選択します。
原稿の内容に合った画質でスキャンされるようになります。

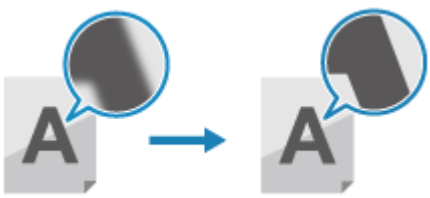
［シャープネス］

シャープネスを調整します。
輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

調整例：

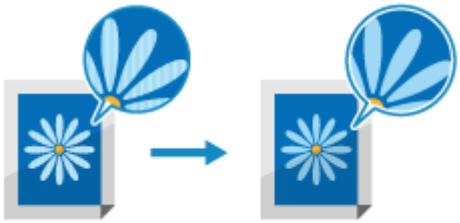
- **ぼやけた文字や図を鮮明にする場合**

  ［+］に設定します。



- **写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合**

  ［-］に設定します。



MEMO

スキャンデータのファイル形式が JPEG の場合

- ［データサイズ］で選択している圧縮率によっても、画質が変わります。 **ファイル／分割の設定(P. 286)**

両面スキャンの設定

原稿の両面をスキャンする場合は、原稿をフィーダーにセットし、［両面原稿］を設定します。

［両面原稿］
両面スキャンする場合は、［左右開き］または［上下開き］を選択します。セットした原稿の、オモテ面とウラ面の上下の向きに合わせて選択します。

［左右開き］



上下が同じ向き

［上下開き］



上下が反対向き

両面スキャンを解除する場合は、［OFF］を選択します。

プレビューの設定

スキャンデータのプレビュー画像を確認してから送信／保存する場合は、［プレビュー］を設定します。
※スキャンデータを USB メモリーに保存する場合は、設定できません。

［プレビュー］
プレビュー画像を確認してから送信／保存する場合は、［ON］を選択します。
プレビュー画像は、原稿のスキャンが完了したあとに、操作パネルの画面で確認できます。プレビュー画像から、送信／保存したくないページを削除することもできます。

白紙スキップの設定

スキャンした原稿の白紙ページを自動削除する場合は、［白紙スキップ］を設定します。
※スキャンデータを I ファクスで送信する場合は、設定できません。

［白紙スキップ］
スキャン時に白紙と判定されたページを自動削除する場合は、［ON］を選択します。

[ON (プレビューあり)] と [ON (プレビューなし)] の 2 つが表示されている場合は、スキャンデータのプレビュー画像を確認してから送信／保存するかどうかに応じて選択します。
※［白紙スキップ］を［ON］に設定した場合、スキャンした原稿のすべてのページが白紙と判定されたときは、スキャンは中止されます。

[検知レベル調整]
白紙ページを検知する精度を調整します。
[+] に設定するほど、白紙と判定されやすくなります。

ファイル／分割の設定

スキャンデータの形式やファイル名を設定します。
データを圧縮したり、原稿に含まれる文字をテキストとして検索可能にしたりできます。また、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめるか、原稿ごとに別々のファイルにするかも設定できます。
※スキャンデータを I ファクスで送信する場合は、スキャンデータの形式は設定できません。必ず TIFF 形式になります。

[ファイル形式]
用途や環境に応じて、スキャンデータの形式を PDF/JPEG/TIFF から選択します。

データサイズを小さくする

- **PDF 形式にする場合**
  ［PDF (高圧縮)］または［PDF (高圧縮/OCR)］を選択します。
  データサイズは小さくなりますが、原稿の種類によっては画質が低くなったり、一度にスキャンできる枚数が少なくなったりすることがあります。
- **JPEG 形式にする場合**
  ［JPEG］を選択し、［データサイズ］の設定を［小 : サイズ優先］にします。

原稿の文字をテキストとして検索できるようにする
［PDF (OCR)］または［PDF (高圧縮/OCR)］を選択します。
初期設定では、PDF 作成時に判断された文字の向きによって、［原稿の向き］が自動で検知されます。 **［OCR (文字認識) 設定］(P. 550)**

原稿を 1 つのファイルにまとめる
PDF 形式または TIFF 形式を選択します。

[ページ毎に分割]
原稿を別々のデータに分ける場合は、［ON］を選択します。
※JPEG 形式は分割できません。

[データサイズ]
スキャンデータを JPEG 形式にする場合のデータサイズを選択します。選択したデータサイズによって圧縮率が変わります。

[小 : サイズ優先]
圧縮率が高くなるため、画質が低くなります。

[大 : 画質優先]
圧縮率が低くなるため、データサイズが大きくなります。

[ファイル名]
スキャンデータのファイル名の先頭に付ける文字列を指定します。

メール／I ファクスの設定

スキャンデータをメール／I ファクスで送信する場合に、メールの情報を設定できます。

[件名/本文]
件名や本文を設定します。

[返信先]
宛先にメールの返信先として通知するメールアドレス（Reply-To）を、アドレス帳から選択して設定します。
ここでメールアドレスを設定しない場合、宛先には本機のメールアドレスが返信先として通知されます。
※設定したいメールアドレスがアドレス帳に登録されていない場合は、登録してから設定します。 **アドレス帳の機能 (P. 172)**

[重要度]
重要度のレベルを選択します。



メールの送信元について

- 宛先にメールの送信元として通知するメールアドレス（From）は、[返信先]の設定にかかわらず、本機のメールアドレスとなります。
- 本機のメールアドレスと併せて送信者名を通知する場合は、以下の手順でユーザー略称を設定します。

  リモート UI にログイン ▶ [設定/登録] ▶ [送信設定] ▶ [スキャン送信設定] ▶ [ユーザー略称設定]の [編集] ▶ ユーザー略称を入力 ▶ [OK]

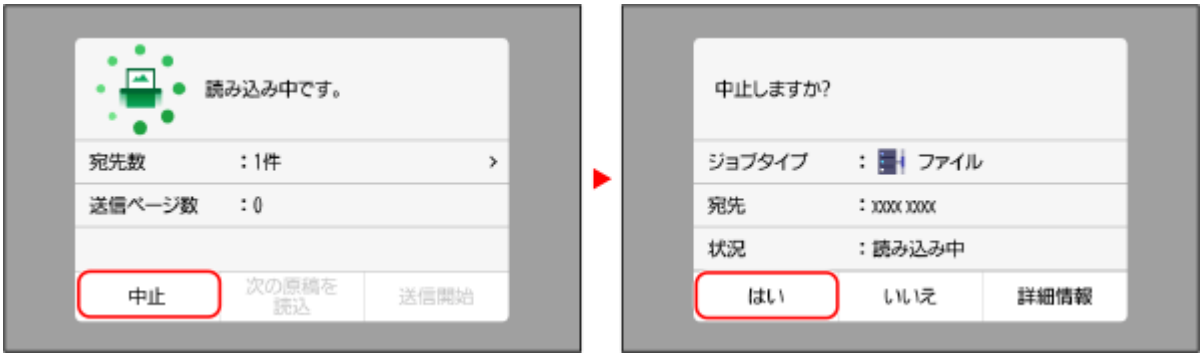
  操作パネルでは、[ホーム]画面の[メニュー] ▶ [ファンクション設定]から設定します。 **[ユーザー略称の登録] (P. 579)**
- メールの送信元は、本機共通の設定です。

スキャンを中止する

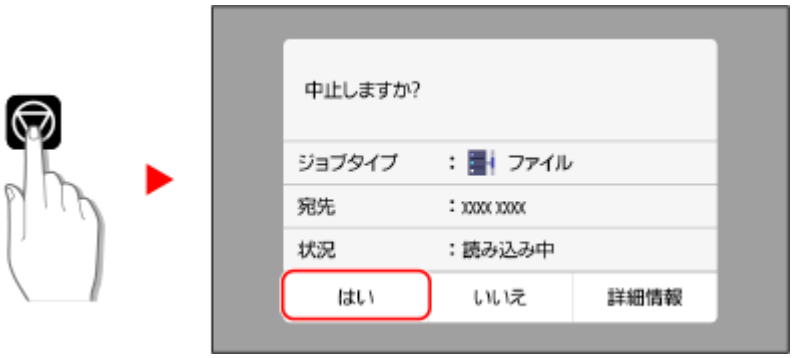
AU03-05U

本機でスキャンした場合は、画面の表示に従ってスキャンを中止できます。

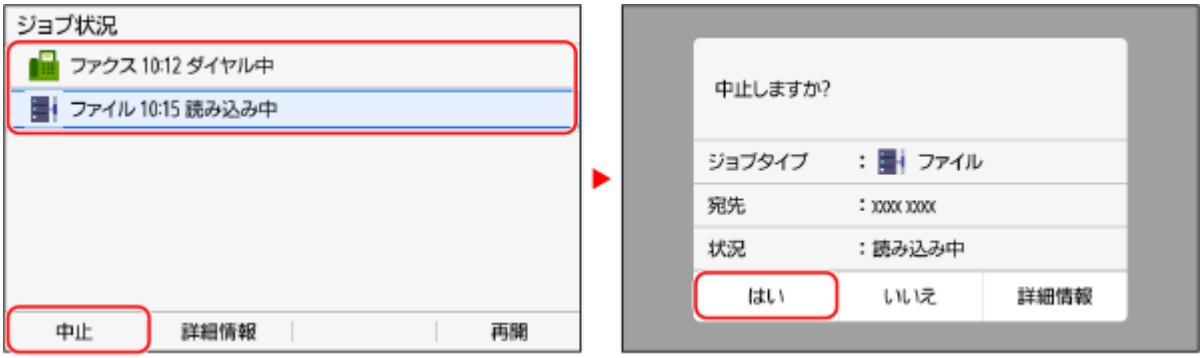
［中止］▶［はい］を押す



上記の画面が表示されていない場合は、操作パネルの を押す▶［はい］を押す



ジョブの一覧画面が表示された場合は、中止するジョブを選択し、［中止］▶［はい］を押します。



スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する

AU03-05W

本機でスキャンした場合は、スキャンデータの送信／保存状況や履歴を確認できます。
スキャンデータの送信／保存をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しく送信／保存できたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。
※履歴を表示しないように設定されている場合は、送信／保存状況のみ確認できます。 **［ジョブ履歴の表示］(P. 615)**

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［送信ジョブ］を押す

3 ［送信状況］または［送信履歴］タブで、状況や履歴を確認する

■送信／保存状況を確認する場合

1 ［送信状況］タブで、実行中や待機中のジョブを確認する

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ページ数や宛先などを確認する
スキャンデータの宛先が複数の場合は、［宛先］を押すと一覧が表示されます。

■送信／保存履歴を確認する場合

1 ［送信履歴］タブで、送信／保存が完了したジョブを確認する
※履歴は最大 128 件まで表示されます。（ファクスの履歴などを含みます）

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ページ数や宛先などを確認する
スキャンデータの宛先が複数の場合は、［宛先］を押すと一覧が表示されます。

送信／保存履歴に［NG］が表示されている場合

送信／保存が中止されたか、エラーが発生しました。
「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。 **エラーコードが表示された(P. 776)**

MEMO

未登録の宛先をアドレス帳に登録する

- ジョブの詳細情報が表示された画面で［アドレス帳登録］を押すと、宛先をアドレス帳に登録できます。
  ※宛先が複数のときは登録できません。

ファクスする

ファクスする 292
ファクスの準備 294
パソコンからファクスを送信するための準備 295
ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する 297
ファクス番号／ユーザー略称を変更する 299
ファクスの転送／バックアップの設定 300
送信したファクスを自動転送／バックアップする 301
受信したファクスを自動転送／バックアップする 303
ファクスを送信する 305
通話に続けてファクスを送信する - 手動送信 308
パソコンからファクスを送信する - PC ファクス 310
PC ファクスを安全に送信するために 313
ファクス原稿のスキャン設定 314
ファクスを受信する 316
電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信 317
受信したファクスのプリント設定を変更する 318
ファクスの送信を中止する 320
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する 321
インターネットファクスを使う - I ファクス 323
受信した I ファクスのプリント設定を変更する 327

ファクスする

AU03-05X

ファクスとは、電話回線を使用して、文書や写真などを白黒の画像として送受信することです。電話回線を使用せずに、インターネット経由でファクスを送受信することもできます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

ファクスの送信

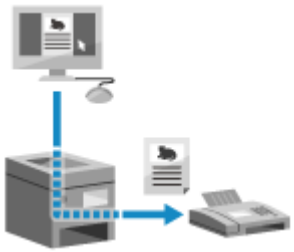
以下の 2 つの方法があります。

本機から送信する



本機で文書や写真などの印刷物（原稿）をスキャンし、白黒の画像に変換して送信します。
ファクスを送信する(P. 305)
送信したファクスを、特定の宛先に自動的に転送／保存することもできます。
送信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 301)

パソコンから送信する



パソコンにインストールされたファクスドライバーを介して、文書や写真を白黒の画像に変換して送信します。
パソコンから文書や写真をプリントする要領で、ファクスを送信できます。ファクスを送信するために、印刷物を用意する必要がありません。
パソコンからファクスを送信するための準備(P. 295)
パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)

※macOS の場合は、OS に標準搭載されている AirPrint 機能を使用して、ファクスドライバーをインストールせずにパソコンから送信することもできます。 **AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)**

ファクスの受信

ファクスを自動受信するように設定していると、ファクスの着信時は呼び出し音が鳴らずに受信します。呼び出し音が鳴った場合は、受話器を取って通話かファクスかを確認して、ファクスのときは受信操作をします。
ファクスを受信する(P. 316)

受信したファクスを、特定の宛先に自動的に転送／保存することもできます。
受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

インターネットファクスの送受信



インターネットファクス（I ファクス）とは、インターネットを経由してファクスを送受信する機能です。
電話回線を使わないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。また、I ファクスを受信すると自動的に受信データがプリントされます。
送信先／送信元の機器が I ファクスに対応している必要があります。
インターネットファクスを使う - I ファクス(P. 323)

■関連項目

受信したファクスのプリントを制限する

受信したファクスをプリントせずに、一時的に本機のメモリーに保存できます。

受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)

ファクスの準備

AU03-05Y

本機でファクスを送受信するには、操作パネル（ファクス設定ナビ）を使用して初期設定をする必要があります。 **ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ(P. 103)**

パソコンからファクスを送信する場合

ファクスを送信するパソコンごとに準備が必要です。

パソコンからファクスを送信するための準備(P. 295)

初期設定の内容を変更したい場合

ファクス設定ナビで設定した内容を、あとから個別に変更することもできます。

ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する(P. 297)

ファクス番号／ユーザー略称を変更する(P. 299)

MEMO

- 送信日時や本機のファクス番号などの発信元情報は、送信先でファクスの内容と併せてプリントされます。プリント位置やファクス番号に付けるマークを変更したり、プリントされないようにしたりできます。 **［発信元記録］(P. 590)**
- 送受信したファクスを自動的に転送／保存する場合は、別途設定が必要です。 **ファクスの転送／バックアップの設定(P. 300)**

パソコンからファクスを送信するための準備

AU03-060

ファクスを送信するパソコンごとに、以下の準備をします。

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする(P. 295)
Step 2：ドライバーで部門 ID／暗証番号を設定する(P. 295)
Step 3：安全に送信するための設定をする(P. 295)
Step 4：ファクスの送信テストをする(P. 296)

Step 1：パソコンにドライバーをインストールする

ファクスを送信するパソコンに、ファクスドライバーをインストールします。 **パソコンへのソフトウェア／ドライバーのインストール(P. 107)**

Step 2：ドライバーで部門 ID／暗証番号を設定する

本機が部門別 ID 管理中の場合は、ファクスドライバーで部門 ID や暗証番号を設定します。 **パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する(P. 390)**
※部門別 ID 管理を使用していない場合、この Step は不要です。Step 3 に進みます。

Step 3：安全に送信するための設定をする

パソコンからのファクスの送信は、自由に送信できて便利な反面、間違った番号に送信するなどのリスクがあります。こうしたリスクを低減するために、ファクスドライバーで以下の設定をしておくことをおすすめします。

Windows の場合(P. 295)
macOS の場合(P. 296)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➡[プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のファクスドライバー ▶ [印刷設定] をクリックする

➡ファクスドライバーの [印刷設定] 画面が表示されます。

3 安全に送信するための設定をする

- ファクス番号の確認入力を有効にする
- 外線接続番号を設定する
- 送信履歴を残す

詳しくは、［印刷設定］画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。

■macOS の場合

ファクスの送信時に、プリントダイアログ（ファクスドライバーの設定画面）で、安全に送信するための設定をします。

- ファクス番号の確認入力を有効にする
- 外線接続番号を設定する

詳しくは、プリントダイアログの［ ? ］をクリックしてヘルプを参照してください。

Step 4：ファクスの送信テストをする

インストールや設定が終わったら、ファクスを正しく送信できることを確認します。 **パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)**

ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する

AU03-061

ファクスの初期設定時に設定した受信モードを変更できます。
着信がファクスかどうかを自動判定する［FAX/TEL 切替］に設定している場合は、呼び出し時間などの設定も変更できます。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ファクス］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［送受信設定］タブで、［受信モード］を押す

➡［受信モード］画面が表示されます。

3 受信モードを選択する

■電話機を接続しないで使用する場合

［自動受信］を選択します。ファクス専用で使用します。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきても通話はできません。

■一般の電話機を接続して使用する場合

ファクスを自動受信する場合

［FAX/TEL 切替］を選択します。ファクスも電話も使用できます。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、呼び出し音が鳴ります。受話器を取って通話します。

ファクスを手動受信する場合

［手動受信］を選択します。ファクスも電話も使用できます。

- 相手がファクスと電話のどちらの場合でも、呼び出し音が鳴ります。
- 受話器を取り、「ピー」という音が聞こえたときは、ファクスを手動で受信します。 **ファクスを受信する(P. 316)**
- 呼び出し音が一定時間鳴ったあと、ファクスを自動受信するように設定しておくこともできます。 **［自動受信切替］(P. 597)**

■留守番電話機を接続して使用する場合

［留守 TEL 接続］を選択します。ファクスも電話も使用できます。

- ファクスは自動受信します。
- 電話がかかってきたときは、留守番電話機の機能を利用して録音されます。録音前に受話器を取れば通話できます。

  ※呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ったあとで録音機能が起動するように、留守番電話機を設定しておきます。

  ※留守番メッセージを録音する際は、最初の 4 秒間程度を無音状態にするか、もしくは全体の長さを 20 秒以内にすることをおすすめします。

4 着信時の呼び出し時間や動作を設定し、［確定］を押す

受信モードで［FAX/TEL 切替］を選択した場合に設定します。他の受信モードを選択した場合は、この手順は不要です。



［呼出開始時間］

着信後、相手がファクスか電話かを判定する時間を指定します。この間、呼び出し音は鳴りません。
ファクスと判定された場合は受信が開始されます。

［呼出時間］

相手がファクスと判定されなかった場合に、呼び出し音を鳴らす時間を指定します。

［音声応答］

［ON］にすると、相手に以下の応答メッセージが流れます。

呼び出し中

「ただいま電話を呼び出しております。そのまましばらくお待ちください。ファクシミリの方は送信してください。」

受話器を取らなかったとき

- **［呼出後の動作］が［終了］の場合**
  「呼び出しましたが近くにおりません。申し訳ございませんが後ほどおかけなおしください。」
- **［呼出後の動作］が［受信］の場合**
  「呼び出しましたが近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は送信してください。」

［呼出後の動作］

呼び出し音が鳴っている間に受話器を取らなかったときの動作を選択します。
［終了］にすると通信を切断し、［受信］にするとファクスを受信します。

MEMO

- 電話機の接続方法については、電話回線接続時の手順を参照してください。 **Step 4：電話回線に接続する (P. 105)**

ファクス番号／ユーザー略称を変更する

AU03-062

引っ越しなどでファクス番号が変更になった場合や、相手に通知する名前を修正する場合は、本機に登録している情報を変更します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［回線設定］(P. 588)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［ファクス送信設定］▶［編集］をクリックする

➠［ファクス送信設定の編集］画面が表示されます。

4 ファクス番号やユーザー略称を変更する

- ファクス番号は、［回線設定］の［ユーザー電話番号］に入力します。
- ユーザー略称は、［基本設定］の［ユーザー略称］に入力します。

5 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

ファクスの転送／バックアップの設定

AU03-063

ファクスを送受信したときに、その内容が特定の宛先に自動的に転送／保存されるように設定できます。
受信したファクスの内容を本機と離れた場所で確認したいときや、送受信したファクスをバックアップしたいときに便利です。

送信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 301)
受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

MEMO

必要なファクスのみ転送する

- ファクスの受信履歴から、必要なファクスを選択して特定の宛先に送信することもできます。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)**

送信したファクスを自動転送／バックアップする

AU03-064

ファクスを送信したときに、その内容があらかじめ指定した宛先にも自動的に転送／保存されるように設定します。
転送／保存先として指定できる宛先は以下のとおりです。

- ファクス番号
- メールアドレス（メール／I ファクス）
- パソコンの共有フォルダー
- FTP サーバー

ファクス番号以外の宛先には、ファクスの内容が白黒の PDF ファイルとして転送／保存されます。
※I ファクスの宛先を指定する場合は、送信先の機器で PDF ファイルを確認できる必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［送信文書アーカイブ］(P. 589)**
管理者権限が必要です。

必要な準備

- ファクス番号以外の宛先を転送／保存先に指定する場合は、その宛先にデータを送信／保存するための準備をします。
  - 必要な準備は、スキャンデータを送信／保存するときと同じです。
    メールでスキャンデータを送信するための準備(P. 254)
    共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)
    FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)
  - I ファクスの宛先を指定する場合は、送信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**
- 指定する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。 **宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［ファクス送信設定］▶［編集］をクリックする

➡［ファクス送信設定の編集］画面が表示されます。

4 ［通信管理設定］で、［送信文書をアーカイブする］にチェックマークを付け、［アドレス帳から選択］をクリックする

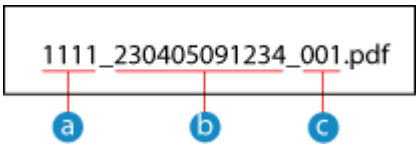
➡［アドレス帳から選択］画面が表示されます。

5 宛先を選択し、［OK］をクリックする

➡［ファクス送信設定の編集］画面に戻ります。

6 必要に応じて、［ファイル名］に任意の文字列を入力する

- 宛先にファクス番号を選択した場合は、この手順は不要です。手順 7 に進みます。
- ファクス番号以外の宛先を選択した場合、PDF ファイルは以下のファイル名で送信／保存されます。



a 通信管理番号

b 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

［ファイル名］に文字列を入力すると、上記ファイル名の先頭に指定した文字列が付きます。

7 ［OK］をクリックする

➠ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

MEMO

受信したファクスを自動転送／バックアップする

- 上記は、送信したファクスを転送／保存するための設定です。受信したファクスを転送／保存するには、別途設定が必要です。**受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)**

受信したファクスを自動転送／バックアップする

AU03-065

ファクスを受信したときに、その内容があらかじめ指定した宛先に自動的に転送／保存されるように設定します。受信したファクスを本機でプリントするかどうかも設定できます。
転送／保存先として指定できる宛先は以下のとおりです。

- ファクス番号
- メールアドレス（メール／I ファクス）
- パソコンの共有フォルダー
- FTP サーバー

ファクス番号以外の宛先には、ファクスの内容が白黒の PDF ファイルとして転送／保存されます。
※I ファクスの宛先を指定する場合は、送信先の機器で PDF ファイルを確認できる必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［転送設定］(P. 598)**
管理者権限が必要です。

必要な準備

- ファクス番号以外の宛先を転送／保存先に指定する場合は、その宛先にデータを送信／保存するための準備をします。
  - 必要な準備は、スキャンデータを送信／保存するときと同じです。
    メールでスキャンデータを送信するための準備(P. 254)
    共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)
    FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)
  - I ファクスの宛先を指定する場合は、送信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**
- 指定する宛先を、本機のアドレス帳に登録します。 **宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［受信/転送設定］▶［ファクス受信設定］▶［転送設定］の［編集］をクリックする

➡［転送設定の編集］画面が表示されます。

4 ［転送機能を使用する］にチェックマークを付け、［アドレス帳から選択］をクリックする

➡［アドレス帳から選択］画面が表示されます。

5 宛先を選択し、［OK］をクリックする

➡［転送設定の編集］画面に戻ります。

6 ファクスをプリント／メモリー保存するかどうかを設定する

■本機でファクスをプリントする場合

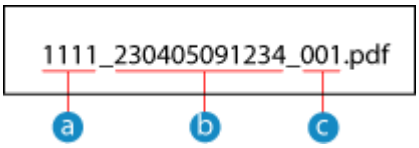
［画像のプリント］で［ON］を選択します。転送できなかった場合にのみプリントする場合は［エラー時のみプリントする］を選択します。

■転送できなかったファクスを本機のメモリーに保存する場合

［画像をメモリーに保存］で［エラー時のみ保存する］を選択します。
メモリーに保存されたファクスは、［状況確認］から確認できます。 **転送できなかったファクスを確認する(P. 322)**

7 必要に応じて、［ファイル名］に任意の文字列を入力する

- 宛先にファクス番号を選択した場合は、この手順は不要です。手順 8 に進みます。
- ファクス番号以外の宛先を選択した場合、PDF ファイルは以下のファイル名で送信／保存されます。



a 通信管理番号

b 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

c ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

［ファイル名］に文字列を入力すると、上記ファイル名の先頭に指定した文字列が付きます。

8 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

MEMO

送信したファクスを自動転送／バックアップする

- 上記は、受信したファクスを転送／保存するための設定です。送信したファクスを転送／保存するには、別途設定が必要です。 **送信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 301)**

ファクスを送信する

AU03-066



本機で文書や写真などの印刷物（原稿）をスキャンし、白黒の画像に変換して送信します。
電話で通話したあと、続けてファクスを送信することもできます。 **通話に続けてファクスを送信する - 手動送信(P. 308)**

1 原稿をセットする 原稿のセット方法(P. 142)

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［ファクス］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ ファクスの画面が表示されます。

3 ［リセット］を押す

前回送信時の宛先設定が残っていると誤送信の原因になるため、設定をリセットしてから操作します。

4 ［テンキー］タブ／［宛先指定］タブ／［アドレス帳］で、宛先を指定する 宛先の指定(P. 186)



テンキーでファクス番号を入力するか、登録されている宛先を選択します。

5 ［送受信設定］タブで、原稿のスキャン設定をする ファクス原稿のスキャン設定(P. 314)



6 ［スタート］を押す

➠原稿のスキャンが開始されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **ファクスの送信を中止する(P. 320)**
- 原稿のスキャンが完了すると、ファクスが送信されます。［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)**

■［確認入力］画面が表示された場合

最後に入力したファクス番号を再度入力し、［確定］を押します。

■［送信宛先の確認］画面が表示された場合

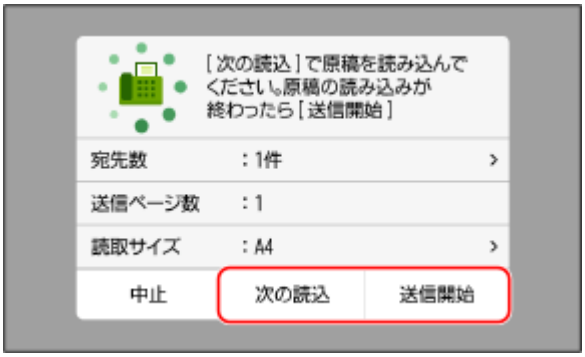
宛先が正しいことを確認してから［スキャン開始］を押します。

■［読取サイズ］画面が表示された場合

セットした原稿のサイズを選択します。

■［次の読込］が表示された場合

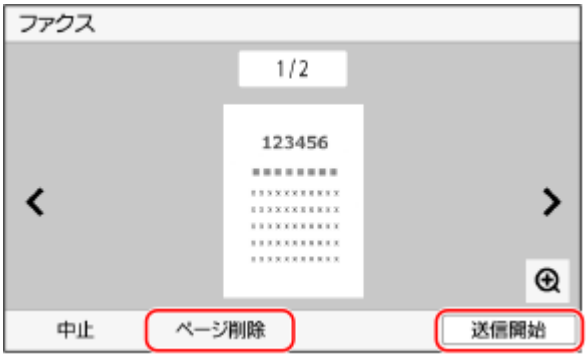
原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンすると、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、［次の読込］を押します。
すべての原稿のスキャンが完了したら、［送信開始］または［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ開始］を押します。



※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

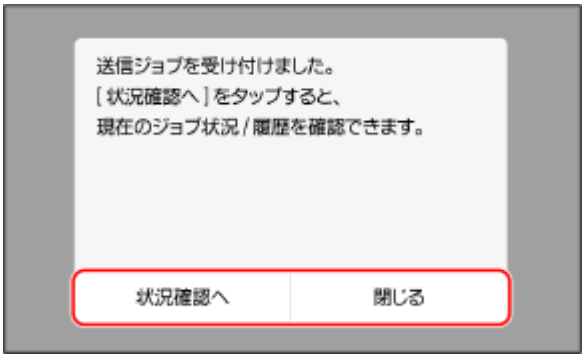
■プレビュー画面が表示された場合

スキャンした原稿のプレビュー画像を確認してから、［送信開始］を押します。
送信したくないページがある場合は、そのページを表示して［ページ削除］を押します。



■［状況確認へ］が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、［状況確認へ］を押します。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)**
［閉じる］を押すと、ファクスの画面に戻ります。



セットした原稿のサイズを選択します。

通話に続けてファクスを送信する - 手動送信

AU03-067

電話で通話したあと、続けてファクスを送信します。通話するには、外付け電話機が必要です。ここでは、電話をかけてからファクスを送信する手順を説明します。
かかってきた電話でファクスを送信する場合は、最初に受話器を取って通話したあと、以下の操作をします。電話をかけるための手順 4 と 5 は不要です。

重要

- 手動送信では、スキャンや送信できるページが以下に限定されます。
  - フィーダーに原稿をセットした場合は、片面のみスキャンされます。
  - 原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、セットした原稿 1 ページしか送信できません。

1 **原稿をセットする** **原稿のセット方法(P. 142)**

2 **操作パネルの［ホーム］画面で、［ファクス］を押す** **［ホーム］画面(P. 124)**

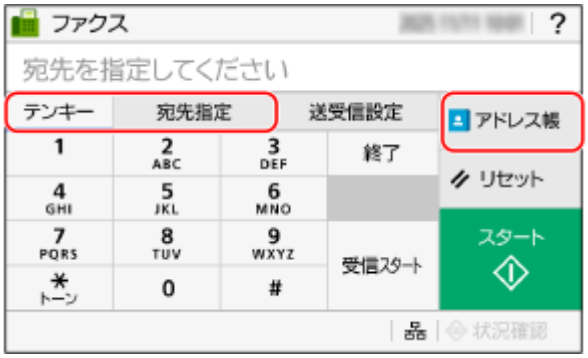
➠ ファクスの画面が表示されます。

3 **［送受信設定］タブで、原稿のスキャン設定をする** **ファクス原稿のスキャン設定(P. 314)**



4 **受話器を取る**

5 **［テンキー］タブ／［宛先指定］タブ／［アドレス帳］で、宛先を指定する** **宛先の指定(P. 186)**



テンキーでファクス番号を入力するか、登録されている宛先を選択すると、相手に電話がかかります。

6 通話して、最後にファクスの受信操作を相手にしてもらう

7 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を戻す

➠原稿のスキャンが開始されます。

- ファクスの送信を中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。**ファクスの送信を中止する(P. 320)**
- 原稿のスキャンが完了すると、ファクスが送信されます。［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。**ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)**

■［読取サイズ］画面が表示された場合

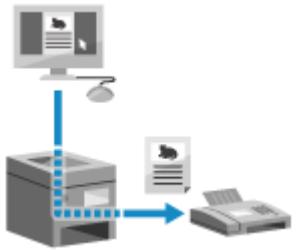
セットした原稿のサイズを選択します。

MEMO

- 手動送信したときの宛先と設定は、送信履歴に残りません。

パソコンからファクスを送信する - PC ファクス

AU03-068



パソコンからファクスドライバーを使用して、文書をファクスとして送信します。
文書を手軽に送信できるため、送信内容をよく確認してから送信します。 **PC ファクスを安全に送信するために(P. 313)**

ここでは、一般的な手順を説明します。使用するアプリケーションでの具体的な操作方法については、各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

必要な準備

- パソコンにファクスドライバーをインストールし、使用環境や目的に応じた設定をします。 **パソコンからファクスを送信するための準備(P. 295)**

Windows の場合(P. 310)
macOS の場合(P. 311)

■Windows の場合

1 パソコンで、送信する文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、プリントするメニューを選択する

3 本機のファクスドライバーを選択し、［印刷］をクリックする

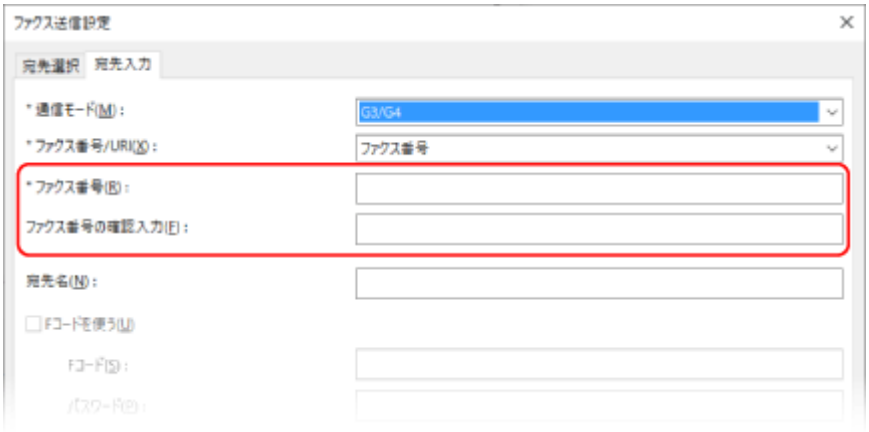
➠ ファクスドライバーの［ファクス送信設定］画面が表示されます。

4 宛先を指定する

- ここではファクス番号を入力する手順を説明します。アドレス帳に登録されている宛先は［宛先選択］タブから指定できます。
- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。あらかじめ、外線接続番号を設定している場合は、入力は不要です。 **Step 2：ドライバーで部門 ID／暗証番号を設定する(P. 295)**

■ファクス番号を 1 件入力する場合

［宛先入力］タブで、ファクス番号を入力します。［ファクス番号の確認入力］が入力可能な場合は、同じファクス番号を入力します。



■ファクス番号を複数入力する場合

1 ［宛先選択］タブで、［宛先の追加］をクリックする

➠［宛先の追加］画面が表示されます。

2 宛先名とファクス番号を入力し、［次の宛先を追加］をクリックする
［ファクス番号の確認入力］が入力可能な場合は、同じファクス番号を入力します。

3 手順 2 を繰り返して、すべての宛先を入力したら、［OK］をクリックする

5 必要に応じて、カバーシート（送付票）や送信履歴保存の設定など、その他のファクス設定をする

- カバーシートの内容は、［カバーシート］をクリックして設定します。
- パソコンに送信履歴を保存する場合は、［送信イメージを保存する］にチェックマークを付けます。
- その他のファクス設定の詳細については、［ファクス送信設定］画面の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを参照してください。

6 ［送信］をクリックする

➠送信する宛先の確認画面が表示されます。

7 宛先が正しいことを確認し、［OK］をクリックする

➠ファクスが本機を経由して送信されます。

- 操作パネルの［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 321)**
- ［送信イメージを保存する］にチェックマークを付けて送信した場合は、ファクスドライバーの［送信イメージ］タブでも履歴を確認できます。

■macOS の場合

1 パソコンで、送信する文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で、本機のファクスドライバーを選択する

4 プリントオプションのポップアップメニューから［基本設定］を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

5 ファクス番号を入力し、［宛先の追加］をクリックする

- 複数の宛先を指定する場合は、この手順を繰り返します。アドレス帳に登録されている宛先は［アドレス帳］から指定できます。
- 外線番号が必要な場合は、ファクス番号の先頭に外線番号を付けて入力します。

6 必要に応じて、カバーシート（送付票）の設定など、その他のファクス設定をする

- カバーシートの内容は、プリントオプションのポップアップメニューから［カバーシート］を選択して設定します。
- その他のファクス設定の詳細については、プリントダイアログの［ ? ］をクリックしてヘルプを参照してください。

7 ［プリント］をクリックする

➠ファクスが本機を経由して送信されます。

操作パネルの［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 321)**

PC ファクスを安全に送信するために

AU03-069

パソコンからのファクスの送信は、自由に送信ができて便利な反面、間違った番号に送信するなどのリスクがあります。こうしたリスクを低減するために、送信時には以下を確認することをおすすめします。

送信内容を確認する(P. 313)
宛先を確認する(P. 313)
送信後に履歴を確認する（Windows のみ）(P. 313)

送信内容を確認する

原稿をスキャンする送信とは異なり、送信される内容がパソコンの画面上でしか確認できないため、文書を送信する前に内容を確認します。

プレビューで確認する
意図どおりの送信内容になっていることを確認します。用紙サイズが適切ではない場合、用紙からはみ出して分割送信されることがあります。

PDF で確認する
Excel などで意図しないシートが送信されるリスクを低減するために、PDF に変換して送信します。アプリケーションのプリント機能にプレビューがない場合や、文書の一部のページだけ送信したい場合も、PDF に変換すると、送信内容を確認してから送信できます。

宛先を確認する

宛先指定時にファクス番号を二度入力するようにしたり、送信前に宛先を再確認したりすると誤送信のリスクを低減できます。宛先を確認するための設定については、PC ファクスの準備をするときの手順を参照してください。 **Step 3：安全に送信するための設定をする(P. 295)**

送信後に履歴を確認する（Windows のみ）

送信履歴を保存する設定にしておくと、意図どおりの内容を正しく送信できたかを確認できます。送信後に履歴を確認するための設定については、PC ファクスの準備をするときの手順を参照してください。 **Step 3：安全に送信するための設定をする(P. 295)**

ファクス原稿のスキャン設定

AU03-06A

本機でファクスを送信する場合は、ファクスの画面の［送受信設定］タブで、送信する画質の調整や両面スキャンを設定できます。



送信先で文字を読めないなど、送信されたファクスが期待どおりでない場合は、設定を変更して送信しなおします。

画質の調整(P. 314)
両面スキャンの設定(P. 315)
プレビューの設定(P. 315)

MEMO

よく使う設定を登録する

- ファクス原稿のスキャン設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときに呼び出して送信できます。**よく使用する設定を登録する／呼び出す(P. 197)**
- ファクス原稿のスキャンの初期設定を変更することもできます。**初期設定を変更する(P. 200)**

過去の設定を呼び出す - 送信履歴

- 送信履歴を利用して、過去にファクスを送信したときの設定を呼び出すことができます。**宛先を指定する - 送信履歴(P. 193)**

画質の調整

ファクスの画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。

[解像度]
原稿をスキャンする解像度を選択します。
高い解像度にするほどくっきりとした画像になりますが、その分送信時間が長くなることがあります。

[濃度]
原稿に合わせて濃度を調整します。
濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。

[シャープネス]
シャープネスを調整します。
輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりできます。

調整例：

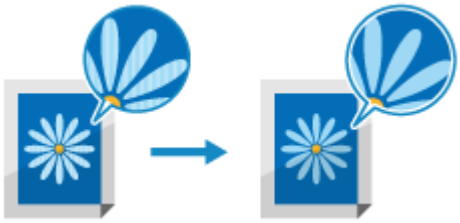
- **ぼやけた文字や図を鮮明にする場合**

  ［+］に設定します。



- **写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合**

  ［-］に設定します。



両面スキャンの設定

原稿の両面をスキャンする場合は、原稿をフィーダーにセットし、［両面原稿］を設定します。
※通話に続けてファクスを送信する場合は、両面をスキャンできません。

［両面原稿］
両面スキャンする場合は、［左右開き］または［上下開き］を選択します。セットした原稿の、オモテ面とウラ面の上下の向きに合わせて選択します。

［左右開き］



上下が同じ向き

［上下開き］



上下が反対向き

両面スキャンを解除する場合は、［OFF］を選択します。

プレビューの設定

スキャンした原稿のプレビュー画像を確認してから送信する場合は、［プレビュー］を設定します。

［プレビュー］
プレビュー画像を確認してから送信する場合は、［ON］を選択します。
プレビュー画像は、原稿のスキャンが完了したあとに、操作パネルの画面で確認できます。プレビュー画像から、送信したくないページを削除することもできます。

ファクスを受信する

AU03-06C

ファクスの受信モードを手動受信に設定している場合は、受信の操作が必要です。
手動受信以外に設定している場合は、受信の操作は不要です。ファクスの着信時は、呼び出し音が鳴らずに自動受信し、受信が完了すると自動的にプリントされます。
画像が欠けたり、分割されたりしないよう、A4 またはレターサイズの用紙を給紙部にセットしておきます。
受信したファクスを両面にプリントしたり、受信日時やページ番号などを付けてプリントしたりするように設定を変更することもできます。 **受信したファクスのプリント設定を変更する(P. 318)**

■呼び出し音が鳴った場合

手動で受信操作を行います。
本機に電話機を接続している場合は、本機まで行かなくても、電話機を操作してファクスを受信することもできます。 **電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信(P. 317)**

1 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取る

電話の場合は、そのまま通話します。

2 「ピー」という音が聞こえたら、操作パネルの［ホーム］画面で［ファクス］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡ ファクスの画面が表示されます。

3 ［受信ｽﾀｰﾄ］を押し、受話器を戻す

➡ ファクスの受信が開始されます。受信が完了すると自動的にプリントされます。



ファクスが届かない／プリントされない

ファクスが届かない(P. 743)

受信したファクスをプリントしないようにする

- 受信したファクスを本機のメモリーに保存するか、特定の宛先に転送します。
  受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)
  受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信

AU03-06E

リモート受信とは、本機に接続した電話機の番号ボタンで、所定の番号（リモート受信 ID）をダイヤルすることでファクスを受信できる機能です。
リモート受信 ID は、初期設定では「25」に設定されています。任意の番号に設定を変更できます。**[リモート受信] (P. 597)**

1 呼び出し音が鳴ったら、電話機の受話器を取る

電話の場合は、そのまま通話します。

2 「ピー」という音が聞こえたら、電話機の番号ボタンでリモート受信 ID をダイヤルする

➡本機でファクスの受信が開始されます。受信が完了すると自動的にプリントされます。

番号ボタンを押したときの音が「ピポパ」ではない場合は、電話機のトーンボタンを押してから番号ボタンを押しなおします。

3 受話器を戻す

受信したファクスのプリント設定を変更する

AU03-06F

受信したファクスは、初期設定では用紙の片面に画像のみがプリントされます。設定を変更して、両面にプリントしたり、受信日時やページ番号などを付けてプリントしたりできます。

両面にプリントする(P. 318)
受信日時やページ番号などを付けてプリントする(P. 318)

両面にプリントする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［両面記録］(P. 596)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［受信/転送設定］▶［ファクス受信設定］▶［基本設定］の［編集］をクリックする

➡［基本設定の編集］画面が表示されます。

4 ［両面記録する］にチェックマークを付ける

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

受信日時やページ番号などを付けてプリントする

受信したファクスの下部に、以下の情報がプリントされるように設定します。

- 受信日時
- 受信受付番号
- ページ番号

※この設定をすると、受信した I ファクスにも上記の情報がプリントされるようになります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［受信情報記録］(P. 594)**

管理者権限が必要です。

1 **リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 **［受信/転送設定］▶［共通設定］▶［共通設定］の［編集］をクリックする**

➠［共通設定の編集］画面が表示されます。

4 **［受信情報記録をつける］にチェックマークを付ける**

5 **［OK］をクリックする**

➠設定が反映されます。

6 **リモート UI からログアウトする**

ファクスの送信を中止する

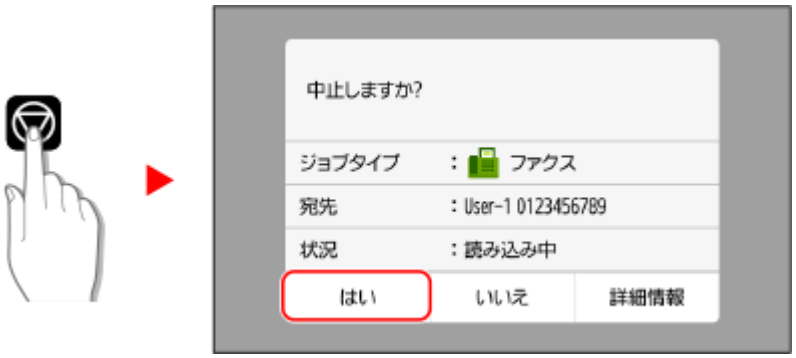
AU03-06H

本機でファクスを送信した場合は、画面の表示に従ってファクスの送信を中止できます。

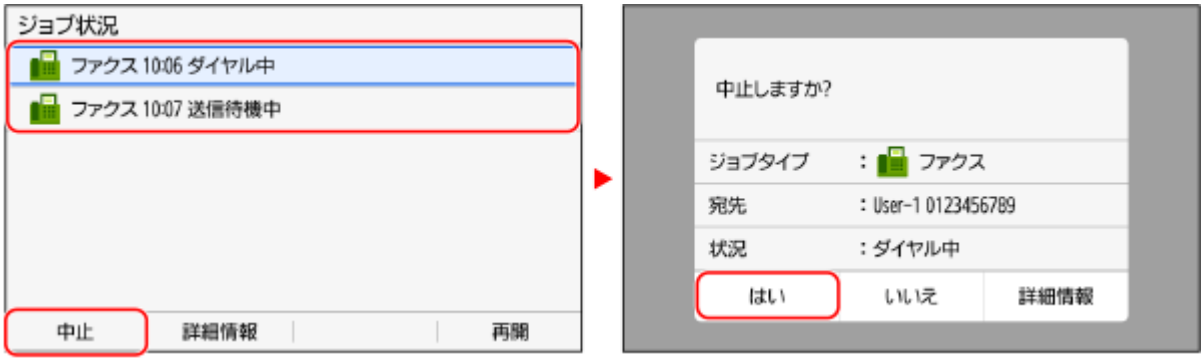
［中止］▶［はい］を押す



上記の画面が表示されていない場合は、操作パネルの を押す▶［はい］を押す



ジョブの一覧画面が表示された場合は、中止するジョブを選択し、［中止］▶［はい］を押します。



ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する

AU03-06J

ファクスの送信／受信をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しく送信／受信できたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。
転送できなかったファクスを本機に保存するように設定している場合は、転送できなかったファクスを本機でプリントしたり、別の宛先へ転送しなおしたりすることもできます。
※履歴を表示しないように設定されている場合は、送信／受信状況のみ確認できます。 **［ジョブ履歴の表示］(P. 615)**

送信／受信したファクスを確認する(P. 321)
転送できなかったファクスを確認する(P. 322)

送信／受信したファクスを確認する

ファクスの送信／受信状況や履歴を確認できます。
ファクスのページ数や宛先、相手先のファクス番号を確認したり、受信待機中やプリント待機中のファクスを転送したりすることもできます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。メモリー受信したファクスをプリントする場合は、リモート UI を使用します。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［送信ジョブ］または［受信ジョブ］を押す

3 各タブで状況や履歴を確認する

■送信／受信状況を確認する場合

1 ［送信状況］／［受信状況］タブで、実行中や待機中のジョブを確認する
メモリー受信したファクスは、［受信状況］タブで［プリント待機中］と表示されます。

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ページ数や宛先、相手先のファクス番号などを確認する

- ファクスの宛先が複数の場合は、［宛先］を押すと一覧が表示されます。
- ［転送］を押すと、受信待機中やプリント待機中のファクスを、アドレス帳に登録されている宛先に転送できます。受信中やプリント中の場合は転送できません。

■送信／受信履歴を確認する場合

1 ［送信履歴］／［受信履歴］タブで、送信／受信が完了したジョブを確認する

2 詳細を確認したいジョブを選択する

➡ジョブの詳細情報が表示されます。

3 ページ数や宛先、相手先のファクス番号を確認する
ファクスの宛先が複数の場合は、［宛先］を押すと一覧が表示されます。

送受信履歴に［NG］が表示されている場合

送信／受信が中止されたか、エラーが発生しました。
「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。 **エラーコードが表示された(P. 776)**



未登録の宛先をアドレス帳に登録する

- ジョブの詳細情報が表示された画面で［アドレス帳登録］を押すと、宛先をアドレス帳に登録できます。
  ※宛先が複数のときは登録できません。

転送できなかったファクスを確認する

転送できなかったファクスがメモリーに保存されている場合は、プリントしたり転送しなおしたりして、内容を確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。ファクスの内容をプレビューで確認する場合は、リモート UI を使用します。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

必要な準備

- 転送できなかったファクスを本機のメモリーに保存するように設定します。 **受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡ ［状況確認］画面が表示されます。

2 ［ファクス転送エラージョブ］を押す

➡ ファクスを転送できなかったジョブの一覧が表示されます。

3 確認したいジョブを選択する

➡ ジョブの詳細情報が表示されます。

4 プリントしたり転送しなおしたりして、ファクスの内容を確認する

- 本機でプリントする場合は、［プリント］▶［はい］を押します。
- 設定された転送先とは別の宛先に送信／保存する場合は、［転送］を押し、アドレス帳に登録されている宛先にチェックマークを付けて［確定］を押します。

インターネットファクスを使う - I ファクス

AU03-06K



インターネットファクス（I ファクス）とは、インターネットを経由してファクスを送受信する機能です。
電話回線を使わないため、通信費を気にせずにファクスを送ることができます。また、I ファクスを受信すると自動的に受信データがプリントされます。
送信先／送信元の機器が I ファクスに対応している必要があります。

I ファクスを送信する(P. 323)
I ファクスを受信する(P. 326)

I ファクスを送信する

原稿をスキャンして、スキャンデータを I ファクスで送信します。
スキャンデータは、TIFF 形式の添付ファイルとしてメールで送信されます。通常のメール送信と同様に、複数の宛先を指定できるほか、件名や本文も設定できます。

必要な準備

- I ファクス送信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**

1 原稿をセットする **原稿のセット方法(P. 142)**

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［スキャン］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➠ スキャンの種類を選択する画面が表示されます。

3 ［I ファクス］を押す

➠ スキャンの画面が表示されます。

4 ［宛先指定］タブで、宛先を指定する **宛先の指定(P. 186)**

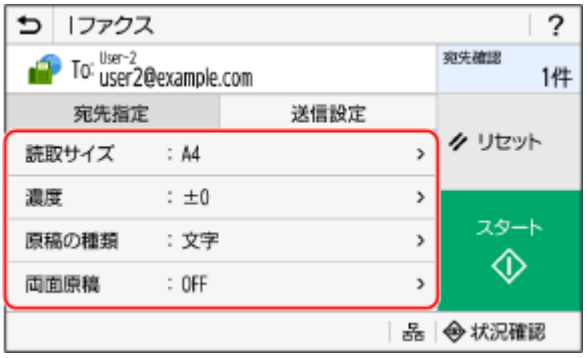


Cc/Bcc の宛先は、［アドレス帳］または［短縮ダイヤル］から指定します。

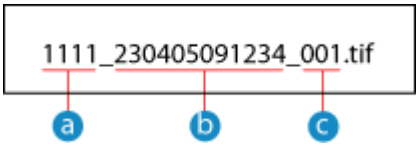
■［自分の宛先］しか指定できない場合

送信機能の認証設定で送信時の宛先が限定されているため、他の宛先は指定できません。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

5 ［送信設定］タブで、スキャンの設定をする ▶スキャンの設定(P. 283)



- メールの件名や本文なども［送信設定］タブで設定します。 **▶メール／I ファクスの設定(P. 286)**
- スキャンデータは以下のファイル名で送信されます。［送信設定］タブで任意の文字列を指定して、先頭に付けることもできます。 **▶ファイル／分割の設定(P. 286)**



ⓐ 通信管理番号

ⓑ 送信日時（上記の場合は「2023/4/5 9:12:34」）

ⓒ ファイルの順序（1 ファイルの場合は「001」）

6 ［スタート］を押す

➠ 原稿のスキャンが開始されます。

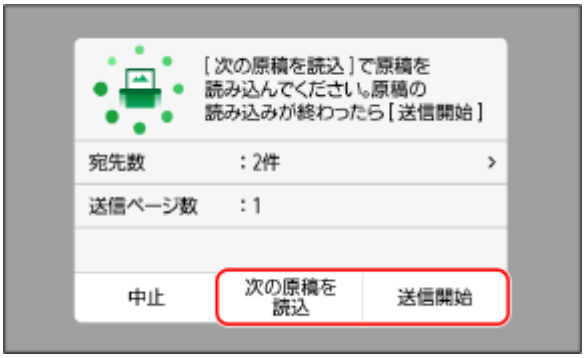
- スキャンを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **▶スキャンを中止する(P. 288)**
- スキャンが完了すると、スキャンデータが送信されます。［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。 **▶スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)**

■［送信宛先の確認］画面が表示された場合

宛先が正しいことを確認してから［スキャン開始］を押します。

■［次の原稿を読込］が表示された場合

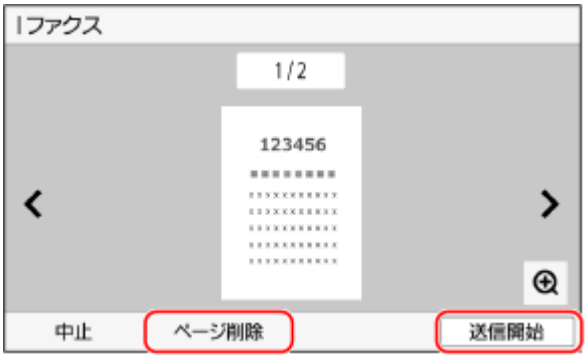
原稿を原稿台ガラスにセットしてスキャンすると、他の原稿を続けてスキャンするための画面が表示されます。
続きの原稿がある場合は、原稿台ガラスにセットし、［次の原稿を読込］を押します。
すべての原稿のスキャンが完了したら、［送信開始］または［ﾌﾟﾚﾋﾞｭｰ開始］を押します。



※原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、画像が小さくスキャンされたりすることがあります。

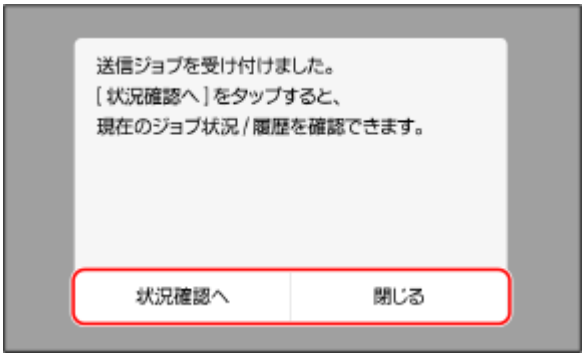
■プレビュー画面が表示された場合

スキャンデータのプレビュー画像を確認してから、［送信開始］を押します。
送信したくないページがある場合は、そのページを表示して［ページ削除］を押します。



■［状況確認へ］が表示された場合

送信状況や履歴を確認する場合は、［状況確認へ］を押します。 **スキャンしたデータの送信／保存状況や履歴を確認する(P. 289)**
［閉じる］を押すと、スキャンの画面に戻ります。



■［SMTP 認証］画面が表示された場合

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードを入力し、［確定］を押します。

MEMO

送信エラーが発生した場合

- メールサーバーの設定によっては、送信エラー発生時に、本機で設定したメールアドレスに通知メールが届くことがあります。通知メールを放置すると、メールボックスの容量が不足するおそれがあるため、定期的にメールボックスをクリアすることをおすすめします。 **メールボックスをクリアする(P. 481)**

I ファクスを受信する

I ファクスは、設定したメールサーバーから自動受信し、受信が完了すると自動的にプリントされます。
プリントする用紙サイズを変更したり、両面にプリントしたりするように設定を変更することもできます。 **受信した I ファクスのプリント設定を変更する(P. 327)**

必要な準備

- I ファクス受信に使用するメールサーバーの情報を本機に設定します。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**

■I ファクスを手動受信する

自動受信する前にサーバーへ接続して受信したい場合や、自動受信を行わないように設定している場合は、手動で受信操作を行います。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［受信ジョブ］▶［I ファクス受信］を押す

➡サーバーへ接続します。I ファクスを受信すると、プリントが開始されます。

MEMO

I ファクスが届かない／プリントされない
ファクスが届かない(P. 743)

受信したIファクスのプリント設定を変更する

AU03-06L

受信したIファクスは、初期設定ではA4サイズの用紙に片面でプリントされます。設定を変更して、両面にプリントしたり、プリントする用紙サイズを変更したりできます。受信日時やページ番号などを付けてプリントもできます。

両面にプリントする／プリントする用紙サイズを変更する(P. 327)
受信日時やページ番号などを付けてプリントする(P. 327)

両面にプリントする／プリントする用紙サイズを変更する

ここでは、パソコンからリモートUIを使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［Iファクス設定］(P. 595)**
管理者権限が必要です。

1 リモートUIに管理者モードでログインする

リモートUIを起動する(P. 465)

2 リモートUIのポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモートUIのポータル画面(P. 468)

3 ［受信/転送設定］▶［Iファクス設定］▶［編集］をクリックする

➡［Iファクス設定の編集］画面が表示されます。

4 プリント設定を変更する

［両面記録する］

両面プリントする場合はチェックマークを付けます。

［受信プリントサイズ］

受信データのプリント用紙サイズを選択します。

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモートUIからログアウトする

受信日時やページ番号などを付けてプリントする

受信したIファクスの下部に、以下の情報がプリントされるように設定します。

- 受信日時
- 受信受付番号
- ページ番号

※この設定をすると、受信したIファクスにも上記の情報がプリントされるようになります。

ここでは、パソコンからリモートUIを使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［受信情報記録］(P. 594)**
管理者権限が必要です。

1 リモートUIに管理者モードでログインするリモートUIを起動する(P. 465)

2 リモートUIのポータル画面で、［設定/登録］をクリックするリモートUIのポータル画面(P. 468)

3 ［受信/転送設定］▶［共通設定］▶［共通設定］の［編集］をクリックする

➠［共通設定の編集］画面が表示されます。

4 ［受信情報記録をつける］にチェックマークを付ける

5 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

6 リモートUIからログアウトする

コピーする

コピーする 330
- **コピーする** 331
- **いろいろなコピー** 334
- **ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする** 341
- **複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーする** 344
- **コピーを中止する** 347
- **コピー状況や履歴を確認する** 348

コピーする

AU03-06R

文書や写真などの印刷物（原稿）を、簡単操作でコピーできます。本機には、基本的なコピー設定のほか、原稿や目的に応じてコピーするための設定が用意されています。コピー時にこれらの設定をすることで、業務の効率化や用紙の節約もできます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。**対応機能／オプション一覧(P. 3)**

コピーの基本操作

倍率（拡大／縮小）や部数など、基本的な設定をしてコピーします。
コピーする(P. 331)

原稿や目的に応じたコピー

両面コピーや画質調整など、原稿や目的に応じた設定をしてコピーします。
いろいろなコピー(P. 334)

特定の業務に特化したコピー

以下のコピー機能は、操作パネルの［ホーム］画面からすばやく実行できます。

ID カードコピー



ID カード（免許証や保険証など）のオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に並べて等倍でコピーします。受付業務で身分証明書をコピーするときなどに便利です。
ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする(P. 341)

パスポートコピー



複数のパスポートを、1 枚の用紙に集約してコピーします。団体旅行で参加者全員分のパスポートをコピーするときなどに便利です。
複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーする(P. 344)

■関連項目

期待どおりの結果にならない場合

色が再現されなかったり、画像の位置がずれたりする場合は、症状に応じて画質やプリント位置を調整します。
画質／プリント位置の調整(P. 663)

コピーする

AU03-06S

ここでは、文書や写真などの印刷物（原稿）をコピーするときの、基本的な操作手順を説明します。

重要

- 余白がなく、用紙いっぱいに文字や画像がある原稿をコピーすると、用紙の周囲が欠けてプリントされることがあります。欠け幅については、本機の基本仕様を参照してください。**基本仕様(P. 30)**

1 原稿をセットする **原稿のセット方法(P. 142)**

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［コピー］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➡ コピーの画面が表示されます。

3 倍率／用紙／部数を設定する



[倍率]

拡大コピー／縮小コピーの設定をします。

用紙サイズに合わせて拡大／縮小する

［自動］を押し、セットした原稿のサイズを選択します。
コピーに使用する用紙のサイズに合わせて倍率が自動設定されます。

倍率を指定して拡大／縮小する

一覧から定形変倍の倍率を選択するか、テンキーで任意の倍率を入力して［閉じる］を押します。
25 %～400 %まで1 %刻みで設定できます。



[用紙]

コピーに使用する用紙を選択します。
使用する用紙がセットされている給紙部を選択し、[閉じる]を押します。

※給紙部にセットされている用紙と、用紙サイズ／用紙種類の設定が異なる場合は、[用紙の設定変更]で用紙設定を変更できます。

[部数]

コピーする部数を指定します。
テンキーで部数を入力し、[閉じる]を押します。

4 必要に応じて、その他のコピー設定をする ▶いろいろなコピー(P. 334)

両面コピーや画質調整など、原稿や目的に応じた設定ができます。

5 [白黒 スタート]または[カラー スタート]を押す

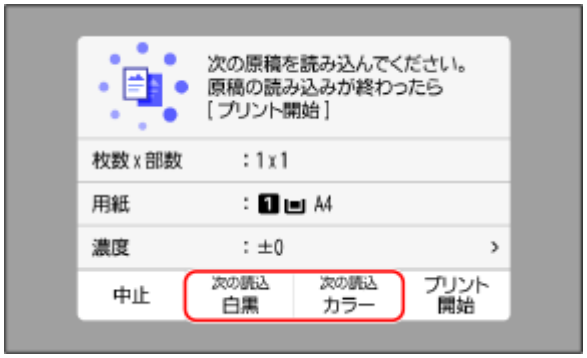
➠ コピーが開始されます。

- 原稿を白黒でコピーする場合は[白黒 スタート]を、カラーでコピーする場合は[カラー スタート]を押します。
- コピーを中止したい場合は、[中止]▶[はい]を押します。 ▶コピーを中止する(P. 347)
- [状況確認]からコピー状況や履歴を確認できます。 ▶コピー状況や履歴を確認する(P. 348)

■ [次の読込]が表示された場合

原稿を原稿台ガラスにセットし、両面またはページ集約コピーをした場合は、次の原稿をスキャンするための画面が表示されます。

1 原稿台ガラスに次の原稿をセットし、[次の読込 白黒]または[次の読込 カラー]を押す



➠ 次の原稿がスキャンされ、同じ画面が表示されます。
すべての原稿のスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

- 原稿ごとにカラーモード（白黒／カラー）を選択できます。次の原稿を白黒でコピーする場合は［次の読込 白黒］を、カラーでコピーする場合は［次の読込 カラー］を押します。
- ［濃度］／［原稿の種類］／［カラー調整］を押して、原稿ごとに設定を変更することもできます。
- 原稿ごとのサイズが異なる場合は、画像が欠けたり、用紙に対して画像が小さくプリントされたりすることがあります。

2 ［プリント開始］を押す

➠ スキャンした原稿がプリントされます。

いろいろなコピー

AU03-06U

本機には、両面コピーや画質調整など、原稿や目的に応じてコピーするための設定が用意されています。これらの設定は、コピーの画面で行います。



※ID カードコピー機能を使用してコピーする場合は、濃度調整と画質調整のみ行うことができます。

両面コピーする(P. 334)
複数ページの原稿を 1 枚の用紙にコピーする - ページ集約(P. 335)
原稿のページ順どおりに仕分けてコピーする - ソート(P. 336)
濃度を調整してコピーする(P. 337)
画質を調整してコピーする(P. 338)

MEMO

よく使う設定を登録する

- コピーの設定を「よく使う設定」として登録すると、必要なときに呼び出してコピーできます。**「よく使う設定」を登録する(P. 197)**
- コピーの初期設定を変更することもできます。**初期設定を変更する(P. 200)**

コピーを予約する

- プリント中でも、原稿のスキャンは実行できます。プリント中／待機中の画面で、［閉じる］または［ ］を押し、コピー設定をしたあと、［白黒 スタート］または［カラー スタート］を押します。コピー中のジョブを含めて 10 件までコピーを予約できます。

コピーの基本操作

- コピーするときの基本的な操作手順は、以下を参照してください。
コピーする(P. 331)

両面コピーする

2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙に両面コピーします。
両面原稿のオモテ面とウラ面を、そのまま 1 枚の用紙に両面コピーしたり、2 枚の用紙に分けて片面コピーしたりすることもできます。
※用紙サイズや用紙種類によっては、両面コピーできない場合があります。**使用可能な用紙(P. 24)**

1 コピーの画面にある［両面］のボタンで、原稿とコピーの片面／両面の組み合わせを選択する

片面原稿を片面コピーします。

2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙に両面コピーします。

両面原稿のオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に両面コピーします。

両面原稿のオモテ面とウラ面を、2 枚の用紙に分けて片面コピーします。

2 必要に応じて、原稿の向きや開きかた、コピーの開きかたを設定する

1 ［その他の設定］▶［両面］を押す

➡［両面］画面が表示されます。

2 ［開き方設定］を押す

3 向きや開きかたを設定し、［確定］を押す



➡［その他の設定］画面に戻ります。

4 ［⮌］を押す

➡コピーの画面に戻ります。

複数ページの原稿を 1 枚の用紙にコピーする - ページ集約

複数ページの原稿を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてコピーします。
ページ集約すると、原稿のページ数よりも少ない用紙枚数でコピーできるので、用紙を節約したいときに便利です。
※枠消しと同時に設定することはできません。

1 コピーの画面にある［ページ集約］のボタンで、集約するページ数を選択する

➡ページ集約を設定すると、ボタンの右側に、現在設定されている原稿サイズが表示されます。
原稿サイズの設定を変更する場合は、［倍率］で［自動］を押します。

ページ集約しません。

用紙の片面に 2 ページ分の原稿を集約します。

用紙の片面に 4 ページ分の原稿を集約します。

2 必要に応じて、原稿を集約するときの配置（ページの並び順）を設定する

1. コピーの画面で、[その他の設定] ▶ [ページ集約] を押す
   ➡ [ページ集約] 画面が表示されます。
2. [レイアウト] を押し、ページの並び順を選択する
   ➡ [読取サイズ] 画面が表示されます。
3. セットした原稿のサイズを選択する
   ➡ [出力サイズ] 画面が表示されます。
4. コピーに使用する用紙がセットされている給紙部を選択する
   ➡ [その他の設定] 画面に戻ります。
5. [ ] を押す
   ➡ コピーの画面に戻ります。

MEMO

- ページ集約する場合は、以下に合わせて倍率が自動設定されます。手動で倍率の設定を変更することもできます。
  - 集約するページ数
  - 原稿サイズの設定
  - コピーに使用する用紙のサイズ
- ページ集約すると、コピーされた画像の周囲に余白ができることがあります。

原稿のページ順どおりに仕分けてコピーする - ソート

複数ページの原稿を複数部コピーするときに、原稿のページ順どおりに仕分けてコピーします。会議の配付資料などをコピーするときに便利です。

ソートせずにコピーした場合

原稿のページごとに指定部数がコピーされ、仕分けはされません。
たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「111」「222」「333」の順でコピーされます。



ソートしてコピーした場合

原稿のページ順どおりに 1 部ずつ仕分けてコピーされます。

たとえば、3 ページの原稿を 3 部コピーすると、「123」「123」「123」の順でコピーされます。



1 コピーの画面で、［その他の設定］▶［ソート］を押す

➠［ソート］画面が表示されます。

2 ［ON］を押す

➠［その他の設定］画面に戻ります。

3 ［⮌］を押す

➠コピーの画面に戻ります。

濃度を調整してコピーする

原稿に合わせて濃度を調整してコピーします。
原稿の文字や画像が薄い／濃い場合は、原稿全体の濃度を調整します。
下地に色の付いた原稿や、新聞のような原稿を、きれいにコピーしたい場合は、背景の濃度を調整します。

1 コピーの画面で、［濃度］を押し、濃度を調整する

■原稿全体の濃度を調整する場合

スライダーを左右に動かして濃度を調整します。
濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。

■背景の濃度を調整する場合

1 ［背景調整］▶［調整］を押す

➠［全体調整］画面が表示されます。

2 スライダーを左右に動かして濃度を調整する

- 濃くする場合は［+］に、薄くする場合は［-］に設定します。
- ［色別調整］を押すと、色別に背景濃度を調整できます。

3 ［確定］を押す

2 ［閉じる］を押す

MEMO

- 背景の濃度を調整した場合、原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受けることがあります。

画質を調整してコピーする

コピーした画像が不鮮明だったり、文字が読みにくかったりした場合は、画質を調整します。原稿の周囲に現れる黒い枠や影を消したり、コピー時の色味を調整したりすることもできます。
※ID カードコピー機能を使用してコピーする場合は、枠消しは設定できません。

■原稿の種類に合った画質でコピーする

1 コピーの画面で、[その他の設定] ▶ [原稿の種類] を押す

➠ [原稿の種類] 画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

➠ [その他の設定] 画面に戻ります。

■文字と写真が混在した原稿や、細かい線が使われている地図などをコピーする場合

[文字/写真/地図] を選択します。

カラーコピー時に、画質よりも速度を優先する場合

フィーダーに原稿をセットし、[文字/写真/地図 (高速コピー)] を選択します。

※白黒コピー時に選択しても速度優先の効果はありません。[文字/写真/地図] と同じ画質および速度でコピーされます。

速度よりも画質を優先する場合

[文字/写真/地図 (高画質)] を選択し、文字と写真のどちらを見やすくするかを調整して、[確定] を押します。

■雑誌などの写真（網点で作られている写真）をコピーする場合

[印刷写真] を選択します。

■論文など文字が多い原稿をコピーする場合

[文字] を選択します。

3 [↩] を押す

➠ コピーの画面に戻ります。

■原稿の周囲にできる黒い枠や影を消してコピーする - 枠消し

用紙よりも小さいサイズの原稿をコピーするときや、厚みのある原稿をコピーするときに、原稿の周囲にできる黒い枠や影を消してコピーします。

※ページ集約と同時に設定することはできません。

1 コピーの画面で、［その他の設定］▶［枠消し］を押す

➡［枠消し］画面が表示されます。

2 ［ON］を押す

➡枠消し幅を指定する画面が表示されます。

3 枠消し幅を入力し、［次へ］を押す

➡［読取サイズ］画面が表示されます。

拡大または縮小コピーする場合は、倍率の設定に合わせて枠消し幅も自動的に増減されます。

4 セットした原稿のサイズを選択する

➡［その他の設定］画面に戻ります。

5 ［⮌］を押す

➡コピーの画面に戻ります。

■シャープネスを調整してコピーする

輪郭や線を強調してくっきりさせたり、反対に弱めて柔らかく表現したりしてコピーします。

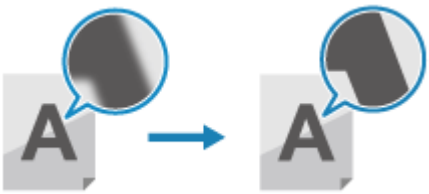
1 コピーの画面で、［その他の設定］▶［シャープネス］を押す

➡［シャープネス］画面が表示されます。

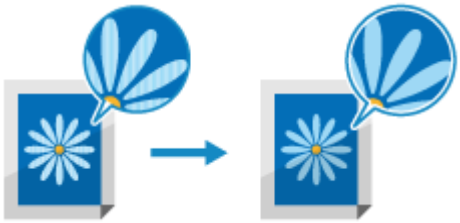
2 スライダーを左右に動かしてシャープネスを調整する

調整例：

- **ぼやけた文字や図を鮮明にする場合**
  ［+］に設定します。



- **写真のモアレ（縦模様のノイズ）を軽減する場合**
  ［-］に設定します。



3 ［確定］を押す

➠［その他の設定］画面に戻ります。

4 ［⮌］を押す

➠コピーの画面に戻ります。

■色味を調整してコピーする

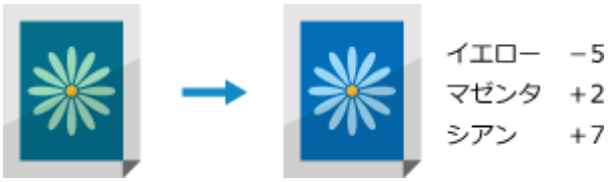
イエロー（黄色）／マゼンタ（明るい赤紫色）／シアン（明るい青色）／ブラック（黒色）の強弱を調整して、原稿により近い色でコピーしたり、原稿よりも鮮やかにコピーしたりします。

1 コピーの画面で、［その他の設定］▶［カラー調整］を押す

➠［カラー調整］画面が表示されます。

2 各色のスライダーを左右に動かして、色の強弱を調整する

調整例：



［微調整］を押すと、各色を 3 段階に分けた濃度域別に色の強弱を調整できます。

3 ［確定］を押す

➠［その他の設定］画面に戻ります。

4 ［⮌］を押す

➠コピーの画面に戻ります。

ID カードの両面を 1 枚の用紙にコピーする

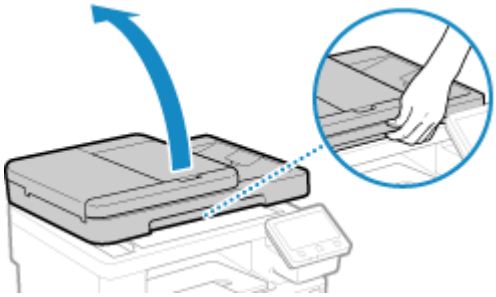
AU03-06W



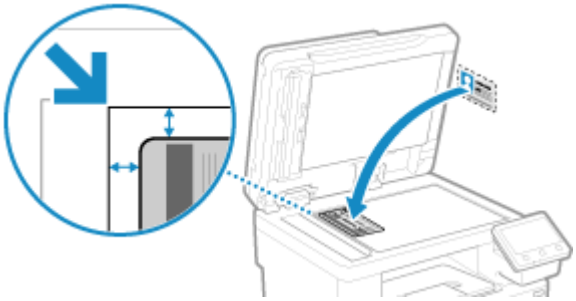
ID カード（免許証や保険証など）のオモテ面とウラ面を、1 枚の用紙に並べて等倍でコピーしたい場合は、ID カードコピー機能を使用してコピーします。操作パネルの［ホーム］画面からすばやく実行でき、受付業務で身分証明書をコピーするときなどに便利です。

1 原稿台ガラスに ID カードをセットする

1 フィーダーを開ける



2 ID カードのオモテ面を下にして、ID カードの角を原稿台ガラスの左上隅に合わせてタテ置きにセットする



原稿台ガラスの端から少し離してセットします。

3 フィーダーをゆっくり閉める

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［ID カードコピー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠ コピーの画面が表示されます。

3 用紙や部数を設定する



[用紙]

コピーに使用する用紙を選択します。
使用する用紙がセットされている給紙部を選択し、[閉じる]を押します。

※給紙部にセットされている用紙と、用紙サイズ／用紙種類の設定が異なる場合は、[用紙の設定変更]で用紙設定を変更できます。

[部数]

コピーする部数を指定します。
テンキーで部数を入力し、[閉じる]を押します。

※ID カードコピー機能を使用してコピーする場合は、倍率は 100 %に固定されます。

4 必要に応じて、濃度や画質を調整する

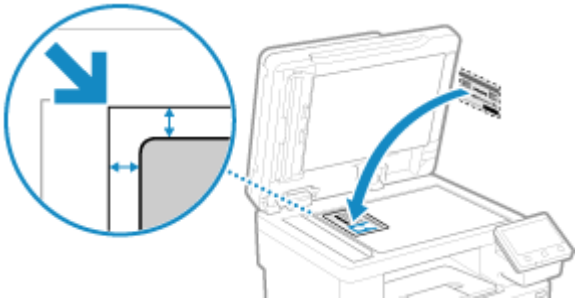
▶濃度を調整してコピーする(P. 337)
▶画質を調整してコピーする(P. 338)

5 [白黒 スタート]または[カラー スタート]を押す

➠ ID カードのオモテ面がスキャンされます。

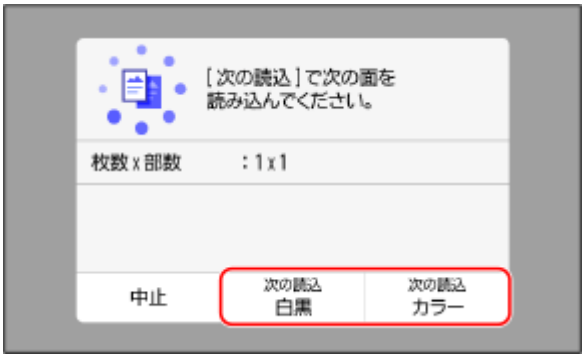
ID カードのオモテ面を白黒でコピーする場合は[白黒 スタート]を、カラーでコピーする場合は[カラー スタート]を押します。

6 [次の読込]が表示されたら、ID カードを裏返して原稿台ガラスにセットする



ID カードのウラ面を下にして、オモテ面と同様にセットします。

7 [次の読込 白黒]または[次の読込 カラー]を押す



➠ ID カードのウラ面がスキャンされ、コピーが開始されます。

- オモテ面と異なるカラーモード（白黒／カラー）でコピーできます。ウラ面を白黒でコピーする場合は［次の読込 白黒］を、カラーでコピーする場合は［次の読込 カラー］を押します。
- コピーを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **コピーを中止する(P. 347)**
- ［状況確認］からコピー状況や履歴を確認できます。 **コピー状況や履歴を確認する(P. 348)**

複数のパスポートを 1 枚の用紙にコピーする

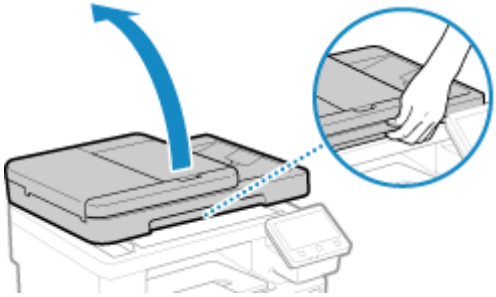
AU03-06X



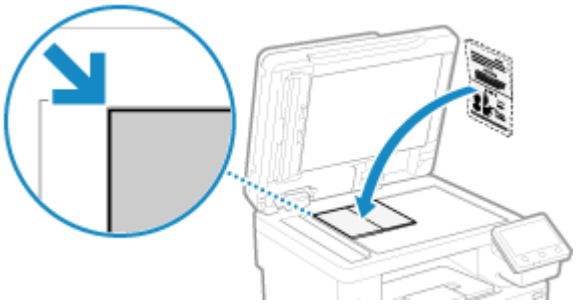
複数のパスポートを、1 枚の用紙に集約してコピーしたい場合は、パスポートコピー機能を使用してコピーします。操作パネルの［ホーム］画面からすばやく実行でき、団体旅行で参加者全員分のパスポートをコピーするときなどに便利です。

1 原稿台ガラスにパスポートをセットする

1 フィーダーを開ける



2 スキャンするページを下にして、パスポートの角を原稿台ガラスの左上隅に合わせて図のようにセットする



3 フィーダーをゆっくり閉める

2 操作パネルの［ホーム］画面で、［パスポートコピー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➠［パスポートコピー］画面が表示されます。

3 集約するパスポートの数と両面コピーの組み合わせを選択する

[2 in 1 (両面)]

用紙の片面に 2 冊分のパスポートを集約して両面コピーします。両面で 4 冊分をコピーします。

[4 in 1 (両面)]

用紙の片面に 4 冊分のパスポートを集約して両面コピーします。両面で 8 冊分をコピーします。

[2 in 1]

用紙の片面に 2 冊分のパスポートを集約してコピーします。

[4 in 1]

用紙の片面に 4 冊分のパスポートを集約してコピーします。

4 コピーに使用する用紙がセットされている給紙部を選択する

➠ コピーの画面が表示されます。

5 部数を設定する



［部数］を押し、テンキーで部数を入力して、［閉じる］を押します。

※パスポートコピー機能を使用してコピーする場合は、コピーに使用する用紙のサイズと、集約するパスポートの数に合わせて倍率が自動設定されます。［倍率］を押して、手動で倍率の設定を変更することもできます。

※［用紙］を押すと、手順 4 で選択した給紙部（コピーに使用する用紙）を変更できます。

6 必要に応じて、その他のコピー設定をする いろいろなコピー(P. 334)

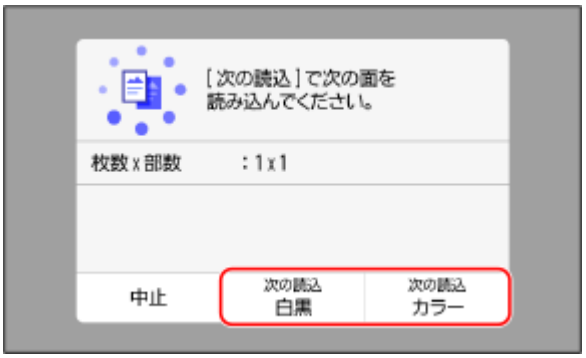
- 濃度調整や画質調整などを行うことができます。
- 手順 3 で選択した、集約するパスポートの数（ページ集約）や、両面コピーの設定を変更することもできます。

7 ［白黒 スタート］または［カラー スタート］を押す

➠ 最初のパスポートがスキャンされます。

最初のパスポートを白黒でコピーする場合は［白黒 スタート］を、カラーでコピーする場合は［カラー スタート］を押します。

8 ［次の読込］が表示されたら、原稿台ガラスに次のパスポートをセットし、［次の読込 白黒］または［次の読込 カラー］を押す



➠ 次のパスポートがスキャンされ、同じ画面が表示されます。
すべてのパスポートのスキャンが完了するまで、この操作を繰り返します。

- パスポートごとにカラーモード（白黒／カラー）を選択できます。次のパスポートを白黒でコピーする場合は［次の読込 白黒］を、カラーでコピーする場合は［次の読込 カラー］を押します。
- ［濃度］や［カラー調整］を押して、パスポートごとに設定を変更することもできます。

9 ［プリント開始］を押す

➡スキャンしたパスポートがプリントされます。

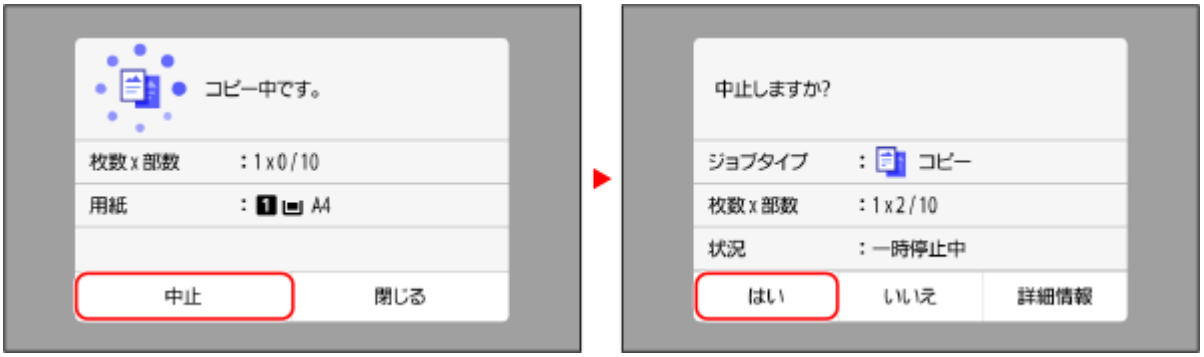
- コピーを中止したい場合は、［中止］▶［はい］を押します。 **コピーを中止する(P. 347)**
- ［状況確認］からコピー状況や履歴を確認できます。 **コピー状況や履歴を確認する(P. 348)**

コピーを中止する

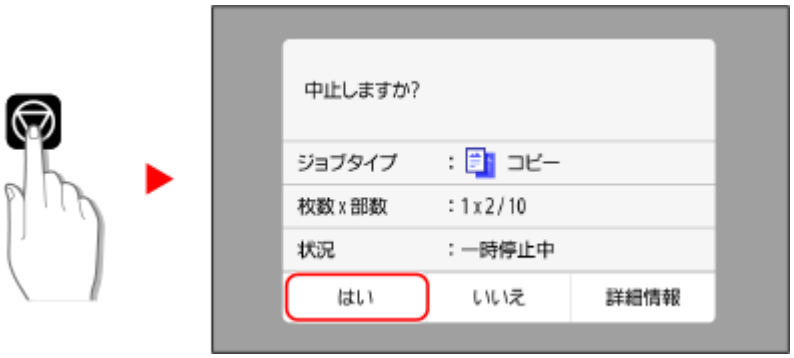
AU03-06Y

画面の表示に従ってコピーを中止できます。

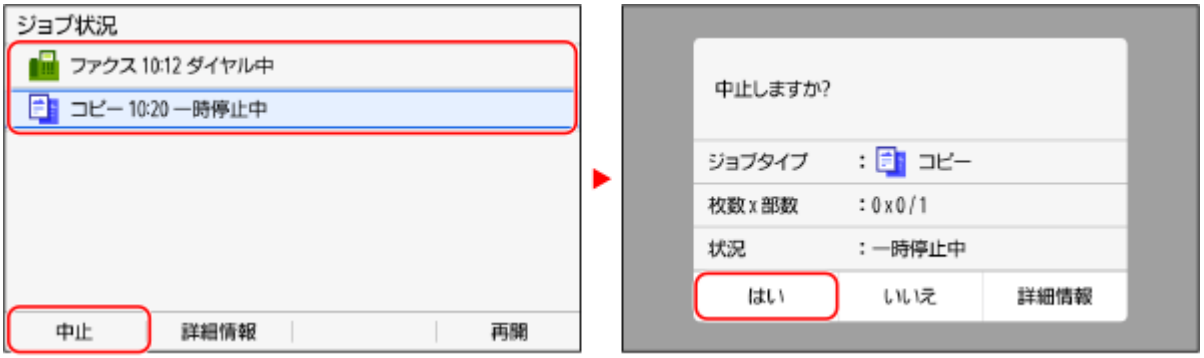
［中止］▶［はい］を押す



上記の画面が表示されていない場合は、操作パネルの を押す▶［はい］を押す



ジョブの一覧画面が表示された場合は、中止するジョブを選択し、［中止］▶［はい］を押します。



コピー状況や履歴を確認する

AU03-070

コピーをはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。ジョブの状況／履歴を確認することで、正しくコピーできたかどうかや、エラーが発生している場合の原因がわかります。
※履歴を表示しないように設定されている場合は、コピー状況のみ確認できます。 **［ジョブ履歴の表示］(P. 615)**

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［コピー/プリントジョブ］を押す

3 ［コピー/プリント状況］または［コピー履歴］タブで、状況や履歴を確認する

■コピー状況を確認する場合

1. ［コピー/プリント状況］タブで、実行中や待機中のジョブを確認する
2. 詳細を確認したいジョブを選択する
   ➡ジョブの詳細情報が表示されます。
3. 原稿枚数や部数などを確認する

■コピー履歴を確認する場合

1. ［コピー履歴］タブで、コピーが完了したジョブを確認する
2. 詳細を確認したいジョブを選択する
   ➡ジョブの詳細情報が表示されます。
3. プリントページ数や部数などを確認する

コピー履歴に［NG］が表示されている場合

コピーが中止されたか、エラーが発生しました。
「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードから、原因や対処方法を確認できます。 **エラーコードが表示された(P. 776)**

モバイル／クラウド連携

モバイル／クラウド連携 350
モバイル／クラウド連携の準備 352
ダイレクト接続するための準備 353
Universal Print を使用するための準備 355
Microsoft Entra ID に本機を登録する 356
パソコンに本機を登録する 359
AirPrint を使用するための準備 360
モバイル機器を本機に接続する 363
モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続 364
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続 365
専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT 368
クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする 369
Universal Print を使用してプリントする 370
AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する 371
Android からプリントする 375
Chrome OS からプリントする 377

モバイル／クラウド連携

AU03-071

本機は、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器やクラウドサービスからも利用できます。
本機が対応しているアプリやサービスを介して、写真や文書を手軽にプリント／スキャンできます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

Canon PRINT

キヤノンの専用アプリです。プリントとスキャンができます。部門別 ID 管理にも対応しています。
専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT(P. 368)

クラウド連携サービス

キヤノンのクラウド連携サービスを使用して、モバイル機器からもプリントとスキャンができます。
クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする(P. 369)

Universal Print

Windows 搭載機器から Microsoft のクラウド経由で文書をプリントできます。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。
Universal Print を使用するための準備(P. 355)
Universal Print を使用してプリントする(P. 370)

AirPrint

iPhone/iPad/iPod touch/Mac に標準搭載されている機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。Mac の場合は、スキャンもできます。
AirPrint を使用するための準備(P. 360)
AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する(P. 371)

Canon Print Service

キヤノンが提供する、Android 搭載機器専用のプラグインです。任意のアプリからプリントできます。部門別 ID 管理にも対応しています。
専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service(P. 375)

Mopria® Print Service

Mopria®認証プリンター／複合機の共通プラグインです。メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなく、Android 搭載機器の任意のアプリからプリントできます。
メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service(P. 375)

Chrome OS

専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、Chrome OS に標準搭載されている機能でプリントします。
Chrome OS からプリントする(P. 377)

IPP Everywhere

Chromebook が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接プリントできます。
IPP Everywhere で印刷する(P. 377)

重要

セキュリティーポリシーを適用している場合

- ［IPP ポートを制限する(ポート番号 : 631)］または［mDNS ポートを制限する(ポート番号 : 5353)］が有効な場合は、AirPrint と Mopria® Print Service は使用できません。 **セキュリティーポリシーの項目(P. 456)**



モバイル機器のアドレス帳を利用する

- 本機でスキャンデータをメール送信する場合に、Canon PRINT を使用して、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を指定できます。 **宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳(P. 192)**

■関連項目

モバイル機器から本機を管理する - リモート UI

モバイル機器の Web ブラウザーからリモート UI を使用できます。リモート UI を使用すると、本機の稼働状況／状態を確認したり、設定の変更を行ったりできます。リモート UI の起動や操作方法については、パソコン版のリモート UI の説明を参照してください。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)

※モバイル版のリモート UI では、表示項目の一部が省略されています。すべての項目を確認したい場合は、画面の一番下にある［PC 版はこちら］をタップすると、パソコン版のリモート UI に切り替えることができます。

モバイル／クラウド連携の準備

AU03-072

モバイル機器と本機をダイレクト接続する場合や、Universal Print および AirPrint を使用する場合は、あらかじめ本機側の設定が必要です。

ダイレクト接続するための準備(P. 353)
Universal Print を使用するための準備(P. 355)
AirPrint を使用するための準備(P. 360)

ダイレクト接続するための準備

AU03-073

本機のダイレクト接続機能を有効にします。本機をネットワークに接続していない場合は、ネットワーク接続方式の設定を確認しておく必要もあります。

ダイレクト接続機能を有効にする(P. 353)
本機のネットワーク接続方式を確認する(P. 354)

ダイレクト接続機能を有効にする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［ダイレクト接続設定］(P. 508)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［ダイレクト接続設定］▶［編集］をクリックする

➡［ダイレクト接続設定の編集］画面が表示されます。

4 ［ダイレクト接続を使用する］にチェックマークを付ける

5 必要に応じて、ダイレクト接続機能の設定をする

同時に複数のモバイル機器を接続する場合は、固定の SSID とネットワークキーを設定しておく必要があります。

■接続を自動的に切断する場合

［ダイレクト接続を自動切断する］にチェックマークを付け、ダイレクト接続を開始してから切断するまでの時間を入力します。複数のモバイル機器を接続した場合は、最後に接続を開始したときからこの時間が経過すると、切断されます。

■接続用の IP アドレスを変更する場合

［ダイレクト接続時の IP アドレス］に任意の IP アドレスを入力します。

■固定の SSID／ネットワークキーを設定する場合（同時に複数のモバイル機器を接続する場合）

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、本機の SSID とネットワークキーがランダムな文字列で自動生成されます。
固定の SSID／ネットワークキーを手動設定する場合は、［アクセスポイントモード設定］で、［任意の SSID を使用する］／［任意のネットワークキーを使用する］にチェックマークを付け、任意の SSID／ネットワークキーを半角英数字で入力します。

■モバイル機器が常に接続できるようにする場合

初期設定では、ダイレクト接続するたびに、操作パネルを使用して本機を待機状態にする必要があります。

モバイル機器が常に接続できるようにする場合は、［アクセスポイントモード設定］で固定の SSID とネットワークキーを設定し、［常時接続］の［SSID/ネットワークキー固定時に常時接続する］にチェックマークを付けます。

- この機能を有効にすると、［ダイレクト接続を自動切断する］の設定は無効になります。
- この機能を有効にしている場合、本機は完全なスリープ状態には移行しません。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡ 設定が反映されます。

本機のネットワーク接続方式を確認する

本機をネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）に接続していない場合は、ネットワーク接続方式が有線 LAN に設定されていることを確認します。
本機をネットワークに接続している場合は、確認不要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡ ［状況確認］画面が表示されます。

2 ［ネットワーク情報］ ［ネットワーク接続方式］を押す

➡ ［ネットワーク接続方式］画面が表示されます。

3 ［有線 LAN］と表示されていることを確認する

接続方式が有線 LAN に設定されている場合は、本機がネットワークに接続されていなくても、ダイレクト接続できます。

■ ［接続方式］が［Wi-Fi］と表示されている場合

本機が無線 LAN に接続されていないと、ダイレクト接続できません。本機を無線 LAN に接続するか、接続方式を有線 LAN に切り替えます。

無線 LAN に接続する(P. 68)
有線 LAN／無線 LAN を選択する(P. 66)

Universal Print を使用するための準備

AU03-074

Microsoft のクラウドサービスである「Universal Print」を使用できるように本機を設定し、プリントするパソコンごとに本機を登録します。
Microsoft 365 サービスのユーザー登録と Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 356)
パソコンに本機を登録する(P. 359)

Microsoft Entra ID に本機を登録する

AU03-075

クラウドベースの認証／管理サービス「Microsoft Entra ID」に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。

Step 1：Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 356)
Step 2：本機を使用するメンバーやグループを設定する(P. 358)

Step 1：Microsoft Entra ID に本機を登録する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［Universal Print 設定］をクリックする

➡［Universal Print 設定］画面が表示されます。

4 ［基本設定］の［編集］をクリックする

5 ［Universal Print を使用する］にチェックマークを付け、プリンター名を入力する

- プリンター名には、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
- サーバーから送られてきた証明書を検証する場合は、［サーバー証明書を検証する］にチェックマークを付けます。検証項目に CN（Common Name）を追加する場合は、［CN を検証項目に追加する］にもチェックマークを付けます。
- ［アプリケーション ID］／［Microsoft Entra ID 認証 URL］／［Microsoft Entra ID 登録 URL］の変更が必要かどうかは、ご使用のクラウド環境によりますのでご注意ください。
- ［アプリケーション ID］／［Microsoft Entra ID 認証 URL］／［Microsoft Entra ID 登録 URL］を誤って変更した場合は、［初期値に戻す］をクリックしてください。

6 ［OK］をクリックする

➡［Universal Print 設定］画面に戻ります。

7 ［登録状況］の［登録］をクリックする

➡［登録用情報］画面が表示されます。

8 数秒待ってから、[ ]をクリックする



9 [登録用 URL]に表示されているリンクをクリックする

10 画面の指示に従って本機を登録する

11 リモート UI の画面上部の[Universal Print 設定]をクリックする



➠ [Universal Print 設定]画面が表示されます。

12 数分待ってから、[ ]をクリックする

➠ 登録が完了すると、[登録状況]に[登録済み]と表示されます。

13 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録を解除する

- [Universal Print 設定]画面の[登録解除]▶[OK]をクリックします。表示された Microsoft Entra ID のデバイス管理画面で、本機を選択し、[削除]をクリックします。

Step 2：本機を使用するメンバーやグループを設定する

1 **パソコンの Web ブラウザーで、Microsoft Entra ID の Universal Print 管理画面を表示する**

2 **本機を選択し、［プリンターの共有］をクリックする**

パソコンに表示する本機の名前を変更したい場合は、［プリンター共有名］を変更します。

3 **［メンバー］▶［追加］をクリックする**

4 **本機を使用するメンバーやグループをリストから選択する**

パソコンに本機を登録する

AU03-076

Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録します。 **Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 356)**

1 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [アカウント] をクリックする

➠ [アカウント] 画面が表示されます。

2 [職場または学校にアクセスする] ▶ [接続] をクリックする

3 画面の指示に従って、Microsoft365 アカウントでサインインする

4 [ホーム] ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

5 [デバイスの追加] をクリックする

➠ プリンターの一覧が表示されます。

6 本機を選択し、[デバイスの追加] をクリックする

➠ パソコンに本機が登録されます。

MEMO

プロキシーサーバーを使用している場合

- プロキシーサーバーを経由して Universal Print を使用する場合は、各パソコンでプロキシーの設定を行う必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

AirPrint を使用するための準備

AU03-077

AirPrint を使用するために必要な基本情報を設定します。利用状況／使用環境に応じて、使用する機能やセキュリティーに関する設定も行います。

AirPrint の基本情報を設定する(P. 360)
AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 361)

MEMO

部門別 ID 管理中の場合

- AirPrint では部門 ID を設定できません。部門別 ID 管理中に AirPrint を使用するためには、以下の操作を制限しないように設定する必要があります。 **部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)**
  - 部門 ID が不明なパソコンからのプリント／ファクス送信
  - パソコンに保存するスキャン

AirPrint の基本情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［AirPrint 設定］▶［編集］をクリックする

➠［AirPrint 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［AirPrint を使用する］にチェックマークを付け、プリンター名を入力する

- プリンター名には、本機を識別するための名前を半角英数字で入力します。
- IPv4 の mDNS が設定されている場合は、mDNS 名と同じ名前がプリンター名に入力されています。プリンター名を変更すると、mDNS 名も連動して変更されます。

※一度設定したプリンター名や mDNS 名を変更すると、それまで本機に接続できていた Mac が、本機に接続できなくなることがあります。その場合は、Mac で本機を登録しなおす必要があります。

5 必要に応じて、本機の設置場所や緯度／経度を入力する

［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］で設置場所が設定されている場合は、同じ文字列が設置場所に入力されています。AirPrint 設定の設置場所を変更すると、デバイス情報設定の設置場所も連動して変更されます。

6 [OK] をクリックする

➡ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

MEMO

- AirPrint 機能を有効にすると、以下のネットワーク設定も連動して有効になります。
  - HTTP ▶ **[HTTP を使用] (P. 522)**
  - IPP 印刷 ▶ **[IPP 印刷の設定] (P. 521)**
  - mDNS（IPv4/IPv6） ▶ **[mDNS 設定] (P. 519)**
  - Network Link Scan ▶ **[Network Link Scan 設定] (P. 522)**

AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する

AirPrint では以下のプロトコルを使用します。

- IPP（プリント／ファクス送信）
- Network Link Scan（スキャン）

使用するプロトコルが機能によって異なるため、プロトコルを無効にすることで使用できる機能を制限できます。また、各プロトコル使用時の通信を TLS で暗号化するように設定したり、IPP 認証を設定したりすることもできます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- 通信を TLS で暗号化する場合は、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定します。 ▶**TLS を使用する(P. 403)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] ▶ [IPP 印刷設定] または [Network Link Scan 設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [IPP 印刷設定の編集] 画面または [Network Link Scan 設定の編集] 画面が表示されます。

4 IPP/Network Link Scan の設定をする

■使用する機能を制限する場合

［IPP 印刷を使用する］／［Network Link Scan を使用する］のチェックマークを外します。

- ［IPP 印刷を使用する］のチェックマークを外すと、AirPrint でプリント／ファクス送信ができなくなります。
- ［Network Link Scan を使用する］のチェックマークを外すと、AirPrint でスキャンができなくなります。

■通信を TLS で暗号化する場合

［TLS 使用時のみ許可する］／［TLS を使用する］にチェックマークを付けます。

■IPP 認証を設定する場合

［認証を使用する］にチェックマークを付け、IPP 認証のユーザー名を半角英数字で設定します。
パスワードを設定する場合は、［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、［パスワード］と［確認入力］の両方に同じ半角英数字を入力します。
AirPrint でプリント／ファクス送信するときに認証が必要となり、IPP 認証のユーザー名とパスワードを知っているユーザーだけがこれらの機能を使用できるようになります。

5 ［OK］をクリックする

➠ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

モバイル機器を本機に接続する

AU03-078

モバイル機器から本機を利用するには、以下のどちらかの方法で本機に接続する必要があります。

無線 LAN ルーターを介して本機に接続する - LAN 接続

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介して本機に接続します。モバイル機器を無線 LAN ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。

モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続(P. 364)



本機に直接接続する - ダイレクト接続

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。

ダイレクト接続するための準備(P. 353)
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続(P. 365)



モバイル機器から無線 LAN ルーターを介して接続する - LAN 接続

AU03-079

パソコンと本機を接続するのと同じように、無線 LAN ルーターを介してモバイル機器を本機に接続します。モバイル機器を無線 LAN ルーターに自動接続するように設定しておけば、次からは接続操作は不要です。



必要な準備

- 本機を無線 LAN または有線 LAN でネットワークに接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
  ※有線 LAN 接続の場合は、同じネットワーク上に無線 LAN ルーターがつながっていることを確認します。
- IPv4 アドレスを本機に設定します。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 77)**

以下のいずれかの無線 LAN ルーターに、モバイル機器を接続します。

- 本機を接続している無線 LAN ルーター
- 本機を有線 LAN に接続している場合は、本機を接続しているネットワーク上の無線 LAN ルーター

無線 LAN ルーターにモバイル機器を接続する方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続

AU03-07A

モバイル機器と本機を Wi-Fi で直接接続します。無線 LAN 環境がなくても、本機に接続することができます。本機を利用するたびに接続操作が必要です。
同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。固定の SSID とネットワークキーが設定されていると、最大で 5 台まで同時に接続できます。



ダイレクト接続するには、操作パネルを使用して本機を待機状態にしてから、以下のどちらかの方法で接続操作をします。

手動で Wi-Fi 設定をする



本機をモバイル機器から探索し、ネットワークキーを手動で入力して接続します。

Canon PRINT で QR コードを読み取る



Canon PRINT を使用して、本機の画面に表示された QR コードをモバイル機器で読み取るだけで簡単に接続できます。

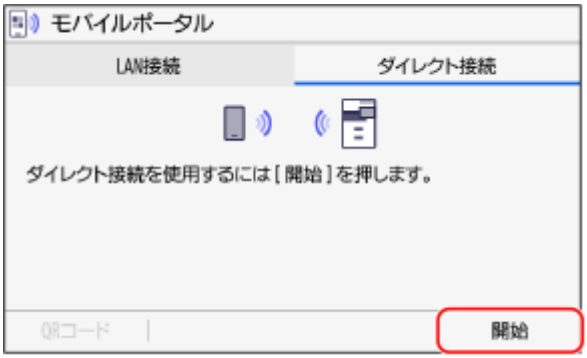
必要な準備

- 本機のダイレクト接続機能を有効にするなどの準備をします。 **ダイレクト接続するための準備(P. 353)**
- QR コードを読み取って接続する場合は、モバイル機器に Canon PRINT をインストールします。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［モバイルポータル］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➠［モバイルポータル］画面が表示されます。

2 ［ダイレクト接続］タブで、［開始］を押す



➠ダイレクト接続の待機状態になります。

［開始］を押してから 5 分以内に、モバイル機器をダイレクト接続する必要があります。

■［停止］が表示されている場合

- 画面に［対応デバイスから接続操作を行ってください。］と表示されている場合は、この手順は不要です。手順 3 に進みます。
- 画面に［ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。］と表示されている場合は、現在接続中のモバイル機器が切断されるまで接続できません。接続中のモバイル機器を切断する場合は、［停止］▶［はい］を押します。
※同時にダイレクト接続できるモバイル機器は、初期設定では 1 台のみです。

3 モバイル機器をダイレクト接続する

■手動で Wi-Fi 設定をして接続する場合

1 ［ダイレクト接続］タブに表示されている、本機の SSID とネットワークキーを確認する

2 モバイル機器の Wi-Fi 設定で、本機の SSID を選択し、ネットワークキーを入力する
Wi-Fi の設定方法については、モバイル機器のマニュアルを参照してください。

■Canon PRINT で QR コードを読み取って接続する場合

1 ［ダイレクト接続］タブで、［QR コード］を押す

➠QR コードが表示されます。

2 モバイル機器で Canon PRINT を起動し、QR コードを読み取る
QR コードの読み取り方法については、Canon PRINT のヘルプを参照してください。

4 操作パネルの画面に［接続しました。］と表示されたら、［閉じる］を押す

➠［モバイルポータル］画面に戻ります。
初期設定では、同時にダイレクト接続できるモバイル機器は 1 台のみのため、画面に［ダイレクト接続中の無線機器の数が最大に達しています。］と表示されます。

5 モバイル機器で目的の操作が終わったら、［ダイレクト接続］タブの［停止］を押す

➠ダイレクト接続が切断されます。
複数のモバイル機器を接続している場合は、すべての機器の接続が切断されます。

重要

- モバイル機器によっては、ダイレクト接続中はインターネットに接続できません。
- ダイレクト接続中は本機のスリープモードの節電効果が下がります。
- モバイル機器の IP アドレスは自動的に設定されます。IP アドレスを手動で設定すると、ダイレクト接続の通信が正しく行えなくなることがあります。

MEMO

本機に接続中のモバイル機器を確認する

- ［ダイレクト接続］タブの［接続情報］を押すと、ダイレクト接続で本機に接続中のモバイル機器の情報を確認できます。

ダイレクト接続が自動的に切断される場合

- 以下の場合は、ダイレクト接続が自動的に切断されます。
  - ダイレクト接続の自動切断が設定されている場合
  - 本機とモバイル機器とでデータの送受信がない状態が続いた場合
  - 本機の無線 LAN 接続が切断された場合

専用アプリを使用してプリント／スキャンする - Canon PRINT

AU03-07C

キヤノンの専用アプリである「Canon PRINT」を使用して、プリントとスキャンができます。
部門別 ID 管理にも対応しています。部門 ID が不明なプリントが制限されている場合も、部門 ID を設定することでプリントが可能です。

パソコン（Windows）をご使用の場合(P. 368)
モバイル端末をご使用の場合(P. 368)

パソコン（Windows）をご使用の場合

Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
画面の指示に従ってインストールしてください。

Microsoft Store からダウンロード

モバイル端末をご使用の場合

対応 OS/ダウンロード

- iOS/iPadOS をご使用の場合
  Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
  画面の指示に従ってインストールしてください。

  App Store からダウンロード

- Android をご使用の場合
  Canon PRINT は、以下からダウンロードできます。
  画面の指示に従ってインストールしてください。

  Google Play で手に入れよう

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**
- Canon PRINT に本機を登録します。
  モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報や、QR コードの表示が必要です。IP アドレスや、QR コードの表示は、操作パネルの［ホーム］画面 ▶［モバイルポータル］▶［LAN 接続］タブで確認／表示できます。
- スキャンをする場合は［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］▶［デバイス管理］▶［Canon PRINT でスキャンを使用］を［ON］にしてください。
- 本機の登録方法やプリント／スキャンの方法については、アプリのメニューからヘルプを参照してください。

クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする

AU03-07E

キヤノンのクラウド連携サービスを使用して、各種クラウドサービスに保存されている文書や写真をプリントできます。
また、データをスキャンして各種クラウドサービスに保存できます。

使用方法

- 利用には本機の登録が必要です。
- 本機の登録に使用する登録コードは、以下の手順で発行します。
  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［Web サービス設定］ ▶ ［登録コードの発行］ **［Web サービス設定］(P. 512)**
- 本機の登録方法やプリント／スキャンの方法については、**こちら** を参照してください。
  ※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

Universal Print を使用してプリントする

AU03-07F

Universal Print とは、Microsoft のクラウド経由で文書をプリントできるサービスです。プリンタードライバーをインストールすることなくプリントが可能です。インターネットに接続されていれば、離れた場所からでもプリントできます。

Universal Print を使用するには、Microsoft365 サービスのユーザー登録と Microsoft Entra ID サービスの利用が必要です。

必要な準備

- Microsoft Entra ID に本機を登録し、本機を使用するメンバーやグループを設定します。 **Microsoft Entra ID に本機を登録する(P. 356)**
- Universal Print を使用するパソコンごとに、Microsoft Entra ID に登録した本機を登録します。 **パソコンに本機を登録する(P. 359)**

Universal Print を使用したプリント方法や対応 OS については、Microsoft のホームページを参照してください。
https://docs.microsoft.com/ja-jp/universal-print/

AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信する

AU03-07H

AirPrint とは、Apple 製機器の OS に標準搭載されているプリント機能です。専用アプリやドライバーをインストールすることなく、AirPrint 対応アプリからプリントできます。
また、Mac からも AirPrint を使用してプリントできます。Mac の場合は、スキャンとファクス送信もできます。

iPhone/iPad/iPod touch の場合(P. 371)
Mac の場合(P. 372)

重要

本機が部門別 ID 管理中の場合

- 以下の操作が制限されている場合は、AirPrint は使用できません。 **部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)**
  - 部門 ID が不明なパソコンからのプリント／ファクス送信
  - パソコンに保存するスキャン

iPhone/iPad/iPod touch の場合

本機と LAN 接続またはダイレクト接続されている iPhone/iPad/iPod touch から、AirPrint を使用してプリントします。

動作環境

AirPrint は、以下の iPhone/iPad/iPod touch で使用できます。

- iPhone：3GS 以降
- iPad：すべてのモデル
- iPod touch：第 3 世代以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。 **AirPrint を使用するための準備(P. 360)**
- iPhone/iPad/iPod touch と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**

1 iPhone/iPad/iPod touch で、プリントするデータを開く

2 プリントするデータを開いたアプリの［ ］をタップする

➡ メニューオプションが表示されます。

3 ［プリント］をタップする

➡ プリントオプションが表示されます。
プリントオプションが表示されない場合は、アプリが AirPrint に対応していません。その場合は、AirPrint を使用してプリントできません。

4 ［プリンタ］をタップし、本機を選択する

5 プリントの設定をする

設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリによって異なります。

6 ［プリント］をタップする

➡ プリントが開始されます。

操作パネルの［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

Mac の場合

本機と同一の LAN にネットワーク接続されている Mac や、本機と USB 接続されている Mac から、AirPrint を使用してプリント／スキャン／ファクス送信します。

動作環境

AirPrint は、以下の OS がインストールされている Mac で使用できます。

- プリント：OS X 10.7 以降*1
- スキャン：OS X 10.9 以降*2
- ファクス送信：OS X 10.9 以降

*1 本機と USB 接続してプリントする場合は、OS X 10.9 以降

*2 TLS 暗号化通信でスキャンする場合は、OS X 10.11 以降

必要な準備

- AirPrint を使用できるように本機を設定します。 **AirPrint を使用するための準備(P. 360)**
- Mac と本機を接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 16)**
- Mac の［システム環境設定］▶［プリンタとスキャナ］で、［+］をクリックして本機を登録します。

AirPrint を使用してプリントする(P. 373)
AirPrint を使用してスキャンする(P. 373)
AirPrint を使用してファクス送信する(P. 374)

■AirPrint を使用してプリントする

1 Mac で、プリントする文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➡ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で本機を選択する

4 プリントの設定をする

設定できる項目や使用できる用紙サイズは、使用するアプリケーションによって異なります。

5 ［プリント］をクリックする

➡ プリントが開始されます。

操作パネルの［状況確認］からプリント状況や履歴を確認できます。 **プリント状況や履歴を確認する(P. 246)**

■AirPrint を使用してスキャンする

1 本機に原稿をセットする **原稿のセット方法(P. 142)**

2 Mac で、［システム環境設定］▶［プリンタとスキャナ］をクリックする

➡ ［プリンタとスキャナ］画面が表示されます。

3 本機を選択する

4 ［スキャン］タブで、［スキャナを開く］をクリックする

➡ ［スキャナ］画面が表示されます。

5 スキャンの設定をする

6 ［スキャン］をクリックする

➡ スキャンが開始されます。

MEMO

スキャンできない場合

- 本機がオンライン（スキャン待機状態）でない可能性があります。操作パネルの［ホーム］画面から［スキャン］
  ▶［リモートスキャナー］を押して、オンラインにしてから操作しなおします。

■AirPrint を使用してファクス送信する

1 Mac で、送信する文書を開く

2 文書を開いたアプリケーションのメニューから、［プリント］をクリックする

➠ プリントダイアログが表示されます。

3 ［プリンタ］で本機を選択する

プリンター名の末尾に「Fax」が付いている方を選択します。

4 ［宛先］にファクス番号を入力する

5 ［ファクス］をクリックする

➠ ファクスが本機を経由して送信されます。

操作パネルの［状況確認］から送信状況や履歴を確認できます。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する (P. 321)**

Android からプリントする

AU03-07J

モバイル機器にプラグインをインストールすることで、プリント機能がある任意のアプリからプリントできます。
本機は、キヤノンの専用プラグインのほか、メーカー共通で使用できる Mopria®のプラグインにも対応しています。

専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service(P. 375)
メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service(P. 375)

専用プラグインを使用してプリントする - Canon Print Service

キヤノンの専用プラグインである「Canon Print Service」を使用して、任意のアプリからプリントできます。
部門別 ID 管理にも対応しています。部門 ID が不明なプリントが制限されている場合も、部門 ID を設定することでプリントが可能です。

対応 OS／ダウンロード

キヤノンホームページを参照してください。
https://global.canon/psmp/

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**
- Canon Print Service に本機を登録します。
  モバイル機器と本機を LAN で接続している場合は、本機を登録する際に、本機の IP アドレスの情報が必要です。
  IP アドレスは、操作パネルの［ホーム］画面 ▶［モバイルポータル］▶［LAN 接続］タブで確認できます。
- 本機の登録方法やプリント方法については、オンラインマニュアルサイトの「モバイルアプリ」から、Canon Print Service のマニュアルを参照してください。
  https://oip.manual.canon/

メーカー共通のプラグインを使用してプリントする - Mopria® Print Service

Mopria®認証プリンター／複合機の共通プラグインである「Mopria® Print Service」を使用して、任意のアプリからプリントできます。
複数のメーカーの Mopria®認証プリンターを使用している場合や、外出先に Mopria®認証プリンターがあった場合などに、メーカーごとの専用アプリや専用プラグインをインストールすることなくプリントが可能です。

使用方法

- モバイル機器と本機を接続します。 **モバイル機器を本機に接続する(P. 363)**
- プリント方法や Mopria®認証プリンターについては、以下のホームページを参照してください。
  https://mopria.org/

重要

本機が部門別 ID 管理中の場合

- 部門 ID が不明なパソコンからのプリントが制限されている場合は、Mopria® Print Service を使用したプリントはできません。 **部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)**



- 「Mopria® Scan」を使用すれば、スキャンしたデータを、Android 機器に直接取り込むこともできます。

Chrome OS からプリントする

AU03-07K

Chromebook など、Chrome OS を搭載している機器では、専用アプリやプリンタードライバーをインストールすることなく、プリントできます。

使用方法

- Chrome OS 搭載機器と本機を接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
  USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 16)**
- プリント方法については、Chromebook のヘルプページを参照してください。
  https://support.google.com/chromebook/answer/7225252/

■IPP Everywhere で印刷する

本機は IPP Everywhere にも対応しています。お使いの Chromebook が IPP Everywhere に対応している場合は、IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷することができます。

1. **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 465)**
2. **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 468)**
3. **［ネットワーク設定］▶［IPP Everywhere 設定］▶［編集］をクリックする**
   ➠ ［IPP Everywhere 設定の編集］ 画面が表示されます。
4. **［IPP Everywhere を使用する］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする**
   IPP Everywhere を使用すると、［IPP Everywhere を使用する］にある以下の設定値も［ON］になります。
   - HTTP を使用する
   - IPP 印刷設定
   - mDNS を使用する

重要

本機が部門別 ID 管理中の場合

- 部門 ID が不明なパソコンからのプリントが制限されている場合は、Chrome OS 搭載機器からプリントできません。
  部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)

MEMO

- 専用のソフトウェアをインストールすることなく、Chrome OS 搭載機器からスキャンすることもできます。
  スキャン方法については、Chromebook のヘルプページを参照してください。
  https://support.google.com/chromebook/answer/7225252/

セキュリティー

セキュリティー 380
管理者用の ID／暗証番号を設定する 381
ユーザー認証／グループ管理 383
部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理 384
部門 ID／暗証番号を登録する 386
部門別 ID 管理を有効にする 388
パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する 390
部門 ID ごとの使用状況を確認する 393
送信／保存時に LDAP サーバーによるユーザー認証を行う 394
ネットワークの保護 397
ファイアウォールを設定する 398
ポート番号を変更する 401
プロキシーを使用する 402
TLS を使用する 403
IPSec を使用する 405
IEEE 802.1X を使用する 410
鍵と証明書を管理／検証する 412
鍵と証明書を生成する 413
鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する 415
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する 418
証明書の発行要求状況にエラーが表示された 423
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する 425
受信した証明書を OCSP で検証する 427
誤送信／漏えいの防止 428
指定できる宛先を制限する 429
送信前に宛先を確認する 431
ファクス送信を制限する 433
メモリーメディアの使用を制限する 435
モバイル機器からの使用を制限する 437
プリントを制限する 438
パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する 439
受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信 440
不正使用の防止 443
アドレス帳の登録／編集を制限する 444
リモート UI の使用を制限する 446

パソコンと USB 接続できないようにする 448
LPD/RAW/WSD を設定する 449
HTTP 通信を使用できないようにする 452
セキュリティーポリシーの導入 453
セキュリティーポリシーの項目 456

セキュリティー

AU03-07L

本機は、通信を伴う機能やさまざまなデータを扱う情報機器です。ネットワーク環境で使用する場合の不正アクセス防止対策をはじめ、情報の漏えいなどのセキュリティーリスクへの対策が不可欠です。
本機には、こうした脅威や脆弱性を低減するための機能や設定が用意されています。使用環境や利用状況に合わせて適切に設定／運用することで、より安全に本機を使用できます。

管理体制の整備

本機の管理／設定を行う際には、管理者専用のアカウントを使用します。特定の管理者だけがこのアカウントの ID と暗証番号を知っている体制で、本機を運用します。

管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)

ユーザー／グループの管理

本機を使用するユーザーまたはグループを管理したり、使用時に認証を行ったりすることで、第三者による操作や不正アクセスを防ぎます。

ユーザー認証／グループ管理(P. 383)

ネットワーク環境に応じた設定

ネットワークセキュリティーに関する設定を、使用環境に合わせて適用することで、不正アクセスや盗聴などの脅威を低減できます。

ネットワークの保護(P. 397)

利用状況に応じた対策

たとえば、ファクス／スキャンデータの送信機能を利用する場合は、誤送信や情報漏えいを防ぐ対策が必要です。また、アドレス帳やリモート UI の不正使用を防ぐには、暗証番号による保護や使用制限の設定などが有効です。本機の利用状況に合わせ、運用も含めた対策を実施することで、セキュリティーを向上させます。

誤送信／漏えいの防止(P. 428)
不正使用の防止(P. 443)

セキュリティーポリシーによる統合的な管理

他機に設定されているセキュリティーポリシーを本機に適用することで、情報セキュリティーのレベルを組織内で共通化できます。

セキュリティーポリシーの導入(P. 453)

管理者用の ID／暗証番号を設定する

AU03-07R

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。
管理者専用のアカウントを作成することで、上記を知っているユーザーだけが、重要な設定を閲覧／変更できる「管理者モード」にログインできるようにします。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［管理設定］▶［ユーザー管理］▶［管理者情報の設定］を押す

➠［管理者情報の設定］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、現在設定されている管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。

3 ［管理者 ID と管理者暗証番号］を押し、管理者 ID を入力して、［確定］を押す

任意の数字を設定します。「00」や「0000000」など、0 だけの管理者 ID は設定できません。

4 管理者暗証番号を入力し、［確定］を押す

「7654321」以外の任意の数字を設定します。「00」や「0000000」など、0 だけの管理者暗証番号は設定できません。

5 同じ暗証番号を入力し、［確定］を押す

➠設定が反映されます。

重要

- 管理者 ID と管理者暗証番号は忘れないようにしてください。管理者 ID と管理者暗証番号を忘れた場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください（有償）。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

MEMO

管理者情報を設定する

- ［管理者情報の設定］画面で、［管理者名］を押すと、管理者の名前を設定できます。
- パソコンからリモート UI を使用して設定すると、メールアドレスなど他の管理者情報も設定できます。
  - 設定した情報は、リモート UI の［状況確認/中止］▶［デバイス情報］に表示されます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

- 設定したメールアドレスは、リモート UI のポータル画面で、［管理者へメール］をクリックした場合の宛先となります。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

管理者 ID や管理者暗証番号の設定を解除する

- 管理者 ID と管理者暗証番号の入力内容を消去し、空欄の状態で［確定］を押します。

ユーザー認証／グループ管理

AU03-07S

本機を使用するユーザーまたはグループを管理したり、使用時に認証を行ったりすることで、第三者による操作や不正アクセスを防ぎます。

部門別 ID 管理

本機の機能全般にわたるユーザー管理には、「部門別 ID 管理」を使用します。部門 ID と暗証番号を知っているユーザーだけが本機を使用できるようになります。本機の使用状況についても部門 ID 別に集計できるため、コスト管理の一助にもなります。

部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理(P. 384)

LDAP サーバー認証

LDAP サーバーが導入されている場合は、送信／保存機能を使うときに LDAP サーバー認証を適用できます。

送信／保存時に LDAP サーバーによるユーザー認証を行う(P. 394)

※部門別 ID 管理と LDAP サーバー認証の両方を同時に利用することもできます。

部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理

AU03-07U

部門別 ID 管理とは、本機を使用するユーザーまたはグループに「部門 ID」を割り当てて管理する機能です。
部門別 ID 管理を使用する場合は、管理者専用のアカウントを作成し、特定のユーザーが管理／運用する体制にすることをおすすめします。

部門別 ID 管理でできること(P. 384)
運用例(P. 384)
部門別 ID 管理の流れ(P. 385)

部門別 ID 管理でできること

部門別 ID 管理を利用すると、以下のことができるようになります。

セキュリティー強化

- 部門 ID に暗証番号を設定して、ユーザーのログイン時に部門 ID と暗証番号を入力する認証操作を求める
- 部門 ID が不明な操作を制限する

機器使用状況／コスト管理

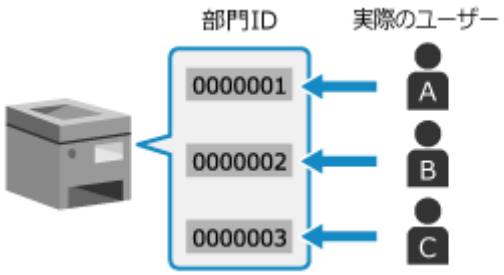
- プリントなどのページ数を部門 ID 別に集計して確認する
- 部門 ID ごとにプリントできるページ数を設定して、用紙の使用枚数を管理する
- 部門 ID ごとにコピー／プリント／スキャン／ファクス機能の使用を許可するかどうかを設定する

運用例

使用環境や目的に応じて、ユーザーやグループに部門 ID を割り当てます。また、部門 ID に暗証番号を設定することで、不正使用を防止し、より厳密な管理が可能になります。

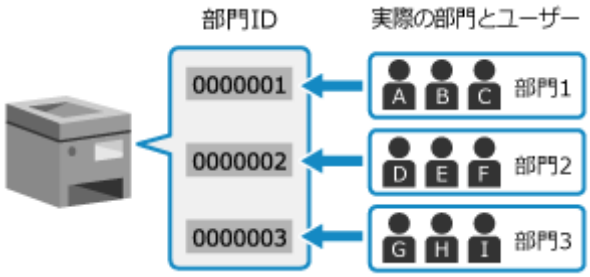
例 1：ユーザー単位で部門を割り当てて管理する

1 人のユーザーに 1 つの部門 ID を割り当てる管理方法です。
本機を使用する人数が少ない場合や、プリントページ数や使用機能の制限をユーザーごとに設定したい場合に適しています。
ユーザーは、自身が所有する部門 ID を使用してログインします。



例 2：グループ単位でユーザーをまとめて管理する

複数のユーザーをグループにまとめ、各グループに部門 ID を割り当てる管理方法です。
オフィスの部署や学校のクラスなど、本機を使用するグループや人数が多い場合に適しています。
ユーザーは、自身が所属するグループの部門 ID を使用してログインします。



部門別 ID 管理の流れ

部門別 ID 管理を利用する場合は、以下の流れで作業します。
管理者権限が必要です。

Step 1	**部門別 ID 管理の準備をする** **▶管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)** **▶部門 ID／暗証番号を登録する(P. 386)**
▼	
Step 2	**部門別 ID 管理を開始する** 必要に応じて、部門 ID が不明な操作を制限します。 **▶部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)**
▼	
Step 3	**本機を使用する各パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する** **▶パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する(P. 390)**
▼	
Step 4	**部門別 ID 管理を運用する** **▶部門 ID ごとの使用状況を確認する(P. 393)**

部門 ID／暗証番号を登録する

AU03-07W

部門別 ID 管理の対象となるグループやユーザーが使用する部門 ID を登録します。
ログイン時に認証操作を行うようにする場合は、暗証番号を設定します。
必要に応じて、プリントできるページ数や使用できる機能の制限を、部門 ID ごとに設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して登録する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］から登録します。 ［部門別 ID 管理］(P. 613)
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ユーザー管理］▶［部門別 ID 管理］をクリックする

➠［部門別 ID 管理］画面が表示されます。

4 ［新規部門の登録］をクリックする

➠［新規部門の登録］画面が表示されます。

5 ［新規部門］で、部門 ID と暗証番号を設定する

- ［部門 ID］に数字を入力します。
- 暗証番号を設定する場合は、［暗証番号を設定する］にチェックマークを付け、［暗証番号］と［確認入力］の両方に同じ数字を入力します。

※「00」や「0000000」など、0 だけの部門 ID や暗証番号は設定できません。

6 必要に応じて、［ファンクション制限］を設定する

- プリントできるページ数を制限する場合は、対象の項目にチェックマークを付け、［面数］にプリント上限となるページ数を入力します。
- 使用できる機能を制限する場合は、対象の機能にチェックマークを付けます。

※［スキャンを制限する］にチェックマークを付けると、以下のスキャン機能が制限されます。

- USB メモリーへの保存
- メール送信
- 共有フォルダーや FTP サーバーへの保存

7 ［OK］をクリックする

➠［部門別 ID 管理］画面の［部門 ID のカウント面数］に、登録した部門 ID が追加されます。

8 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録済みの部門 ID を編集する

- ［部門別 ID 管理］画面の［部門 ID のカウント面数］で、編集したい部門 ID をクリックすると、登録内容を編集できます。

部門別 ID 管理を有効にする

AU03-07X

部門 ID を登録後、部門別 ID 管理を有効にするための設定をします。部門別 ID 管理が開始されると、本機を操作するときにログイン画面が表示されます。

初期設定では、以下の機能はログインしなくても操作できるようになっています。

- パソコンからのプリント／ファクス送信
- パソコンに保存するスキャン
- 白黒コピー

必要に応じて、これらの操作を制限する設定も行います。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］から設定します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ユーザー管理］▶［部門別 ID 管理］▶［編集］をクリックする

➠［部門別 ID 管理の編集］画面が表示されます。

4 ［部門別 ID 管理をする］にチェックマークを付ける

5 部門 ID が不明なパソコンからのプリントを制限する場合は、項目のチェックマークを外す

■部門 ID が不明なパソコンからのプリント／ファクス送信を制限する場合

［ID 不定プリントジョブを許可する］のチェックマークを外します。

※この項目のチェックマークを外した場合、パソコンからプリント／ファクス送信をするには、ドライバーに部門 ID を設定する必要があります。 **パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する(P. 390)**

■パソコンに保存するスキャンを制限する場合

［ID 不定スキャンジョブを許可する］のチェックマークを外します。

※パソコンに保存するスキャン操作は、ドライバーやアプリケーション側で部門 ID を設定できません。そのため、この項目のチェックマークを外すと、部門別 ID 管理中はすべてのユーザーがパソコンにスキャンデータを保存できなくなります。

■部門 ID が不明な白黒コピーを制限する場合

［白黒コピージョブを許可する］のチェックマークを外します。

6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する

AU03-07Y

部門 ID が不明なパソコンからのプリント／ファクス送信を制限した場合は、本機を使用する各パソコンに部門 ID／暗証番号を設定する必要があります。制限していない場合でも、部門 ID ごとの使用状況にパソコンからのプリントを含めたいときは、各パソコンに部門 ID／暗証番号を設定します。

Windows の場合(P. 390)
macOS の場合(P. 391)

■Windows の場合

各パソコンの管理者権限が必要です。

1 パソコンに管理者のアカウントでログオンする

2 [ ]（スタート）▶ [ ]（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

3 本機のドライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ ドライバーのプロパティ画面が表示されます。

4 [デバイスの設定] タブで、[ユーザー管理機能] を [部門別 ID 管理] に設定する

5 右下にある [設定] をクリックする

➠ [部門 ID/暗証番号の設定] 画面が表示されます。

6 部門 ID と暗証番号を設定する

- 暗証番号を設定する場合は、[暗証番号の設定を許可する] にチェックマークを付け、暗証番号を入力します。
- [照会] をクリックすると、部門 ID と暗証番号が正しく入力されているか確認できます。
  ※本機とパソコンを USB または WSD（Web Services on Devices）ポートで接続している場合は使用できません。

7 必要に応じて、認証処理や適用範囲の設定をする

■プリント時やファクス送信時に部門 ID と暗証番号を確認する場合

[印刷時に認証情報を確認する] や [ファクス送信時に認証情報を確認する] にチェックマークを付けます。

■白黒プリント時は部門 ID を設定しないでプリントする場合

[白黒指定時は部門別 ID 管理を行わない] にチェックマークを付けます。

※本機側の設定で、部門 ID が不明なパソコンからのプリントが制限されている場合は、この項目にチェックマークを付けると、部門別 ID 管理中は白黒プリントができなくなります。

■本機とパソコンを USB または WSD ポートで接続している場合

［デバイス側で認証処理を行う］にチェックマークを付けます。

8 ［OK］▶［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

■macOS の場合

1 ［ ］▶［システム環境設定］▶［プリンタとスキャナ］をクリックする

➠［プリンタとスキャナ］画面が表示されます。

2 本機を選択し、［オプションとサプライ］をクリックする

3 ［オプション］タブで、［部門別 ID 管理］にチェックマークを付け、［OK］をクリックする

4 ドライバーの設定画面で、部門 ID と暗証番号を設定する

部門 ID と暗証番号の設定は、プリント／ファクス送信するたびに設定が必要です。

■プリンタードライバーの場合

1 プリントダイアログを表示し、本機のプリンタードライバーを選択する **パソコンからプリントする(P. 223)**

2 プリントオプションのポップアップメニューから［特別処理］を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、プリントダイアログの［詳細を表示］をクリックします。

3 ［部門別 ID 管理機能を使う］にチェックマークを付け、［設定］をクリックする

➠［部門 ID/暗証番号の設定］画面が表示されます。

4 部門 ID と暗証番号を入力する

5 必要に応じて、認証処理や適用範囲の設定をする

プリント時に部門 ID と暗証番号を確認する場合

［印刷時に認証情報を確認する］にチェックマークを付けます。

白黒プリント時は部門 ID を設定しないでプリントする場合

［白黒指定時は部門別 ID 管理を行わない］にチェックマークを付けます。
※本機側の設定で、部門 ID が不明なパソコンからのプリントが制限されている場合は、この項目にチェックマークを付けると、部門別 ID 管理中は白黒プリントができなくなります。

6 ［OK］をクリックする

■ファクスドライバーの場合

1 プリントダイアログを表示し、本機のファクスドライバーを選択する **パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)**

2 プリントオプションのポップアップメニューから［拡張設定］を選択する



プリントオプションが表示されていない場合は、画面下の［詳細を表示］をクリックします。

3 ［認証］タブで、［部門別 ID 管理機能を使う］にチェックマークを付け、部門 ID と暗証番号を入力する

部門 ID ごとの使用状況を確認する

AU03-080

部門別 ID 管理中に実行したプリントやコピーなどのページ数を、部門 ID ごとに確認できます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して確認する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］から確認します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ユーザー管理］▶［部門別 ID 管理］をクリックする

➡［部門別 ID 管理］画面が表示されます。

4 ［部門 ID のカウント面数］で、使用状況を確認する



■特定の部門 ID のカウントのみをゼロに戻す場合

カウントをゼロに戻したい部門 ID の［カウントクリア］▶［OK］をクリックします。

■すべての部門 ID のカウントをゼロに戻す場合

［カウントオールクリア］▶［OK］をクリックします。

5 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

送信／保存時に LDAP サーバーによるユーザー認証を行う

AU03-081

本機の送信／保存機能を使う場合に、LDAP サーバー認証を利用できます。
スキャンデータやファクスの送信／保存時にログイン画面を表示して、LDAP サーバーで管理されているユーザーだけが送信／保存機能を使用できるようにします。
また、機能ごとに、送信／保存先を限定したり、送信／保存機能そのものを使用できなくしたりすることもできます。
本機の LDAP サーバー認証に関する仕様については、認証機能の仕様を参照してください。 **対応ソフトウェア／サーバー(P. 46)**

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- 認証に使用する LDAP サーバーを本機に登録します。 **LDAP サーバーを登録する(P. 89)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［送信機能の認証設定］▶［編集］をクリックする

➡［送信機能の認証設定の編集］画面が表示されます。

4 ［基本設定］の［ユーザー認証機能を有効にする］にチェックマークを付ける

■部門別 ID 管理中の場合

認証送信と部門別 ID 管理の両方でログインしている状態から、ログアウトする場合の動作を設定します。
ログアウトボタンを押したあと、ログアウトする認証を選択する画面を表示する場合は、［ログアウト時に確認画面を表示する］にチェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、画面は表示されずに両方からログアウトします。

5 ［メール/I ファクス送信設定］で、メールや I ファクスの送信を許可するかどうかを設定する

- ［許可しない］を選択すると、スキャンデータのメール送信や I ファクス送信ができなくなります。
- ［自分の宛先のみ許可する］を選択すると、送信先を LDAP サーバーで認証されたユーザーのメールアドレスに限定します。

■［許可する］または［自分の宛先のみ許可する］を選択した場合

認証画面の表示や送信元の指定について設定します。

［認証方法］
送信時に SMTP サーバーの認証画面を表示するかどうかを設定します。

［送信操作開始時のユーザー名を引き継いで認証画面を表示する］

認証送信のログイン画面で入力したユーザー名とパスワードを引き継いだ状態の認証画面を表示します。

[空の認証画面を表示する]

ユーザー名とパスワードが空欄の認証画面を表示します。

[機器固有の認証情報を使用して認証画面を表示しない]

認証画面を表示せず、メールサーバーの詳細情報で設定したユーザー名とパスワードを使用して SMTP サーバーの認証を行います。

[認証ユーザーの宛先を送信元に指定する]

LDAP サーバーで認証されたユーザーのメールアドレスを送信元に設定する場合は、チェックマークを付けます。
チェックマークを外すと、メールサーバーの詳細情報で設定した本機のメールアドレスが送信元に設定されます。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**

6 [ファイル送信設定]で、共有フォルダーや FTP サーバーへの保存を許可するかどうかを設定する

- [許可しない]を選択すると、スキャンデータを共有フォルダー／FTP サーバーに保存できなくなります。
- [自分の宛先または指定したフォルダーのみ許可する]を選択すると、保存先を LDAP サーバーに登録されているフォルダー、または[送信先のフォルダーを指定する]で指定したフォルダーのみに限定します。

■ [許可する]を選択した場合

認証画面の表示について設定します。

[アドレス帳に登録済みの宛先への送信]

[認証方法]

送信時にサーバーの認証画面を表示するかどうかを設定します。

[送信操作開始時の認証情報を引き継いで認証画面を表示する]

認証送信のログイン画面で入力したユーザー名とパスワードを引き継いだ状態の認証画面を表示します。

[空の認証画面を表示する]

ユーザー名とパスワードが空欄の認証画面を表示します。

[アドレス帳の認証情報を使用して認証画面を表示しない]

認証画面を表示せず、アドレス帳で設定したユーザー名とパスワードを使用してサーバーの認証を行います。

■ [自分の宛先または指定したフォルダーのみ許可する]を選択した場合

認証画面の表示や送信先のフォルダーについて設定します。

[自分の宛先または指定フォルダーへの送信]

[認証方法]

送信時にサーバーの認証画面を表示するかどうかを設定します。

[送信操作開始時の認証情報を引き継ぐ]

認証送信のログイン画面で入力したユーザー名とパスワードを引き継いでサーバーの認証を行います。
ユーザー名とパスワードを引き継いだ状態の認証画面を送信実行時に表示する場合は、[認証画面を表示する]にチェックマークを付けます。

[空の認証画面を表示する]

ユーザー名とパスワードが空欄の認証画面を表示します。

[送信先のフォルダーを指定する]

保存先フォルダーを指定する場合は、チェックマークを付け、[ホスト名]と[フォルダーへのパス]を入力します。
チェックマークを外すと、LDAP サーバーに登録されている認証ユーザー情報から保存先が設定されます。

[ホスト名]

保存先の共有フォルダーまたは FTP サーバーのホスト名を入力します。

[フォルダーへのパス]

ホスト名を除いた保存先フォルダーのパスを入力します。
LDAP サーバーで認証するユーザー名をパスに追加する場合は、[ユーザー名を付加する]にチェックマークを付けます。

7 [ファクス送信設定]で、ファクスの送信を許可するかどうかを設定する

[許可しない]を選択すると、ファクス機能は使用できなくなります。

8 [OK]をクリックする

➠ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

ネットワークの保護

AU03-082

本機をネットワークに接続することで、パソコンやモバイルなどの機器と連携し、より便利に使用できるようになります。その反面、ネットワーク上では、不正アクセスや盗聴による脅威にさらされるリスクがあります。
ネットワーク環境に合わせてセキュリティーに関する設定を行うことで、こうしたリスクを低減し、より安全に本機を使用できるようにします。

ファイアウォール設定によるフィルタリング
特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器との通信のみを許可することで、不正なアクセスを防ぎます。
ファイアウォールを設定する(P. 398)

ポート制御
パソコンやサーバーなど通信を行う機器側で、使用するポート番号が変更された場合は、本機の設定も変更します。また、不要なプロトコルが明らかな場合は、本機での使用を禁止することで該当するポートを閉じ、外部からの侵入を防ぎます。
ポート番号を変更する(P. 401)

プロキシーサーバーの利用
プロキシーサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティーを強化できます。
プロキシーを使用する(P. 402)

TLS による通信の暗号化
リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化できます。通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。
TLS を使用する(P. 403)

IPSec による通信の暗号化
IPSec を使用すると、IP プロトコルのレベルで暗号化されます。アプリケーションやネットワーク構成に依存せずに、通信内容の盗聴や改ざんのリスクを低減します。
IPSec を使用する(P. 405)

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境での利用
IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境に本機を接続する場合は、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。
IEEE 802.1X を使用する(P. 410)

鍵と証明書の管理／検証
暗号化通信に使用する鍵と証明書を本機で生成したり、発行機関から取得した鍵と証明書を登録したりできます。証明書失効確認（OCSP）を設定すると、通信相手から受信した証明書が失効していないかを検証できます。
鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

■関連項目

セットアップ時のネットワーク設定については、以下を参照してください。
使用するネットワーク環境に合わせる(P. 81)

ファイアウォールを設定する

AU03-083

パケットフィルタリング型のファイアウォールを設定して、不正なアクセスを防ぎます。
まず前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを設定します。次に、その条件の例外として通信を拒否または許可する機器を、IP アドレスや MAC アドレスで指定します。
指定できるアドレスの数や、通信制限可能なプロトコルについては、ファイアウォールの仕様を参照してください。 **ファイアウォール(P. 40)**

IP アドレスフィルターを設定する(P. 398)
MAC アドレスフィルターを設定する(P. 399)

重要

- 本機を無線 LAN に接続している場合、MAC アドレスフィルターは設定できません。
- 本機から他機へのデータ送信を拒否するように設定しても、マルチキャストおよびブロードキャストアドレスは制限されません。

IP アドレスフィルターを設定する

使用環境に合わせて、IPv4 アドレスフィルターまたは IPv6 アドレスフィルターを設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、フィルターを有効にするかどうかのみです。 **［ファイアウォール設定］(P. 512)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

重要

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI で IP アドレスを設定しなおします。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［ネットワーク設定］▶［ファイアウォール設定］をクリックする

➠［ファイアウォール設定］画面が表示されます。

4 IP アドレスの送信フィルターまたは受信フィルターの［編集］をクリックする

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターの［編集］をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターの［編集］をクリックします。

5 ［フィルターを使用する］にチェックマークを付ける

➡IP アドレスフィルターが有効になります。

6 ［デフォルトポリシー］で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 ［例外アドレス］を登録する

- ［登録するアドレス］に IP アドレスを入力し、［追加］をクリックします。
- 「-」（ハイフン）またはプレフィックス表記を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例：

- **単一の IPv4 アドレス**
  192.168.0.10
- **単一の IPv6 アドレス**
  fe80::10
- **範囲指定**
  192.168.0.10-192.168.0.20
  192.168.0.32/27
  fe80::1234/64

8 ［OK］をクリックする

9 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

MAC アドレスフィルターを設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、一部の項目は操作パネルでは設定できません。 ［ファイアウォール設定］(P. 512)
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

重要

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI にアクセスできなくなることがあります。その場合は、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI で MAC アドレスを設定しなおします。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［ファイアウォール設定］をクリックする

➡［ファイアウォール設定］画面が表示されます。

4 MAC アドレスの送信フィルターまたは受信フィルターの［編集］をクリックする

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターの［編集］をクリックします。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターの［編集］をクリックします。

5 ［フィルターを使用する］にチェックマークを付ける

➡MAC アドレスフィルターが有効になります。

6 ［デフォルトポリシー］で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 ［例外アドレス］を登録する

- ［登録するアドレス］に MAC アドレスを入力し、［追加］をクリックします。
- MAC アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）などで区切らずに入力します。

入力例：
123A456B789C

8 ［OK］をクリックする

9 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

ポート番号を変更する

AU03-084

通常はおもなプロトコルに決まったポート番号を使用しますが、セキュリティー向上を図るために、使用するポート番号を変更することがあります。ポート番号はパソコンやサーバーなどの通信機器間で同じ設定にする必要があるため、ポート番号が変更された場合は本機側でも設定を変更します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 **［ポート番号設定］(P. 523)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［ポート番号設定］▶［編集］をクリックする

➡［ポート番号設定の編集］画面が表示されます。

4 対象のプロトコルのポート番号を変更し、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

MEMO

プロトコルの設定

- 各プロトコルの設定、またはプロトコルを使用する機能の設定は、以下を参照してください。
  LPD/RAW/WSD **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 449)**
  HTTP **HTTP 通信を使用できないようにする(P. 452)**
  マルチキャスト探索 **SLP 通信を設定する(P. 98)**
  POP3/SMTP **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**
  FTP **FTP サーバーにスキャンデータを保存するための準備(P. 267)**
  SNMP **SNMP を設定する(P. 93)**

プロキシーサーバーや LDAP サーバーのポート番号を変更する

- プロキシーサーバーや LDAP サーバーのポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。
  プロキシーを使用する(P. 402)
  LDAP サーバーを登録する(P. 89)

プリンタードライバーのポート番号の設定を変更する（Windows のみ）

- 本機側でプリントのプロトコル（LPD または RAW）のポート番号を変更した場合は、パソコン側の設定も同様に変更します。 **プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 215)**

プロキシーを使用する

AU03-085

プロキシーサーバーを経由してネットワークに接続することで、外部との通信が管理しやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティーを強化できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- プロキシーサーバーのアドレス、ポート番号、認証情報を手元に用意します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［プロキシー設定］▶［編集］をクリックする

➠［プロキシー設定の編集］画面が表示されます。

4 ［プロキシーを使用する］にチェックマークを付ける

5 プロキシーサーバーのアドレスとポート番号を入力する

- ［HTTP プロキシーサーバーのアドレス］に、IP アドレスやホスト名などを入力します。
- ［HTTP プロキシーサーバーのポート番号］に、ポート番号を入力します。

6 使用環境に合わせて、適用範囲や認証情報などの設定をする

■同じドメインの機器との通信にも指定したプロキシーサーバーを使用する場合

［同一ドメインにもプロキシーを使用する］にチェックマークを付けます。

■プロキシーサーバー接続時に認証が必要な場合

［プロキシー認証を使用する］にチェックマークを付け、認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。
認証で使用するパスワードを設定する場合は、［パスワードを設定/変更する］にチェックマークを付け、パスワードを半角英数字で入力します。

7 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

TLS を使用する

AU03-086

TLS（Transport Layer Security）とは、ネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI 使用時の通信などを TLS により暗号化することで、通信途中でのデータの盗聴や改ざんのリスクを低減します。
リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化するには、TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書（サーバー証明書）を指定してから、リモート UI での TLS の使用を有効にします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、リモート UI での TLS の使用を有効にするかどうかのみです。**［リモート UI 設定］(P. 620)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を用意します。**鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［TLS 設定］をクリックする

➡［TLS 設定］画面が表示されます。

4 TLS 暗号化通信で使用する鍵と証明書を指定する

1 ［鍵と証明書設定］の［鍵と証明書］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面が表示されます。

2 使用する鍵と証明書の右側にある［使用鍵登録］をクリックする

- 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

5 TLS のバージョンとアルゴリズムを設定する

1 ［TLS 詳細設定］の［編集］をクリックする

➡［TLS 詳細設定の編集］画面が表示されます。

2 使用可能なバージョンとアルゴリズムを設定し、［OK］をクリックする
バージョンとアルゴリズムには、使用できない組み合わせがあります。バージョンとアルゴリズムの組み合わせについては、TLS の仕様を参照してください。**TLS(P. 43)**

［使用可能なバージョンの指定］

TLS の上限バージョンと下限バージョンを指定します。

[アルゴリズム設定]

TLS で使用するアルゴリズムにチェックマークを付けます。

6 リモート UI での TLS の使用を有効にする

1 [ライセンス/その他] ▶ [リモート UI 設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [リモート UI 設定の編集] 画面が表示されます。

2 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡ 設定が反映されます。

MEMO

リモート UI 起動時に警告メッセージが表示された場合

- TLS を有効にしてリモート UI を起動すると、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

TLS でメール／I ファクス送受信を暗号化する

- SMTP サーバーや POP3 サーバーが TLS に対応する場合は、これらのサーバーとの通信に TLS を適用できます。
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

IPSec を使用する

AU03-087

IPSec（IP Security Protocol）を利用して、IP ネットワーク上で送受信される IP パケットの盗聴や改ざんなどを防ぎます。IP プロトコルのレベルで暗号化を行うため、アプリケーションやネットワーク構成に依存せずにセキュリティーを確保できます。

IPSec の適用条件と対応モード(P. 405)
IPSec ポリシーの構成(P. 405)
IPSec を設定する(P. 406)

IPSec の適用条件と対応モード

IPSec が適用されないパケット

- ループバック／マルチキャスト／ブロードキャストアドレスを指定したパケット
- UDP ポート 500 番から送信される IKE パケット
- ICMPv6 の Neighbor Solicitation/Neighbor Advertisement パケット

鍵交換プロトコルの動作モード（IKE モード）について

本機が対応している IKE モードは、パケットが暗号化されるメインモードのみです。暗号化されないアグレッシブモードには対応していません。

通信モードについて

本機が対応している IPSec の通信モードは、IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化するトランスポートモードのみです。IP パケット全体を暗号化するトンネルモードには対応していません。

IP アドレスフィルターと IPSec を併用する場合

IP アドレスフィルターの設定が先に適用されます。**ファイアウォールを設定する(P. 398)**

IPSec ポリシーの構成

本機で IPSec 通信を行うには、適用範囲や認証と暗号化のアルゴリズムなど、IPSec のポリシーを作成する必要があります。ポリシーはおもに以下の内容で構成されます。

セレクター

どの IP パケットに IPSec 通信を適用するかを設定します。本機や通信相手側の IP アドレスだけでなく、ポート番号も指定できます。

IKE

鍵交換プロトコルは IKEv1（Internet Key Exchange version 1）に対応しています。事前共有鍵方式または電子署名方式のどちらかの認証方式を設定します。

- **事前共有鍵方式**
  本機と通信相手とで共有鍵と呼ばれる共通のキーワードを使用する認証方式です。
- **電子署名方式**
  本機と通信相手側が電子署名を互いに送信／検証し合って相互認証を行います。

ESP/AH

IPSec 通信で使用するプロトコルの ESP と AH を設定します。ESP と AH は併用も可能です。PFS（Perfect Forward Secrecy）を使用すれば、セキュリティーをさらに強化できます。

IPSec を設定する

IPSec の使用を有効にしてから、IPSec のポリシーを作成して登録します。複数のポリシーを作成した場合は、優先順位を設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、IPSec の使用を有効にするかどうかのみです。 **[IPSec を使用] (P. 522)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 本機と同じ VPN（仮想プライベートネットワーク）を構成するパソコンと直接接続します。動作条件を確認し、あらかじめパソコン側の設定を済ませておきます。 **IPSec(P. 40)**
- IKE の認証方式に応じて、以下の準備をします。
  - 事前共有鍵方式の場合は、リモート UI 通信での TLS を有効にします。 **TLS を使用する(P. 403)**
  - 電子署名方式の場合は、使用する鍵と証明書を用意します。 **鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)**
- PFS を使用する場合は、通信相手の機器で PFS が有効であることを確認します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] ▶ [IPSec 設定] ▶ [編集] をクリックする

➡ [IPSec 設定の編集] 画面が表示されます。

4 [IPSec を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする

ポリシーに該当するパケットだけを受信する場合は、[ポリシー外パケットの受信を許可する] のチェックマークを外します。

5 [新規ポリシーの登録] をクリックする

➡ [新規 IPSec ポリシーの登録] 画面が表示されます。

6 [ポリシー設定] で、ポリシー名を入力し、[ポリシーを有効にする] にチェックマークを付ける

ポリシー名には、ポリシーを区別するための名前を半角英数字で入力します。

7 [セレクター設定] で、セレクターの設定をする

[ローカルアドレス設定]

ポリシーを適用する本機の IP アドレスの種類を選択します。

- すべての IP パケットに IPSec を適用する場合は、[全 IP アドレス] を選択します。

- IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを使って送受信する IP パケットに IPSec を適用する場合は、［自 IPv4 アドレス］または［自 IPv6 アドレス］を選択します。

［リモートアドレス設定］

ポリシーを適用する通信相手側の IP アドレスの種類を選択します。

- すべての IP パケットに IPSec を適用する場合は、［全 IP アドレス］を選択します。
- IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを使って送受信する IP パケットに IPSec を適用する場合は、［全 IPv4 アドレス］または［全 IPv6 アドレス］を選択します。
- IPSec を適用する IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスを指定する場合は、［IPv4 手動指定］または［IPv6 手動指定］を選択します。

［手動指定アドレス］

［IPv4 手動指定］または［IPv6 手動指定］を選択した場合は、IP アドレスを入力します。「-」（ハイフン）を使用して、IP アドレスを範囲で指定することもできます。

入力例：

- **単一の IPv4 アドレス**
  192.168.0.10
- **単一の IPv6 アドレス**
  fe80::10
- **範囲指定**
  192.168.0.10-192.168.0.20

［サブネット指定］

［IPv4 手動指定］を選択した場合は、サブネットマスクを使って IPv4 アドレスの範囲を設定できます。

入力例：
255.255.255.240

［プレフィックス長］

［IPv6 手動指定］を選択した場合は、プレフィックスを使って IPv6 アドレスの範囲を設定できます。プレフィックス長を 0～128 の範囲で入力します。

［ポート設定］

本機側は［ローカルポート］、通信相手側は［リモートポート］で、IPSec を適用するポートを設定します。

- すべてのポート番号に IPSec を適用する場合は、［全ポート］を選択します。
- HTTP や WSD など特定のプロトコルに IPSec を適用する場合は、［単一指定］を選択し、プロトコルのポート番号を入力します。

8 ［IKE 設定］で、IKE の設定をする

［IKE モード］

本機はメインモードのみに対応しています。

［認証方式］

本機の認証方法を選択します。

- ［事前共有鍵方式］を選択した場合は、［共有鍵の設定］▶ 共有鍵として使用する文字列を半角英数字で入力 ▶［OK］をクリックします。
- ［電子署名方式］を選択した場合は、［鍵と証明書］▶ 使用する鍵と証明書の右側にある［使用鍵登録］をクリックします。

［有効時間］

制御用通信路として使用する IKE SA（ISAKMP SA）の有効時間を分単位で入力します。

[認証/暗号化アルゴリズム]

鍵交換で使用するアルゴリズムを選択します。

9 ［IPSec 通信設定］で、IPSec 通信の設定をする

[PFS を使用する]

セッションキーに対して PFS を設定する場合は、チェックマークを付けます。

[有効期間]

データ用通信路として使用する IPSec SA の有効期間を、時間／サイズの片方または両方で指定します。

- ［時間で指定する］にチェックマークを付けた場合は、有効期間を分単位で入力します。
- ［サイズで指定する］にチェックマークを付けた場合は、有効期間をメガバイト単位で入力します。
- 両方にチェックマークを付けた場合は、指定した値に先に達した項目が適用されます。

[認証/暗号化アルゴリズム]

使用する IPSec ヘッダー（ESP および AH）とそのアルゴリズムに応じて、チェックマークを付けます。

[ESP 認証]

［ESP］を選択した場合は、認証アルゴリズムを選択します。ESP 認証を行う場合は［SHA1］を、行わない場合は［使用しない］を選択します。

[ESP 暗号]

［ESP］を選択した場合は、暗号化アルゴリズムを選択します。アルゴリズムを特定したくない場合は［NULL］を、暗号化を行わない場合は［使用しない］を選択します。

[接続モード]

本機はトランスポートモードのみに対応しています。

10 ［OK］をクリックする

➠［IPSec 設定］画面の［登録されている IPSec ポリシー］に、新規登録したポリシーが追加されます。

■複数のポリシーを登録した場合

ポリシー名の右側にある［上げる］／［下げる］をクリックして優先順位を設定します。上位のポリシーが優先して IPSec 通信に適用されます。



11 本機を再起動する ▶再起動する(P. 116)

➠設定が反映されます。

MEMO

登録済みのポリシーを編集する

- ［IPSec 設定］画面の［登録されている IPSec ポリシー］で、編集したいポリシー名をクリックすると、登録内容を編集できます

IEEE 802.1X を使用する

AU03-088

IEEE 802.1X 認証が導入されたネットワーク環境では、認証サーバー（RADIUS サーバー）に認証されたクライアント機器（サプリカント）だけが LAN スイッチ（オーセンティケーター）にネットワーク接続を許可されているため、不正なアクセスが遮断されています。この IEEE 802.1X 認証が導入されているネットワークに本機を接続するには、認証サーバーが管理している認証方式などを本機側で設定する必要があります。

IEEE 802.1X の認証方式(P. 410)
IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

IEEE 802.1X の認証方式

本機が対応している IEEE 802.1X の認証方式は以下のとおりです。

TLS
本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。他の認証方式と併用することはできません。

TTLS
本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択でき、PEAP との併用も可能です。

PEAP
必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルは MSCHAPv2 を使用します。

IEEE 802.1X を設定する

IEEE 802.1X の使用を有効にしてから、認証方式を設定します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。ただし、操作パネルで設定できるのは、IEEE 802.1X の使用を有効にするかどうかのみです。 **［IEEE 802.1X を使用］(P. 511)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- 認証方式に TLS を使用する場合は、本機の認証に使用する認証局発行の鍵と証明書を用意します。 **鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)**
  ※サーバーの認証には、プリインストールされた CA 証明書、またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。
- 認証方式に TTLS/PEAP を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS 暗号化通信にします。 **TLS を使用する(P. 403)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］▶［IEEE 802.1X 設定］▶［編集］をクリックする

➡［IEEE 802.1X 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［IEEE 802.1X を使用する］にチェックマークを付け、ログイン名を入力する

ログイン名には、ユーザーを識別するための名前（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

■認証サーバーの証明書を検証する場合

［認証サーバーの証明書を検証する］にチェックマークを付けます。
証明書の共通名（Common Name）を検証する場合は、［認証サーバー名を検証する］にチェックマークを付け、ユーザーが登録されている認証サーバーの名前を入力します。

5 使用する認証方式に応じた設定をする

■TLS を使用する場合

1 ［TLS を使用する］にチェックマークを付ける

2 ［使用する鍵の名前］の［鍵と証明書］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面が表示されます。

3 使用する鍵と証明書の右側にある［使用鍵登録］をクリックする

- 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

■TTLS/PEAP を使用する場合

1 ［TTLS を使用する］または［PEAP を使用する］にチェックマークを付ける
TTLS を使用する場合は、使用する内部プロトコルを選択します。

2 ［ユーザー名にログイン名を使用する］で、ユーザー名に IEEE 802.1X 認証のログイン名を使用するかどうかを設定する

3 ［ユーザー名/パスワード設定］の［ユーザー名/パスワード変更］をクリックする

➡［ユーザー名/パスワードの変更］画面が表示されます。

4 ユーザー名やパスワードを設定し、［OK］をクリックする

- ユーザー名は半角英数字で入力します。
- パスワードを設定する場合は、［パスワードを変更する］にチェックマークを付け、［パスワード］と［確認入力］の両方に同じパスワードを半角英数字や記号で入力します。

6 ［OK］をクリックする

7 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

鍵と証明書を管理／検証する

AU03-089

リモート UI 使用時の通信を TLS により暗号化する場合や、IEEE 802.1X の認証方式に TLS を使用する場合は、鍵と証明書が必要になります。また、通信先によっては、指定された証明書による暗号化通信を要求されることがあり、その場合にも鍵と証明書が必要です。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

鍵と証明書の管理

本機では、以下の方法で鍵と証明書を準備できます。

鍵と証明書を自己生成する

TLS で必要となる鍵と証明書を本機で生成します。自己署名証明書が許可されている通信をすぐに実行することができます。

鍵と証明書を生成する(P. 413)

自己生成した鍵に認証局で発行された証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）を生成して認証局に申請し、認証局で発行された証明書を登録します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する(P. 415)

自己生成した鍵に SCEP サーバーから取得した証明書を登録する

本機で鍵を生成するときに、SCEP（Simple Certificate Enrollment Protocol）サーバーに証明書の発行を要求し、SCEP サーバーから取得した証明書を登録します。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

鍵と証明書を自己生成せず、発行機関から入手した鍵と証明書や、認証局から発行された CA 証明書を登録します。通信先や認証レベルに合わせた電子証明書を使用することができます。

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)

証明書の検証

本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP（Online Certificate Status Protocol）を使用して、証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

受信した証明書を OCSP で検証する(P. 427)

鍵と証明書を生成する

AU03-08A

TLS を使用した暗号化通信に必要な鍵と証明書を本機で生成します。自己生成した鍵には自己署名証明書が使われます。
本機で生成可能な鍵と証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と自己署名証明書の仕様を参照してください。 **鍵と証明書(P. 41)**

鍵と証明書は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。操作パネルを使用して生成することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］ ▶ ［鍵と証明書設定］ ▶ ［鍵生成］をクリックする

➠［鍵生成］画面が表示されます。

4 ［ネットワーク通信用］を選択し、［OK］をクリックする

➠［ネットワーク通信用の鍵生成］画面が表示されます。

5 ［鍵の設定］で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを［RSA］または［ECDSA］から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6 ［証明書の設定］で、証明書の情報を設定する

［有効期限開始日(YYYY/MM/DD)］／［有効期限終了日(YYYY/MM/DD)］

証明書の有効期間の開始日と終了日を入力します。

［国/地域名］

［国/地域名で選択］を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、［インターネット国コードで入力］を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

［都道府県］／［市町村］／［組織］／［組織単位］

必要に応じて、各項目を半角英数字で入力します。

［共通名］

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」（CN）または「一般名」に該当します。

7 ［OK］をクリックする

➠［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］に、生成した鍵と証明書が追加されます。

8 リモート UI からログアウトする



生成した証明書の詳細情報を確認／検証する

- ［鍵と証明書設定］画面の［登録されている鍵と証明書］で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵と CSR を生成して証明書を取得／登録する

AU03-08C

本機で生成した証明書には認証局の署名がないため、通信相手によっては通信できないことがあります。その場合、認証局が発行した署名付きの証明書を鍵に登録することで、自己生成した鍵でも通信できるようになります。
署名付きの証明書を認証局に発行してもらうには、CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）のファイルを添付して申請する必要があります。本機では、鍵の生成と同時に CSR を生成します。
本機で生成可能な鍵と CSR のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR の仕様を参照してください。 **鍵と証明書(P. 41)**

鍵と CSR を生成する(P. 415)
認証局から発行された証明書を鍵に登録する(P. 416)

鍵と CSR を生成する

鍵と CSR は、パソコンからリモート UI を使用して生成します。操作パネルを使用して生成することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］ ▶ ［鍵と証明書設定］ ▶ ［鍵生成］をクリックする

➡［鍵生成］画面が表示されます。

4 ［鍵と証明書署名要求(CSR)］を選択し、［OK］をクリックする

➡［鍵と証明書署名要求(CSR)の生成］画面が表示されます。

5 ［鍵の設定］で、鍵の名前を入力し、署名および鍵のアルゴリズムを選択する

- 鍵の名前は半角英数字で入力します。
- 鍵のアルゴリズムは、生成アルゴリズムを［RSA］または［ECDSA］から選択し、鍵長をプルダウンメニューから選択します。鍵長の数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

6 ［証明書署名要求(CSR)の設定］で、CSR の情報を設定する

［国/地域名］

［国/地域名で選択］を選択してプルダウンメニューから国／地域名を選択するか、［インターネット国コードで入力］を選択して国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

［都道府県］／［市町村］／［組織］／［組織単位］

必要に応じて各項目を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて、証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」（CN）または「一般名」に該当します。

7 [OK] をクリックする

➡ [鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報] 画面が表示されます。

8 [ファイルに保存] をクリックし、CSR のファイルをパソコンに保存する

9 リモート UI からログアウトする

10 CSR のファイルを添付して認証局に申請する

MEMO

- CSR を生成した時点で、鍵は本機に登録されますが、認証局から発行された証明書を登録するまで使用できません。

認証局から発行された証明書を鍵に登録する

証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

➡ [鍵と証明書設定] 画面が表示されます。

4 証明書を登録する鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックする



➠ [鍵と証明書署名要求(CSR)詳細情報] 画面が表示されます。

5 [証明書の登録] をクリックする

6 [ファイルの指定] の [参照] をクリックし、認証局から発行された証明書のファイルを指定する

登録可能な認証局から発行された証明書のファイルサイズは 4 キロバイト以内です。

7 [登録] をクリックする

➠ [鍵と証明書設定] 画面の [登録されている鍵と証明書] に表示される証明書のアイコンが、[ ] ▶ [ ] に変わります。

8 リモート UI からログアウトする

MEMO

登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定] 画面の [登録されている鍵と証明書] で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する

AU03-08E

本機で鍵を生成するときに、証明書を管理する SCEP（Simple Certificate Enrollment Protocol）サーバーに証明書の発行を要求することができます。SCEP サーバーから取得した証明書は、本機に自動的に登録されます。
本機で生成可能な鍵と発行要求可能な証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR（Certificate Signing Request：証明書署名要求）の仕様を参照してください。 **鍵と証明書(P. 41)**
本機が対応している SCEP は、Windows Server 2008 R2/2012 R2/2016 のネットワークデバイス登録サービス（NDES）です。HTTPS による通信はサポートしていません。

SCEP サーバーから証明書を取得／登録するには、SCEP サーバーとの通信設定をしてから、鍵の生成と証明書の発行要求を行います。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

SCEP サーバーの通信設定をする(P. 418)
鍵の生成と証明書の発行要求を行う(P. 419)
指定した日時に証明書の発行要求を行う(P. 420)

SCEP サーバーの通信設定をする

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- SCEP サーバーの URL とポート番号を手元に用意します。
- HTTPS による通信はサポートしていません。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［デバイス管理］ ▶ ［証明書発行要求設定(SCEP)］をクリックする

➡ ［証明書発行要求設定(SCEP)］画面が表示されます。

4 ［通信設定］の［編集］をクリックする

➡ ［通信設定の編集］画面が表示されます。

5 SCEP サーバーの情報を設定する

［SCEP サーバーの URL］

接続する SCEP サーバーの URL を入力します。

［ポート番号］

SCEP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

[通信タイムアウト]

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6 [OK] をクリックする

➡ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

鍵の生成と証明書の発行要求を行う

鍵の生成と証明書の発行要求は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して行うことはできません。
管理者権限が必要です。証明書を取得したあとは、本機の再起動が必要となります。
※指定した日時に証明書を発行するように設定している場合は、この方法での証明書の発行要求はできません。 **指定した日時に証明書の発行要求を行う(P. 420)**

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書発行要求] をクリックする

➡ [証明書発行要求] 画面が表示されます。

4 鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先]

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし]を選択します。

5 [発行要求] ▶ [OK]をクリックする

➠ 証明書の発行要求がSCEPサーバーに送信されます。

6 [証明書を取得しました。[再起動]をクリックして、デバイスを再起動してください。]と表示されたら、[再起動]をクリックする

➠ 本機が再起動し、鍵と証明書が登録されます。

7 リモートUIからログアウトする

MEMO

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- [証明書発行要求設定(SCEP)]画面で、詳細情報を確認できます。
  証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。
  証明書の発行要求状況にエラーが表示された(P. 423)

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- [設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [鍵と証明書設定]の[登録されている鍵と証明書]で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

指定した日時に証明書の発行要求を行う

証明書の発行要求を、指定した日時に行います。定期的に発行要求するように設定することもできます。

この設定は、パソコンからリモートUIを使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモートUIに管理者モードでログインする リモートUIを起動する(P. 465)

2 リモートUIのポータル画面で、[設定/登録]をクリックする リモートUIのポータル画面(P. 468)

3 [デバイス管理] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)]をクリックする

➠[証明書発行要求設定(SCEP)]画面が表示されます。

4 [証明書自動発行要求設定]の[編集]をクリックする

➠[証明書自動発行要求設定の編集]画面が表示されます。

5 [証明書自動発行要求タイマーを有効にする]にチェックマークを付け、発行要求の開始日と開始時刻を入力する

6 必要に応じて、自動発行要求時の設定をする

[発行要求時刻を自動調整する]

発行要求時刻を調整したい場合は、チェックマークを付けます。
発行要求開始時刻からランダムに 1 ～ 10 分時刻をずらし、SCEP サーバーの負荷を軽減します。

[通信エラー発生時、または証明書の発行要求を保留時にポーリングを行う]

証明書の発行が保留になっている場合などに、SCEP サーバーの状態を確認します。チェックマークを付け、ポーリングの回数と間隔を入力します。

※以下の場合は、ポーリングは行われず、エラーになります。

- 本機に登録可能な鍵と証明書の上限を超えた場合
- 取得したレスポンスデータにエラーがあった場合
- SCEP サーバー側でエラーが発生した場合

[定期的に発行要求を送信する]

証明書の発行要求を自動で定期的に行います。チェックマークを付け、発行要求の間隔をプルダウンメニューから選択します。
この設定を有効にした場合、発行要求開始日と開始時刻が再設定されます。

[証明書を取得後、自動的に本体を再起動する]

証明書を取得したあとに本機を再起動させる場合は、チェックマークを付けます。

[古い鍵と証明書を削除する]

鍵の使用先が同一の鍵と証明書を上書きする場合は、チェックをつけます。

7 [発行要求対象の鍵と証明書設定]で、鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」（CN）または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先]

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし]を選択します。

8 [OK]をクリックする

➡設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする

MEMO

発行要求の状況やエラー情報を確認する

- [証明書発行要求設定(SCEP)]画面で、詳細情報を確認できます。
  証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。
  証明書の発行要求状況にエラーが表示された(P. 423)

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- [設定/登録]▶[デバイス管理]▶[鍵と証明書設定]の[登録されている鍵と証明書]で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

証明書の発行要求状況にエラーが表示された

AU03-08F

証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

鍵と証明書の登録上限エラー(P. 423)
通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート)(P. 423)
通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー)(P. 423)
通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート)(P. 423)
通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ)(P. 424)
通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし)(P. 424)
通信エラー(TCP ERROR)(P. 424)
通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>)(P. 424)
保留(P. 424)

MEMO

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

鍵と証明書の登録上限エラー

本機に登録可能な鍵と証明書が上限に達しました。
使用していない鍵と証明書を削除します。

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート)

証明書のアルゴリズムが不明、またはサポートされていません。

証明書発行要求の[署名アルゴリズム]と[鍵の長さ(bit)]を正しく設定しなおします
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー)

証明書の完全性チェック（CMS メッセージの署名検証）に失敗しました。

証明書の発行要求をしなおします
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート)

SCEP サーバーとの通信が許可されていない、またはサポートされていません。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ)

CMS（PKCS#7）の authenticated 属性にある signingTime 属性の時刻が、SCEP サーバーの時刻からずれています。

本機の日付／時刻の設定を確認します

正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。
証明書の発行要求をしなおします。

日付／時刻を設定する(P. 463)

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし)

基準と一致する証明書かどうかを識別できません。

SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

通信エラー(TCP ERROR)

SCEP サーバーへの接続が失敗／通信タイムアウトが発生しました。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>)

HTTP エラーが発生しました。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

保留

SCEP サーバーから保留のステータスが返ってきました。

しばらく待ってから、証明書の発行要求を行います。

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する(P. 418)

発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する

AU03-08H

電子証明書の発行機関から入手した鍵と証明書／CA 証明書のファイルは、本機にインストールして登録することで使用できるようになります。

鍵と証明書／CA 証明書は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。
管理者権限が必要です。

必要な準備

- 本機で使用できる鍵と証明書／CA 証明書の条件を確認します。 **鍵と証明書(P. 41)**
- 鍵と証明書を登録する場合は、ファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを確認します。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］▶［鍵と証明書設定］または［CA 証明書設定］をクリックする

➡［鍵と証明書設定］画面または［CA 証明書設定］画面が表示されます。

4 ［鍵と証明書の登録］または［CA 証明書登録］をクリックする

➡［鍵と証明書の登録］画面または［CA 証明書登録］画面が表示されます。

5 鍵と証明書／CA 証明書のファイルをインストールする

- インストール可能な鍵のファイルサイズは 16 キロバイト以内です。
- インストール可能な CA 証明書のファイルサイズは 4 キロバイト以内です。

1 ［インストール］をクリックする

2 ［ファイルの指定］の［参照］をクリックし、インストールするファイルを指定する

3 ［インストール開始］をクリックする

➡［鍵と証明書の登録］画面の［インストールされている鍵と証明書］、または［CA 証明書登録］画面の［インストールされている CA 証明書］に、インストールしたファイルが追加されます。

6 鍵と証明書／CA 証明書を登録する

■鍵と証明書を登録する場合

1 登録する鍵と証明書ファイルの右側にある［登録］をクリックする

➡[秘密鍵パスワードの入力]画面が表示されます。

2 鍵の名前とパスワードを半角英数字で入力し、[OK]をクリックする

➡[鍵と証明書設定]画面の[登録されている鍵と証明書]に、登録した鍵と証明書が追加されます。

■CA 証明書を登録する場合

登録する CA 証明書ファイルの右側にある[登録]をクリックします。

➡[CA 証明書設定]画面の[登録されている CA 証明書]に、登録した CA 証明書が追加されます。

7 リモート UI からログアウトする



登録した証明書の詳細情報を確認／検証する

- [鍵と証明書設定]画面の[登録されている鍵と証明書]で、鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

登録した CA 証明書の詳細情報を確認／検証する

- [CA 証明書設定]画面の[登録されている CA 証明書]で、発行先をクリックすると、CA 証明書の詳細情報を確認できます。
- CA 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証]をクリックすると、CA 証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書／CA 証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。
- プリインストールされている CA 証明書は削除できません。プリインストールされている CA 証明書が不要な場合は、CA 証明書の右側にある[無効]をクリックします。

受信した証明書を OCSP で検証する

AU03-08J

OCSP（Online Certificate Status Protocol）とは、認証局が発行した証明書が失効していないかを、OCSP レスポンダー（OCSP に対応したサーバー）に問い合わせるためのプロトコルです。
本機が通信相手から証明書を受信したときに、OCSP を使用して証明書が有効かどうかを検証するように設定できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］▶［証明書失効確認(OCSP)設定］▶［編集］をクリックする

➠［証明書失効確認(OCSP)設定の編集］画面が表示されます。

4 ［証明書失効確認(OCSP)を使用する］にチェックマークを付ける

5 検証レベルと OCSP レスポンダーの設定をする

［証明書検証レベル］

OCSP レスポンダーに接続できない場合など、証明書失効確認ができなかったときに、証明書を有効とするかどうかを設定します。

［OCSP レスポンダー設定］

使用する OCSP レスポンダーの URL を選択します。

［任意の URL］

［任意の URL を使用する］または［証明書記載の URL、任意の URL の順に使用する］を選択した場合、OCSP レスポンダーの URL を入力します。

［通信タイムアウト］

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

誤送信／漏えいの防止

AU03-08K

意図せず誤った宛先にファクスを送信したり、プリントした文書を放置したりすることで、情報漏えいのリスクが生じます。また、パソコンからのファクス送信やメモリーメディア／モバイル機器の使用は、手軽で便利な反面、誤操作や情報の持ち出しにつながります。
各機能の利用状況に応じて、誤送信や漏えいを防ぐための対策をとり、より安全に本機を使用できるようにします。

送信先の制限／確認
スキャンデータやファクスを送信するときに指定できる宛先を制限したり、宛先を確認する画面を送信時に表示したりできます。
指定できる宛先を制限する(P. 429)
送信前に宛先を確認する(P. 431)

適切な機能制限
ファクス送信やメモリーメディア／モバイル機器の、機能の一部または機能自体の使用を禁止できます。
ファクス送信を制限する(P. 433)
メモリーメディアの使用を制限する(P. 435)
モバイル機器からの使用を制限する(P. 437)

プリント放置や持ち去りを防ぐ
パソコンから送信したプリントデータや受信したファクスをすぐにプリントせず、いったん本機に留め置くようにします。
プリントを制限する(P. 438)

■関連項目

LDAP サーバーが導入されている場合は、LDAP サーバー認証を適用することで、送信／保存機能を使用できるユーザーや送信先を限定できます。機能の使用を禁止することもできます。
送信／保存時に LDAP サーバーによるユーザー認証を行う(P. 394)

指定できる宛先を制限する

AU03-08L

送信機能の履歴から宛先を指定できなくしたり、送信先をアドレス帳や LDAP サーバーに登録されている宛先に限定したりすることで、スキャンデータやファクスの誤送信／漏えいを防ぎます。

送信履歴からの宛先指定を禁止する(P. 429)
登録済みの宛先のみに送信できるようにする(P. 430)

重要

パソコンから送信するファクスの宛先は制限されません

- 履歴からの送信や新規宛先の指定を禁止しても、パソコンからのファクス送信（PC ファクス）では、ユーザーが任意の宛先を指定してファクスを送信できます。より厳密に宛先を制限するには、パソコンからのファクス送信自体も禁止する必要があります。 **パソコンからのファクス送信を禁止する(P. 433)**

送信履歴からの宛先指定を禁止する

スキャンやファクスの送信履歴から宛先を指定できないようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［履歴からの再送信を制限］(P. 577)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［送信設定］▶［共通設定］▶［編集］をクリックする

➠［共通設定の編集］画面が表示されます。

4 ［共通設定］で、［履歴からの再送信を制限する］にチェックマークを付ける

5 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

登録済みの宛先のみに送信できるようにする

送信時に指定できる宛先を以下に限定します。

- アドレス帳の宛先
- LDAP サーバーに登録されている宛先

この機能を有効にすると、テンキーを使った宛先入力、およびアドレス帳の登録／編集ができなくなります。また、この機能を有効にする前に記録された送信履歴は削除され、指定できる上記の宛先だけが送信履歴に残るようになります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［新規宛先の制限］(P. 577)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［新規宛先の制限］▶［編集］をクリックする

➡［新規宛先の制限の編集］画面が表示されます。

4 ［新規宛先を制限する］にチェックマークを付ける

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

送信前に宛先を確認する

AU03-08R

メール／ファクス／I ファクスを送信する前に、宛先を確認する画面を表示するように設定します。宛先の指定や入力内容に間違いがないか確認することで、誤送信を防ぎます。

確認画面が表示されるタイミング

- **短縮ダイヤルの番号で宛先を指定したとき**
  短縮ダイヤルの番号で宛先を指定すると、登録されている宛先と宛先名が確認画面に表示されます。短縮ダイヤルの番号にグループが登録されている場合は、グループ名と宛先の件数が表示されます。
- **メール／ファクス／I ファクスを送信するとき**
  メール／ファクス／I ファクス送信で［スタート］を押すと、宛先の確認画面が表示されます。複数の宛先に送信するとき（同報送信）だけに表示するか、すべての送信時に表示するかを設定できます。
- **テンキーでファクス番号を入力したとき**
  テンキーでファクス番号を入力し、［スタート］を押すと、番号を再入力する画面が表示されます。2 件目以降の宛先を入力する場合は、次の宛先の入力前に表示されます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［共通設定］(P. 577)** ／ **［FAX 確認入力(誤送信防止)］(P. 589)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］をクリックする

➡［送信設定］画面が表示されます。

4 宛先の確認画面を表示するように設定する

■短縮ダイヤルの番号で宛先を指定したときに表示する場合

1 ［共通設定］▶［編集］をクリックする

➡［共通設定の編集］画面が表示されます。

2 ［共通設定］で、［短縮ダイヤル送信時に確認する］にチェックマークを付ける

3 ［OK］をクリックする

■メール／ファクス／I ファクスを送信するときに表示する場合

1 ［共通設定］▶［編集］をクリックする

➡［共通設定の編集］画面が表示されます。

2 ［共通設定］で、［送信前に宛先確認画面を表示する］にチェックマークを付け、表示対象を選択する

3 ［OK］をクリックする

■テンキーでファクス番号を入力したときに表示する場合

1 ［ファクス送信設定］▶［編集］をクリックする

➠［ファクス送信設定の編集］画面が表示されます。

2 ［基本設定］で、［ファクス番号入力時に確認入力する(誤送信防止)］にチェックマークを付ける

3 ［OK］をクリックする

5 リモート UI からログアウトする

ファクス送信を制限する

AU03-08S

パソコンからのファクス送信（PC ファクス）や、複数の宛先へのファクス一斉送信（同報送信）を禁止して、ファクスからの情報漏えいを防ぎます。

パソコンからのファクス送信を禁止する(P. 433)
複数の宛先へのファクス送信を禁止する(P. 433)

パソコンからのファクス送信を禁止する

ファクスドライバーからの送信を禁止することで、PC ファクスを使用できないようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［ﾌｧｸｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰから送信許可］(P. 589)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする**リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする**リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［送信設定］▶［ファクス送信設定］▶［編集］をクリックする

➠［ファクス送信設定の編集］画面が表示されます。

4 ［基本設定］で、［ファクスドライバーからの送信を許可する］のチェックマークを外す

5 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

複数の宛先へのファクス送信を禁止する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［同報送信の制限］(P. 590)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする**リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面 (P. 468)**

3 **[送信設定] [ファクス送信設定] [編集] をクリックする**

[ファクス送信設定の編集] 画面が表示されます。

4 **[基本設定] で、[同報送信の制限] を [同報送信不可とする] に設定する**

5 **[OK] をクリックする**

設定が反映されます。

6 **リモート UI からログアウトする**

メモリーメディアの使用を制限する

AU03-08U

USB メモリーなどのメモリーメディアは手軽で便利な反面、情報漏えいの要因となるおそれがあります。特定の機能ごとにメモリーメディアの使用を禁止したり、メモリーメディア自体の使用を禁止したりできます。

スキャン／プリント時にメモリーメディアを使用できないようにする(P. 435)
メモリーメディア自体を使用できないようにする(P. 436)

MEMO

- ここの設定でメモリーメディアの使用を制限しても、背面の USB ポートにパソコンを接続して使うことはできます。パソコンの接続も制限する場合は、以下を参照してください。
  パソコンと USB 接続できないようにする(P. 448)

スキャン／プリント時にメモリーメディアを使用できないようにする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［メモリーメディア設定］(P. 600)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［ファイル利用設定］▶［メモリーメディア設定］▶［編集］をクリックする

➡［メモリーメディア設定の編集］画面が表示されます。

4 使用できないようにする機能のチェックマークを外し、［OK］をクリックする

■スキャンデータをメモリーメディアに保存できないようにする場合
［メモリーメディアに保存する］のチェックマークを外します。

■メモリーメディア内のデータをプリントできないようにする場合
［メモリーメディアプリントする］のチェックマークを外します。

5 本機を再起動する **再起動する(P. 116)**

➡設定が反映されます。

メモリーメディア自体を使用できないようにする

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。 ［USB 設定］(P. 524)
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［外部インターフェイス設定］▶［編集］をクリックする

➠［外部インターフェイス設定の編集］画面が表示されます。

4 ［USB 外部記憶デバイスを使用する］のチェックマークを外し、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠設定が反映されます。

モバイル機器からの使用を制限する

AU03-08W

本機は、メーカー共通で使用可能な Mopria®のプラグインに対応しています。
Mopria®を使用することで、キヤノンの専用プラグインをインストールすることなく、スマートフォンなどの任意のアプリや、Chrome OS 搭載機器からプリントできます。
モバイル機器からの使用は、便利な反面、情報漏えいの要因となるおそれがあります。Mopria®の使用を禁止できます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 [ネットワーク設定] [Mopria 設定] [編集] をクリックする

[Mopria 設定の編集] 画面が表示されます。

4 [Mopria を使用する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする

設定が反映されます。

5 リモート UI からログアウトする

MEMO

- Mopria®の設定が有効な場合、以下のネットワーク設定も連動して有効になります。
  - HTTP **[HTTP を使用] (P. 522)**
  - IPP 印刷 **[IPP 印刷の設定] (P. 521)**
  - mDNS（IPv4/IPv6） **[mDNS 設定] (P. 519)**
  - Network Link Scan **[Network Link Scan 設定] (P. 522)**

プリントを制限する

AU03-08X

プリントを実行する前に暗証番号の入力を必須にしたり、受信したファクスをすぐにプリントしないようにしたりします。プリントした用紙の放置や持ち去りを防ぐだけでなく、不要なプリントを中止できるようにすることで用紙の節約にもつながります。

パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する(P. 439)
受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)

■関連項目

部門別 ID 管理機能を利用することで、登録した部門 ID ごとに、プリントできるページ数や、プリント機能自体の使用を制限できます。また、部門 ID が不明なプリントを制限することもできます。

部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理(P. 384)

パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する

AU03-08Y

セキュアプリントとは、パソコンからのプリント時に暗証番号を設定してから本機にプリントデータを送信し、設定されている暗証番号を本機で入力するによってプリントが実行される機能です。
パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定することで、プリントされた用紙の放置や持ち去りを防ぎます。また、プリント実行前にプリントデータを確認することにより、ミスプリントの防止にも役立ちます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［セキュアプリント］(P. 543)**

管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［セキュアプリント設定］▶［編集］をクリックする

➡［セキュアプリント設定の編集］画面が表示されます。

4 ［セキュアプリントする］にチェックマークが付いていることを確認する

5 ［プリンタージョブを制限する］にチェックマークを付ける

6 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

MEMO

- セキュアプリントのプリント方法や、セキュアプリントのデータの保存時間については、以下を参照してください。
  暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント(P. 228)
  暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する(P. 232)

受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信

AU03-090

メモリー受信とは、ファクス受信した直後にプリントしないで、一時的に本機のメモリーに保存する機能です。
メモリー受信したファクスは任意のタイミングでプリントできるため、プリントされたファクスの放置や持ち去りを防ぐだけでなく、不要なファクスをプリントせずに削除することで用紙の節約にもつながります。

メモリー受信を設定する(P. 440)
メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)

メモリー受信を設定する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。**［ファクスメモリー受信設定］(P. 593)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［受信/転送設定］▶［共通設定］をクリックする

➡［共通設定］画面が表示されます。

4 ［メモリー受信設定］の［編集］をクリックする

➡［メモリー受信設定の編集］画面が表示されます。

5 ［メモリー受信を使用する］にチェックマークを付ける

6 必要に応じて、メモリー受信に関する機能を設定する

■ファクスのプレビューを確認できるようにする場合

［ファクスプレビューを使用する］にチェックマークを付けます。
プレビューはリモート UI で確認できます。また、プレビュー機能を有効にすると、ファクスの詳細確認や、メモリー受信の設定が有効な状態でのプリントもできるようになります。

※［メモリー受信時刻を指定する］と同時に設定できません。

■受信結果レポートをプリントしてメモリー受信したことを知らせる場合

［レポートプリントする］にチェックマークを付けます。

※この機能を使うには、受信結果レポートを有効にする必要があります。 **レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)**

■指定した時間帯のみメモリー受信する場合

［メモリー受信時刻を指定する］にチェックマークを付け、開始時刻と終了時刻を入力します。

7 ［OK］をクリックする

➠ 設定が反映されます。

8 リモート UI からログアウトする

重要

- メモリー受信の設定が無効になると、メモリーに保存されているファクスはすべて自動でプリントされます。メモリー受信の設定は、以下のいずれかの場合に無効になります。
  - ［メモリー受信を使用する］のチェックマークを外した場合
  - ［メモリー受信時刻を指定する］の終了時刻になった場合

メモリー受信したファクスを確認／プリントする

メモリー受信の設定でプレビュー機能を有効にすると、ファクスの詳細確認や、メモリー受信の設定が有効な状態でのプリントができます。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して確認／プリントする方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［状況確認］から確認します。ただし、一部の項目は操作パネルでは確認できません。また、操作パネルを使用してプリントすることはできません。 **ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［状況確認/中止］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［受信］の［ジョブ状況］をクリックする

➠ ［受信 : ジョブ状況］画面が表示されます。

4 ファクスを確認／プリントする



- 受付番号をクリックすると、［ジョブ詳細情報］画面が表示されます。受信時刻やページ数、プレビュー表示などを確認できます。
- ［すべて印刷］をクリックすると、メモリーに保存されているファクスがすべてプリントされます。

5 確認／プリントが終わったら、リモート UI からログアウトする

不正使用の防止

AU03-091

本機は、アドレス帳やプリントデータなど、さまざまな情報を扱います。また、本機には、効率的に管理／操作するための各種設定が用意されています。便利な反面、情報や設定に誰もがアクセスできると、情報漏えいやトラブルの原因につながります。
各機能の利用状況に応じて、アクセス制限や機能の無効化の対策を行い、安全に本機を使用できるようにします。

情報／設定へのアクセス制限

本機の情報／設定にアクセスするユーザーや操作を制限することで、不正使用を防ぎ、機密情報を保護します。

アドレス帳の登録／編集を制限する(P. 444)
リモート UI の使用を制限する(P. 446)

使用しない機能の無効化

使用しない機能が明らかな場合は、その機能を無効にすることで、外部からの侵入を防ぐことができます。

パソコンと USB 接続できないようにする(P. 448)
LPD/RAW/WSD を設定する(P. 449)
HTTP 通信を使用できないようにする(P. 452)

■関連項目

管理者用のアカウントや、本機を使用するユーザーまたはグループの管理については、以下を参照してください。

管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)
部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理(P. 384)

アドレス帳の登録／編集を制限する

AU03-092

アドレス帳の無断登録や編集を防ぐために、暗証番号を設定したり、登録方法を制限したりします。

アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する(P. 444)
ファクス送信履歴からのアドレス帳登録を禁止する(P. 445)

MEMO

- より厳密に誤送信や情報漏えいを防ぐ場合は、登録済みの宛先のみに送信できるようにして、アドレス帳の登録／編集自体を禁止します。 **指定できる宛先を制限する(P. 429)**

アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する

アドレス帳を登録／編集する際に、暗証番号の入力が必要になるようにします。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［宛先設定］から設定します。 **［アドレス帳の暗証番号］(P. 610)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［アドレス帳の暗証番号］▶［編集］をクリックする

➡［アドレス帳の暗証番号の編集］画面が表示されます。

4 ［暗証番号を設定/変更する］にチェックマークを付け、暗証番号を設定する

［アドレス帳の暗証番号］と［確認入力］の両方に同じ数字を入力します。

※「00」や「0000000」など、0 だけの暗証番号は設定できません。

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

MEMO

暗証番号の設定を解除する

- ［アドレス帳の暗証番号］の入力内容を消去し、空欄の状態で［OK］をクリックします。

ファクス送信履歴からのアドレス帳登録を禁止する

ファクス送信履歴に残っている宛先を、アドレス帳に登録できないように制限します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［履歴からのアドレス帳登録］(P. 590)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［送信設定］▶［ファクス送信設定］▶［編集］をクリックする

➡［ファクス送信設定の編集］画面が表示されます。

4 ［履歴からのアドレス帳登録を制限する］にチェックマークを付ける

5 ［OK］をクリックする

➡設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

リモート UI の使用を制限する

AU03-093

リモート UI はパソコンから本機を操作できる利便性がある反面、第三者がリモート UI を介して本機へアクセスするリスクを伴います。
リモート UI の使用時に、パスワードの入力が必要になるように設定することで、第三者による不正使用を防ぎます。
リモート UI を使用しない場合は、リモート UI の機能自体を無効にすることをおすすめします。

リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)
リモート UI を使用できないようにする(P. 447)

リモート UI 使用時のパスワードを設定する

リモート UI のパスワードを知っているユーザーだけが、リモート UI を使用できるようにします。
なお、部門別 ID 管理中は部門 ID で認証を行うため、この設定は不要です。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
「パスワード」を設定したあとは、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［管理設定］▶［ライセンス/その他］*1▶［リモート UI 設定］▶［パスワードの使用］を押す

➡［パスワードの使用］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

*1 機種によっては［リモート UI 設定/ファームウェア更新］と表示されます。

3 ［パスワードの使用］を［ON］に設定し、リモート UI のパスワードを入力して、［確定］を押す

4 同じパスワードを入力し、［確定］を押す

➡設定が反映されます。

MEMO

設定メニューの［管理設定］を初期化した場合

- 操作パネルの設定メニューで、新しいリモート UI のパスワードを再設定します。 **［パスワードの使用］(P. 620)**

リモート UI を使用できないようにする

リモート UI 自体を使用できないようにすることで、ネットワークを介した本機への不正アクセスのリスクを減らします。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［管理設定］▶［ライセンス/その他］*1▶［リモート UI 設定］▶［リモート UI 設定］を押す

➡［リモート UI 設定］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

*1 機種によっては［リモート UI 設定/ファームウェア更新］と表示されます。

3 ［リモート UI を使用］を［OFF］に設定し、［確定］▶［OK］を押す

4 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

パソコンと USB 接続できないようにする

AU03-094

本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートを使用できないようにすることで、セキュリティー対策が講じられたネットワークを介さずに本機が利用されるリスクを低減します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［USB 設定］(P. 524)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［外部インターフェイス設定］▶［編集］をクリックする

➡［外部インターフェイス設定の編集］画面が表示されます。

4 ［USB デバイスとして使用する］のチェックマークを外し、［OK］をクリックする

5 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➡設定が反映されます。

MEMO

- この設定で背面の USB ポートの使用を制限しても、前面の USB ポートにメモリーメディアを接続して使うことはできます。メモリーメディアの USB 接続も制限する場合は、以下を参照してください。
  メモリーメディアの使用を制限する(P. 435)

LPD/RAW/WSD を設定する

AU03-095

パソコンから文書をプリント／スキャンするときに使用する以下のプロトコルを、本機で使用するかどうかを設定します。
使用しないプロトコルが明らかな場合は、そのプロトコルを無効にすることをおすすめします。
LPD と RAW を使用する場合は、プリントデータの受信を中止するまでの時間を設定できます。

LPD
ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しないプロトコルです。TCP/IP のネットワーク環境で、広く使用されています。

RAW
Windows 独自のプリントデータ形式のプロトコルです。Windows 環境では、標準的に使用されています。

WSD
Windows からネットワーク上のプリンターやスキャナーを自動検出することができるプロトコルです。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［TCP/IP 設定］(P. 516)**
管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［ネットワーク設定］をクリックする

4 LPD/RAW/WSD の設定をする

■LPD の設定をする場合

1 ［LPD 設定］▶［編集］をクリックする
➡［LPD 設定の編集］画面が表示されます。

2 LPD を使用するかどうかを設定する
LPD を使用しない場合は、［LPD 印刷を使用する］のチェックマークを外し、手順 5 に進みます。

3 ［受信タイムアウト］に時間を入力する
プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

■RAW の設定をする場合

1 ［RAW 設定］▶［編集］をクリックする
➡［RAW 設定の編集］画面が表示されます。

2 RAW を使用するかどうかを設定する

RAW を使用しない場合は、［RAW 印刷を使用する］のチェックマークを外し、手順 5 に進みます。

3 ［受信タイムアウト］に時間を入力する
プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を分単位で入力します。

■WSD の設定をする場合

1 ［WSD 設定］▶［編集］をクリックする

➠［WSD 設定の編集］画面が表示されます。

2 WSD を使用するかどうかを機能ごとに設定する
WSD を使用しない場合は、WSD の使用を制限する機能のチェックマークを外します。

WSD を使用してプリントする場合

［WSD 印刷を使用する］にチェックマークを付けます。
［WSD 参照を使用する］にもチェックマークが付き、WSD を使用してパソコンから本機の情報が取得されるようになります。

WSD を使用してスキャンする場合

［WSD スキャンを使用する］にチェックマークを付けます。スキャナードライバーをインストールしていないパソコンからスキャンできるようになります。
本機からスキャンする際に、WSD で接続中のパソコンを保存先に指定できるようにする場合は、［PC スキャンを使用する］にもチェックマークを付けます。

マルチキャストによる本機の探索に応答する場合

［マルチキャスト探索を使用する］にチェックマークを付けます。
スリープモード中にマルチキャスト探索パケットを受信した場合に、応答せずにスリープモードを維持したいときは、チェックマークを外します。

5 ［OK］をクリックする

6 本機を再起動する 再起動する(P. 116)

➠設定が反映されます。

MEMO

WSD ネットワークデバイスを追加する

- ［  ］（スタート）▶［  ］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］▶［プリンターまたはスキャナーを追加します］の［デバイスの追加］▶本機の［デバイスの追加］をクリックし、画面の指示に従って操作します。
- WSD ネットワークでドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

ポート番号を変更する

- 各プロトコルのポート番号を変更したい場合は、以下を参照してください。

ポート番号を変更する(P. 401)

HTTP 通信を使用できないようにする

AU03-096

USB 接続のみで本機を使用する場合や、HTTP 通信を必要とする機能（リモート UI、WSD プリント、AirPrint など）を使用しない場合は、HTTP 通信自体を無効にすることをおすすめします。

ここでは、操作パネルを使用して設定する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［TCP/IP 設定］ ▶ ［HTTP を使用］を押す

➡［HTTP を使用］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 ［OFF］ ▶ ［はい］を押す

セキュリティーポリシーの導入

AU03-097

キヤノンの複合機やプリンターには、セキュリティーに関する複数の設定を、ポリシーに従ってまとめて設定／管理するセキュリティーポリシー機能があります。
本機では、セキュリティーポリシーの編集はできませんが、他機やデバイス管理ソフトウェアで編集したセキュリティーポリシーを適用することができます。

セキュリティーポリシーを本機に適用する(P. 453)
本機に適用されているセキュリティーポリシーを確認する(P. 454)

セキュリティーポリシーを本機に適用する

他機やデバイス管理ソフトウェアからエクスポートしたセキュリティーポリシーを、本機にインポートしてセキュリティーポリシーを適用します。
※imageRUNNER ADVANCE シリーズからエクスポートしたセキュリティーポリシーを、本機に適用する場合は、デバイス管理ソフトウェアを使用してください。

セキュリティーポリシーのインポートは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用してインポートすることはできません。
管理者権限が必要です。セキュリティーポリシーをインポートすると、本機が自動的に再起動します。

重要

インポートが完了するまでは電源を切らない

- 処理が完了するまで数分かかることがあります。処理中に電源を切ると、データが破損したり、本機が故障したりするおそれがあります。

インポート中は本機の操作をしない

- インポートする前に、本機がプリントなどの処理中でないことを確認してください。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［データ管理］▶［インポート］をクリックする

➡［インポート］画面が表示されます。

4 ［ファイルのパス］の［参照］をクリックし、インポートするファイルを指定する

デバイス設定値情報ファイル（*.dcm）形式のファイルをインポートします。

5 エクスポート時に設定したパスワードを［復号化パスワード］に入力する

6 **［インポートする項目の選択］の［設定/登録］にチェックマークを付ける**

7 **［インポート開始］▶［OK］をクリックする**

➡セキュリティーポリシーが本機にインポートされます。
インポートが完了すると、本機が自動的に再起動します。

8 **［OK］をクリックする**

MEMO

セキュリティーポリシーのエクスポート

- 本機に適用したセキュリティーポリシーをエクスポートして、他機（セキュリティーポリシー設定に対応したキヤノン製機器）に適用できます。**アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)**

  ※本機からエクスポートしたセキュリティーポリシーを、imageRUNNER ADVANCE シリーズに適用する場合は、デバイス管理ソフトウェアを使用してください。

パスワードで保護されたセキュリティーポリシーの適用

- 他機がセキュリティーポリシーをパスワードで保護していた場合、そのセキュリティーポリシーを適用すると、本機のセキュリティーポリシーにも同じパスワードが設定されます。以降は、パスワードが同じセキュリティーポリシーのみインポートできます。

  ※本機からエクスポートするセキュリティーポリシーにも、同じパスワードが設定されます。

本機に適用されているセキュリティーポリシーを確認する

セキュリティーポリシーの項目と適用状況を確認します。

セキュリティーポリシーの確認は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して確認することはできません。
管理者権限が必要です。

1 **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 **［セキュリティー設定］▶［セキュリティーポリシーの確認］をクリックする**

➡［セキュリティーポリシーの確認］画面が表示されます。

4 **セキュリティーポリシーの項目と適用状況を確認する** **セキュリティーポリシーの項目(P. 456)**

5 **確認が終わったら、リモート UI からログアウトする**

セキュリティーポリシーの項目

AU03-098

セキュリティーポリシーの項目と適用状況は、リモート UI の［セキュリティーポリシーの確認］画面で確認できます。
本機のセキュリティーポリシーは、他機やソフトウェアで設定した内容が適用されています。そのため、本機にはない機能の項目も含まれますが、それらの項目は本機の設定や動作には影響しません。



- **［インターフェイス］(P. 456)**
- **［ネットワーク］(P. 457)**
- **［認証］(P. 458)**
- **［鍵/証明書］(P. 459)**
- **［ログ］(P. 459)**
- **［ジョブ］(P. 459)**
- **［ストレージ］(P. 460)**

［インターフェイス］

［無線ポリシー］
無線接続を禁止することで、不特定多数のアクセスを抑止します。

［ダイレクト接続の使用を禁止する］
モバイル機器からのアクセスができなくなります。 **［ダイレクト接続設定］(P. 508)**

［Wi-Fi の使用を禁止する］
無線 LAN ルーターやアクセスポイントを介した無線接続ができなくなります。 **［有線 LAN / Wi-Fi 選択］(P. 508)**

［USB ポリシー］
USB 接続を禁止することで、不正な接続やデータの持ち出しを防ぎます。

［USB デバイスとしての使用を禁止する］
パソコンとの USB 接続ができなくなります。 **［USB 設定］(P. 524)**

［USB 外部記憶デバイスの使用を禁止する］
USB メモリーが使用できなくなります。 **［USB 設定］(P. 524)**

[ネットワーク]

[通信の運用ポリシー]
署名や証明書の検証を必須にすることで、より安全に通信できます。

[SMB/WebDAV サーバー機能では署名を必ず検証する]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[TLS 通信時は必ずサーバー証明書を検証する]
TLS 暗号化通信時に、CN（Common Name）を含む証明書の検証を行うようになります。
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)
LDAP サーバーを登録する(P. 89)
※IEEE 802.1X ネットワークとの通信は適用対象外です。

[サーバー機能では平文認証を禁止する]
認証情報がセキュアな方式のみに限定されます。本機をサーバーとして利用する際に、平文認証や平文認証を使う機能を使用できなくなります。**［専用ポートの認証方式］(P. 510)**
※デバイス管理ソフトウェアやドライバーなどが古いバージョンの場合は、本機への接続ができなくなることがあります。最新バージョンのものをお使いください。

[SNMPv1 の使用を禁止する]
パソコンからデバイス情報を取得する際に、SNMPv1 が使用できなくなります。**［SNMP 設定］(P. 509)**

[ポートの利用ポリシー]
使用しないポートを閉じることで、外部からの侵入を防ぎます。

[LPD ポートを制限する(ポート番号 : 515)]
LPD を使用したプリントができなくなります。**［LPD 設定］(P. 520)**

[RAW ポートを制限する(ポート番号 : 9100)]
RAW を使用したプリントができなくなります。**［RAW 設定］(P. 520)**

[FTP ポートを制限する(ポート番号 : 21)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[WSD ポートを制限する(ポート番号 : 3702, 60000)]
WSD を使用した機能が使用できなくなります。**［WSD 設定］(P. 521)**

[BMLinkS ポートを制限する(ポート番号 : 1900)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[IPP ポートを制限する(ポート番号 : 631)]
モバイル機器のアプリを使用したプリント機能の一部が無効になり、関連するプリントができなくなります。**モバイル／クラウド連携(P. 350)**

[SMB ポートを制限する(ポート番号 : 137, 138, 139, 445)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[SMTP ポートを制限する(ポート番号 : 25)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[専用ポートを制限する(ポート番号 : 9002, 9006, 9007, 9011-9015, 9017-9019, 9022, 9023, 9025, 20317, 47545-47547)]
専用ポートが使用できなくなります。**[専用ポートを使用] (P. 510)**

[リモートオペレーションのポートを制限する(ポート番号 : 5900)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[SIP(IPFAX)ポートを制限する(ポート番号 : 5004, 5005, 5060, 5061, 49152)]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[mDNS ポートを制限する(ポート番号 : 5353)]
mDNS 設定（IPv4/IPv6）と、モバイル機器のアプリを使用したプリント機能の一部が無効になります。mDNS によるネットワーク上の探索や自動設定のほか、関連するプリントができなくなります。
[mDNS 設定] (P. 519)
モバイル／クラウド連携(P. 350)

[SLP ポートを制限する(ポート番号 : 427)]
マルチキャスト探索設定の探索応答が無効になり、SLP によるネットワーク上の探索や自動設定ができなくなります。
SLP 通信を設定する(P. 98)

[SNMP ポートを制限する(ポート番号 : 161)]
SNMP を使用した機能が使用できなくなります。SNMP によるパソコンからのデバイス情報の取得や設定ができなくなる場合があります。
[SNMP 設定] (P. 509)
[Canon PRINT でスキャンを使用] (P. 616)

[認証]

[認証の運用ポリシー]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[ゲストユーザーのデバイス使用を禁止する]

[自動的にログアウトする設定を強制する]

[パスワードの運用ポリシー]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[外部サーバーに対するパスワードのキャッシュ保存を禁止する]

[デフォルトパスワード使用時に警告を表示する]

[リモートアクセス時のデフォルトパスワードの使用を禁止する]

[パスワードの設定ポリシー]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[パスワードの最小文字数]

[パスワードの有効期間]

[同じ文字が 3 文字以上連続する文字列の使用を禁止する]

[英大文字 1 文字以上の使用を強制する]

[英小文字 1 文字以上の使用を強制する]

[数字 1 文字以上の使用を強制する]

[記号 1 文字以上の使用を強制する]

[ロックアウトのポリシー]
入力したパスワードによるログイン操作が一定回数連続で失敗した場合、しばらくの間はログインできないようにします。

[ロックアウトを有効にする]
ロックアウトが有効になります。ただし、ロックアウトのしきい値とロックアウト時間は、本機で個別に設定します。
[ロックアウト設定] (P. 625)

[鍵/証明書]

弱い暗号を使用できないようにしたり、ユーザーのパスワードと鍵を特定のハードウェア内で暗号化したりすることで、大切なデータを保護します。

[弱い暗号の使用を禁止する]
弱い暗号が使用できなくなります。**[暗号設定] (P. 623)**

[弱い暗号を用いた鍵/証明書の使用を禁止する]
弱い暗号を使用した鍵と証明書が使用できなくなります。

[パスワードと鍵の保存に TPM を使用する]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[ログ]

ログの記録を必須にすることで、定期的に監査できるようにします。

[監査ログの記録を強制する]
監査ログが常に記録されるようになります。

[SNTP の設定を強制する]
SNTP による時刻同期が必須になります。

[ジョブ]

[印刷のポリシー]
本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[受信したジョブの即時印刷を禁止する]

[送受信のポリシー]
送信時の宛先操作や受信データの処理方法を制限します。

[アドレス帳に登録済みの宛先へのみ送信を許可する]
新規宛先を指定できなくなります。アドレス帳に登録されている宛先のみ送信できます。**[新規宛先の制限] (P. 577)**

[FAX 番号の確認入力を強制する]
ファクス番号の入力時に確認入力が必要になります。 **[FAX 確認入力(誤送信防止)] (P. 589)**

[自動転送を禁止する]
ファクスの自動転送ができなくなります。 **[転送設定] (P. 598)**

[ストレージ]

本機には該当する機能がないため、セキュリティーポリシーは適用されません。

[データの完全消去を強制する]

管理／設定

管理／設定 462
日付／時刻を設定する 463
パソコンによる本機の管理 - リモート UI 464
リモート UI を起動する 465
リモート UI のポータル画面 468
リモート UI で使用状況／履歴を確認する 470
使用状況の確認 472
プリントページ数を確認する - カウンター確認 473
レポート／リストをプリントして確認する 475
レポート／リストのプリント設定を変更する 477
ログを送信する 479
メールボックスをクリアする 481
アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする 482
アドレス帳の各項目について 486
ファームウェアをアップデートする 490
設定／データを初期化する 493

管理／設定

AU03-099

本機を運用するために必要となる、管理／設定に関する機能について説明します。

本機の稼働／使用状況の確認や各種設定

日付／時刻の設定

本機の日付と時刻を設定します。日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

日付／時刻を設定する(P. 463)

稼働状態の確認や設定の変更 - リモート UI

パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりします。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)

使用状況の確認 - 操作パネル

本機の操作パネルでプリント総ページ数を確認したり、通信結果／設定内容などのレポートやリストをプリントしたりします。

使用状況の確認(P. 472)

ログの送信

本機の使用状況のログを管理サーバーに送信します。

ログを送信する(P. 479)

使用するサーバーや各種データ／ファームウェアの管理

サーバーのメールボックスのクリア

本機のメールアドレス宛てに送信された通知メールによって、メールボックスの容量が不足しないよう、必要に応じてサーバーのメールボックスのメールを削除します。

メールボックスをクリアする(P. 481)

アドレス帳や設定の管理

インポート／エクスポート機能を利用して、アドレス帳や各種設定を定期的にバックアップします。また、登録や設定の手間を省いて、アドレス帳や各種設定を他機と共有することができます。

アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)

ファームウェアのアップデート

本機に機能が追加された場合や、不具合が改修された場合は、ファームウェアが更新されます。最新のファームウェアにアップデートすることで、さらに安定した状態で快適に本機を使用できます。

ファームウェアをアップデートする(P. 490)

設定／データの初期化

本機を交換するときや廃棄するときは、すべての設定とデータを初期化します。初期化することで、機密情報の流出や、第三者による不正使用を防ぎます。

設定／データを初期化する(P. 493)

■関連項目

ネットワーク設定やファクス設定など、本機を使用するために必要な設定については、以下を参照してください。

セットアップ(P. 54)

日付／時刻を設定する

AU03-09A

本機の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となるため、正確にセットする必要があります。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して設定する方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］から設定します。**［タイマー/電力設定］(P. 505)**

1 リモート UI にログインするリモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックするリモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［タイマー設定］▶［編集］をクリックする

➠［タイマー設定の編集］画面が表示されます。

4 現在の日付と時刻を入力する

5 本機を使用する地域に合わせてタイムゾーンを設定する

インターネットを介した通信では、UTC（Coordinated Universal Time）を正しく設定することが前提となっています。UTC とは、世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に ＋ 9 時間の時差があります。

6 ［OK］をクリックする

➠設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

パソコンによる本機の管理 - リモート UI

AU03-09C

リモート UI とは、パソコンの Web ブラウザーを使用して、本機の稼働状態を確認したり、設定の変更やアドレス帳の登録を行ったりする機能です。離れた場所から本機の管理／設定ができ、また、手間のかかる設定や登録をパソコンで効率よく行うことができます。
対象機種についてはこちらをご覧ください。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

リモート UI は、以下の 2 つのモードに分かれています。ログインしたモードにより、リモート UI でできることが異なります。

- **管理者モード**
  リモート UI のすべての機能を使用できます。
- **一般ユーザーモード**
  使用できる機能が、使用状況／履歴の確認やプリントの中止、一部の設定の変更などに限られます。

リモート UI を起動する(P. 465)
リモート UI のポータル画面(P. 468)
リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)

■関連項目

第三者によるリモート UI の不正使用を防ぐため、以下の機能を設定することをおすすめします。

管理者 ID
管理者専用のアカウントである管理者 ID を設定して、この ID を知っているユーザーだけが管理者モードでログインできる状態にします。
管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)

リモート UI のパスワード
部門別 ID 管理が設定されていない場合は、リモート UI のログイン時にパスワードの入力が必要となるように設定して、このパスワードを知っているユーザーだけがリモート UI を使用できる状態にします。
リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)

リモート UI を起動する

AU03-09E

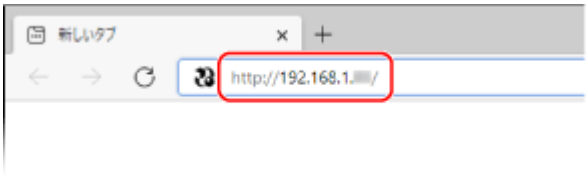
リモート UI を使用するには、パソコンの Web ブラウザーから本機の IP アドレスにアクセスし、管理者モードまたは一般ユーザーモードでログインします。ログインしたモードにより、リモート UI でできることが異なります。
なお、部門別 ID 管理中は、ログイン時に部門 ID の入力が必要です。このとき、管理者 ID の設定有無により、ログインするモードが異なります。

必要な準備

- リモート UI の動作環境を確認します。 **サポート環境(P. 46)**
- リモート UI を起動するパソコンと本機をネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
- 本機の IP アドレスを確認します。 **ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)**

1 パソコンの Web ブラウザーで、以下の URL にアクセスする

http://<本機の IP アドレス>/



➠ リモート UI のログイン画面が表示されます。
リモート UI の通信が暗号化されている場合は、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がなければ操作を続行します。

IPv6 アドレスを入力するときは、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

入力例：
http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/

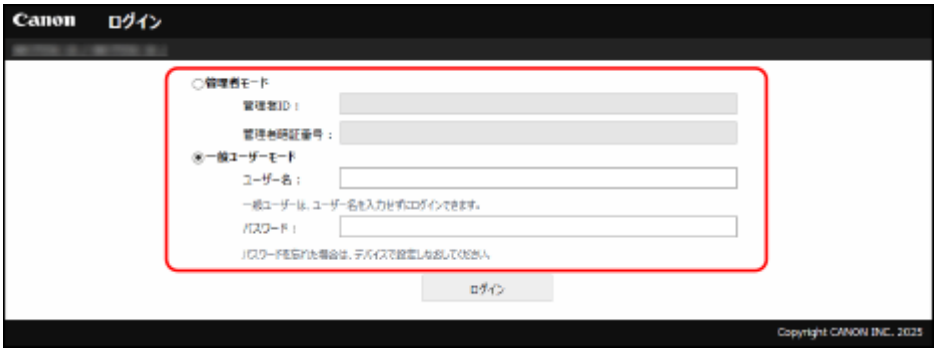
■リモート UI のログイン画面が表示されない場合

［リモート UI にアクセスできません。］などのメッセージが表示されて、ログイン画面が表示されない場合は、以下を参照してください。
リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない(P. 750)

2 ログインに必要な項目を入力する

■部門別 ID 管理が設定されていない場合

［管理者モード］または［一般ユーザーモード］を選択し、設定状況に応じて必要な項目を入力します。



[管理者モード]

管理者 ID が設定されている場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

※管理者モードでログインするには、管理者暗証番号を初期設定から変更しておく必要があります。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)**

[一般ユーザーモード]

ユーザー名を入力しなくてもログインできますが、待機中のプリントを確認／中止する場合は、プリントのユーザー名を入力します。

※プリンタードライバーでユーザー名を設定していない場合は、プリントデータを送信したパソコンのログオンユーザー名などが自動的に設定されています。

[パスワード]

リモート UI のパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。

■部門別 ID 管理が設定されている場合

部門 ID と暗証番号を入力します。



管理者 ID が設定されている場合

管理者モードでログインする場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

管理者 ID 以外の部門 ID を入力した場合は、一般ユーザーモードでログインします。

※管理者モードでログインするには、管理者暗証番号を初期設定から変更しておく必要があります。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)**

管理者 ID が設定されていない場合

いずれの部門 ID を入力しても、すべて管理者モードでログインします。

3 [ログイン] をクリックする

➠ リモート UI のポータル画面が表示されます。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

4 目的の操作が終わったら、[ログアウト] をクリックする

➠ リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

5 Web ブラウザーを閉じる

重要

- リモート UI の使用中は、他の Web サイトにアクセスしないでください。

MEMO

自動的にログアウトされるまでの時間を設定する

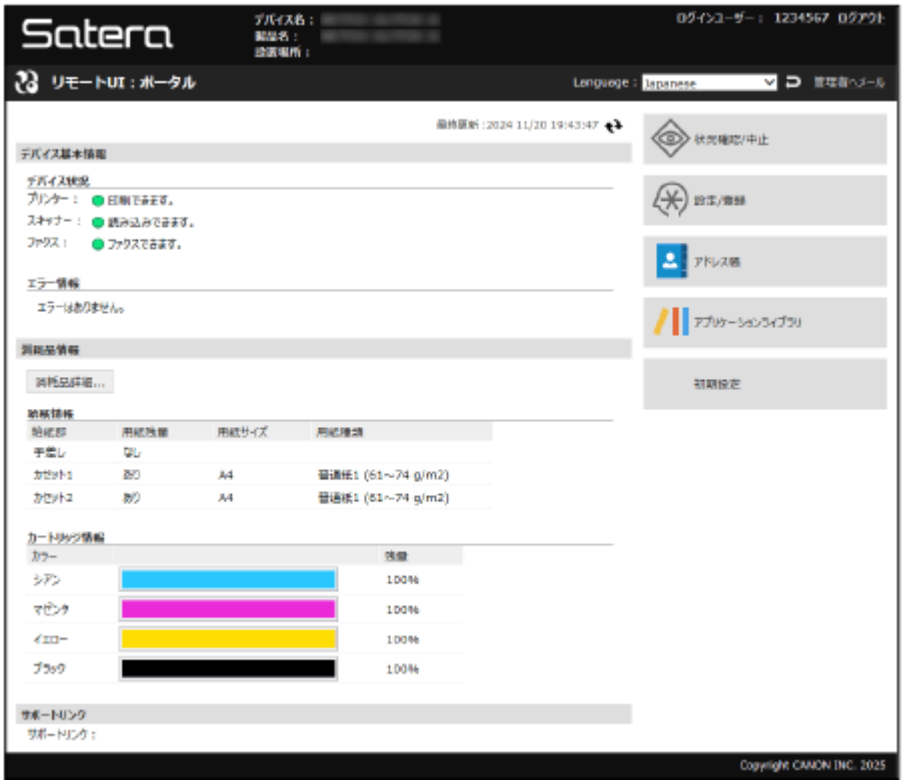
- リモート UI にログインしたあと、操作がない状態で一定時間が経過すると、自動的にログアウトされます。ログアウトされるまでの時間は、以下の手順で設定できます。

  リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [セッション設定] ▶ [編集] ▶ ログアウトされるまでの時間を入力 ▶ [OK]

リモート UI のポータル画面

AU03-09F

リモート UI にログインすると、ポータル画面（リモート UI のトップページ）が表示されます。本機の稼働状態や各種情報を確認したり、ボタンをクリックして設定を変更したりできます。



[デバイス名]
[設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [デバイス情報設定] に設定されているデバイス名が表示されます。

[製品名] ／ [製品名(シリアル No.)]
本機の製品名が表示されます。
機種によってはシリアル No.も表示されます。

[設置場所]
[設定/登録] ▶ [デバイス管理] ▶ [デバイス情報設定] に設定されている設置場所が表示されます。

[ログインユーザー]
ログインしたユーザーの情報が表示されます。

[ログアウト]
リモート UI からログアウトして、ログイン画面に戻ります。

[Language]
リモート UI の表示言語を切り替えます。
※パソコンとリモート UI の表示言語は合わせておく必要があります。表示言語が異なると、入力した内容が正しく表示されない場合や、フォルダーやサーバーなどの指定先を参照できない場合があります。

[管理者へメール]
[設定/登録] ▶ [ユーザー管理] ▶ [管理者情報] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

[最終更新]

ポータル画面に表示されている情報の更新日時が表示されます。
日時の右側にある［ ］をクリックすると、最新の情報に更新されます。

［デバイス基本情報］
本機の現在の状況とエラー情報が表示されます。
エラーが発生している場合は、エラー情報画面へのリンクが表示されます。

［消耗品情報］
各給紙部の情報とトナーカートリッジの残量が表示されます。
［消耗品詳細］をクリックすると、トナーカートリッジの型番を確認できます。

［サポートリンク］
［設定/登録］▶［ライセンス/その他］▶［サポートリンク］に設定されている、本機のサポート情報へのリンクが表示されます。

［状況確認/中止］
クリックすると、［状況確認/中止］画面が表示されます。
各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを確認できます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

［設定/登録］
クリックすると、［設定/登録］画面が表示されます。
管理者モードでログインしている場合は、すべての設定の変更や、データの保存／読み込みなどの操作ができます。

- ［設定/登録］画面で設定できる項目は、操作パネルの設定メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。 **設定メニュー一覧(P. 498)**
- 項目によっては、設定変更を反映するために、本機の再起動が必要です。再起動が必要な場合は、画面の上部にメッセージが表示されます。



［アドレス帳］
クリックすると、［アドレス帳］画面が表示されます。
管理者モードでログインしている場合は、アドレス帳の登録／編集ができます。 **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

［アプリケーションライブラリ］（管理者モードのみ）
クリックすると、アプリケーションライブラリの設定画面が表示されます。
アプリケーションライブラリの詳細については、アプリケーションライブラリのユーザーズガイドを参照してください。
アプリケーションライブラリ

［初期設定］（管理者モードのみ）
クリックすると、［初期設定］画面が表示されます。
リモート UI や、ファクス、スキャン、Web サービス利用の初期設定ができます。
リモート UI/ファクス/スキャン/Web サービス利用の初期設定(P. 58)

リモート UI で使用状況／履歴を確認する

AU03-09H

各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などを、リモート UI の［状況確認/中止］から確認します。

1 **リモート UI にログインする** リモート UI を起動する(P. 465)

2 **リモート UI のポータル画面で、［状況確認/中止］をクリックする** リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 **目的の項目を選択し、状況や履歴を確認する**



［プリント］

［ジョブ状況］

プリント状況（プリント中／待機中）を確認できます。
管理者モードまたは部門 ID でログインしている場合は、すべてのプリント状況が表示されます。
一般ユーザーモードで［ユーザー名］を入力してログインした場合は、そのユーザーのプリント状況のみが表示されます。

- 一時停止中のプリントとセキュアプリントは、［受付番号］をクリックするとプリントの詳細情報が表示され、ユーザー名やプリント枚数などを確認できます。
- ［ジョブ操作］の［中止］をクリックすると、プリント中／待機中のプリントデータを削除できます。

［ジョブ履歴］

プリント履歴を 128 件まで確認できます。

［コピー］

［ジョブ履歴］

コピー履歴を 50 件まで確認できます。

［送信］

［ジョブ履歴］

スキャンやファクスの送信履歴を 128 件まで確認できます。

［受信］

［ジョブ状況］

ファクス／I ファクスの受信状況を確認できます。

メモリー受信のプレビュー機能が有効な場合は、管理者モードでログインすると、ファクスの詳細確認やプリントができます。 **受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)**

[ジョブ履歴]

ファクス／I ファクスの受信履歴を 128 件まで確認できます。

[転送]

[エラージョブ]

エラーで終了した転送データの情報を確認できます。
メモリー受信のプレビュー機能が有効な場合は、管理者モードでログインすると、以下の操作ができます。 **受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)**

- ［受付番号］をクリックすると、転送データの詳細情報やプレビューを確認できます。
- ［削除］をクリックすると、転送データを削除できます。

※転送できなかったデータがメモリーに保存されている場合は、プリントすることもできます。 **転送できなかったファクスを確認する(P. 322)**

[エラー情報]

本機で発生しているエラーの情報を確認できます。

※ポータル画面の［エラー情報］に表示されているリンクをクリックしても、同じ情報を確認できます。

[消耗品確認]

各給紙部の用紙サイズと用紙種類、トナーカートリッジの型番を確認できます。

※ポータル画面の［消耗品詳細］をクリックしても、同じ情報を確認できます。

[デバイス装備]

本機の仕様情報やオプションなどの装着状態を確認できます。

[デバイス情報]

製品名やシリアルナンバーなど本機の情報、ファームウェアのバージョン情報、管理者情報を確認できます。

- ［デバイス名］と［設置場所］には、［設定/登録］▶［デバイス管理］▶［デバイス情報設定］の設定内容が表示されます。
- ［管理者情報］には、［設定/登録］▶［ユーザー管理］▶［管理者情報］の設定内容が表示されます。

[カウンター確認]

これまでに実行したコピーやプリントの総ページ数を確認できます。 **プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 473)**

[消耗品ステータス/ログ]

装着中の消耗品情報や、消耗品の交換履歴を確認できます。交換履歴はプルダウンメニューから消耗品を選択し、［表示切替］をクリックします。

[ECO 情報]

1 か月あたりの平均出力枚数と平均消費電力を確認できます。
［デバイスの設定状態］で、以下の項目の設定を変更すると、用紙や電力を節約できます。

- ［コピー設定のページ集約］
- ［コピー設定の両面印刷］
- ［メモリー受信設定のファクスプレビューを使用］ **受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)**

4 確認が終わったら、リモート UI からログアウトする

使用状況の確認

AU03-09J

本機の操作パネルで、これまでに実行したコピーやプリントの総ページ数をカウンターで確認したり、通信結果／設定内容などのレポートやリストをプリントして確認したりできます。

プリントページ数を確認する - カウンター確認(P. 473)
レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)

■関連項目

カウンター確認は、パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。また、リモート UI では、各機能の処理状況や使用履歴、本機の動作状況やエラー情報などの確認もできます。

リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)

プリントページ数を確認する - カウンター確認

AU03-09K

カウンターを表示して、これまでに実行したコピーやプリントの総ページ数を白黒／カラー別に確認できます。
プリントのページ数には、受信したファクスや、レポート／リストのプリントも含まれます。

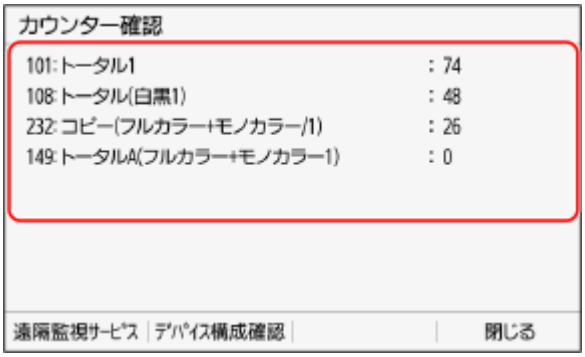
MF755Cdw II の場合(P. 473)
MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合(P. 474)

MF755Cdw II の場合

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ｶｳﾝﾀｰ確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 プリントページ数を確認する



[101: トータル 1]

コピーおよびプリントの総ページ数を表示します。

[108: トータル(白黒 1)]

白黒コピーおよび白黒プリントの総ページ数を表示します。

[232: コピー(フルカラー+モノカラー/1)]

カラーコピーの総ページ数を表示します。

[149: トータル A(フルカラー+モノカラー 1)]

カラープリントの総ページ数を表示します。

MEMO

カウンター確認の画面で行うことができる操作

- ［遠隔監視ｻｰﾋﾞｽ］を押すと、遠隔監視サービス「NETEYE」（ネットアイ）に関する操作を実行できます。NETEYEを利用するには、申し込みが必要です。 **NETEYE(P. 676)**
- ［ﾃﾞﾊﾞｲｽ構成確認］を押すと、本機のオプション構成などを確認できます。

MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合

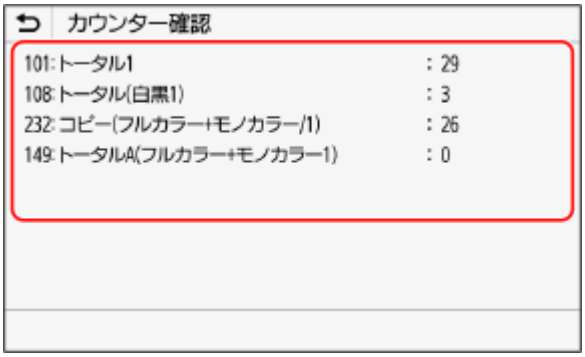
ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

➡［状況確認］画面が表示されます。

2 ［デバイス情報］▶［カウンター確認］を押す

3 プリントページ数を確認する



[101: トータル 1]

コピーおよびプリントの総ページ数を表示します。

[108: トータル(白黒 1)]

白黒コピーおよび白黒プリントの総ページ数を表示します。

[232: コピー(フルカラー+モノカラー/1)]

カラーコピーの総ページ数を表示します。

[149: トータル A(フルカラー+モノカラー 1)]

カラープリントの総ページ数を表示します。

レポート／リストをプリントして確認する

AU03-09L

本機の使用状況／通信結果／設定内容などのレポートやリストをプリントして確認できます。

レポート／リストの種類(P. 475)
レポート／リストをプリントする(P. 476)



レポート／リストを両面プリントする

- レポート／リストは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。 **レポート／リストのプリント設定を変更する(P. 477)**

レポート／リストの種類

本機の使用状況のレポート

消費電力や消耗品の状態など、本機の使用状況に関する以下のレポートをプリントして確認できます。

- **ECO レポート**
  月々のプリントページ数と消費電力を確認できます。これらの情報をもとに、用紙や電力の節約方法も確認できます。
- **消耗品ステータスレポート**
  本機にセットされている消耗品の状態を確認できます。
- **消耗品ステータス / ログレポート**
  装着中の消耗品情報や、消耗品の交換履歴を確認できます。
- **部門別 ID 管理レポート**
  部門別 ID 管理中の場合は、部門 ID ごとのプリントページ数などの使用状況を確認できます。

通信結果のレポート

送受信結果や保存結果など、通信結果に関する以下のレポートをプリントして確認できます。
通信管理レポート以外の通信結果のレポートは、手動でプリントできません。あらかじめ自動的にプリントされるように設定しておく必要があります。 **レポート／リストのプリント設定を変更する(P. 477)**

- **通信管理レポート**
  スキャンとファクスのすべての通信結果を確認できます。
  初期設定では、40 通信ごとに自動的にプリントされます。
  送信／保存結果と受信結果を分けた書式でプリントされるように設定することもできます。
- **ファクス送信結果レポート**
  ファクスの送信結果を確認できます。
  初期設定では、エラー時にのみ自動的にプリントされます。
  原稿の一部がレポートにプリントされるように設定することもできます。
  ※パソコンから送信したファクスの送信結果は含まれません。
- **メール／I ファクス／ファイル送信結果レポート**
  メール／I ファクスの送信結果や、共有フォルダー／FTP サーバーへの保存結果を確認できます。
  初期設定では、エラー時にのみ自動的にプリントされます。
  ※送信／保存時にエラーが発生した場合、メール／I ファクス／ファイル送信結果レポートには、エラーコードは表示されません。エラーコードを確認する場合は、通信管理レポートをプリントします。
- **受信結果レポート**
  ファクス／I ファクスの受信結果を確認できます。

初期設定では、自動的にプリントされません。

設定内容のリスト

本機の登録情報や設定内容などをまとめた以下のリストをプリントして確認できます。

- **アドレス帳リスト**
  アドレス帳に登録されている宛先情報を、短縮ダイヤル／ベストメンバー／グループごとに確認できます。
- **ユーザーデータリスト**
  シリアルナンバーなどの本機の情報や、管理者権限を必要としない設定項目の内容を確認できます。
- **管理者データリスト**
  シリアルナンバーなどの本機の情報や、管理者権限が必要な設定項目の内容を確認できます。
- **IPSec ポリシーリスト**
  本機に登録されている IPSec ポリシーの設定内容を確認できます。

レポート／リストをプリントする

レポート／リストは、操作パネルを使用してプリントします。パソコンからリモート UI を使用してプリントすることはできません。
以下のレポート／リストをプリントするには、管理者権限が必要です。

- 部門別 ID 管理レポート
- 管理者データリスト
- IPSec ポリシーリスト

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［レポート出力］▶［リストプリント］を押す

➡［リストプリント］画面が表示されます。

3 プリントするレポート／リストを選択する

➡プリント可能な用紙の確認画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

■アドレス帳リストをプリントする場合

［アドレス帳リスト］を選択し、プリントする対象を選択します。

4 プリント可能な用紙がセットされていることを確認し、［スタート］を押す

➡レポート／リストがプリントされます。

レポート／リストのプリント設定を変更する

AU03-09R

レポート／リストは、初期設定では用紙の片面にプリントされます。両面にプリントするように設定を変更できます。また、通信結果の各種レポートを、自動的にプリントするかどうかの設定も変更できます。

この設定は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して設定することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［レポート出力］ ［仕様設定］を押す

➡［仕様設定］画面が表示されます。

3 レポート／リストのプリント設定を変更する

■レポート／リストを両面プリントにする場合

1 ［レポート出力のデフォルト設定］を押す

➡［レポート出力のデフォルト設定］画面が表示されます。

2 ［両面プリント］を［ON］に設定し、［確定］を押す

■通信管理レポートの設定を変更する場合

1 ［通信管理レポート］を押す

➡［通信管理レポート］画面が表示されます。

2 レポートの設定をする

- 40 通信ごとに自動的にプリントする場合は、［40 通信で自動プリント］を［ON］に設定します。
- 送信／保存結果と受信結果を分けた書式でプリントする場合は、［送信/受信分離］を［ON］に設定します。

3 ［確定］を押す

■ファクス送信結果レポートの設定を変更する場合

1 ［ファクス送信結果レポート］を押す

➡［ファクス送信結果レポート］画面が表示されます。

2 自動的にプリントするかどうかを選択する

- 1 回の送信ごとに自動的にプリントする場合は［ON］を、エラー時にのみ自動的にプリントする場合は［エラー時のみ］を選択します。
- ［ON］または［エラー時のみ］を選択した場合は、［送信原稿の表示］で、原稿の一部をレポートにプリントするかどうかを選択し、［確定］を押します。

■メール／I ファクス／ファイル送信結果レポートの設定を変更する場合

1 ［メール / I ファクス / ファイル送信結果レポート］を押す

➠［ﾒｰﾙ / I ﾌｧｸｽ / ﾌｧｲﾙ送信結果ﾚﾎﾟｰﾄ］画面が表示されます。

2 自動的にプリントするかどうかを選択する
1 回の送信／保存ごとに自動的にプリントする場合は［ON］を、エラー時にのみ自動的にプリントする場合は［エラー時のみ］を選択します。

■受信結果レポートの設定を変更する場合

1 ［受信結果レポート］を押す

➠［受信結果レポート］画面が表示されます。

2 自動的にプリントするかどうかを選択する
1 回の受信ごとに自動的にプリントする場合は［ON］を、エラー時にのみ自動的にプリントする場合は［エラー時のみ］を選択します。

ログを送信する

AU03-09S

本機がどのように使用されているかを確認/分析するために、SIEM（セキュリティー情報・イベント管理）システムにログを送信することができます。
送信されるログの詳細については、ログの仕様を参照してください。
ログの種類(P. 44)
SIEM を用いたキヤノン複合機/プリンター監査ログの分析

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［デバイス管理］ ▶ ［Syslog 設定］ ▶ ［編集］をクリックする

➡ ［Syslog 設定の編集］画面が表示されます。

4 ［Syslog 送信を利用する］にチェックマークを付ける

5 ［Syslog サーバーのアドレス ］に接続する Syslog サーバーのアドレスを入力する

- 使用する環境に応じて IP アドレスやホスト名などを入力します。

6 必要に応じて Syslog サーバーへアクセスする設定をする

［Syslog サーバーのポート番号］

Syslog サーバーが Syslog 通信に使用しているポート番号を入力します。空欄の場合は、RFC で規定されているポート番号（UDP：514、TCP：1468、TCP（TLS）：6514）が設定されます。

［ファシリティー ］

送信するログメッセージの種類を指定します。RFC で規定されている［LPR］、［Security Messages］、［Log Audit］、［Log Alert］、［Local0］～［Local7］から選択します。

［通信タイプ ］

［UDP］または［TCP］を選びます。［TCP］を選んだ場合は、TLS の使用の有無や、接続時に送信される TLS サーバー証明書やその CN（Common Name）の検証も指定できます。

7 ［OK］をクリックする

➡ ログの送信が設定され、［Syslog 設定］の画面で送信履歴が確認できるようになります。

MEMO

- ログは、30 秒ごとのポーリング後に Syslog 送信を行うため、操作やイベントが発生してから送信されるまでに若干のタイムラグがあります。

メールボックスをクリアする

AU03-09U

スキャンデータをメール送信したときに送信エラーが発生すると、メールサーバーによっては、エラーを通知するメールが本機のメールアドレス宛てに送信されることがあります。蓄積された通知メールによって、メールボックスの容量が不足しないよう、必要に応じてサーバー上のメールボックスのメールをすべて削除します。

メールボックスのクリアは、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用してクリアすることはできません。
管理者権限が必要です。

重要

- メールボックスをクリアすると、サーバーの受信トレイにあるメールがすべて削除されます。必要な未読メールが削除されないように注意してください。

1 **リモート UI に管理者モードでログインする** **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 **リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする** **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 **［送信設定］▶［メール/I ファクス設定］をクリックする**

➠［メール/I ファクス設定］画面が表示されます。

4 **［メールボックスのクリア］で、［クリア］をクリックする**

5 **［OK］をクリックする**

➠サーバー上のメールボックスのメールがすべて削除されます。

6 **リモート UI からログアウトする**

アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする

AU03-09W

アドレス帳や各種設定をファイルに書き出してパソコンに保存（エクスポート）したり、エクスポートしたファイルを読み込んで本機に反映（インポート）したりできます。
インポート／エクスポート機能を利用すると、アドレス帳や各種設定を万一に備えてバックアップできます。
また、エクスポートしたファイルは他機にもインポートできる[*1]ので、登録や設定の手間を省いて、アドレス帳や各種設定を他機と共有することもできます。

一部の項目はインポート／エクスポート対象外です。 **インポート／エクスポートできる設定項目(P. 626)**

[*1] アドレス帳は異なる機種間で反映できますが、本機の各種設定は、同一機種間でのみ反映できます。

アドレス帳や設定をエクスポートする(P. 482)
アドレス帳や設定をインポートする(P. 483)

重要

インポートやエクスポートが完了するまでは電源を切らない

- 処理が完了するまで数分かかることがあります。処理中に電源を切ると、データが破損したり、本機が故障したりするおそれがあります。

インポート中やエクスポート中は本機の操作をしない

- インポートやエクスポートをする前に、本機がプリントなどの処理中でないことを確認してください。

アドレス帳や設定をエクスポートする

エクスポートする項目を選択してから、ファイルに書き出します。アドレス帳をエクスポートする場合は、用途に合わせてファイル形式を選択します。

ここでは、パソコンからリモート UI を使用してエクスポートする方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］からエクスポートします。操作パネルからエクスポートする場合は、USB メモリーを使用します。 **［インポート/エクスポート］(P. 621)**
管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 465)**

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

3 ［データ管理］▶［エクスポート］をクリックする

➡［エクスポート］画面が表示されます。

4 ［エクスポートする項目の選択］で、エクスポートする項目にチェックマークを付ける

■ファクスドライバーや異なる機種にアドレス帳をインポートする場合

［アドレス帳(ABK)］または［アドレス帳(CSV)］にチェックマークを付けます。
アドレス帳に暗証番号が設定されている場合は、アドレス帳の暗証番号を入力します。

※Canon Address Book ファイル（*.abk）または CSV ファイル（*.csv）の形式でエクスポートされます。これらのファイル形式を選択すると、本機の各種設定を同時にエクスポートできません。エクスポートされた CSV ファイルの各項目については、以下を参照してください。
アドレス帳の各項目について(P. 486)

■バックアップとして保存したり、同一機種にアドレス帳をインポートしたりする場合

［アドレス帳］にチェックマークを付けます。
アドレス帳に暗証番号が設定されている場合は、アドレス帳の暗証番号を入力します。

※デバイス設定値情報ファイル（*.dcm）の形式でエクスポートされます。このファイル形式を選択すると、本機の各種設定を同時にエクスポートできます。

■本機の各種設定をエクスポートする場合

［設定/登録］にチェックマークを付けます。

■［鍵設定］をエクスポートする場合

［鍵設定］にチェックマークを付けます。

■［証明書設定］をエクスポートする場合

［証明書設定］にチェックマークを付けます。

■アプリケーションライブラリの各種設定をエクスポートする場合

［アプリケーションライブラリの設定情報］にチェックマークを付けます。

5 ［暗号化パスワード］で、パスワードを設定する

- ［暗号化パスワード］と［確認入力］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。
- パスワードはエクスポートしたデータをインポートする際に必要となります。
- 手順 4 で［アドレス帳(ABK)］を選択した場合、この手順は不要です。手順 6 に進みます。

6 ［エクスポート開始］をクリックし、エクスポートしたデータのファイルをパソコンに保存する

7 リモート UI からログアウトする

アドレス帳や設定をインポートする

エクスポートで書き出されたファイルを指定し、インポートする項目を選択します。

インポートできるファイル形式

- デバイス設定値情報ファイル（*.dcm）
- Canon Address Book ファイル（*.abk）
- CSV ファイル（*.csv）

ここでは、パソコンからリモート UI を使用してインポートする方法を説明します。
操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］からインポートします。操作パネルからインポートする場合は、USB メモリーを使用します。**［インポート/エクスポート］(P. 621)**

管理者権限が必要です。インポートする項目によっては、本機が自動的に再起動されます。

1 リモート UI に管理者モードでログインする リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［データ管理］ ［インポート］をクリックする

➠［インポート］画面が表示されます。

4 ［ファイルのパス］の［参照］をクリックし、インポートするファイルを指定する

5 復号化パスワードを入力する

■デバイス設定値情報ファイル（*.dcm）を指定した場合
エクスポート時に設定したパスワードを入力します。

■Canon Address Book ファイル（*.abk）、CSV ファイル（*.csv）を指定した場合
エクスポート時のパスワードの設定にかかわらず、任意の文字列を入力します。

6 ［インポートする項目の選択］で、インポートする項目にチェックマークを付ける

■アドレス帳のデータをインポートする場合
［アドレス帳］にチェックマークを付けます。
本機のアドレス帳に暗証番号が設定されている場合は、アドレス帳の暗証番号を入力します。
※インポートすると、本機に現在登録されているアドレス帳が上書きされます。

■本機の各種設定をインポートする場合
［設定/登録］にチェックマークを付けます。

■［鍵設定］をインポートする場合
［鍵設定］にチェックマークを付けます。

■［証明書設定］をインポートする場合
［証明書設定］にチェックマークを付けます。

■アプリケーションライブラリの各種設定をインポートする場合
［アプリケーションライブラリの設定情報］にチェックマークを付けます。

7 ［インポート開始］ ［OK］をクリックする

➠選択したファイルが本機にインポートされます。

8 インポート完了の画面が表示されたら、［OK］をクリックする

手順 6 で［設定/登録］にチェックマークを付けた場合は、インポートが完了すると、本機が自動的に再起動します。

9 リモート UI からログアウトする

アドレス帳の各項目について

AU03-09X

アドレス帳の各カラムを説明します。csv ファイルを編集する場合は参照してください。

ヘッダー

ヘッダーについて	必須かどうか	補足
# Canon AddressBook CSV version: 0x0002	○	固定値です。
# CharSet: SJIS	○	固定値です。
# dn: fixed	○（ワンタッチ宛先表は必須）	dn をワンタッチ番号として扱うようにすることを示しています。インポート先がワンタッチ宛先表のみ入力する必要があります。 ワンタッチ宛先表からエクスポートした場合は付加されていますので、再インポートするときには追加する必要はありません。
# SubAddressBookName: 宛先表名称	○	宛先表名称をコロン(:)の後ろに半角スペースを空けて入力します。宛先表名称未設定の場合には、コロン(:)の後ろを未入力（空白）にします。
# DB Version: 0x010a	○	固定値です。
# Crypto Version: 2	×	アドレス帳の csv ファイルを新規作成する場合は記載しないでください。
# Crypto Attribute: pwd	×	アドレス帳の csv ファイルを新規作成する場合は記載しないでください。



- Crypt に関するヘッダーが存在することは pwd 属性が暗号化されていることを意味します。しかし新規作成の csv ファイルに記載したり、エクスポートした csv ファイルの pwd 属性を編集したときは、本製品が正しく複号化できる形で暗号化することができません。その場合は、ヘッダーから該当部分を削除してください。

本体

属性名	意味	必須かどうか	補足
objectclass	オブジェクトクラス（宛先種別）	○	この宛先の種別を示しています。この値によって以降の必須属性が異なります。次のうちいずれかを入力します。 • メールの場合：email • G3 ファクスの場合：g3fax • ファクスの場合：ifax • ファイル（SMB、FTP、WebDAV）の場合：remotefilesystem • グループの場合：groupfids
cn	宛先名称	×	文字コードを SJIS で入力します。入力しない場合、宛先名は空欄になります。

cnread	フリガナ	×	アルファベット、数字または半角カタカナのみ使用できます。文字コードを SJIS で入力します。入力しない場合、フリガナは空欄になります。
cnshort	ワンタッチボタンの名称	×	文字コードを SJIS で入力します。入力しない場合、ワンタッチボタン名称は空欄になります。
subdbid	宛先表番号	×	リモート UI 上でどの宛先表にインポートするか指定します。csv ファイルへの記載は不要です。
mailaddress	メールアドレス	○（宛先の種類によっては必須）	メール宛先または I ファクス宛先の場合に必須な属性です。
dialdata	ファクス番号	○（宛先の種類によっては必須）	ファクス宛先の場合に必須な属性です。
uri	IP ファクスで使用する URI	×	本機では使用しません。
url	ファイル宛先のホスト名	○（宛先の種類によっては必須）	ファイル宛先の場合に必須な属性です。アルファベット、記号のみ使用できます。
path	ファイル宛先のファイルパス	×	アルファベット、記号のみ使用できます。
protocol	プロトコル	○（宛先の種類によっては必須）	ファイル宛先の場合に必須な属性です。次のうちいずれかを入力します。 • SMB の場合：smb • FTP の場合：ftp • WebDAV の場合：addonprotocol0225
username	ファイル宛先にログインするときのユーザ名	○（宛先の種類によっては必須）	ファイル宛先（FTP）の場合に必須な属性です。ファイル送信宛先にログインするためのユーザ ID であるため、SMB、WebDAV でもファイル送信先に認証がかかっている場合には必要です。
pwd	ファイル宛先にログインするときのパスワード	×	ファイル送信先に認証がかかっている場合に必須な属性です。
member	グループ宛先のメンバー	○（宛先の種類によっては必須）	グループ宛先の場合に必須な属性です。
indxid	宛先に割り振られる通し番号	○	インポート先がワンタッチ宛先表の場合に必須な属性です。この番号がワンタッチ番号になります。それ以外の場合は 201～1800 で任意の値を入力します。
enablepartial	メール送信時のデータ分割設定	×	「on」または「off」を入力します。

sub	ファクス宛先のサブアドレス	×	ISDN(G4FAX)のための設定です。
faxprotocol	ファクスのプロトコル	×	次のいずれかを入力します。 • g3 • ecm • g4
ecm	ファクスの ECM の有無	×	「on」または「off」を入力します。
txstartspeed	ファクスの送信開始スピード	×	次のいずれかを入力します。 • 2400 • 4800 • 7200 • 9600 • 14400 • 33600
commode	ファクスの通信モード 国際送信に関する設定	×	次のいずれかを入力します。 • 国内回線の場合：domestic • 国際回線 1 の場合：international1 • 国際回線 2 の場合：international2 • 国際回線 3 の場合：international3
lineselect	ファクスの回線選択	×	次のいずれかを入力します。設定しない場合、「auto」になります。 • 回線 1～4 の場合：line1、line2、line3、line4 のいずれか • 論理回線（モデムダイヤルイン）1～4 の場合：logicline1、logicline2、logicline3、logicline4 のいずれか • 自動で回線を指定する場合：auto
uricommode	IP ファクスの通信モード	×	本機では使用しません。
uriflag	IP ファクスの URI 使用フラグ	×	本機では使用しません。
pwdinputflag	パスワード都度入力設定	×	「on」または「off」を入力します。
ifaxmode	I ファクスのモード（シンプル／フル）	×	「simple」または「full」を入力します。
transsvcstr1	I ファクスの中継サービス用文字列 1	×	半角 40 文字までで入力します。
transsvcstr2	I ファクスの中継サービス用文字列 2	×	半角 16 文字までで入力します。
ifaxdirectmode	I ファクスのダイレクト送信	×	「on」または「off」を入力します。
documenttype	I ファクスのドキュメントタイプ	×	次のいずれかを入力します。 • カラー送信の場合：cl • 白黒送信の場合：bw
bwpapersize	I ファクス送信時に使用可能な用紙サイズ	×	

bwcompressiontype	I ファクス送信時に使用する圧縮フォーマット	×	
bwpixeltype	I ファクス送信時に使用可能な色空間	×	
bwbitsperpixel	I ファクス送信時に使用可能なビット数	×	
bwresolution	I ファクス送信時に使用可能な解像度	×	
clpapersize	カラー I ファクス送信時に使用可能な用紙サイズ	×	
clcompressiontype	カラー I ファクス送信時に使用する圧縮フォーマット	×	「jpeg」固定です。
clpixeltype	カラー I ファクス送信時に使用可能な色空間	×	「rgb」固定です。
clbitsperpixel	カラー I ファクス送信時に使用可能なビット数	×	「8」固定です。
clresolution	カラー I ファクス送信時に使用可能な解像度	×	
accesscode	アクセスコード	×	7 桁までの半角数字で入力します。
uuid	宛先を一意に識別するための UUID	×	新規に csv ファイルを作成する場合は入力不要です。
cnreadlang	フリガナの文字コード	×	使用する言語のコードを入力します。日本語（SJIS）の場合は 「ja」です。
enablesfp	未使用	×	未使用のため、入力不要です。
memberobjectuuid	個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用	×	
loginusername	個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用	×	
logindomainname	個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用	×	
usergroupname	個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用	×	
personalid	個人宛先表／ユーザーグループ宛先表用	×	

ファームウェアをアップデートする

AU03-09Y

機能の追加やバージョンアップが行われると、ファームウェアが更新されます。
ファームウェアのバージョンを確認の上、本機の使用環境に応じて、インターネット経由またはパソコン経由でファームウェアをアップデートします。

○：アップデート可　×：アップデート不可

本機の使用環境	インターネット経由	パソコン経由
有線 LAN 接続	○	○
無線 LAN 接続	○	×
USB 接続	×	○
IPv6 を使用	×	×

※IPv6 環境の場合は、ファームウェアをアップデートできません。本機とパソコンを USB 接続し、パソコン経由でアップデートします。

ファームウェアのバージョンを確認する(P. 490)
インターネット経由でファームウェアをアップデートする(P. 491)
パソコン経由でファームウェアをアップデートする(P. 491)

ファームウェアのバージョンを確認する

アップデートの実行前に現在のバージョンを確認しておき、アップデート後に再度バージョンを確認することで、ファームウェアが正しくアップデートされたかどうかを確認できます。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 ［管理設定］▶［ライセンス/その他］*1▶［ファームウェア更新］を押す

➡［ファームウェア更新］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

*1 機種によっては［リモート UI 設定/ファームウェア更新］と表示されます。

3 ［バージョン情報］を選択する

➡現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

インターネット経由でファームウェアをアップデートする

インターネット経由のアップデートは、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用してアップデートすることはできません。
管理者権限が必要です。アップデートすると、本機が自動的に再起動します。

必要な準備

- 本機をインターネットに接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［ファームウェア更新］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

➡ キヤノンのサーバーにアクセスし、新しいファームウェアがあるかどうかを確認します。
［お使いのファームウェアは最新です。］と表示された場合は、アップデートは不要です。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

2 利用許諾画面で、［同意する］を押す

➡ ファームウェア更新の確認画面が表示されます。

3 ［OK］を押す

➡ ファームウェアのダウンロードが開始されます。
ダウンロードが完了すると、本機が自動的に再起動し、ファームウェアがアップデートされます。

重要

- 再起動が完了するまで本機の電源は切らないでください。

パソコン経由でファームウェアをアップデートする

有線 LAN または USB で本機と接続されているパソコンからファームウェアをアップデートします。

必要な準備

- アップデート作業を行うパソコンに、キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトから最新のファームウェアをダウンロードします。
https://canon.jp/download/

■パソコンからのアップデート方法

ファームウェアに同梱されている「User Support Tool 操作ガイド」を参照してください。

■本機を更新待機状態（ダウンロードモード）にする必要がある場合

以下の手順で操作します。

この操作は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して操作することはできません。
管理者権限が必要です。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［管理設定］ ［ライセンス/その他］*1 ［ファームウェア更新］を押す

➡［ファームウェア更新］画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

*1 機種によっては［リモート UI 設定/ファームウェア更新］と表示されます。

3 ［PC 経由］ ［はい］を押す

➡本機がダウンロードモードに切り替わり、更新待機状態になります。

設定／データを初期化する

AU03-0A0

設定内容や登録したデータなどを初期化して、本機を工場出荷時の状態に戻します。指定した設定やデータのみを初期化する方法と、すべての設定とデータを初期化する方法があります。

特定の設定／データの初期化

以下の項目を個別に初期化することができます。

- 設定メニュー：［ホーム］画面の［メニュー］の設定を初期化します。
- 鍵と証明書：鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。
- アドレス帳：アドレス帳に登録されている宛先を消去します。

特定の設定／データを初期化する(P. 493)

すべての設定／データの初期化

すべての設定を工場出荷時の状態に戻し、履歴も含めて保存されているすべてのデータを消去します。本機の交換や廃棄時などは、機密情報の流出や不正使用を防ぐために初期化を実行します。

すべての設定／データを初期化する(P. 494)

特定の設定／データを初期化する

ここでは、パソコンからリモート UI を使用して初期化する方法を説明します。

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［環境設定］または［管理設定］から初期化します。**［ネットワーク設定の初期化］(P. 513)** ／ **［データ管理］(P. 621)**

管理者権限が必要です。初期化する項目によっては、本機の再起動が必要となります。

1 リモート UI に管理者モードでログインする

リモート UI を起動する(P. 465)

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

リモート UI のポータル画面(P. 468)

3 ［データ管理］をクリックする

➠［データ管理］画面が表示されます。

4 初期化する項目を選択する

■設定メニューを初期化する場合

［メニューの初期化］をクリックし、［初期化するメニュー］から初期化する設定項目を選択します。

■鍵と証明書を初期化する場合

［鍵と証明書の初期化］をクリックします。

■アドレス帳を初期化する場合

［アドレス帳の初期化］をクリックします。

［暗証番号の入力］画面が表示された場合は、アドレス帳の暗証番号を入力し、［OK］をクリックします。

5 ［初期化］▶［OK］をクリックする

➡指定した項目が初期化されます。

6 リモート UI からログアウトする

■設定メニューを初期化した場合

以下のいずれかを初期化した場合は、設定の初期化を反映するために、本機を再起動します。 **再起動する(P. 116)**

- ［環境設定］
- ［ファンクション設定］
- ［管理設定］
- ［ネットワーク設定］

MEMO

鍵と証明書を初期化した場合

- TLS や IPSec の IKE など、鍵と証明書を使用する機能が無効になります。もう一度これらの機能を使用するには、鍵と証明書を設定しなおしてから機能を有効にします。

設定メニューの［管理設定］を初期化した場合

- リモート UI のパスワードも初期化されます。リモート UI を使用するには、リモート UI のパスワードを設定しなおす必要があります。 **リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)**

すべての設定／データを初期化する

すべての設定／データの初期化は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して初期化することはできません。
管理者権限が必要です。初期化すると、本機が自動的に再起動します。

重要

- 初期化の前に、処理中や待機中のデータがないことを確認してください。初期化を行うと、これらのデータは削除されます。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［管理設定］▶［全データ/設定の初期化］を押す

➡初期化の確認画面が表示されます。

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 ［はい］▶［はい］を押す

➠すべての設定／データが初期化されます。

初期化が完了すると、本機が自動的に再起動します。

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧 498
[環境設定] 499
[表示設定] 501
[タイマー/電力設定] 505
[ネットワーク] 508
[Wi-Fi 設定] 514
[TCP/IP 設定] 516
[外部インターフェイス] 524
[アクセシビリティー] 525
[調整/メンテナンス] 527
[画質調整] 528
[自動補正設定] 531
[特殊処理] 533
[動作調整] 539
[メンテナンス] 540
[ファンクション設定] 542
[共通] 544
[給紙動作] 545
[印刷動作] 548
[スキャン動作] 549
[ファイル生成] 550
[コピー] 552
[プリンター] 554
[プリンター仕様設定] 555
[ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)] 575
[送信] 576
[共通設定] 577
[スキャンして送信設定] 579
[ファクス設定] 586
[受信/転送] ／ [受信] 592
[共通設定] 593
[I ファクス設定] 595
[ファクス設定] 596
[ファイル保存/利用] 600
[共通設定] 602
[宛先設定] 610

［管理設定］ 611
［ユーザー管理］ 613
［デバイス管理］ 615
［ライセンス/その他］／［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ 618
［リモート UI 設定］ 620
［データ管理］ 621
［セキュリティー設定］ 623
［認証/パスワード設定］ 625
インポート／エクスポートできる設定項目 626
［環境設定］ 627
［調整/メンテナンス］ 632
［ファンクション設定］ 634
［宛先設定］ 639
［管理設定］ 640

設定メニュー一覧

AU03-0A1

操作パネルの［ホーム］画面で［メニュー］を押すと表示される、設定メニューの各項目について説明します。
設定メニューでは、本機の使用環境や用途に合わせて設定を変更したり、機能を実行したりできます。
設定項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。また、設定の反映には、本機の再起動が必要な場合があります。

- **［環境設定］(P. 499)**
- **［調整/メンテナンス］(P. 527)**
- **［ファンクション設定］(P. 542)**
- **［宛先設定］(P. 610)**
- **［管理設定］(P. 611)**

設定項目のインポート／エクスポート対応状況

設定メニューの項目は、インポート／エクスポート機能を利用して、定期的にバックアップしたり、他機と共有したりできます。
設定項目のインポート／エクスポート対応状況を一覧で確認します。

インポート／エクスポートできる設定項目(P. 626)

メニュールートマップ（一覧表）

設定メニューの項目と設定値を一覧表で確認できます。
アイコンをクリックすると、該当のメニュールートマップ（PDF）が表示されます。



■関連項目

ログイン画面が表示された場合

管理者 ID が設定されている場合は、一部の項目を選択するとログイン画面が表示されます。必要な情報を入力して認証が成功すると、これらの設定を表示／変更できます。

ログイン方法(P. 140)

本機の再起動が必要な場合

設定を変更したあとに、本機を再起動します。

再起動する(P. 116)

設定メニュー以外の設定項目

用紙設定の項目は、［ホーム］画面で［用紙設定］を押すと表示されます。

用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)

音量調整の項目は、音量キー（）を押すと表示されます。

音量の調整(P. 202)

リモート UI による設定

設定メニューの項目は、パソコンからリモート UI を使用して設定することもできます。リモート UI では、ポータル画面の［設定/登録］から設定します。
リモート UI の［設定/登録］で設定できる項目は、操作パネルの設定メニューとほぼ同じですが、操作パネルまたはリモート UI のどちらかでしか設定できない項目もあります。また、リモート UI では項目の名称が一部異なる場合があります。

パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)

設定内容の確認

現在の設定内容をプリントして一覧で確認できます。

レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)

[環境設定]

AU03-0A2

本機を使用する環境に合わせて、操作パネルの画面の表示やネットワークなどについて設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[表示設定] (P. 499)**
- **[英語キーボードの配列] (P. 499)**
- **[タイマー/電力設定] (P. 499)**
- **[ネットワーク] (P. 499)**
- **[外部インターフェイス] (P. 499)**
- **[アクセシビリティー] (P. 500)**

[表示設定]

[メニュー] ▶ [環境設定]

操作パネルの画面の表示について設定します。

- **[表示設定] (P. 501)**

[英語キーボードの配列]

[メニュー] ▶ [環境設定]

本機に接続する USB キーボードの配列を設定します。

[**USA 配列**]
[UK 配列]

[タイマー/電力設定]

[メニュー] ▶ [環境設定]

日付／時刻や節電について設定します。

- **[タイマー/電力設定] (P. 505)**

[ネットワーク]

[メニュー] ▶ [環境設定]

本機のネットワーク環境について設定します。

- **[ネットワーク] (P. 508)**

[外部インターフェイス]

[メニュー] ▶ [環境設定]

USB 接続について設定します。

［外部インターフェイス］(P. 524)

［アクセシビリティー］

［メニュー］▶［環境設定］

画面の色反転やメッセージの表示時間など、操作パネルの画面を見やすくするための設定をします。

［アクセシビリティー］(P. 525)

[表示設定]

AU03-0A3

操作パネルの画面の表示について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[起動/復帰後に表示する画面](P. 501)**
- **[ホーム画面のボタン表示設定](P. 501)**
- **[表示言語の切替](P. 502)**
- **[リモート UI 表示言語の切替](P. 502)**
- **[原稿読取部の清掃表示](P. 502)**
- **[mm/インチ入力の切替](P. 503)**
- **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせ表示](P. 503)**
- **[定着器のｸﾘｰﾆﾝｸﾞのお知らせ表示](P. 503)**
- **[警告表示](P. 503)**
- **[警告処理](P. 504)**
- **[IP アドレスの表示設定](P. 504)**

[起動/復帰後に表示する画面]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

電源を入れて起動画面が表示されたあとや、オートクリアの実行直後に表示される画面を設定します。
[状況確認] に設定する場合は、[状況確認] 画面を閉じた直後に表示される画面も設定できます。

[**ホーム**]

[コピー]

[ファクス] *1

[スキャン]

[セキュアプリント]

[状況確認]
- [**ホーム**]
- [コピー]
- [ファクス] *1
- [スキャン]
- [セキュアプリント]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[ホーム画面のボタン表示設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

ショートカットボタンを追加したり、ボタンの配置を変更したりして、よく使用する機能を、操作パネルの [ホーム] 画面からすばやく実行できるようにします。 **[ホーム] 画面をカスタマイズする(P. 135)**

[表示ボタンの選択]
- [コピーのよく使う設定]

［ファクスのよく使う設定］*1
［スキャンのよく使う設定］

［表示順番の設定］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［表示言語の切替］

［メニュー］▶［環境設定］▶［表示設定］

操作パネルの画面や、プリントしたレポートに表示される言語を切り替えます。

［Deutsch］
［English］
［Español］
［Français］
［Italiano］
［**日本語**］
［中文(繁體)］
［中文(简体)］
［한국어］

［リモート UI 表示言語の切替］

［メニュー］▶［環境設定］▶［表示設定］

リモート UI の画面に表示される言語を切り替えます。

［English］
［**Japanese**］
［French］
［Spanish］
［German］
［Italian］
［Chinese (Simplified)］
［Chinese (Traditional)］
［Korean］

［原稿読取部の清掃表示］

［メニュー］▶［環境設定］▶［表示設定］

フィーダー使用時に汚れが検知された場合、メッセージが表示されるようにするかどうかを設定します。

［OFF］
［**ON**］

[mm/インチ入力の切替]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

長さや幅を入力する画面に表示される単位を切り替えます。

[**mm**]
[インチ]

[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせ表示]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなると、新しいトナーカートリッジの準備を通知するメッセージが表示されます。メッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定する場合は、[自動] を [OFF] に設定し、[ユーザー設定] でタイミングを指定します。
[自動] を [ON] に設定すると、本機がタイミングを自動で判断してメッセージを表示します。

[自動]
　[OFF]
　　[ユーザー設定]
　　　2～**20**～99（%）
　[**ON**]

[定着器のｸﾘｰﾆﾝｸﾞのお知らせ表示]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

定着器の清掃時期になったときに、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。

[**OFF**]

[ON]
　[1000～50000]

[警告表示]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、メッセージを表示して通知するかどうかを設定します。

※トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、プリントを停止するように設定されている場合は、[OFF] に設定できません。 **[警告処理] (P. 504)**

※トナーカートリッジの残量が少ないときに、受信したファクス／I ファクスをプリントしないように設定されている場合は、[OFF] に設定してもメッセージが表示されます。 **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量少時印字継続] (P. 593)**

[OFF]
[**ON**]

[警告処理]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、プリントを継続するかどうかを設定します。
[印刷停止] に設定すると、トナーカートリッジの残量が少なくなったときに、メッセージを表示して通知するように設定されます。 **[警告表示] (P. 503)**

[カートリッジ残量]
[**印刷継続**]
[印刷停止]

[IP アドレスの表示設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [表示設定]

[状況確認] 画面に本機の IPv4 アドレスを表示するかどうかを設定します。 **[状況確認] 画面(P. 128)**

[OFF]
[**ON**]

[タイマー/電力設定]

AU03-0A4

日付／時刻や節電について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[現在日時の設定] (P. 505)**
- **[日付/時刻設定] (P. 505)**
- **[日付の形式] (P. 505)**
- **[時刻の形式] (P. 506)**
- **[オートクリア] (P. 506)**
- **[オートクリア後の機能] (P. 506)**
- **[オートスリープ] (P. 507)**
- **[オートスリープ時刻の設定] (P. 507)**
- **[スリープ復帰時刻の設定] (P. 507)**

[現在日時の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機の日付と時刻を設定します。ここで設定した日付と時刻は、日時情報を利用する機能の基準となります。 **日付／時刻を設定する(P. 463)**
この設定をする前に、タイムゾーンが正しく設定されているか確認します。 **[日付/時刻設定] (P. 505)**

[日付/時刻設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

本機を設置する地域に合わせて、タイムゾーン（UTC[*1]）を設定します。
初期設定では、本機の出荷地域に合わせた UTC が設定されているため、通常はタイムゾーンを変更する必要はありません。

[*1] UTC（Coordinated Universal Time）
とは、世界各地の基準となる協定世界時のことで、日本は UTC との間に ＋ 9 時間の時差があります。インターネットを介した通信では、UTC を正しく設定することが前提となっています。

※タイムゾーンを変更すると、現在日時の設定が自動的に変更されます。 **[現在日時の設定] (P. 505)**

[タイムゾーン]
[(UTC -12:00) 国際日付変更線 西側] ～ [**(UTC +09:00) 大阪、札幌、東京**] ～ [(UTC +14:00) クリスマス島]

[日付の形式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

年（西暦）／月／日が表示されるときの並び順を設定します。

[**年 月/日**]
[月/日/年]
[日/月 年]

[時刻の形式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

時刻の表示形式を設定します。

[12 時間表示 (AM/PM)]
[**24 時間表示**]

[オートクリア]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

操作パネルの操作がされないまま一定時間が経過したときに、自動的に初期設定に戻る機能を「オートクリア」といいます。
オートクリアが実行されるようにするかどうかを設定します。
オートクリアが実行されるようにする場合は、実行されるまでの時間も設定できます。

※オートクリアが実行されたあとに表示される画面を変更することもできます。 **[オートクリア後の機能] (P. 506)**

[オートクリア移行する]
　[OFF]
　[**ON**]
　　[オートクリア移行時間]
　　　1 ～ **2** ～ 9（分）

MEMO

オートクリアが実行されない場合

- 操作パネルのエラーランプが点滅している **操作パネル(P. 19)**
- 操作パネルに［メニュー］画面やエラーメッセージ[*1] が表示されている
- 何らかの処理が行われている（プリント中、ファクスの送受信中など）

[*1] メッセージによっては、オートクリアが実行されます。

[オートクリア後の機能]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

オートクリアが実行されたあとに表示される画面を設定します。

- 指定した画面を表示する場合は、[復帰する] に設定します。表示される画面は［起動/復帰後に表示する画面］で設定します。 **[起動/復帰後に表示する画面] (P. 501)**
- オートクリア実行前に使用していた機能の画面を表示する場合は、[復帰しない] に設定します。

[**復帰する**]
[復帰しない]

[オートスリープ]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。 **消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)**

※効果的な節電のために、初期設定で使用することをおすすめします。

1 ～ 120（分）

[オートスリープ時刻の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

指定した時刻に自動的にスリープモードになるように設定します。 **消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)**

[オートスリープ時刻を指定する]
[**OFF**]
[ON]
（0:00～23:59）

[スリープ復帰時刻の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [タイマー/電力設定]

指定した時刻に自動的にスリープモードを解除するように設定します。 **消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)**

[スリープ復帰時刻を指定する]
[**OFF**]
[ON]
（0:00～23:59）

[ネットワーク]

AU03-0A5

本機のネットワーク環境について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[有線 LAN / Wi-Fi 選択] (P. 508)**
- **[Wi-Fi 設定] (P. 508)**
- **[ダイレクト接続設定] (P. 508)**
- **[PC でかんたん接続] (P. 509)**
- **[TCP/IP 設定] (P. 509)**
- **[SNMP 設定] (P. 509)**
- **[IPP Everywhere を使用] (P. 510)**
- **[Universal Print の設定] (P. 510)**
- **[専用ポートを使用] (P. 510)**
- **[専用ポートの認証方式] (P. 510)**
- **[起動時の接続待機時間] (P. 511)**
- **[Ethernet ドライバー設定] (P. 511)**
- **[IEEE 802.1X を使用] (P. 511)**
- **[ファイアウォール設定] (P. 512)**
- **[Web サービス設定] (P. 512)**
- **[Web サービス問い合わせ] (P. 513)**
- **[デバイス設定値管理] (P. 513)**
- **[遠隔監視サービス] (P. 513)**
- **[RMT - SW] (P. 513)**
- **[ネットワーク設定の初期化] (P. 513)**

[有線 LAN / Wi-Fi 選択]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

有線 LAN／無線 LAN のどちらを使用して本機をネットワークに接続するかを設定します。 **有線 LAN／無線 LAN を選択する(P. 66)**

※有線 LAN を無線 LAN に切り替える場合は、無線 LAN 設定の手順内で変更することもできます。

[**有線 LAN**]
[Wi-Fi]

[Wi-Fi 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

本機を無線 LAN に接続したり、無線 LAN 接続時の節電について設定したりします。
[Wi-Fi 設定] (P. 514)

[ダイレクト接続設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

ダイレクト接続の使用や接続機能について設定します。 **ダイレクト接続機能を有効にする(P. 353)**

[ダイレクト接続を使用]
[**OFF**]
[ON]
[ダイレクト接続の自動切断]
[自動切断する]
[**OFF**]
[ON]

［自動切断時間］
1 ～ 60（分）
［アクセスポイントモード設定］
［任意の SSID を使用］
［**OFF**］
［ON］
［SSID］
［任意のネットワークキーを使用］
［**OFF**］
［ON］
［ネットワークキー］
［SSID/ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ固定時常時接続］ *1
［**OFF**］
［ON］
［ﾀﾞｲﾚｸﾄ接続時の IPｱﾄﾞﾚｽ設定］
192.168.22.1

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［PC でかんたん接続］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

ケーブルレスセットアップモードを開始します。
アプリケーションを使用してネットワークの設定を行う場合に、ケーブルレスセットアップモードにします。

［TCP/IP 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。
［TCP/IP 設定］(P. 516)

［SNMP 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

SNMP 管理ソフトウェアで本機を設定／監視／制御するための設定をします。 **SNMP を設定する(P. 93)**
本機の状態を監視するときに、プロトコルの拡張仕様（RFC2790）に準拠する場合は、［ﾎｽﾄﾘｿｰｽMIB RFC2790 準拠］を［ON］に設定します。

［SNMPv1 設定］
［OFF］
［**ON**］

［SNMPv3 設定］

[**OFF**]
[ON]

[ﾎｽﾄからﾌﾟﾘﾝﾀｰ管理情報取得]
[**OFF**]
[ON]

[ﾎｽﾄﾘｿｰｽMIB RFC2790 準拠]
[OFF]
[**ON**]

[IPP Everywhere を使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IPP Everywhere を使用して Chromebook から直接印刷するかどうかを設定します。 **Chrome OS からプリントする (P. 377)**

[OFF]
[**ON**]

[Universal Print の設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

Universal Print を使用するための設定をします。 **Universal Print を使用するための準備(P. 355)**
また、本機の登録状況も確認できます。

[Universal Print を使用]
[**OFF**]
[ON]

[登録状況]

[専用ポートを使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用するかどうかを設定します。
専用ポートは、パソコンからのプリントや Scan Utility を使ったスキャン、本機の設定／参照などで使用します。

[OFF]
[**ON**]

[専用ポートの認証方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

専用ポートを使用するときの認証方式を設定します。
［モード 2］に設定すると、専用ポートを用いた通信がセキュアな認証方式のみに限定されます。そのため、デバイス管理ソフトウェアやドライバーなどから接続できなくなる場合があります。

［**モード 1**］
［モード 2］

［起動時の接続待機時間］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

本機を起動してから接続を開始するまでの待機時間を設定します。
本機をスイッチングハブなどに接続している場合は、本機の設定が正しくてもネットワークに接続できないことがあります。その場合に、接続待機時間を設定して接続しなおします。

0 ～ 300（秒）

［Ethernet ドライバー設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

Ethernet の通信方式を設定します。 **Ethernet を手動で設定する(P. 82)**
また、有線 LAN の MAC アドレスを確認することもできます。 **有線 LAN の MAC アドレスを確認する(P. 101)**

※［通信方式］を［半二重］に設定する場合は、［1000BASE - T］を選択できません。

［自動検出］
　［OFF］
　　［通信方式］
　　　［**半二重**］
　　　［全二重］
　　［Ethernet の種類］
　　　［**10BASE - T**］
　　　［100BASE - TX］
　　　［1000BASE - T］
　［**ON**］

［MAC アドレス］

［IEEE 802.1X を使用］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

IEEE 802.1X を使用するかどうかを設定します。
IEEE 802.1X の認証方式は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **IEEE 802.1X を使用する(P. 410)**

※［IEEE 802.1X を使用］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［**OFF**］
［ON］

[ファイアウォール設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

IP アドレスフィルター／MAC アドレスフィルターを有効にするかどうかを設定します。
フィルターのデフォルトポリシーや例外アドレスは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **ファイアウォールを設定する(P. 398)**

[IPv4 アドレスフィルター]
[送信フィルター]
[**OFF**]
[ON]
[受信フィルター]
[**OFF**]
[ON]

[IPv6 アドレスフィルター]
[送信フィルター]
[**OFF**]
[ON]
[受信フィルター]
[**OFF**]
[ON]

[MAC アドレスフィルター]
[送信フィルター]
[**OFF**]
[ON]
[受信フィルター]
[**OFF**]
[ON]

[Web サービス設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク]

キヤノンのクラウド連携サービスを利用するかどうかを設定します。

> キヤノンのクラウド連携サービスを利用するには、本機を専用のサーバーに登録する必要があります。
> 登録に使用するコードは［登録コードの発行］から発行できます。 **クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする(P. 369)**

※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

[Web サービス利用設定]
[**OFF**]

［ON］

［登録コードの発行］

［Web サービス問い合わせ］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

キヤノンのクラウド連携サービスのサーバーにアクセスし、送信されたプリントデータがあるかどうかを確認します。
プリントデータがある場合は、プリントを実行します。 **クラウド連携サービスを使用してプリント／スキャンする(P. 369)**

※国または地域によっては、サービスを利用できない場合や使用できるアプリが異なる場合があります。

［デバイス設定値管理］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

デバイス管理ソフトウェアを使用して、本機のアドレス帳の宛先や各種設定値などのデータを管理するかどうかを設定します。詳細については、使用しているソフトウェアのマニュアルを参照してください。

［OFF］
［**ON**］

［遠隔監視サービス］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

遠隔監視サーバーと通信できることを確認します。
この項目を実行すると、本機の情報が定期的に遠隔監視サーバーへ送信されるようになります。 **NETEYE(P. 676)**

※［遠隔監視サービス］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［RMT - SW］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

通常は［OFF］に設定したまま使用します。
担当サービスが遠隔から機器メンテナンスするときに、［ON］に変更する場合があります。

［**OFF**］
［ON］

［ネットワーク設定の初期化］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 493)**

[Wi-Fi 設定]

AU03-0A6

本機を無線 LAN に接続したり、無線 LAN 接続時の節電について設定したりします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[ネットワーク選択] (P. 514)**
- **[その他の接続] (P. 514)**
- **[接続設定] (P. 515)**

[ネットワーク選択]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を一覧から選択し、ネットワークキーを入力して接続します。 **ルーターを探索して無線 LAN に接続する - アクセスポイント選択方式(P. 73)**

[その他の接続]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

無線 LAN ルーターを一覧から選択する以外の方式で、無線 LAN に接続します。

[ネットワーク名 (SSID) 手動入力]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

SSID／ネットワークキー／セキュリティー設定など、無線 LAN ルーターの情報をすべて手動で入力して接続します。
詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式(P. 75)

[セキュリティー設定]
- [なし]
- [WPA / WPA2 - PSK]
- [WPA / WPA2 - EAP]
- [WPA2 - PSK / WPA3 - SAE]
- [WPA3 - SAE]

[WPS プッシュボタン方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

WPS プッシュボタン方式に対応した無線 LAN ルーターのボタン操作で、無線 LAN に接続します。 **ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式(P. 70)**

[WPS PIN コード方式]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [その他の接続]

WPS PIN コード方式に対応した無線 LAN ルーターに、本機で生成した PIN コードを登録して接続します。PIN コードの登録には、パソコンなどを使用します。 **PIN コードを入力して無線 LAN に接続する - WPS PIN コード方式 (P. 71)**

[接続設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定]

無線 LAN 接続時の節電の設定をしたり、無線 LAN の設定情報を確認したりします。

[パワーセーブモード]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [接続設定]

無線 LAN ルーターから送信される信号に合わせて、本機を定期的に節電状態にするかどうかを設定します。

[OFF]
[**ON**]

[接続情報]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [Wi-Fi 設定] ▶ [接続設定]

無線 LAN の MAC アドレスや接続情報のほか、セキュリティーに関する設定などを確認します。 **無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 102)**

[MAC アドレス]
[Wi-Fi 状態]
[最新のエラー情報]
[チャンネル]
[ネットワーク名]
[セキュリティー設定]
[パワーセーブモード]

[TCP/IP 設定]

AU03-0A7

TCP/IP ネットワークで本機を使用するための設定をします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[IPv4 設定] (P. 516)**
- **[IPv6 設定] (P. 517)**
- **[DNS 設定] (P. 518)**
- **[WINS 設定] (P. 520)**
- **[LPD 設定] (P. 520)**
- **[RAW 設定] (P. 520)**
- **[WSD 設定] (P. 521)**
- **[FTP の PASV モードを使用] (P. 521)**
- **[IPP 印刷の設定] (P. 521)**
- **[HTTP を使用] (P. 522)**
- **[IPSec を使用] (P. 522)**
- **[Network Link Scan 設定] (P. 522)**
- **[ポート番号設定] (P. 523)**
- **[MTU サイズ] (P. 523)**

[IPv4 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPv4 環境で本機を使用するための設定をします。

[IP アドレス設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

IPv4 アドレスを自動または手動で設定します。 **IPv4 アドレスを設定する(P. 77)**

[自動取得設定]
[自動取得]
[OFF]
[**ON**]
[プロトコル選択]
[OFF]
[**DHCP**]
[Auto IP]
[OFF]
[**ON**]

[手動取得] *1
[IP アドレス]：0.0.0.0
[サブネットマスク]：0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]：0.0.0.0

[設定確認]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[DHCP オプション設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

DNS（Domain Name System）を導入している IPv4 環境で、DHCP サーバーを使用する場合の設定をします。 **DNS を設定する(P. 83)**

[ホスト名の取得]
[OFF]
[ON]

[DNS の動的更新]
[OFF]
[ON]

[DNSｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得]
[OFF]
[ON]

[ドメイン名の取得]
[OFF]
[ON]

[WINSｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得]
[OFF]
[ON]

[SMTPｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得]
[OFF]
[ON]

[POPｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得]
[OFF]
[ON]

[PING コマンド]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPv4 設定]

PING コマンドを実行して、本機がネットワーク内の機器に接続できるか確認します。 **ネットワーク内の機器に接続できるか確認する(P. 100)**

[IPv6 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPv6 環境で本機を使用するための設定をします。
複数の IPv6 アドレスを設定して同時に使用することができます。 **IPv6 アドレスを設定する(P. 79)**

[IPv6 を使用]

［**OFF**］
［ON］
［ステートレスアドレス設定］
［ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽを使用］
［OFF］
［**ON**］
［設定確認］
［DHCPv6 設定］
［DHCPv6 を使用］
［**OFF**］
［ON］
［設定確認］
［DHCP オプション設定］
［DNSｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽの取得］
［OFF］
［**ON**］
［ドメイン名の取得］
［OFF］
［**ON**］

［IPv6 設定確認］

［DNS 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

DNS（Domain Name System）を導入している環境で本機を使用する場合は、DNS の設定をします。**DNS を設定する (P. 83)**
Bonjour などで使用される mDNS（multicast DNS）も、ここで設定します。

［IPv4 の DNS サーバーアドレス設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［DNS 設定］

IPv4 の DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

［プライマリー DNS サーバー］：0.0.0.0
［セカンダリー DNS サーバー］：0.0.0.0

［DNS のホスト名/ドメイン名設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［DNS 設定］

DNS サーバーに登録する本機のホスト名と属しているドメイン名を設定します。

［IPv4］
［ホスト名］
［ドメイン名］

[IPv6]
[IPv4 と同ﾎｽﾄ/ﾄﾞﾒｲﾝ使用]
[OFF]
[ホスト名]
[ドメイン名]
[**ON**]

[DNS の動的更新設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに、自動更新するかどうかを設定します。自動更新する場合は、自動更新する間隔も設定できます。

[IPv4]
[DNS の動的更新]
[**OFF**]
[ON]
[DNS の動的更新間隔]
0 ～ **24** ～ 48（時間）

[IPv6]
[DNS の動的更新]
[**OFF**]
[ON]
[手動アドレスの登録]
[**OFF**]
[ON]
[ｽﾃｰﾄﾌﾙｱﾄﾞﾚｽの登録]
[**OFF**]
[ON]
[ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽの登録]
[**OFF**]
[ON]
[DNS の動的更新間隔]
0 ～ **24** ～ 48（時間）

[mDNS 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [DNS 設定]

DNS を導入していない環境で DNS の機能を使用するために、mDNS を設定します。

[IPv4]
[mDNS を使用]
[OFF]
[**ON**]

［mDNS 名］

［IPv6］
［mDNS を使用］
［OFF］
［**ON**］
［IPv4 と同じ mDNS 名を使用］
［OFF］
［mDNS 名］
［**ON**］

［WINS 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

NetBIOS と TCP/IP を併用しているネットワーク環境で使用する場合は、WINS（Windows Internet Name Service）を設定します。 **WINS を設定する(P. 88)**

［WINS による名前解決］
［**OFF**］
［ON］
［WINS サーバーアドレス］：0.0.0.0

［LPD 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

LPD プロトコルを使用するかどうかを設定します。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 449)**
LPD プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

［LPD 印刷を使用］
［OFF］
［**ON**］
［受信タイムアウト］
1～**5**～60（分）

［RAW 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

RAW プロトコルを使用するかどうかを設定します。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 449)**
RAW プロトコルを使用する場合は、プリントデータの受信が中断されたときに、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間も設定できます。

［RAW 印刷を使用］
［OFF］

［ON］
［受信タイムアウト］
1～5～60（分）

［WSD 設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

WSD プロトコルを使用するかどうかを設定します。WSD プロトコルを使用する機能ごとに設定できます。 **LPD/RAW/WSD を設定する(P. 449)**

［WSD 印刷を使用］
［OFF］
［ON］

［WSD 参照を使用］
［OFF］
［ON］

［WSD スキャンを使用］
［OFF］
［ON］

［PC スキャンを使用］
［OFF］
［ON］

［マルチキャスト探索を使用］
［OFF］
［ON］

［FTP の PASV モードを使用］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

FTP サーバーと本機の間にファイアウォールが設けられている場合に、PASV モードを使用するように設定します。 **FTP の PASV モードを設定する(P. 268)**

［OFF］
［ON］

［IPP 印刷の設定］

［メニュー］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］

IPP（Internet Printing Protocol）を使用するかどうかを設定します。IPP は、AirPrint でプリント／ファクス送信するときに使用します。 **AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 361)**

IPP を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

[IPP 印刷を使用]
[OFF]
[**ON**]
[TLS 使用時のみ許可]
[**OFF**]
[ON]

[HTTP を使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

HTTP を使用するかどうかを設定します。 **HTTP 通信を使用できないようにする(P. 452)**

[OFF]
[**ON**]

[IPSec を使用]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

IPSec（IP Security Protocol）を使用するかどうかを設定します。
IPSec ポリシー／セレクター／IKE などは、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **IPSec を使用する(P. 405)**

[**OFF**]
[ON]

[Network Link Scan 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

Network Link Scan を使用するかどうかを設定します。Network Link Scan は、AirPrint でスキャンするときに使用します。
AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 361)
Network Link Scan を使用する場合は、通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。

※［Network Link Scan を使用］を［ON］に設定すると、HTTP 通信が有効になります。 **［HTTP を使用］(P. 522)**

[Network Link Scan を使用]
[OFF]
[**ON**]
[TLS を使用]
[**OFF**]
[ON]

[ポート番号設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

パソコンやサーバーなどのポート番号に応じて、対象のプロトコルのポート番号を設定します。 **ポート番号を変更する (P. 401)**

[LPD]
1 ～ **515** ～ 65535

[RAW]
1 ～ **9100** ～ 65535

[WSD マルチキャスト探索]
1 ～ **3702** ～ 65535

[HTTP]
1 ～ **80** ～ 65535

[マルチキャスト探索]
1 ～ **427** ～ 65535

[POP3]
1 ～ **110** ～ 65535

[SMTP 送信]
1 ～ **25** ～ 65535

[FTP]
1 ～ **21** ～ 65535

[SNMP]
1 ～ **161** ～ 65535

[MTU サイズ]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定]

送信パケットサイズが原因で通信速度が低下した場合に、送信パケットの最大サイズを変更します。

[1300]
[1400]
[**1500**]

[外部インターフェイス]

AU03-0A8

USB 接続について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[USB 設定](P. 524)

[USB 設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [外部インターフェイス]

USB ポートと USB メモリーの使用について設定します。

- パソコン接続用の USB ポートを使用するかどうかを、[USB デバイスとして使用] で設定します。 **パソコンと USB 接続できないようにする(P. 448)**
- USB メモリーなどのメモリーメディアを使用するかどうかを、[USB 外部記憶ﾃﾞﾊﾞｲｽを使用] で設定します。 **メモリーメディア自体を使用できないようにする(P. 436)**

[USB デバイスとして使用]
[OFF]
[**ON**]

[USB 外部記憶ﾃﾞﾊﾞｲｽを使用]
[OFF]
[**ON**]

[アクセシビリティー]

AU03-0A9

画面の色反転やメッセージの表示時間など、操作パネルの画面を見やすくするための設定をします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[キーリピート設定] (P. 525)**
- **[連続キー操作を受け付けない時間の指定] (P. 525)**
- **[画面色反転] (P. 525)**
- **[輝度調整] (P. 525)**
- **[メッセージ表示時間] (P. 526)**

[キーリピート設定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネル上のキーを押しつづけたときに、連続入力が開始されるまでの時間と、連続入力間隔を設定できます。

[**標準**]
[やや遅い]
[遅い]

[連続キー操作を受け付けない時間の指定]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネル上の同じキーによる連続操作を受け付けない時間を設定できます。

[受け付けない時間を指定する]
[**OFF**]
[ON]
0.1 ～ 1.0（秒）

[画面色反転]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネルの画面の明暗を反転して表示するかどうかを設定します。
輝度調整で明るさを調整しても表示が見づらいときに設定します。 **[輝度調整] (P. 525)**

[**OFF**]
[ON]

[輝度調整]

[メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

操作パネルの画面の表示が見づらいときに明るさを調整します。

5 段階

［メッセージ表示時間］

［メニュー］▶［環境設定］▶［アクセシビリティー］

操作パネルの画面に 2 種類のメッセージが交互に表示されるとき、何秒ごとに切り替わるかを設定します。

1 ～ **2** ～ 5（秒）

[調整/メンテナンス]

AU03-0AA

プリントやスキャンの画質調整や、本機の清掃を行います。

- **[画質調整] (P. 527)**
- **[動作調整] (P. 527)**
- **[メンテナンス] (P. 527)**

[画質調整]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス]

画質やプリント位置を調整したり、用紙に合わせた特殊処理を適用したりします。

- **[画質調整] (P. 528)**

[動作調整]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス]

本機の動作調整に関する設定を行います。

- **[動作調整] (P. 539)**

[メンテナンス]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス]

本機の清掃や結露除去を実行します。

- **[メンテナンス] (P. 540)**

[画質調整]

AU03-0AC

画質やプリント位置を調整したり、用紙に合わせた特殊処理を適用したりします。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[自動階調補正] (P. 528)**
- **[自動補正設定] (P. 528)**
- **[プリント色ずれ補正] (P. 528)**
- **[カラー時の黒文字処理調整] (P. 528)**
- **[印字位置調整] (P. 529)**
- **[特殊処理] (P. 529)**
- **[原稿読取部すじ汚れ除去] (P. 530)**

[自動階調補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリントやコピーのグラデーションが再現されない場合に、階調を補正します。 **階調を補正する(P. 664)**

[フル補正]
[クイック補正]
[コピー画像補正]

[自動補正設定]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

クイック補正（階調補正）と色ずれ補正を自動的に行うタイミングや、クイック補正実行時の動作について設定します。
[自動補正設定] (P. 531)

[プリント色ずれ補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

プリントした画像がにじんだりぼやけたりする場合に、色ずれを補正します。 **色ずれを補正する(P. 668)**

[カラー時の黒文字処理調整]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

原稿をカラーでスキャンするときに、黒に近い色の文字の再現を優先するか、黒い文字の見やすさを優先するかを調整します。 **黒に近い文字の再現性を調整する(P. 669)**

[フィーダー]
7段階

[原稿台]
7段階

[印字位置調整]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

文字や画像がかたよった位置にプリントされる場合や、プリント範囲からはみ出す場合に、プリント位置を調整します。 **プリント位置を調整する(P. 671)**

[手差し]
[縦方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[縦方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）

[カセット 1]
[縦方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[縦方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）

[カセット 2] *1
[縦方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (表面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[縦方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）
[横方向 (裏面)]
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0（mm）

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[特殊処理]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整]

用紙の種類／性質／状態などによって起こる問題を改善するために、各種処理を適用します。
［特殊処理］(P. 533)

［原稿読取部すじ汚れ除去］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］

フィーダー使用時にすじ状の汚れが検知された場合、汚れの部分がスキャンされないようにするかどうかを設定します。

※汚れの部分がスキャンされないようにすると、汚れの部分の画像や文字もスキャンされません。［ON］に設定した場合に、原稿がすじ状に欠けてスキャンされるときは、フィーダーを清掃します。**フィーダーを清掃する(P. 649)**

［OFF］
［**ON**］

[自動補正設定]

AU03-0AE

クイック補正（階調補正）と色ずれ補正を自動的に行うタイミングや、階調補正実行時の動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[定期自動画像補正] (P. 531)**
- **[色ずれ補正の実行ﾀｲﾐﾝｸﾞ] (P. 531)**
- **[画像補正切替] (P. 531)**

[定期自動画像補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動補正設定]

クイック補正が定期的に自動で実行されるように設定します。

- 電源を入れた直後に実行する場合は、[電源 ON 時] に設定します。
- 電源を入れたあと、初回プリント終了時に実行する場合は、[初回ジョブ終了時] に設定します。

[**OFF**]
[電源 ON 時]
[初回ジョブ終了時]

MEMO

- クイック補正は手動で実行することもできます。 **階調を補正する(P. 664)**

[色ずれ補正の実行ﾀｲﾐﾝｸﾞ]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動補正設定]

色ずれ補正が自動で実行されるタイミングを設定します。

- 電源を入れたあと、初回プリント終了時に実行する場合は、[初回ジョブ終了時] に設定します。
- 電源を入れた直後に実行する場合は、[電源 ON 時] に設定します。

[**初回ジョブ終了時**]
[電源 ON 時]

MEMO

- 色ずれ補正は手動で実行することもできます。 **色ずれを補正する(P. 668)**

[画像補正切替]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動補正設定]

定期的に実行する階調補正で、トナーカートリッジ寿命を優先するか、補正効果を優先するかを設定します。

[**予測 (消耗品寿命優先)**]
[実測 (画質優先)]

[特殊処理]

AU03-0AF

用紙の種類／性質／状態などによって起こる問題を改善するために、各種処理を適用します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[用紙特殊処理] (P. 533)**
- **[両面ｶﾗｰ排紙貼り付き軽減] (P. 534)**
- **[高湿度モード] (P. 535)**
- **[低湿度モード] (P. 535)**
- **[結露軽減ﾓｰﾄﾞ(両面ﾌﾟﾘﾝﾄ)] (P. 535)**
- **[光沢ムラ補正] (P. 535)**
- **[下地補正] (P. 536)**
- **[色ずれ補正] (P. 536)**
- **[定着改善モード] (P. 536)**
- **[白黒カラー切替モード] (P. 536)**
- **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ交換後かすれ軽減] (P. 537)**
- **[用紙搬送補正] (P. 537)**
- **[ITB クリーニング頻度] (P. 537)**
- **[異音対策] (P. 537)**
- **[かすれ補正] (P. 538)**
- **[残像補正] (P. 538)**
- **[白抜け補正] (P. 538)**
- **[粗目用紙白抜け補正] (P. 538)**

[用紙特殊処理]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

以下のような場合は、用紙の特殊処理を設定します。

- 特殊な用紙を使用する場合
  - プリント済みの用紙のウラ面
  - 表面が粗くざらついた用紙
- 封筒のふたが貼り付く場合
- プリントすると用紙がカールする場合

[両面 2 面目]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

プリント済みの用紙を使用すると、ウラ面が薄くプリントされることがあります。その場合は、該当する給紙部を [ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、オモテ面をプリントしてから時間が経過したときや、使用環境の湿度によっては、画質が変化したり紙づまりが起きたりすることがあります。

[手差し]
[**OFF**]
[ON]

[カセット 1]
[**OFF**]
[ON]

[カセット 2] *1
[**OFF**]
[ON]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[粗目用紙モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

表面が粗くざらついた用紙を使用すると、特に 2 色以上のトナーを重ねた画像が薄くプリントされることがあります。その場合は、該当する給紙部を [ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリント速度が遅くなったり画質が変化したりすることがあります。

[手差し]
[**OFF**]
[ON]

[カセット 1]
[**OFF**]
[ON]

[カセット 2] *1
[**OFF**]
[ON]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[封筒貼り付き軽減モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

封筒の種類や使用環境によっては、プリントすると封筒のふたが貼り付くことがあります。その場合は、[ON] に設定すると、封筒のふたの貼り付きが軽減されることがあります。

※ [ON] に設定すると、トナーが十分に定着されずプリントがかすれることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[用紙カール補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理] ▶ [用紙特殊処理]

使用する用紙によっては、プリントするとカールすることがあります。その場合は、[ON] に設定すると、用紙のカールが改善されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリントがかすれたりプリント速度が遅くなったりすることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[両面ｶﾗｰ排紙貼り付き軽減]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

カラーで両面プリントすると、出力された複数ページの用紙が貼り付くことがあります。その場合は、[ON]に設定すると、用紙の貼り付きが軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、貼り付きやすい画像のプリント速度が遅くなります。

[**OFF**]
[ON]

[高湿度モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

湿度が高い環境でプリントすると、印字ムラが発生することがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

[**OFF**]
[ON]

[低湿度モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

湿度が低い環境でプリントすると、画像や文字がにじむことがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[結露軽減ﾓｰﾄﾞ(両面ﾌﾟﾘﾝﾄ)]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

両面プリントすると、本機内の水滴によって画像が薄くプリントされることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、本機内の結露が軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリントがかすれたりプリント速度が遅くなったりすることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[光沢ムラ補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

プリントした用紙の先端に、光沢ムラが発生することがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※［ON］に設定すると、トナーが十分に定着されずプリントがかすれることがあります。

［**OFF**］
［ON］

［下地補正］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［特殊処理］

プリントした画像の白地の部分に薄い色が付くことがあります。その場合は、［モード 1］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］、［モード 3］の順に試します。

※この設定を有効にすると、プリント濃度が薄くなることがあります。

［**OFF**］
［モード 1］
［モード 2］
［モード 3］

［色ずれ補正］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［特殊処理］

プリントした画像に、色ずれが発生することがあります。その場合は、［ON］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

［**OFF**］
［ON］

［定着改善モード］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［特殊処理］

用紙種類や使用環境によっては、プリントされた画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、［モード 1］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

［**OFF**］
［モード 1］
［モード 2］

［白黒カラー切替モード］

［メニュー］▶［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［特殊処理］

白黒とカラーが混在した文書をプリントするときに、プリント速度を優先するか、カラーのトナーカートリッジの使用量を抑えるかを設定します。

- プリント速度を優先する場合は、［モード 1］に設定します。

- トナーカートリッジの使用量を抑える場合は、[モード 2]に設定します。

[**モード 1**]
[モード 2]

[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ交換後かすれ軽減]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

新しいトナーカートリッジに交換した直後は、プリントがかすれることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。この設定は、次回のトナーカートリッジ交換後から有効になります。

※[ON]に設定すると、トナーカートリッジを交換したあとプリントできるようになるまでに、通常よりも時間がかかるようになります。

[**OFF**]
[ON]

[用紙搬送補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

連続してプリントすると、紙づまりが繰り返し起こることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、紙づまりの発生が軽減されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[ITB クリーニング頻度]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

用紙が部分的に汚れてプリントされる場合は、[高い]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[高い]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**標準**]
[高い]

[異音対策]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

白黒プリント時に、本機内部からこすれるような音がすることがあります。その場合は、[モード 1]に設定すると、異音が軽減されることがあります。それでも改善されない場合は、[モード 2]に設定します。

※この設定を有効にすると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[モード 1]

[モード 2]

[かすれ補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

プリントした画像の位置がずれたり、かすれたりすることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[残像補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

プリントした用紙に、すじ状の残像が現れることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[白抜け補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

薄い紙にプリントすると、用紙の先端が部分的に白く抜けることがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、プリントがかすれることがあります。

[**OFF**]
[ON]

[粗目用紙白抜け補正]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [特殊処理]

表面が粗くざらついた用紙を使用すると、印字ムラが発生することがあります。その場合は、[ON]に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

※[ON]に設定すると、画質が変化することがあります。

[**OFF**]
[ON]

[動作調整]

AU03-0JX

本機の動作調整に関する設定を行います。

[静音モード設定] (P. 539)

[静音モード設定]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [動作調整]

プリント時の動作音が気になる場合は、[ON] に設定すると、動作音が軽減されることがあります。

※ [ON] に設定すると、プリント速度とスキャン速度が遅くなります。

[**OFF**]
[ON]

[メンテナンス]

AU03-0AH

本機の清掃や結露除去を実行します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[定着器のクリーニング] (P. 540)**
- **[ITB のクリーニング] (P. 540)**
- **[フィーダーのクリーニング] (P. 540)**
- **[本体内結露除去モード] (P. 540)**

[定着器のクリーニング]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

トナーカートリッジの交換後などに、プリントした用紙に黒いすじ（線）が入る場合は、この項目を実行して定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 652)**

[ITB のクリーニング]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

プリントした用紙が汚れる場合は、本機内部の転写ベルト（ITB）が汚れている可能性があるため、この項目を実行して転写ベルトを清掃します。 **転写ベルトを清掃する(P. 653)**

[フィーダーのクリーニング]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

フィーダーを拭いて清掃しても、以下の症状が改善されない場合は、この項目を実行してフィーダーを清掃します。 **用紙を使用してフィーダーを清掃する(P. 650)**

- 原稿が汚れる
- 原稿がひんぱんにつまる
- スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む

[本体内結露除去モード]

[メニュー] ▶ [調整/メンテナンス] ▶ [メンテナンス]

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、[ON] に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。
結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、[ON] に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。

※ [ON] に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

ファクス機能がある場合

[**OFF**]

[ON]
[**ファクスのメモリー受信を使用**]
[ファクスのメモリー受信を使用＋プリントジョブを禁止]

ファクス機能がない場合

[**OFF**]

[ON]
[**プリントジョブを禁止しない**]
[プリントジョブを禁止する]

[ファンクション設定]

AU03-0AJ

プリント／スキャン／ファクス／コピーの機能について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[共通] (P. 542)**
- **[コピー] (P. 542)**
- **[プリンター] (P. 542)**
- **[送信] (P. 542)**
- **[受信/転送] ／ [受信] (P. 542)**
- **[ファイル保存/利用] (P. 543)**
- **[セキュアプリント] (P. 543)**

[共通]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

給紙／プリント／スキャンなど、各機能の動作について設定します。
- **[共通] (P. 544)**

[コピー]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

コピーについて設定します。
- **[コピー] (P. 552)**

[プリンター]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

プリンターについて設定します。
- **[プリンター] (P. 554)**

[送信]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

スキャンデータやファクスの送信について設定します。
- **[送信] (P. 576)**

[受信/転送] ／ [受信]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

メール／ファクス／I ファクスの受信や転送について設定します。
- **[受信/転送] ／ [受信] (P. 592)**

[ファイル保存/利用]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

スキャンデータの保存や USB メモリーの使用について設定します。
[ファイル保存/利用] (P. 600)

[セキュアプリント]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定]

暗証番号を付けてプリントするセキュアプリント機能を使用するかどうかを設定します。 **暗証番号を付けてプリントする - セキュアプリント(P. 228)**

- パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する場合は、[プリンタージョブの制限] も設定します。 **パソコンからのプリントをセキュアプリントに限定する(P. 439)**
- 暗証番号付きプリントデータが、本機のメモリーに一時保存されてから消去されるまでの時間を変更する場合は、[セキュアプリント消去時間] も設定します。 **暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する(P. 232)**

[セキュアプリントを使用]
[OFF]
[**ON**]
[プリンタージョブの制限]
[**OFF**]
[ON]
[セキュアプリント消去時間]
10 ～ **30** ～ 240（分）

[共通]

AU03-0AK

給紙／プリント／スキャンなど、各機能の動作について設定します。

- **[給紙動作] (P. 544)**
- **[印刷動作] (P. 544)**
- **[スキャン動作] (P. 544)**
- **[ファイル生成] (P. 544)**
- **[ファクス設定ナビ] (P. 544)**

[給紙動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

給紙の動作について設定します。

- **[給紙動作] (P. 545)**

[印刷動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

プリントの動作について設定します。

- **[印刷動作] (P. 548)**

[スキャン動作]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

スキャンの動作について設定します。

- **[スキャン動作] (P. 549)**

[ファイル生成]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

スキャンのファイル生成について設定します。

- **[ファイル生成] (P. 550)**

[ファクス設定ナビ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通]

画面の案内に従ってファクスの設定をします。 **ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ(P. 103)**

※[ファクス設定ナビ]は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[給紙動作]

AU03-0AL

給紙の動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[給紙箇所の自動選択] (P. 545)
[給紙方法切替] (P. 546)

[給紙箇所の自動選択]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [給紙動作]

プリントする用紙サイズに応じて、適切な給紙部を本機が自動選択するよう、機能ごとに設定します。 **機能ごとに適切な給紙部を使用する(P. 170)**

[コピー]
[手差し]
[OFF]
[ON]
[カセット 1]
[OFF]
[ON]
[カセット 2] *1
[OFF]
[ON]

[プリンター]
[手差し]
[OFF]
[ON]
[カセット 1]
[OFF]
[ON]
[カセット 2] *1
[OFF]
[ON]

[受信/ファクス] ／ [受信]
[手差し]
[OFF]
[ON]
[カセット 1]
[OFF]
[ON]

［カセット 2］*1
［OFF］
［**ON**］

［その他］
［手差し］
［**OFF**］
［ON］
［カセット 1］
［OFF］
［**ON**］
［カセット 2］*1
［OFF］
［**ON**］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［給紙方法切替］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［共通］▶［給紙動作］

ロゴなどが入った用紙にプリントするときに設定します。
通常、そのような用紙を使用する場合は、片面プリントするか両面プリントするかによって、セットする向きと面を変更する必要があります。
用紙をセットする給紙部を［プリント面優先］に設定すると、セットする向きと面を変更する必要がなくなります。［プリント面優先］に設定した場合は、常に両面プリントの方法で用紙をセットします。**ロゴ入り用紙をセットする向き(P. 159)**

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。ロゴなどが入った用紙以外を使用する場合や、ロゴなどが入った用紙を両面プリントすることがない場合は、［速度優先］に設定します。

［手差し］
［**速度優先**］
［プリント面優先］

［カセット 1］
［**速度優先**］
［プリント面優先］

［カセット 2］*1
［**速度優先**］
［プリント面優先］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。



- 両面プリントできない用紙をセットしている給紙部は、［プリント面優先］に設定しても無効になり、［速度優先］の動作になります。

[印刷動作]

AU03-0AR

プリントの動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[中断ジョブの自動削除] (P. 548)

[中断ジョブの自動削除]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [印刷動作]

エラーが起きてプリントが停止したときに、プリントやコピーのジョブを自動的に削除するかどうかを設定します。
自動的に削除する場合は、削除するまでの時間も設定できます。

[中断ジョブを自動削除する]
[**OFF**]
[ON]
[自動削除までの時間]
0 ～ **5** ～ 240（分）

[スキャン動作]

AU03-0AS

スキャンの動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[読込時の速度/画質優先] (P. 549)**
- **[自動オンライン移行] (P. 549)**
- **[自動オフライン移行] (P. 549)**

[読込時の速度/画質優先]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

原稿をスキャンするときに、速度を優先するか、画質を優先するかを設定します。

[**速度優先**]
[画質優先]

[自動オンライン移行]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

パソコンでスキャン操作するときに、本機を自動的にオンライン（スキャン待機状態）にするかどうかをします。
[OFF] に設定した場合は、操作パネルの [ホーム] 画面で、[スキャン] ▶ [リモートスキャナー] を押してオンラインにしてから、スキャン操作をする必要があります。

[OFF]
[**ON**]

[自動オフライン移行]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [スキャン動作]

本機がオンライン（スキャン待機状態）で、一定時間スキャンが実行されないときに、自動的にオフラインにするかどうかを設定します。
自動的にオフラインにする場合は、オフラインにするまでの時間も設定できます。

[自動オフライン移行する]
　[OFF]
　[**ON**]
　　[自動オフライン移行時間]
　　　1～**5**～60（分）

[ファイル生成]

AU03-0AU

スキャンのファイル生成について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[出力ファイルの画像設定] (P. 550)**
- **[OCR (文字認識) 設定] (P. 550)**
- **[PDF / A 設定] (P. 550)**

[出力ファイルの画像設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

スキャンデータを YCbCr に変換して送信する場合のガンマ値を設定します。
受信側で使用するディスプレーと同じガンマ値に設定することで、原稿に忠実な画像を表示できます。

[YCbCr 送信のガンマ値]
- [γ1.0]
- [γ1.4]
- [**γ1.8**]
- [γ2.2]



- ディスプレーのガンマ値については、ディスプレーのマニュアルを参照してください。

[OCR (文字認識) 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

原稿の文字をテキストとして検索できる「サーチャブル PDF」を生成する場合に、原稿の文字と並びの向きを自動的に検知するかどうかを設定します。
[ON] に設定すると、生成された PDF をパソコンなどで表示したときに、正しい向きで表示されます。

[原稿向き自動検知]
- [OFF]
- [**ON**]

[PDF / A 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [共通] ▶ [ファイル生成]

PDF/A-1b に準拠した PDF を生成できます。PDF を表示するときの見栄えが、機器や閲覧ソフトによって変わらないことが保証されているので、長期保存に適しています。

［PDF / A 準拠にする］
［**OFF**］
［ON］

MEMO

- 本設定は、下記の初期値として連動します。
  - ［スキャンして送信設定］の［ファイル形式］
    - **［メール設定］(P. 579)**
    - **［ファイル設定］(P. 583)**
  - ［スキャンして保存設定］の［ファイル形式］
    - **［スキャンして保存設定］(P. 602)**

[コピー]

AU03-0AW

コピーについて設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[デフォルト設定の変更 (コピー)] (P. 552)

[デフォルト設定の変更 (コピー)]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [コピー]

コピーするときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
コピーの画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[部数]
1 ～ 999

[給紙段]
[手差し]
[**カセット 1**]
[カセット 2] *1

[濃度]
9 段階
[背景調整]
[自動]
[**調整**]
9 段階
[色別調整]
[レッド] : 9 段階
[グリーン] : 9 段階
[ブルー] : 9 段階

[倍率]
任意の倍率
[**100% 等倍**]
[自動]
[400%最大]
[200%]
[141%A5 -> A4]
[122%A5 -> B5]
[115%B5 -> A4]
[86%A4 -> B5]
[81%B5 -> A5]

［70% A4 -> A5］

［50%］

［25%最小］

［両面］

［**OFF**］

［片面 -> 両面］

［両面 -> 両面］

［両面 -> 片面］

［開き方設定］

［ページ集約］

［**OFF**］

［2 in 1］

［4 in 1］

［レイアウト］

［原稿の種類］

［文字/写真/地図 (高速コピー)］

［**文字/写真/地図**］

［文字/写真/地図 (高画質)］

［印刷写真］

［文字］

［ソート］

［**OFF**］

［ON］

［枠消し］

［**OFF**］

［ON］

［シャープネス］

7 段階

［カラー調整］

イエロー／マゼンタ／シアン／ブラック

17 段階

［微調整］

［イエロー］／［マゼンタ］／［シアン］／［ブラック］

［高濃度 ］: 17 段階

［中濃度 ］: 17 段階

［低濃度 ］: 17 段階

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[プリンター]

AU03-0AX

プリンターについて設定します。

- **[プリンター仕様設定] (P. 554)**
- **[ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)] (P. 554)**

[プリンター仕様設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

プリンター動作やプリントデータの処理について設定します。

- **[プリンター仕様設定] (P. 555)**

[ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター]

本機とパソコンをプラグ＆プレイで接続したときに、どのページ記述言語を使用するかを設定します。

- **[ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)] (P. 575)**

※ [ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)] は、機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。

[プリンター仕様設定]

AU03-0AY

プリンター動作やプリントデータの処理について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[ドライバー設定優先出力] (P. 555)**
- **[コピー部数] (P. 556)**
- **[両面] (P. 556)**
- **[デフォルト用紙] (P. 556)**
- **[用紙サイズ置換] (P. 556)**
- **[印字調整] (P. 557)**
- **[レイアウト] (P. 561)**
- **[自動エラースキップ] (P. 562)**
- **[タイムアウト時間] (P. 563)**
- **[プリンター動作モード] (P. 563)**
- **[カラーモード] (P. 563)**
- **[圧縮画像出力] (P. 563)**
- **[手差し優先] (P. 563)**
- **[LIPSLX 設定] ／ [CARPS2 設定] (P. 564)**
- **[Imaging 設定] (P. 566)**
- **[PDF 設定] (P. 566)**
- **[XPS 設定] (P. 572)**

MEMO

操作パネルとプリンタードライバーで同じ設定項目がある場合

- プリンタードライバーの設定内容が優先して適用されます。操作パネルの設定は、UNIX などプリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントするときに有効になります。

[ドライバー設定優先出力]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

[ホーム] 画面の [用紙設定] で設定されている用紙サイズや用紙種類よりも、プリンタードライバーの設定を優先してプリントするかどうかを、給紙部ごとに設定します。
[ON] に設定すると、本機の用紙設定にかかわらず、プリンタードライバーで指定した給紙部からプリントされます。
また、[ON] に設定した場合は、セットされている用紙のサイズがプリンタードライバーの設定と大きく異なるときに、強制的にプリントするか、エラーメッセージを表示してプリントを停止するかも設定できます。

※ [ON] に設定した場合、セットされている用紙とプリンタードライバーの用紙設定が一致していないと、紙づまりやプリント不良の原因になります。

※エラーメッセージを表示してプリントを停止するように設定していても、数枚プリントされることがあります。

[手差し]
　[ドライバー設定優先出力]
　　[**OFF**]
　　[ON]
　　　[サイズ不一致時の動作]
　　　　[**強制出力する**]
　　　　[エラーを表示する]

[カセット 1]
　[ドライバー設定優先出力]

［**OFF**］
［ON］
［サイズ不一致時の動作］
［**強制出力する**］
［エラーを表示する］

［カセット 2］*1
［ドライバー設定優先出力］
［**OFF**］
［ON］
［サイズ不一致時の動作］
［**強制出力する**］
［エラーを表示する］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［コピー部数］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

プリントする部数を設定します。

1 ～ 999

［両面］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

両面プリントするかどうかを設定します。

［**片面**］
［両面］

［デフォルト用紙］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

プリンタードライバーが使用できない OS やモバイル機器からプリントを実行したときに、使用する用紙の用紙サイズと用紙種類を設定します。
設定できる用紙については、以下を参照してください。
使用可能な用紙(P. 24)

［用紙サイズ置換］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

A4 サイズとレターサイズの用紙を互いに代用してプリントするかどうかを設定します。

［する］に設定すると、たとえば、パソコンで A4 サイズの用紙を指定してプリントしようとした場合に、レターサイズの用紙しかセットされていないときは、レターサイズの用紙に置き換わってプリントされます。

※プリントの設定はアプリケーションやプリンタードライバーで行いますが、この項目は操作パネルでのみ設定できます。

［**しない**］
［する］

［印字調整］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

プリントする文書や目的に応じて、濃度や解像度など、プリント品質を調整します。

［トナー濃度］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

プリント時の各色のトナー濃度を調整します。
より精密に調整する場合は、［微調整］で、各色を 3 段階に分けた濃度域別に濃度を調整できます。

※［トナー節約］が［する］に設定されている場合は、トナー濃度を調整できません。**［トナー節約］(P. 557)**

※［トナー濃度］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

イエロー／マゼンタ／シアン／ブラック
　17 段階

［微調整］
　［イエロー］／［マゼンタ］／［シアン］／［ブラック］
　　［高濃度 ］／［中濃度 ］／［低濃度 ］
　　　17 段階

［トナー節約］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

トナーを節約してプリントするかどうかを設定します。
大量にプリントする前など、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してからプリントしたい場合に、［する］に設定します。

［**しない**］
［する］

［階調］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

階調（グラデーション）を再現するときの処理方法を設定します。
［高階調 2］に設定すると、［高階調 1］より細かい階調でプリントします。

※この設定は、［解像度］が［ファイン］に設定されている場合にのみ有効です。**［解像度］(P. 558)**

［**高階調 1**］
［高階調 2］

[精細濃度補正]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [印字調整]

細い線や小さい文字の濃度を補正します。細い線や小さい文字がかすれる場合に、濃度を補正することで、かすれを軽減します。

※濃度を補正すると、線や文字以外のオブジェクトやカラーバランスにも影響します。

※この設定は、[解像度] が [スーパーファイン] に設定されている場合にのみ有効です。 **[解像度] (P. 558)**

5 段階

[解像度]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [印字調整]

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。
より高解像度でプリントする場合は、[スーパーファイン] に設定します。

[スーパーファイン]
[**ファイン**]

[特殊スムージングモード]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [印字調整]

文字／図形／画像など、プリントデータに応じて、なめらかにプリントするモードを設定します。
通常は、さまざまなプリントに最も適している [モード 1] に設定しますが、満足な結果が得られない場合は、他のモードを試します。

- 濃い色の文字や図形の輪郭をなめらかにプリントする場合は、[モード 1] に設定します。
- 図形の輪郭と内部の中間調をなめらかにプリントする場合は、[モード 2] に設定します。
- 背景色付きの濃い色の文字や線をなめらかにプリントする場合は、[モード 3] に設定します。
- 写真などの画像や図形／文字の輪郭をなめらかにプリントする場合は、[モード 4] に設定します。
- 画像と中間調を均等にプリントする場合は、[モード 5] に設定します。
- 全体的になめらかにプリントする場合は、[モード 6] に設定します。

[**モード 1**]
[モード 2]
[モード 3]
[モード 4]
[モード 5]
[モード 6]



- [中間調選択] が [誤差拡散] に設定されている場合は、[モード 5] 以外は同じプリント結果になります。
  - **[中間調選択] (P. 564)** ([LIPSLX 設定] ／ [CARPS2 設定])
  - **[中間調選択] (P. 566)** ([Imaging 設定])
  - **[中間調選択] (P. 571)** ([PDF 設定])
  - **[中間調選択] (P. 573)** ([XPS 設定])

- ［解像度］が［スーパーファイン］に設定されている場合は、［モード 6］以外は同じプリント結果になります。**［解像度］(P. 558)**

［トナー印字量補正］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

テキストや線などのデータに対するトナーの量が本機内の制限値を超えた場合に、制限値に収まるようにトナーの量を補正します。

- 通常は、［標準］に設定します。テキストや線に対しては解像度を保ち、それ以外のデータに対しては色味を保つように補正します。
- すべてのデータに対して色味を保つように補正する場合は、［階調優先］に設定します。
- すべてのデータに対して解像度を保つように補正する場合は、［テキスト優先］に設定します。

［**標準**］
［階調優先］
［テキスト優先］

［ライン処理］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

線を再現するときの処理方法を設定します。

- 文字と同じ解像度で線を描画する場合は、［解像度優先］に設定します。
- 色と階調を保持するように線を描画する場合は、［階調優先］に設定します。

［**解像度優先**］
［階調優先］

［太さ調整］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

文字や細い線を太くプリントするように調整するかどうかを設定します。
［する］に設定した場合は、調整対象を選択します。

※［する］に設定すると、プリント速度が遅くなったり、画質が変化したりすることがあります。

※アプリケーションによっては、この設定が反映されないことがあります。

［**しない**］

［する］
　［テキスト］
　［ライン］
　［**テキストとライン**］

［アドバンスドスムージング］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［印字調整］

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）や文字の輪郭を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。

スムージング処理を有効にする場合は、[アドバンスドスムージング]を[レベル 1]に設定し、よりなめらかにプリントする場合は[レベル 2]に設定します。
また、スムージング処理をグラフィックス／文字に適用するかどうかも個別に設定します。

※プリンタードライバーを使用してプリントする場合、プリンタードライバーで[アドバンスドスムージング]を[パネル優先]に設定すると、操作パネルの設定が適用されます。

[アドバンスドスムージング]
[しない]
[**レベル 1**]
[レベル 2]

[グラフィックスに適用] *1
[**しない**]
[する]

[テキストに適用] *1
[しない]
[**する**]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[グラデーションスムージング]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [印字調整]

グラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）やイメージ（ビットマップ）などの画像の階調（グラデーション）を、なめらかにプリントするようスムージング処理を設定します。
スムージング処理を有効にする場合は、[ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ]を[レベル 1]に設定し、よりなめらかにプリントする場合は[レベル 2]に設定します。
また、スムージング処理をグラフィックス／イメージに適用するかどうかも個別に設定します。

※プリンタードライバーを使用してプリントする場合、プリンタードライバーの[グラデーションスムージング]の設定はグラフィックスデータにのみ適用されます。イメージデータのスムージング処理は、操作パネルの設定が適用されます。

[ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ]
[**しない**]
[レベル 1]
[レベル 2]

[グラフィックスに適用] *1
[しない]
[**する**]

[イメージに適用] *1
[しない]
[**する**]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[白黒モード時のテキスト強調]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [印字調整]

カラーの文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に、文字の濃度を調整して読みやすくするかどうかを設定します。

- 明るい色の文字に対して効果がありますが、以下のデータには効果がありません。
  - グラフィックやイメージで描画された文字のデータ
  - PDF データ
- 明るい色の文字が含まれた文書を白黒プリントする場合に［しない］に設定すると、［する］に設定したときよりも文字が薄くプリントされるため、見えにくくなることがあります。
- ［しない］に設定しても文字が強調される場合は、スムージング処理が行われないように設定します。**［アドバンスドスムージング］(P. 559)**

［**しない**］
［する］

［レイアウト］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

とじしろの方向／余白やプリント位置を設定します。

[とじ方向]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [レイアウト]

プリントしたあとに用紙をホチキスなどでとじる場合に、用紙の長辺／短辺のどちらでとじるかを設定します。
とじ位置の余白を調整する［とじしろ］と組み合わせて設定します。**［とじしろ］(P. 561)**

- 用紙の長辺でとじる場合は、［長辺とじ］に設定します。



- 用紙の短辺でとじる場合は、［短辺とじ］に設定します。



［**長辺とじ**］
［短辺とじ］

[とじしろ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [レイアウト]

プリント位置をずらして、とじしろになる余白の幅を調整します。
［とじ方向］で設定した辺に合わせて、ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。**［とじ方向］(P. 561)**

［とじ方向］で［長辺とじ］を設定した場合

用紙の左端でとじる場合は「＋」、右端でとじる場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。


「＋」の数値で指定


「－」の数値で指定

［とじ方向］で［短辺とじ］を設定した場合

用紙の上端でとじる場合は「＋」、下端でとじる場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。


「＋」の数値で指定


「－」の数値で指定

-50.0 ～ **00.0** ～ +50.0（mm）

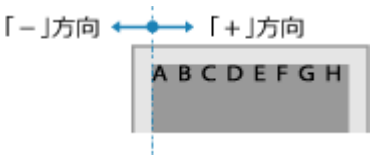
［短辺方向移動］／［長辺方向移動］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［レイアウト］

文字や画像のプリント位置をずらします。かたよった位置にプリントされたり、プリント範囲からはみ出したりする場合に設定します。
用紙の辺の方向とプリント面ごとに、ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.5 mm 単位で指定します。

短辺方向（ヨコ）にずらす場合

用紙の右方向にずらす場合は「＋」、左方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



長辺方向（タテ）にずらす場合

用紙の下方向にずらす場合は「＋」、上方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



-50.0 ～ **00.0** ～ +50.0（mm）

［自動エラースキップ］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

プリント中にエラーが発生した場合に、プリントを継続するかどうかを設定します。
通常は［しない］に設定して、エラー発生時はプリントを停止するようにして使用することをおすすめします。

［**しない**］
［する］

[タイムアウト時間]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

プリントデータの受信が中断された場合に、受信待機を開始してからタイムアウトするまでの時間を設定します。

5 ～ **15** ～ 300（秒）

[プリンター動作モード]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

通常は［自動］に設定して、受信したプリントデータを自動的に判別して適切な動作モードに切り替えるようにします。プリントデータが形式不明などの理由で切り替わらない場合に、手動で動作モードを設定します。

[**自動**]
[PDF]
[XPS]
[Imaging]

[カラーモード]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

プリントデータに応じてカラープリント／白黒プリントを自動的に切り替えるか、すべてのプリントデータを白黒プリントにするかを設定します。

[**自動 (カラー/白黒)**]
[白黒]

[圧縮画像出力]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

プリント中にメモリーが不足すると、画質が低下することがあります。その場合に、プリントを継続するか停止するかを設定します。

- 画質が低下してもプリントを継続する場合は、［出力する］に設定します。
- 画質が著しく低下したときにエラーメッセージを表示してプリントを停止する場合は、［エラー表示する］に設定します。

[**出力する**]
[エラー表示する]

[手差し優先]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

プリントする用紙サイズに応じて本機が給紙部を自動選択するときに、給紙カセットよりも手差しトレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
［ON］に設定すると、手差しトレイと給紙カセットの両方に同じ用紙がセットされている場合、手差しトレイから給紙されます。

［**OFF**］
［ON］

［LIPSLX 設定］／［CARPS2 設定］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］

LIPS LX/CARPS2 プリンタードライバーを使用するときの、プリントデータの処理方法を設定します。

［中間調選択］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［LIPSLX 設定］／［CARPS2 設定］

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

CAD データなど、細い線や小さい文字があるデータをプリントする場合
［誤差拡散］を［する］に設定します。

※［解像度］が［ファイン］に設定されている場合にのみ適用されます。**［解像度］(P. 558)**

※［する］に設定すると、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

上記以外のデータをプリントする場合
［誤差拡散］を［しない］に設定し、［解像度/階調］でそれぞれの中間調の再現方法を設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、［解像度］に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、［階調］に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

［誤差拡散］
　［**しない**］
　［する］

［解像度/階調］*1
　［テキスト］
　　［**解像度**］
　　［階調］
　［グラフィックス］
　　［解像度］
　　［**階調**］
　［イメージ］
　　［解像度］
　　［**階調**］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[マッチング方法]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [LIPSLX 設定] ／ [CARPS2 設定]

プリントデータに合わせて色を補正するように設定します。

- 写真や文書など一般書類のプリントに適した色味に補正してプリントする場合は、[一般] に設定します。
- ビットマップイメージに適した色味に補正して、モニターの表示に近い色でプリントする場合は、[モニター色再現] に設定します。
- RGB データを CMYK データに変換する際の色の誤差を最小限にしてプリントする場合は、[色差最小] に設定します。
- [一般] よりも、濃く鮮やかな色味に補正してプリントする場合は、[VIVID フォト] に設定します。

[**一般**]
[モニター色再現]
[色差最小]
[VIVID フォト]

[グレー補償]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [LIPSLX 設定] ／ [CARPS2 設定]

RGB データが「R = G = B」のブラックまたはグレーを、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントするかどうかを設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。
[しない] に設定すると、ブラックまたはグレーが CMYK のトナー 4 色でプリントされます。

[テキスト]
　[しない]
　[**する**]

[グラフィックス]
　[しない]
　[**する**]

[イメージ]
　[しない]
　[**する**]

[白紙節約]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [LIPSLX 設定] ／ [CARPS2 設定]

プリントデータに含まれる白紙ページを、排紙しないようにするかどうかを設定します。

[しない]
[**する**]

[Imaging 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

JPEG/TIFF 形式の画像ファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

[中間調選択]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [Imaging 設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、画像の内容に合わせて設定します。

デジタルカメラの写真など、細かな階調（グラデーション）がある画像をプリントする場合
[階調] に設定します。階調がなめらかに再現されます。

CAD 画像など、細い線や小さい文字がある画像をプリントする場合
[誤差拡散] に設定します。細い線や小さい文字が高精細にプリントされます。

※ [誤差拡散] に設定すると、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

[**階調**]
[誤差拡散]

[マッチング方法]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [Imaging 設定]

プリント時の色味の補正方法を選択します。
[VIVID フォト] に設定すると、[一般] より濃く鮮やかな色味に補正してプリントします。

[**一般**]
[VIVID フォト]

[PDF 設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定]

PDF 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

[用紙サイズに拡大/縮小]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

プリントに使用する用紙に合わせて、文書を拡大／縮小するかどうかを設定します。

※ [する] に設定すると、文書のタテヨコ比は維持されたまま拡大／縮小されます。

[**しない**]
[する]

[印字領域拡大]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

用紙の周囲に余白を設けず、プリントする領域を用紙いっぱいに拡大してプリントするかどうかを設定します。

※［する］に設定すると、文書によっては、プリント画像の端が一部欠けたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

［**しない**］
［する］

［ページ集約］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［PDF 設定］

複数ページの文書を、縮小した状態で 1 枚の用紙の同じ面に並べてプリントするかどうかを設定します。
ページ集約する場合は、集約するページ数を選択します。

例：用紙の片面に 4 ページ分の文書を集約する場合
［4 in 1］を選択します。

［**OFF**］
［2 in 1］
［4 in 1］
［6 in 1］
［8 in 1］
［9 in 1］
［16 in 1］

［注釈印刷］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［PDF 設定］

PDF の注釈をプリントするかどうかを設定します。
［自動］に設定すると、文書と注釈[*1] がプリントされます。

[*1] PDF ファイル内でプリント指定された注釈のみです。

［しない］
［**自動**］

［細線調整］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［PDF 設定］

細い線の太さを均一化してプリントするかどうかを設定します。
［均一 (細く)］に設定すると、［均一］より線が細くなりますが、線が細くなりすぎたり、かすれたりすることがあります。

［**均一**］
［均一 (細く)］
［しない］

［テキストに純ブラックを使用］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［PDF 設定］

黒い文字を、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントするかどうかを設定します。
［しない］に設定すると、［出力プロファイル］の設定に従ってプリントされます。 **［出力プロファイル］(P. 570)**

※色情報が以下の黒い文字が対象です。

- R＝G＝B＝0％
- C＝M＝Y＝100％
- C＝M＝Y＝0％／K＝100％

[しない]
[**する**]

[ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

黒いグラフィックス（アプリケーションで作成されたイラスト）を、K（ブラック）のトナー1色でプリントするかどうかを設定します。
[しない] に設定すると、[出力プロファイル] の設定に従ってプリントされます。
[出力プロファイル] (P. 570)

※色情報が以下の黒いグラフィックスが対象です。

- R＝G＝B＝0％
- C＝M＝Y＝100％
- C＝M＝Y＝0％／K＝100％

[**しない**]
[する]

[ブラックオーバープリント]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

黒い文字がカラーの背景や図形に重なっている場合に、オーバープリント（色の上に色を重ねてプリントする）を適用するかどうかを設定します。

[しない] に設定した場合
カラーの背景や図形から黒い文字の部分を白く抜いてプリントされ、その部分に黒い文字がプリントされます。



※[しない] に設定すると、薄い黒でプリントされたり、黒い文字の縁が白く抜けたりすることがあります。

[する] に設定した場合
カラーの背景や図形がプリントされたあと、黒い文字が重ねてプリントされます。



※黒い文字やグラフィックスを K（ブラック）のトナー1色でプリントするように設定している場合に設定できます。
[テキストに純ブラックを使用] (P. 567)
[ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用] (P. 568)

※[ブラックオーバープリント] は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[しない]

[**する**]

[RGB 入力プロファイル]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

RGB データに対して、使用中のモニターに合わせて適切なプロファイルを設定します。

- sRGB 対応モニターを使用している場合は、[sRGB] に設定します。一般的な Windows のモニターの業界標準画質に調整されるため、モニターの表示に近い色味でプリントされます。
- データの最も明るい部分や暗い部分が損なわれないようにする場合は、[Gamma 1.5] ～ [Gamma 2.4] に設定します。数値が大きくなるほど、暗くプリントされます。
- RGB 入力プロファイルを適用しないで CMYK データに変換する場合は、[なし] に設定します。

[**sRGB**]
[Gamma 1.5]
[Gamma 1.8]
[Gamma 2.4]
[なし]

[CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

CMYK データをプリントする際のシミュレーションターゲットを設定します。このシミュレーションに従って、CMYK データをデバイス依存の CMYK カラーモデルに変換します。

- 日本の標準に近い色味でプリントする場合は、[JapanColor (Canon)] に設定します。JapanColor プロファイルが適用されます。
- 米国の標準に近い色味でプリントする場合は、[U.S. Web Coated v1.00 (Canon)] に設定します。U.S. Web Coated プロファイルが適用されます。
- ヨーロッパの標準に近い色味でプリントする場合は、[Euro Standard v1.00 (Canon)] に設定します。Euro Standard プロファイルが適用されます。
- CMYK シミュレーションプロファイルを適用しない場合は、[なし] に設定します。デバイス依存の CMYK カラーモデルを使用して、CMYK データがプリントされます。データによっては、暗い色の階調が再現されないことがあります。

[JapanColor (Canon)]
[U.S. Web Coated v1.00 (Canon)]
[Euro Standard v1.00 (Canon)]
[**なし**]

[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

グレーのデータを、本機のグレースケールプロファイルを使用して CMYK データに変換するかどうかを設定します。

※ [する] に設定しても、[出力プロファイル] や [テキストに純ブラックを使用]、[ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用] の設定によっては、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントされます。

- **[出力プロファイル] (P. 570)**
- **[テキストに純ブラックを使用] (P. 567)**
- **[ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用] (P. 568)**

[**しない**]
[する]

[出力プロファイル]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

プリントデータに対して適切なプロファイルを設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- モニターの表示に近い色味に調整してプリントする場合は、[Normal] に設定します。
- 写真のような色味に調整してプリントする場合は、[Photo] に設定します。
- モニターの表示に近い色味に調整し、黒やグレーの部分を K（ブラック）のトナー 1 色で再現する場合は、[TR Normal] に設定します。
- 写真のような色味に調整し、黒やグレーの部分を K（ブラック）のトナー 1 色で再現する場合は、[TR Photo] に設定します。

[テキスト]
[Normal]
[Photo]
[TR Normal]
[**TR Photo**]

[グラフィックス]
[Normal]
[Photo]
[TR Normal]
[**TR Photo**]

[イメージ]
[Normal]
[Photo]
[TR Normal]
[**TR Photo**]



- 以下のいずれかに設定されている場合は、[出力プロファイル] の設定は無効になります。
  - [RGB 入力プロファイル] が [なし] に設定されている **[RGB 入力プロファイル] (P. 569)**
  - [CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ] が [なし] に設定されている **[CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ] (P. 569)**
  - [ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用] が [しない] に設定されている **[ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用] (P. 569)**

[マッチング方法]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

[RGB 入力プロファイル] で色の調整を行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。 **[RGB 入力プロファイル] (P. 569)**

- 写真やビットマップイメージをプリントするときなど、色味を優先して調整する場合は、[色み優先] に設定します。

- プレゼンテーション資料用のアートワークやグラフをプリントするときなど、色の鮮明さを優先して調整する場合は、[鮮やかさ優先]に設定します。
- 本機の色再現範囲内にある RGB カラー値をなるべく正確に再現し、色の誤差を最小限にして調整する場合は、[色差最小]に設定します。

[**色み優先**]
[鮮やかさ優先]
[色差最小]

[中間調選択]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

CAD データなど、細い線や小さい文字があるデータをプリントする場合

[誤差拡散]を[する]に設定します。

※[解像度]が[ファイン]に設定されている場合にのみ適用されます。**[解像度] (P. 558)**

※[する]に設定すると、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

上記以外のデータをプリントする場合

[誤差拡散]を[しない]に設定し、[解像度/階調]でそれぞれの中間調の再現方法を設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度]に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調]に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

[誤差拡散]
　[**しない**]
　[する]

[解像度/階調] *1
　[テキスト]
　　[**解像度**]
　　[階調]
　[グラフィックス]
　　[解像度]
　　[**階調**]
　[イメージ]
　　[解像度]
　　[**階調**]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[明るさ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [PDF 設定]

プリント画像の明るさを 5 %間隔で調整します。数値が大きくなるほど、暗くプリントされます。

※［明るさ］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

85 ～ **100** ～ 115（%）

［コンポジットオーバープリント］

［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［プリンター］ ▶ ［プリンター仕様設定］ ▶ ［PDF 設定］

オーバープリントが設定されている CMYK のデータを、コンポジット出力のままオーバープリントするかどうかを設定します。
［しない］に設定すると、オーバープリントが設定されていない画像と同様のプリント結果になります。

※［する］に設定しても、特色のオーバープリントには適用されません。

［**しない**］
［する］

［グレースケール変換方式］

［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［プリンター］ ▶ ［プリンター仕様設定］ ▶ ［PDF 設定］

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、［sRGB］に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、［NTSC］に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、［RGB 均等］に設定します。

※［グレースケール変換方式］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［sRGB］
［**NTSC**］
［RGB 均等］

［XPS 設定］

［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［プリンター］ ▶ ［プリンター仕様設定］

XPS 形式のファイルをプリントするときの、プリントデータの処理方法を設定します。

［マッチング方法］

［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［プリンター］ ▶ ［プリンター仕様設定］ ▶ ［XPS 設定］

プリントデータに合わせて色を補正するように設定します。

- 写真や文書など一般書類のプリントに適した色味に補正してプリントする場合は、［一般］に設定します。
- ビットマップイメージに適した色味に補正して、モニターの表示に近い色でプリントする場合は、［モニター色再現］に設定します。
- RGB データを CMYK データに変換する際の色の誤差を最小限にしてプリントする場合は、［色差最小］に設定します。
- ［一般］よりも、濃く鮮やかな色味に補正してプリントする場合は、［VIVID フォト］に設定します。

［**一般**］

[モニター色再現]
[色差最小]
[VIVID フォト]

[中間調選択]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [XPS 設定]

中間調（明るい部分と暗い部分の中間の領域）を再現するときのプリント方法を、プリントデータの内容に合わせて設定します。

CAD データなど、細い線や小さい文字があるデータをプリントする場合

[誤差拡散] を [する] に設定します。

※ [解像度] が [ファイン] に設定されている場合にのみ適用されます。 **[解像度] (P. 558)**

※ [する] に設定すると、トナーの定着性や質感の安定性が下がることがあります。

上記以外のデータをプリントする場合

[誤差拡散] を [しない] に設定し、[解像度/階調] でそれぞれの中間調の再現方法を設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- テキストの輪郭を明瞭にして精細にプリントする場合は、[解像度] に設定します。文字や細い線のデータのプリントに適しています。
- 階調や輪郭をなめらかにプリントする場合は、[階調] に設定します。グラデーションを使用した図形などのデータのプリントに適しています。

[誤差拡散]
　[**しない**]
　[する]

[解像度/階調] *1
　[テキスト]
　　[**解像度**]
　　[階調]
　[グラフィックス]
　　[解像度]
　　[**階調**]
　[イメージ]
　　[解像度]
　　[**階調**]

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[グレー補償]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [プリンター] ▶ [プリンター仕様設定] ▶ [XPS 設定]

RGB データが「R ＝ G ＝ B」のブラックまたはグレーを、K（ブラック）のトナー 1 色でプリントするかどうかを設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。
[しない] に設定すると、ブラックまたはグレーが CMYK のトナー 4 色でプリントされます。

[テキスト]
　[しない]

［**する**］

［グラフィックス］
［しない］
［**する**］

［イメージ］
［しない］
［**する**］

［グレースケール変換方式］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［XPS 設定］

カラーのデータを白黒プリントするときの変換方式を設定します。テキスト（文字）／グラフィックス（線や図形）／イメージ（写真）に対して別々に設定できます。

- 色の違いが考慮されたなめらかな階調の白黒プリントにする場合は、［sRGB］に設定します。
- NTSC 方式のテレビ映像と同等の見た目の白黒プリントにする場合は、［NTSC］に設定します。
- 明るさを基準にして RGB がすべて均等になる白黒プリントにする場合は、［RGB 均等］に設定します。

※［グレースケール変換方式］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［テキスト］
［sRGB］
［**NTSC**］
［RGB 均等］

［グラフィックス］
［sRGB］
［**NTSC**］
［RGB 均等］

［イメージ］
［sRGB］
［**NTSC**］
［RGB 均等］

［白紙節約］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［プリンター仕様設定］▶［XPS 設定］

プリントデータに含まれる白紙ページを、排紙しないようにするかどうかを設定します。

［**しない**］
［する］

[ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)]

AU03-0C0

本機とパソコンをプラグ＆プレイで接続したときに、どのページ記述言語を使用するかを設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。
※［ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)］は、機種や他の項目の設定内容によっては表示されません。
［ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)］(P. 575)

［ネットワーク］(P. 575)

［ネットワーク］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［プリンター］▶［ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)］

本機とパソコンをプラグ＆プレイでネットワーク接続したときのページ記述言語を設定します。

- 本機をファクス機として接続する場合は、［FAX］に設定します。
- 本機をプリンターとして接続する場合は、［LIPSLX］／［CARPS2］に設定します。

［FAX］
［**LIPSLX**］／［**CARPS2**］

[送信]

AU03-0C1

スキャンデータやファクスの送信について設定します。

- **[共通設定] (P. 576)**
- **[スキャンして送信設定] (P. 576)**
- **[ファクス設定] (P. 576)**

[共通設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

スキャンデータ／ファクス送信の制限や、宛先の確認画面の表示について設定します。

- **[共通設定] (P. 577)**

[スキャンして送信設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

スキャンデータやIファクスの送信について設定します。

- **[スキャンして送信設定] (P. 579)**

[ファクス設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信]

ファクスの送信について設定します。

- **[ファクス設定] (P. 586)**

※[ファクス設定]は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[共通設定]

AU03-0C2

スキャンデータ／ファクス送信の制限や、送信時の確認画面の表示について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[新規宛先の制限] (P. 577)**
- **[履歴からの再送信を制限] (P. 577)**
- **[短縮ダイヤル送信の確認] (P. 577)**
- **[送信前の宛先確認] (P. 577)**
- **[ジョブ受付時の確認表示] (P. 578)**

[新規宛先の制限]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンデータやファクスを送信するときに指定できる宛先を、アドレス帳の宛先と LDAP サーバーに登録されている宛先に限定するかどうかを設定します。 **指定できる宛先を制限する(P. 429)**

[**OFF**]
[ON]

[履歴からの再送信を制限]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンやファクスの送信履歴から宛先を指定できないようにするかどうかを設定します。 **指定できる宛先を制限する(P. 429)**

[**OFF**]
[ON]

[短縮ダイヤル送信の確認]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

短縮ダイヤルの番号で宛先を指定したときに、登録されている宛先の確認画面が表示されるようにするかどうかを設定します。 **送信前に宛先を確認する(P. 431)**

[**OFF**]
[ON]

[送信前の宛先確認]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

メール／ファクス／I ファクスを送信するときに、宛先の確認画面が表示されるようにするかどうかを設定します。 **送信前に宛先を確認する(P. 431)**

[**OFF**]

[ON]
[同報送信時のみ]

[ジョブ受付時の確認表示]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [共通設定]

スキャンデータやファクスの送信をはじめ、本機で行われる処理はジョブとして管理されています。スキャンやファクスの操作を実行したあとに、ジョブとして受付されたことを確認する画面が表示されるようにするかどうかを設定します。
[ON] に設定すると、その画面から送信状況や履歴の確認画面を表示することができるようになります。

[OFF]
[**ON**]

[スキャンして送信設定]

AU03-0C3

スキャンデータやIファクスの送信について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[ユーザー略称の登録] (P. 579)**
- **[メール設定] (P. 579)**
- **[I ファクス設定] (P. 581)**
- **[ファイル設定] (P. 583)**

[ユーザー略称の登録]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定]

メール／Iファクスの送信者名を登録します。
登録した送信者名は、本機のメールアドレスと併せて宛先に通知されます。
送信者名を登録していない場合は、本機のメールアドレスのみ通知されます。

[メール設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定]

メールの送信について設定します。

[デフォルト設定の変更 (メール)]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定] ▶ [メール設定]

スキャンデータをメール送信するときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
メール送信の画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[読取サイズ]
- [**A4**]
- [A5R]
- [A6]
- [B5]
- [LTR]
- [LGL]
- [STMT]
- [EXEC]
- [FOOLSCAP/FOLIO (215.9 x 330.2 mm)]
- [OFICIO (215.9 x 317.5 mm)]
- [LETTER (Government) (203.2 x 266.7 mm)]
- [LEGAL (Government) (203.2 x 330.2 mm)]
- [LEGAL (India) (215.0 x 345.0 mm)]
- [FOOLSCAP (Australia) (206.0 x 337.0 mm)]
- [OFICIO (Brazil) (215.9 x 355.0 mm)]

［OFICIO (Mexico) (215.9 x 341.0 mm)］
［任意に指定］

［ファイル形式］
［**PDF**］
［PDF (高圧縮)］
［PDF (高圧縮/OCR)］
［PDF (OCR)］
［JPEG］
［TIFF］
［詳細設定］
［PDF / A に準拠］
［**OFF**］
［ON］

［ページ毎に分割］
［**OFF**］
［ON］

［濃度］
9 段階

［原稿の向き］
［**縦長原稿**］
［横長原稿］

［原稿の種類］
［文字］
［**文字/写真**］
［写真］

［両面原稿］
［**OFF**］
［左右開き］
［上下開き］

［シャープネス］
7 段階

［データサイズ］
［小 : サイズ優先］
［**標準**］
［大 : 画質優先］

［プレビュー］
［**OFF**］
［ON］

[白紙スキップ]
[**OFF**]
[ON (プレビューあり)]
[ON (プレビューなし)]

[件名/本文]
[件名]
[本文]

[返信先]
[**なし**]
[アドレス帳から指定]

[重要度]
[低い]
[**普通**]
[高い]

[ﾓﾊﾞｲﾙ端末のｱﾄﾞﾚｽ帳連携]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定] ▶ [メール設定]

スキャンデータをメールで送信する場合に、モバイル機器のアドレス帳に登録されている宛先を指定できるようにするかどうかを設定します。 **宛先を指定する - モバイル機器のアドレス帳(P. 192)**
モバイル機器から本機に宛先を送信するときに、パスワードの入力が必要になるようにする場合は、[ﾘﾓｰﾄUI のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを使用] を [ON] に設定します。その場合のパスワードは、リモート UI のパスワードと同じパスワードを使用します。 **リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)**

[ﾓﾊﾞｲﾙ端末のｱﾄﾞﾚｽ帳と連携]
[**OFF**]
[ON]
[ﾘﾓｰﾄUI のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを使用]
[OFF]
[**ON**]

[I ファクス設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定]

I ファクスの送信について設定します。

[デフォルト設定の変更 (I ファクス)]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定] ▶ [I ファクス設定]

I ファクスを送信するときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
I ファクス送信の画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[読取サイズ]

［**A4**］
［A5R］
［A6］
［B5］
［LTR］
［LGL］
［STMT］
［EXEC］
［FOOLSCAP/FOLIO (215.9 x 330.2 mm)］
［OFICIO (215.9 x 317.5 mm)］
［LETTER (Government) (203.2 x 266.7 mm)］
［LEGAL (Government) (203.2 x 330.2 mm)］
［LEGAL (India) (215.0 x 345.0 mm)］
［FOOLSCAP (Australia) (206.0 x 337.0 mm)］
［OFICIO (Brazil) (215.9 x 355.0 mm)］
［OFICIO (Mexico) (215.9 x 341.0 mm)］
［任意に指定］

［濃度］
9 段階

［原稿の種類］
［**文字**］
［文字/写真］
［写真］

［両面原稿］
［**OFF**］
［左右開き］
［上下開き］

［シャープネス］
7 段階

［プレビュー］
［**OFF**］
［ON］

［件名/本文］
［件名］
［本文］

［返信先］
［**なし**］
［アドレス帳から指定］

[発信元記録]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定] ▶ [I ファクス設定]

送信日時や本機のメールアドレスなどの発信元情報が、I ファクスの上部にプリントされるようにするかどうかを設定します。
[ON] に設定した場合は、発信元情報のプリント位置も設定できます。
プリント位置を送信ページ内の文字や画像の先頭の位置に合わせる場合は、[印字位置] を [画像の内側] に設定します。送信ページ内の文字や画像の先頭よりも外側にプリントする場合は、[画像の外側] に設定します。

[発信元記録をつける]
[OFF]
[**ON**]
[印字位置]
[画像の内側]
[**画像の外側**]

[ファイル設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定]

スキャンデータを共有フォルダー／FTP サーバーに保存するときの動作について設定します。

[デフォルト設定の変更 (ファイル)]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [スキャンして送信設定] ▶ [ファイル設定]

スキャンデータを共有フォルダー／FTP サーバーに保存するときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する (P. 200)**
共有フォルダー／FTP サーバー保存の画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[読取サイズ]
[**A4**]
[A5R]
[A6]
[B5]
[LTR]
[LGL]
[STMT]
[EXEC]
[FOOLSCAP/FOLIO (215.9 x 330.2 mm)]
[OFICIO (215.9 x 317.5 mm)]
[LETTER (Government) (203.2 x 266.7 mm)]
[LEGAL (Government) (203.2 x 330.2 mm)]
[LEGAL (India) (215.0 x 345.0 mm)]
[FOOLSCAP (Australia) (206.0 x 337.0 mm)]
[OFICIO (Brazil) (215.9 x 355.0 mm)]
[OFICIO (Mexico) (215.9 x 341.0 mm)]

［任意に指定］

［ファイル形式］
［**PDF**］
［PDF (高圧縮)］
［PDF (高圧縮/OCR)］
［PDF (OCR)］
［JPEG］
［TIFF］
［詳細設定］
［PDF / A に準拠］
［**OFF**］
［ON］

［ページ毎に分割］
［**OFF**］
［ON］

［濃度］
9 段階

［原稿の向き］
［**縦長原稿**］
［横長原稿］

［原稿の種類］
［文字］
［**文字/写真**］
［写真］

［両面原稿］
［**OFF**］
［左右開き］
［上下開き］

［シャープネス］
7 段階

［データサイズ］
［小 : サイズ優先］
［**標準**］
［大 : 画質優先］

［プレビュー］
［**OFF**］
［ON］

[白紙スキップ]
[**OFF**]
[ON (プレビューあり)]
[ON (プレビューなし)]

[ファクス設定]

AU03-0C4

ファクスの送信について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。
※［ファクス設定］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

- **［デフォルト設定の変更 (ファクス)］(P. 586)**
- **［オフフックアラーム］(P. 587)**
- **［ECM 送信］(P. 587)**
- **［ポーズ時間セット］(P. 587)**
- **［自動リダイヤル設定］(P. 587)**
- **［送信前のﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ確認］(P. 588)**
- **［回線設定］(P. 588)**
- **［送信スタートスピード］(P. 589)**
- **［送信文書アーカイブ］(P. 589)**
- **［FAX 確認入力(誤送信防止)］(P. 589)**
- **［ﾌｧｸｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰから送信許可］(P. 589)**
- **［ｵﾝﾌｯｸ時のｱﾄﾞﾚｽ帳の使用］(P. 590)**
- **［同報送信の制限］(P. 590)**
- **［履歴からのアドレス帳登録］(P. 590)**
- **［発信元記録］(P. 590)**
- **［VoIP 通信エラーの低減設定］(P. 591)**

［デフォルト設定の変更 (ファクス)］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

ファクス送信するときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
ファクス送信の画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

［解像度］
　［**200 x 100 dpi (ノーマル)**］
　［200 x 200 dpi (ファイン)］
　［200 x 200 dpi (フォト)］
　［200 x 400 dpi (スーパーファイン)］
　［400 x 400 dpi (ウルトラファイン)］

［濃度］
　9 段階

［両面原稿］
　［**OFF**］
　［左右開き］
　［上下開き］

［シャープネス］
　7 段階

［プレビュー］
　［**OFF**］
　［ON］

[オフフックアラーム]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

電話機を接続している場合に、受話器が外れたままになっているときに鳴る警告音の音量を調整します。

- スライダーを右側に移動するほど、音量が大きくなります。
- スライダーを左端に合わせると、音が鳴らなくなります。

4 段階

[ECM 送信]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ECM（Error Correction Mode）とは、画像の送信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま送信しないよう、チェックと修正を行う機能です。ECM 機能を使用して送信するかどうかを設定します。

- ECM 送信する場合は、送信側と受信側でエラーのチェックを行いながら通信するため、相手機側でも ECM 機能を有効にする必要があります。
- ECM 送信は、エラーのチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。また、ECM 送信を有効にしても、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- 本機で受信するときのエラーを軽減したい場合は、ECM 受信を有効にします。 **[ECM 受信] (P. 596)**

[OFF]
[**ON**]

[ポーズ時間セット]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

番号と番号の間に入力するポーズ（待ち時間）の秒数を設定します。

- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に宛先を入力します。うまくつながらない場合は、番号と番号の間にポーズを入れます。
- ポーズを入れてもつながらない場合に、ポーズの時間を変更します。

1 ～ **2** ～ 15（秒）

[自動リダイヤル設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

相手が通話中などの理由でファクスを送信できなかった場合に、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。
自動的にリダイヤルする場合は、リダイヤルする回数や間隔、送信エラーが起きた場合にリダイヤルするかどうかも設定できます。

[自動リダイヤルを使用]
[OFF]
[**ON**]

［リダイヤル回数］
1～**2**～15（回）
［リダイヤル間隔］
2～99（分）
［送信エラー時リダイヤル］
［OFF］
［**ON**］

［送信前のﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ確認］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

ファクス送信する前に、発信音を確認してからダイヤルするかどうかを設定します。

［OFF］
［**ON**］

［回線設定］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

本機のファクス番号／ユーザー略称／回線種類を設定します。

※ファクス番号／ユーザー略称は、発信元情報として相手に通知されます。**［発信元記録］(P. 590)**

［ユーザー電話番号の登録］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］▶［回線設定］

本機のファクス番号を登録します。**ファクス番号／ユーザー略称を変更する(P. 299)**

［ユーザー略称の登録］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］▶［回線設定］

相手に通知する名前（ユーザー略称）を登録します。**ファクス番号／ユーザー略称を変更する(P. 299)**

［回線種類の選択］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］▶［回線設定］

本機を構内交換機（PBX）に接続したり、ホームテレホンやビジネスホンが接続されている回線に接続したりすると、電話回線の種類が自動的に設定されないことがあります。その場合に、［手動］を選択し、回線の種類を設定します。

※通常は、本機を電話回線に接続して再起動すると、電話回線の種類が自動的に設定されます。**ファクスの設定をする - ファクス設定ナビ(P. 103)**

［**自動**］

［手動］
［ダイヤル 20 PPS］
［ダイヤル 10 PPS］

［**プッシュ**］

［送信スタートスピード］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

電話回線の状態が悪いなど、送信が始まるまでに時間がかかることがあります。その場合に、通信開始速度を下げて調整します。

［**33600 bps**］
［14400 bps］
［9600 bps］
［7200 bps］
［4800 bps］
［2400 bps］

［送信文書アーカイブ］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

送信したファクスの内容が、あらかじめ指定した宛先に自動的に転送／保存されるようにするかどうかを設定します。**送信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 301)**
［ON］に設定した場合は、転送／保存する宛先と、必要に応じてファイル名も設定します。

［送信文書アーカイブを使用］
　［**OFF**］
　［ON］
　　［アーカイブアドレス］
　　［ファイル名］

［FAX 確認入力(誤送信防止)］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

テンキーでファクス番号を入力したときに、番号を再入力する画面が表示されるようにするかどうかを設定します。**送信前に宛先を確認する(P. 431)**

［**OFF**］
［ON］

［ﾌｧｸｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰから送信許可］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［ファクス設定］

パソコンからのファクス送信（PC ファクス）を許可するかどうかを設定します。**パソコンからのファクス送信を禁止する(P. 433)**

［OFF］
［**ON**］

[ｵﾝﾌｯｸ時のｱﾄﾞﾚｽ帳の使用]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクスを手動送信するときに、テンキーで特定の番号を入力してからアドレス帳に登録されている宛先を指定したい場合は、[常に許可] に設定します。

[**テンキー使用後は許可しない**]
[常に許可]

[同報送信の制限]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

複数の宛先へのファクス一斉送信（同報送信）を禁止するかどうかを設定します。 **複数の宛先へのファクス送信を禁止する(P. 433)**

[**OFF**]
[ON]

[履歴からのアドレス帳登録]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

ファクス送信履歴に残っている宛先を、アドレス帳に登録できないように制限するかどうかを設定します。 **ファクス送信履歴からのアドレス帳登録を禁止する(P. 445)**

[**制限しない**]
[制限する]

[発信元記録]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

送信日時や本機のファクス番号などの発信元情報が、ファクスの上部にプリントされるようにするかどうかを設定します。
[ON] に設定した場合は、発信元情報のプリント位置や、ファクス番号に付けるマークも設定できます。

- プリント位置を送信ページ内の文字や画像の先頭に合わせる場合は、[印字位置] を [画像の内側] に設定します。送信ページ内の文字や画像の先頭よりも外側にプリントする場合は、[画像の外側] に設定します。
- 本機のファクス番号を電話番号として通知する場合は、[電話番号マーク] を [TEL] に設定します。

[発信元記録をつける]
　[OFF]
　[**ON**]
　　[印字位置]
　　　[画像の内側]
　　　[**画像の外側**]
　　[電話番号マーク]

[FAX]
[TEL]

[VoIP 通信エラーの低減設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [送信] ▶ [ファクス設定]

通信エラーが発生しやすい VoIP 通信環境で、より確実にファクスを送受信したい場合は、[ON] に設定します。

※ [ON] に設定すると、通信スピードが遅くなります。

[OFF]
[ON]

[受信/転送] ／ [受信]

AU03-0C5

メール／ファクス／I ファクスの受信や転送について設定します。

- **[共通設定] (P. 592)**
- **[I ファクス設定] (P. 592)**
- **[ファクス設定] (P. 592)**

[共通設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ／ [受信]

ファクスや I ファクスのメモリー受信の動作について設定します。

- **[共通設定] (P. 593)**

[I ファクス設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ／ [受信]

受信した I ファクスのプリントについて設定します。

- **[I ファクス設定] (P. 595)**

[ファクス設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送]

ファクスの受信や転送について設定します。

- **[ファクス設定] (P. 596)**

※ [ファクス設定] は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[共通設定]

AU03-0C6

ファクスやIファクスのメモリー受信の動作について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[受信トレイ設定] (P. 593)**
- **[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量少時印字継続] (P. 593)**
- **[受信情報記録] (P. 594)**

[受信トレイ設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定]

ファクスのメモリー受信について設定します。

※[受信トレイ設定]は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[ファクスメモリー受信設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [共通設定] ▶ [受信トレイ設定]

受信したファクスをすぐにプリントしないで、一時的に本機のメモリーに保存します。 **受信したファクスをすぐにプリントしないようにする - メモリー受信(P. 440)**

- [メモリー受信を使用]
  - [**OFF**]
  - [ON]
    - [ファクスプレビューを使用]
      - [**OFF**]
      - [ON]
    - [レポートプリント]
      - [OFF]
      - [**ON**]
    - [メモリー受信時刻を指定]
      - [**OFF**]
      - [ON]
    - [メモリー受信時刻設定]
      - [メモリー受信開始時刻]
      - [メモリー受信終了時刻]

[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量少時印字継続]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ／ [受信] ▶ [共通設定]

トナーカートリッジの残量が少ないときに、受信したファクス／Iファクスをプリントするかどうかを設定します。

- トナーカートリッジの残量が少ない状態でプリントすると、プリント結果が薄くなったり、かすれたりすることがあります。そのため、通常は［しない］に設定します。その場合、受信したファクス／I ファクスは本機のメモリーに保存されます。
- ［する］に設定した場合、受信したファクス／I ファクスは本機のメモリーに保存されません。そのため、プリント結果が薄くて読めない場合は、相手にファクス／I ファクスを再送してもらう必要があります。

［**しない**］
［する］

［受信情報記録］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［受信/転送］▶［共通設定］

受信日時やページ番号などの受信情報が、ファクス／I ファクスの下部にプリントされるようにするかどうかを設定します。
受信したファクスのプリント設定を変更する(P. 318)
受信した I ファクスのプリント設定を変更する(P. 327)

［**つけない**］
［つける］

[I ファクス設定]

AU03-0C7

受信したI ファクスのプリントについて設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[両面記録] (P. 595)**
- **[受信プリントサイズ] (P. 595)**

[両面記録]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ／ [受信] ▶ [I ファクス設定]

受信したI ファクスを用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

[**OFF**]
[ON]

[受信プリントサイズ]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ／ [受信] ▶ [I ファクス設定]

受信したI ファクスをプリントする用紙のサイズを設定します。

[**A4**]
[LTR]
[LGL]
[FOOLSCAP/FOLIO (215.9 x 330.2 mm)]
[OFICIO (215.9 x 317.5 mm)]
[LETTER (Government) (203.2 x 266.7 mm)]
[LEGAL (Government) (203.2 x 330.2 mm)]
[LEGAL (India) (215.0 x 345.0 mm)]
[FOOLSCAP (Australia) (206.0 x 337.0 mm)]
[OFICIO (Brazil) (215.9 x 355.0 mm)]
[OFICIO (Mexico) (215.9 x 341.0 mm)]

[ファクス設定]

AU03-0C8

ファクスの受信や転送について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。
※［ファクス設定］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

- **［両面記録］(P. 596)**
- **［ECM 受信］(P. 596)**
- **［着信呼出］(P. 596)**
- **［リモート受信］(P. 597)**
- **［自動受信切替］(P. 597)**
- **［受信スタートスピード］(P. 597)**
- **［画像縮小］(P. 598)**
- **［転送設定］(P. 598)**

[両面記録]

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［受信/転送］▶［ファクス設定］

受信したファクスを用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。

［**OFF**］
［ON］

[ECM 受信]

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［受信/転送］▶［ファクス設定］

ECM（Error Correction Mode）とは、画像の受信中にエラーが発生した場合に、乱れた画像をそのまま受信しないよう、チェックと修正を行う機能です。ECM 機能を使用して受信するかどうかを設定します。

- ECM 受信する場合は、送信側と受信側でエラーのチェックを行いながら通信するため、相手機側でも ECM 機能を有効にする必要があります。
- ECM 受信は、エラーのチェックと修正を行いながら通信するため、通常よりも通信時間がかかることがあります。また、ECM 受信を有効にしても、電話回線の状態によってはエラーが発生することがあります。
- 本機で送信するときのエラーを軽減したい場合は、ECM 送信を有効にします。**［ECM 送信］(P. 587)**

［OFF］
［**ON**］

[着信呼出]

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［受信/転送］▶［ファクス設定］

ファクスの受信モードが［自動受信］または［FAX/TEL 切替］の場合に、ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らすようにするかどうかを設定します。
［ON］に設定した場合は、呼び出し音を鳴らす回数も設定できます。

※［OFF］に設定すると、スリープモードが使用できなくなります。

[着信呼出を使用]
[OFF]
[**ON**]
[呼出回数]
1～**2**～99（回）

[リモート受信]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

本機に接続した電話機の操作で、ファクスを受信（リモート受信）できるようにするかどうかを設定します。 **電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信(P. 317)**
[ON] に設定した場合は、電話機から操作するときの番号（リモート受信 ID）も設定できます。

[リモート受信を使用]
[OFF]
[**ON**]
[リモート受信 ID]
00～**25**～99

[自動受信切替]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクスの受信モードが［手動受信］の場合に、着信がファクスであれば受話器を取れなくても、一定時間経過後に自動受信に切り替わるようにするかどうかを設定します。
[ON] に設定した場合は、自動受信に切り替わるまでの呼び出し音を鳴らす秒数も設定できます。

[自動受信切替を使用]
[**OFF**]
[ON]
[呼出秒数]
1～**15**～99（秒）

[受信スタートスピード]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

電話回線の状態が悪いなど、受信が始まるまでに時間がかかることがあります。その場合に、通信開始速度を下げて調整します。

[**33600 bps**]
[14400 bps]
[9600 bps]
[7200 bps]
[4800 bps]
[2400 bps]

[画像縮小]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

受信したファクスの画像が縮小されてプリント／保存されるようにするかどうかを設定します。

- 用紙サイズに合わせて縮小する場合は、縮小率を［自動］に設定します。
- 縮小率を指定する場合は、［97 %］～［75 %］のいずれかに設定します。
- 画像のタテヨコを同じ比率で縮小する場合は、縮小方向を［縦横］に設定します。タテ方向のみ縮小する場合は、［縦のみ］に設定します。

[画像縮小]
[OFF]
[**ON**]
[縮小率]
[**自動**]
[97 %]
[95 %]
[90 %]
[75 %]
[縮小方向]
[縦横]
[**縦のみ**]

[転送設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定]

ファクスの転送について設定します。 **受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)**

[転送機能設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定] ▶ [転送設定]

受信したファクスの内容が、あらかじめ指定した宛先に自動的に転送／保存されるようにするかどうかを設定します。［ON］に設定した場合は、転送／保存する宛先と、必要に応じてファイル名も設定します。

[転送機能を使用]
[**OFF**]
[ON]
[転送先]
[ファイル名]

[画像をプリント]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定] ▶ [転送設定]

転送するファクスをプリントするかどうかを設定します。

転送できなかった場合にのみプリントすることもできます。

[OFF]
[**ON**]
[エラー時のみ]

[画像をメモリーに保存]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [受信/転送] ▶ [ファクス設定] ▶ [転送設定]

エラーで転送できなかったファクスを本機のメモリーに保存するかどうかを設定します。

[**保存しない**]
[エラー時のみ]

[ファイル保存/利用]

AU03-0C9

スキャンデータの保存や USB メモリーの使用について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[共通設定] (P. 600)**
- **[メモリーメディア設定] (P. 600)**
- **[メディア接続時の操作画面] (P. 601)**

[共通設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用]

USB メモリーへの保存や、メモリーメディアプリントについて設定します。

- **[共通設定] (P. 602)**

[メモリーメディア設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用]

本機に USB メモリーを差し込んだときに、使用できる機能を設定します。

- スキャンデータを USB メモリーに保存できるようにする場合は、[スキャン機能を使用] を [ON] に設定します。
- USB メモリー内のデータをプリントできるようにする場合は、[プリント機能を使用] を [ON] に設定します。
- スキャンデータの保存や USB メモリー内のデータのプリントを制限したい場合は、それぞれの項目を [OFF] に設定します。 **メモリーメディアの使用を制限する (P. 435)**

MF755Cdw II の場合

[スキャン機能を使用]
[**OFF**]
[ON]

[プリント機能を使用]
[**OFF**]
[ON]

MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合

[スキャン機能を使用]
[OFF]
[**ON**]

[プリント機能を使用]
[OFF]
[**ON**]

［メディア接続時の操作画面］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］

本機に USB メモリーを差し込んだときに、操作（USB スキャン／メモリーメディアプリント）画面を表示するかどうかを設定します。

［**OFF**］
［ON］

[共通設定]

AU03-0CA

USB メモリーへの保存や、メモリーメディアプリントについて設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[スキャンして保存設定] (P. 602)**
- **[保存ファイルの利用設定] (P. 603)**

[スキャンして保存設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定]

スキャンデータを USB メモリーに保存する機能について設定します。

[USB メモリー設定]

[メニュー] ▶ [ファンクション設定] ▶ [ファイル保存/利用] ▶ [共通設定] ▶ [スキャンして保存設定]

スキャンデータを USB メモリーに保存するときの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
USB メモリー保存の画面で [リセット] を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[デフォルト設定の変更 (USB メモリー)]
[読取サイズ]
[**A4**]
[A5R]
[A6]
[B5]
[LTR]
[LGL]
[STMT]
[EXEC]
[FOOLSCAP/FOLIO (215.9 x 330.2 mm)]
[OFICIO (215.9 x 317.5 mm)]
[LETTER (Government) (203.2 x 266.7 mm)]
[LEGAL (Government) (203.2 x 330.2 mm)]
[LEGAL (India) (215.0 x 345.0 mm)]
[FOOLSCAP (Australia) (206.0 x 337.0 mm)]
[OFICIO (Brazil) (215.9 x 355.0 mm)]
[OFICIO (Mexico) (215.9 x 341.0 mm)]
[任意に指定]
[ファイル形式]
[**PDF**]
[PDF (高圧縮)]
[PDF (高圧縮/OCR)]
[PDF (OCR)]

［JPEG］
［TIFF］
［詳細設定］
［PDF / A に準拠］
［**OFF**］
［ON］
［ページ毎に分割］
［**OFF**］
［ON］
［濃度］
9 段階
［原稿の向き］
［**縦長原稿**］
［横長原稿］
［原稿の種類］
［文字］
［**文字/写真**］
［写真］
［両面原稿］
［**OFF**］
［左右開き］
［上下開き］
［シャープネス］
7 段階
［データサイズ］
［小 : サイズ優先］
［**標準**］
［大 : 画質優先］
［白紙スキップ］
［**OFF**］
［ON］

［保存ファイルの利用設定］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］▶［共通設定］

USB メモリー内のファイルのプリントや表示について設定します。

［デフォルト設定の変更 (メモリーメディアプリント)］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［保存ファイルの利用設定］

メモリーメディアプリントの初期設定を変更します。 **初期設定を変更する(P. 200)**
メモリーメディアプリントの画面で［リセット］を押したときも、ここで設定した内容に戻ります。

[用紙]
[手差し]
[**カセット 1**]
[カセット 2] *1

[部数]
1 ～ 999

[両面]
[**OFF**]
[左右開き]
[上下開き]

[JPEG/TIFF 詳細設定]
[明るさ]
5 段階
[ページ集約]
[**OFF**]
[2 in 1]
[4 in 1]
[原稿の種類]
[**写真を優先**]
[文字を優先]
[中間調]
[階調]
[**誤差拡散**]
[マッチング方法]
[**一般**]
[VIVID フォト]

[PDF 詳細設定]
[明るさ]
7 段階
[ページ集約]
[**OFF**]
[2 in 1]
[4 in 1]
[6 in 1]
[8 in 1]
[9 in 1]
[16 in 1]
[印刷範囲]
[**全ページ**]
[ページ指定]

- [用紙サイズに拡大/縮小]
  - [**しない**]
  - [する]
- [印字領域拡大]
  - [**しない**]
  - [する]
- [注釈印刷]
  - [しない]
  - [**自動**]
- [細線調整]
  - [**均一**]
  - [均一 (細く)]
  - [しない]
- [その他の設定]
  - [中間調選択]
    - [誤差拡散]
      - [**しない**]
      - [する]
    - [解像度/階調] *1
      - [テキスト]
        - [**解像度**]
        - [階調]
      - [グラフィックス]
        - [解像度]
        - [**階調**]
      - [イメージ]
        - [解像度]
        - [**階調**]
  - [テキストに純ブラックを使用]
    - [しない]
    - [**する**]
  - [ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽに純ﾌﾞﾗｯｸを使用]
    - [**しない**]
    - [する]
  - [ブラックオーバープリント] *1
    - [しない]
    - [**する**]
  - [RGB 入力プロファイル]
    - [**sRGB**]
    - [Gamma 1.5]
    - [Gamma 1.8]

［Gamma 2.4］

［なし］

［CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］

［JapanColor (Canon)］

［U.S. Web Coated v1.00 (Canon)］

［Euro Standard v1.00 (Canon)］

［**なし**］

［ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用］

［**しない**］

［する］

［出力プロファイル］

［テキスト］

［Normal］

［Photo］

［TR Normal］

［**TR Photo**］

［グラフィックス］

［Normal］

［Photo］

［TR Normal］

［**TR Photo**］

［イメージ］

［Normal］

［Photo］

［TR Normal］

［**TR Photo**］

［マッチング方法］

［**色み優先**］

［鮮やかさ優先］

［色差最小］

［コンポジットオーバープリント］

［**しない**］

［する］

［グレースケール変換方式］

［sRGB］

［**NTSC**］

［RGB 均等］

［印字調整］

［トナー濃度］*1

イエロー／マゼンタ／シアン／ブラック

17 段階

[微調整]

[イエロー] ／ [マゼンタ] ／ [シアン] ／ [ブラック]

[高濃度] ／ [中濃度] ／ [低濃度]

17 段階

[トナー節約]

[**しない**]

[する]

[階調]

[**高階調 1**]

[高階調 2]

[精細濃度補正]

5 段階

[解像度]

[スーパーファイン]

[**ファイン**]

[特殊スムージングモード]

[**モード 1**]

[モード 2]

[モード 3]

[モード 4]

[モード 5]

[モード 6]

[トナー印字量補正]

[**標準**]

[階調優先]

[テキスト優先]

[ライン処理]

[**解像度優先**]

[階調優先]

[太さ調整]

[**しない**]

[する]

[テキスト]

[ライン]

[**テキストとライン**]

[アドバンスドスムージング]

［アドバンスドスムージング］
［しない］
［**レベル 1**］
［レベル 2］
［グラフィックスに適用］*1
［**しない**］
［する］
［テキストに適用］*1
［しない］
［**する**］
［グラデーションスムージング］
［ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｽﾑｰｼﾞﾝｸﾞ］
［**しない**］
［レベル 1］
［レベル 2］
［グラフィックスに適用］*1
［しない］
［**する**］
［イメージに適用］*1
［しない］
［**する**］

*1 機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［表示方法のデフォルト設定］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［保存ファイルの利用設定］

USB メモリー内のファイルの表示方法を設定します。
USB メモリー内のファイル選択画面が、ここで設定した方法で表示されます。 **USB メモリー内のファイル選択画面(P. 236)**

［プレビュー］
［サムネイル］
［**詳細**］

［ﾌｧｲﾙｿｰﾄのﾃﾞﾌｫﾙﾄ設定］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［保存ファイルの利用設定］

USB メモリー内のファイルの表示順を設定します。

［**名称昇順**］
［名称降順］
［日付/時刻昇順］

［日付/時刻降順］

［ファイル名表示形式］

［メニュー］▶［ファンクション設定］▶［ファイル保存/利用］▶［共通設定］▶［保存ファイルの利用設定］

USB メモリー内のファイル名の表示形式を設定します。

- 省略して表示する場合は、［ショートファイル名］に設定します。半角 8 文字以内で表示され、ファイル名の後半が省略されます。類似したファイル名を区別するために、ファイル名の末尾に数字が表示されます。
- 省略しないで表示する場合は、［ロングファイル名］に設定します。半角 40 文字まで省略しないで表示されます。

※ファイル名の文字数に拡張子は含まれません。

［ショートファイル名］
［**ロングファイル名**］

[宛先設定]

AU03-0CC

アドレス帳の暗証番号について設定します。

[アドレス帳の暗証番号] (P. 610)

[アドレス帳の暗証番号]

[メニュー] ▶ [宛先設定]

アドレス帳を登録／編集する際に、暗証番号の入力が必要になるようにします。 **アドレス帳に暗証番号を設定して登録／編集を制限する(P. 444)**

[管理設定]

AU03-0CE

本機のユーザー／システム／データなどの管理について設定します。

- **[ユーザー管理] (P. 611)**
- **[デバイス管理] (P. 611)**
- **[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] (P. 611)**
- **[データ管理] (P. 611)**
- **[セキュリティー設定] (P. 611)**
- **[全データ/設定の初期化] (P. 612)**

[ユーザー管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の管理者やユーザーの情報を登録／管理します。

- **[ユーザー管理] (P. 613)**

[デバイス管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[デバイス管理] (P. 615)**

[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] (P. 618)**

[データ管理]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の設定や登録データを管理／初期化します。

- **[データ管理] (P. 621)**

[セキュリティー設定]

[メニュー] ▶ [管理設定]

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティーについて設定／管理します。

- **[セキュリティー設定] (P. 623)**

[全データ/設定の初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定]

設定内容や登録したデータなどを初期化して、本機を工場出荷時の状態に戻します。 **設定／データを初期化する(P. 493)**

[ユーザー管理]

AU03-0CF

本機の管理者やユーザーの情報を登録／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[管理者情報の設定] (P. 613)
[部門別 ID 管理] (P. 613)

[管理者情報の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」を設定して、管理者専用のアカウントを作成します。
必要に応じて、管理者の名前も設定できます。
メールアドレスなど他の管理者情報は、パソコンからリモート UI を使用して設定します。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)**

※管理者 ID と管理者暗証番号の初期設定は、機種によって異なります。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

[管理者 ID と管理者暗証番号]
[管理者 ID]
[管理者暗証番号]

[管理者名]

[部門別 ID 管理]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ユーザー管理]

本機を使用するユーザーまたはグループに「部門 ID」を割り当てて、セキュリティー強化や使用する機能／コスト管理を行います。 **部門 ID によるユーザー認証／グループ管理 - 部門別 ID 管理(P. 384)**

[部門別 ID 管理を使用]
[**OFF**]
[ON]
[ID 不定ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｮﾌﾞの許可]
[OFF]
[**ON**]
[ID 不定ｽｷｬﾝｼﾞｮﾌﾞの許可]
[OFF]
[**ON**]
[白黒コピージョブの許可]
[OFF]
[**ON**]

[登録/編集]

［カウント管理］

[デバイス管理]

AU03-0CH

本機のハードウェアに関する動作や情報を設定／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[デバイス情報の設定] (P. 615)**
- **[ジョブ履歴の表示] (P. 615)**
- **[リモート UI/ツールへの消耗品情報表示] (P. 615)**
- **[Canon PRINT でスキャンを使用] (P. 616)**
- **[用紙設定の確認表示] (P. 616)**
- **[Canon Genuine Mode] (P. 616)**
- **[uniFLOW Online セットアップ表示] (P. 617)**

[デバイス情報の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

本機を識別するための名前や、設置した場所を設定します。
設定した情報は、リモート UI のポータル画面に表示されます。 **リモート UI のポータル画面(P. 468)**

[デバイス名]
[設置場所]

[ジョブ履歴の表示]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

プリント／スキャン／ファクス／コピーの使用履歴を、状況確認画面や通信管理レポートに表示するかどうかを設定します。
[状況確認] 画面(P. 128)
リモート UI で使用状況／履歴を確認する(P. 470)
レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)

[OFF]
[**ON**]

[リモート UI/ツールへの消耗品情報表示]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

リモート UI やカートリッジ残量お知らせツールに、トナーカートリッジ購入サイトにアクセスするボタンを表示するかどうかを設定します。カートリッジ残量お知らせツールを使用するかどうかを設定することもできます。

- リモート UI にボタンを表示するかどうかは、[消耗品購入ボタンを表示] で設定します。
- カートリッジ残量お知らせツールを使用するかどうかは、[カートリッジ残量お知らせツール設定] の [カートリッジ残量お知らせ] で設定します。
- カートリッジ残量お知らせツールを使用する場合に、ボタンを表示するかどうかは、[カートリッジ残量お知らせツール設定] の [消耗品購入ボタンを表示] で設定します。

カートリッジ残量お知らせツールとは、インストールしたパソコンに、本機のトナーカートリッジの残量が通知されるツールです。キヤノンのソフトウェアダウンロードサイトからダウンロードしてインストールします。
https://canon.jp/download/
※CD/DVD-ROM が付属する場合は、CD/DVD-ROM を使用してインストールすることもできます。

[消耗品購入ボタンを表示]
[OFF]
[**ON**]

[カートリッジ残量お知らせツール設定]
[カートリッジ残量お知らせ]
[OFF]
[**ON**]
[消耗品購入ボタンを表示]
[OFF]
[**ON**]

[Canon PRINT でスキャンを使用]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

Canon PRINT がインストールされているモバイル機器から、本機のスキャン機能を使用できるようにするかどうかを設定します。

[OFF]
[**ON**]

[用紙設定の確認表示]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

給紙カセットを本機にセットしたときに、用紙設定の確認画面を表示するかどうかを設定します。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**

[OFF]
[**ON**]

[Canon Genuine Mode]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [デバイス管理]

純正のトナーカートリッジ向けのモードにするかどうかを設定します。

- 通常は設定を変更する必要はありません。
- 担当サービスが設定を変更する場合があります。項目が表示されていない場合は、本機の管理者にお問い合わせください。

[**OFF**]
[ON]

［uniFLOW Online セットアップ表示］

［メニュー］▶［管理設定］▶［デバイス管理］

操作パネルの［ホーム］画面に、uniFLOW Online 用のアプリケーションをインストールするボタンを表示するかどうかを設定します。
※［uniFLOW Online セットアップ表示］は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

［OFF］
［**ON**］

[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

AU03-0CJ

本機のソフトウェアに関する動作や情報を設定／管理します。

- **[ライセンス登録] (P. 618)**
- **[リモート UI 設定] (P. 618)**
- **[ファームウェア更新] (P. 618)**
- **[モバイル端末からのジョブ実行] (P. 618)**

[ライセンス登録]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

本機でシステムオプションを使用する場合に、ライセンスキーを登録します。

※ [ライセンス登録] は、機種やオプション、他の項目の設定内容によっては表示されません。

[リモート UI 設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

リモート UI の使用やアクセス制限について設定します。

- **[リモート UI 設定] (P. 620)**

[ファームウェア更新]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

インターネット経由またはパソコン経由で本機のファームウェアをアップデートしたり、ファームウェアのバージョンを確認したりします。 **ファームウェアをアップデートする (P. 490)**

[PC 経由]

[インターネット経由]

[バージョン情報]

[通知設定]
[OFF]
[**ON**]

[モバイル端末からのジョブ実行]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

本設定を [ON] にすると、モバイル機器からスキャンしてメール送信／ファクス／コピーの操作ができるようになります。

[モバイルからのジョブ実行]
[**OFF**]
[ON]

[ジョブ実行時に PIN コードで認証]
[OFF]
[**ON**]

[モバイル接続時の制限方法]
[制限しない]
[**リモート UI のパスワードで制限する**]

[モバイル端末からのジョブ機能制限]
[コピー]
[**OFF**]
[ON]
[スキャン]
[**OFF**]
[ON]

[リモート UI 設定]

AU03-0CK

リモート UI の使用やアクセス制限について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[リモート UI 設定] (P. 620)
[パスワードの使用] (P. 620)

[リモート UI 設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] ▶ [リモート UI 設定]

リモート UI を使用するかどうかを設定します。 **リモート UI を使用できないようにする(P. 447)**
リモート UI を使用する場合は、リモート UI 使用時の通信を TLS で暗号化するかどうかも設定できます。 **TLS を使用する (P. 403)**

[リモート UI を使用]
　[OFF]
　[**ON**]
　　[TLS を使用]
　　　[**OFF**]
　　　[ON]

[パスワードの使用]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] ▶ [リモート UI 設定]

リモート UI を使用する場合は、[ON] に設定して、リモート UI のパスワードを設定します。 **リモート UI 使用時のパスワードを設定する(P. 446)**

[**OFF**]
[ON]
　[パスワード (4 ～ 32 文字)]

[データ管理]

AU03-0CL

本機の設定やデータを管理／初期化します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[インポート/エクスポート] (P. 621)**
- **[使用状況調査ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ使用] (P. 621)**
- **[情報送信の設定] (P. 622)**
- **[鍵と証明書の初期化] (P. 622)**
- **[アドレス帳の初期化] (P. 622)**
- **[メニューの初期化] (P. 622)**

[インポート/エクスポート]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

アドレス帳や各種設定をインポート／エクスポートします。
インポートが完了すると本機が自動的に再起動します。

- 操作パネルを使用してインポート／エクスポートする場合は、USB メモリーを使用します。 **USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)**
- インポート／エクスポートする項目を個別に選択したい場合は、パソコンからリモート UI を使用してインポート／エクスポートします。 **アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)**

[インポート]
[エクスポート]

MEMO

インポート／エクスポート中に［アドレス帳の暗証番号］画面が表示された場合

- アドレス帳の暗証番号を入力し、[確定] を押します。この操作をスキップすると、アドレス帳のデータはインポート／エクスポートされません。

[使用状況調査ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ使用]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

使用状況調査プログラムを使用するかどうかを設定します。

使用状況調査プログラムは、ドライバーのインストール時にパソコンにインストールされるプログラムです。デバイスの使用状況に関する情報が、10 年間に渡って毎月キヤノンに自動的に送信されます。なお、上記以外の情報や個人情報は送信されません。

[OFF]
[**ON**]

[情報送信の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

連携する外部サービスの利用やご利用状況の分析のために、外部サーバーに情報を送信するかどうかを設定します。

[サービス利用に必要な情報]
[送信する]
[**送信しない**]
[ご利用状況に関する情報]
[送信する]
[**送信しない**]

[鍵と証明書の初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

鍵と証明書の設定と CA 証明書の設定を初期化し、プリインストール以外の鍵や証明書を消去します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 493)**

[アドレス帳の初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

アドレス帳に登録されている宛先を消去します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 493)**

[メニューの初期化]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [データ管理]

[ホーム] 画面の [メニュー] の設定を初期化します。初期化する設定項目を選択します。 **特定の設定／データを初期化する(P. 493)**

[環境設定]
[調整/メンテナンス]
[ファンクション設定]
[宛先設定]
[管理設定]
[上記すべて]

[セキュリティー設定]

AU03-0CR

本機の認証機能やシステム検証など、セキュリティーについて設定／管理します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

- **[認証/パスワード設定] (P. 623)**
- **[暗号設定] (P. 623)**
- **[起動時のシステム検証] (P. 623)**
- **[おすすめセキュリティー設定] (P. 624)**

[認証/パスワード設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

本機の認証機能について設定します。

- **[認証/パスワード設定] (P. 625)**

[暗号設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

弱い暗号や、弱い暗号を用いた鍵と証明書を使用できないようにするかどうかを設定します。

[弱い暗号の使用を禁止]
[OFF]
[ON]
[弱い暗号の鍵/証明書禁止]
[OFF]
[ON]

[起動時のシステム検証]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

本機の起動時やアプリケーション（アプリケーションライブラリ）の実行時に、システムやアプリケーションが改ざんされていないかを検証します。

改ざんが検出された場合

- 本機が更新待機状態になります。ファームウェアをアップデートする必要があります。 **ファームウェアをアップデートする(P. 490)**
- 本機に追加したアプリケーションが改ざんされていた場合は、該当するアプリケーションを再インストールする必要があります。
- しばらく待っても画面が表示されない場合は、システムの復旧ができない可能性があります。販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

[OFF]

[ON]

[おすすめセキュリティー設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定]

環境タイプを選択するだけで、お使いの環境におすすめのセキュリティー設定を一括して行えます。どの環境タイプに該当するかは「セキュリティー設定ナビ」でご確認ください。 **セキュリティー設定ナビ**



- 本機を各タイプでおすすめのセキュリティー設定に変更したあと、必要な機能が利用できなくなった場合などは、変更を取り消して元に戻すことができます。[おすすめセキュリティー設定] で変更された項目の設定を手動で変更していた場合、その変更は維持されません。[おすすめセキュリティー設定] を実行する前の状態に戻ります。

[認証/パスワード設定]

AU03-0CS

本機の認証機能について設定します。
※各項目に赤い太字で表記されている設定値は初期設定です。

[認証機能の設定] (P. 625)

[認証機能の設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [認証/パスワード設定]

認証機能によるセキュリティーを強化する設定をします。

[ロックアウト設定]

[メニュー] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [認証機能の設定]

認証に失敗した場合、一定時間ログインできない状態（ロックアウト）にするかどうかを設定します。
ロックアウトする場合は、何回連続して失敗するとロックアウトするかを［ロックアウトのしきい値］で、ロックアウトを解除するまでの時間を［ロックアウト時間］で設定できます。

※部門 ID の認証には適用されません。

[ロックアウトを使用]
[**OFF**]
[ON]
[ロックアウトのしきい値]
1 ～ 10（回）
[ロックアウト時間]
1 ～ 60（分）

インポート／エクスポートできる設定項目

AU03-0CU

本機の設定項目のインポート／エクスポート対応状況を一覧で確認できます。

- **［環境設定］(P. 627)**
- **［調整/メンテナンス］(P. 632)**
- **［ファンクション設定］(P. 634)**
- **［宛先設定］(P. 639)**
- **［管理設定］(P. 640)**



- インポート／エクスポートの操作方法については、以下を参照してください。
  アドレス帳や設定をインポート／エクスポートする(P. 482)

[環境設定]

AU03-0CW

[環境設定]のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

○：インポート／エクスポート可
×：インポート／エクスポート不可

- **[表示設定] (P. 627)**
- **[英語キーボードの配列] (P. 628)**
- **[タイマー/電力設定] (P. 628)**
- **[ネットワーク] (P. 628)**
- **[外部インターフェイス] (P. 630)**
- **[アクセシビリティー] (P. 630)**

[表示設定]

設定項目	インポート／エクスポート
[起動/復帰後に表示する画面]	○
[ホーム画面のボタン表示設定]	×
[表示言語の切替]	○
[リモート UI 表示言語の切替]	○
[原稿読取部の清掃表示]	○
[mm/インチ入力の切替]	○
[ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせ表示]	○
[定着器のｸﾘｰﾆﾝｸﾞのお知らせ表示]	○
[警告表示]	○
[警告処理]	○
[IP アドレスの表示設定]	○

[英語キーボードの配列]

設定項目	インポート／エクスポート
[英語キーボードの配列]	○

[タイマー/電力設定]

設定項目	インポート／エクスポート
[現在日時の設定]	×
[日付/時刻設定]	○
[日付の形式]	○
[時刻の形式]	○
[オートクリア]	○
[オートクリア後の機能]	○
[オートスリープ]	○
[オートスリープ時刻の設定]	○
[スリープ復帰時刻の設定]	○

[ネットワーク]

設定項目		インポート／エクスポート
[有線 LAN / Wi-Fi 選択]		○
[Wi-Fi 設定]	[ネットワーク名 (SSID) 手動入力]	○
	[WPS プッシュボタン方式]	×
	[WPS PIN コード方式]	×

設定項目		インポート／エクスポート
	[パワーセーブモード]	○
	[接続情報]	×
[ダイレクト接続設定]		○
[PC でかんたん接続]		×
[TCP/IP 設定]	[IPv4 設定]	○ *1
	[IPv6 設定]	○
	[DNS 設定]	○
	[WINS 設定]	○
	[LPD 設定]	○
	[RAW 設定]	○
	[WSD 設定]	○
	[FTP の PASV モードを使用]	○
	[IPP 印刷の設定]	○
	[HTTP を使用]	○
	[IPSec を使用]	×
	[Network Link Scan 設定]	○
	[ポート番号設定]	○
	[MTU サイズ]	○
[SNMP 設定]		○
[IPP Everywhere を使用]		○
[Universal Print の設定]		○

設定項目	インポート／エクスポート
[専用ポートを使用]	○
[専用ポートの認証方式]	○
[起動時の接続待機時間]	○
[Ethernet ドライバー設定]	○
[IEEE 802.1X を使用]	×
[ファイアウォール設定]	○
[Web サービス設定]	×
[Web サービス問い合わせ]	×
[デバイス設定値管理]	○
[遠隔監視サービス]	×
[RMT - SW]	○
[ネットワーク設定の初期化]	×

*1 [PING コマンド] は「×」になります。

[外部インターフェイス]

設定項目	インポート／エクスポート
[USB 設定]	○

[アクセシビリティー]

設定項目	インポート／エクスポート
[キーリピート設定]	○
[連続キー操作を受け付けない時間の指定]	○

設定項目	インポート／エクスポート
[画面色反転]	○
[輝度調整]	○
[メッセージ表示時間]	○

[調整/メンテナンス]

AU03-0CX

[調整/メンテナンス]のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

○：インポート／エクスポート可
×：インポート／エクスポート不可

[画質調整] (P. 632)
[動作調整] (P. 632)
[メンテナンス] (P. 632)

[画質調整]

設定項目	インポート／エクスポート
[自動階調補正]	×
[自動補正設定]	○
[プリント色ずれ補正]	×
[カラー時の黒文字処理調整]	○
[印字位置調整]	○
[特殊処理]	○
[原稿読取部すじ汚れ除去]	○

[動作調整]

設定項目	インポート／エクスポート
[自動補正設定]	○

[メンテナンス]

設定項目	インポート／エクスポート
[定着器のクリーニング]	×

設定項目	インポート／エクスポート
［ITB のクリーニング］	×
［フィーダーのクリーニング］	×
［本体内結露除去モード］	○

[ファンクション設定]

AU03-0CY

[ファンクション設定]のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

○：インポート／エクスポート可
×：インポート／エクスポート不可

- **[共通] (P. 634)**
- **[コピー] (P. 634)**
- **[プリンター] (P. 634)**
- **[送信] (P. 636)**
- **[[受信/転送] ／ [受信]] (P. 637)**
- **[ファイル保存/利用] (P. 637)**
- **[セキュアプリント] (P. 638)**

[共通]

設定項目	インポート／エクスポート
[給紙動作]	○
[印刷動作]	○
[スキャン動作]	○
[ファイル生成]	○
[ファクス設定ナビ]	×

[コピー]

設定項目	インポート／エクスポート
[デフォルト設定の変更 (コピー)]	○

[プリンター]

設定項目		インポート／エクスポート
[プリンター仕様設定]	[ドライバー設定優先出力]	○

設定項目		インポート／エクスポート
	［コピー部数］	○
	［両面］	○
	［デフォルト用紙］	○
	［用紙サイズ置換］	○
	［印字調整］	○
	［レイアウト］	○
	［自動エラースキップ］	○
	［タイムアウト時間］	○
	［プリンター動作モード］	○
	［カラーモード］	○
	［圧縮画像出力］	○
	［手差し優先］	○
	［LIPSLX 設定］／［CARPS2 設定］	○
	［Imaging 設定］	○
	［PDF 設定］	○ *1
	［XPS 設定］	○
［ページ記述言語選択 (プラグ & プレイ)］	［ネットワーク］	×

*1 以下の項目は「×」になります。

- ［RGB 入力プロファイル］
- ［CMYKｼﾐｭﾚｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ］
- ［ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙﾌﾟﾛﾌｧｲﾙを使用］
- ［出力プロファイル］

[送信]

設定項目		インポート／エクスポート
[共通設定]		○
[スキャンして送信設定]		○
[ファクス設定]	[デフォルト設定の変更 (ファクス)]	○
	[オフフックアラーム]	○
	[ECM 送信]	○
	[ポーズ時間セット]	○
	[自動リダイヤル設定]	○
	[送信前のﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝ確認]	○
	[回線設定]	○
	[送信スタートスピード]	○
	[送信文書アーカイブ]	×
	[FAX 確認入力(誤送信防止)]	○
	[ﾌｧｸｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰから送信許可]	○
	[ｵﾝﾌｯｸ時のｱﾄﾞﾚｽ帳の使用]	○
	[同報送信の制限]	○
	[履歴からのアドレス帳登録]	○
	[発信元記録]	○
	[VoIP 通信エラーの低減設定]	○

[[受信/転送] ／ [受信]]

設定項目		インポート／エクスポート
[共通設定]		○
[I ファクス設定]		○
[ファクス設定]	[両面記録]	○
	[ECM 受信]	○
	[着信呼出]	○
	[リモート受信]	○
	[自動受信切替]	○
	[受信スタートスピード]	○
	[画像縮小]	○
	[転送設定]	○ *1

*1 [転送機能設定] の [転送機能を使用] と [転送先] は「×」になります。

[ファイル保存/利用]

設定項目	インポート／エクスポート
[共通設定]	○
[メモリーメディア設定]	○
[メディア接続時の操作画面]	○

[セキュアプリント]

設定項目	インポート／エクスポート
[セキュアプリント]	○

[宛先設定]

AU03-0E0

[宛先設定]のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

○：インポート／エクスポート可
×：インポート／エクスポート不可

[アドレス帳の暗証番号] (P. 639)

[アドレス帳の暗証番号]

設定項目	インポート／エクスポート
[アドレス帳の暗証番号]	○

[管理設定]

AU03-0E1

[管理設定]のインポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

○：インポート／エクスポート可
×：インポート／エクスポート不可

- **[ユーザー管理] (P. 640)**
- **[デバイス管理] (P. 640)**
- **[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新] (P. 641)**
- **[データ管理] (P. 641)**
- **[セキュリティー設定] (P. 641)**
- **[全データ/設定の初期化] (P. 642)**

[ユーザー管理]

設定項目	インポート／エクスポート
[管理者情報の設定]	○
[部門別 ID 管理]	○ *1

*1 [カウント管理]は「×」になります。

[デバイス管理]

設定項目	インポート／エクスポート
[デバイス情報の設定]	○
[ジョブ履歴の表示]	○
[リモート UI/ツールへの消耗品情報表示]	○
[Canon PRINT でスキャンを使用]	○
[用紙設定の確認表示]	○
[Canon Genuine Mode]	○
[uniFLOW Online セットアップ表示]	○

[ライセンス/その他] ／ [リモート UI 設定/ファームウェア更新]

設定項目	インポート／エクスポート
[ライセンス登録]	×
[リモート UI 設定]	×
[ファームウェア更新]	×
[モバイル端末からのジョブ実行]	×

[データ管理]

設定項目	インポート／エクスポート
[インポート/エクスポート]	×
[使用状況調査ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ使用]	○
[情報送信の設定]	×
[鍵と証明書の初期化]	×
[アドレス帳の初期化]	×
[メニューの初期化]	×

[セキュリティー設定]

設定項目	インポート／エクスポート
[認証/パスワード設定]	○
[暗号設定]	○
[起動時のシステム検証]	○
[おすすめセキュリティー設定]	○

［全データ/設定の初期化］

設定項目	インポート／エクスポート
［全データ/設定の初期化］	×

メンテナンス

メンテナンス 644
本機の清掃 646
本機の表面を清掃する 647
原稿台ガラスを清掃する 648
フィーダーを清掃する 649
定着器を清掃する 652
転写ベルトを清掃する 653
消耗品の交換 654
トナーカートリッジの交換方法 655
消耗品の残量を確認する 660
消耗品一覧 661
画質／プリント位置の調整 663
階調を補正する 664
色ずれを補正する 668
黒に近い文字の再現性を調整する 669
プリント位置を調整する 671
本機を移動する 673
無償保証の利用 675
NETEYE 676

メンテナンス

AU03-0E2

本機を安全かつ快適に使用するためには、清掃や消耗品の交換など、日常的なメンテナンス作業が必要です。
プリント品質の低下などが起きた場合は、改善するために清掃や調整を行います。
本機の安定した稼働を維持するための、無償保証も用意されています。

メンテナンス作業の実施

定期的な清掃に加えて、本機の状態やプリント品質に応じて作業が必要です。

清掃

本機の各部は定期的に清掃します。原稿や用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、症状に応じて原因となっている部分を清掃します。

本機の清掃(P. 646)

消耗品の交換

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたり、プリント品質が低下したりする場合は、消耗品を交換します。

消耗品の交換(P. 654)

画質／プリント位置の調整

プリントしたときに色が再現されなかったり、画像の位置がずれたりするなど、期待どおりの結果にならない場合は、症状に応じて画質やプリント位置を調整します。

画質／プリント位置の調整(P. 663)

設置場所の変更

本機を移動する場合は、事故や破損を防ぐために決まった手順で作業します。

本機を移動する(P. 673)

無償保証の利用

キヤノンが提供する無償保証を利用して、本機を快適な稼動環境で使用します。

無償保証の利用(P. 675)
NETEYE(P. 676)

重要

保守について

- 本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、製造打ち切り後 7 年間です。
- 操作に問題が発生した場合は、以下を参照してください。

  困ったときは(P. 680)

  それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合は、販売店または担当サービスに連絡してください。**トラブルが解決しないときは(P. 788)**

設置について

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。
- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などのおそれがありますので、2 時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。
- 高地（海抜 3000m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

■関連項目

症状から必要な対処方法を確認する

本機の状態やトラブルの内容から、必要なメンテナンス作業や設定を確認できます。

紙がつまった(P. 681)
プリント結果のトラブル(P. 691)
用紙／給紙のトラブル(P. 711)

プリントページ数や本機の使用状況を確認する

メンテナンスの目安として、カウンターでプリントページ数を確認したり、レポートやリストで使用状況を確認したりできます。

使用状況の確認(P. 472)

本機の清掃

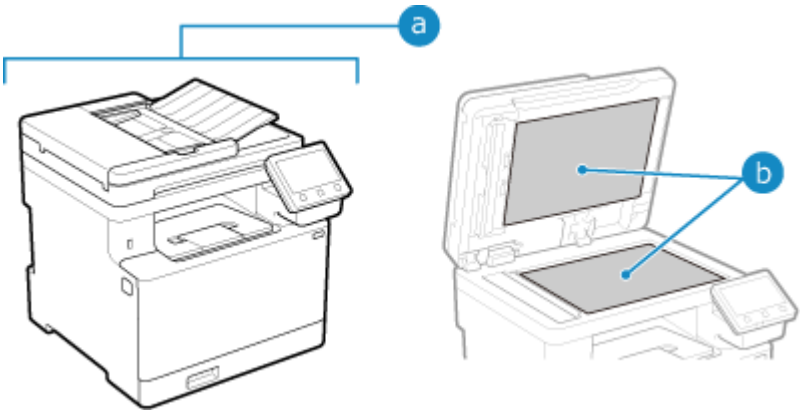
AU03-0E3

本機を快適に使用するために、各部を定期的に清掃してきれいに保ちます。
原稿や用紙が汚れたり、プリント品質が低下したりする場合は、症状に応じて原因となっている部分を清掃します。

定期的に清掃する箇所

本機の表面（a）と原稿台ガラス／フィーダーの裏面（b）は、こまめに清掃します。

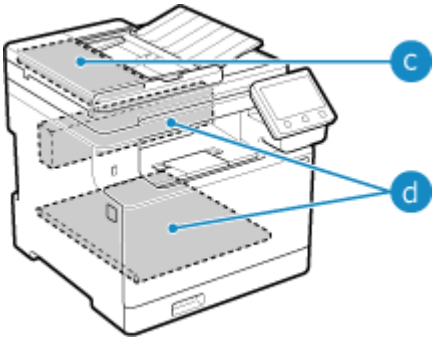
本機の表面を清掃する(P. 647)
原稿台ガラスを清掃する(P. 648)



症状に応じて清掃する

以下のような症状が見られる場合は、フィーダー（c）や、本機内部の定着器／転写ベルト（d）を清掃します。

- 原稿が汚れる／原稿がつまる／汚れが写り込む
  フィーダーを清掃する(P. 649)
- 用紙が汚れる／プリント品質が低下した
  定着器を清掃する(P. 652)
  転写ベルトを清掃する(P. 653)



本機の表面を清掃する

AU03-0E4

本機をきれいに保つために、定期的に表面を清掃します。また、効果的に本機内部の換気と冷却が行われるように、通気口のホコリはこまめに取り除きます。

MEMO

- 本機の表面に黒い点が見られる場合がありますが、再生材使用によるものであり、品質には問題ありません。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 電源を切る(P. 113)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

2 本機の表面と通気口を拭く



- 柔らかい布に、水または薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞って拭きます。
- 通気口の位置については、本機前面の各部の名称を参照してください。 前面(P. 14)

3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる 電源を入れる(P. 112)

原稿台ガラスを清掃する

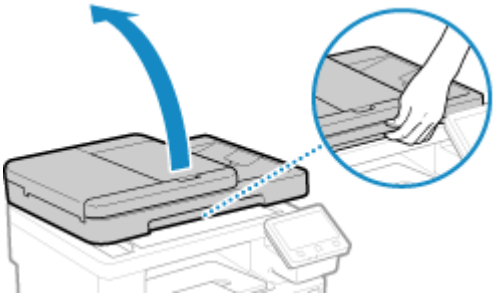
AU03-0E5

原稿の汚れや、汚れの写り込みを防ぐために、原稿台ガラスやフィーダーの裏面を定期的に清掃します。
原稿台ガラスやフィーダーの裏面に汚れが付着していると、原稿が汚れたり、スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込んだりする場合があります。

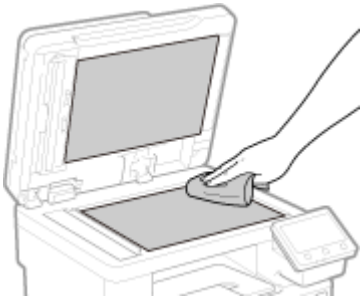
1 **電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く** 電源を切る(P. 113)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

2 **フィーダーを開ける**



3 **原稿台ガラスとフィーダーの裏面を拭く**



布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

4 **水分が完全に乾くまで待つ**

5 **フィーダーをゆっくり閉める**

6 **電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる** 電源を入れる(P. 112)

フィーダーを清掃する

AU03-0E6

フィーダー使用時に以下の症状が見られる場合は、フィーダーを拭いて汚れを取り除きます。

- 原稿が汚れる
- 原稿がひんぱんにつまる
- スキャン／ファクス送信／コピーの結果に汚れが写り込む

フィーダーを拭いてもこれらが改善されない場合は、用紙を使用して汚れを取り除きます。

フィーダーを拭いて清掃する(P. 649)
用紙を使用してフィーダーを清掃する(P. 650)

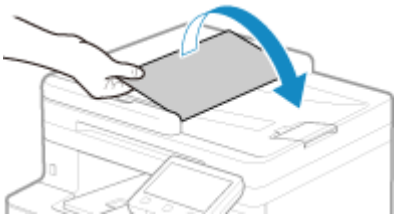
フィーダーを拭いて清掃する

フィーダー内部のローラーや、フィーダー原稿読み取りエリアを拭いて、付着している鉛筆の粉／ホコリなどの汚れを取り除きます。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 電源を切る(P. 113)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

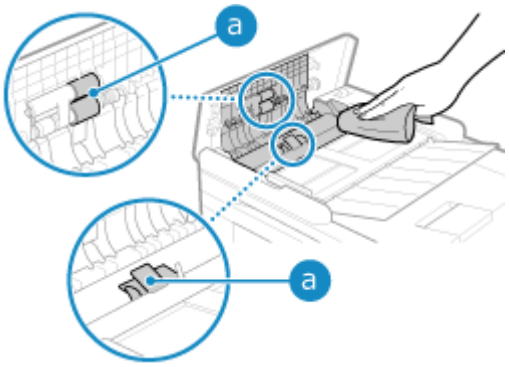
2 原稿給紙トレイを開ける



3 フィーダーカバーを開ける



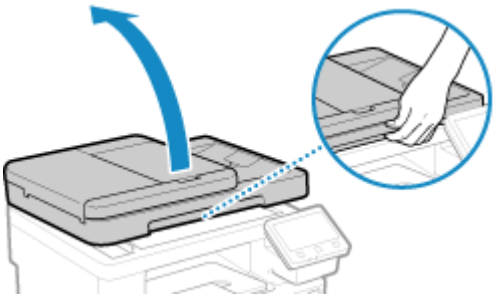
4 フィーダー内部のローラー（a）とその周辺を拭く



布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

5 **フィーダーカバーと原稿給紙トレイを閉める**

6 **フィーダーを開ける**



7 **フィーダー原稿読み取りエリアを拭く**



布に水を含ませ、固く絞って拭きます。そのあと、乾いた柔らかい布で拭きます。

8 **水分が完全に乾くまで待つ**

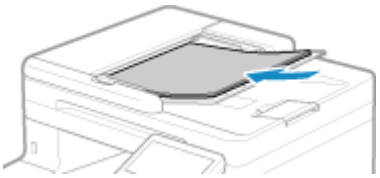
9 **フィーダーをゆっくり閉める**

10 **電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる** **電源を入れる(P. 112)**

用紙を使用してフィーダーを清掃する

フィーダー内に用紙を通過させて清掃します。

1 フィーダーに、A4 またはレターサイズの普通紙 10 枚をセットする 原稿のセット方法(P. 142)



2 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

3 ［調整/メンテナンス］ ［メンテナンス］ ［フィーダーのクリーニング］を押す

➠［フィーダーのクリーニング］画面が表示されます。

4 ［開始］を押す

➠フィーダーにセットした用紙が給紙されて、清掃が開始されます。
清掃が完了すると、用紙が排紙されます。

定着器を清掃する

AU03-0E7

プリントした用紙が汚れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。その場合、用紙を使用して定着器を清掃します。待機中のプリントデータがある場合や、トナーカートリッジが寿命に達している場合は、定着器を清掃できません。

必要な準備

- トナーカートリッジの残量があることを確認します。**消耗品の残量を確認する(P. 660)**

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す** **［ホーム］画面(P. 124)**

2 **［調整/メンテナンス］▶［メンテナンス］▶［定着器のクリーニング］を押す**

➠使用できる用紙サイズと用紙種類の確認画面が表示されます。

3 **使用できる用紙がセットされていることを確認し、［OK］▶［開始］を押す**

➠用紙が給紙されて、清掃が開始されます。
清掃が完了すると、画像（パターン）がプリントされた用紙が 1 枚排紙されます。

転写ベルトを清掃する

AU03-0E8

プリントした用紙が汚れる場合は、本機内部の転写ベルト（ITB）が汚れている可能性があるため、以下の操作で転写ベルトを清掃します。
待機中のプリントデータがある場合は、転写ベルトを清掃できません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す

［ホーム］画面(P. 124)

2 ［調整/メンテナンス］▶［メンテナンス］▶［ITB のクリーニング］を押す

➡［ITB のクリーニング］画面が表示されます。

3 ［開始］を押す

➡清掃が実行されます。
清掃が完了すると、［終了しました。］と表示されたあと、［メンテナンス］画面に戻ります。

消耗品の交換

AU03-0E9

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたり、プリント品質が低下したりする場合は、消耗品を交換します。また、現在の消耗品の残量は、操作パネルやリモート UI で確認できます。消耗品の型番や印字可能枚数については、消耗品一覧を参照してください。

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)
消耗品の残量を確認する(P. 660)
消耗品一覧(P. 661)

トナーカートリッジの交換方法

AU03-0EA

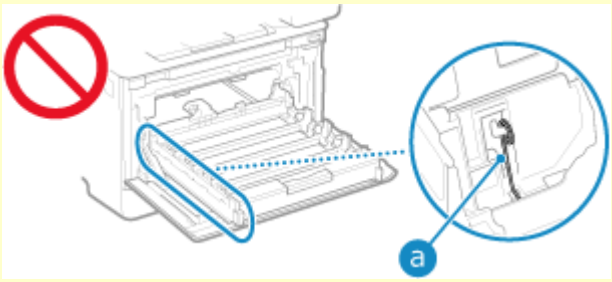
トナーカートリッジは、メッセージの表示やプリント品質の状態に応じて、適切な時期に交換します。

トナーカートリッジを交換する前に、「安全にお使いいただくために」の注意事項を確認してください。**本機のマニュアル(P. 791)**

トナーカートリッジの交換時期(P. 656)
トナーカートリッジを交換する前に(P. 656)
トナーカートリッジを交換する(P. 658)

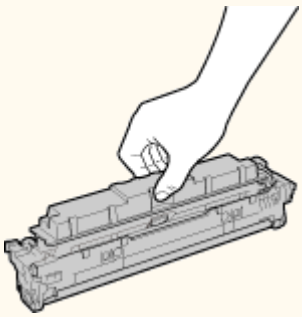
注意

- 本体内部の接点部（a）に触れないでください。本機が故障するおそれがあります。

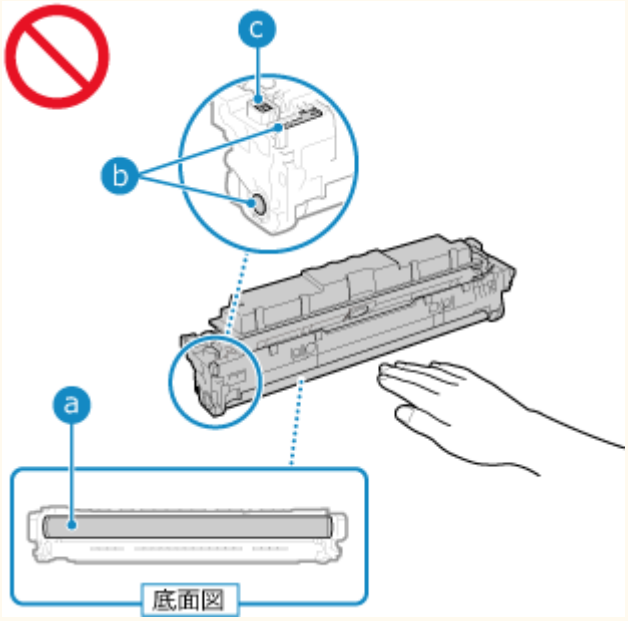


重要

- トナーカートリッジを持つときは、必ず取っ手を持ってください。



- ドラム表面（a）を傷つけたり、光にさらしたりしないでください。また、電気接点部（b）やトナーカートリッジメモリー（c）には触れないでください。



トナーカートリッジの交換時期

操作パネルやリモート UI の画面にメッセージが表示されたとき

表示されたメッセージに従って、新しいトナーカートリッジを準備したり、トナーカートリッジを交換したりします。交換せずにそのまま使い続けると、プリント品質が低下することがあります。

表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。

メッセージが表示された(P. 755)

プリント品質が低下したとき

トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリント結果に以下のような症状が見られる場合があります。メッセージが表示されていなくても、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。

すじ（線）が入る



印字ムラが出る



トナーが飛び散ったような汚れが付く



部分的に白く抜ける



かすれる



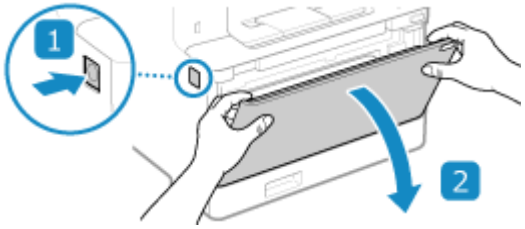
下地に薄い色や汚れが付く



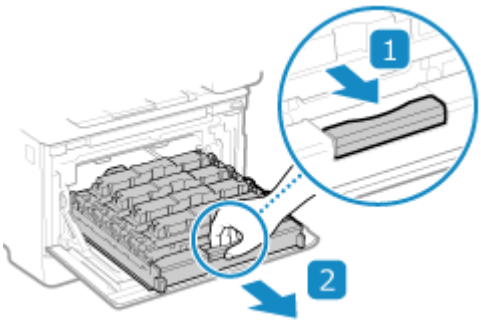
トナーカートリッジを交換する前に

交換する前に以下の操作をしてください。メッセージが消えたり、プリント品質が改善されたりすることがあります。

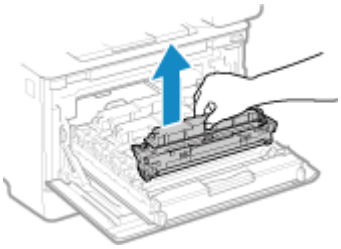
1 前カバーを開ける



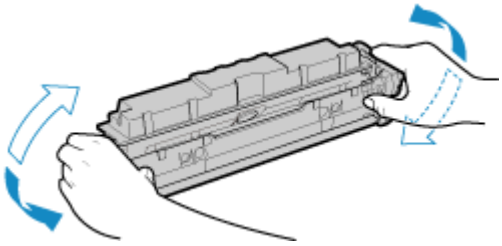
2 トナーカートリッジトレイを引き出す



3 トナーカートリッジを真上に引き抜く

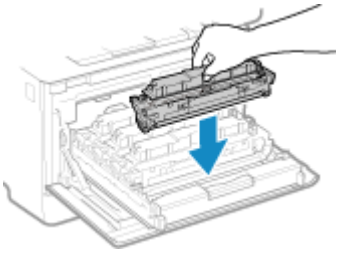


4 トナーカートリッジを 5 ～ 6 回振って内部のトナーを均一にならす



トナーカートリッジ底面のドラム表面は触らないでください。

5 トナーカートリッジを取り付ける

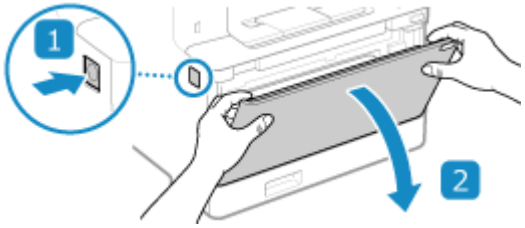


トナーカートリッジ底面は保護されていません。取り付けの際、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。

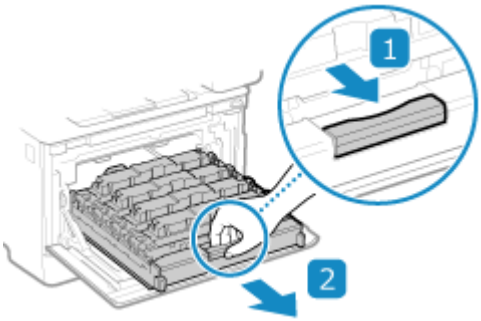
6 トナーカートリッジトレイを押し込み、前カバーを閉める

トナーカートリッジを交換する

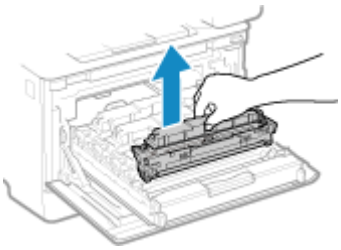
1 前カバーを開ける



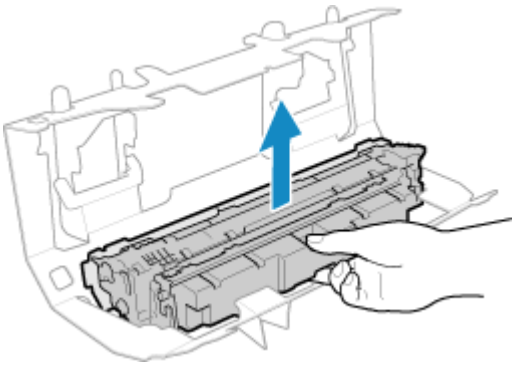
2 トナーカートリッジトレイを引き出す



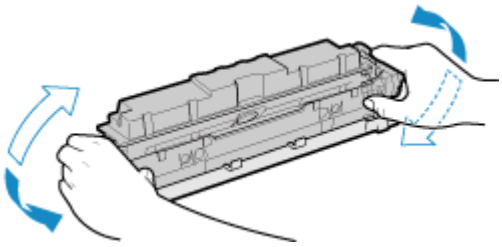
3 交換するトナーカートリッジを真上に引き抜く



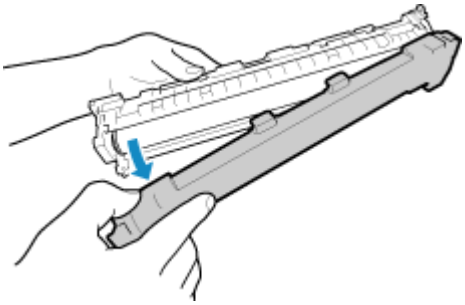
4 平らな場所で、梱包材からトナーカートリッジを取り出す



5 トナーカートリッジを 5 ～ 6 回振って内部のトナーを均一にならす

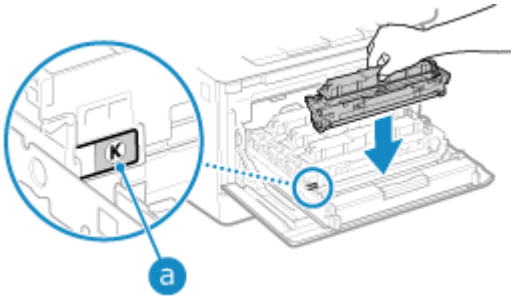


6 トナーカートリッジの保護カバーを取り外す



トナーカートリッジ底面のドラム表面は触らないでください。

7 トナーカートリッジを取り付ける



- トナーカートリッジと同じ色のラベル（a）が貼られているスロットに取り付けます。
- トナーカートリッジ底面は保護されていません。取り付けの際、スロットの枠などにぶつけないように注意してください。

8 トナーカートリッジトレイを押し込み、前カバーを閉める

➡前カバーを閉めると、簡易的な階調補正が自動的に行われます。
より精密に階調を補正したい場合は、手動でフル補正を行います。 **階調を補正する(P. 664)**

消耗品の残量を確認する

AU03-0EC

現在のトナーカートリッジが残り何%かを、10 %刻みで確認できます。
大量にプリントする前には、新しいトナーカートリッジを準備する必要がないかを判断するための目安として、トナーカートリッジの残量を確認します。
※表示されるトナーカートリッジの残量の数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

ここでは、操作パネルを使用して確認する方法を説明します。
パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［状況確認］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［カートリッジ情報］を押す

➡ トナーカートリッジの色ごとの残量が表示されます。

3 トナーカートリッジの残量を確認する

MEMO

- トナーカートリッジが指定した残量になったときに、トナーカートリッジの準備を通知するメッセージが表示されるように設定できます。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせ表示］(P. 503)**

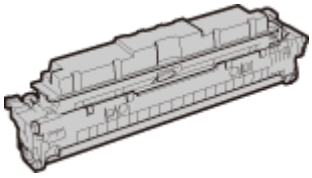
消耗品一覧

AU03-0EE

本機の消耗品の型番や印字可能枚数は以下のとおりです。
また、消耗品の取り扱い／保管には注意が必要です。「安全にお使いいただくために」も併せて参照してください。 **本機のマニュアル(P. 791)**

最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。

■トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数*1 は以下のとおりです。

*1 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19798）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

ブラック
1,200 枚

イエロー、マゼンタ、シアン
1,100 枚

交換用のトナーカートリッジ

交換用のキヤノン純正トナーカートリッジと、その平均印字可能枚数*1 は以下のとおりです。

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

*1 国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19798）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。

キヤノン カートリッジ 069

ブラック
2,100 枚

イエロー、マゼンタ、シアン
1,900 枚

キヤノン カートリッジ 069 H

ブラック
7,600 枚

イエロー、マゼンタ、シアン
5,500 枚

注意

トナーカートリッジは以下のとおり保管してください。誤った場所や環境で保管すると、データ破損などのおそれがあります。

- 使用する直前まで未開封の状態で保管する
- 次の環境で保管する
  - 保管温度範囲：0 ℃ ～ 35 ℃
  - 保管湿度範囲：35 % ～ 85 %RH（相対湿度／結露しないこと）*1

*1 保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあり（結露）、印字品質に悪影響を及ぼす。

- 次の場所に保管しない
  - 火気のある場所
  - 直射日光や電灯の光に 5 分以上当たる場所
  - 空気中に塩分を多く含む場所
  - 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
  - 高温多湿の場所
  - 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
  - ホコリの多い場所
  - 幼児の手の届く場所
  - 磁気が影響する製品（フロッピーディスクやディスクドライブなど）の近く
- トナーカートリッジは立てたり、裏返したり、逆さにしたりしない
- 梱包材は保管しておき、本機からトナーカートリッジを取り出して保管する場合に再び使用する
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがある

重要

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
  https://global.canon/ctc/

MEMO

- 本機の設置環境やプリントする用紙サイズ、原稿の種類によって、平均印字可能枚数に達するより早く交換が必要になる場合があります。
- 画像の品質保持のために、環境の変化に応じて自動補正（キャリブレーション）が実行されます。また、電源を入れた場合やスリープから復帰した場合にも、自動補正が実行されることがあります。補正実行時にはトナーカートリッジが使用されるため、寿命に影響することがあります。
- 白黒プリント時にも、カラー用のトナーカートリッジの寿命に影響することがあります。白黒プリントを多用すると、カラー用のトナーカートリッジ各色の印字可能枚数が少なくなる場合があります。

画質／プリント位置の調整

AU03-0EF

プリントしたときに色が再現されなかったり、画像の位置がずれたりするなど、期待どおりの結果にならない場合は、症状に応じて画質やプリント位置を調整します。

グラデーションが再現されない **階調を補正する(P. 664)**



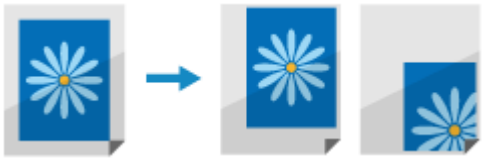
プリント画像がにじむ／ぼやける **色ずれを補正する(P. 668)**



黒または黒に近い文字の色が再現されない **黒に近い文字の再現性を調整する(P. 669)**



プリント位置がかたよる／はみ出す **プリント位置を調整する(P. 671)**



階調を補正する

AU03-0EH

階調とは、色の濃さや明るさが徐々に変化するグラデーションのことです。グラデーションがきれいに再現されなくなり、プリント結果が元のデータや原稿と大きく異なる場合は、階調を補正します（キャリブレーション）。
階調補正は、本機の使用状況や環境の変化に応じて自動的に実行されますが、必要に応じて手動で補正します。
プリント／スキャンの実行中や、トナーカートリッジが寿命に達している場合は、補正できません。



階調の手動補正には、クイック補正／フル補正／コピー画像補正の 3 種類があります。
まず、簡易的に補正する「クイック補正」を試します。それでも改善されない場合に、精密に補正する「フル補正」を行います。コピー時に特に症状が見られる場合は、「コピー画像補正」を行います。

簡易的に補正する - クイック補正(P. 664)
精密に補正する - フル補正(P. 665)
コピー画像の階調を補正する - コピー画像補正(P. 666)

重要

- 補正が実行されると、トナーカートリッジが使用されます。
  - 自動／手動にかかわらず、ひんぱんに補正を実行すると、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。
  - 補正を実行したあと、元のデータや原稿とは異なる色でプリントされるなど色のバランスが変化した場合は、トナーカートリッジの残量が少ないことが考えられます。トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換することをおすすめします。
    消耗品の残量を確認する(P. 660)
    トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

MEMO

- 定期的に実行する階調補正で、トナーカートリッジ寿命を優先するか、補正効果を優先するかを設定できます。**［画像補正切替］(P. 531)**

簡易的に補正する - クイック補正

クイック補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す**［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［自動階調補正］▶［クイック補正］を押す

➡［クイック補正］画面が表示されます。

3 ［開始］を押す

➡補正が実行されます。
補正が完了すると、［終了しました。］と表示されたあと、［自動階調補正］画面に戻ります。
クイック補正を実行しても効果が不十分な場合は、フル補正を行います。 **精密に補正する - フル補正(P. 665)**

MEMO

- クイック補正が定期的に自動で実行されるように設定できます。 **［定期自動画像補正］(P. 531)**

精密に補正する - フル補正

本機からプリントした補正画像（補正に使用する画像）を原稿台ガラスで複数回スキャンして、階調を精密に補正します。次にフル補正を行うまで、ここで補正した結果が使用されます。

フル補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［自動階調補正］▶［フル補正］を押す

➡使用できる用紙サイズと用紙種類の確認画面が表示されます。

3 使用できる用紙がセットされていることを確認し、［OK］を押す

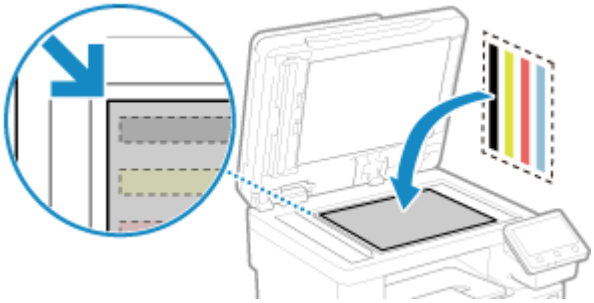
➡［手順］画面が表示されます。

4 操作手順を確認し、［開始］を押す

➡補正画像がプリントされます。

5 原稿台ガラスに、補正画像がプリントされた用紙をセットする

1. フィーダーを開ける
2. 用紙の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせ、ヨコ置きにセットする



補正画像のプリント面を下にして、黒の帯を奥側にしてセットします。

3 フィーダーをゆっくり閉める

6 [読込開始] を押す

➡補正画像がスキャンされたあと、2 枚目の用紙に補正画像がプリントされます。

7 原稿台ガラスから 1 枚目の用紙を取り除き、2 枚目の用紙をセットする

補正画像がプリントされた 2 枚目の用紙を、1 枚目と同様に原稿台ガラスにセットします。セット方法については、手順 5 を参照してください。

8 [読込開始] を押す

➡補正画像がスキャンされ、補正が実行されます。
補正が完了すると、[終了しました。] と表示されたあと、[自動階調補正] 画面に戻ります。

9 原稿台ガラスから 2 枚目の用紙を取り除く

MEMO

[補正できませんでした。] と表示された場合

- 上記の手順どおりに操作しているか確認します。特に、以下の点を確認します。
  - 手順 3 で、使用できる用紙が給紙カセットにセットされていることを確認します。
  - 手順 5 で、補正画像が正しくセットできていることを確認します。プリント面と黒の帯の位置に注意します。
- 用紙がつまっている場合は、取り除きます。 **紙がつまった(P. 681)**
- トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少なくなっている場合は、トナーカートリッジを交換します。
  消耗品の残量を確認する(P. 660)
  トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

コピー画像の階調を補正する - コピー画像補正

本機からプリントした補正画像（補正に使用する画像）を原稿台ガラスでスキャンして、コピー画像の階調を補正します。

コピー画像補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

1 操作パネルの [ホーム] 画面で、[メニュー] を押す [ホーム] 画面(P. 124)

2 [調整/メンテナンス] ▶ [画質調整] ▶ [自動階調補正] ▶ [コピー画像補正] を押す

➡使用できる用紙サイズと用紙種類の確認画面が表示されます。

3 使用できる用紙がセットされていることを確認し、[OK] を押す

➡[手順]画面が表示されます。

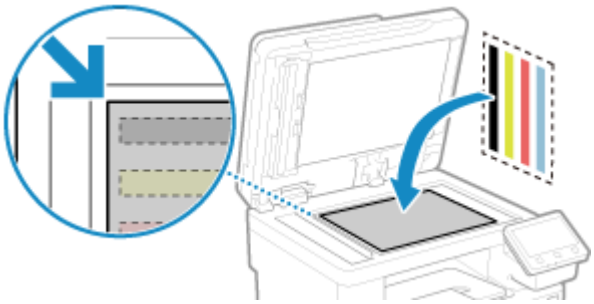
4 操作手順を確認し、[開始]を押す

➡補正画像がプリントされます。

5 原稿台ガラスに、補正画像がプリントされた用紙をセットする

1 フィーダーを開ける

2 用紙の角を原稿台ガラスの左上隅に合わせ、ヨコ置きにセットする



補正画像のプリント面を下にして、黒の帯を奥側にしてセットします。

3 フィーダーをゆっくり閉める

6 [読込開始]を押す

➡補正画像がスキャンされ、補正が実行されます。
補正が完了すると、[終了しました。]と表示されたあと、[自動階調補正]画面に戻ります。

7 原稿台ガラスから、補正画像がプリントされた用紙を取り除く

MEMO

[補正できませんでした。]と表示された場合

- 上記の手順どおりに操作しているか確認します。特に、以下の点を確認します。
  - 手順3で、使用できる用紙が給紙カセットにセットされていることを確認します。
  - 手順5で、補正画像が正しくセットできていることを確認します。プリント面と黒の帯の位置に注意します。
- 用紙がつまっている場合は、取り除きます。**紙がつまった(P. 681)**
- トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少なくなっている場合は、トナーカートリッジを交換します。
  消耗品の残量を確認する(P. 660)
  トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

色ずれを補正する

AU03-0EJ

色ずれとは、色ごとにプリント位置がわずかにずれる現象です。色ずれが発生すると、画像がにじんだりぼやけたりしたプリント結果になります。その場合は、色ずれを補正します（キャリブレーション）。
色ずれ補正は、本機の使用状況や環境の変化に応じて自動的に実行されますが、必要に応じて手動で補正します。
トナーカートリッジが寿命に達している場合は、補正できません。



色ずれ補正は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して補正することはできません。

重要

- 補正が実行されると、トナーカートリッジが使用されます。
  - 自動／手動にかかわらず、ひんぱんに補正を実行すると、トナーカートリッジの寿命に影響することがあります。
  - 補正を実行したあと、元のデータや原稿とは異なる色でプリントされるなど色のバランスが変化した場合は、トナーカートリッジの残量が少ないことが考えられます。トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換することをおすすめします。
    消耗品の残量を確認する(P. 660)
    トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す **［ホーム］画面(P. 124)**

2 ［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［プリント色ずれ補正］を押す

➡［プリント色ずれ補正］画面が表示されます。

3 ［開始］を押す

➡補正が実行されます。
補正が完了すると、［終了しました。］と表示されたあと、［画質調整］画面に戻ります。

MEMO

- 色ずれ補正は、本機の起動時に自動的に実行されます。起動時のどのタイミングで実行されるようにするかを設定できます。 **［色ずれ補正の実行ﾀｲﾐﾝｸﾞ］(P. 531)**

黒に近い文字の再現性を調整する

AU03-0EK

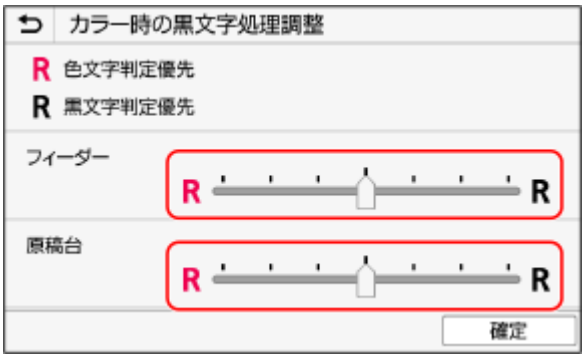
原稿をカラーでスキャンするときに、黒に近い色の文字（色文字）の再現を優先するか、黒い文字の見やすさを優先するかを調整します。
フィーダーと原稿台ガラスのそれぞれのスキャンに対して、個別に調整できます。
※スキャンやコピー時に、原稿の種類を［印刷写真］または［写真］以外に設定した場合に、この調整が適用されます。 **スキャンの設定(P. 283)** ／ **いろいろなコピー(P. 334)**

この調整は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して調整することはできません。

1 **操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す** **［ホーム］画面(P. 124)**

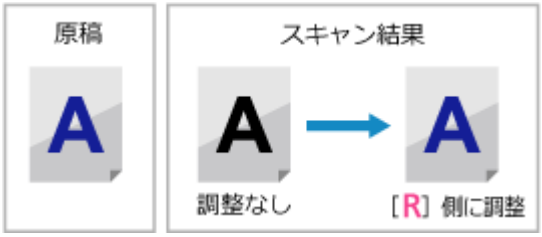
2 **［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［カラー時の黒文字処理調整］を押す**

3 **［フィーダー］または［原稿台］で、色文字と黒文字のどちらの再現を優先するか調整する**



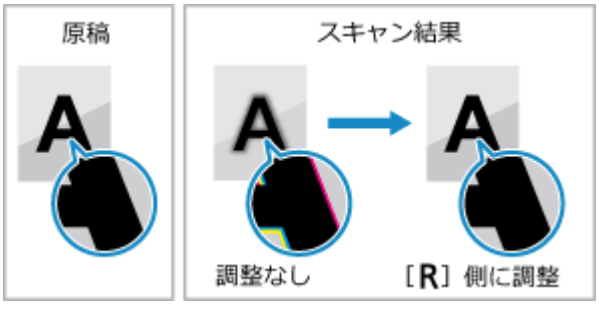
■色文字の再現を優先する場合

スライダーを［R］側に動かして、色文字が原稿に近い色味になるように調整します。



■黒文字の見やすさを優先する場合

スライダーを［R］側に動かして、黒い文字が見やすくなるように調整します。



4 **［確定］を押す**

プリント位置を調整する

AU03-0EL

文字や画像がかたよった位置にプリントされる場合や、プリント範囲からはみ出す場合は、プリント位置をずらすことでプリント結果を改善します。
給紙部とプリント面（オモテ面／ウラ面）ごとに、ずらす方向と幅を指定します。



この調整は、操作パネルを使用して行います。パソコンからリモート UI を使用して調整することはできません。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す

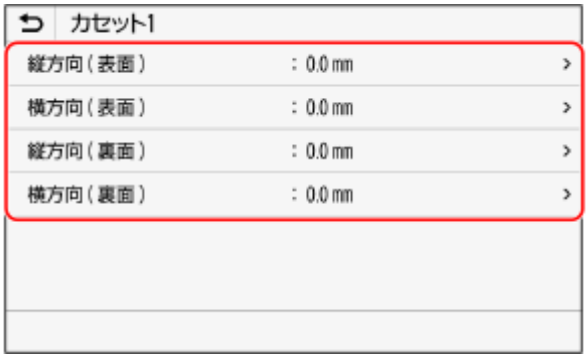
［ホーム］画面(P. 124)

2 ［調整/メンテナンス］▶［画質調整］▶［印字位置調整］を押す

➠［印字位置調整］画面が表示されます。

3 プリント位置を調整する給紙部を選択する

4 ずらす方向とプリント面の組み合わせを選択する



例：用紙のオモテ面のプリント位置を、タテ方向にずらす場合
［縦方向 (表面)］を選択します。

5 調整する数値を入力し、［確定］を押す



ずらす方向を＋／－で、ずらす幅を 0.1 mm 単位で指定します。

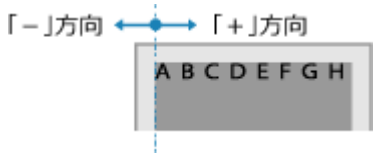
■タテ方向にずらす場合

用紙の下方向にずらす場合は「＋」、上方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



■ヨコ方向にずらす場合

用紙の右方向にずらす場合は「＋」、左方向にずらす場合は「－」の数値で、ずらす幅を指定します。



本機を移動する

AU03-0ER

本機は重量物です。移転や清掃のために本機を移動する場合は、けがなどの事故や本機の破損を未然に防ぐために、必ず以下の手順で作業します。

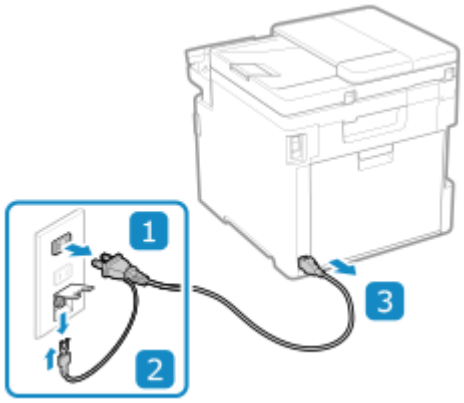
重要

- 移転や引っ越しなどで本機を輸送する場合は、輸送中の破損や故障を避けるため、次のことを行ってください。
  - トナーカートリッジを取り外す
  - 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

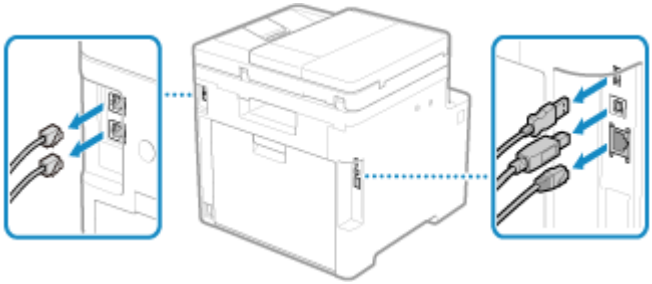
1 本機の電源を切る 電源を切る(P. 113)

電源を切ると、待機中のプリントデータは消去されます。

2 電源コードをイラストの番号順に抜く



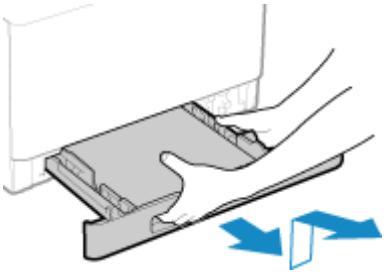
3 本機に接続されているケーブルやコードをすべて抜く



※接続されているケーブルやコードの数は、使用環境によって異なります。

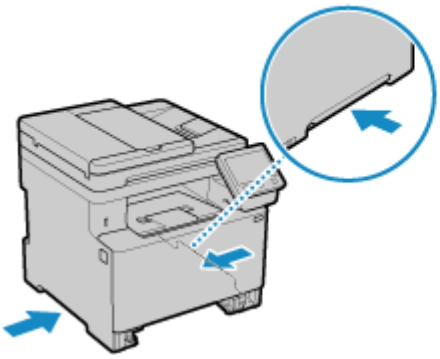
4 長距離を移動する場合は、トナーがこぼれるのを防ぐため、トナーカートリッジを取り出す トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

5 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



6 前カバーや手差しトレイなどをすべて閉める

7 運搬用取っ手をつかんで、本機を持ち上げて運ぶ





- 本機は重量物です。必ず 2 人以上で運びます。本機の大きさや質量については、本機の基本仕様を参照してください。 **基本仕様(P. 30)**
- オプションのペーパーフィーダー PF-K を取り付けている場合は、本機といっしょに持ち上げず、個別に運びます。

8 本機をゆっくりおろす

移動後の設置手順については、「セットアップ」を参照してください。 **本機のマニュアル(P. 791)**

無償保証の利用

AU03-0EU

本製品につきましては、弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器をご登録いただくことで、お買い上げ日から一定期間の無償保証サービスを提供いたします。無償保証期間については、機種ごとに異なりますので、ご登録の上ご確認ください。下記の内容をご確認いただき、ご購入いただいた機器情報の登録をお願いいたします。なお、故障修理の際にお客様情報のご確認にお時間を頂戴するなど、お客様にご不便をおかけする場合がございますので、お買い上げ後、速やかにご登録をお願いいたします。本製品には保証書は同梱しておりません。機器情報をご登録いただくことにより製品保証書を電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）いたします。

＜ご購入後のお客様向けサービス「カスタマープレミアサイト」のご案内＞

「カスタマープレミアサイト」は、ご購入いただいた機器情報をご登録いただくことにより、ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客様がご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。
機器情報のご登録にあたって「カスタマープレミアサイト」へのお客様登録が必要となります。

＜カスタマープレミアサイトの登録方法＞

下記の手順に従って、お客様ご自身で「カスタマープレミアサイト」にアクセスし、お客様および本製品に関する情報をご登録ください。登録にあたって、本体に記載の「機種名、シリアルナンバー」が必要となります。なお、製品登録完了まで本書を大切に保管ください。「機種名、シリアルナンバー」が記載されている定格銘板の場所がご不明の場合は、機種ごとのオンラインマニュアルでご確認ください。
https://cmj-crmsystem.my.salesforce-sites.com/customerps

■その他のご注意

1. 無償修理に際しては、本製品のお買い上げ日が確認出来る書面（納品書、領収書等）が必要になりますので、機器ご登録後も大切に保管ください。
2. カスタマープレミアサイトでの製品登録に要する通信費等はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
3. カスタマープレミアサイトにて一度登録された製品を保証期間満了後に再登録しても、無償保証期間は延長・更新されません。
4. カスタマープレミアサイトにて登録された情報は登録の確認に時間を要す場合があります。あらかじめご了承ください。
5. スマートフォン、携帯電話からは登録いただけません。

NETEYE

AU03-0EY

NETEYE（ネットアイ）は、お客様のデバイスを常に見守り、快適な稼動環境を提供するレーザービームプリンター／スモールオフィス向け複合機の法人向け総合サービスです。万が一故障が起きた際も、オペレーターが電話にて状況確認／復旧サポートし、デバイスの稼動停止時間を最小限に抑えます。

サービス内容(P. 676)
サービス開始方法(P. 676)

サービス内容

カートリッジ・自動配送サービス

消耗品[*1] の交換タイミングが近づくと自動的にお客さま先へ交換用の消耗品を配送。配送と同時に使用済み容器も回収

[*1] レーザービームプリンター： トナーカートリッジ、ドラムカートリッジ、回収トナーボックス
スモールオフィス向け複合機： トナーカートリッジ、回収トナーボックス

カートリッジ・クイック発注サービス

カートリッジの残量を検知し、弊社通販サイトをメールでご案内。ご案内メールに記載の URL からカートリッジを手軽に発注可能

稼動状況 Web 確認サービス

機器の使用状況を専用 Web サイトで閲覧／集計が可能

モニタリングサービス

異常時には状況確認のご連絡をし、復旧サポート。必要に応じてサービス担当者も手配

MEMO

- 詳細については、サービスサイトを参照してください。
https://canon.jp/neteye

サービス開始方法

お申し込み

カスタマープレミアサイトからお申し込みください。
https://canon.jp/biz-regists

本機の準備

ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。

MEMO

- ご利用には担当サービスによる設定が必要になります。詳しくは担当の営業にお問い合わせください。

困ったときは

困ったときは 680
紙がつまった 681
排紙トレイ／背面に用紙がつまった 683
給紙部に用紙がつまった 685
フィーダーに原稿がつまった 688
紙づまりが繰り返し起こる 689
プリント結果のトラブル 691
トナーが飛び散ったような汚れが付く 693
すじ（線）が入る 695
印字ムラが出る 697
プリントしても白紙になる 699
用紙の端が汚れる 700
文字や画像がにじむ 701
プリント結果に残像が現れる 702
プリント結果がかすれる 703
ページの端がプリントされない 705
下地に薄い色や汚れが付く 706
部分的に白く抜ける 707
用紙のウラが汚れる 709
斜めにプリントされる 710
用紙／給紙のトラブル 711
用紙がしわになる 712
用紙がカールする 713
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる 714
給紙カセットが本機に入らない 715
セットアップ 716
ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない 717
無線 LAN に接続できない 718
ネットワーク 719
無線 LAN への切り替えができない 720
接続するプリントサーバーが見つからない 721
共有プリンターに接続できない 722
本機の IP アドレスがわからない 723
AirPrint できない 724

TLS 暗号化通信を使った接続ができない 725
プリント／コピー 726
プリント／コピーできない 727
プリントできない - 無線 LAN 728
プリントできない - 有線 LAN 730
プリントできない - USB 接続 732
プリントできない - プリントサーバー経由 733
プリント速度が遅い 734
スキャン 735
スキャンデータをパソコンに保存できない 736
スキャンデータを共有フォルダーに保存できない 738
ファクス／電話 740
ファクスが送信できない 741
ファクスが届かない 743
電話とファクスが自動的に切り替わらない 745
光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない 746
海外へファクスを送信できない 747
相手の電話／ファクス番号がディスプレーに表示されない 748
管理／環境設定 749
リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない 750
確認音や警告音の音量を変更したい 751
スリープモードになるまでの時間を変更したい 752
管理者用の ID／暗証番号がわからない 753
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい 754
メッセージが表示された 755
エラーコードが表示された 776
トラブルが解決しないときは 788

困ったときは

AU03-0F0

トラブルが発生したときの対処方法や、よくあるお問い合わせについて説明します。
目次や以下の一覧から、確認したい項目を選択します。
上部の［ ］をクリックし、操作パネルの画面に表示されたメッセージやエラーコード（「#」で始まる 3 桁の番号）などを検索して、対処方法を確認することもできます。

■よくあるお問い合わせ

管理者用の ID／暗証番号がわからない(P. 753)
プリント／コピーできない(P. 727)
光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない(P. 746)
［メモリーがいっぱいです。］と操作パネルの画面に表示されて、操作が実行できない(P. 773)
エラーコード「#801」が表示される(P. 781)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

スキャンしたい

スキャンデータの保存先や送信方法に応じた準備をしてから、スキャンします。

スキャンする(P. 248)

スキャンデータをメールで送信したい

原稿をスキャンして、スキャンデータをメールに添付して送信します。

スキャンする - メールで送信(P. 273)

受信したファクスを転送したい

パソコンや他のファクスなどに、受信したファクスを自動転送されるように設定します。

受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

パソコンからファクスを送信したい

パソコンからファクスドライバーを使用して、文書をファクスとして送信します。

パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)

封筒にプリントする方法を知りたい

まず、封筒の向きと面に注意して、給紙カセットまたは手差しトレイに封筒をセットします。
次に、セットした封筒に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。
そのあと、パソコンからプリンタードライバーで、文書の用紙サイズや、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

封筒をセットする準備と向き(P. 154)
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)
パソコンからプリントする(P. 223)

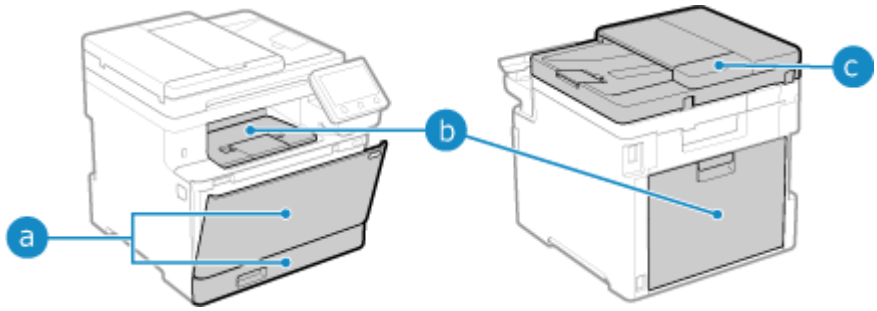
紙がつまった

AU03-0F1

紙がつまると、操作パネルの画面に［用紙がつまりました。］と表示されます。［次へ］を押して、表示される対処方法に従います。



紙がつまった場所に応じた、より詳細な対処方法については、以下を参照してください。



a 手差しトレイ／給紙カセット

給紙部に用紙がつまった(P. 685)

b 排紙トレイ／背面

排紙トレイ／背面に用紙がつまった(P. 683)

c フィーダー

フィーダーに原稿がつまった(P. 688)

⚠注意

つまった用紙を無理に取り除かない

- 無理に取り除こうとすると、けがをしたり、部品などを損傷するおそれがあります。紙がつまったときの対処方法で取り除けない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。**トラブルが解決しないときは(P. 788)**

紙づまりの処理が完了したら

- 本機／オプション機器から、すぐに手を離してください。本機のローラーに衣服や手が巻き込まれるおそれがあります。

重要

作業するときは電源を切らない

- 電源を切ると、プリント中のデータや、ファクスの受信中のデータが消去されるおそれがあります。

用紙が破れたとき

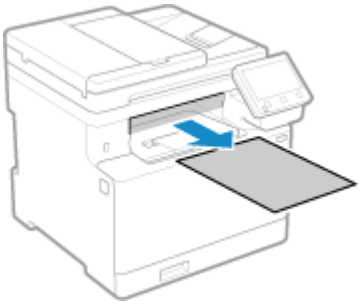
- 本機内部に切れ端が残らないように取り除いてください。

排紙トレイ／背面に用紙がつまった

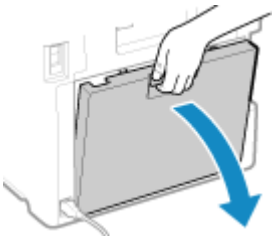
AU03-0F2

以下の手順で排紙トレイと背面を確認し、つまっている用紙があれば取り除きます。用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

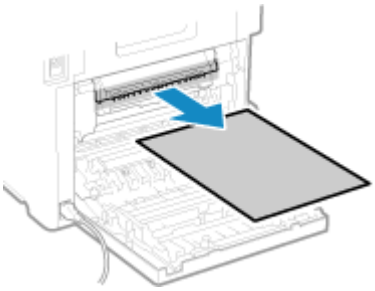
1 排紙トレイの用紙をゆっくり引き抜く



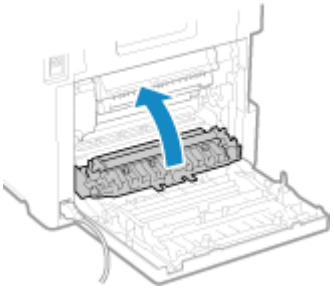
2 後ろカバーを開ける



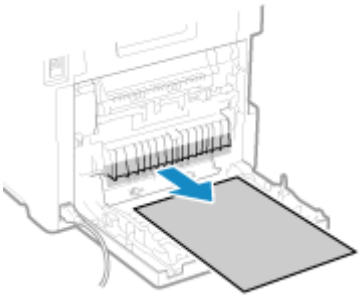
3 用紙をゆっくり引き抜く



4 両面ユニットを持ち上げる



5 用紙をゆっくり引き抜く



6 後ろカバーを閉める

➠［用紙がつまりました。］のメッセージが消えて、プリントが自動的に再開されます。
自動的に再開されない場合は、プリントしなおします。

MEMO

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。 **紙づまりが繰り返し起こる(P. 689)**

給紙部に用紙がつまった

AU03-0F3

用紙がつまった場所から、用紙を取り除きます。用紙が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

手差しトレイに用紙がつまった(P. 685)
給紙カセットに用紙がつまった(P. 687)

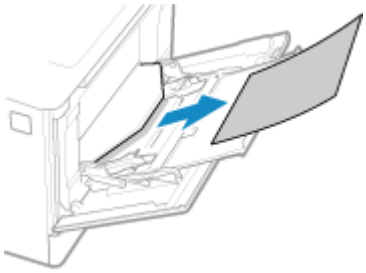
手差しトレイに用紙がつまった

手差しトレイや本機内部につまった用紙を取り除きます。
用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、操作パネルの画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

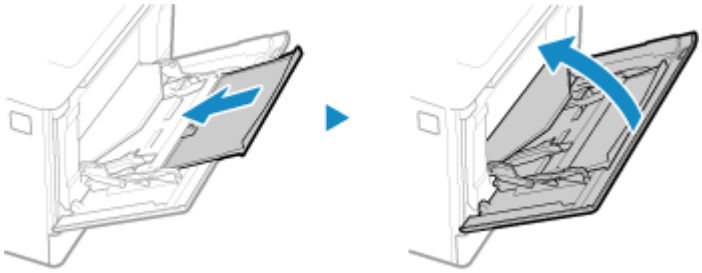
1 手差しトレイに他の用紙がセットされている場合は、その用紙を取り除く

2 手差しトレイにつまっている用紙を取り除く

1 用紙をゆっくり引き抜く

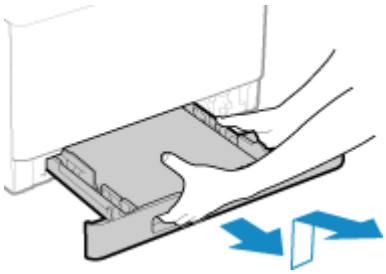


2 手差しトレイを閉める

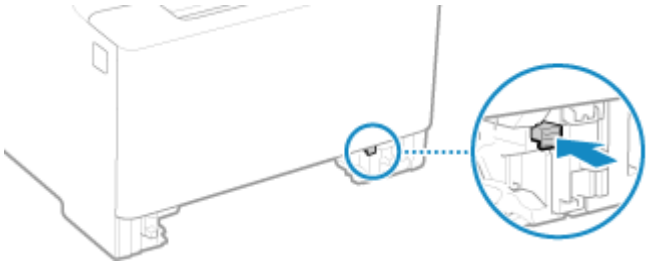


3 本機内部につまっている用紙を取り除く

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す

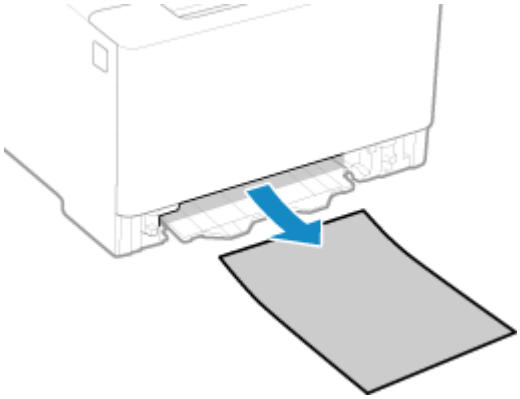


2 緑色のボタンを押す

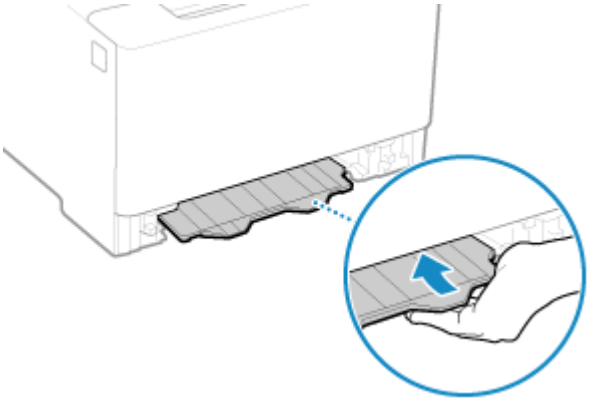


➡搬送ガイドが下がります。

3 用紙をゆっくり引き抜く



4 搬送ガイドを押し込む



「カチッ」と音がするまで確実に押しこみます。

5 給紙カセットを本機にセットする

6 操作パネルの画面で［次へ］を押して、［すべての紙づまりを取り除きましたか?］が表示されたら、［はい］を押す

➡［用紙がつまりました。］のメッセージが消えて、プリントが自動的に再開されます。
自動的に再開されない場合は、プリントしなおします。

■画面に排紙トレイの対処方法が表示された場合

排紙トレイ／背面につまった用紙を取り除きます。 **排紙トレイ／背面に用紙がつまった(P. 683)**

MEMO

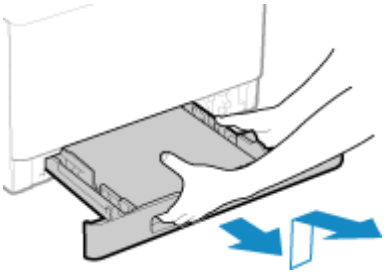
紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。**紙づまりが繰り返し起こる(P. 689)**

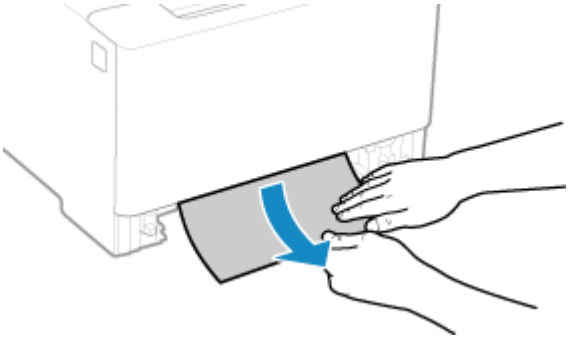
給紙カセットに用紙がつまった

給紙カセットの用紙を取り除きます。
用紙が取り除けない場合は無理に引き抜こうとせずに、操作パネルの画面を確認して、別の場所につまった用紙を取り除きます。

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



2 用紙をゆっくり引き抜く



3 給紙カセットを本機にセットする

4 オプションのペーパーフィーダー PF-K が装着されている場合は、手順 1〜3 と同様に用紙を取り除く

5 操作パネルの画面で［次へ］を押して、［すべての紙づまりを取り除きましたか?］が表示されたら、［はい］を押す

➠［用紙がつまりました。］のメッセージが消えて、プリントが自動的に再開されます。
自動的に再開されない場合は、プリントしなおします。

MEMO

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や用紙の状態を確認します。**紙づまりが繰り返し起こる(P. 689)**

フィーダーに原稿がつまった

AU03-0F4

フィーダー内部やフィーダーの裏側につまった原稿を取り除きます。原稿が破れたときは、切れ端が残らないように取り除きます。

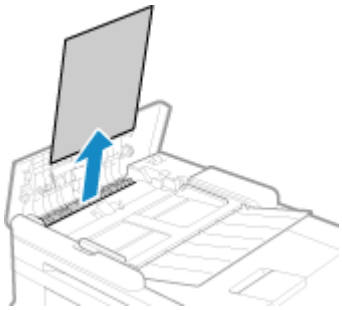
1 フィーダーに他の原稿がセットされている場合は、その原稿を取り除く

2 フィーダー内部につまっている原稿を取り除く

1 フィーダーカバーを開ける



2 原稿をゆっくり引き抜く



3 フィーダーカバーを閉める

3 フィーダーに原稿をセットしなおす

➠[用紙がつまりました。]のメッセージが消えて、原稿のスキャンが可能な状態になります。
原稿がつまったときのジョブは自動的に中止されます。原稿をセットしなおしてもジョブは再開されないため、ジョブを実行しなおします。

MEMO

紙づまりが繰り返し起こる場合

- 本機や原稿の状態を確認します。**紙づまりが繰り返し起こる(P. 689)**

紙づまりが繰り返し起こる

AU03-0F5

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の内部に紙片や異物がありませんか？

紙片や異物がある場合は取り除きます。 **紙がつまった(P. 681)**

適切な用紙を使用していますか？

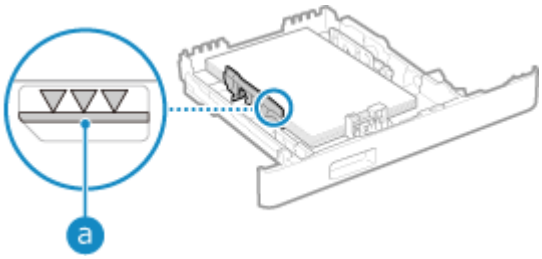
本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

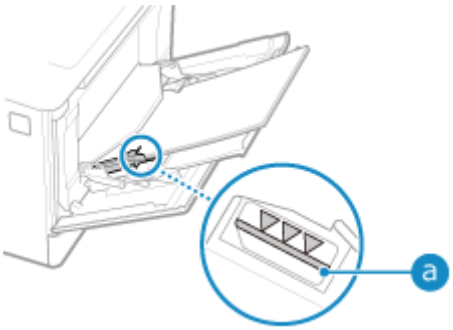
用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を少量ずつよくさばき、用紙が貼りつかないようにします。
- 用紙を平らな場所で数回たたいて、端をそろえてからセットします。 **用紙のセット方法(P. 145)**
- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。

給紙カセット

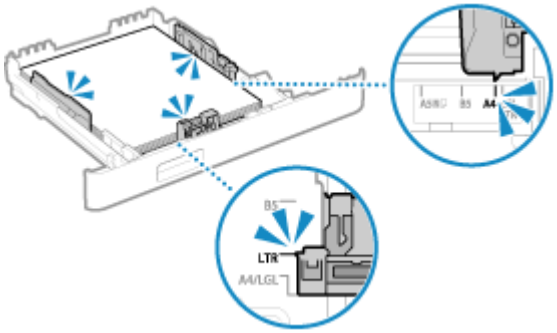


手差しトレイ

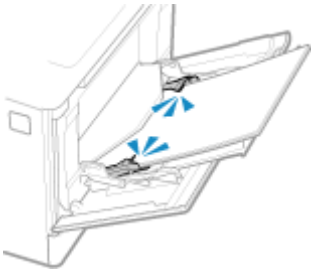


- 用紙ガイドが指標に合っていること、ゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します。

給紙カセット



手差しトレイ



プリント済み用紙のウラ面にプリントしたときに発生しますか？

該当する場合は、用紙の端を伸ばしてカールをしっかりと取ります。

※プリント済み用紙のウラ面にプリントする場合は、本機でプリントした用紙のみ使用できます。紙づまりや故障の原因になるため、他のプリンターや複合機でプリントした用紙は使用しないでください。

連続してプリントしたときに発生しますか？

該当する場合は、［用紙搬送補正］の設定を［ON］にすると、紙づまりの発生が軽減されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［用紙搬送補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

オプションのペーパーフィーダー PF-K の用紙にプリントしたときに発生しますか？

該当する場合は、ペーパーフィーダー PF-K を取り付けなおします。ペーパーフィーダー PF-K の取り付けかたについては、以下を参照してください。

ペーパーフィーダー PF-K(P. 5)

プリント結果のトラブル

AU03-0F6

プリント結果に以下のような症状が見られる場合は、症状に応じた対処方法を確認します。



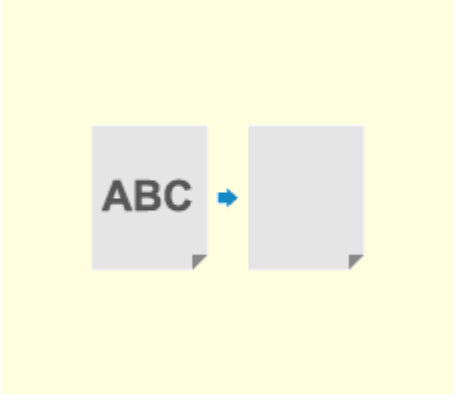
トナーが飛び散ったような汚れが付く(P. 693)



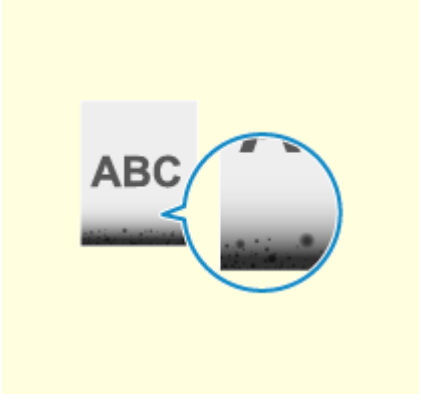
すじ（線）が入る(P. 695)



印字ムラが出る(P. 697)



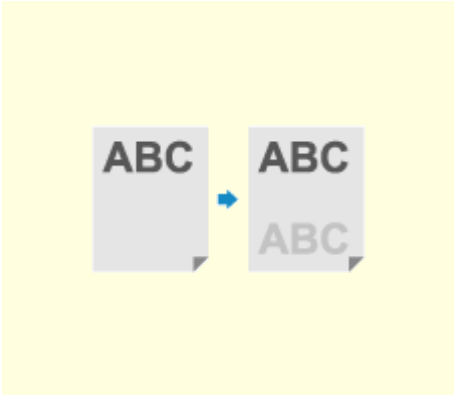
プリントしても白紙になる(P. 699)



用紙の端が汚れる(P. 700)



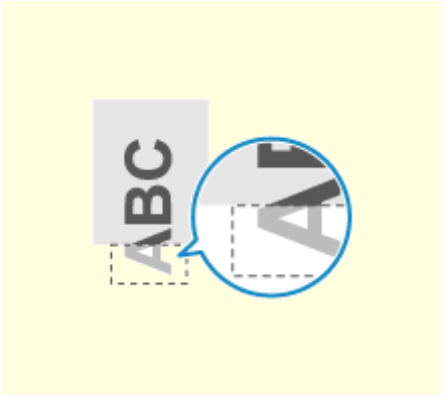
文字や画像がにじむ(P. 701)



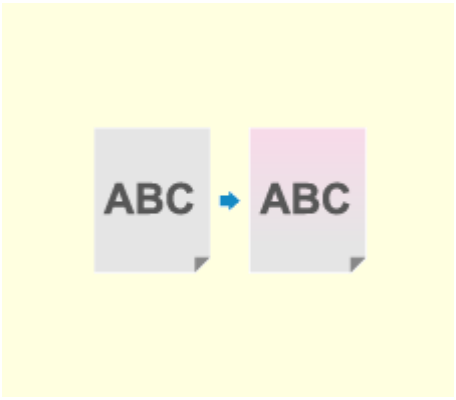
プリント結果に残像が現れる(P. 702)



プリント結果がかすれる(P. 703)



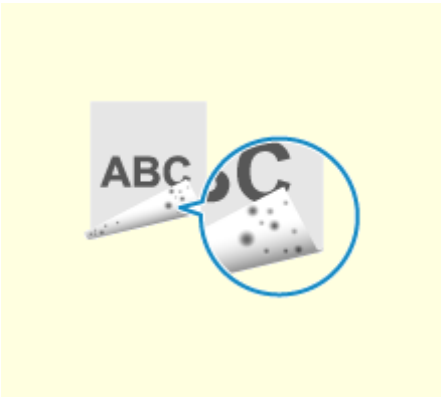
ページの端がプリントされない(P. 705)



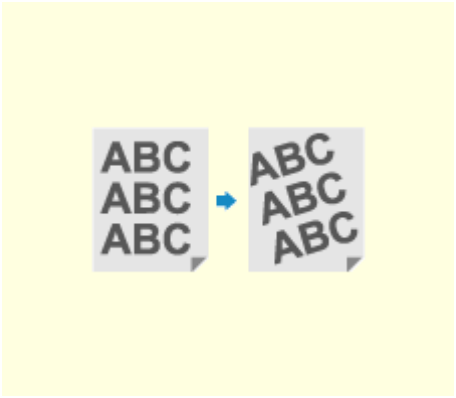
下地に薄い色や汚れが付く(P. 706)



部分的に白く抜ける(P. 707)



用紙のウラが汚れる(P. 709)



斜めにプリントされる(P. 710)

トナーが飛び散ったような汚れが付く

AU03-0F7

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 693)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 693)
Step 3：原稿を確認する(P. 693)
Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 693)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。
消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

Step 3：原稿を確認する

背景に色や汚れが付いた原稿や、ウラ面の文字や画像が透ける原稿をコピーしていますか？

該当する場合は、背景の濃度を調整すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［コピー］ ▶ ［濃度］ ▶ ［背景調整］ ▶ ［調整］ ▶ 背景濃度を調整

※［色別調整］を押すと、色別に背景濃度を調整できます。
※原稿の色によっては、背景以外の部分が影響を受けることがあります。

Step 4：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。**定着器を清掃する(P. 652)**

転写ベルトを清掃していますか？

転写ベルトが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、転写ベルトを清掃します。 **転写ベルトを清掃する(P. 653)**

すじ（線）が入る

AU03-0F8

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 695)
Step 2：原稿台ガラスを確認する(P. 695)
Step 3：トナーカートリッジを確認する(P. 695)
Step 4：本機の使用環境を確認する(P. 695)
Step 5：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 696)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

Step 2：原稿台ガラスを確認する

原稿台ガラスは汚れていますか？

原稿台ガラスやフィーダーの裏面にごみや汚れが付いている場合は、原稿台ガラスやフィーダーの裏面を清掃します。

原稿台ガラスを清掃する(P. 648)
フィーダーを清掃する(P. 649)

Step 3：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

Step 4：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、［本体内結露除去モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［メンテナンス］ ▶ ［本体内結露除去モード］ ▶ ［ON］

※結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、［ON］に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。
※［ON］に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［共通］ ▶ ［給紙動作］ ▶ ［給紙方法切替］ ▶ ［プリント面優先］

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

Step 5：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 652)**

転写ベルトを清掃していますか？

転写ベルトが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、転写ベルトを清掃します。 **転写ベルトを清掃する(P. 653)**

印字ムラが出る

AU03-0F9

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 697)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 697)
Step 3：画質調整を行う(P. 697)
Step 4：本機の使用環境を確認する(P. 698)
Step 5：用紙の先端にムラがあるかを確認する(P. 698)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

表面が粗くざらついた用紙を使用していますか？

表面が粗くざらついた用紙を使用すると、特に 2 色以上のトナーを重ねた画像が薄くプリントされることがあります。その場合は、該当する給紙部を［ON］に設定すると、プリント結果が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［用紙特殊処理］ ▶ ［粗目用紙モード］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなったり画質が変化したりすることがあります。

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジを交換する(P. 658)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

Step 3：画質調整を行う

かすれ補正を試します

［かすれ補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［かすれ補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

Step 4：本機の使用環境を確認する

湿度が高い環境で使用していますか？

該当する場合は、［高湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［高湿度モード］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、［本体内結露除去モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［メンテナンス］ ▶ ［本体内結露除去モード］ ▶ ［ON］

※結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、［ON］に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。
※［ON］に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［共通］ ▶ ［給紙動作］ ▶ ［給紙方法切替］ ▶ ［プリント面優先］

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

Step 5：用紙の先端にムラがあるかを確認する

用紙の先端に光沢ムラが見られますか？

該当する場合は、［光沢ムラ補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［光沢ムラ補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリントがかすれることがあります。

プリントしても白紙になる

AU03-0FA

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

Step 1：原稿を確認する（コピーの場合のみ）(P. 699)
Step 2：本機の状態を確認する(P. 699)

Step 1：原稿を確認する（コピーの場合のみ）

原稿は正しくセットされていますか？

スキャンする面の向きに注意して、原稿を正しくセットしなおします。

原稿台ガラスにセットする場合

スキャンする面を下にしてセットします。 **原稿台ガラスに原稿をセットする(P. 142)**



フィーダーにセットする場合

スキャンする面を上にしてセットします。 **フィーダーに原稿をセットする(P. 143)**



Step 2：本機の状態を確認する

結露除去が実行されていませんか？

操作パネルの画面を確認し、結露の除去が終わるまで待ちます。

用紙の端が汚れる

AU03-0FC

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

余白なしで用紙いっぱいにプリントしていますか？

プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この症状が見られることがあります。本機でプリントするには、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）の余白が必要です。

プリンタードライバーの［印刷設定］画面で、以下の設定をして余白を確保します。

［仕上げ］タブ ▶ ［処理オプション］ ▶ ［印字領域を広げて印刷］ ▶ ［しない］

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 652)**

転写ベルトを清掃していますか？

転写ベルトが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、転写ベルトを清掃します。 **転写ベルトを清掃する(P. 653)**

文字や画像がにじむ

AU03-0FE

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 701)
Step 2：本機の使用環境を確認する(P. 701)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

Step 2：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、［本体内結露除去モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［メンテナンス］ ▶ ［本体内結露除去モード］ ▶ ［ON］

※結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、［ON］に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。
※［ON］に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

湿度が低い環境で使用していますか？

該当する場合は、［低湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［低湿度モード］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

湿度が高い環境で使用していますか？

該当する場合は、［高湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［高湿度モード］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、湿度が低い環境では、画像や文字がにじむことがあります。

プリント結果に残像が現れる

AU03-0FF

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する(P. 702)
Step 2：残像の状態を確認する(P. 702)
Step 3：本機のメンテナンス状況を確認する(P. 702)
Step 4：特殊処理の設定を確認する(P. 702)

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

トナーカートリッジが寿命に近づいていませんか？

トナーカートリッジ内部の部品が劣化している可能性があります。この症状が見られる場合は、トナーカートリッジの残量やメッセージの表示にかかわらず、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。**トナーカートリッジの交換方法(P. 655)**

Step 2：残像の状態を確認する

すじ状の残像が現れますか？

該当する場合は、［残像補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［残像補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

Step 3：本機のメンテナンス状況を確認する

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。**定着器を清掃する(P. 652)**

Step 4：特殊処理の設定を確認する

［定着改善モード］を有効にしていますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［OFF］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［定着改善モード］ ▶ ［OFF］

プリント結果がかすれる

AU03-0FH

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する(P. 703)
Step 2：画質調整を行う(P. 703)
Step 3：本機の使用環境を確認する(P. 704)
Step 4：特殊処理の設定を確認する(P. 704)

Step 1：用紙とトナーカートリッジを確認する

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 24)
  用紙のセット方法(P. 145)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)**

用紙の種類や使用環境によって、プリントのトナーがはがれることがありますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［定着改善モード］ ▶ ［モード 1］または［モード 2］

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

トナーカートリッジが寿命に近づいていませんか？

トナーカートリッジ内部の部品が劣化している可能性があります。この症状が見られる場合は、トナーカートリッジの残量やメッセージの表示にかかわらず、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。
トナーカートリッジを交換する(P. 658)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

Step 2：画質調整を行う

画像のずれやプリントのかすれがひんぱんに発生しますか？

［かすれ補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［かすれ補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

Step 3：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、［本体内結露除去モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［メンテナンス］ ▶ ［本体内結露除去モード］ ▶ ［ON］

※結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、［ON］に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。
※［ON］に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

エアコンなどの風が強くあたる場所に、本機を設置していますか？

該当する場合は、空調機器の風向きや風量を調整してください。
それでも改善しない場合は、［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［共通］ ▶ ［給紙動作］ ▶ ［給紙方法切替］ ▶ ［プリント面優先］

※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。

Step 4：特殊処理の設定を確認する

［特殊処理］を有効にしていますか？

該当する場合は、以下の［特殊処理］を［OFF］に設定すると、症状が改善されることがあります。 **［特殊処理］(P. 533)**

- ［封筒貼り付き軽減モード］
- ［用紙カール補正］
- ［結露軽減ﾓｰﾄﾞ(両面ﾌﾟﾘﾝﾄ)］
- ［光沢ムラ補正］
- ［白抜け補正］

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］

ページの端がプリントされない

AU03-0FJ

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

用紙ガイドを用紙にぴったり合わせていますか？

用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、プリント結果が欠ける原因になります。用紙ガイドを確認し、用紙の幅にぴったり合わせます。 **用紙のセット方法(P. 145)**

余白なしで用紙いっぱいにプリントしていますか？

プリンタードライバーで余白なしに設定すると、この症状が見られることがあります。本機でプリントするには、用紙の周囲 5 mm（封筒の上下は 10 mm）の余白が必要です。

プリンタードライバーの［印刷設定］画面で、以下の設定をして余白を確保します。

［仕上げ］タブ ▶ ［処理オプション］ ▶ ［印字領域を広げて印刷］ ▶ ［しない］

下地に薄い色や汚れが付く

AU03-0FK

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

白地の部分に薄い色が付きますか？

該当する場合は、［下地補正］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］、［モード 3］の順に試します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［下地補正］ ▶ モードを選択

※この設定を有効にすると、プリント濃度が薄くなることがあります。

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

部分的に白く抜ける

AU03-0FL

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：用紙を確認する(P. 707)
Step 2：トナーカートリッジを確認する(P. 707)
Step 3：白抜けの状態を確認する(P. 707)
Step 4：本機の使用環境を確認する(P. 708)

Step 1：用紙を確認する

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。
用紙を取り扱うときの注意事項(P. 28)
用紙のセット方法(P. 145)

Step 2：トナーカートリッジを確認する

トナーカートリッジの残量を確認します

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。
消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

※本機の使用状況によっては、実際の残量が表示よりも少なかったり、部品が劣化していたりすることがあります。表示残量が少ないトナーカートリッジを交換しても、この症状が見られる場合は、その他のトナーカートリッジも交換することをおすすめします。

Step 3：白抜けの状態を確認する

用紙の先端が白抜けしますか？

薄い紙にプリントすると、この症状が見られることがあります。その場合は、［白抜け補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［白抜け補正］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、プリントがかすれることがあります。

Step 4：本機の使用環境を確認する

急激な温度変化がある環境に、本機を設置していますか？

急激な温度変化がある環境では、結露が発生して、画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。その場合は、［本体内結露除去モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［メンテナンス］ ▶ ［本体内結露除去モード］ ▶ ［ON］

※結露除去中は正しくプリントされずに白紙が出力されることがあるため、［ON］に設定した場合は、プリントを制限するかどうかを設定できます。
※［ON］に設定した場合、持続的に結露除去するためには、常に本機の電源を入れておく必要があります。オートシャットダウンの設定は無効になります。

用紙の種類や使用環境によって、プリントのトナーがはがれることがありますか？

該当する場合は、［定着改善モード］を［モード 1］に設定すると、症状が改善されることがあります。それでも改善されない場合は、［モード 2］に設定します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［定着改善モード］ ▶ ［モード 1］または［モード 2］

※この設定を有効にすると、プリントされない部分に残像が現れることがあります。

湿度が低い環境で使用していますか？

該当する場合は、［低湿度モード］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［低湿度モード］ ▶ ［ON］

※［ON］に設定すると、湿度が高い環境では、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

用紙のウラが汚れる

AU03-0FR

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

プリントデータよりもサイズの小さい用紙を使用していますか？

該当する場合は、プリントデータと同じサイズの用紙に交換します。 **用紙のセット方法(P. 145)**

定着器を清掃していますか？

定着器が汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、定着器を清掃します。 **定着器を清掃する(P. 652)**

転写ベルトを清掃していますか？

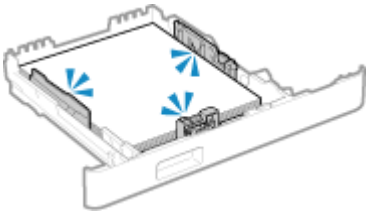
転写ベルトが汚れていると、この症状が見られることがあります。その場合は、転写ベルトを清掃します。 **転写ベルトを清掃する(P. 653)**

斜めにプリントされる

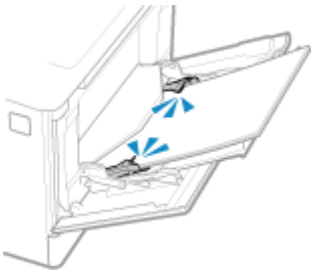
AU03-0FS

用紙ガイドの合わせかたが、ゆるすぎたりきつすぎたりすると、この症状が見られることがあります。用紙ガイドを確認し、用紙の幅にぴったり合わせます。 **用紙のセット方法(P. 145)**

給紙カセット



手差しトレイ



用紙／給紙のトラブル

AU03-0FU

該当するトラブルから対処方法を確認します。

用紙がしわになる(P. 712)
用紙がカールする(P. 713)
用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる(P. 714)
給紙カセットが本機に入らない(P. 715)

用紙がしわになる

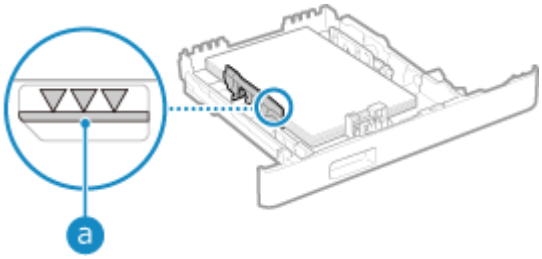
AU03-0FW

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

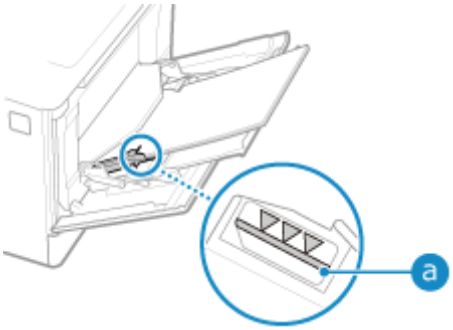
用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙が積載制限マーク（a）を超えないようにセットします。

給紙カセット

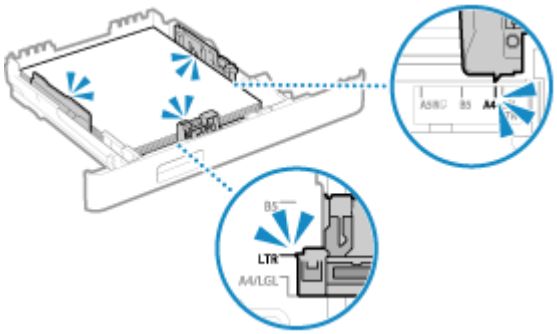


手差しトレイ

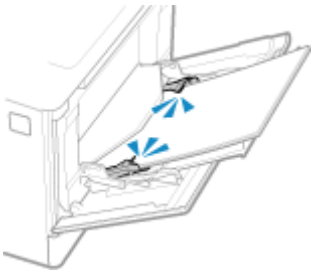


- 用紙ガイドが指標に合っていること、ゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します。

給紙カセット



手差しトレイ



用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。

用紙を取り扱うときの注意事項(P. 28)
用紙のセット方法(P. 145)

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

用紙がカールする

AU03-0FX

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

- 本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 24)
  用紙のセット方法(P. 145)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)**
- ［用紙カール補正］を［ON］に設定すると、症状が改善されることがあります。

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［調整/メンテナンス］ ▶ ［画質調整］ ▶ ［特殊処理］ ▶ ［用紙特殊処理］ ▶ ［用紙カール補正］ ▶ ［ON］

  ※［ON］に設定すると、プリントがかすれたりプリント速度が遅くなったりすることがあります。
- ［給紙方法切替］を［プリント面優先］に設定すると、症状が改善されることがあります。

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］ ▶ ［共通］ ▶ ［給紙動作］ ▶ ［給紙方法切替］ ▶ ［プリント面優先］

  ※［プリント面優先］に設定すると、片面プリントの速度が遅くなります。
- プリントする面（用紙のオモテとウラ）を逆にして、用紙をセットしなおします。

  ※使用している用紙によっては、まれに症状が悪化することがあります。そのような場合は元の面に戻します。

用紙は湿気を含んでいますか？

該当する場合は、以下の順に試します。

- 注意事項を確認し、乾いた用紙と交換します。
  用紙を取り扱うときの注意事項(P. 28)
  用紙のセット方法(P. 145)
- 用紙種類の設定を、より薄い用紙に変更します。 **用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)**

用紙が給紙されない／用紙が重なって送られる

AU03-0FY

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

適切な用紙を使用していますか？

本機で使用できる用紙を確認し、適切な用紙に交換します。

使用可能な用紙(P. 24)
用紙のセット方法(P. 145)

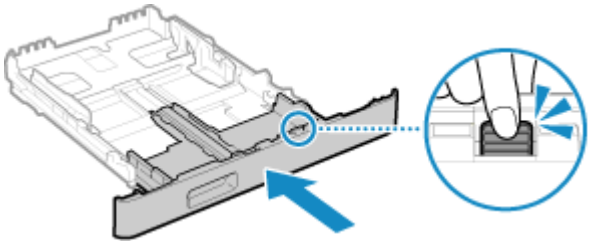
用紙は正しくセットされていますか？

- 用紙を少量ずつよくさばき、用紙が貼りつかないようにします。
- 用紙を平らな場所で数回たたいて、端をそろえてからセットします。 **用紙のセット方法(P. 145)**
- 異なるサイズ／種類の用紙を、いっしょにセットしないようにします。

給紙カセットが本機に入らない

AU03-0H0

給紙カセットが引き延ばされた状態になっている可能性があります。
A4 サイズ以下の用紙を使用する場合は、ロック解除レバーをつまみながら、給紙カセットを縮めます。



※A4 より長いサイズの用紙を使用する場合は、給紙カセットを引き延ばした状態で本機にセットするため、給紙カセットが完全には収納されません。

セットアップ

AU03-0H1

本機のセットアップに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

■ドライバーのインストール時のトラブル

ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない(P. 717)

■無線 LAN／有線 LAN 接続のトラブル

無線 LAN に接続できない

本機がネットワークに接続できる状態かどうかを確認します。

無線 LAN に接続できない(P. 718)

有線 LAN に接続できない

IP アドレスの設定に失敗している可能性があります。再度 IP アドレスを設定します。

IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

無線 LAN と有線 LAN を同時に接続できない

本機は無線 LAN と有線 LAN を同時に接続することはできません。USB と無線 LAN、USB と有線 LAN は、それぞれ同時に接続できます。

■USB 接続のトラブル

通信できない

以下を試します。

- USB ケーブルを交換します。USB ケーブルが長い場合は、短いものに交換します。
- USB ハブを使用している場合は、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。

ドライバーのインストール時に、WSD ポートで接続した本機が表示されない

AU03-0H2

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の設定を確認します

以下の設定がされていない場合は、設定を行います。
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

WSD 印刷とマルチキャスト探索の設定

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [WSD 設定] ▶ [編集] ▶ [WSD 印刷を使用する] と [マルチキャスト探索を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK] ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から設定します。 **[WSD 設定] (P. 521)**

ページ記述言語の選択

インストールしたドライバーのページ記述言語を選択します。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [プリンター設定] ▶ [ページ記述言語選択(プラグ&プレイ)] ▶ [編集] ▶ [ネットワーク] のページ記述言語を選択 ▶ [OK] ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [ファンクション設定] から設定します。 **[ネットワーク] (P. 575)**

OS のネットワーク設定を確認します

以下の設定がされていない場合は、設定を行います。

Windows の [ ] (スタート) ▶ [ ] (設定) ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [プロパティ] ▶ [プライベートネットワーク]

ドライバーがインストール済みかどうかを確認します

以下の手順で、本機のドライバー名が表示されるかどうかを確認します。

Windows の [ ] (スタート) ▶ [ ] (設定) ▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] ▶ ドライバー名が表示されるかどうかを確認

ドライバー名が表示される場合は、インストール済みです。その場合、ドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

無線 LAN に接続できない

AU03-0H3

以下の順に、パソコンと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認して、トラブルを解消します。

Step 1：パソコンと無線 LAN ルーターの状態を確認する(P. 718)
Step 2：本機と無線 LAN ルーターの状態を確認する(P. 718)
Step 3：無線 LAN に接続しなおす(P. 718)

Step 1：パソコンと無線 LAN ルーターの状態を確認する

パソコンと無線 LAN ルーターの設定は完了していますか？

完了していない場合は、必要な設定を行います。

電源ケーブルや LAN ケーブルなどのケーブル類は正しく接続されていますか？

ケーブル類の配線が間違っていたり、外れていたりする場合は、正しく接続します。

無線 LAN ルーターは電源が入っていますか？

電源が入っていても接続できない場合は、各機器の電源をいったん切ってから、再度電源を入れます。

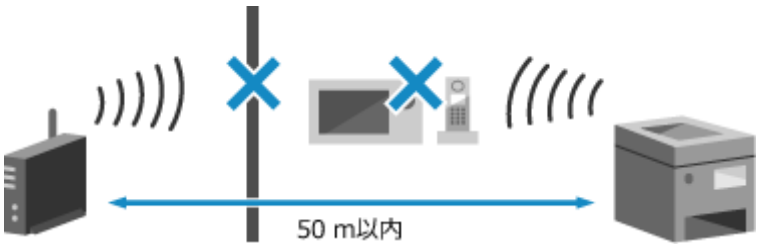
Step 2：本機と無線 LAN ルーターの状態を確認する

本機は電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、いったん切ってから、再度電源を入れます。

設置場所は適切ですか？

- 本機と無線 LAN ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



Step 3：無線 LAN に接続しなおす

使用する無線 LAN ルーターに応じた接続方式で、無線 LAN に接続します。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

ネットワーク

AU03-0H4

ネットワークに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

無線 LAN への切り替えができない(P. 720)
接続するプリントサーバーが見つからない(P. 721)
共有プリンターに接続できない(P. 722)
本機の IP アドレスがわからない(P. 723)
AirPrint できない(P. 724)
TLS 暗号化通信を使った接続ができない(P. 725)

無線 LAN への切り替えができない

AU03-0H5

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

1 操作パネルの［ホーム］画面で、［メニュー］を押す ［ホーム］画面(P. 124)

2 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［有線 LAN / Wi-Fi 選択］を押す

ログイン画面が表示された場合は、管理者 ID と管理者暗証番号を入力し、［ログイン］を押します。 **管理者 ID と管理者暗証番号(P. 10)**

3 ［Wi-Fi］を押す

➠［設定しました。］とメッセージが表示されます。

4 本機を無線 LAN に接続する 無線 LAN に接続する(P. 68)

5 本機を使用するパソコンで、ドライバーをインストールしなおす

本機を有線 LAN 接続から無線 LAN 接続に切り替えた場合は、すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおす必要があります。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

接続するプリントサーバーが見つからない

AU03-0H6

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーとパソコンが正しく接続されていますか？

- プリントサーバーとパソコンのネットワーク設定を確認し、正しく接続します。
- LAN ケーブルで接続している場合は、正しく配線します。

プリントサーバーは起動していますか？

起動していない場合は、プリントサーバーを起動します。

プリントサーバーに接続する権限はありますか？

プリントサーバーの管理者に確認し、必要に応じて権限の付与を依頼します。

ネットワーク探索は有効になっていますか？（Windows のみ）

ネットワーク探索が有効になっていない場合は、有効にします。 **ネットワーク探索を有効にする(P. 797)**

共有プリンターに接続できない

AU03-0H7

ネットワーク上のパソコンで、共有プリンターが表示されているかどうかを確認します。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 797)**

表示されない場合は、ネットワークやプリントサーバーの管理者にお問い合わせください。

本機の IP アドレスがわからない

AU03-0H8

以下の手順で IP アドレスを確認します。

IPv4 アドレスを確認する

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ ［ネットワーク情報］ ▶ ［IPv4］ ▶ 設定を確認

IPv6 アドレスを確認する

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ ［ネットワーク情報］ ▶ ［IPv6］ ▶ 設定を確認

MEMO

IP アドレスが「0.0.0.0」と表示される場合

- IP アドレスが適切に設定されていません。IP アドレスを設定しなおします。
  IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
  IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

AirPrint できない

AU03-0H9

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

本機の電源が入っていますか？

電源が入っている場合は、本機を再起動してから AirPrint を試します。 **再起動する(P. 116)**

操作パネルの画面にエラーメッセージが表示されていますか？

表示されている場合は、エラーメッセージに従って対処します。 **メッセージが表示された(P. 755)**

Mac の場合は、本機と正しく接続していますか？

本機と同一の LAN にネットワーク接続します。 **ネットワークの設定(P. 64)**
USB 接続の場合は、本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。 **背面(P. 16)**

パソコンから部門 ID や暗証番号を入力せずにプリントできますか？（本機が部門別 ID 管理中の場合）

入力が必要な場合は、部門 ID が不明なプリントができないように制限されているため、AirPrint を使用できません。使用できるようにするには、制限を解除します。 **部門別 ID 管理を有効にする(P. 388)**

AirPrint で使用できる機能を制限していますか？

AirPrint で使用するプロトコル（IPP/Network Link Scan）を無効にして機能を制限している場合、AirPrint を使用できるようにするには、制限を解除します。 **AirPrint で使用する機能やセキュリティーを設定する(P. 361)**

Apple 製機器で Bonjour が有効になっていますか？

有効になっていない場合は、有効に設定します。詳しくは、Apple 製機器のマニュアルを参照してください。

TLS 暗号化通信を使った接続ができない

AU03-0HA

お使いの OS やブラウザーなどのソフトウェアがサポートしていない TLS バージョンを設定すると、本体と TLS 暗号化通信を使った接続ができなくなります。
OS のバージョンアップやソフトウェアの更新を行う、または TLS バージョンを段階的に下位へ変更することで接続できるようになります。ただし、TLS バージョンを下位へ変更すると、十分なセキュリティーで保護されていない環境での接続となる場合があります。 **TLS(P. 43)**

プリント／コピー

AU03-0HC

プリント／コピーに関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

プリント／コピーできない(P. 727)
プリント速度が遅い(P. 734)

■プリント結果のトラブル

プリント／コピーで期待どおりの結果にならない場合は、以下を参照してください。
プリント結果のトラブル(P. 691)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

封筒にプリントする方法を知りたい

まず、封筒の向きと面に注意して、給紙カセットまたは手差しトレイに封筒をセットします。
次に、セットした封筒に合わせて、用紙サイズと用紙種類を設定します。
そのあと、パソコンからプリンタードライバーで、文書の用紙サイズや、プリントする用紙サイズを正しく設定してプリントします。

封筒をセットする準備と向き(P. 154)
用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)
パソコンからプリントする(P. 223)

プリント／コピーできない

AU03-0HE

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

エラーが起きていませんか？

プリント／コピーの処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードに応じた対処方法を確認します。

プリント状況や履歴を確認する(P. 246)
コピー状況や履歴を確認する(P. 348)
エラーコードが表示された(P. 776)

テストページをプリントできますか？

プリントできる場合は、アプリケーションのプリント設定が正しいかどうかを確認します。

テストページをプリントする(P. 804)

ネットワークの接続状況や設定を確認します

使用環境に応じて、必要な項目を確認します。

プリントできない - 無線 LAN(P. 728)
プリントできない - 有線 LAN(P. 730)
プリントできない - USB 接続(P. 732)
プリントできない - プリントサーバー経由(P. 733)

プリントできない - 無線 LAN

AU03-0HF

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

無線 LAN の接続状態を確認します

本機の接続状態を確認し、状態に応じて対応します。 **無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 102)**

無線 LAN に接続されていない場合

パソコンと無線 LAN ルーター（アクセスポイント）、および本機の状態を確認したあと、無線 LAN に接続しなおします。 **無線 LAN に接続できない(P. 718)**

接続状態が悪い場合

無線 LAN ルーターで以下の設定を変更し、プリントを試します。

- 無線 LAN ルーターのチャンネルを変更します。複数の無線 LAN ルーターがある場合は、チャンネルの間隔を 5 チャンネル以上離します。
- 無線 LAN ルーターの電波出力を変更できる場合は、出力を上げます。

本機とパソコンは同じ無線 LAN ルーターに接続されていますか？

- 無線 LAN 接続したパソコンを使用している場合は、本機とパソコンが接続している SSID（無線 LAN ルーターの識別名）が一致しているかどうかを確認します。
  無線 LAN の MAC アドレスや接続情報を確認する(P. 102)
  パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)
- 本機とパソコンが接続している SSID が一致していない場合は、本機の無線 LAN 接続の設定をやりなおして、パソコンが接続している SSID に本機を接続します。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。
プリンターポートを確認する(P. 802)
パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。
以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ ［IPv4 アドレスフィルター］ ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ ［OFF］ ▶ ［確定］ ▶ 本機を再起動

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ ［IPv6 アドレスフィルター］ ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ ［OFF］ ▶ ［確定］ ▶ 本機を再起動

2 ファイアウォールを正しく設定しなおす **ファイアウォールを設定する(P. 398)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

プリントできない - 有線 LAN

AU03-0HH

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

LAN ケーブルを確認します

LAN ケーブルが破損している可能性があります。新しい LAN ケーブルに交換して、プリントを試します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合は、設定を変更します。使用するポートがない場合は、新しいポートを追加します。
プリンターポートを確認する(P. 802)
プリンターポートを設定する（Windows のみ）(P. 215)

リモート UI にアクセスできますか？

アクセスできない場合は、本機のファイアウォールの設定が間違っているため、パソコンと通信できない可能性があります。
以下の手順で、操作パネルでファイアウォールの設定を無効にしてから、再度リモート UI でファイアウォールを設定しなおします。

管理者権限が必要です。設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

1 ファイアウォールの設定を無効にする

IPv4 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ ［IPv4 アドレスフィルター］ ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ ［OFF］ ▶ ［確定］ ▶ 本機を再起動

IPv6 アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ ［IPv6 アドレスフィルター］ ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ ［OFF］ ▶ ［確定］ ▶ 本機を再起動

MAC アドレスフィルターを無効にする場合

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［ファイアウォール設定］ ▶ ［MAC アドレスフィルター］ ▶ ［送信フィルター］または［受信フィルター］ ▶ ［OFF］ ▶ ［確定］ ▶ 本機を再起動

2 ファイアウォールを正しく設定しなおす **ファイアウォールを設定する(P. 398)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

ネットワーク上の他のパソコンからプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

プリントできない - USB 接続

AU03-0HJ

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

USB ケーブルを確認します

- 長い USB ケーブルを使用している場合は、短い USB ケーブルに交換します。
- 短い USB ケーブルを使用していてもプリントできない場合は、ケーブルが破損している可能性があります。新しい USB ケーブルに交換して、プリントを試します。

USB ハブを使用していますか？

該当する場合は、本機とパソコンを USB ケーブルで直接接続します。

他の USB ポートを試します

使用するパソコンの他の USB ポートに、USB ケーブルを接続します。

パソコンのプリンターポートは正しく設定されていますか？（Windows のみ）

正しく設定されていない場合や、使用するポートがない場合は、プリンタードライバーをインストールしなおします。ドライバーをインストールしなおすと、自動的に正しいポートが設定されます。 **プリンターポートを確認する(P. 802)**

ドライバーをインストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。

https://oip.manual.canon/

本機とパソコンの双方向通信が有効になっていますか？（Windows のみ）

有効になっていない場合は、有効に設定したあと、パソコンと本機を再起動します。 **双方向通信を確認する(P. 803)**

本機をパソコンと USB 接続できない設定にしていますか？

本機の背面にあるパソコン接続用の USB ポートの使用を制限している場合は、制限を解除します。 **パソコンと USB 接続できないようにする(P. 448)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンから USB 接続でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

プリントできない - プリントサーバー経由

AU03-0HK

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

プリントサーバーからプリントできますか？

プリントできる場合は、使用するパソコンとプリントサーバーの接続を確認します。 **接続するプリントサーバーが見つからない(P. 721)**

プリンタードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

Windows の場合のインストール方法

プリントサーバーを介してインストールします。
プリントサーバー内の共有プリンターをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールします。 **プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 797)**

常駐ソフトウェアを使用していますか？

セキュリティーソフトウェアなどの常駐ソフトウェアを使用している場合は、無効にしてプリントを試します。

他のパソコンからプリントサーバー経由でプリントできますか？

他のパソコンからもプリントできない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

プリント速度が遅い

AU03-0HL

1 枚目のプリントまでは、時間がかかります。また、連続してプリントしたあとや、幅の狭い用紙にプリントしたあとは、本機の温度調整や画質調整のためプリント速度が低下することがあります。

上記以外の場合は、トラブルが発生している可能性があります。以下の点を確認して、トラブルを解消します。

用紙の向きを変更します

用紙の向きによって、この症状が見られることがあります。用紙の向きを変更できる場合は、変更してセットしなおします。 **用紙のセット方法(P. 145)**

メモリー内に十分な空き容量がありますか？

メモリー受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。 **メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)**

セキュアプリント機能を有効にしていますか？

セキュアプリント機能を有効にしていると、この症状が見られることがあります。セキュアプリント機能を無効にする場合は、以下の操作をします。
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［セキュアプリント設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［セキュアプリントする］のチェックマークを外す ▶ ［OK］ ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［セキュアプリント］(P. 543)**

スキャン

AU03-0HR

スキャンについて困ったときは、本機やパソコンを再起動します。

再起動してもトラブルが解消しない場合は、以下の対処方法を確認します。
スキャンデータをパソコンに保存できない(P. 736)
スキャンデータを共有フォルダーに保存できない(P. 738)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

スキャンしたい

スキャンデータの保存先や送信方法に応じた準備をしてから、スキャンします。
スキャンする(P. 248)

スキャンデータをメールで送信したい

原稿をスキャンして、スキャンデータをメールに添付して送信します。
スキャンする - メールで送信(P. 273)

スキャンデータをパソコンに保存できない

AU03-0HS

以下の順に、保存先のパソコンや本機の状態を確認します。

Step 1：問題の発生状況を確認する(P. 736)
Step 2：パソコンの状態を確認する(P. 736)
Step 3：本機の状態を確認する(P. 736)
Step 4：スキャンデータの保存先フォルダーを確認する(P. 737)

Step 1：問題の発生状況を確認する

以下の順に確認します。

どのパソコンでも問題が起こりますか？

該当する場合は、本機のネットワークの接続状況や設定を確認します。本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)
ネットワークの設定(P. 64)

そのパソコンに初めて保存しますか？

該当する場合は、スキャナードライバー（ScanGear MF）とアプリケーション（Scan Utility）をインストールするなどの準備をします。**パソコンにスキャンデータを保存するための準備(P. 251)**

保存先のパソコンを選択する画面で、そのパソコンが表示されますか？（本機からスキャンする場合のみ）

保存したいパソコンが表示されない場合は、セキュリティーソフトウェアの設定により、スキャンデータの通信がブロックされている可能性があります。
セキュリティーソフトウェアの設定については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Step 2：パソコンの状態を確認する

セキュリティーソフトウェアを導入／バージョンアップしましたか？

該当する場合は、セキュリティーが強化されて、本機とパソコンが通信できなくなった可能性があります。
回避方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

スキャナードライバーをインストールしなおします

すでにインストールされているドライバーを一度アンインストールしてから、インストールしなおします。
ドライバーをアンインストール／インストールする方法については、オンラインマニュアルサイトでドライバーのマニュアルを参照してください。
https://oip.manual.canon/

Step 3：本機の状態を確認する

本機と他機の IP アドレスを変更しましたか？

該当する場合は、本機と他機に同じ IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。同じ IP アドレスが設定されている場合は、異なる IP アドレスに変更します。

IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

Step 4：スキャンデータの保存先フォルダーを確認する

保存先フォルダーの属性を確認します（Windows の場合）

パソコンで、保存先フォルダーの属性が読み取り専用になっていないことを確認します。

1. 保存先フォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
   ➠ 保存先フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
2. ［全般］タブで、［属性］の［読み取り専用］にチェックマークが付いていないことを確認する
3. チェックマークが付いている場合は、［読み取り専用］のチェックマークを外す

スキャンデータを共有フォルダーに保存できない

AU03-0HU

以下の順に、保存先の共有フォルダーや本機の状態を確認します。

Step 1：問題の発生状況を確認する(P. 738)
Step 2：共有フォルダーがあるパソコンの状態を確認する(P. 738)
Step 3：本機の状態を確認する(P. 738)
Step 4：共有フォルダーを確認する(P. 739)

Step 1：問題の発生状況を確認する

以下の順に確認します。

どの共有フォルダーでも問題が起こりますか？

該当する場合は、本機のネットワークの接続状況や設定を確認します。本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)
ネットワークの設定(P. 64)

その共有フォルダーに初めて保存しますか？

該当する場合は、共有フォルダーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録します。**共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)**

Step 2：共有フォルダーがあるパソコンの状態を確認する

共有フォルダーがあるパソコンのパスワードを変更しましたか？

該当する場合は、アドレス帳に登録されている共有フォルダーの情報で、共有フォルダーへのアクセスに使用するパスワードを変更します。**アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

Windows アップデートを行いましたか？

該当する場合は、セキュリティーが強化されて、本機とパソコンが通信できなくなった可能性があります。
パソコンにパスワードを設定していない場合は、パスワードを設定し、共有フォルダーにアクセスするための情報を、本機のアドレス帳に登録しなおします。**共有フォルダーにスキャンデータを保存するための準備(P. 264)**

セキュリティーソフトウェアを導入／バージョンアップしましたか？

該当する場合は、セキュリティーが強化されて、本機とパソコンが通信できなくなった可能性があります。
回避方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Step 3：本機の状態を確認する

本機と他機の IP アドレスを変更しましたか？

該当する場合は、本機と他機に同じ IP アドレスが設定されているかどうかを確認します。同じ IP アドレスが設定されている場合は、異なる IP アドレスに変更します。
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)
IPv6 アドレスを設定する(P. 79)

Step 4：共有フォルダーを確認する

共有フォルダーへのアクセス権限はありますか？

アクセス権限がない場合は、パソコンで、スキャンデータを保存できるように権限を変更します。

■Windows の場合

1. 保存先の共有フォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
   ➠ 共有フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
2. ［セキュリティ］タブで、［Everyone］に［変更］のアクセス権限があることを確認する
3. アクセス権限がない場合は、［Everyone］のアクセス権限で［変更］を［許可］に設定する

■macOS の場合

1. ［ ］▶［システム環境設定］▶［共有］をクリックする
   ➠［共有］画面が表示されます。
2. ［ファイル共有］を選択し、［共有フォルダ］で保存先の共有フォルダーを選択する
3. ［ユーザ］の［全員］に［読み/書き］のアクセス権限があることを確認する
4. アクセス権限がない場合は、［全員］のポップアップメニューから［読み/書き］を選択する

共有フォルダーの属性を確認します（Windows の場合）

パソコンで、共有フォルダーの属性が読み取り専用になっていないことを確認します。

1. 保存先の共有フォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
   ➠ 共有フォルダーのプロパティ画面が表示されます。
2. ［全般］タブで、［属性］の［読み取り専用］にチェックマークが付いていないことを確認する
3. チェックマークが付いている場合は、［読み取り専用］のチェックマークを外す

ファクス／電話

AU03-0HW

ファクス／電話に関するトラブルの一覧です。該当するトラブルから対処方法を確認します。

ファクスが送信できない(P. 741)
ファクスが届かない(P. 743)
電話とファクスが自動的に切り替わらない(P. 745)
光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない(P. 746)
海外へファクスを送信できない(P. 747)
相手の電話／ファクス番号がディスプレーに表示されない(P. 748)

■操作に関するよくあるお問い合わせ

受信したファクスを転送／保存したい

ファクスを受信したときに、その内容がパソコンや他のファクスなどに自動的に転送／保存されるように設定します。

受信したファクスを自動転送／バックアップする(P. 303)

パソコンからファクスを送信したい

パソコンからファクスドライバーを使用して、文書をファクスとして送信します。

パソコンからファクスを送信する - PC ファクス(P. 310)

ファクスが送信できない

AU03-0HX

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：原稿を確認する(P. 741)
Step 2：本機の状態を確認する(P. 741)
Step 3：送信状況を確認する(P. 742)

Step 1：原稿を確認する

原稿は正しくセットされていますか？

スキャンする面の向きに注意して、原稿を正しくセットしなおします。

原稿台ガラスにセットする場合

スキャンする面を下にしてセットします。 **原稿台ガラスに原稿をセットする(P. 142)**



フィーダーにセットする場合

スキャンする面を上にしてセットします。 **フィーダーに原稿をセットする(P. 143)**



Step 2：本機の状態を確認する

操作パネルのデータランプが点灯または点滅していますか？

該当する場合は、データ処理中です。データランプが消灯したあと送信します。 **操作パネル(P. 19)**

電話コードは正しく接続されていますか？

付属の電話コードが本機の電話回線端子（LINE）と壁側の電話回線コネクタに正しく接続されているかどうかを確認し、必要に応じて接続しなおします。
接続方法については、電話回線接続時の手順を参照してください。 **Step 4：電話回線に接続する(P. 105)**

本機に接続された電話機を使用して通話中ですか？

該当する場合は、通話が終了したあと送信します。

エラーが起きていませんか？

ファクス送信の処理状況や履歴を確認し、「#」で始まる 3 桁の番号（エラーコード）が表示されている場合は、エラーコードに応じた対処方法を確認します。
ファクスの送信／受信状況や履歴を確認する(P. 321)
エラーコードが表示された(P. 776)

操作パネルの画面に［メモリーがいっぱいです。］と表示されていますか？

該当する場合、メモリー内に空き容量が十分にないため、原稿をスキャンできません。
以下を試します。

- プリント待ちや送信待ちのデータがある場合は、処理が終了するまで待ちます。
- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- メモリー受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。
メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［送受信設定］タブ ▶ ［解像度］ ▶ 解像度を選択

Step 3：送信状況を確認する

正しい宛先を指定していますか？

電話番号を指定していたり、ファクス番号が間違っていたりする可能性があります。指定した宛先が正しいことを確認してから送信します。

光回線（ひかり電話）に接続してファクスを送信していますか？

本機は NTT のアナログ回線規格に準拠しており、光回線環境でのファクス送信は動作保証対象外です。ただし、光回線環境で使用可能な場合もありますので、以下を参照してください。
光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない(P. 746)

電話回線の種類は正しく設定されていますか？

電話回線の種類が正しく自動設定されていない可能性があります。電話回線の種類を手動で設定します。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［回線種類の選択］で［手動］を選択 ▶ ［回線］で電話回線の種類を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［回線種類の選択］(P. 588)**

※電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

海外の宛先を指定していますか？

該当する場合は、宛先にうまくつながらなかった可能性があります。国際アクセス番号や国番号のあとに待ち時間（ポーズ）を入れたり、通信開始速度を下げたりしてから送信します。 **海外へファクスを送信できない(P. 747)**

相手機はファクスを受信できる状態ですか？

相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

ファクスが届かない

AU03-0HY

以下の順に確認して、トラブルを解消します。

Step 1：トナーカートリッジの残量を確認する(P. 743)
Step 2：受信モードの設定を確認する(P. 743)
Step 3：ファクスの受信環境を確認する(P. 744)
Step 4：本機のメモリーの空き容量を確保する(P. 744)

Step 1：トナーカートリッジの残量を確認する

トナーカートリッジの残量が少ない状態でファクスを受信した場合は、不鮮明なプリントを防ぐため、受信データはプリントされずにメモリーに保存されます。

- トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。
  消耗品の残量を確認する(P. 660)
  トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

- トナーカートリッジの残量が少ない状態でも受信データをプリントするには、［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］を有効にします。

  リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］または［受信設定］ ▶ ［共通設定］ ▶ ［共通設定］の［編集］ ▶ ［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

  操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量少時印字継続］(P. 593)**

  ※この設定を有効にすると、プリント結果が薄くなったりかすれたりすることがあります。受信データはメモリーに保存されないため、プリントされた内容が判読できない場合は、相手に再度送信してもらう必要があります。

Step 2：受信モードの設定を確認する

受信モードは適切に設定されていますか？

ファクスの用途に応じた受信モードが設定されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更します。 **ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する(P. 297)**

受信モードを［留守 TEL 接続］に設定していますか？

該当する場合は、以下の点を確認し、電話機を正しく接続します。

- 留守番電話機が本機に接続されている
- 応答メッセージが適切に録音された状態で、電源が入っている

受信モードを［手動受信］に設定していますか？

該当する場合は、受信時には受話器を置く前に［受信ｽﾀｰﾄ］を押します。先に受話器を置くと通信が切れてしまうので注意します。
本機に電話機を接続している場合は、本機まで行かなくても、電話機を操作してファクスを受信することもできます。
電話機の操作でファクスを受信する - リモート受信(P. 317)

Step 3：ファクスの受信環境を確認する

光回線（ひかり電話）環境でファクスを受信していますか？

本機は NTT のアナログ回線規格に準拠しており、光回線環境でのファクス受信は動作保証対象外です。ただし、光回線環境で使用可能な場合もありますので、以下を参照してください。

光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない(P. 746)

ファクス情報サービスからファクスを受信していますか？

該当する場合は、本機を接続している電話回線の種類に応じて、以下の操作をします。

プッシュ回線の場合

電話回線の種類を手動で設定してから、サービス提供元に電話をかけます。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［回線種類の選択］で［手動］を選択 ▶ ［回線］で［プッシュ］を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［回線種類の選択］(P. 588)**

ダイヤル回線の場合

サービス提供元に電話をかけたあと、テンキーの［ ］（トーン）を押してから、サービスを受けるための番号を入力します。

※電話回線の種類がわからない場合は、電話会社にお問い合わせください。

Step 4：本機のメモリーの空き容量を確保する

メモリー受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。 **メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)**

電話とファクスが自動的に切り替わらない

AU03-0J0

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

受信モードは適切に設定されていますか？

- ファクスの用途に応じた受信モードが設定されているかどうかを確認し、必要に応じて設定を変更します。**ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する(P. 297)**
- 一般の電話機を接続している場合は、［FAX/TEL 切替］に設定します。

受信モードが［FAX/TEL 切替］の場合、呼出開始時間が短く設定されていませんか？

着信後に呼出を開始するまでの時間が短いと、受信時にファクスと判定されず、着信音が鳴る場合があります。［呼出開始時間］の設定を確認し、必要に応じて時間を長くします。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［送受信設定］タブ ▶ ［受信モード］ ▶ ［FAX/TEL 切替］ ▶ ［呼出開始時間］ ▶ 時間を入力 ▶ ［確定］

相手先の回線状態は良いですか？

相手先の回線状態が悪い場合、通信開始速度が速いとファクスに切り替わらないことがあります。［受信スタートスピード］の設定を確認し、必要に応じて速度を下げます。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］ ▶ ［ファクス受信設定］ ▶ ［基本設定］の［編集］ ▶ ［受信スタートスピード］で速度を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。**［受信スタートスピード］(P. 597)**

メモリー内に十分な空き容量がありますか？

メモリー受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。**メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)**

相手機はファクスの識別信号（CNG 信号）[*1] の送信に対応していますか？

対応していない場合、本機は自動的にファクス受信に切り替わりません。受信モードを［手動受信］に切り替えて、手動で受信します。**ファクスの受信モードを変更する／着信時の動作を設定する(P. 297)**

[*1] ファクスの識別信号（CNG 信号）とは、相手機から発信される「ポーポーポー」という音です。

光回線（ひかり電話）環境でファクスが送受信できない

AU03-0J1

本機は NTT のアナログ回線規格に準拠しており、光回線環境でのファクス送受信は動作保証対象外です。ただし、光回線環境で使用可能な場合もありますので、以下の順に確認します。

光回線の事業者に確認します

光回線の事業者に、以下の 2 点が保証されているかどうかを確認します。

- NTT のアナログ回線と同等レベルの通話品質
- 「スーパー G3」（ファクスの通信規格）が動作保証されている

通信開始速度を下げて送受信を確認します

以下の手順で通信開始速度を段階的に下げて、ファクスを送受信できるかどうかを確認します。

送信できない場合

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［送信スタートスピード］で速度を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［送信スタートスピード］(P. 589)**

受信できない場合

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］ ▶ ［ファクス受信設定］ ▶ ［基本設定］の［編集］ ▶ ［受信スタートスピード］で速度を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［受信スタートスピード］(P. 597)**

海外へファクスを送信できない

AU03-0J2

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

待ち時間（ポーズ）を入れる

- 海外にファクスを送信する場合は、国際アクセス番号、国番号、ファクス番号の順に宛先を入力します。そのときに、番号と番号の間で［ポーズ］を押して、待ち時間（ポーズ）を入れます。



- ポーズを入れても送信できない場合は、ポーズの時間を変更します。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［ポーズ時間セット］でポーズ時間を入力 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［ポーズ時間セット］(P. 587)**

通信開始速度を下げる

通信開始速度を段階的に下げて送信を試します。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［送信スタートスピード］で速度を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［送信スタートスピード］(P. 589)**

相手の電話／ファクス番号がディスプレーに表示されない

AU03-0J3

以下の点を確認して、トラブルを解消します。

ナンバーディスプレイ対応の電話機を接続していますか？

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイ対応の電話機を本機に接続すると、電話機のディスプレーに相手の番号を表示できます。

※ナンバーディスプレイ対応の電話機を接続していても、相手の番号が表示されないことがあります。詳しくは、電話機のマニュアルを参照してください。

受信モードを［自動受信］または［FAX/TEL 切替］に設定していますか？

該当する場合は、ファクスの着信時に呼び出し音を鳴らすように設定すると、呼び出し音が鳴っている間、ナンバーディスプレイ対応の電話機に相手の番号を表示できます。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］または［受信設定］ ▶ ［ファクス受信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［着信呼出する］にチェックマークを付ける ▶ 呼出回数を入力 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［着信呼出］(P. 596)**

管理／環境設定

AU03-0J4

管理／設定に関するよくあるお問い合わせの一覧です。該当する項目を確認します。

リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない(P. 750)
確認音や警告音の音量を変更したい(P. 751)
スリープモードになるまでの時間を変更したい(P. 752)
管理者用の ID／暗証番号がわからない(P. 753)
本機で設定できる項目と設定状況を確認したい(P. 754)

リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない

AU03-0J5

[リモート UI にアクセスできません。] や [デバイスに対する設定を行う機能が制限されているため、設定を続行できません。] などのメッセージが表示されて、リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスできない場合は、以下の点を確認して、トラブルを解消します。

リモート UI のパスワードを設定します

リモート UI や SEND 設定ツールにアクセスするには、リモート UI のパスワードを設定する必要があります。

設定には管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［管理設定］ ▶ ［ライセンス/その他］または［リモート UI 設定/ファームウェア更新］ ▶ ［リモート UI 設定］ ▶ ［パスワードの使用］ ▶ ［ON］ ▶ パスワードを入力 ▶ ［確定］ ▶ 同じパスワードを入力 ▶ ［確定］

※「0000」など、0 だけのパスワードは設定できません。
※部門別 ID 管理中は、リモート UI のパスワードは必要ありません。

管理暗証番号を変更します

リモート UI に管理者モードでログインしたり、SEND 設定ツールにアクセスしたりするには、管理暗証番号を初期設定から変更する必要があります。

変更には管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［管理設定］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［管理者情報の設定］ ▶ ［管理者 ID と管理者暗証番号］ ▶ 管理者 ID を入力 ▶ ［確定］ ▶ 管理者暗証番号を入力 ▶ ［確定］ ▶ 同じ暗証番号を入力 ▶ ［確定］

※「00」や「0000000」など、0 だけの管理者 ID や管理者暗証番号は設定できません。
※特定の管理者だけが、変更後の管理者 ID と管理者暗証番号を知っているようにします。

確認音や警告音の音量を変更したい

AU03-0J6

ファクス機能がある機種とない機種で、操作手順が異なります。

音量を調整する（ファクス機能がある場合）(P. 203)
音量を調整する（ファクス機能がない場合）(P. 206)

スリープモードになるまでの時間を変更したい

AU03-0J7

スリープモードになるまでの時間を変更するほか、指定した時刻にスリープモードになるように設定することもできます。

消費電力を抑える - スリープモード(P. 118)

管理者用の ID／暗証番号がわからない

AU03-0J8

「管理者 ID」と「管理者暗証番号」が初期設定から変更されているかどうかを、管理者にお問い合わせください。

初期設定から変更されていない場合は、以下の状態になっています。

MF755Cdw II の場合

- **管理者 ID：**7654321
- **管理者暗証番号：**7654321

MF753Cdw II / MF751Cdw II の場合

管理者 ID と管理者暗証番号は設定されていません。

※初期設定から変更されていない場合は、セキュリティー向上のため、変更して特定の管理者だけがこれらを知っている体制で運用します。 **管理者用の ID／暗証番号を設定する(P. 381)**

MEMO

- 上記を確認しても管理者 ID と管理者暗証番号がわからない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

本機で設定できる項目と設定状況を確認したい

AU03-0J9

ユーザーデータリストや管理者データリストをプリントして、本機の設定項目と設定状況を確認できます。

レポート／リストをプリントして確認する(P. 475)

ユーザーデータリスト

管理者権限を必要としない設定項目の内容を確認できます。

管理者データリスト

管理者権限が必要な設定項目の内容を確認できます。

メッセージが表示された

AU03-0JA

操作パネルの画面にメッセージが表示された場合は、以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

英数字

- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。正しい認証情報を設定してください。(P. 757)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。通信先から応答がありませんでした。(P. 757)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が解析できません。(P. 757)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が信頼できません。(P. 757)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書は期限切れです。(P. 758)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証に必要な情報を設定してください。(P. 758)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証パスワードを変更してください。(P. 758)
- IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証方式の設定を確認してください。(P. 758)
- ITB の寿命が近づいています。 (継続プリント可)(P. 758)
- PC が制限されています。(P. 758)
- PC でかんたん接続を開始できませんでした。再起動します。(P. 759)
- USB メモリーが制限されています。(P. 759)
- Wi-Fi 通信できませんでした。主電源を OFF / ON した後、再度設定してください。(P. 759)
- WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。(P. 759)

あ行

- アクセスポイントが見つかりません。(P. 760)
- アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。(P. 760)
- オンフック中はグループ宛先を指定できません。(P. 761)

か行

- カートリッジ残量少(P. 761)
- カートリッジ寿命(P. 761)
- カートリッジ通信エラー。他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。(P. 761)
- カートリッジ通信エラー。他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。(P. 762)
- ｶｰﾄﾘｯｼﾞを準備してください。(P. 762)
- カラーコピーが制限されています。白黒コピーのみできます。(P. 763)
- カラープリントが制限されています。白黒プリントのみできます。(P. 763)
- 給紙サイズと設定サイズが不一致(P. 763)
- クリーニングできませんでした。(P. 764)
- グループに登録されている宛先は宛先の種類を変更できません。(P. 764)
- この設定は使用できません。指定された設定の宛先が送信制限されています。(P. 764)
- コピーが制限されています。(P. 765)

さ行

- 受信データをプリントできません。(P. 765)
- 証明書の検証時にエラーが発生しました。(P. 765)
- 白黒コピーが制限されています。カラーコピーのみできます。(P. 766)
- 白黒プリントが制限されています。カラープリントのみできます。(P. 766)
- 新規宛先の指定と登録が制限されています。(P. 766)
- スキャンが制限されています。(P. 766)

接続できませんでした。(P. 767)
接続できませんでした。暗号化キーを確認してください。(P. 767)

た行

タイムアウトしました。PC でかんたん接続を終了して再起動します。(P. 767)
ダイレクト接続が切断されました。(P. 767)
他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。カートリッジ残量を正しく表示できません。(P. 768)
他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。(P. 768)
正しい認証情報を設定してください。(P. 768)
通信先から応答がありませんでした。(P. 768)

な行

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。(P. 768)
認識できない画像です。(P. 768)
認証サーバーの証明書が解析できません。(P. 769)
認証サーバーの証明書が信頼できません。(P. 769)
認証サーバーの証明書は期限切れです。(P. 769)
認証に必要な情報を設定してください。(P. 769)
認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。(P. 769)
認証パスワードを変更してください。(P. 769)
認証方式の設定を確認してください。(P. 770)

は行

ファクスが制限されています。(P. 770)
ファクス番号の桁数が多すぎます。(P. 770)
ファクスを受信できません。相手から正しくファクスが送信されているか確認してください。(P. 770)
フォルダーやファイルにアクセスできません。しばらくたってからもう一度実行するか、リモート UI から設定を確認してください。(P. 770)
複数の宛先が指定されているため送信できません。(P. 771)
複数の宛先、またはグループ宛先は指定できません。(P. 771)
プリントが制限されています。(P. 771)
ホストから応答がありませんでした。(P. 771)
補正できませんでした。(P. 771)
本機指定以外のトナーカートリッジがセットされています。このトナーカートリッジではカラープリント機能は使用できません。(P. 772)
本機指定以外のトナーカートリッジがセットされています。このトナーカートリッジではプリント機能は使用できません。(P. 772)

ま行

無線機器からの接続を検知できませんでした。(P. 772)
メディアプリントが制限されています。(P. 772)
メモリーがいっぱいです。(P. 773)
メモリーがいっぱいです。原稿の種類を再設定してください。(P. 773)
メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。プリントしますか?(P. 773)
メモリーフル (エラースキップ) 。(P. 774)
メモリーフル (セキュアプリント) 。(P. 774)

や行

用紙がつまりました。(P. 774)
用紙を補給してください。(P. 774)

ら行

リモートスキャナーが制限されています。(P. 774)

MEMO

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。**トラブルが解決しないときは(P. 788)**

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。正しい認証情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。通信先から応答がありませんでした。

ネットワークの接続に問題が発生している可能性があります。

ネットワークの接続状況や設定を確認します

- LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します。
- 無線 LAN ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が解析できません。

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します。

RADIUS サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書が信頼できません。

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書が本機に登録されていません。

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録します

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証サーバーの証明書は期限切れです。

RADIUS サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

RADIUS サーバーの有効期限を確認します

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証に必要な情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証パスワードを変更してください。

パスワードの有効期限が切れています。

新しいパスワードを設定します

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

IEEE 802.1X 認証ができませんでした。認証方式の設定を確認してください。

本機で設定されている認証方式と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

RADIUS サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

ITB の寿命が近づいています。(継続プリント可)

本機内部の転写ベルト（ITB）の交換時期が近づいています。
継続して使用することは可能ですが、お早めに販売店または担当サービスにお問い合わせください。**トラブルが解決しないときは(P. 788)**

PC が制限されています。

部門別 ID 管理により、パソコンにスキャンデータを保存できないように制限されています。

制限を解除するには、［部門別 ID 管理］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ ［編集］ ▶ ［ID 不定スキャンジョブを許可する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。**［部門別 ID 管理］(P. 613)**

PC でかんたん接続を開始できませんでした。再起動します。

何らかのエラーが発生したため、アクセスポイントモードで接続できませんでした。または、ケーブルレスセットアップモード開始中にエラーが発生しました。

本機を再起動したあと、ケーブルレスセットアップモードを開始しなおします
管理者権限が必要です。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［メニュー］ ▶ ［環境設定］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［PC でかんたん接続］ ▶ ［はい］ ▶ パソコンで設定を開始

USB メモリーが制限されています。

スキャンした原稿が USB メモリーに保存できないように制限されています。

制限を解除するには、［メモリーメディア設定］の設定を変更します
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ファイル保存/利用設定］ ▶ ［メモリーメディア設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［メモリーメディアに保存する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］ ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［メモリーメディア設定］(P. 600)**

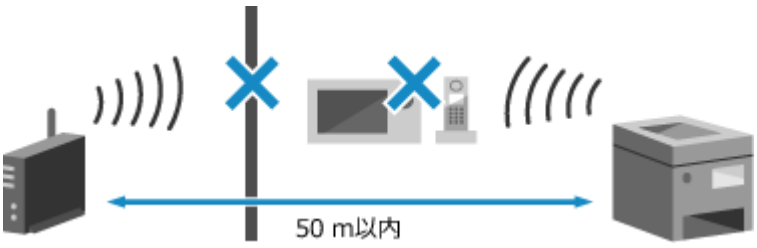
Wi-Fi 通信できませんでした。主電源を OFF / ON した後、再度設定してください。

何らかのエラーが発生したため、無線 LAN に接続できませんでした。

本機を再起動したあと、無線 LAN 接続を設定しなおします
無線 LAN に接続する(P. 68)

本機と無線 LAN ルーター（アクセスポイント）の設置場所は適切ですか？

- 本機と無線 LAN ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



無線 LAN ルーターのセキュリティー設定を確認します
詳しくは、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

WPS 接続できませんでした。しばらく待ってから再度設定してください。

何らかのエラーが発生したため、WPS 接続できませんでした。

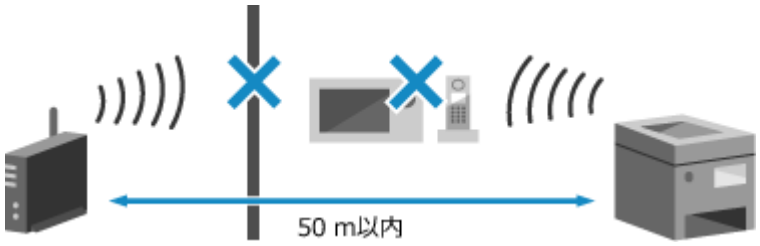
しばらく待ってから、設定しなおします

それでも設定できない場合は、無線 LAN ルーター（アクセスポイント）が WPS に対応しているかどうかを確認します。

WPS に対応している場合

本機と無線 LAN ルーターの設置場所が適切かどうかを確認します。

- 本機と無線 LAN ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



WPS に対応していない場合

他の接続方式で設定します。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

アクセスポイントが見つかりません。

何らかのエラーが発生したため、本機から無線 LAN ルーター（アクセスポイント）を検出できません。

所定の時間内に接続していますか？

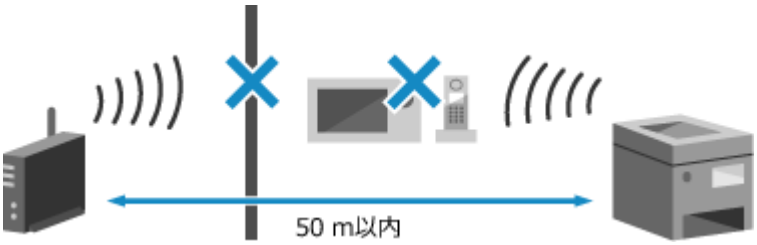
無線 LAN ルーターのボタン操作で接続する場合、本機の操作パネルで接続方式を設定したあと、2 分以内に、無線 LAN ルーターのボタンを押します。 **ルーターのボタン操作で無線 LAN に接続する - プッシュボタン方式(P. 70)**

SSID／ネットワークキーは正しく設定されていますか？

無線 LAN ルーターを手動で入力している場合は、無線 LAN ルーターの SSID／ネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。 **詳細を設定して無線 LAN に接続する - 手動入力方式(P. 75)**

本機と無線 LAN ルーターの設置場所は適切ですか？

- 本機と無線 LAN ルーターは、壁などの障害物のない場所で、50 m 以内の距離に設置します。
- 電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器を、近くに置かないようにします。



無線 LAN ルーターのセキュリティー設定を確認します

詳しくは、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

アクセスポイントの接続数が最大に達しているため接続できませんでした。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）に同時接続できる機器の最大数を超えたため、接続できませんでした。

無線 LAN ルーターに接続している機器（クライアント）の数を減らします

最大接続数については、無線 LAN ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

オンフック中はグループ宛先を指定できません。

ファクス送信時に［オンフック］を押すと、グループの宛先は指定できません。
［オンフック］を押さずに宛先を指定します。

カートリッジ残量少

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。

新しいトナーカートリッジを用意して、必要に応じて交換します

大量にプリントする場合は、［カートリッジの交換手順を表示］を押して、表示される手順に従ってトナーカートリッジを交換することをおすすめします。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 655)**

プリントを継続するには、以下の操作をします

ファクス／I ファクス／自動レポートの場合

以下の場合は、不鮮明なプリントを防ぐため、プリントされずにメモリーに保存されます。

- ファクス／I ファクス受信中
- 通信結果のレポートを自動的にプリントするように設定されている（ブラックのトナーカートリッジに対してメッセージが表示された場合）

プリントを継続するには、［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］を有効にします。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］ または ［受信設定］ ▶ ［共通設定］ ▶ ［共通設定］ の ［編集］ ▶ ［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］ にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［ファンクション設定］から設定します。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ 残量少時印字継続］(P. 593)**

※この設定を有効にすると、プリント結果が薄くなったりかすれたりすることがあります。

MEMO

- このメッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定できます。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ 準備お知らせ表示］(P. 503)**

カートリッジ寿命

トナーカートリッジが寿命に達しています。

新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします

［カートリッジの交換手順を表示］を押して、表示される手順に従ってトナーカートリッジを交換します。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 655)**

カートリッジ通信エラー。他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。

トナーカートリッジが正しくセットされていない、故障している、キヤノン純正トナーカートリッジを使用していないなどの原因で、通信エラーが発生しています。

トナーカートリッジをセットしなおします

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**
- 何度かセットしなおしてもメッセージが引き続き表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

カートリッジ通信エラー。他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。

トナーカートリッジが正しくセットされていない、故障している、プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているなどの原因で、プリントできません。

トナーカートリッジをセットしなおすか、新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

- 最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**
- 何度かセットしなおしてもメッセージが表示される場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。 **トラブルが解決しないときは(P. 788)**

ｶｰﾄﾘｯｼﾞを準備してください。

トナーカートリッジの交換時期が近づいています。

新しいトナーカートリッジを用意して、必要に応じて交換します

大量にプリントする場合は、トナーカートリッジを交換することをおすすめします。 **トナーカートリッジの交換方法(P. 655)**

プリントを継続するには、以下の操作をします

ファクス／I ファクス／自動レポートの場合

以下の場合は、不鮮明なプリントを防ぐため、プリントされずにメモリーに保存されます。

- ファクス／I ファクス受信中
- 通信結果のレポートを自動的にプリントするように設定されている（ブラックのトナーカートリッジに対してメッセージが表示された場合）

プリントを継続するには、［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］を有効にします。

リモート UI にログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［受信/転送設定］または［受信設定］ ▶ ［共通設定］ ▶ ［共通設定］の［編集］ ▶ ［カートリッジの残量が少でも印字を継続する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ残量少時印字継続］(P. 593)**

※この設定を有効にすると、プリント結果が薄くなったりかすれたりすることがあります。



- このメッセージが表示されるタイミング（トナーカートリッジの残量）を手動で指定できます。 **［ｶｰﾄﾘｯｼﾞ準備お知らせ表示］(P. 503)**

カラーコピーが制限されています。白黒コピーのみできます。

部門別 ID 管理により、カラーコピーできないように制限されています。

カラーコピーが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［カラーコピーを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

カラープリントが制限されています。白黒プリントのみできます。

部門別 ID 管理により、カラープリントできないように制限されています。

カラープリントが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［カラープリントを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

給紙サイズと設定サイズが不一致

本機にセットされている用紙のサイズと、操作パネルまたはプリンタードライバーで設定されている用紙サイズが一致していません。

セットされている用紙のサイズと、用紙サイズの設定を一致させます

セットされている用紙を使用する場合

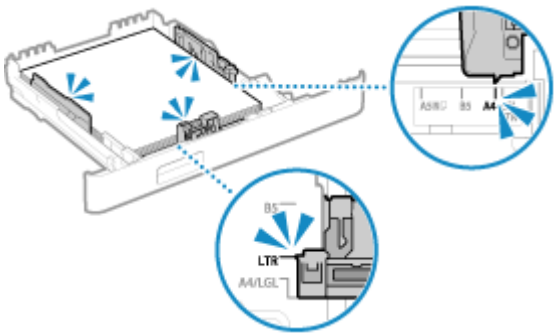
- セットされている用紙のサイズに合わせて、操作パネルで用紙サイズの設定を変更します。
  給紙カセットの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 162)
  手差しトレイの用紙サイズと用紙種類を設定する(P. 164)
- パソコンからプリントするときは、セットされている用紙のサイズに合わせて、プリンタードライバーで用紙サイズの設定を変更します。 **パソコンからプリントする(P. 223)**

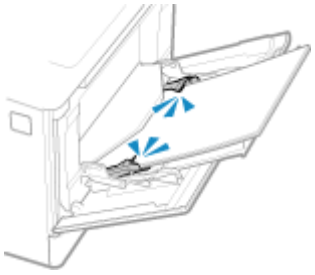
用紙をセットしなおす場合

操作パネルまたはプリンタードライバーで設定するサイズの用紙をセットします。 **用紙のセット方法(P. 145)**

用紙ガイドが指標に合っていること、ゆるすぎたりきつすぎたりしないことを確認します

給紙カセット　　**手差しトレイ**





クリーニングできませんでした。

適切な用紙がセットされていない、紙づまりが起きたなどの原因のため、清掃できませんでした。

給紙カセットに、適切な用紙をセットします

クリーニング実行時に操作パネルの画面に表示される指示に従って、使用できる用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**

用紙がつまっていませんか？

用紙がつまっている場合は、用紙を取り除きます。 **紙がつまった(P. 681)**

グループに登録されている宛先は宛先の種類を変更できません。

選択した宛先はグループに登録されているため、宛先の種類を変更できません。

一度グループから宛先を削除し、宛先の種類を変更したあと、グループに登録しなおします

1 グループから宛先を削除する

リモート UI で削除する

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［アドレス帳］ ▶ ［ベストメンバー］ または ［短縮ダイヤル］ ▶ 宛先が登録されているグループを選択 ▶ ［編集］ ▶ 宛先を選択 ▶ ［削除］ ▶ ［OK］

操作パネルで削除する

操作パネルの ［ホーム］ 画面 ▶ ［アドレス帳］ ▶ 宛先が登録されているグループを選択 ▶ ［編集］ ▶ ［宛先］ ▶ 宛先を選択 ▶ ［削除］ ▶ ［はい］ ▶ ［確定］ ▶ ［確定］

2 宛先の種類を変更する

アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

アドレス帳の宛先を編集／削除する - 操作パネル(P. 179)

3 グループに宛先を登録しなおす

アドレス帳にグループを登録する - リモート UI(P. 184)

アドレス帳にグループを登録する - 操作パネル(P. 177)

この設定は使用できません。指定された設定の宛先が送信制限されています。

部門別 ID 管理により、指定した「よく使う設定」に登録されている宛先に、送信／保存できないように制限されています。

送信／保存機能が制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［スキャンを制限する］と［ファクスを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

コピーが制限されています。

部門別 ID 管理により、コピーできないように制限されています。

コピーが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［カラーコピーを制限する］と［白黒コピーを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

受信データをプリントできません。

何らかの原因により、受信データをプリントできません。

操作パネルの画面に、原因や対処方法が表示されていますか？

表示されている場合は、その内容に従って対応します。

本機の前カバー／後ろカバー／フィーダーカバーが開いていませんか？

開いている場合は、カバーを閉めます。

用紙はセットされていますか？

用紙がセットされていない場合は、用紙をセットします。 **用紙のセット方法(P. 145)**

用紙がつまっていませんか？

用紙がつまっている場合は、用紙を取り除きます。 **紙がつまった(P. 681)**

トナーカートリッジが寿命に近づいていませんか？

トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

証明書の検証時にエラーが発生しました。

証明書の有効期限が切れているか、情報が正しくないため、検証時にエラーが発生しました。

正しい鍵と証明書／CA 証明書をインストールします

有効期限や発行者などを確認し、鍵と証明書／CA 証明書をインストールします。 **発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)**

本機の現在日時は正しいですか ？

本機の日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。 **日付／時刻を設定する(P. 463)**

白黒コピーが制限されています。カラーコピーのみできます。

部門別 ID 管理により、白黒コピーできないように制限されています。

白黒コピーが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［白黒コピーを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

白黒プリントが制限されています。カラープリントのみできます。

部門別 ID 管理により、白黒プリントできないように制限されています。

白黒プリントが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［白黒プリントを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

新規宛先の指定と登録が制限されています。

送信時に指定できる宛先が、アドレス帳に登録されている宛先のみに制限されています。

制限を解除するには、［新規宛先の制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［新規宛先の制限］ ▶ ［編集］ ▶ ［新規宛先を制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［新規宛先の制限］(P. 577)**

スキャンが制限されています。

部門別 ID 管理により、スキャンできないように制限されています。

スキャンが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［スキャンを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

接続できませんでした。

何らかのエラーが発生したため、ダイレクト接続で接続できませんでした。

しばらく待ってから、接続しなおします
それでも接続できない場合は、本機を再起動します。

接続用の IP アドレスを「192.168.22.xx」以外に設定します
設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [ダイレクト接続設定] ▶ [編集] ▶ [ダイレクト接続時の IP アドレス] に IP アドレスを入力 ▶ [OK] ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から設定します。 **[ダイレクト接続設定] (P. 508)**

サブネットマスクは正しく設定されていますか？
IPv4 のサブネットマスクの設定を確認します。正しく設定されていない場合は、設定を変更します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機の IP アドレスを確認する(P. 101)
IPv4 アドレスを設定する(P. 77)

接続できませんでした。暗号化キーを確認してください。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のネットワークキー（暗号化キー）が、本機に正しく設定されていないため、接続できませんでした。

ネットワークキーを設定しなおします
無線 LAN ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

タイムアウトしました。PC でかんたん接続を終了して再起動します。

パソコンに接続できないまま、ケーブルレスセットアップモードの開始から 30 分経過しました。

本機を再起動したあと、ケーブルレスセットアップモードを開始しなおします
管理者権限が必要です。

操作パネルの [ホーム] 画面 ▶ [メニュー] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [PC でかんたん接続] ▶ [はい] ▶ パソコンで設定を開始

ダイレクト接続が切断されました。

モバイル機器との接続が切断されました。

ダイレクト接続をしなおします
モバイル機器から直接接続する - ダイレクト接続(P. 365)

他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。カートリッジ残量を正しく表示できません。

プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているため、残量が正しく表示されません。

新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**

他社カートリッジまたは偽造品がセットされている可能性があるためプリントできません。

プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされているため、プリントできません。

新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**

正しい認証情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

通信先から応答がありませんでした。

LAN ケーブルが抜けているか、スイッチで問題が発生している可能性あります。
LAN ケーブルとスイッチの状況を確認します。

入力文字数が間違っているか不正な文字が入力されています。

無線 LAN ルーター（アクセスポイント）のネットワークキーが、本機に正しく設定されていません。

ネットワークキーを設定しなおします

無線 LAN ルーターのネットワークキーを確認し、本機に正しく設定します。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

認識できない画像です。

メディアプリントで、プレビュー表示ができない画像を選択しました。

本機のメモリー内に十分な空き容量がありますか？

- 十分な空き容量がない場合などは、JPEG や TIFF 形式の画像でもプレビューを表示できません。

- メモリー受信したファクスを確認し、必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。
  ▶メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)

認証サーバーの証明書が解析できません。

認証サーバーの証明書が正しくないか、本機がサポートしていないフォーマットの可能性があります。

認証サーバーの証明書を確認し、必要に応じて設定を変更します
▶IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

認証サーバーの証明書が信頼できません。

認証サーバーの証明書に対応する CA 証明書が本機に登録されていません。

認証サーバーの証明書の情報を確認し、対応する CA 証明書を登録します
▶IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
▶発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)

認証サーバーの証明書は期限切れです。

RADIUS サーバーから送信されたサーバー証明書の有効期限が切れています。

RADIUS サーバーの有効期限を確認します
▶IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

認証に必要な情報を設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

認証方式と認証情報（鍵と証明書／ユーザー名／パスワード／CA 証明書）を正しく設定しなおします
▶IEEE 802.1X を設定する(P. 410)
▶鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

認証に必要な情報をリモート UI から設定してください。

IEEE 802.1X の認証方式や認証情報が正しく設定されていません。

IEEE 802.1X 設定の設定内容を確認し、正しく設定しなおします
以下を確認し、必要に応じて設定を変更します。 **▶IEEE 802.1X を設定する(P. 410)**

- ログイン名が正しく設定されている
- ［TLS を使用する］／［TTLS を使用する］／［PEAP を使用する］の 1 つ以上にチェックマークが付いている
- TLS を使用する場合は、鍵と証明書が登録されている
- TTLS/PEAP を使用する場合は、ユーザー名とパスワードが正しく設定されている

認証パスワードを変更してください。

パスワードの有効期限が切れています。

新しいパスワードを設定します

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

認証方式の設定を確認してください。

本機で設定されている認証方式と RADIUS サーバーで設定されている認証方式が一致していません。

RADIUS サーバーで設定されている認証方式を確認し、正しく設定しなおします

IEEE 802.1X を設定する(P. 410)

ファクスが制限されています。

部門別 ID 管理により、ファクスできないように制限されています。

ファクスが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［ファクスを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 ［部門別 ID 管理］(P. 613)

ファクス番号の桁数が多すぎます。

指定したファクス番号の桁数が多すぎるため、送信できません。

送信可能な最大ダイヤル桁数を超えない番号を指定します。

アドレス帳に登録されている宛先を指定する前に、特定の番号を入力してからファクス送信できるように設定されていると、送信可能な最大ダイヤル桁数を超えることがあります。 ［ｵﾝﾌｯｸ時のｱﾄﾞﾚｽ帳の使用］(P. 590)

ファクスを受信できません。相手から正しくファクスが送信されているか確認してください。

手動受信時に所定の時間内に操作をしなかったため、タイムアウトしました。

ファクス受信時に「ピー」という音が聞こえたら、35 秒以内に［受信ｽﾀｰﾄ］を押します

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［受信スタート］

フォルダーやファイルにアクセスできません。しばらくたってからもう一度実行するか、リモート UI から設定を確認してください。

フォルダーへのアクセス権がないか、アクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

フォルダーへのパスを設定しなおします

- アクセス制限が設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを設定しなおします。
- リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして共有フォルダーの情報を設定しなおします。 アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

複数の宛先が指定されているため送信できません。

複数の宛先にファクスを送信できないように制限されています。

制限を解除するには、［同報送信の制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［同報送信の制限］で［OFF］を選択 ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［同報送信の制限］(P. 590)**

複数の宛先、またはグループ宛先は指定できません。

受話器を外しているときは、複数の宛先またはグループの宛先を指定できません。
受話器を置いてから宛先を指定します。

プリントが制限されています。

部門別 ID 管理により、プリントできないように制限されています。

プリントが制限されていない部門 ID でログインします

部門 ID と暗証番号については、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、使用する部門 ID の［ファンクション制限］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ 編集する部門 ID を選択 ▶ ［カラープリントを制限する］と［白黒プリントを制限する］のチェックマークを外す ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

ホストから応答がありませんでした。

本機がネットワークに正しく接続されていません。

本機とネットワークの設定を確認し、接続しなおします

無線 LAN で接続している場合

使用環境に合わせて、正しく設定しなおします。 **無線 LAN に接続する(P. 68)**

有線 LAN で接続する場合

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。 **有線 LAN に接続する(P. 67)**

補正できませんでした。

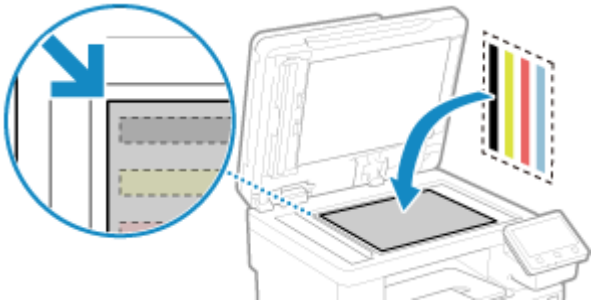
適切な用紙がセットされていない、紙づまりが起きたなどの原因のため、補正できませんでした。

給紙カセットに、適切な用紙をセットします

補正中に操作パネルの画面に表示される指示に従って、使用できる用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**

原稿台ガラスに、補正画像がプリントされた用紙を正しくセットします

補正画像のプリント面を下にして、黒の帯を奥側にしてセットします。



用紙がつまっていませんか？

用紙がつまっている場合は、用紙を取り除きます。 **紙がつまった(P. 681)**

トナーカートリッジの残量を確認します

補正を行うには十分なトナーカートリッジ残量が必要です。トナーカートリッジの残量を確認し、残量が少ないトナーカートリッジを交換します。

消耗品の残量を確認する(P. 660)
トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

本機指定以外のトナーカートリッジがセットされています。このトナーカートリッジではカラープリント機能は使用できません。

プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされています。

新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**

本機指定以外のトナーカートリッジがセットされています。このトナーカートリッジではプリント機能は使用できません。

プリント品質を保証できないトナーカートリッジがセットされています。

新しいトナーカートリッジに交換します

トナーカートリッジの交換方法(P. 655)

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。 **消耗品一覧(P. 661)**

無線機器からの接続を検知できませんでした。

何らかのエラーが発生したため、本機からモバイル機器を検出できません。

所定の時間内に接続していますか？

SSID とネットワークキーを表示してから 5 分以内に、モバイル機器を本機に接続します。

メディアプリントが制限されています。

USB メモリー内のファイルがプリントできないように制限されています。

制限を解除するには、［メモリーメディア設定］の設定を変更します

設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ファイル保存/利用設定］ ▶ ［メモリーメディア設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［メモリーメディアプリントする］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］ ▶ 本機を再起動

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［メモリーメディア設定］(P. 600)**

メモリーがいっぱいです。

メモリー内に十分な空き容量がないため、スキャンやファクス送信などができません。プリント待ちや送信待ちのデータがある場合は、処理が終了するまで待ちます。

メモリー受信したファクスを確認します

必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。 **メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)**

スキャンする場合は、データサイズが小さいファイル形式に変更します

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［スキャン］ ▶ スキャンの種類を選択 ▶ ［送信設定］タブ*1 ▶ ［ファイル形式］ ▶ ファイル形式を選択

*1 USB メモリーに保存する場合、この手順は不要です。

ファイル形式の詳細については、以下を参照してください。

ファイル／分割の設定(P. 286)

USB メモリーにスキャンデータを保存する場合は、USB メモリー内の不要なファイルを削除するか、別の USB メモリーを使用します

USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)

ファクス送信する場合は、原稿を分割したり、解像度を下げたりします

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［送受信設定］タブ ▶ ［解像度］ ▶ 解像度を選択

メモリーがいっぱいです。原稿の種類を再設定してください。

コピー中にメモリー内の空き容量がなくなったため、原稿をスキャンできません。

コピーするには、［原稿の種類］の設定を変更します

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［コピー］ ▶ ［その他の設定］ ▶ ［原稿の種類］ ▶ ［文字/写真/地図 (高速コピー)］

メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。プリントしますか?

メモリー内に十分な空き容量がないため、原稿を読み込めません。または、ソートしてコピーをするときに、すべてのページを読み込めませんでした。

原稿を分けてコピーします

読み込まれたページまでプリントするか、ジョブをキャンセルするか選択したあと、必要な原稿を分けてコピーします。

以下の設定を試します

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［コピー］ ▶ ［その他の設定］ ▶ ［原稿の種類］ ▶ ［文字/写真/地図 (高速コピー)］

メモリーフル (エラースキップ) 。

エラーが発生してプリントできないデータにより、メモリー容量がいっぱいになりました。

エラーが発生したデータのプリントを中止するか、［状況確認］画面で［エラースキップ］を押します

操作パネル／リモート UI からプリントを中止する(P. 244)
プリント状況や履歴を確認する(P. 246)

メモリーフル (セキュアプリント) 。

プリントしていないセキュアプリントのデータにより、メモリー容量がいっぱいになりました。

メモリーに保存されているセキュアプリントのデータをプリントします

プリント方法については、セキュアプリント機能を利用するときの手順を参照してください。**Step 2：暗証番号／パスワードを入力してセキュアデータをプリントする(P. 230)**

用紙がつまりました。

プリント中に、本機に用紙がつまりました。

つまった用紙を取り除き、プリントが自動的に再開されない場合はプリントしなおします

紙がつまった(P. 681)

用紙を補給してください。

適切な用紙がセットされていません。

給紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていますか？

用紙がセットされていない場合は、用紙をセットします。**用紙のセット方法(P. 145)**

レポート／リスト／受信データをプリントする際に、適切な用紙を使用していますか？

- 使用できる用紙を確認し、用途に合った用紙に交換します。
  使用可能な用紙(P. 24)
  用紙のセット方法(P. 145)
- セットした用紙に合わせて、用紙サイズと用紙種類を正しく設定します。**用紙サイズと用紙種類の設定(P. 161)**

リモートスキャナーが制限されています。

部門別 ID 管理により、パソコンからスキャンできないように制限されています。

制限を解除するには、［部門別 ID 管理］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ ［編集］ ▶ ［ID 不定スキャンジョブを許可する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］▶［管理設定］から変更します。**［部門別 ID 管理］(P. 613)**

エラーコードが表示された

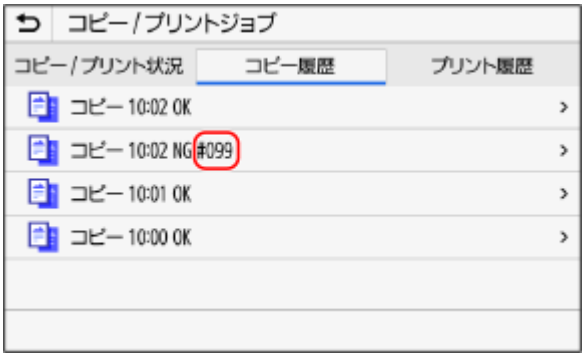
AU03-0JC

プリントできなかった場合や、スキャン／ファクスを送受信できなかった場合など、何らかのエラーが起こると、レポートやジョブ履歴にエラーコード（「#」で始まる３桁の番号）が表示されます。

レポートの場合



ジョブ履歴の場合



以下の一覧からエラーコードを選択して、対処方法を確認します。

#001～#099

#001(P. 776)　#003(P. 777)　#005(P. 777)　#012(P. 777)　#018(P. 777)　#022(P. 778)　#037(P. 778)　#099(P. 779)

#401～#499

#401(P. 779)　#406(P. 779)　#408(P. 779)

#701～#799

#701(P. 779)　#703(P. 780)　#751(P. 780)　#752(P. 780)　#753(P. 780)　#755(P. 781)　#766(P. 781)

#801～#899

#801(P. 781)　#802(P. 782)　#804(P. 782)　#806(P. 782)　#808(P. 782)　#809(P. 783)　#810(P. 783)　#813(P. 783)　#816(P. 783)　#818(P. 783)　#819(P. 783)　#820(P. 783)　#821(P. 784)　#822(P. 784)　#827(P. 784)　#829(P. 784)　#839(P. 784)　#841(P. 784)　#844(P. 785)　#846(P. 785)　#852(P. 785)　#853(P. 785)　#861(P. 786)　#863(P. 786)

#901～#999

#934(P. 786)　#995(P. 787)

MEMO

- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。**トラブルが解決しないときは(P. 788)**

#001

フィーダーに原稿がつまっています。

つまった原稿を取り除きます

フィーダーに原稿がつまった(P. 688)

#003

データ量が大きいため、ファクスを送受信できませんでした。

原稿を分割したり、解像度を下げたりします

送信できない場合

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［送受信設定］タブ ▶ ［解像度］ ▶ 解像度を選択

受信できない場合

相手に連絡し、原稿を分割したり、解像度を下げたりして、送信しなおしてもらいます。

#005

制限時間内に相手機の応答がありませんでした。

海外の宛先を指定していますか？
該当する場合は、宛先にうまくつながらなかった可能性があります。国際アクセス番号や国番号のあとに待ち時間（ポーズ）を入れたり、通信開始速度を下げたりしてから送信します。 海外へファクスを送信できない(P. 747)

相手機はファクスを受信できる状態ですか？
相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

#012

相手機の用紙（記録紙）がなくなりました。
相手に連絡し、用紙を補給してもらいます。

#018

通話中などで相手機から応答がありませんでした。

海外の宛先を指定していますか？
該当する場合は、宛先にうまくつながらなかった可能性があります。国際アクセス番号や国番号のあとに待ち時間（ポーズ）を入れたり、通信開始速度を下げたりしてから送信します。 海外へファクスを送信できない(P. 747)

相手機はファクスを受信できる状態ですか？
相手機の電源が入っていないか、受信モードが正しく設定されていない可能性があります。相手に確認してもらいます。

#022

パソコンからファクス送信できないように制限されています。または、ファクスを転送する場合に指定した宛先が、アドレス帳から削除されている可能性があります。

パソコンからのファクス送信の制限を解除するには、［ファクス送信設定］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［送信設定］ ▶ ［ファクス送信設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［ファクスドライバーからの送信を許可する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から変更します。 **［ﾌｧｸｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰから送信許可］(P. 589)**

転送先をアドレス帳に登録しなおします

アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)

転送できなかったファクスがメモリーに保存されているかどうかを確認します

メモリーに保存されている場合は、転送しなおすことができます。 **転送できなかったファクスを確認する(P. 322)**

#037

メモリー内に十分な空き容量がないか、一度に送信できる宛先の件数を超えたため、ファクスを送信できませんでした。または、ファイルサイズが大きすぎるため、プリントできませんでした。
プリント待ちやファクス送信待ちのデータがある場合は、処理が終了するまで待ちます。

本機のメモリーに保存されている受信データを確認します

必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なデータを削除します。

メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)
転送できなかったファクスを確認する(P. 322)

ファクス送信する場合は、原稿を分割したり、解像度を下げたりします

- ページ数の多い原稿を送信する場合は、原稿を分割して送信します。
- 原稿をスキャンするときの解像度を、設定していた解像度よりも低い解像度に変更します。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ファクス］ ▶ ［送受信設定］タブ ▶ ［解像度］ ▶ 解像度を選択

Windows からファクス送信する場合に、複数の宛先へファクスを送信しますか？

一度に指定できる宛先の最大数を超えたため、送信できない可能性があります。
以下の手順でファクスドライバーの設定を変更して、一度に指定できる宛先の最大数を拡張します。

1. パソコンに管理者のアカウントでログオンする
2. ［  ］（スタート） ▶ ［  ］（設定） ▶ ［Bluetooth とデバイス］ ▶ ［プリンターとスキャナー］をクリックする
   ➡ ［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。
3. 本機のファクスドライバー ▶ ［プリンターのプロパティ］をクリックする
   ➡ ファクスドライバーのプロパティ画面が表示されます。
4. ［デバイスの設定］タブで、［一度に指定できる宛先数を 2000 件にする］にチェックマークを付ける
5. ［OK］をクリックする

プリントする場合は、ファイルサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりします

ファイルを最適化してサイズを小さくしたり、ファイルを分割したりしてからプリントしなおします。

#099

ジョブを中止する操作が行われました。
異常ではありません。必要に応じて、操作しなおします。

#401

USB メモリー内に十分な空き容量がありません。

USB メモリー内の不要なファイルを削除するか、別の USB メモリーを使用します
USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)

#406

USB メモリー保存時にエラーが発生しました。

USB メモリーが抜けていませんか？
USB の向きを確認し、正しく差し込みます。 **USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)**

原稿を分割します
ページ数の多い原稿を保存する場合は、原稿を分割して保存します。

#408

USB メモリーが抜けているか、サポート外の形式でフォーマットされている USB メモリーが使用されています。

USB メモリーが抜けていませんか？
USB の向きを確認し、正しく差し込みます。 **USB メモリーを差し込む／取り外す(P. 194)**

USB メモリーは、本機がサポートしている形式でフォーマットされていますか？
ファイルシステム（対応フォーマット）が FAT16 および FAT32 の USB メモリーを使用できます。

#701

部門 ID や暗証番号が正しく入力されなかったため、認証できませんでした。または、部門別 ID 管理で制限されている操作を、部門 ID を入力せずに続けしようとしました。

正しい部門 ID と暗証番号を入力します
部門 ID と暗証番号がわからない場合は、管理者にお問い合わせください。

制限を解除するには、［部門別 ID 管理］の設定を変更します

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［ユーザー管理］ ▶ ［部門別 ID 管理］ ▶ ［編集］ ▶ ［ID 不定プリントジョブを許可する］／［ID 不定スキャンジョブを許可する］／［白黒コピージョブを許可する］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］

操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［管理設定］から変更します。 **［部門別 ID 管理］(P. 613)**

#703

メモリー内に十分な空き容量がありません。

他に送信中のデータはありますか？
該当する場合は、送信が終了したあと、送信しなおします。

ページ数の多い原稿を送信しましたか？
該当する場合は、原稿を分割して送信します。

メモリー受信したファクスを確認します
必要に応じてプリントまたは転送してから、不要なファクスを削除します。 **メモリー受信したファクスを確認／プリントする(P. 441)**

本機を再起動したあと、送信／保存しなおします
再起動する(P. 116)

#751

保存先に接続できないか、途中で断線したためネットワークに接続できませんでした。

保存先を確認します
FTP サーバーが立ち上がっているかどうかを確認します。

ネットワークの接続状況や設定を確認します
本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)
ネットワークの設定(P. 64)

#752

SMTP/POP3 サーバー名が正しく設定されていないか、本機がネットワークに正しく接続されていません。

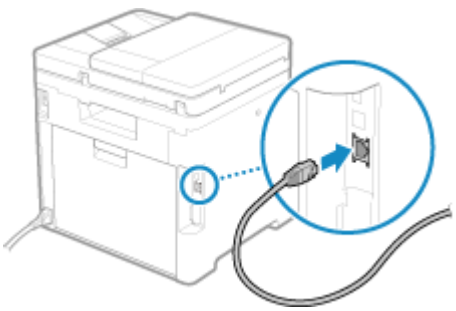
SMTP/POP3 サーバー名を設定しなおします
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

ネットワークの接続状況や設定を確認します
本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)
ネットワークの設定(P. 64)

#753

LAN ケーブルが抜けているためネットワークに接続できませんでした。

LAN ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します



#755

TCP/IP が正しく設定されていないか、通信開始までの待機時間が設定されているため、ネットワークに接続できませんでした。

ネットワークの接続状況や設定を確認します

本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。

ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)

ネットワークの設定(P. 64)

通信開始までの待機時間は設定されていますか？

待機時間が設定されているかどうかを確認します。

リモート UI に管理者モードでログイン ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク設定] ▶ [起動時の接続待機時間設定]

操作パネルでは、[ホーム] 画面の [メニュー] ▶ [環境設定] から確認します。 **[起動時の接続待機時間](P. 511)**

- 待機時間が設定されている場合は、本機の電源を入れてもすぐに通信できません。待機時間が経過したあと、送信します。
- 待機時間を変更するには、上記の [起動時の接続待機時間設定] 画面で [編集] をクリックし、待機時間を入力して [OK] をクリックします。

#766

証明書の有効期限が切れています。

証明書を更新するか、有効期限が切れていない証明書を使用します

鍵と証明書を管理／検証する(P. 412)

本機の現在日時は正しいですか？

日付／時刻の設定を確認します。正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。 **日付／時刻を設定する(P. 463)**

#801

SMTP サーバーに接続できないか、SMTP サーバーや共有フォルダーの情報が正しく設定されていません。

ネットワークの接続状況や設定を確認します

本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。

ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)

ネットワークの設定(P. 64)

SMTP サーバーや共有フォルダーの情報を正しく設定しなおします

メール／I ファクス送信する場合

SMTP サーバーの情報を設定しなおします。 **メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)**

共有フォルダーに保存する場合

リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして共有フォルダーの情報を設定しなおします。 **アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

メール／I ファクス送信する場合は、SMTP サーバーの状態を確認します

- SMTP サーバーからエラーメッセージが届いている場合は、内容を確認して対応します。

- SMTP サーバーがネットワークで正常に動作しているかどうかを確認します。SMTP サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

共有フォルダーに保存する場合は、共有フォルダーとパソコンの状態を確認します
共有フォルダーと、共有フォルダーのあるパソコンのどちらもが、正常に動作しているかどうかを確認します。

#802

SMTP/POP3/FTP サーバー名が正しく設定されていません。

メール送信や I ファクス送受信する場合は、SMTP/POP3 サーバー名を設定しなおします
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

FTP サーバーに保存する場合は、FTP サーバーの名前を設定しなおします
リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして設定しなおします。**アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

#804

共有フォルダー／FTP サーバーへのアクセス権がないか、宛先が正しく設定されていません。

送信ユーザー（宛先に登録したユーザー名）に、保存先フォルダーへの書き込み権限がありますか？
権限がない場合は、送信ユーザーに保存先フォルダーへの書き込み権限を設定します。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

共有フォルダー／FTP サーバーへのパスを設定しなおします
リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして設定しなおします。**アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

#806

共有フォルダー／FTP サーバーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。または、メール／I ファクスの宛先が正しく設定されていません。

共有フォルダー／FTP サーバーに保存する場合は、サーバーへのアクセスに使用するユーザー名とパスワードを正しく設定しなおします
リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして設定しなおします。**アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

メール／I ファクスを送信する場合は、正しいメールアドレスを指定して送信しなおします
アドレス帳の宛先を使用した場合は、アドレス帳に登録されているメールアドレスが正しいかどうかを確認します。
宛先の登録 - アドレス帳(P. 171)

#808

FTP サーバーで、エラーやタイムアウトが発生しました。

FTP サーバーの情報を正しく設定しなおします
リモート UI を使用してアドレス帳を表示し、該当の宛先をクリックして設定しなおします。**アドレス帳に宛先を登録する - リモート UI(P. 180)**

#809

FTP サーバー／SMB サーバーに同名のファイルがあったため、保存できませんでした。
該当するファイルを削除してから、スキャンしなおします。

#810

POP3 サーバーに接続できないか、POP3 サーバーの情報が正しく設定されていません。

ネットワークの接続状況や設定を確認します
本機がネットワークに接続できていない場合は、ネットワーク設定をしなおします。
ネットワークの接続状況や設定を確認する(P. 100)
ネットワークの設定(P. 64)

POP3 サーバーの情報を正しく設定しなおします
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

POP3 サーバーの状態を確認します
POP3 サーバーがネットワークで正常に動作しているかどうかを確認します。POP3 サーバーの状態については、プロバイダーにお問い合わせください。

#813

POP3 サーバーの認証で使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

ユーザー名とパスワードを正しく設定しなおします
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

#816

部門に設定されているプリントページ数制限の上限に達しました。

使用状況を確認し、カウントをゼロに戻します
部門 ID ごとの使用状況を確認する(P. 393)

#818

受信したデータは、プリントできないファイル形式でした。
相手に連絡し、ファイル形式を変更して送信しなおしてもらいます。

#819

受信したデータは MIME 情報が不正のため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#820

受信したデータは BASE64 または uuencode が不正のため、扱うことができませんでした。

相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#821

受信したデータに TIFF 解析エラーが発生したため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#822

サポートしていないファイル形式のため、プリントできませんでした。

サポートしているファイル形式で保存しなおします

USB メモリーからプリントできるファイル形式は、以下のとおりです。

- JPEG（DCF／Exif2.21 以下／JFIF）
- TIFF（JPEG／MH／MR／MMR 圧縮）
- PDF

#827

受信したデータにはサポート外の MIME 情報が含まれているため、扱うことができませんでした。
相手に連絡し、設定を確認して送信しなおしてもらいます。

#829

最大受信可能サイズを超えるデータを受信しました。

相手に連絡し、データを確認して送信しなおしてもらいます

ファクス受信の場合

1,000 ページ目以降のページを削除して、999 ページ目までをプリントまたはメモリー受信します。1,000 ページ目以降のページは送信しなおしてもらいます。

I ファクス受信の場合

メールのサイズが 24 MB を超える場合は受信できません。メールのサイズを 24 MB 以下にして送信しなおしてもらいます。

#839

SMTP 認証で使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されていません。

ユーザー名とパスワードを正しく設定しなおします

メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

#841

SMTP サーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、SMTP サーバーと共通の暗号化アルゴリズムが存在しないため、暗号化通信できませんでした。または、証明書の検証エラーが発生しました。

SMTP サーバーが対応しているアルゴリズムと、本機が対応しているアルゴリズムを確認します

- SMTP サーバーが対応しているアルゴリズムについては、プロバイダーにお問い合わせください。
- 本機が対応しているアルゴリズムについては、以下を参照してください。
  鍵と証明書(P. 41)

適切な CA 証明書が登録されていますか？
SMTP サーバーの認証に使用する CA 証明書が、本機に登録されていることを確認します。 **発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)**

SMTP サーバーのサーバー証明書を確認します
サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認します。

SMTP サーバーとの通信を暗号化しないように設定します
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

#844

送信前の POP 認証（POP before SMTP）で、POP3 サーバーとの通信を暗号化するように設定されていますが、暗号化通信できませんでした。または、証明書の検証エラーが発生しました。

適切な CA 証明書が登録されていますか？
POP3 サーバーの認証に使用する CA 証明書が、本機に登録されていることを確認します。 **発行機関から取得した鍵と証明書／CA 証明書を登録する(P. 425)**

POP3 サーバーのサーバー証明書を確認します
サーバー証明書が正しいものであり、自己証明書ではないことを確認します。

POP3 サーバーとの通信を暗号化しないように設定します
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

#846

送信前の POP 認証（POP before SMTP）で、認証時にパスワードを暗号化する APOP 認証を使用するように設定されていますが、APOP 認証できませんでした。

APOP 認証を使用しないように設定します
メールサーバーの詳細情報を設定する - リモート UI(P. 258)

#852

使用中に何らかの原因で本機の電源が切れました。
本機の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれているかどうかを確認します。

#853

何らかの原因により、プリントまたはセキュアプリントできませんでした。
プリントデータがパソコンから本機に送信されているときに操作を中止した場合は、プリントしなおします。
それ以外の場合は、以下を確認します。

大量にプリントしようとしましたか？
本機が処理できるデータ量を超えた可能性があります。該当する場合は、一度にプリントするページを減らすか、プリント中／待機中のプリントデータがないときにプリントします。

プリントしようとしたデータに不具合はありませんか？
データが破損しているなどの可能性がある場合は、データを修正します。

USB メモリー内の PDF ファイルをプリントしようとしましたか？

パスワードで保護されている PDF ファイルの場合は、パスワードを入力してプリントします。

操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［ﾒﾓﾘｰﾒﾃﾞｨｱﾌﾟﾘﾝﾄ］ ▶ プリントするファイルを選択 ▶ ［確定］ ▶ ［PDF 詳細設定］ ▶ ［文書を開くパスワード］ ▶ パスワードを入力 ▶ ［確定］

セキュアプリントしようとしましたか？

セキュアプリント機能が使用できないように設定されている可能性があります。該当する場合は、以下のいずれかの方法を試します。

- セキュアプリント機能を有効にします。

  設定の反映には、本機の再起動が必要となります。

  リモート UI に管理者モードでログイン ▶ ［設定/登録］ ▶ ［セキュアプリント設定］ ▶ ［編集］ ▶ ［セキュアプリントする］にチェックマークを付ける ▶ ［OK］ ▶ 本機を再起動

  操作パネルでは、［ホーム］画面の［メニュー］ ▶ ［ファンクション設定］から設定します。 **［セキュアプリント］(P. 543)**

- セキュアプリント機能を使用せずにプリントします。

セキュアプリントのデータをしばらく放置していましたか？

セキュアプリントのデータは、プリントが実行されずに一定時間経過すると、メモリーから自動的に消去されます。保存時間を過ぎて自動的に消去された可能性がある場合は、セキュアプリントしなおします。

※保存時間（消去されるまでの時間）は変更できます。 **暗証番号付きプリントデータ（セキュアデータ）の保存時間を変更する(P. 232)**

#861

サポートしていないプリンタードライバーを使用したか、プリントしようとしたデータに不具合がありました。

本機のプリンタードライバーを使用してプリントしなおします

パソコンからプリントする(P. 223)

プリントしようとしたデータに不具合はありませんか？

データが破損しているなどの可能性がある場合は、データを修正します。

#863

何らかのエラーが発生したため、プリントできませんでした。

本機を再起動したあと、プリントしなおします

再起動する(P. 116)

#934

中断ジョブの自動削除機能によって、ジョブが削除されました。

ジョブが中断する原因となったエラーを解消します

エラーを解消してから、プリントやコピーをやりなおします。

※中断ジョブの自動削除機能を無効にしたり、自動削除されるまでの時間を変更したりできます。 **［中断ジョブの自動削除］(P. 548)**

#995

待機中のジョブの送受信が中止されました。
必要に応じて、送受信しなおします。

トラブルが解決しないときは

AU03-0JE

トラブルが解決しない場合は、販売店または担当サービスにお問い合わせください。

重要

お客様ご自身で分解修理しない

- お客様ご自身で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

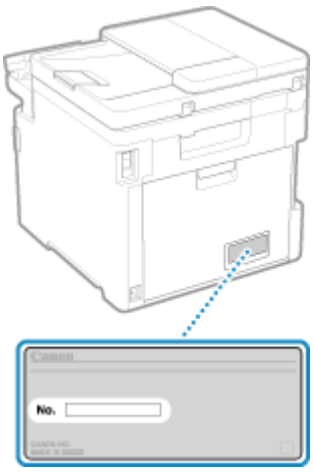
お問い合わせの前に確認すること

- 製品名（MF755Cdw II / MF753Cdw II / MF751Cdw II）
- 購入先の販売店
- トラブルの内容（具体的な操作内容とその結果など）
- シリアルナンバー

  シリアルナンバーの確認方法

  操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［状況確認］ ▶ ［デバイス情報］ ▶ ［シリアル No.］

  - パソコンからリモート UI を使用して確認することもできます。 **パソコンによる本機の管理 - リモート UI(P. 464)**
  - 本機背面のラベルでも確認できます。



付録

付録 790
本機のマニュアル 791
ユーザーズガイドの使いかた 792
パソコンの操作例 795
環境情報／法規制／規格 805
おことわり 807
商標／著作権 808

付録

AU03-0JF

本機のマニュアルや、本機を使用するときに必要なパソコンの基本操作を確認できます。

本機のマニュアル

目的に応じたマニュアルを提供しています。

本機のマニュアル(P. 791)

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。知りたい情報を検索したり、文字サイズやレイアウトを変更したりできます。

ユーザーズガイドの使いかた(P. 792)

パソコンの基本操作

本機をパソコンから利用したり、本機に設定する情報を確認したりするために、パソコンでの操作が必要になることがあります。Windows/macOS の操作例を紹介しています。

パソコンの操作例(P. 795)

その他の情報

環境情報／法規制／規格(P. 805)
おことわり(P. 807)
商標／著作権(P. 808)

本機のマニュアル

AU03-0JH

本機では、以下のマニュアルを提供しています。目的に合わせて確認します。
アイコンをクリックすると、該当のマニュアル（PDF）が表示されます。

安全にお使いいただくために
人への危害、および財産への損害を未然に防ぐために必要な内容を記載しています。



セットアップ
本機の箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。

https://dps.start.canon/setup

ユーザーズガイド（本マニュアル）
本機のすべての機能を詳しく説明しています。メンテナンス方法や仕様についても記載しています。ユーザーズガイドは、Web ブラウザーを使用して表示します。
ユーザーズガイドの使いかた(P. 792)

Send 設定ガイド
スキャンデータをメールで送信したり、共有フォルダーに保存したりするための準備や設定について説明しています。

※ダウンロードした SEND 設定ツールを使用する場合は、起動時に Send 設定ガイドを表示することもできます。

MEMO

- ドライバーやソフトウェアのマニュアルについては、オンラインマニュアルサイトを参照してください。
  https://oip.manual.canon/
- アプリケーションライブラリについては、以下のマニュアルを参照してください。
  アプリケーションライブラリ

ユーザーズガイドの使いかた

AU03-0JJ

ユーザーズガイド（本マニュアル）は、本機のすべての機能やメンテナンス方法／仕様について記載しています。
ユーザーズガイドでは、目次や検索機能を使用して知りたい情報を見つけることができます。
※画面上部の［ ］／［ ］をクリックすると、目次／検索キーワード入力欄の表示が切り替わります。

画面／イラストについて(P. 792)
マークの意味(P. 792)
キー／ボタンの表記(P. 793)
検索のしかた(P. 793)

MEMO

- ユーザーズガイドは、本機を含む機種シリーズすべての機能を説明しています。各機種がどの機能／オプションに対応しているか、一覧で確認できます。 **対応機能／オプション一覧(P. 3)**

画面／イラストについて

ユーザーズガイドでは、特に記載がないかぎり、以下を使用して説明しています。

機種
MF755Cdw II

トナーカートリッジ
キヤノン カートリッジ 069

パソコンの OS
Windows 11

macOS 14

- 機種によっては画面が異なる場合があります。
- パソコンの OS によっては、操作や画面が異なる場合があります。
- ドライバーやソフトウェアのバージョンアップによって、画面が変更される場合があります。

マークの意味

警告事項や注意事項は、本機に同梱されている「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。併せてご確認ください。 **本機のマニュアル(P. 791)**

警告

製品の取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



製品の取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや製品故障以外の物的損害を防ぐための注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



セキュリティー／データ保全に関わる重要事項や制限事項、守っていただきたい注意事項が記載されています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



操作の補足説明や参考となる情報、便利な関連機能などが記載されています。

キー／ボタンの表記

操作パネルのキーや、画面に表示されるボタンなどは、以下のように表記しています。

操作パネルのキー
アイコンで表記しています。

表記例：ホームキーの場合


操作パネル／パソコンの画面に表示されるボタンなど
［］で囲んで表記しています。

表記例：
［C］
［中止］▶［はい］
［メモリーメディアを取り外すことができます。］

検索のしかた

1 画面上部の［ ］をクリックする

➠画面左上に検索キーワード入力欄が表示されます。

2 キーワードを入力し、［ ］をクリックするかパソコンの［Enter］キーを押す

- 複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページを検索できます。

- キーワードをダブルクォーテーション（"）で囲むと、スペースを含めて完全に一致するページのみを検索できます。

3 検索結果をクリックし、目的のページを探す

- [] をクリックすると、検索結果の表示／非表示が切り替わります。
- [] をクリックすると目次が表示されます。

パソコンの操作例

AU03-0JL

本機をパソコンから利用する場合、機能によってはパソコンの設定が必要です。また、本機に設定する情報を確認するために、パソコンの情報が必要になることもあります。
そのような場合は、以下の操作例を参考に、パソコンで必要な設定や情報の確認をします。

- 共有フォルダーを作成する(P. 795)
- ネットワーク探索を有効にする(P. 797)
- プリントサーバー内の共有プリンターを表示する(P. 797)
- パソコンのシステム情報を確認する(P. 798)
- パソコンのネットワーク接続情報を確認する(P. 800)
- プリンターポートを確認する(P. 802)
- 双方向通信を確認する(P. 803)
- テストページをプリントする(P. 804)

共有フォルダーを作成する

- Windows の場合(P. 795)
- macOS の場合(P. 796)

■Windows の場合

1 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成する



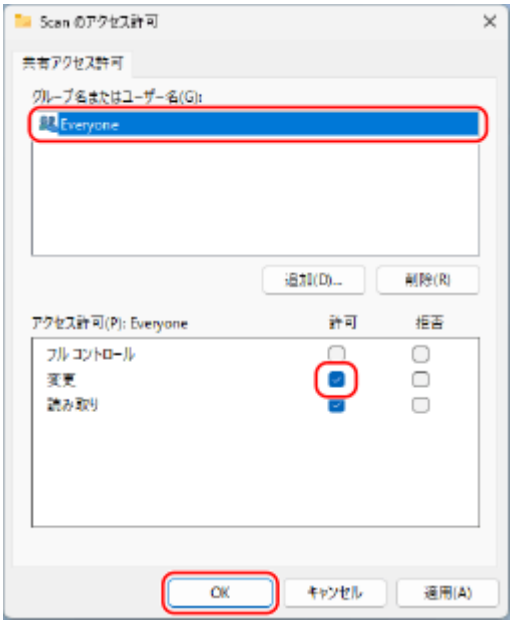
2 作成したフォルダーを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

3 ［共有］タブで、［詳細な共有］をクリックする

➠［詳細な共有］画面が表示されます。

4 ［このフォルダーを共有する］にチェックマークを付け、［アクセス許可］をクリックする

5 アクセス許可の設定をする



1 ［グループ名またはユーザー名］で、［Everyone］を選択する

2 ［アクセス許可］で、［変更］の［許可］にチェックマークを付ける

3 ［OK］をクリックする

6 ［OK］▶［閉じる］をクリックする

➠作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

■macOS の場合

1 ［］▶［システム環境設定］▶［共有］をクリックする

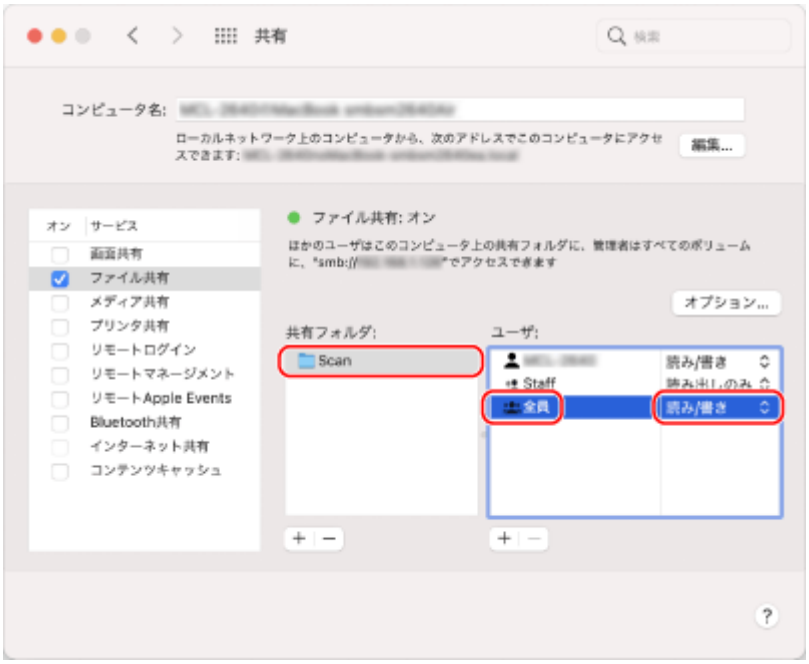
➠［共有］画面が表示されます。

2 ［ファイル共有］にチェックマークを付け、［共有フォルダ］の［＋］をクリックする

3 任意の場所（デスクトップなど）にフォルダーを作成し、［追加］をクリックする



4 アクセス許可の設定をする



1 ［共有フォルダ］で、作成したフォルダーを選択する

2 ［ユーザ］で、［全員］▶［読み/書き］を選択する

5 画面を閉じる

➠作成したフォルダーが共有フォルダーとして使用できるようになります。

ネットワーク探索を有効にする

1 [ ]（スタート）を右クリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

➠［ネットワークとインターネット］画面が表示されます。

2 ［ネットワークの詳細設定］▶［共有の詳細設定］をクリックする

➠［共有の詳細設定］画面が表示されます。

3 ［ネットワーク探索］を［オン］にする

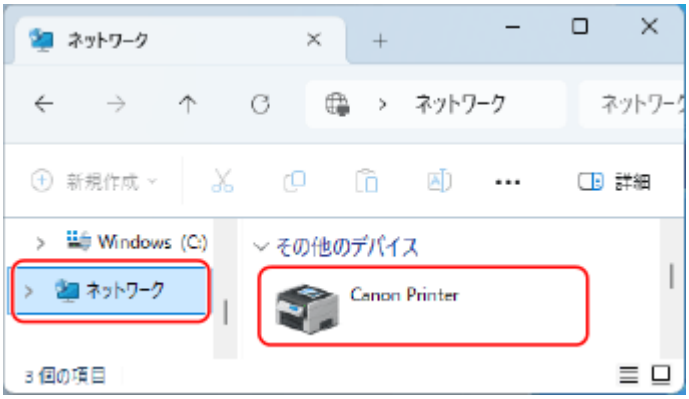
プリントサーバー内の共有プリンターを表示する

Windows の場合(P. 798)
macOS の場合(P. 798)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[エクスプローラー] をクリックする

2 [ネットワーク] からプリントサーバーを選択して、共有プリンターを表示する



[ネットワーク] に何も表示されない場合は、ネットワーク探索を有効に設定します。 **ネットワーク探索を有効にする(P. 797)**

■macOS の場合

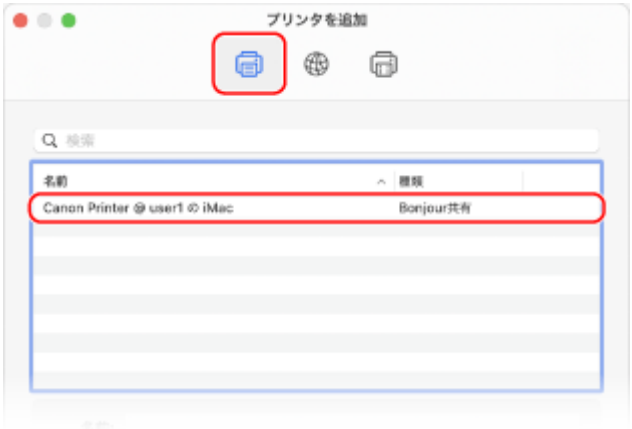
1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➠ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 左下にある [+] をクリックする

➠ [追加] 画面が表示されます。

3 [ ] をクリックして、共有プリンターを表示する



パソコンのシステム情報を確認する

Windows の場合(P. 799)
macOS の場合(P. 799)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[システム] をクリックする

➠[バージョン情報] 画面が表示されます。

2 [デバイスの仕様] で、コンピューター名を確認する



- コンピューター名は、[デバイス名] で確認します。

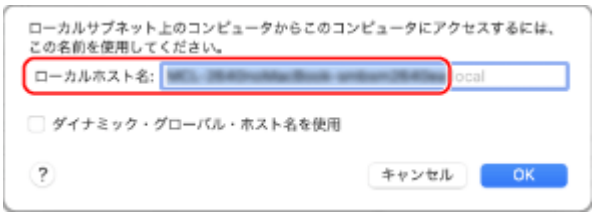
■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [共有] をクリックする

➠[共有] 画面が表示されます。
[共有] 画面の [コンピュータ名] に表示される名前は、ネットワーク上では使用できない場合があります。ネットワーク上で使用するコンピューター名は、以降の手順で確認します。

2 [編集] をクリックする

3 [ローカルホスト名] で、コンピューター名を確認する



グレー色の文字で表示されている部分は、コンピューター名に含まれません。

4 [キャンセル] をクリックする

パソコンのネットワーク接続情報を確認する

Windows の場合(P. 800)
macOS の場合(P. 801)

■Windows の場合

1 [ ]（スタート）を右クリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

➠[ネットワークとインターネット] 画面が表示されます。

2 ネットワーク接続情報を確認する

■無線 LAN の SSID を確認する場合

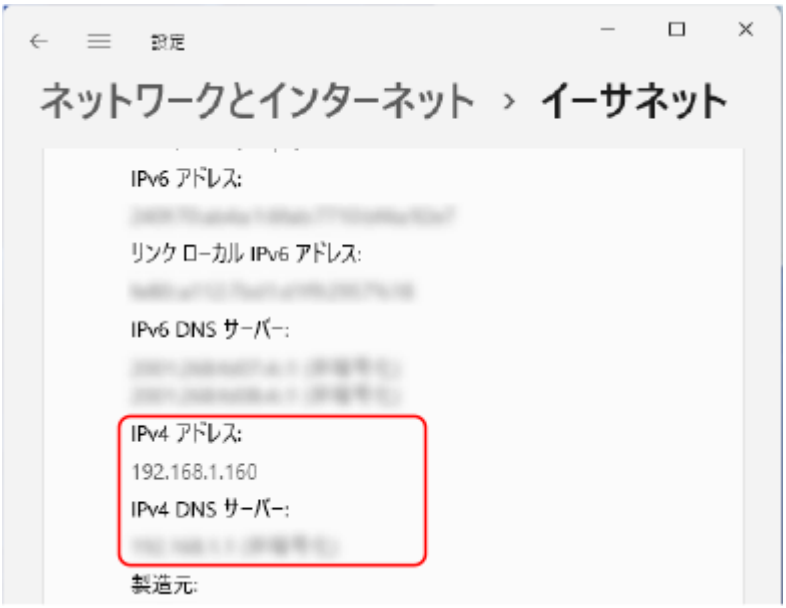
Wi-Fi の（）内にある文字列を確認します。



■IP アドレスや DNS サーバーを確認する場合

1 接続中のネットワークの［プロパティ］をクリックする

2 ［プロパティ］で、IP アドレスや DNS サーバーを確認する



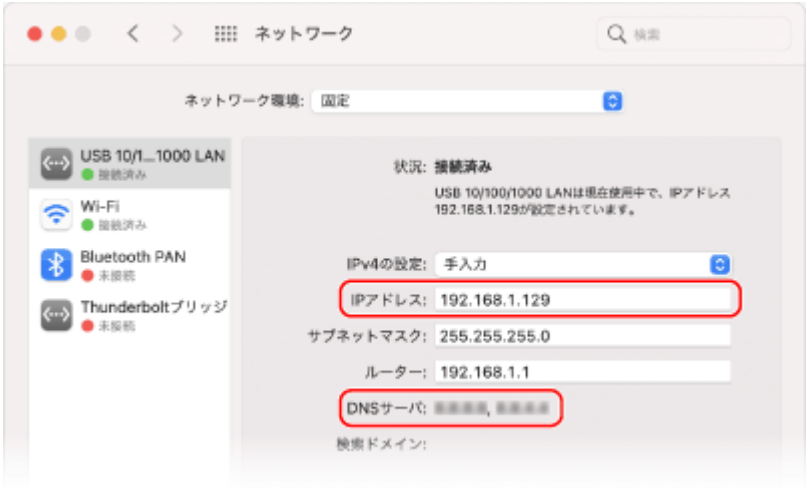
■macOS の場合

1 [ ] ▶ [システム環境設定] ▶ [ネットワーク] をクリックする

➠ [ネットワーク] 画面が表示されます。

2 IP アドレスや DNS サーバーなどを確認する

■有線 LAN の場合



■無線 LAN の場合



- SSID は、［ネットワーク名］で確認します。
- IP アドレスは、［状況］で確認します。
- DNS サーバーは、［詳細］をクリックし、［DNS］タブで確認します。

プリンターポートを確認する

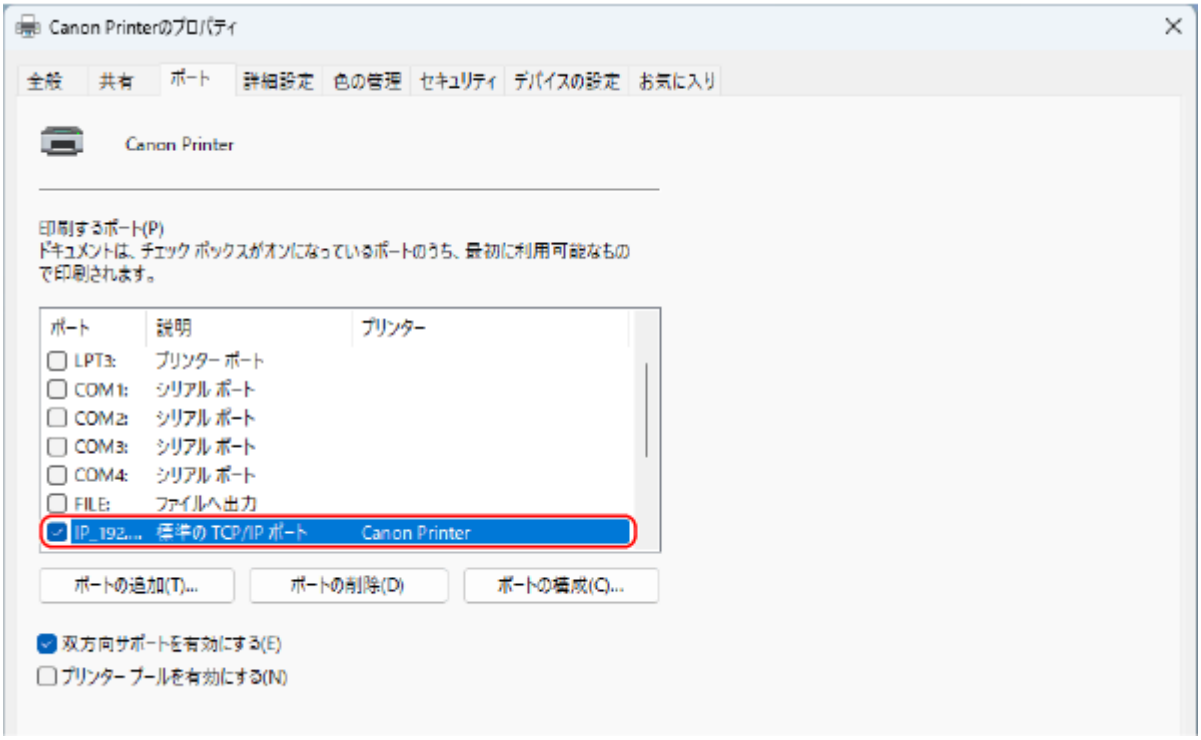
1 **［ ］（スタート）▶［ ］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする**

➠［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

2 **本機のプリンタードライバー▶［プリンターのプロパティ］をクリックする**

➠プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 **［ポート］タブで、使用しているポートを確認する**



MEMO

本機の IP アドレスを変更した場合

- 使用しているポートによって必要な対応が異なります。
  - ［説明］が［Canon MFNP Port］と表示されている場合は、本機とパソコンが同一のサブネットにあれば接続が維持されるため、パソコン側での対応は不要です。
  - ［説明］が［Standard TCP/IP Port］と表示されている場合は、新しいポートを追加する必要があります。 **ポートを追加する(P. 215)**

双方向通信を確認する

1 ［］（スタート）▶［］（設定）▶［Bluetooth とデバイス］▶［プリンターとスキャナー］をクリックする

➡［プリンターとスキャナー］画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー▶［プリンターのプロパティ］をクリックする

➡プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 ［ポート］タブで、［双方向サポートを有効にする］にチェックマークが付いていることを確認する

テストページをプリントする

必要な準備

- 給紙カセットに A4 サイズの用紙をセットします。 **給紙カセットに用紙をセットする(P. 146)**

Windows の場合(P. 804)
macOS の場合(P. 804)

■Windows の場合

1 []（スタート）▶ []（設定）▶ [Bluetooth とデバイス] ▶ [プリンターとスキャナー] をクリックする

➠ [プリンターとスキャナー] 画面が表示されます。

2 本機のプリンタードライバー ▶ [プリンターのプロパティ] をクリックする

➠ プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

3 [全般] タブで、[テストページの印刷] をクリックする

➠ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

■macOS の場合

1 [] ▶ [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] をクリックする

➠ [プリンタとスキャナ] 画面が表示されます。

2 本機を選択し、[プリントキューを開く] をクリックする

3 [プリンタ] メニューから、[テストページをプリント] をクリックする

➠ プリントデータが正常に送信された場合は、本機からテストページがプリントされます。

環境情報／法規制／規格

AU03-0JR

■化学安全情報について

製品の安全データシート（SDS）は **https://canon.jp/ecology/** にて提供しております。

■国際エネルギースタープログラムについて

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■IPv6 Ready Logo について

本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-2 を取得しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。）

■資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について

使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。使用済みの複合機・プリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または

弊社お客様相談センターにお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

キヤノン株式会社 / キヤノンマーケティングジャパン株式会社

おことわり

AU03-0JS

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ（ **https://get.adobe.com/reader/** ）からダウンロードしてください。

商標／著作権

AU03-0JU

■商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ 社）の商標です。
Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X、および Safari は、Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。
iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.
Google Chrome、Chrome OS、Chromebook、Android は、Google LLC の商標です。
This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc.
UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, 2014 all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.



Copyright © 2007 –08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Copyright © 2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 6,185,684; 6,205,549; 7,213,269; 7,272,628; 7,278,168; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript Logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

Microsoft、Excel、Microsoft 365、Microsoft Edge、Windows、Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

■第三者のソフトウェアについて

このマニュアルに含まれる第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。

製品の第三者ソフトウェアに関する情報を知りたいときは、オンラインマニュアルサイトで「第三者ソフトウェアについて」を参照してください。

https://oip.manual.canon/

■著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

V_220228

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
https://openfontlicense.org

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE
The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS
"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.